



Informatica® PowerExchange
10.5.2

メッセージリファレンス - Vol 1

本ソフトウェアおよびマニュアルは、使用および開示の制限を定めた個別の使用許諾契約のもとでのみ提供されています。本マニュアルのいかなる部分も、いかなる手段（電子的複製、写真複製、録音など）によっても、Informatica LLC の事前の承諾なしに複製または転載することは禁じられています。

米政府の権利プログラム、ソフトウェア、データベース、および関連文書や技術データは、米国政府の顧客に配信され、「商用コンピュータソフトウェア」または「商業技術データ」は、該当する連邦政府の取得規制と代理店固有の補足規定に基づきます。このように、使用、複製、開示、変更、および適応は、適用される政府の契約に規定されている制限およびライセンス条項に従うものとし、政府契約の条項によって適当な範囲において、FAR 52.227-19、商用コンピュータソフトウェアライセンスの追加権利を規定します。

Informatica、Informatica ロゴ、PowerCenter、および PowerExchange は、米国およびその他の国における Informatica LLC の商標または登録商標です。Informatica の商標の最新のリストは、次の Web サイトにあります <https://www.informatica.com/trademarks.html>。その他の企業名および製品名は、それぞれの企業の商標または登録商標です。

オプトアウトの権利の制限の下、本ソフトウェアによって、本ソフトウェアがデプロイされているコンピューティングおよびネットワーク環境に関する情報、デプロイメントのデータ使用状況およびシステム統計情報が米国の Informatica に自動的に送信されます。この送信は Informatica のプライバシーポリシーの下にサービスの一部と見なされ、Informatica は、<https://www.informatica.com/in/privacy-policy.html> のプライバシーポリシーに従って、この情報を使用または処理します。使用状況の収集は、Administrator ツールで無効にすることができます。

本ソフトウェアまたはドキュメンテーション（あるいはその両方）の一部は、第三者が保有する著作権の対象となります。必要な第三者の通知は、製品に含まれています。

特許については、<https://www.informatica.com/legal/patents.html> を参照してください。

本マニュアルの情報は、予告なしに変更されることがあります。このドキュメントで問題が見つかった場合は、infa_documentation@informatica.com までご報告ください。

Informatica 製品は、それらが提供される契約の条件に従って保証されます。Informatica は、商品性、特定目的への適合性、非侵害性の保証等を含めて、明示的または黙示的ないかなる種類の保証をせず、本マニュアルの情報を「現状のまま」提供するものとします。

発行日: 2022-07-07

目次

序文	5
Informatica のリソース.....	5
Informatica Network.....	5
Informatica ナレッジベース.....	5
Informatica マニュアル.....	6
Informatica 製品可用性マトリックス.....	6
Informatica Velocity.....	6
Informatica Marketplace.....	6
Informatica グローバルカスタマサポート.....	6
 第 1 章 : PWX-00000～PWX-00099	7
PWX-00000～PWX-00099.....	7
 第 2 章 : PWX-00100～PWX-00999	11
PWX-00100～PWX-00999.....	11
 第 3 章 : PWX-01000～PWX-01999	125
PWX-01000～PWX-01999.....	125
 第 4 章 : PWX-02000～PWX-04999	213
PWX-02000～PWX-02999.....	213
PWX-03000～PWX-03999.....	283
PWX-04000～PWX-04999.....	317
 第 5 章 : PWX-05000～PWX-06999	357
PWX-05000～PWX-05999.....	357
PWX-06000～PWX-06999.....	364
 第 6 章 : PWX-07000～PWX-09999	450
PWX-07000～PWX-07999.....	450
PWX-08000～PWX-08999.....	529
PWX-09000～PWX-09999.....	533
 第 7 章 : PowerExchange Messages の異常終了コード、戻りコード、理由コード	638
異常終了コード、戻りコード、理由コードの概要.....	638
IBM 製品の戻りコードと理由コード.....	638
PowerExchange 異常終了コード.....	639
異常終了コード U0001 - PowerExchange エージェント.....	639
異常終了コード U0356 - バッチ VSAM ECCR.....	640

異常終了コード U3035 - PowerExchange ロgger	640
異常終了コード U3680 - DB2 ECCR.	640
PowerExchange 戻りコード	641
戻りコード 0～12 - 標準.	641
戻りコード 1～412 - 共通.	641
戻りコード 0～12 - PowerExchange エージェント.	642
戻りコード 221: PowerExchange ロgger	642
戻りコード 0～8 - バッチ VSAM ECCR.	643
PowerExchange 理由コード	643
理由コード xxxx0800～xxxx081F - 共通.	644
理由コード 001～255 - PowerExchange エージェント.	644
理由コード 00000601～00004499 - コマンド.	648
理由コード 00000813～00001515 - 符号化コマンド.	650
理由コード 00000C00～00000C0E - 共通サービス.	651
PowerExchange ロgger の理由コード.	651
理由コード 01440600～060906FF - PowerExchange ユーティリティ.	677
理由コード 01800101～01FFFFFF - 変更インタフェースコンポーネント.	678
関数コード 0～0A - 循環キュー.	684
理由コード 04050000～0812000C0 - 循環キュー.	685
理由コード 0A0A000E～0A0B00D8 - ログ書き込み API.	689
理由コード 0A0D0300～0A0E0320 - ログ読み取り API.	692
理由コード 10000001～1007FFFF - DB2 ECCR.	696
理由コード 00000004～00000054 - チェーナーモジュール (EDMQMGR0).	697

序文

*Informatica(R) PowerExchange(R)*メッセージリファレンス - Vol 1を使用して、PWX-00000~PWX-09999 の範囲の PowerExchange のメッセージに関する、説明、システムアクション、対策を含めた情報をルックアップします。また、このリファレンスでは、PowerExchange の異常終了コード、戻りコード、理由コードについて説明します。

PowerExchange DBMOVER 構成ファイルで MSGPREFIX 文の「PWX」のデフォルトのメッセージプレフィックスをカスタマイズした場合、メッセージをルックアップするときに「PWX」の代わりにカスタムプレフィックスを使用します。

追加の PowerExchange メッセージについては、『*PowerExchange* メッセージリファレンス - Vol 1』および『*PowerExchange* メッセージリファレンス - Vol 3』を参照してください。

Informatica のリソース

Informatica は、Informatica Network やその他のオンラインポータルを通じてさまざまな製品リソースを提供しています。リソースを使用して Informatica 製品とソリューションを最大限に活用し、その他の Informatica ユーザーや各分野の専門家から知見を得ることができます。

Informatica Network

Informatica Network は、Informatica ナレッジベースや Informatica グローバルカスタマサポートなど、多くのリソースへの入口です。Informatica Network を利用するには、<https://network.informatica.com> にアクセスしてください。

Informatica Network メンバーは、次のオプションを利用できます。

- ナレッジベースで製品リソースを検索できます。
- 製品の提供情報を表示できます。
- サポートケースを作成して確認できます。
- 最寄りの Informatica ユーザーグループネットワークを検索して、他のユーザーと共同作業を行えます。

Informatica ナレッジベース

Informatica ナレッジベースを使用して、ハウツー記事、ベストプラクティス、よくある質問に対する回答など、製品リソースを見つけることができます。

ナレッジベースを検索するには、<https://search.informatica.com> にアクセスしてください。ナレッジベースに関する質問、コメント、ご意見の連絡先は、Informatica ナレッジベースチーム (KB_Feedback@informatica.com) です。

Informatica マニュアル

Informatica マニュアルポータルでは、最新および最近の製品リリースに関するドキュメントの膨大なライブラリを参照できます。マニュアルポータルを利用するには、<https://docs.informatica.com> にアクセスしてください。

製品マニュアルに関する質問、コメント、ご意見については、Informatica マニュアルチーム (infa_documentation@informatica.com) までご連絡ください。

Informatica 製品可用性マトリックス

製品可用性マトリックス (PAM) には、製品リリースでサポートされるオペレーティングシステム、データベースなどのデータソースおよびターゲットが示されています。Informatica PAM は、<https://network.informatica.com/community/informatica-network/product-availability-matrices> で参照できます。

Informatica Velocity

Informatica Velocity は、Informatica プロフェッショナルサービスが開発したヒントとベストプラクティスのコレクションで、多数のデータ管理プロジェクトから得た実体験に基づいています。Informatica Velocity には、世界中の組織と連携してデータ管理ソリューションを計画、開発、デプロイ、管理する Informatica コンサルタントによる集合知を表しています。

Informatica Velocity リソースには、<http://velocity.informatica.com> からアクセスしてください。Informatica Velocity についての質問、コメント、またはアイデアがある場合は、ips@informatica.com から Informatica プロフェッショナルサービスにお問い合わせください。

Informatica Marketplace

Informatica Marketplace は、お使いの Informatica 製品を拡張したり強化したりするソリューションを検索できるフォーラムです。Marketplace で、Informatica デベロッパーやパートナーからの多数のソリューションを活用すれば、生産性を向上したり、プロジェクトでの実装時間を短縮したりできます。Informatica Marketplace は、<https://marketplace.informatica.com> からアクセスしてください。

Informatica グローバルカスタマサポート

電話または Informatica Network を介してグローバルカスタマサポートに連絡できます。

各地域の Informatica グローバルカスタマサポートの電話番号は、Informatica Web サイト (<https://www.informatica.com/services-and-training/customer-success-services/contact-us.html>) を参照してください。

Informatica Network のオンラインサポートリソースを見つけるには、<https://network.informatica.com> にアクセスして eSupport オプションを選択します。

第 1 章

PWX-00000～PWX-00099

- [PWX-00000～PWX-00099, 7 ページ](#)

PWX-00000～PWX-00099

PWX-00000	要求された固定テキストが見つかりませんでした。
説明：	PowerExchange は、修正されたメッセージテキストを検出しませんでした。
システムのアクション：	処理は継続します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00001	リポジトリ <i>message_repository_name</i> を開くときにエラーが発生しました。戻りコード = <i>return_code1/return_code2/return_code3</i>。
説明：	PowerExchange が指定されたメッセージリポジトリファイルを開けなかったか、メッセージリポジトリファイルが空です。メッセージリポジトリファイルはほとんどの PowerExchange メッセージを定義し、デフォルトでは DTLMSG という名前を持ちます。
システムのアクション：	処理は継続します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00002	リポジトリ <i>message_repository_name</i> を読み取るときにエラーが発生しました。戻りコード = <i>return_code1/return_code2/return_code3</i>。
説明：	PowerExchange は指定されたメッセージリポジトリファイルを読み取ることができませんでした。このファイルはほとんどの PowerExchange メッセージを定義し、デフォルトでは DTLMSG という名前を持ちます。
システムのアクション：	処理は継続します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00003	リポジトリのロード中にメモリ不足が発生しました。
説明:	利用可能なメモリの容量が不十分なため、PowerExchange はメッセージリポジトリファイルをメモリにロードできませんでした。このファイルはほとんどの PowerExchange メッセージを定義し、デフォルトでは DTLMSG という名前を持ちます。
システムのアクション:	メッセージリポジトリはロードされていません。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00004	メッセージ番号 <i>message_id</i> のテキストがリポジトリ内に見つかりません。
説明:	PowerExchange は、指定されたメッセージ ID を持つメッセージのテキストをメッセージリポジトリファイル DTLMSG 内で検出できませんでした。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00005	リポジトリレコード <i>record_ID</i> にエラーが存在します。
説明:	メッセージリポジトリファイル DTLMSG には、エラーが存在するメッセージレコードが含まれています。指定したレコード ID が無効です。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00006	メッセージリポジトリの解放中にメッセージが抑制されました。
説明:	PowerExchange は、リポジトリに割り当てられているメモリの解放中、メッセージリポジトリファイル DTLMSG に記録されているメッセージを発行しません。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00007	メッセージの宛先オーバーライドパラメータファイルの処理中です。
説明:	PowerExchange は、特定のメッセージをリダイレクトまたは抑制するように定義したメッセージの宛先オーバーライドファイル DTLMSGO を処理しています。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-00008	メッセージの宛先オーバーライドパラメータファイルの処理が終了しました。default_message_output_destinations メッセージの宛先がオーバーライドされました。
説明:	PowerExchange はメッセージの宛先オーバーライドファイル DTLMSGO の処理を終了し、特定のメッセージ ID に対して、このファイルで指定されているオーバーライドメッセージの宛先を使用しています。
システムのアクション:	メッセージのデフォルトの宛先が、メッセージの宛先オーバーライドファイルの内容でオーバーライドされます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00009	DTLMSGO レコード record_id、メッセージ message_id- 無効なメッセージ番号です。
説明:	メッセージの宛先オーバーライドファイル DTLMSGO に、無効なメッセージ ID を持つレコードが含まれています。
システムのアクション:	PowerExchange は、無効なメッセージ ID を持つメッセージに対してオーバーライドメッセージの宛先を使用しません。
ユーザの応答:	ファイル上のメッセージの宛先のメッセージ ID を修正してください。メッセージリポジトリファイル DTLMSGO には、有効なメッセージ ID が含まれています。
PWX-00010	DTLMSGO レコード record_id、メッセージ message_id- メッセージリポジトリ内にメッセージ番号がありません。
説明:	メッセージの宛先オーバーライドファイル DTLMSGO に、メッセージリポジトリで定義されていないメッセージ ID を指定するレコードが含まれています。
システムのアクション:	PowerExchange は、未定義のメッセージ ID を持つメッセージに対してオーバーライドメッセージの宛先を使用しません。
ユーザの応答:	ファイル DTLMSGO 上のメッセージの宛先のメッセージ ID を修正してください。メッセージリポジトリファイル DTLMSGO 内で正しいメッセージ ID が見つからない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00011	DTLMSGO レコード record_id- 無効なメッセージの宛先オプション- STDOUT、SYSCONS、LOG、または NONE である必要があります。
説明:	メッセージの宛先オーバーライドファイル DTLMSGO に、無効なメッセージ宛先オプションを指定するレコードが含まれています。有効なメッセージの宛先オプションは、STDOUT、SYSCONS、LOG、または NONE です。
システムのアクション:	PowerExchange は、関連付けられたメッセージに対してメッセージの宛先オーバーライドを使用しません。
ユーザの応答:	メッセージの宛先オーバーライドファイル DTLMSGO 内のメッセージの宛先オプションを修正してください。これらのオプションの詳細については、『PowerExchange リファレンスマニュアル』を参照してください。

PWX-00012	DTLMSGO レコード <i>record_id</i>- NONE パラメータは相互に排他的である必要があります。
説明:	メッセージの宛先オーバーライドファイル DTLMSGO に、メッセージの宛先パラメータに NONE および別のオプションを指定するレコードが含まれています。NONE は相互に排他的なオプションで、メッセージを抑制します。メッセージ出力のオーバーライドの宛先を示す別のオプションで NONE を指定することはできません。
システムのアクション:	PowerExchange は、関連付けられたメッセージに対してメッセージの宛先オーバーライドを使用しません。
ユーザの応答:	メッセージの宛先オーバーライドファイル DTLMSGO 内のメッセージの宛先パラメータを修正してください。NONE を指定する場合は、他のメッセージの宛先オプションを指定しないでください。これらのオプションの詳細については、『 <i>PowerExchange リファレンスマニュアル</i> 』を参照してください。
PWX-00013	オーバーライドファイルを開くときに DTLMSGO エラーが発生しました (戻りコード = <i>return_code1</i>/<i>return_code2</i>/<i>return_code3</i>)。
説明:	PowerExchange は、メッセージの宛先オーバーライドファイル DTLMSGO を開くことができませんでした。
システムのアクション:	PowerExchange は、メッセージの宛先オーバーライドファイルで定義されているメッセージの宛先オーバーライドを使用しません。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00014	オーバーライドファイルの読み取り中に DTLMSGO エラーが発生しました (戻りコード = <i>return_code1</i>/<i>return_code2</i>/<i>return_code3</i>)。
説明:	PowerExchange はメッセージの宛先オーバーライドファイル DTLMSGO を読み取ることができませんでした。
システムのアクション:	PowerExchange は、メッセージの宛先オーバーライドファイルで定義されているメッセージの宛先オーバーライドを使用しません。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

第 2 章

PWX-00100～PWX-00999

- [PWX-00100～PWX-00999, 11](#) ページ

PWX-00100～PWX-00999

PWX-00100	DBAPI エラー。無効な要求です。
説明:	PowerExchange データベース API に対して、API で認識されないデータベースアクションを含む呼び出しが実行されました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-00101	DBAPI エラー。OPEN は最初のアクセス要求ではありません。
説明:	事前に処理対象のテーブルを開く要求をせずに、PowerExchange データベース API が呼び出されました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-00104	DBAPI エラー。INIT またはロジックモジュールのロード要求に失敗しました。
説明:	PowerExchange データベース API に対して、正しく処理できない呼び出しが実行されました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-00105	DBAPI エラー。リモート DB アクセスに失敗しました。
説明:	PowerExchange データベース API に対して、正しく処理できない呼び出しが実行されました。API は、リモートデータベースへのアクセスを開始しようとしていました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-00106	DBAPI エラー。ストレージの取得に失敗しました。
説明:	PowerExchange データベース API に対して、正しく処理できない呼び出しが実行されました。API は、エラー発生時に、処理用のメモリを割り当てようとしていました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-00107	DBAPI エラー。SQL ファイル "<i>file_name</i>" を読み取れませんでした。
説明:	PowerExchange データベース API に対して、正しく処理できない呼び出しが実行されました。API は、エラー発生時、指定されたファイルから SQL 文を読み取ろうとしていました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	SQL 文を含むファイルを修正し、要求をもう一度実行します。
PWX-00108	DBAPI エラー。SQL ファイル "<i>file_name</i>" 内の SQL 文の長さの合計が <i>maxlength</i> バイトを超えています。
説明:	PowerExchange データベース API に対して、正しく処理できない呼び出しが実行されました。API は、エラー発生時、指定されたファイルから SQL 文を処理しようとしていました。SQL 文の長さが、API で許可されている最大長、 <i>maxlength</i> を超えています。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	SQL 文を含むファイルを修正し、要求をもう一度実行します。
PWX-00109	DBAPI エラー。要求した関数 (<i>function</i>) は、アクセス方式でサポートされていません。
説明:	PowerExchange データベース API に対して、正しく処理できない呼び出しが実行されました。API は、エラーの発生時、SQL カーソルを開くか閉じようとしていました。指定されたアクセス方式では、これらの関数はサポートされていません。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	SQL 文を含むファイルを修正し、要求をもう一度実行します。

PWX-00110	KEY エラー - チェックデジットが正しくありません。入力値 =<i>check_digit</i>、計算値=<i>check_digit</i>
説明:	ライセンスキーのチェックデジットが正しくありません。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	ライセンスキーが正しいことを確認します。正しいのに問題が解決しない場合は、新しいライセンスキーについて Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00111	KEY エラー - キー長は、44 または 64/<i>license_key</i>、長さ =<i>key_length</i> でなければなりません
説明:	指定されたライセンスキーの長さが正しくありません。キーは、ハイフンなしで 36 文字、またはハイフン付きで 44 文字でなければなりません。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	ライセンスキーが正しいことを確認します。正しいのに問題が解決しない場合は、新しいライセンスキーについて Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00112	KEY エラー - キー <i>license_key</i> に不正なハイフン文字があります。
説明:	指定されたライセンスキーの区切り文字が正しくありません。ライセンスキーの有効な区切り文字はハイフン文字です。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	ハイフンで区切られた 4 文字のブロックのライセンスキーを確認します。問題が解決しない場合は、新しいライセンスキーについて Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00113	KEY エラー - ライセンスキーファイルを開けませんでした。
説明:	システムがライセンスキーファイルを開こうとしたときに、エラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00114	KEY エラー - レコードを読み取れませんでした。
説明:	システムがライセンスキーファイルを読み取ろうとしたときに、エラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00115	KEY エラー - ライセンスの期限が切れています。キー=<i>day-month-year</i>、現在=<i>day-month-year</i>。
説明:	ライセンスキーの期限が切れています。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	新しいライセンスキーについて Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00116	KEY 警告 - ライセンス (<i>license_key</i>) は、あと <i>number</i> 日で期限が切れます。
説明:	指定されたライセンスキーは <i>number</i> 日後に期限が切れます。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	新しいライセンスキーについて Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00117	KEY エラー - IP が一致しません。キー=<i>number.number.number.number</i>、ローカル=<i>IP_address</i>。
説明:	指定されたライセンスキーの発行対象の IP アドレスが、指定されたローカル IP アドレスと一致しません。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	ライセンスキーが正しいことを確認します。問題が解決しない場合は、新しいライセンスキーについて Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00118	KEY エラー - プラットフォームが一致しません。キー=<i>key</i>、ローカル=<i>platform</i>。
説明:	指定されたライセンスキーの発行対象のプラットフォームが、PC や z/OS などのローカルのプラットフォームと一致しません。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	ライセンスキーが正しいことを確認します。問題が解決しない場合は、新しいライセンスキーについて Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00119	KEY エラー - アクセス方式 <i>access_method</i> をプラットフォーム <i>platform</i> 上で使用する権限がありません。
説明:	ライセンスキーの発行対象のアクセス方式は、試行されたシステムアクセス方式 <i>access_method</i> (プラットフォーム <i>platform</i> 上で) と一致しません。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	ライセンスキーが正しいことを確認します。問題が解決しない場合は、新しいライセンスキーについて Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00120	バージョンが一致しません。ローカル=version.release、リモート=version.release
説明:	ローカルプラットフォームの指定されたソフトウェアのバージョンとリモートプラットフォームのバージョンが一致しません。 PowerExchange で通信できるのは、同じバージョンとリリースレベルがインストールされている PowerExchange 間のみです。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	各プラットフォームにインストールされているソフトウェアが正しいバージョンであることを確認します。
PWX-00121	KEY エラー - <i>feature</i> 機能を使用するライセンスがありません。
説明:	有効なライセンスキーが、指定された機能の使用を許可しません。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	使用中のライセンスキーが正しいことを確認します。有効なライセンスキーについて Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00122	KEY エラー - ベンダコードが一致しません。
説明:	有効なライセンスキーは、ソフトウェアの提供対象ではないベンダに発行されました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	使用中のライセンスキーが正しいことを確認します。有効なライセンスキーについて Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00123	DBAPI エラー。 <i>mode</i> パラメータ対応 SQL は、 <i>method</i> アクセス方式でサポートされていません。
説明:	PowerExchange データベース API と、アクセス方式の要求モードではサポートされていない置換変数を含む SQL 文に対して呼び出しが実行されました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。
PWX-00124	DBAPI エラー。書き込み確認を無効にした場合、接続で許可される出力データソースは 1 つだけです。
説明:	複数の出力ターゲットを指定するには、データソース名 (DSN) で書き込み確認を設定する必要があります。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答：	DSN で書き込み確認インジケータが設定されていることを確認します。既に設定されている場合、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00125	DBAPI エラー。DBCB (<i>connection_ID</i>) は接続内で定義されていますが、無効なハンドル (<i>handle</i>) があります。
説明：	内部プロセスでエラーが検出されました。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00126	DBAPI エラー。接続内の DBCB (<i>mode</i>) モードは、接続モード (<i>mode2</i>) に一致する必要があります。
説明：	内部プロセスでエラーが検出されました。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00127	DBAPI エラー。書き込み確認は、1 つの接続の複数のデータソースの各出力データソースで有効にする必要があります。
説明：	複数の出力ターゲットを指定するには、データソース名 (DSN) で書き込み確認を設定する必要があります。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	DSN で書き込み確認インジケータが設定されていることを確認します。既に設定されている場合、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00128	DBAPI エラー。1 つの接続で許可されている入力データソースは 1 つだけです。
説明：	これは内部の問題です。入力要求では、1 つの接続で使用できるデータソースは 1 つだけです。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00129	KEY エラー - dbmove の使用は制限されています。
説明：	ユーザーに与えられたライセンスキーには許可されていないアクセス方式を使用しようとしました。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	ライセンスキーが生成されたアクセス方式の 1 つを使用するようにアクセス方式を修正するか、有効なライセンスキーについて Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00130	オープン接続要求はアクセス方式 <i>access_method_name</i> (<i>access_method_number</i>)では許可されていません。一般フラグ <i>flag</i>。グループソースオプション <i>option</i>。
説明:	指定されたアクセス方式がサポートされていないため、接続オープンのタスク要求はエラーで終了しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-0131	読み取りモードでのアクセス方式 <i>access_method_name</i> (<i>access_method_number</i>)のオープン接続要求に、無効なグループソースオプション <i>value</i> があります。
説明:	タスクはネットワークトランスポートに必要なオプションを設定せずにデータベース接続を読み取りモードで開こうとしました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00132	クラウドサービスからのオープン接続要求が却下されました。このリスナにはクラウドサービスに対するライセンスがありません。
説明:	クラウドサービスから PowerExchange リスナへの接続を開こうとしました。ただし、このリスナにはクラウドサービスに対するライセンスがありません。
システムのアクション:	接続が終了します。
ユーザの応答:	更新されたライセンスキーを要求するには、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00134	DBAPI エラー。アクセス方式 <i>access_method_desc</i>、アクセス方式番号 <i>access_method_num</i> のロジックモジュールのロード要求が無効です。
説明:	要求されたプラットフォームではサポートされていないアクセス方式を使用しようとしていました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。
PWX-00135	DBAPI エラー。記述子ファイルの入力に失敗しました。
説明:	要求で指定された記述子ファイル名 (filename.dsc) が見つからないか、レコードが含まれていないか、含まれているレコードが無効です。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。

PWX-00136	DBAPI エラー。 <i>field_type</i> から <i>field_type</i> に要求した変換 (テーブル <i>table_name</i> 列 <i>column_name</i> の) が無効です。
説明:	実行できない列属性を変換しようとした。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。
PWX-00137	DBAPI エラー。 CNV 関数ポインタのアドレスを取得できませんでした。
説明:	データを 1 つのフィールドの型から別の型に変換中に内部エラーが発生しました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにエラーの内容と変換で使 用したフィールドの型を連絡してください。
PWX-00138	DBAPI エラー。 CNV が列 <i>column_name</i> 行番号 <i>record_number</i> で失敗しました。
説明:	指定された列、レコード、およびテーブルの値の変換中にエラーが発生 しました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにエラーの内容と変換で使 用したフィールドの型を連絡してください。
PWX-00139	DBAPI エラー。 列 <i>column_name</i> フィールド長 <i>column_length</i> の CNV が長すぎます。
説明:	列の長さが PowerExchange の許容最大長 (現在は 256 バイト) を 超える列のデータを変換しようとした。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。
PWX-00140	DBAPI エラー。 内部 <i>table_action</i> データ処理エラー、ファイ ル <i>table_name</i> 行 <i>record_number</i> 。
説明:	指定されたレコード/テーブル名で、表示されるメッセージのアクシ ョンを実行中に不明なエラーが発生しました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00141	DBAPI エラー。 <i>number_of_errors</i> データ変換エラーが、行 <i>row</i> で開始したブロックの書き込み中に発生しました。
説明:	データソースからのデータを要求された型に変換中に、エラーが発生 しました。

システムのアクション エラーが発生したタスクは終了します。
ン：

ユーザの応答： 無効な行を修正し、要求をもう一度実行します。

PWX-00142 DBAPI エラー。 *number_errors* データ変換エラーが、行 *record_number* で開始したブロックの読み取り中に発生しました。

説明： SQL 文の処理中に、データ変換エラーが発生しました。

システムのアクション エラーが発生したタスクは終了します。
ン：

ユーザの応答： SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。

PWX-00143 DBAPI エラー。書き込み中に変換エラーが発生しました。
理由コード="*reason_code*". データベース="*table_name*".
列="*column_name*". メッセージ="*error_message*".

説明： SQL 文の処理中に、データ変換エラーが発生しました。

システムのアクション エラーが発生したタスクは終了します。
ン：

ユーザの応答： エラーメッセージの内容を確認し、SQL 文を修正して、要求をもう一度実行します。

PWX-00144 DBAPI エラー。読み取り中に変換エラーが発生しました。
理由コード="*reason_code*". データベース="*table_name*".
列="*column_name*". メッセージ="*error_message*".

説明： SQL 文の処理中に、データ変換エラーが発生しました。

システムのアクション エラーが発生したタスクは終了します。
ン：

ユーザの応答： エラーメッセージの内容を確認し、SQL 文を修正して、要求をもう一度実行します。

PWX-00145 DBAPI エラー。行 *record_number* で NULL 以外の出力カラム "*column_name*" に NULL インジケータを設定しました。

説明： 指定した行でカラム名を NULL 値に設定しようとしてしました。カラム定義では、NULL 値は許可されていません。

システムのアクション エラーが発生したタスクは終了します。
ン：

ユーザの応答： SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。

PWX-00146 DBAPI エラー。 *table_name* の内部 PARM UPDATE データ処理エラー。

説明： メッセージで示されているテーブル名の処理中に内部エラーが発生しました。

システムのアクション エラーが発生したタスクは終了します。
ン：

ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにエラーを報告します。そのとき、テーブル名と要求されたユーザーアクションをお知らせください。
PWX-00147	DBAPI エラー。SQL パラメータの変換。戻りコード =<i>return_code</i>。DB="<i>database</i>".列="<i>column</i>".行=<i>row</i>。Msg="<i>メッセージ</i>".
説明：	SQL 文のパラメータに割り当てられた値は無効です。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	エラーメッセージの内容を確認し、SQL 文を修正して、要求をもう一度実行します。
PWX-00148	DBAPI エラー。グループソースの読み取りは、必ず接続レベルで呼び出す必要があります。
説明：	グループソースは、個々のデータソースからではなく接続からのみ読み取ることができます。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00149	DBAPI エラー。グループソース以外の読み取りは、接続レベルで呼び出してはいけません。
説明：	グループソース以外の読み取りは、個々のデータソースから行う必要があります。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00150	DBAPI SEQ ファイル名 "<i>table_name</i>" を開こうとしてエラーが発生しました。理由 <i>reason_code</i><<i>error_message</i>>。
説明：	指定されたファイルまたはテーブルを開いているときにエラーが発生しました。 メッセージテキスト内で: <ul style="list-style-type: none"> • <i>table_name</i> は開かないファイルまたはテーブルの名前です。 • <i>reason_code</i> は PowerExchange のエラーの理由コードです。Linux、UNIX、または Windows プラットフォームの理由コード 0071 はロックエラーの可能性のみを表示します。詳細についてはエラーメッセージを参照します。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。ロックエラーが発生している場合、ロックの理由を確認して除去します。その後、要求をもう一度実行します。

PWX-00151 DBAPI SEQ **ファイル名 *table_name* レコード *record_number* で読み取りエラーが発生しました。**

説明： PowerExchange タスクがテーブルから指定されたレコードを読み取っていたときにエラーが発生しました。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： SQL 文を修正し、読み取り要求をもう一度実行してください。

PWX-00152 DBAPI SEQ **ファイル名 *table_name* のレコード *record_number* で書き込みエラーが発生しました。
number_of_bytes を要求しましたが、実際には *number_of_bytes* が書き込まれました。**

説明： PowerExchange タスクがテーブルに指定されたレコードを書き込んでいたときにエラーが発生しました。要求されたバイト数が、レコードに書き込まれたバイト数と一致しません。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。

PWX-00153 DBAPI SEQ **ファイル名 "*table_name*" のレコード *record_number* で読み取りエラー *error- description* が発生しました。**

説明： PowerExchange タスクがテーブルから指定されたレコードを読み取っていたときにエラーが発生しました。このメッセージにはエラーの説明が表示されます。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。

PWX-00154 DBAPI TXT **ファイル名 *table_name* の行 *record_number*.長さ *record_length* でバッファオーバーフローに達しました。**

説明： レコードには、すべてのデータをファイルに書き込める十分なスペースがありません。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。

PWX-00155 DBAPI TXT **ファイル名 *table_name* の *record_length* の出力レコード長が最大値 *maximum_length* を超えました。**

説明： ファイルのレコード長が PowerExchange で現在サポートされている最大長を超すレコードを書き込もうとしました。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。

PWX-00156	<p>エラー <i>reason_code</i> がファイル "<i>table_name</i>" を開いているときに発生しました。理由: <i><reason></i>。異常コード = <i>abend_code</i>。戻りコード = <i>return_code</i> (<i>xabend_code</i>/<i>xreturn_code</i>)。 <i>cause</i>。</p> <p>説明： 指定されたファイルまたはテーブルを開いているときにエラーが発生しました。</p> <p>メッセージテキスト内で:</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>table_name</i> は開かないファイルまたはテーブルの名前です。 • <i>reason</i> はエラーの理由です。 • <i>abend_code</i> はエラー用の異常終了コードです。 • <i>return_code</i> は PowerExchange のエラーの戻りコードです。 • <i>xabend_code</i> はエラーの 16 進数の異常終了コードです。 • <i>xreturn_code</i> はエラーの 16 進数の戻りです。 • <i>cause</i> はエラーの原因です。 <p>システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。</p> <p>ユーザの応答： SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。</p>
PWX-00157	<p>オブジェクト <i>object_name</i> 型 <i>object_type</i> (ライブラリ <i>object_library</i> 内の) を作成する権限がありません。 <i>authority</i> アクセス権が必要です。</p> <p>説明： PowerExchange タスクを実行しているユーザープロファイルには、オブジェクトの作成権限はありません。</p> <p>システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。</p> <p>ユーザの応答： ユーザープロファイルにテーブルを作成できる正しい権限レベルを与えるか、PowerExchange Listener が動作するユーザープロファイルを、必要な権限をもつプロファイルに変更します。</p>
PWX-00158	<p>SQLGN SQL 列名 <i>column_name</i> は <i>access_method</i> で予約語です。</p> <p>説明： 列名に予約値を指定したテーブルを作成しようとしてしました。</p> <p>システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。</p> <p>ユーザの応答： SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。</p>
PWX-00159	<p>SQLGN SQL 列名 <i>column_name</i> が列の最大長さ <i>maximum_length</i> を超えています。</p> <p>説明： 指定された列名の長さが許容値より長いテーブルを作成しようとしてしました。</p> <p>システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。</p> <p>ユーザの応答： SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。</p>

PWX-00160	SQLGN データベース <i>table_name</i> アクセス方式 <i>access_method</i> で要求した SQL 文字列が無効です。
説明:	ユーザーによって無効な SQL 文が要求されました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。
PWX-00161	SQLGN データベース <i>table_name</i> アクセス方式 <i>access_method</i> で要求した CTL 文字列が無効です。
説明:	ユーザーによって無効な SQL 文が要求されました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。
PWX-00162	SQLGN SQL 不明な列の種類 <i>fnametable_name column_name</i> type <i>column_type</i> です。
説明:	指定されたテーブルの列の種類に無効な値が指定されました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。
PWX-00163	SQLGN <i>mode</i> ファイル <i>table_name</i> の書き込みエラーが発生しました。理由 <i>reason_code</i> 。
説明:	指定されたテーブル名へのレコードの書き込み中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	<i>mode</i> が「CTL」の場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにエラーを報告します。それ以外の場合は、SQL 文を修正し、要求をもう一度実行します。
PWX-00164	DBAPI アクセス方式は、接続 DBCB でのコミット/ロールバックをサポートしていません。
説明:	ターゲットでは、SQL コマンドの COMMIT と ROLLBACK の使用はサポートされていません。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。
PWX-00165	SQLGN <i>mode</i> ファイル <i>table_name</i> を開こうとしてエラーが発生しました。理由 <i>reason_code</i> 。
説明:	ファイルを開いているときにエラーが発生しました。理由コードが表示されます。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	

ユーザの応答：	mode が「CTL」の場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにエラーを報告します。それ以外の場合は、SQL 文を修正し、要求をもう一度実行します。
PWX-00166	DBAPI アクセス方式 <i>access_method</i> の場合、コミット/ロールバックは接続 DBCB 上になければなりません。
説明：	すべてのコミット/ロールバック要求は接続上で実行する必要があります。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00167	SQLGN SQL 長さ <i>statement_length</i> が許容最大長さ <i>maximum_length</i> を超えています。
説明：	PowerExchange の現在の許容長を超える SQL 文を使用しようとしました。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。
PWX-00168	SQLGN SQL 警告 - 作成した列の数 <i>number_created</i> がデータベースの許容最大列数 <i>maximum_allowed</i> を超えています。
説明：	ターゲットデータベースの許容数より多い列数のテーブルを作成しようとしました。
システムのアクション：	タスクは続行されます。
ユーザの応答：	SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。
PWX-00169	DBAPI エラー。このアクセス方式 (<i>access_method</i>) ではグループソースはサポートされていません。
説明：	PowerExchange 内のグループソース機能は、選択したアクセス方式ではサポートされていません。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。DMX ルーチンで 사용됩니다。
PWX-00170	DMX ディレクトリ<<i>directory_name</i>>の作成中に DMX 問題が発生しました。理由 <i>reason_code</i>。
説明：	データマップの詳細処理で使用するディレクトリの作成中にエラーが発生しました。
	メッセージテキスト内で:
	<ul style="list-style-type: none"> • <i>directory_name</i> は作成できないディレクトリの名前です。 • <i>reason_code</i> は PowerExchange のエラーの理由コードです。

システムのアクション エラーが発生したタスクは終了します。

ン：

ユーザの応答： ディレクトリ名を修正し、要求をもう一度実行します。

PWX-00171 DMX **要求名が長すぎます**<datamap_name>。

説明： 指定された名前の長さが PowerExchange で許可されているデータ名マップの最大長を超えています。

システムのアクション エラーが発生したタスクは終了します。

ン：

ユーザの応答： データマップ名を修正し、要求をもう一度実行します。

PWX-00172 DMX **リソースをロックできませんでした。理由コード**
=*reason_code*。

説明： データマップ処理が、必要なデータマップリソースの排他的ロックを取得できませんでした。オブジェクトは、そのリソースにアクセスしている他のユーザーにロックされている可能性があります。

システムのアクション エラーが発生したタスクは終了します。

ン：

ユーザの応答： 要求をもう一度実行して、ロックが削除されたかどうかを確認します。エラーが続く場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに実行したタスクの詳細と理由コードを報告します。

PWX-00173 DMX **レコードは出力データセットにすでに存在しています**

説明： データマップレコードがすでに存在しているため、更新されませんでした。NEW=Y パラメータが指定されませんでした。

システムのアクション データマップは更新されません。

ン：

ユーザの応答： エラーを修正し、要求をもう一度実行します。

PWX-00174 **要求されたストアドプロシージャ *procedure_name* が見つかりませんでした。**

説明： 要求されたストアドプロシージャが、DBMS カタログで見つかりませんでした。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： プロシージャ名のスペルが正しいことを確認して、ストアドプロシージャをもう一度実行します。

PWX-00176 **エラー時に停止カウント *error_count* を超えました**

説明： 要求に対して設定されている「エラー時に停止カウント」を超えました。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00177	<i>_PWXSTATISTICS_ table_name,inserts,updates,deletes,commits,failures,mutates</i>
説明:	このメッセージは、マルチ書き込み接続の統計を表示します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00178	プロセス開始:ジョブ名=jobname、ジョブ ID=jobid、ユーザー=user_ID、 table_name_or_mapname、 file_name
説明:	このメッセージは Netport ジョブのファイル情報を表示します。 注: 一部のオフロード処理では、 <i>table_name_or_mapname</i> が <i>file_name</i> と同じ値に設定されることがあります。この結果は、 <i>table_name_or_mapname</i> の値がメッセージの構築時に使用できない場合に発生します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00179	プロセス終了:ジョブ名=jobname、ジョブ ID=jobid、ユーザー=user_ID、 最高戻りコード=max_rc。
説明:	このメッセージは Netport ジョブの戻りコードを表示します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00180	table_name に対する更新の挿入への変換に失敗しました
説明:	要求された更新を挿入に変換する処理が、ストレージの制約が原因で失敗しました
システムのアクション:	これ以降、更新を挿入に変換しようとしても無視されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00181	table_name カラム column_name に対する更新の挿入への変換に失敗しました。
説明:	要求された更新を挿入に変換する処理が、カラムの制約が原因で失敗しました
システムのアクション:	これ以降、更新を挿入に変換しようとしても無視されます。
ユーザの応答:	更新要求の列データが十分でないため、挿入に変換できません。テーブル内の列が NULL 可能でなく、テーブルが更新文に含まれていないことなどが原因です。
PWX-00182	テーブル table_name が action に失敗しました。列データは拒否ファイル file_name に書き込まれました
説明:	メッセージに示されている指定アクションが、メッセージに示されているテーブルに対して許容エラーとして発生しました。メッセージに示されたファイルにエラーが記録され、処理は続行されます。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-00183	アクセス方式 <i>access_method</i> はストアドプロシージャへの呼び出しをサポートしていません
説明:	要求にストアドプロシージャへの呼び出しが含まれていますが、この要求はストアドプロシージャへの呼び出しをサポートしていないアクセス方法を使用しています。
システムのアクション:	要求は終了します。
ユーザの応答:	ストアドプロシージャへの呼び出しを削除し、要求を再度実行します。
PWX-00184	ディレクトリ <directory_name> の作成中に問題が発生しました。理由: <i>reason</i>。
説明:	指定されたディレクトリの作成時に PowerExchange でエラーが発生しました。このメッセージにはエラーの原因が含まれます。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	ディレクトリ名を修正し、要求をもう一度サブミットします。詳細については、メッセージで示される理由を参照してください。
PWX00185	マップ <i>schema.mapname</i> の最初の行で内部エラーが発生しました。期待値 <i>schema.mapname</i>。想定値 <i>schema.mapname</i>。
説明:	Linux、UNIX、Windows、または IBM i で、ランタイムマップの 1 行目のスキーマおよびマップ名が外部のスキーマおよびマップ名と一致しません。このエラーは、マップが手動で編集された場合に発生する可能性があります。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	DTLUCBRG ユーティリティ、DTLURDMO ユーティリティ、または DTLUI 行テストを使用して、ランタイムマップを再作成してください。
PWX-00186	カラムの合計サイズが <i>size</i> です。配列サイズを <i>old_array_size</i> から <i>new_array_size</i> に削減することで、バッファサイズが <i>old_buffer_size</i> から <i>new_buffer_size</i> に削減されました。最大 <i>max_buffer_size</i>。
説明:	PowerExchange は BLOB または CLOB カラムを処理しています。行内のすべてのカラムの合計サイズに配列サイズを乗じた値が、最大許容メモリを超えました。その結果、PowerExchange が配列サイズの値を削減し、PowerExchange リスナのサブタスクが過度なメモリを使用しないようにしました。
システムのアクション:	この削減された配列サイズで処理は継続します。
ユーザの応答:	この警告を回避するには、より小さな配列サイズを使用して接続を設定します。デフォルトの配列サイズは 25 行です。

PWX-00187	パラメータの合計サイズが <i>size</i> です。配列サイズを <i>old_array_size</i> から <i>new_array_size</i> に削減することで、バッファサイズが <i>old_buffer_size</i> から <i>new_buffer_size</i> に削減されました。最大 <i>max_buffer_size</i>。
説明：	PowerExchange は BLOB または CLOB カラムを処理しています。行内のすべてのパラメータの合計サイズに配列サイズを乗じた値が、最大許容メモリを超えました。その結果、PowerExchange が配列サイズの値を削減し、PowerExchange リスナのサブタスクが過度なメモリを使用しないようにしました。
システムのアクション：	この削減された配列サイズで処理は続きます。
ユーザの応答：	この警告を回避するには、より小さな配列サイズを使用して接続を設定します。デフォルトの配列サイズは 25 行です。
PWX-00188	配列サイズ <i>array_size</i> が変換バッファに対して大きすぎます。このテーブルで許容される最大配列サイズは <i>max_array_size</i> です。
説明：	設定されている配列サイズが大きすぎるため、変換バッファを割り当てることができません。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	このエラーを回避するには、より小さな配列サイズを使用して接続を設定します。詳細については、表示されるメッセージ PWX-00189 を参照してください。配列サイズが指定されていない場合、デフォルトの 25 行になります。
PWX-00189	最大変換バッファは <i>max_buffer_size</i> です。単一の行サイズは <i>row_size</i> です。最も大きな列変換バッファは、"<i>column_name</i>" に対する "<i>largest_column_buffer</i>" です。
説明：	このメッセージはエラーメッセージ PWX-00188 と一緒に表示する情報を示します。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	エラーメッセージ PWX-00188 を参照してください。
PWX-00190	マップ <i>schema.map_name</i> がファイル <i>file_name</i> に存在しません。
説明：	z/OS 上のデータマップまたは抽出マップで、マップファイル内にスキーマおよびマップ名のレコードがありません。データマップまたは抽出マップをロードできません。
システムのアクション：	要求は失敗します。
ユーザの応答：	呼び出し要求で、正しい場所、スキーマ名、マップファイルを指定していることを確認してください。必要に応じて、DTLUCBRG ユーティリティ、DTLURDMO ユーティリティ、または DTLUI 行テストを使用して、ランタイムマップを再作成してください。

PWX-00191 **タイプ *type* (カラム番号 *column_number* カラム名 "*column_name*" テーブル "*table_name*" 場所 "*location*" アクセス方式 *access_method* のタイプ) が無効です。**

説明： テーブルの場所のアクセス方式から無効なカラムの説明を受け取りました。

システムのアクション： 要求は終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00192 **タイプ *type* (パラメータ番号 *parameter_number* カラム名 "*column_name*" テーブル "*table_name*" 場所 "*location*" アクセス方式 *access_method* のタイプ) が無効です。**

説明： テーブルの場所のアクセス方式から無効なカラムの説明を受け取りました。

システムのアクション： 要求は終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00193 **無効な精度? (カラム番号 *column_number* カラム名 "*column_name*" タイプ *type* テーブル "*table_name*" 場所 "*location*" アクセス方式 *access_method* の精度) が無効です。**

説明： テーブルの場所のアクセス方式から無効なカラムの説明を受け取りました。

システムのアクション： 要求は終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00194 **精度 *precision* (パラメータ番号 *parameter_number* カラム名 "*column_name*" タイプ *type* テーブル "*table_name*" 場所 "*location*" アクセス方式 *access_method* の精度) が無効です。**

説明： テーブルの場所のアクセス方式から無効なカラムの説明を受け取りました。

システムのアクション： 要求は終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00195 **無効な長さ? (カラム番号 *column_number* カラム名 "*column_name*" タイプ *type* テーブル "*table_name*" 場所 "*location*" アクセス方式 *access_method* の長さ) が無効です。**

説明： テーブルの場所のアクセス方式から無効なカラムの説明を受け取りました。

システムのアクション： 要求は終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00196 **無効な長さ *length* (パラメータ番号 *parameter_number* カラム名 "*column_name*" タイプ *type* テーブル "*table_name*" 場所 "*location*" アクセス方式 *access_method* の長さ) が無効です。**

説明： テーブルの場所のアクセス方式から無効なカラムの説明を受け取りました。

システムのアクション： 要求は終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00200 **DBAPI 検証エラー - 無効な論理レコード長 *record_length* です。**

説明： 1 より小さいか、現在 PowerExchange でサポートされている最大長より長いレコードが指定されています。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： パラメータを修正し、要求をもう一度実行します。

PWX-00201 **DBAPI 検証エラー-無効な BLKSIZE *block_size* です。**

説明： 指定されたブロックサイズは使用できません。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： パラメータを修正し、要求をもう一度実行します。

PWX-00202 **DBAPI 検証エラー-無効な RECFM *record_format* です。**

説明： 指定されたレコードフォーマットは使用できません。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： パラメータを修正し、要求をもう一度実行します。

PWX-00203 **DBAPI 検証エラー-無効な DB_MODE *mode* です。**

説明： 指定されたモードは使用できません。有効なモードは、READ、WRITE、UPDATE、APPEND、EXECSQL です。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： パラメータを修正し、要求をもう一度実行します。

PWX-00204 **DBAPI 検証エラー-無効な ACCESS_METHOD *access_method* です。**

説明： 指定された *access_method* は使用できません。有効なアクセス方式のリストについては、マニュアルを参照してください。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： パラメータを修正し、要求をもう一度実行します。

PWX-00205 DBAPI **検証エラー - DB NAME が無効です。または *table_name* がありません。**

説明： 指定されたテーブル名が無効です。またはテーブル名が指定されていません。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： パラメータを修正し、要求をもう一度実行します。

PWX-00206 DBAPI **検証エラー-無効な CR_LF スイッチ *switch* です。**

説明： CR_LF パラメータに指定された値は使用できません。有効な値は、C、L、Y です。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： パラメータを修正し、要求をもう一度実行します。

PWX-00207 DBAPI **検証エラー - 配列サイズは、0～*maximum_array_size* でなければなりません。**

説明： 配列サイズパラメータに指定された値は無効です。現在 PowerExchange で使用できる値の範囲は 0～250 です。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： パラメータを修正し、要求をもう一度実行します。

PWX-00208 DBAPI **検証エラー - SQL 文字列に Null 値を指定しました。**

説明： SQL 文に値が指定されませんでした。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。

PWX-00209 DBAPI **検証エラー - SQL 文字列が *MaxSQLLen* バイトを超えています。**

説明： 指定された SQL 文字列の長さが PowerExchange の許容長（32700 バイト）を超えています。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： SQL 文を修正し、もう一度要求を実行します。

PWX-00210 DBAPI **検証エラー - DMX の配列サイズは 1 でなければなりません。**

説明： 配列サイズパラメータに指定された値は無効です。データマップを処理するには、値は 1 でなければなりません。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答：	パラメータを修正し、要求をもう一度実行します。
PWX-00211	DBAPI 検証エラー - ブロックサイズ <i>size_specified</i> が許容最大サイズ <i>maximum_allowed</i> を超えています。
説明：	指定されたブロックサイズが、許容最大値を超えています。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	パラメータを修正し、要求をもう一度実行します。
PWX-00212	DBAPI 検証エラー - ブロックサイズ <i>block_size</i> が論理レコード長 <i>record_length</i> 未満になっています。
説明：	ブロックサイズに、テーブルに指定されたレコード長より小さい値を指定することはできません。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	パラメータを修正し、要求をもう一度実行します。
PWX-00213	DBAPI 検証エラー - ブロックサイズ論理レコード長の組み合わせ <i>block_size/record_length</i> が無効です。
説明：	ブロックサイズとレコード長に指定された値が無効です。ブロックサイズは、レコード長の正確な倍数でなければなりません。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	パラメータを修正し、要求をもう一度実行します。
PWX-00214	DBAPI 検証エラー-無効なファイル名 <i>table_name</i> です。
説明：	テーブル名として指定された値は、処理対象のデータベースには無効です。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	パラメータを修正し、要求をもう一度実行します。
PWX-00215	DBAPI ユーザースペースの作成に失敗しました <i>object_name</i> 戻りコード=<i>reason_code</i>。
説明：	内部使用のオブジェクトの作成中にエラーが検出されました。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、オブジェクト名とエラーメッセージの理由コードをお知らせください。
PWX-00216	DBAPI ユーザースペースの削除に失敗しました <i>object_name</i> RC=<i>reason_code</i>。
説明：	内部使用のオブジェクトの作成中にエラーが検出されました。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、オブジェクト名とエラーメッセージの理由コードをお知らせください。

PWX-00217 DBAPI ライブラリリスト *library_name* 要求に失敗しました
戻りコード=*reason_code*。

説明： 内部使用のオブジェクトの作成中にエラーが検出されました。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、オブジェクト名とエラーメッセージの理由コードをお知らせください。

PWX-00219 関数 *function_name* がエラーコード *error_code* を返しました。

説明： 内部エラーのため、関数を続行することができませんでした。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、オブジェクト名とエラーメッセージの理由コードをお知らせください。

PWX-00220 DYNALLOC に失敗しました。戻りコード=*return_code*。エラーコード=*X'S99error'*。情報コード=*X'S99info'*。ファイル=*file_name*。

説明： オペレーティングシステムは、動的割り当て要求（SVC 99）に失敗しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： 問題を診断するには、ジョブログで他のシステムメッセージを探します。IKJxyyzメッセージについては、『TSO/E Messages』マニュアルを参照してください。SVC 99 ERROR/INFO コードについては、『MVS アセンブラーサービスガイド』を参照してください。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。そのとき、エラーメッセージとパラメータ入力の内容をお知らせください。

PWX-00221 *Additional_message*

説明： 動的割り当て要求（SVC 99）が、オペレーティングシステムまたは内部 API エラーにより失敗しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： 他のメッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。そのとき、エラーメッセージとパラメータ入力の詳細をお知らせください。

PWX-00222 VSAM エラー。呼び出し="*calltype*"。VSAM コード：R15=*R15*
理由=*reason* (*xR15/xreason*)。C=*IO-retcd*。msg。

説明： VSAM エラーが発生しました。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: z/OSのマニュアルで R15 と理由コードを調べてください。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00224 ***file_name* のファイル割り当てモードが *mode1* から *mode2* に変更されました。**

説明: このメッセージは、ファイルのユーザーの入力値やデフォルト値が一貫性チェックに基づいて上書きされたことを示します。

メッセージテキスト内で:

- *file_name* は、割り当てモードが変更されたファイルです。
- *mode1* はデフォルトの割り当てモードです。
- *mode2* は変更された割り当てモードです。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-00225 **ファイル割り当てモード (*mode*) が既存のファイルで矛盾しています**

説明: 既存ファイルの入力パラメータに一貫性エラーがあることを伝えるエラーメッセージです。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: パラメータ入力値を調べるか、事前に割り当てたファイルを削除します。

PWX-00227 **ファイルレコード長 (*length*) は、最大データ長 (*maxlength*) としては短すぎます。**

説明: ファイルが割り当て済みで、レコード長が最大出力データレコードには短すぎます。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: 出力データレコードに十分なレコード長でファイルを割り当て直します。

PWX-00228 **API コードページトランザクションエラー。カラム "*name*"。バッファ長 "*length*"。**

説明: API で実行された指定列のコードページ変換でエラーが発生しました。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: エラーの詳細については、関連するメッセージを参照してください。正しいコードページが使用されていることを調べてください。

PWX-00229	バルクアプリケーション <i>application</i> がコマンドによって停止されました。
説明:	指定されたバルクデータ移動アプリケーションをコマンドが停止しました。このメッセージは通常は、データが部分的に移動されたことを示します。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	アプリケーションが停止された原因を特定します。その後、バルクデータ移動タスクをもう一度実行します。
PWX-00230	LOADLIB が APF 許可されていないため、セキュリティ呼び出しが失敗しました。
説明:	LOADLIB JCL DD 文に関連付けられているライブラリの 1 つが APF 許可されていません。このライブラリには APF 許可が必要です。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡して、すべての関連ライブラリが APF 許可されているか確認します。
PWX-00231	ユーザー ID<<i>user_ID</i>>がサインオン認証 <i>information</i> に失敗しました。
説明:	指定されたユーザー ID のサインオンは受け入れられませんでした。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。ユーザー ID とパスワードが正しいことを確認します。特に、パスワードが最新のもので、スペルが間違っていないことを確認します。戻りコードの形式の拡張情報は PowerExchange ログで使用可能です。
PWX-00232	ユーザー ID<<i>user_ID</i>>にはシーケンシャルファイル <i>file</i> にアクセスする権限がないか、またはファイルが存在しません。
説明:	指定されたユーザー ID のファイルアクセス要求は受け入れられませんでした。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。ファイルが存在する場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにファイルへのアクセス権限を要求します。ファイルが存在しない場合は、ファイルが失われているかどうか、または間違ったファイルを使用していないかどうかを確認します。
PWX-00233	ユーザー ID<<i>user_ID</i>>には NETPORT JCL メンバにアクセスする権限がないか、または DSN が存在しません。
説明:	指定されたユーザー ID のファイルアクセス要求は受け入れられませんでした。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: 問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。NETPORT DD 文と関連付けられているファイルが存在する場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにファイルへのアクセス権限を要求します。ファイルが存在しない場合は、ファイルが失われているかどうか、または間違ったファイルを使用していないかどうかを確認します。

PWX-00234 **ユーザー ID *user_ID* が選択的なサインオン認証に失敗しました。**

説明: 指定されたユーザー ID のアクセス要求は受け入れられませんでした。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: 問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。選択的なサインオン認証は、高度なユーザー ID チェック方法です。この領域でエラーが発生した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、アドバイスを受けてください。その際、すべてのメッセージと NETPORT DD JCL メンバの内容をお知らせください。

PWX-00235 **リスナメインラインでセキュリティサインオフエラーが発生しました。戻りコード=*rc*。**

説明: PowerExchange Listener で、戻りコード (RC) が示すキャッチオールセキュリティエラーが発生しました。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: 問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。非常に深刻な問題と考えられます。SRV トレースをオンに設定して問題を再現し、PowerExchange のログとすべてのメッセージを Informatica グローバルカスタマサポートに送ってください。

PWX-00236 **ユーザー *user* はリスナコンポーネントにアクセスする権限を持っていません。**

説明: ユーザーは PowerExchange Listener コンポーネントにアクセスする権限を持っていません。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: 問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。ライセンスキーが有効か確認します。ライセンスキーが無効であったり、またはライセンスキーが有効であるのに問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00237 **ライセンスキーの期限が切れました。**

説明: 使用中のライセンスキーの期限が切れています。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。ライセンスキーが有効か確認します。ライセンスキーが無効であったり、またはライセンスキーが有効であるのに問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00238 クライアントとサーバーのベンダコードが一致しません。

説明： 「ベンダコード」セクションに関して、クライアントマシンのライセンスキーが、サーバーマシンのキーと一致しません。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。ライセンスキーが有効か確認します。ライセンスキーが無効であったり、またはライセンスキーが有効であるのに問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00239 DDdsn の DSN を解決できません。戻りコード =return_code。

説明： これは、ターゲットのデータセットを指定された JCL DDName への参照によって識別する内部チェック機能です。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。SEC レースをオンに設定して問題を再現し、PowerExchange のログとすべてのメッセージを Informatica グローバルカスタマサポートに送ってください。

PWX-00240 RACF 呼び出しが失敗しました。要求コードが無効です。

説明： 内部の汎用 RACF インタフェースが呼び出されましたが、要求が認識不能のため実行できません。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。SEC レースをオンに設定して問題を再現し、PowerExchange のログとすべてのメッセージを Informatica グローバルカスタマサポートに送ってください。

PWX-00241 RACF セキュリティデシジョンを行えませんでした。

説明： 保護対象のリソースの RACF プロファイルが、PowerExchange と動作可能な方法で定義されていません。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： 非常にまれなケースですが、対応策が必要です。この問題が発生した場合は、SEC トレースをオンに設定して問題を再現し、PowerExchange のログとすべてのメッセージを Informatica グローバルカスタマサポートに送ってください。また、RACF セキュリティ担当者に連絡し、修正を組み込めるようにしてください。

PWX-00242 **指定されたリソースは RACF で保護されていないか、またはクラスがアクティブではありません。**

説明： z/OS ソフトウェアによって、REQUEST=AUTH の要求タイプを指定した RACROUTE インタフェースを使用してリソースにアクセスする、ユーザー権限がチェックされました。このチェックの結果、SAF RC 4 戻りコードと RACF RC 4 戻りコードが返されました。通常の下況下では、これらの戻りコードは現在使用されている RACF またはそれに相当する z/OS セキュリティ機能（ACF2 や Top Secret など）にそのリソースが定義されていないことを意味します。これらの戻りコードは、DBMOVER コンフィギュレーションファイル内の RACF_CLASS パラメータのクラス名のスペルが間違っているか、そのクラスがアクティブでない可能性も示しています。クラス関連の問題が存在すると、すべてのユーザーとリソースの組み合わせのユーザー権限チェックが失敗します。RACROUTE インタフェースから返される戻りコードについての詳細は、『*z/OS Security Server RACROUTE Macro Reference*』を参照してください。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザーの応答： RACF_CLASS パラメータで指定されるクラス内で個別プロファイルまたは汎用プロファイルを使用してリソースが RACF に定義されていることを確認します。デフォルトの RACF_CLASS 値は FACILITY です。リソースが定義されている場合は、RACF のセキュリティ管理者にこのクラスがアクティブであるか確認するよう求めます。

PWX-00243 **ユーザー IDuser_ID はリソース resource へのアクセス（要求=req）が RACF によって許可されていません。**

説明： 指定されたユーザー ID は、引用符内のリソースに指定された要求を行うことを許可されていません。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザーの応答： ユーザー ID を認証する必要がある場合は、自社の RACF セキュリティ担当者に連絡し、RACF 定義の変更を依頼してください。ユーザー ID が認証されない場合は、管理者に他の権限のあるユーザーに実行したいプロセスを再割り当てするよう通知してください。

PWX-00244 **RACF により、ユーザー IDuser_ID のリソース resource へのアクセス（要求=req）が失敗しました。**

説明： 指定されたユーザー ID は、引用符内のリソースに指定された要求を行うことを許可されていません。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザーの応答： ユーザー ID を認証する必要がある場合は、自社の RACF セキュリティ担当者に連絡し、RACF 定義の変更を依頼してください。ユーザー ID が認証されない場合は、管理者に他の権限のあるユーザーに実行したいプロセスを再割り当てするよう通知してください。

PWX-00245	クライアントとサーバーのサイトライセンスが一致しません。
説明：	クライアントマシンのライセンスキーが、サーバーマシンのキーと一致しません。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。ライセンスキーが有効か確認します。ライセンスキーが無効であったり、またはライセンスキーが有効であるのに問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00246	KEY エラー - ライセンスキーが EDP 製品に対して有効ではありません。
説明：	使用しているライセンスキーは、試みた EDP 機能の使用をサポートしていません。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。ライセンスキーが有効か確認します。ライセンスキーが無効であったり、またはライセンスキーが有効であるのに問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00247	KEY エラー-ライセンスキーが PowerExchange 製品に対して有効ではありません。
説明：	使用しているライセンスキーは、ユーザーが試行した PowerExchange 機能の使用をサポートしていません。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。ライセンスキーが有効か確認します。ライセンスキーが無効であったり、またはライセンスキーが有効であるのに問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00248	RACF ユーザーエラー - ユーザー ID が指定されていません
説明：	ユーザー ID が指定されていません。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。ユーザー ID が正しいことを確認してください。
PWX-00250	ホスト名エラー - gethostname()が <i>errnodescription</i> を返しました。
説明：	ルーチン gethostname が TCP/IP スタックからホスト名の取得を試みて失敗しました。
システムのアクション：	処理は終了します。

ユーザの応答： TCP/IP の設定に問題があります。診断情報を Informatica グローバルカスタマサポートに伝え、最高レベルのセキュリティサポートを要求してください。

PWX-00251 **キー検証警告 - gethostname()エラー、戻りコード=errno。**

説明： ルーチン gethostname が TCP/IP スタックからホスト名の取得を試みて失敗しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： TCP/IP の設定に問題があります。診断情報を Informatica グローバルカスタマサポートに伝え、最高レベルのセキュリティサポートを要求してください。

PWX-00252 **ユーザー ID<user>は<required>アクセス権 (<resource>に対する)を持っていません。戻りコード<return_code>。**

説明： 指定されたユーザーのセキュリティの上限を超えました。

メッセージテキスト内で:

- *user* はセキュリティの上限を超えたユーザーです。
- *required* は、必要なアクセスレベルです。
- *resource* はユーザーがアクセスしようとしていたリソースです。
- *return_code* は PowerExchange のエラーの戻りコードです。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： 要求またはユーザーのセキュリティを修正してください。その後、要求をもう一度実行します。

PWX-00253 **<access>の許可を要求しました。関数 *symptom*。**

説明： ユーザーのセキュリティの上限を超えました。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： 要求またはユーザーのセキュリティを修正してください。その後、要求をもう一度実行します。

PWX-00254 **ユーザー ID<user>が選択的なサインオン認証に失敗しました。**

説明： 指定されたユーザー ID のアクセス要求は受け入れられませんでした。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。選択的なサインオン認証は、高度なユーザー ID チェック方法です。この領域でエラーが発生した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、アドバイスを受けてください。すべてのメッセージを提供してください。

PWX-00255	DBAPI 通常の EOF。
説明:	ファイルの終わり (EOF) に達しました。
システムのアクション:	処理は正常に終了します。
ユーザの応答:	関連するメッセージで、エラーがないかどうかをチェックしてください。
PWX-00256	DBAPI レコードが見つかりません。
説明:	要求されたレコードが見つかりませんでした。
システムのアクション:	処理は正常に終了します。
ユーザの応答:	関連するメッセージで、エラーがないかどうかをチェックしてください。
PWX-00257	DBAPI メタデータ修飾子のエスケープ文字 <i>EscapeCharacter</i> は、ワイルドカード文字の前でのみ有効です。
説明:	メタデータの修飾子の解析中に、エスケープ文字が見つかりました。この文字は、後続のワイルドカード文字 (? または *) を通常の文字として処理することを示すために使用します。ワイルドカード以外の文字を前に付けると構文エラーが発生します。
システムのアクション:	API 呼び出しに失敗しました。
ユーザの応答:	API 呼び出しの前に、 <code>pdtdsc_q1</code> に割り当てられている値を調べてください。
PWX-00258	DBAPI アクセス方式 <i>method</i> が無効です。
説明:	指定されたアクセス方式は、データマップを介したアクセスには無効です。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	API 呼び出しの前に、 <code>pdtdsc_accmethod</code> に割り当てられている値をチェックしてください。
PWX-00260	DBAPI エラー。データベースエラーが発生しました。
説明:	データベース API (DBAPI) エラーが発生しました。
システムのアクション:	DBAPI の PowerExchange 呼び出しに失敗しました。
ユーザの応答:	エラーの詳細については、このメッセージと共に発行された他の DBAPI メッセージを参照してください。
PWX-00261	DBAPI エラー。ファイル <i>fname</i> の DB_CLOSE が失敗しました。
説明:	指定されたファイルを閉じるときにエラーが発生しました。詳細または派生的問題については、関連するメッセージを調べてください。

システムのアクション API 呼び出しに失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 詳細については、関連するメッセージを参照してください。 そのユーザーが指定したファイルをその場所から使用できることを確認してください。

PWX-00262 DBAPI エラー。ファイル *fname* の DB_COMMIT が失敗しました。

説明： 指定されたファイルのコミット実行中にエラーが発生しました。

システムのアクション API 呼び出しに失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを参照します。 そのユーザーが指定したファイルをその場所から使用できることを確認してください。

PWX-00263 DBAPI エラー。ファイル *fname* の DB_DELETE が失敗しました。

説明： 指定されたファイルの削除中にエラーが発生しました。

システムのアクション API 呼び出しに失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを参照します。 そのユーザーが指定したファイルをその場所から使用できることを確認してください。

PWX-00264 DBAPI エラー。ファイル *fname* の DB_DESCRIBE が失敗しました。

説明： 指定されたファイルの記述中にエラーが発生しました。

システムのアクション API 呼び出しに失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを参照します。 そのユーザーが指定したファイルをその場所から使用できることを確認してください。

PWX-00265 DBAPI エラー。ファイル *fname* の DB_EXECSQL が失敗しました。

説明： 指定されたファイルでの指定 SQL コマンドの実行中にエラーが発生しました。

システムのアクション API 呼び出しに失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを参照します。 そのユーザーが指定されたファイルをその場所から使用できること、および SQL が有効であることを確認します。

PWX-00266 DBAPI エラー。ファイル *fname* の DB_FINDNEXT が失敗しました。

説明： 指定されたファイルで findnext を実行中にエラーが発生しました。

システムのアクション API 呼び出しに失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを参照します。 そのユーザが指定したファイルをその場所から使用できることを確認してください。

PWX-00267 DBAPI エラー。ファイル *fname* の DB_INSERT が失敗しました。

説明： 指定されたファイルへの挿入中にエラーが発生しました。

システムのアクション API 呼び出しに失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを参照します。 そのユーザが指定したファイルをその場所から使用できることを確認してください。

PWX-00268 DBAPI エラー。ファイル *fname* の DB_OPEN が失敗しました。

説明： 指定されたファイルを開くときにエラーが発生しました。

システムのアクション API 呼び出しに失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを参照します。 そのユーザが指定したファイルをその場所から使用できることを確認してください。

PWX-00269 DBAPI エラー。ファイル *fname* の DB_POINT が失敗しました。

説明： 指定されたファイル内の位置指定中にエラーが発生しました。

システムのアクション API 呼び出しに失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを参照します。 そのユーザが指定したファイルをその場所から使用できることを確認してください。

PWX-00270 DBAPI エラー。ファイル *fname* の DB_PRESENCE が失敗しました。

説明： 指定されたファイルのプレゼンスデータの送受信中にエラーが発生しました。

システムのアクション API 呼び出しに失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを参照します。 そのユーザが指定されたファイルをその場所から使用できること、およびプレゼンストークンが正しいことを確認してください。

PWX-00271 DBAPI エラー。ファイル *fname* の DB_READ が失敗しました。

説明： 指定されたファイルの読み取りに失敗しました。

システムのアクション API 呼び出しに失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを参照します。 そのユーザーが指定したファイルをその場所から使用できることを確認してください。

PWX-00272 DBAPI エラー。ファイル *fname* の DB_READBIN が失敗しました。

説明： 指定されたファイルのバイナリ読み取りに失敗しました。

システムのアクション API 呼び出しに失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを参照します。 そのユーザーが指定したファイルをその場所から使用できることを確認してください。

PWX-00273 DBAPI エラー。ファイル *fname* の DB_ROLLBACK が失敗しました。

説明： 指定されたファイルのロールバックに失敗しました。

システムのアクション API 呼び出しに失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを参照します。 そのユーザーが指定したファイルをその場所から使用できることを確認してください。

PWX-00274 DBAPI エラー。ファイル *fname* の DB_UPDATE が失敗しました。

説明： 指定されたファイルの更新に失敗しました。

システムのアクション API 呼び出しに失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを参照します。 指定されたファイルまたはレコードが存在し、そのユーザーがその場所から使用できることを確認します。

PWX-00275 DBAPI エラー。ファイル *fname* の DB_OPENCURSOR が失敗しました。

説明： 指定されたファイルのカーソルを開くのに失敗しました。

システムのアクション API 呼び出しに失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを参照します。 そのユーザーが指定したファイルをその場所から使用できることを確認してください。

PWX-00276 DBAPI エラー。ファイル *fname* の DB_CLOSECURSOR が失敗しました。

説明： 指定されたファイルのカーソルを閉じるのに失敗しました。

システムのアクション API 呼び出しに失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを参照します。 そのユーザーが指定したファイルをその場所から使用できることを確認してください。

PWX-00277 DBAPI エラー。場所 *location* の DB_OPENCONNECTION が失敗しました。

説明： 指定された場所との接続を開くのに失敗しました。

システムのアクション API 呼び出しに失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを参照します。 ユーザーが指定された場所とデータベースを使用できることを確認してください。

PWX-00278 DBAPI エラー。場所 *location* の DB_CLOSECONNECTION が失敗しました。

説明： 指定された場所との接続を閉じるのに失敗しました。

システムのアクション API 呼び出しに失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを参照します。 ユーザーが指定された場所とデータベースを使用できることを確認してください。

PWX-00300 CNVDT 日付/時刻マスクエラー。

説明： 日付/時刻ルーチンに渡されたマスクは、形式が正しくないか、またはルーチンに渡されませんでした。

システムのアクション システムは呼び出しプログラムに戻りコードとメッセージを送信します。
ン：

ユーザの応答： エラーに関する情報を収集し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00301 CNVDT 日付/時刻/タイムスタンプデータエラー。

説明： 日付/時刻ルーチンに無効な（または空白の）データが渡されました。

システムのアクション システムは呼び出しプログラムに戻りコードとメッセージを送信します。
ン：

ユーザの応答： エラーに関する情報を収集し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00302 CNV 無効なサインインフィールド。

説明： データ変換ルーチンに渡されたデータに含まれているサイン数が多すぎます。

システムのアクション システムは呼び出しプログラムに戻りコードとメッセージを送信します。
ン：

ユーザの応答： エラーに関する情報を収集し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00303 CNV **小数点以下文字数が多すぎます。**

説明： データ変換ルーチンに渡されたデータに含まれている小数点以下の文字数が多すぎます。

システムのアクション： システムは呼び出しプログラムに戻りコードとメッセージを送信します。

ユーザの応答： エラーに関する情報を収集し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00304 CNV **フィールドの小数点以下の数字の数が多すぎます。**

説明： 変換ルーチンに渡されたデータの小数点以下に、「スケール」パラメータの値より多い数字が含まれています。

システムのアクション： システムは呼び出しプログラムに戻りコードとメッセージを送信します。

ユーザの応答： エラーに関する情報を収集し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00305 CNV **フィールドに数字以外のデータが含まれています。**

説明： 変換ルーチンに渡されたデータに、数字以外のデータが含まれていません。

システムのアクション： システムは呼び出しプログラムに戻りコードとメッセージを送信します。

ユーザの応答： エラーに関する情報を収集し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00306 CNV **フィールドの桁数が多すぎます。**

説明： 変換ルーチンに渡されたデータの桁数が、渡された「精度」パラメータで定義された桁数より多すぎます。

システムのアクション： システムは呼び出しプログラムに戻りコードとメッセージを送信します。

ユーザの応答： エラーに関する情報を収集し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00307 CNV **値が大きすぎます。**

説明： 変換ルーチンに渡されたデータが、目的の変換には大きすぎます。

システムのアクション： システムは呼び出しプログラムに戻りコードとメッセージを送信します。

ユーザの応答： エラーに関する情報を収集し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00308 CNV **浮動小数点の指数エラー。**

説明： 変換ルーチンに渡されたデータは指数形式（データで E を検出）ですが、渡されたデータの形式でエラーが検出されました。

システムのアクション:	システムは呼び出しプログラムに戻りコードとメッセージを送信します。
ユーザの応答:	エラーに関する情報を収集し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00309	CNVDT 日付/時刻マスクのサイズと精度が一致しません。
説明:	日付/時刻ルーチンに渡された精度が、マスクのサイズと一致しません。
システムのアクション:	システムは呼び出しプログラムに戻りコードとメッセージを送信します。
ユーザの応答:	エラーに関する情報を収集し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00310	CNVDT 日付/時刻マスクがフィールドの型に一致しません。
説明:	日付/時刻ルーチンに不正なフィールドの型が渡されました。DB2 データの場合、フィールドの型は CHAR または BIN でなければなりません。NATURAL の場合、フィールドの型をパックする必要があります。
システムのアクション:	システムは呼び出しプログラムに戻りコードとメッセージを送信します。
ユーザの応答:	エラーに関する情報を収集し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00311	CNV 無効な入力または出力フィールドのアドレスです
説明:	このメッセージは使用されません。
PWX-00312	CNV 切り捨てエラー。
説明:	出力の精度が低く、変換に渡された数字が入りきらないため、この数字は切り捨てられます。
システムのアクション:	システムは呼び出しプログラムに戻りコードとメッセージを送信します。
ユーザの応答:	エラーに関する情報を収集し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00313	CNV 符号なしフィールドに負の値を指定しようとしました。
説明:	変換ルーチンに負の数字が渡されましたが、出力フィールドは符号なしとして定義されています。
システムのアクション:	システムは呼び出しプログラムに戻りコードとメッセージを送信します。
ユーザの応答:	エラーに関する情報を収集し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00314	CNV タイムスタンプの形式が TOD 形式への変換にとって正しくありません
説明:	変換ルーチンに、CCYY-MM-DD-HH.MI.SS. <i>nnnnnm</i> (文字長 26 文字) の形式でないタイムスタンプが渡されました。

システムのアクション： システムは呼び出しプログラムに戻りコードとメッセージを送信します。

ユーザの応答： エラーに関する情報を収集し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00321 **CMP 不明な型です。**

説明： 比較ルーチンに無効なフィールドの型が渡されました。

システムのアクション： プログラムは、エラーを終了して報告します。

ユーザの応答： フィールドを修正します。 もう一度プログラムを実行します。

PWX-00322 **CMP フィールド型エラー。**

説明： 無効な比較アクションが要求されました。 このエラーは、互換性のない2つのフィールド型を比較しようとしたために発生しました。

システムのアクション： プログラムは、エラーを終了して報告します。

ユーザの応答： 指定した要求を修正します。 もう一度プログラムを実行します。

PWX-00324 **置換文字変換エラー。**

説明： CONVCHAR パラメータで指定された置換文字のパーズ中に、エラーが発生しました。

システムのアクション： プログラムは、エラーを終了して報告します。

ユーザの応答： CONVCHAR 文で指定された文字を修正します。 もう一度プログラムを実行します。

PWX-00331 **タイムスタンプ<timestamp>に無効な数値以外のデータがあります。**

説明： タイムスタンプは、1つ以上の数値以外の値を含んでいるため、無効です。

システムのアクション： プログラムは終了します。

ユーザの応答： タイムスタンプを修正します。

PWX-00332 **タイムスタンプ<time_stamp>に無効な年があります。**

説明： ログレコード内のタイムスタンプに有効でない年の値が含まれています。 年の値は、4桁の数値で表されている必要があります。

システムのアクション： プログラムは終了します。

ユーザの応答： タイムスタンプ内の年の値を修正します。

PWX-00333 **タイムスタンプ<time_stamp>に無効な月があります。**

説明： ログレコード内のタイムスタンプに有効でない月の値が含まれています。 月の値は、01～12の数値で表されている必要があります。

システムのアクション プログラムは終了します。

ン：

ユーザの応答： タイムスタンプの月の値を修正します。

PWX-00334 **タイムスタンプ<time_stamp>に無効な日があります。**

説明： ログレコード内のタイムスタンプに有効でない日の値が含まれています。日の値は 01～31 の数値で表されている必要があります。

システムのアクション プログラムは終了します。

ン：

ユーザの応答： タイムスタンプ内の日の値を修正します。

PWX-00335 **タイムスタンプ<time_stamp>に無効な時間があります。**

説明： ログレコード内のタイムスタンプに有効でない時間の値が含まれています。時間の値は、1～24 の数値で表されている必要があります。

システムのアクション プログラムは終了します。

ン：

ユーザの応答： タイムスタンプの時間の値を修正します。

PWX-00336 **タイムスタンプ<time_stamp>に無効な分があります。**

説明： ログレコード内のタイムスタンプに有効でない分の値が含まれています。分の値は、00～59 の数値で表されている必要があります。

システムのアクション プログラムは終了します。

ン：

ユーザの応答： タイムスタンプの分の値を修正します。

PWX-00337 **タイムスタンプ<time_stamp>に無効な秒があります。**

説明： ログレコード内のタイムスタンプに有効でない秒の値が含まれています。秒の値は 00～59 の数値で表されている必要があります。

システムのアクション プログラムは終了します。

ン：

ユーザの応答： タイムスタンプの秒の値を修正します。

PWX-00338 **タイムスタンプ<time_stamp>に無効なマイクロ秒があります。**

説明： ログレコード内のタイムスタンプに有効でないマイクロ秒の値が含まれています。マイクロ秒値は 000000～999999 の数値で表されている必要があります。

システムのアクション プログラムは終了します。

ン：

ユーザの応答： タイムスタンプのマイクロ秒の値を修正します。

PWX-00350 **OS プログラム名 *program_name* が無効です。**

説明： PowerExchange Listener 下で実行するように要求されたプログラムは無効です。

システムのアクション プログラムは、エラーを終了して報告します。
ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにエラーを報告してください。このとき、実行していたタスクの詳細およびエラーメッセージに示されているプログラム名をお知らせください。

PWX-00351 OS プログラム *program_name* をロードできませんでした。
理由 *reason_code_1/reason_code_2*。

説明： PowerExchange Listener は、指定された要求を実行するプログラムをロードできませんでした。

システムのアクション プログラムは、エラーを終了して報告します。
ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにエラーを報告してください。このとき、実行していたタスクの詳細およびエラーメッセージに示されているプログラム名とエラーコードをお知らせください。

PWX-00352 OS プログラム *program_name* エントリポイント *entry_point* をロードできませんでした。**理由** *reason_code_1/reason_code_2*。

説明： PowerExchange Listener は、要求されたポイントで指定された要求を実行するプログラムをロードできませんでした。

システムのアクション プログラムは、エラーを終了して報告します。
ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに連絡してください。このとき、実行していたタスクの詳細およびエラーメッセージに示されているプログラム名、エントリポイント、エラーコードをお知らせください。

PWX-00353 OS プログラム *program_name* をアンロードできませんでした。**理由** *reason_code_1/reason_code_2*。

説明： PowerExchange Listener は、指定された要求を実行するプログラムをアンロードできませんでした。

システムのアクション プログラムは、エラーを終了して報告します。
ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに連絡してください。このとき、実行していたタスクの詳細およびエラーメッセージに示されているプログラム名とエラーコードをお知らせください。

PWX-00354 OS メッセージ *message* をリポジトリ *message_file* から取得できませんでした。**理由**=*reason_code*。

説明： PowerExchange タスクに前のエラーが発行されました。このタスクでは、エラーに関する詳細な情報を取り出すことができませんでした。

システムのアクション プログラムは、エラーを終了して報告します。
ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに連絡してください。このとき、実行していたタスクの詳細および発行されたメッセージ PWX-00354 に示されているすべての情報をお知らせください。

PWX-00355 **予期しない OS エラー *error*が発生しました。 *details*が返されました。**

説明： 予期しないオペレーティングシステムエラーが検出されました。

システムのアクション： プログラムは、エラーを終了して報告します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに連絡してください。このとき、実行していたタスクの詳細および発行されたメッセージ PWX-00355 に示されているすべての情報をお知らせください。

PWX-00356 ***program*(*PGM)に対する*EXECUTE 権限は使用できません。 QSYGETPH、QSYRLSPH、QWTSETP に*EXECUTE がなければなりません。**

説明： i5/OS システムにおいて、PowerExchange では、セキュリティ要求を正しく処理するには、一部の API に対して特定の権限が必要です。PowerExchange Listener を実行するユーザープロファイルには、これらの権限が提供されていませんでした。

システムのアクション： プログラムは、エラーを終了して報告します。

ユーザの応答： 指定された権限を与えます。もう一度プログラムを実行します。

PWX-00357 **STEPLIB が APF 許可されていなければなりません。**

説明： 特定のセキュリティ機能を実行するには、これらの機能に対する APF 許可が必要です。

システムのアクション： プログラムは、エラーを終了して報告します。

ユーザの応答： PowerExchange ライブラリを APF 許可します。もう一度プログラムを実行します。

PWX-00358 **ログファイル (DTLLOG) への書き込みが許可されていません。**

説明： PowerExchange タスクを実行しているユーザー識別子に、ログファイルに情報を出力する権限がありません。

システムのアクション： プログラムは、エラーを終了して報告します。

ユーザの応答： ユーザープロファイルに PowerExchange ログファイルへの書き込みアクセスを行うために必要な権限を与えるか、PowerExchange タスクを実行するユーザープロファイルを権限のあるプロファイルに変更します。もう一度プログラムを実行します。

PWX-00359	環境変数 DETAIL_HOME が見つかりました。{"ignored" "used"}。代わりに PWX_HOME を使用します。
説明：	環境変数 DETAIL_HOME は現在廃止されていますが、後方互換性のためにサポートされています。PWX_HOME が見つかった場合は、PWX_HOME が優先され、DETAIL_HOME は無視されます。
ユーザの応答：	PWX_HOME が定義されている場合は、環境変数 DETAIL_HOME を削除してください。または DETAIL_HOME を PWX_HOME に変更してください。
PWX-00360	PC_AUTH=Y の場合には、DD DTLLOAD が必要です
説明：	DD がありません。PC_AUTH=Y の設定の場合、PowerExchange Listener は dd dtlload を割り当てなければなりません。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	dtlload dd を用意します。
PWX-00361	PC 認証が初期化に失敗しました。戻りコード=rc
説明：	PC 認証ルーチンが初期化に失敗しました。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	steplib 許可およびインストールをチェックし、必要に応じて Informatica グローバルカスタマサポートに連絡してください。
PWX-00362	PC 認証の終了に失敗しました。戻りコード=rc
説明：	PC 認証ルーチンの終了に失敗しました。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	steplib 許可およびインストールをチェックし、必要に応じて Informatica グローバルカスタマサポートに連絡してください。
PWX-00363	PC 認証が権限の設定に失敗しました。戻りコード=rc
説明：	PC 認証ルーチンが権限の設定に失敗しました。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	steplib 許可およびインストールをチェックし、必要に応じて Informatica グローバルカスタマサポートに連絡してください。
PWX-00365	PC 認証が tasklib を開けませんでした。戻りコード=rc
説明：	PC 認証ルーチンは tasklib を開くことができませんでした。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	DD DTLLOAD が存在することと、データセットが読み取り可能であることを確認します。

PWX-00366	PC 認証が tasklib を終了できませんでした。戻りコード=rc
説明:	PC 認証ルーチンが tasklib を終了できませんでした。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	DD DTLLOAD が存在することと、データセットが読み取り可能であることを確認します。
PWX-00367	PowerExchange ログファイルの書き込みエラー
説明:	PowerExchange ログファイルに書き込みができません。ファイルが一杯になっている可能性があります。
システムのアクション:	プログラムは、エラーを終了して報告します。
ユーザの応答:	環境によって、ファイルをパージするか、またはファイルに割り当てる領域を増やします。もう一度プログラムを実行します。
PWX-00368	PC 認証はこのコンテキストでは許可されていません
説明:	PC 認証ルーチンはこのコンテキストでは許可されていません。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	pc_auth=y を設定せずに実行してください。
PWX-00369	デフォルトの <i>name1</i> ファイル名がオーバーライドされました。
説明:	示されているファイルの標準のデフォルトが、外部のアクションで変更されました
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00370	<i>policy</i> 資格情報ポリシーが配置されています
説明:	CREDENTIALS_CASE 構成ファイルで、STRICT、AUTOMATIC、または DEFAULT の資格情報ポリシーを指定できます。そのパラメータが省略された場合は DEFAULT とみなされ、PowerExchange は従来の動作で処理を続けます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00371	このプラットフォームでの PowerExchange による <i>uid_pwd_processing</i> に対するログオン資格情報
説明:	<p>ホスト OS の機能と PowerExchange 構成ファイルの CREDENTIAL_CASE パラメータ設定値によっては、ユーザー指定のログオン資格情報を PowerExchange で処理できます。</p> <p>メッセージテキスト内で、<i>uid_pwd_processing</i> は、適用された処理です。</p>
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-00400	DBMOVE 一致する列がありません。実行を終了しました。
説明:	データを移動する前のソース列とターゲット列の照合中に、一致する列が見つかりませんでした。
システムのアクション:	DBMOVE コマンドは、データを転送せずに終了します。
ユーザの応答:	ソーステーブルとターゲットテーブルの記述を確認してください。一致しないカラム名はマップできません。GUI を使用して、コマンドセットに MAP 文を作成してください。
PWX-00401	DBMOVE 成功しました。
説明:	指定された DBMOVE コマンド中にエラーは検出されませんでした。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00402	DBMOVE 失敗しました。戻りコード <i>return_code1/return_code2/return_code3</i>。
説明:	DBMOVE コマンドが失敗しました。詳細については、関連するメッセージを参照してください。 メッセージテキスト内で: <ul style="list-style-type: none"> • <i>return_code1</i> は、実行されているアクションを示す PowerExchange のコードです。 • <i>return_code2</i> は、PowerExchange のメッセージコードです。 • <i>return_code3</i> は、基本データベースからのエラーコードの可能性もあります。
システムのアクション:	DBMOVE コマンドの処理は、ロールバックで終了します (該当する場合)。
ユーザの応答:	エラーの詳細については、関連するメッセージを確認します。必要な場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡して戻りコードを伝えてください。
PWX-00403	データベース <i>table_name<location></i>からの読み取り、アクセス方式=<i>access_method</i>、読み取った行数 <i>num_rows</i>、バイト数 <i>num_bytes</i>。
説明:	このメッセージは、完了した DBMOVE コマンドの統計を表示します。 メッセージテキスト内で: <ul style="list-style-type: none"> • <i>table_name</i> はデータソーステーブルの詳細です。 • <i>location</i> はデータソースの場所です。 • <i>access_method</i> はテーブルにアクセスしたときのアクセス方式です。 • <i>num_rows</i> はアクセスした行数です。 • <i>num_bytes</i> はアクセスしたバイト数です。

システムのアクション 処理は終了します。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00404 **データベース *table_name*<*location*>への書き込み、アクセス方式=*access_method*、書き込んだ行数 *num_rows*、バイト数 *num_bytes*。**

説明： このメッセージは、完了した DBMOVE コマンドの統計を表示します。
メッセージテキスト内で：

- *table_name* はデータソーステーブルの詳細です。
- *location* はデータソースの場所です。
- *access_method* はテーブルにアクセスしたときのアクセス方式です。
- *num_rows* はアクセスした行数です。
- *num_bytes* はアクセスしたバイト数です。

システムのアクション 処理は終了します。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00405 **所要時間 *time* 秒、転送速度 *Rate*MB/分。**

説明： 完了した DBMOVE コマンドの統計です。

システムのアクション 処理は終了します。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00406 **所要時間 *time* 秒。**

説明： 完了した DBMOVE コマンドの統計です。

システムのアクション 処理は終了します。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00407 **DBMOVE MVDB ユーザーが終了を要求しました。**

説明： ユーザーは移動要求を終了しました。

システムのアクション システムが移動要求をシャットダウンします。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00408 **DBAPI ファイル *file name* の *number* 個の行を読み取りました、*byte_count_bytes_input application_name*。**

説明： このメッセージは、バルクデータ移動アクティビティのサマリを表示します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00409	DBAPI ファイル <i>file name</i> の number 個の行を読み取りました、<i>statement_type</i>, <i>byte_count</i>, <i>bytes_output</i>。
説明：	このメッセージは、データ移動アクティビティのサマリを表示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00410	MVDB テーブル作成で SQL を生成できませんでした。
説明：	データのターゲットテーブルの自動作成中に、使用する列名がターゲットデータベースでは無効であることが検出されました。列名が長すぎるか、予約語が使用されている可能性があります。
システムのアクション：	DBMOVE はターゲットテーブルを作成せずに終了します。
ユーザの応答：	ソーステーブルの名前を確認し、GUI の MAP 機能を使用して、無効なソース列名から新しい有効な列名にマップしてください。
PWX-00411	ユーザーがデータベース <i>databasename</i> のキャンセルを要求しました。
説明：	データ転送のキャンセル要求が優先されました。
システムのアクション：	システムがデータ転送を終了します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00412	タスクを開始できませんでした。JCL メンバ <i>file_name</i> を開こうとしたときにエラーが発生しました。戻りコード=<i>code1/code2/code3</i>。
説明：	タスクの JCL を含むメンバを開けませんでした。
システムのアクション：	システムでタスク開始要求が拒否されます。
ユーザの応答：	JCL メンバが正しく指定されていることを確認してください。
PWX-00413	タスクを開始できませんでした。INTRDR ファイル <i>file_name</i> を開けませんでした。戻りコード=<i>code1/code2/code3</i>。
説明：	システムは SYSOUT RDR を開けません。
システムのアクション：	システムでタスク開始要求が拒否されます。
ユーザの応答：	z/OS INTRDR 機能を使用できない理由を特定してください。
PWX-00414	タスクを開始できませんでした。Givesocket が失敗しました。戻りコード=<i>code1/code2/code3</i>。
説明：	TCP/IP Givesocket 呼び出しが失敗しました。同時に実行されているジョブが多すぎる可能性があります。
システムのアクション：	システムでタスク開始要求が拒否されます。

ユーザの応答：	ソケット数（z/OS の SYS1.PARMLIB の MAXSOCKETS）が、実行中のジョブ数より少ないことを確認してください。
PWX-00415	タスクを開始できませんでした。ファイルエラー。戻りコード=<i>code1/code2</i>。
説明：	システムは指定されたジョブを開始できませんでした。システムがビジー状態であるか、新しい待機タスクのタイムアウトにより、タスクソケット呼び出しが失敗した可能性があります。
システムのアクション：	システムでタスク開始要求が拒否されます。
ユーザの応答：	システムが空くのを待つか、開始したジョブが JCL エラーによって終了しなかったことを確認してください。
PWX-00416	DBMOVE データベース <i>databasename</i> が失敗しました。
説明：	要求された DBMOVE が失敗しました。
システムのアクション：	システムがタスクを終了します。
ユーザの応答：	関連するエラーメッセージを調べて、DBMOVE が失敗した原因を特定してください。
PWX-00417	ターゲットデータベース <i>table_name</i><<i>location</i>>、アクセス方式=<i>access_method</i>。
説明：	このメッセージは、実行された SQL コマンドに関する情報を表示します。 メッセージテキスト内で： <ul style="list-style-type: none"> • <i>table_name</i> はデータソーステーブルの詳細です。 • <i>location</i> はデータソースの場所です。 • <i>access_method</i> はテーブルにアクセスしたときのアクセス方式です。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00418	DB<i>table_name</i><<i>location</i>> <<i>DBName</i>,<i>DBName2</i>>からの読み取り、アクセス方式=<i>access_method</i> ユーザー ID=<i>userid</i>、最大行=<i>MaxRows</i>、ARRAYSIZE=<i>size</i>、時間=<i>time</i>、読み取った行数 <i>rows</i>、バイト数 <i>bytes</i>。
説明：	このメッセージは、使用されたパラメータなど、DBMOVE コマンドからの拡張統計を表示します。 メッセージテキスト内で： <ul style="list-style-type: none"> • <i>table_name</i> はデータソーステーブルの詳細です。 • <i>location</i> はデータソースの場所です。 • <i>DBName</i> と <i>DBName2</i> は、ソーステーブルからの追加の詳細です。

- `access_method` は、ソースのアクセス方式です。
- `userID` は、テーブルにアクセスしたユーザーのユーザー ID です。
- `MaxRows` は、移動に指定された MAXROWS パラメータです。
- `size` は、配列サイズです（一度に移動される行数）。
- `time` は、dbmove が完了するまでの所要時間です
- `rows` は、読み取られた行の合計数です。
- `bytes` は、読み取られた合計バイト数です。

システムのアクション: 処理は終了します。

ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-00419 **ファイルを開く際にエラーが発生しました。ファイル名=<file_name>、エラー=<error_description>**

説明: PowerExchange が指定されたファイルを開こうとしたときにエラーが発生しました。

システムのアクション: 処理は終了します。

ン:

ユーザの応答: 詳細については、`error_description` を参照してください。

PWX-00420 **メモリ不足のため、ファイル<file_name>の処理を移動できません。**

説明: この移動処理用のメモリ割り当て中に、指定されたファイルにエラーが発生しました。

システムのアクション: システムはエラーメッセージを発行し、処理は終了します。

ン:

ユーザの応答: この問題を解決するには、システムプログラマにお問い合わせください。

PWX-00424 **警告 - コンソールハンドラが予期したとおりに終了しませんでした。**

説明: 移動は正常に終了しましたが、閉じる処理でタイムアウトが発生しました。

システムのアクション: 閉じる処理は中断されます。

ン:

ユーザの応答: システム部門に問い合わせて失敗の原因を特定します。

PWX-00425 **DBMOVE マップエラー。列<column_name>がターゲット<table_name>にありません。**

説明: コマンドセットの MAP 文が異なる場所にあるフィールド名を相関させようとしています。ここでは、宛先フィールドは存在しません。フィールド名とターゲットラベルは識別されます。

システムのアクション: エラーが発生したタスクは終了します。

ン:

ユーザの応答： コマンドセットを変更してターゲットに有効なフィールドを設定します。

PWX-00426 **タスクを開始できませんでした。ジョブがタイムアウトになりました。**

説明： サブミットされた Netport ジョブは、SUBMITTEDTIME パラメータで指定された時間制限内にソケットを取得しませんでした。

システムのアクション： ソケットは PowerExchange Listener によって再取得され、Netport ジョブに対するアクションは発生しません。

ユーザの応答： Netport ジョブが実行を開始せず、サブミットし直さなかった理由を特定してください。システムがビジー状態だった、JCL エラーが発生した、などの理由が考えられます。

PWX-00427 **バージョンが一致しません。ローカル
=version.release.modification、リモート
=version.release.modification**

説明： ローカルプラットフォームの指定されたソフトウェアのバージョンとリモートプラットフォームのバージョンが一致しません。
PowerExchange で通信できるのは、同じバージョンとリリースレベルがインストールされている PowerExchange 間のみです。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： 各プラットフォームにインストールされているソフトウェアが正しいバージョンであることを確認します。

PWX-00428 **Netport ジョブ<listener_node_name>のパスワードの長さは8文字以下にする必要があります。**

説明： 指定された PowerExchange リスナノード名を使用する Netport ジョブのパスワードが長すぎます。そのため、netport ジョブを開始できません。パスワードはソースまたはターゲットの場所に接続するために、PowerCenter®または PowerExchange Client で指定されています。パスワードの長さを9文字以上にすることはできません。パスワードは長くなる可能性があるため、netport ジョブにはサポートされません。

システムのアクション： PowerExchange リスナは再度ソケットを取得しますが、タスクは Netport ジョブに代わってアクションを実行しません。

ユーザの応答： ソースまたはターゲットの場所のクライアントに指定されたセキュリティ資格情報を確認します。例えば、PowerCenter NRDB 接続の属性で指定されたパスワードを確認するか、またはクライアントメッセージ PWX-01251 でレポートされた場所を確認します。また、DBMOVER コンフィギュレーションメンバの NETPORT 文内のレポート JCL のメンバ名が正しいことを確認します。

PWX-00429	JCL メンバ<qualified_member_name>のジョブでは、8 文字を超えるパスワードを使用できません。
説明：	ソースまたはターゲットのメタデータの読み取りのために指定された JCL メンバのジョブは、PowerCenter または PowerExchange クライアントからサブミットされました。ただし、このジョブは使用しているパスワードが長すぎるため、開始していません。JCL ジョブのパスワードの長さを 9 文字以上にすることはできません。パスフレーズは長くなる可能性があるため、JCL ジョブにはサポートされません。
システムのアクション：	PowerExchange リスナは再度ソケットを取得しますが、タスクはこのジョブに代わってアクションを実行しません。
ユーザの応答：	JCL ジョブのセキュリティ資格情報を確認します。パスワードが 8 文字以下であることを確認します。
PWX-00430	内部リーダーの置換後の JCL 行が長すぎます。長さ <i>length</i>、上限 <i>maximum</i>。
説明：	PowerExchange が JCL のシンボリックを置き換えた後、出力 JCL 行が内部 JCL リーダーで使用される 80 文字の制限を超えています。
システムのアクション：	PowerExchange は、ネットポートまたは Db2 ローダージョブを送信しません。
ユーザの応答：	JCL テンプレートファイルを編集して、80 文字の制限を超える行に指定されるシンボリックが少なくなるようにします。80 文字の制限を超えた JCL 行について、メッセージ PWX-00431 などの付随するメッセージを確認してください。
PWX-00431	JCL 入力行 <i>number.value</i>。
説明：	この情報メッセージは、入力 JCL テンプレート行の内容を報告します。メッセージ PWX-00430 などのエラーメッセージが付随します。
システムのアクション：	PowerExchange は、ネットポートまたは Db2 ローダージョブを送信しません。
ユーザの応答：	JCL テンプレートファイルを編集して、ジョブを再送信してください。
PWX-00432	JCL 出力行 <i>number.value</i>。
説明：	この情報メッセージは、出力 JCL テンプレート行の内容を報告します。メッセージ PWX-00430 などのエラーメッセージが付随します。
システムのアクション：	PowerExchange は、ネットポートまたは Db2 ローダージョブを送信しません。
ユーザの応答：	JCL テンプレートファイルを編集して、ジョブを再送信してください。
PWX-00433	JCL 行にはパラメータ <i>parameter</i> が必要ですが、リスナがセキュリティレベル <i>level</i> で実行されています。
説明：	テンプレート JCL には%USER または%PWD シンボリックが含まれていますが、PowerExchange リスナがセキュリティレベル 2 で実行されていないため、ユーザー ID とパスワードの値は空です。

システムのアクション: PowerExchange は、ネットポートまたは Db2 ロードジョブを送信しません。

ユーザの応答: z/OS リスナがセキュリティレベル 2 で実行されていることを確認してください。

PWX-00434 **%PWD 代替パラメータが *position_1* の位置から開始されています。期待される位置 *position_2* (// PASSWORD=%PWD)。**

説明: テンプレート JCL には%PWD シンボリックが含まれていますが、この行は// PASSWORD=%pwd 文を指定していません。PASSWORD キーワードは、位置 4 からスラッシュに続いて開始されている必要があります。%PWD 代替パラメータは位置 13 から開始する必要があります。そうすることで、66 バイトのサイズのパスフレーズを z/OS の 80 バイトの JCL 制限を超えずにネットポート JCL で使用できるようになります。

システムのアクション: PowerExchange は、ネットポートまたは Db2 ロードジョブを送信しません。

ユーザの応答: テンプレート JCL で、PASSWORD キーワードが JOB 文の最後のキーワードであり、位置 4 から始まることを確認してください。

PWX-00435 **PASSWORD が JCL JOB 文の最後のキーワードではありません。**

説明: テンプレート JCL には%PWD シンボリックが含まれていますが、この行は// PASSWORD=%pwd を指定していません。

z/OS の 80 バイトの JCL 制限を超えることなく、66 バイトのサイズのパスフレーズをネットポート JCL で使用できるようにするために、PASSWORD キーワードの後に他のキーワードを続けることはできません。

システムのアクション: PowerExchange は、ネットポートまたは Db2 ロードジョブを送信しません。

ユーザの応答: テンプレート JCL で、PASSWORD キーワードが JOB 文の最後のキーワードであり、位置 4 から始まることを確認してください。

PWX-00501 **PowerExchange Service ユーティリティ。**

説明: このメッセージは、DTLLSTSI コマンドに関するヘルプ情報を表示します。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-00502 **DTLLSTSI [関数][サーバー名][EXE 名][パラメータ][-u ユーザー ID/パスワード] [-q]**

説明: このメッセージは、DTLLSTSI コマンドに関するヘルプ情報を表示します。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-00503	関数 add、delete、stop、start、query、help
説明：	このメッセージは、DTLLSTSI コマンドに関するヘルプ情報を表示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00504	サーバー名 サービスの名前（すべての関数で必須）
説明：	このメッセージは、DTLLSTSI コマンドに関するヘルプ情報を表示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00505	EXE 名 サービス実行ファイルの名前とパス
説明：	このメッセージは、DTLLSTSI コマンドに関するヘルプ情報を表示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00506	（ADD 関数で必須）
説明：	このメッセージは、DTLLSTSI コマンドに関するヘルプ情報を表示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00507	パラメータ サービス実行ファイルに渡すパラメータ
説明：	このメッセージは、DTLLSTSI コマンドに関するヘルプ情報を表示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00508	（ADD 関数でオプション）
説明：	このメッセージは、DTLLSTSI コマンドに関するヘルプ情報を表示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00509	-u userid/pwd ユーザー ID とパスワード（両方とも ADD 関数でオプション）
説明：	このメッセージは、DTLLSTSI コマンドに関するヘルプ情報を表示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00510	-q 問い合わせまたはコンソールメッセージを非表示
説明：	このメッセージは、DTLLSTSI コマンドに関するヘルプ情報を表示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00511	Example1: <i>help_information</i>
説明：	このメッセージは、DTLLSTSI コマンドに関するヘルプ情報を表示します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00512 DTLLSTSI add *PowerExchange_ListenerV:BIN # TLLSTNT*
node1 -u *joe/mypwd-q*

説明： このメッセージは、DTLLSTSI コマンドに関するヘルプ情報を表示します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00513 *PowerExchange_Listener*というサービスを実行ファイル
DTLLSTNT、パラメータで追加します

説明： このメッセージは、DTLLSTSI コマンドに関するヘルプ情報を表示します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00514 node1、ユーザー ID 「joe」、パスワード 「mypwd」、問い合わせまたはコンソールメッセージを非表示で追加します。

説明： このメッセージは、DTLLSTSI コマンドに関するヘルプ情報を表示します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00515 Example2:*help_information*

説明： このメッセージは、DTLLSTSI コマンドに関するヘルプ情報を表示します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00516 DTLLSTSI は"PowerExchange_Listener"を削除します

説明： このメッセージは、DTLLSTSI コマンドに関する情報を表示します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00517 *function* 関数はサポートされていません。

説明： 識別された関数は、現在のコンテキストでは使用できません。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00518 指定したパラメータは正しいですか? (Y/N)

説明： このメッセージで、要求の確認を求められます。

システムのアクション： [N] と入力すると、DTLLSTSI ADD 処理は終了します。

ユーザの応答： パラメータが正しい場合は「Y」を、処理を停止してパラメータを再入力する場合は「N」を入力してください。

PWX-00519 実行中のサービスを削除しますか? (Y/N)

説明： ユーザーに要求の確認を求めます。

システムのアクション： ユーザーが「N」を入力すると、DTLLSTSI コマンドの DELETE 処理は停止されます。

ユーザの応答： 削除要求を確認する場合は「Y」を、削除処理を停止する場合は「N」を入力してください。

PWX-00520 **サービス *service* をサービス名 *name*、パラメータ *parameter*、ユーザー ID *user_ID*、パスワード *pwd* で追加しています。**

説明： このメッセージは現在のアクションを確認します。メッセージテキスト内で:

- *service* は、追加されたサービスです。
- *name* は、サービス名です。
- *parameter* は、サービスに追加されたパラメータです。
- *user_ID* は、サービスを追加しているユーザーのユーザー ID です。
- *pwd* は、ユーザーのパスワードです。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00521 **サービス *name* action OK。**

説明： このメッセージは、指定したサービスに対して要求したアクションが正常に完了したことを確認します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00522 **データベースへのアクセスが拒否されました。戻りコード = *return_code*。**

説明： レジストリ操作でエラーが発生しました。

システムのアクション： PowerExchange Condense 処理は終了します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00523 **ハンドルが無効です。戻りコード = *return_code*。**

説明： 戻りコード *return_code* をレジストリ操作から受け取りました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： 問題を解決し、もう一度実行してください。

PWX-00524 **パラメータが無効です。戻りコード = *return_code*。**

説明： 戻りコード *return_code* をレジストリ操作から受け取りました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： 問題を解決し、もう一度実行してください。

PWX-00525 **サービス名が無効です。戻りコード = *return_code*。**

説明： 戻りコード *return_code* をレジストリ操作から受け取りました。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 問題を解決し、もう一度実行してください。

PWX-00526 **サービス *name* は存在しています。 戻りコード
=*return_code*。**

説明： 戻りコード *return_code* をレジストリ操作から受け取りました。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 問題を解決し、もう一度実行してください。

PWX-00527 **サービスデータベースをロックしました。 戻りコード
=*return_code*。**

説明： 戻りコード *return_code* をレジストリ操作から受け取りました。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 問題を解決し、もう一度実行してください。

PWX-00528 **サービス *name* が存在しません。 戻りコード=*return_code*。**

説明： 戻りコード *return_code* をレジストリ操作から受け取りました。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 問題を解決し、もう一度実行してください。

PWX-00529 **サービス *name* がアクティブではありません。 戻りコード
=*return_code*。**

説明： 戻りコード *return_code* をレジストリ操作から受け取りました。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 問題を解決し、もう一度実行してください。

PWX-00530 **データベースが存在しません。 戻りコード=*return_code*。**

説明： 戻りコード *return_code* をレジストリ操作から受け取りました。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 問題を解決し、もう一度実行してください。

PWX-00531 **呼び出しは Windows でのみ有効です。 戻りコード
=*return_code*。**

説明： 戻りコード *return_code* をレジストリ操作から受け取りました。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 問題を解決し、もう一度実行してください。

PWX-00532	アカウント名が無効です。または存在しません。戻りコード=return_code。
説明：	戻りコード <i>return_code</i> をレジストリ操作から受け取りました。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	問題を解決し、もう一度実行してください。
PWX-00533	不明なエラーです。戻りコード=return_code。
説明：	戻りコード <i>return_code</i> をレジストリ操作から受け取りました。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	問題を解決し、もう一度実行してください。
PWX-00534	サービス <i>name</i> は、現在 <i>state</i> です。
説明：	戻りコード <i>return_code</i> をレジストリ操作から受け取りました。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	問題を解決し、もう一度実行してください。
PWX-00535	指定したサービス EXE 名 <i>name</i> が見つかりません。指定したパスと EXE 名を確認してください。
説明：	指定されたプログラムを追加しようとしていますが、プログラムが見つかりません。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	プログラムの場所が正しいことを確認します。
PWX-00536	依存サービスまたはグループを開始できませんでした。戻りコード=return_code
説明：	戻りコード <i>return_code</i> をレジストリ操作から受け取りました。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	問題を解決し、もう一度実行してください。
PWX-00537	サービスのインスタンスはすでに実行されています。戻りコード=return_code
説明：	戻りコード <i>return_code</i> をレジストリ操作から受け取りました。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	問題を解決し、もう一度実行してください。
PWX-00538	ログオンに失敗したため、サービスが開始されませんでした。戻りコード=return_code
説明：	戻りコード <i>return_code</i> をレジストリ操作から受け取りました。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 問題を解決し、もう一度実行してください。

PWX-00539 TCP/IP **ドメイン名を取得できませんでした。**

説明： ローカルマシンの標準ホスト名の取得中にエラーが発生しました。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： マシンが正しく設定されていることを確認してください。

PWX-00540 **引数の数が正しくありません。使用例についてはヘルプを参照してください。**

説明： コマンドで指定された引数の数が正しくありません。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： コマンドテキストを修正し、もう一度実行します。

PWX-00541 **サービス *name* は実行中です。**

説明： サービスの状態の確認メッセージです。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00542 **サービス *name* は停止しています。**

説明： サービスの状態の確認メッセージです。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00543 DTLLSTNT **エラー *errfunction*、戻りコード=*return_code***

説明： サービス処理中にエラーが発生しました。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： エラーメッセージを調べ、修正後もう一度実行してください。

PWX-00544 **サービス要求がタイムアウトになりました。**

説明： 戻りコード *return_code* をレジストリ操作から受け取りました。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 問題を解決し、もう一度実行してください。

PWX-00545 **リスナウィンドウを作成できませんでした。**

説明： PowerExchange Listener ウィンドウを作成できませんでした。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 十分なマシンリソースを使用できることを確認してください。

PWX-00580	リスナは、接続の受け付けを停止し、閉じられています。
説明：	PowerExchange リスナは CLOSE 要求を受信しました。受信した接続のポーリングを停止し、閉じる処理を開始しました。
システムのアクション：	PowerExchange リスナは閉じる処理を開始します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00581	SMF およびファイル統計タスクを閉じています。
説明：	z/OS で、PowerExchange リスナが SMF とファイル統計サブタスクに CLOSE 要求を送信しました。
システムのアクション：	SMF とファイル統計タスクが閉じ、メッセージ PWX-00582 がログに記録され、PowerExchange リスナの処理が終了します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00582	SMF およびファイル統計タスクが閉じられました。
説明：	z/OS で、SMF およびファイル統計タスクが閉じられました。
システムのアクション：	PowerExchange リスナは次の終了手順を続行します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00583	永続タスクを閉じています。
説明：	z/OS で、PowerExchange リスナが Adabas または IDMS に使用されるアイドル永続タスクに CLOSE 要求を送信しました。
システムのアクション：	永続タスクが閉じ、メッセージ PWX-00584 がログに記録され、PowerExchange リスナの処理が終了します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00584	永続タスクが閉じられました。
説明：	z/OS で、Adabas または IDMS に使用されているアイドル永続タスクが閉じられました。
システムのアクション：	PowerExchange リスナは次の終了手順を続行します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00585	ファイルリスナ統計の書き込みを開始しました。
説明：	PowerExchange リスナが最終統計の書き込みを開始しました。
システムのアクション：	PowerExchange リスナが最終統計を書き込み、メッセージ PWX-00586 がログに記録され、PowerExchange リスナが次の終了手順を続行します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00586	ファイルリスナ統計の書き込みが完了しました。
説明：	PowerExchange リスナが最終統計の書き込みを完了しました。

システムのアクション PowerExchange リスナは次の終了手順を続行します。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00590 **アクティブな *type* コードページは *codepage (description)* です。**

説明： このメッセージは、PowerExchange Listener の起動時に表示されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00591 **タスクがアクティブ=*number*になりました。**

説明： このメッセージは、PowerExchange Listener タスクの処理時に表示され、起動されているタスク数を示します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00592 **警告。IRRSIU00/IRRSUDU00 が未ロード。戻りコード=*return_code*。理由=*reason_code*。SECURITY=2 では Unix サービスにエラーが発生することがあります。**

説明： OS390 で UNIX システムサービスをサポートするモジュールをロードできませんでした。

ユーザの応答： このオプション（OUSP=Y）は、Informatica グローバルカスタマサポートの要求時のみオンになります。Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00593 DTLLST1:IP アドレス:*IPAddresses*

説明： ライセンスキーのチェック中に複数のキーが見つかった場合（マルチホームボックス）に IP アドレスをリストします。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00594 *MessageText*

説明： このメッセージは、PowerExchange Listener の起動時に追加メッセージを表示します。

ユーザの応答： 詳細については、*MessageText* にリストされているメッセージを参照してください。

PWX-00595 *namefile_name* を使用しています

説明： このメッセージは、PowerExchange Listener の起動時に構成ファイルとライセンスキーファイルに使用されるフルネーム *name* と *file_name* を表示します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00596	タスクがアクティブ=<i>number</i>になりました。タスクを開始しています=<i>ports</i>。
説明：	<p>このメッセージは、少なくとも 1 つのタスクがアクティブで、別のタスクが起動中であるときに表示されます。SSL 接続を使用してタスクが起動している間は、SSL_accept() コマンドが完了し、SSL 接続に対するソケットがアップグレードされるまで、PowerExchange Listener ポートはブロックされます。</p> <p>SSL タスクの開始に必要な時間は、ネットワーク、証明書の数、クライアントおよびサーバーマシンの CPU の能力によって異なりますが、数秒かかる場合もあります。</p> <p>メッセージテキスト内で:</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>number</i> はアクティブなタスクの数です。 • <i>ports</i> は起動するタスクのポートです。
システムのアクション：	PowerExchange Listener は、アクティブなタスクの数または起動するタスクの数が増加するときに、別の情報提供メッセージを表示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00597	現在のユーザー領域の割り当ては 64MB 未満です。
説明：	16MB 超、64MB 未満の領域サイズが割り当てられて PowerExchange Listener が開始されました。
システムのアクション：	処理は続きます。シンプルな環境の場合、この領域サイズではタスクの数が制限されることがあります。複雑な環境の場合、この領域サイズではタスクをまったく実行できない可能性があります。
ユーザの応答：	PowerExchange Listener JCL の EXEC 文で REGION パラメータを確認し、もっと多くのメモリが割り当てられるようにこのパラメータを変更することを検討します。使用できるメモリを制限する可能性がある REGION パラメータなどのインストールシステム出口の詳細は、『 <i>z/OS MVS JCL Reference</i> 』を参照してください。
PWX-00598	アクティブな CCSID <i>ccsid_identifier</i> デフォルトの CCSID <i>ccsid_identiferLANGID 'language_identifier'</i>。
説明：	この情報メッセージは、i5/OS で PowerExchange リスナが開始したときに表示されます。これは i5/OS システムで、アクティブおよびデフォルトの文字セット識別子と言語識別子を報告します。
システムのアクション：	処理は続きます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00600	リスナジョブ名は <i>JobName</i> です。
説明：	このメッセージは、PowerExchange Listener の起動時に表示されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。

PWX-00601	コンソールハンドラの初期化に失敗しました。理由コード =<i>reason_code</i>。
説明:	PowerExchange Listener は、z/OS コンソールを開けませんでした。
システムのアクション:	PowerExchange Listener の処理は終了します。
ユーザの応答:	詳細なメッセージについては、システムログを参照してください。 システムプログラマまたは Informatica グローバルカスタマサポート にお問い合わせください。
PWX-00603	リスナ格納領域を取得できませんでした。閉じています。
説明:	PowerExchange Listener は十分なリソースの割り当てに失敗しました。
システムのアクション:	PowerExchange Listener のタスクは終了します。
ユーザの応答:	PowerExchange Listener に十分なシステムリソースがあることを確認してください。
PWX-00604	入力引数の数が無効な <i>number</i> です。
説明:	タスクに設定されて入力引数の数がタスクに適した引数の数と一致しません。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	正しい引数の数を指定して、タスクをもう一度実行してください。
PWX-00605	リスナノード名 <i>Nodeld</i> の長さ=<i>length</i> が長すぎます。
説明:	PowerExchange Listener 起動時に指定する接続ノード名が、許容可能な長さより長すぎます。 ノードの最大長は現在 64 文字です。
システムのアクション:	PowerExchange Listener のタスクは終了します。
ユーザの応答:	PowerExchange Listener に渡される接続ノードの名前を修正し、要求をもう一度実行してください。 PowerExchange 構成ファイルの LISTENER および NODE パラメータの値が許容最大長を超えていないことを確認してください。
PWX-00606	COMMS DLL をロードできませんでした。戻りコード =<i>reason_code</i>。
説明:	PowerExchange Listener は、ソフトウェアのエレメント間の通信を制御するルーチンをロードできませんでした。
システムのアクション:	PowerExchange Listener のタスクは終了します。
ユーザの応答:	PowerExchange Listener のタスクが、付属のマニュアルに従って要求されていることを確認してください。 正しく要求されている場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに問題の解決方法をお問い合わせください。 そのとき、メッセージの理由コードをお知らせください。

PWX-00607	<code>{Listener ECCR}</code> VRM <code>version.release.modification</code> <code>build_identifier</code>が開始されました。
説明:	このメッセージは、z/OS 上で、PowerExchange リスナまたはログベースの ECCR の初期化が実行されたときに発行され、リスナまたは ECCR モジュールのバージョンとビルドを示しています。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00608	リスナは、接続の受け付けを再開しました。
説明:	最大許容値に達していたため、PowerExchange Listener はこれ以上のタスクを受け付けていませんでした。PowerExchange Listener は、前のタスクが完了したため、現在は追加のタスクを受け付けています。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00609	リスナは、接続の受け付けを一時的に停止しました。
説明:	PowerExchange Listener は、サポート可能な最大タスク数に達しました。現在実行中のタスクが完了するまで、今後の接続は無視されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00610	ハンドルが重複しています。戻りコード=<code>reason_code</code> (<code>HexReasonCode</code>)
説明:	PowerExchange Listener が送信したサブタスクを正しく起動できませんでした。
システムのアクション:	PowerExchange Listener が送信したサブタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにメッセージと戻りコードを報告してください。
PWX-00611	プロセスを開始できませんでした。理由コード=<code>reason_code</code> (<code>HexReasonCode</code>)。
説明:	PowerExchange Listener が送信したサブタスクを正しく起動できませんでした。
システムのアクション:	PowerExchange Listener が送信したサブタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにメッセージと戻りコードを報告してください。
PWX-00612	子プロセススペースの作業領域を割り当てられませんでした。
説明:	PowerExchange Listener が送信したタスクを実行するのに十分なシステムリソースがありませんでした。
システムのアクション:	PowerExchange Listener が送信したサブタスクは終了します。
ユーザの応答:	必要な数のタスクを実行するのに十分なシステムリソースがあることを確認し、もう一度実行してください。

PWX-00613	子プロセスを開始できませんでした。スレッドが多すぎます。理由コード=reason_code。
説明:	サブタスクが送信されましたが、同時に実行されているタスクが多すぎます。
システムのアクション:	PowerExchange Listener が送信したサブタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにメッセージと戻りコードを報告してください。
PWX-00614	子プロセスを開始できませんでした。無効な要求です。理由コード=reason_code。
説明:	無効な要求を含むサブタスクが要求されました。
システムのアクション:	PowerExchange Listener が送信したサブタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにメッセージと戻りコードを報告してください。
PWX-00615	子プロセスを開始できませんでした。不明なエラーです。理由コード=reason_code。
説明:	サブタスクの起動中に予期しないエラーが発生しました。
システムのアクション:	PowerExchange Listener が送信したサブタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにメッセージと戻りコードを報告してください。
PWX-00616	プロセスステータスエラー。理由コード=reason_code (HexReasonCode)。
説明:	タスクの終了中に予期しないエラーが発生しました。
システムのアクション:	PowerExchange Listener が送信したサブタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにメッセージと戻りコードを報告してください。
PWX-00617	強制クローズを実行中。
説明:	このメッセージは、PowerExchange Listener のシャットダウン時に表示されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00618	標準クローズを実行中。
説明:	このメッセージは、PowerExchange Listener のシャットダウン時に表示されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-00619	すべてのタスクを閉じました。
説明：	このメッセージは、PowerExchange Listener のシャットダウン時に表示されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00620	<i>NumberOfSeconds</i> が <i>NumberOfTasks</i> 個のタスクを閉じるのを待っています。
説明：	このメッセージは、PowerExchange Listener のシャットダウン時に表示されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00621	<i>NumberOfTasks</i> 個のタスクに対して発行した強制終了がまだ実行中です。
説明：	シャットダウン処理中に、PowerExchange Listener は割り当てられた時間内に処理を完了できなかったサブタスクを終了する必要がありました。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00622	<i>NumberOfTasks</i> 個のタスクが <i>seconds</i> 秒以内に閉じませんでした。
説明：	このメッセージは、PowerExchange Listener のシャットダウン時に表示されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00623	リスナのシャットダウンが完了しました。
説明：	このメッセージは、PowerExchange Listener のシャットダウン時に表示されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00624	リスナノード名 <i>Nodeld</i> が CFG ファイルで見つかりませんでした。
説明：	PowerExchange 構成ファイルにエントリのないノードに対して PowerExchange Listener を起動しようとした。
システムのアクション：	PowerExchange Listener のタスクは終了します。
ユーザの応答：	PowerExchange 構成ファイルの有効なノードを使用して PowerExchange Listener を起動するコマンドを再実行してください。
PWX-00625	リスナ/データマップサーバーが、シグナルハンドラを設定できませんでした。
説明：	PowerExchange Listener またはデータマップサーバータスクは、エラー処理を設定できませんでした
システムのアクション：	タスクは終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにメッセージと戻りコードを報告してください。

PWX-00626 **ジョブ情報を取得できませんでした。理由コード**
=reason_code(HexReasonCode)。

説明： タスクは、実行中のタスクの現在のジョブ情報を取得できませんでした。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにメッセージと戻りコードを報告してください。

PWX-00627 **ユーザーキュー UserQueue を作成できませんでした。理由**
ErrorCode/reason_code

説明： アプリケーションが内部で使用するユーザーキューを作成するプロセスによってエラーが返されました。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにメッセージと戻りコードを報告してください。

PWX-00628 **セキュリティレベル 2 または選択的サインオンは設定されて**
いますが、サインオンテーブルを処理できません。

説明： PowerExchange は、有効な PowerExchange サインオンファイルをロードできませんでした。

PowerExchange サインオンファイルはユーザーに以下を許可します。

- 特定の IP アドレスから PowerExchange システムにサインオンすること。
- Linux、UNIX、および Windows で特定の pwxcmd コマンドを発行すること。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： メッセージの原因を特定するには、一緒に表示されるエラーメッセージを調べます。続いて、サインオンファイルを編集して、構文エラーがあれば修正し、もう一度要求を実行します。

注: 選択的サインオンを無効にするには、DBMOVER コンフィギュレーションファイルの SECURITY 文を編集します。

サインオンファイルおよび選択的サインオンの詳細については、『PowerExchange リファレンスマニュアル』を参照してください。

PWX-00629 **リスナはセキュリティチェックオプションが指定されて開始**
されましたが、必要な環境を確立できません。

説明： タスクの起動中にセキュリティエラーが発生しました。

システムのアクション: タスクは終了します。

ユーザの応答: 詳細については、前に発行されたエラーを参照してください。エラーを修正し、タスクをもう一度実行してください。

PWX-00632 **IP アドレスが無効です。行=LineNumber, IPAddress**

説明: サインオンテーブルのメッセージで示されている行番号で、無効な IP アドレスが検出されました。

システムのアクション: タスクは終了します。

ユーザの応答: サインオンテーブルの IP アドレスを修正し、要求をもう一度実行してください。

PWX-00634 **DTLSGNON - メモリ割り当てに失敗しました**

説明: サインオン処理中に、アプリケーションがメモリを割り当てようとして失敗しました。使用可能なリソース不足のため、この要求は失敗します。

システムのアクション: タスクは終了します。

ユーザの応答: 後で要求をもう一度実行するか、十分なシステムリソースを使用できることを確認してください。

PWX-00639 **アドレス Address ポート port からの接続の受け入れが seconds 秒後にタイムアウトしました**

説明: サブタスクが開始してから最大秒数以内に、サブタスクによる受け入れが完了しなかったため、クライアントアドレスからの接続が失敗しました。SSL 接続の場合、クライアントは SSL_connect() を実行する必要があります。PowerExchange Listener サブタスクは SSL 接続のソケットをアップグレードし、証明書を検証し、SSL_accept() を実行する必要がありますが、その処理が時間内に完了していません。SLL 接続以外の場合は、入力接続の受け入れが 1 最小単位のトランザクションで完了するため問題ありません。

システムのアクション: 入力接続は破棄され、PowerExchange Listener ポートを処理に使用できるようになります。

ユーザの応答: このエラーは、ネットワーク上の問題、または接続を確立しようとするクライアントマシン上の問題が原因になっている場合があります。

PWX-00640 **指定された AuthGroup group_name (ユーザー user_ID に対して) が選択的サインオンテーブルに存在しません。**

説明: ユーザーに指定された認証グループは、選択的サインオンファイルで定義されていません。選択的サインオンファイルは処理できません。

システムのアクション: pwxcmd コマンドは処理できません。

ユーザの応答: 指定されたユーザーに割り当てられた AUTHGROUP が存在し、signon.txt ファイルで正しく指定されていることを確認します。

PWX-00641	ユーザー <i>user_ID</i> は <i>command</i> に対する権限を持っていません
説明:	指定された <code>pwxcmd</code> コマンドは、ユーザーの認証グループに許可されたコマンドのリストにありません。
システムのアクション:	<code>pwxcmd</code> コマンドは処理できません。
ユーザの応答:	<p><code>signon.txt</code> ファイルで、次の情報が正しく指定されていることを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザーが <code>AUTHGROUP</code> 文で指定されている。 • コマンドが <code>AUTHGROUP</code> 文の <code>CMDLIST</code> パラメータでリストされている。
PWX-00642	パスワードを検証するための権限が不十分です (ユーザー ID <i>userid</i> 戻りコード <i>information</i>)。
説明:	指定されたユーザーのパスワードを検証する権限がありませんでした。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	<p>プラットフォームに応じて、次のアクションのいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Linux または UNIX では、必要な権限を与える <code>setup_pwxauth</code> を実行します。 • Windows では、PowerExchange Listener ユーザー ID に「act as part of the operating system」特権が必要になります。
PWX-00643	ユーザー ID <i>userid</i> のパスワードを検証しようとしたときに予期しないエラーが発生しました (戻りコード <i>information</i>)。
説明:	指定されたユーザー ID のパスワードの検証時に予期しないエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00644	使用可能な <i>memory_type</i> のメモリ <i>amount</i> が制限 <i>limit</i> 未満であるため、接続の受け付けが一時停止しました。
説明:	<p>使用可能なメモリが新しいタスクを開始するには不十分であるため、z/OS 上の PowerExchange Listener は新しい接続を受け入れることができません。PowerExchange では、新しいタスクを開始するために、50 MB 以上の拡張ストレージまたは設定パラメータ <code>JOB_START_MINIMUM_MEMORY_MB</code> で指定された量、および 128 KB の境界未満のメモリが必要です。</p>
システムのアクション:	PowerExchange Listener は、メモリが使用可能になるまで待機してから新しい接続を受け入れます。

ユーザの応答： ワークロードに適した JCL REGION サイズを設定します。
 PWX-00647 の *memory_available* の量に従って、領域サイズを最大値に設定することをお勧めします。

PWX-00645 **リスナ"Job Name"は REGION=*JCL region size*M、最大 *maximum_megabytes*M、利用可能 *available_megabytes*M、MAXTASKS *maximum_tasks* で開始されました。**

説明： z/OS システム上の PowerExchange Listener の起動時に、このメッセージは JCL 領域サイズとメモリ統計を示します。PowerExchange は、ローカルデータ領域（LDA）DSECT から情報を読み取ります。実際の領域サイズは LDAREGRQ フィールドから取得され、最大サイズは LDAESIZA フィールドから取得されます。これらの値は、JCL 領域と IEFUSI 出口（設定されている場合）の影響を受けます。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： アクションは必要ありません。メモリの問題が発生した場合は、ワークロードに適した JCL REGION サイズを設定して、LSQA の不足を防ぐことができます。PWX-00647 の *memory_available* の量に従って、領域サイズを最大値に設定することをお勧めします。

PWX-00646 **境界未満のメモリ(KB 単位)。制限 *memory_limit*。使用可能 *memory_available*。**

説明： z/OS システム上の PowerExchange Listener の起動時に、このメッセージは、16 MB の境界未満のメモリ制限と使用可能なメモリを示します。メモリ制限は最大 9412 KB で、その場合の使用可能なメモリ値は約 714 KB です。IEFUSI 出口を設定すると、使用可能なメモリが減少する可能性があります。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00647 **境界を超える拡張メモリ(MB 単位)。制限 *memory_limit*。使用可能 *memory_available*。**

説明： z/OS システム上の PowerExchange Listener の起動時に、このメッセージは、16 MB の境界を超えるメモリ制限と使用可能なメモリを示します。PowerExchange は、ローカルデータ領域（LDA）DSECT から情報を読み取ります。メモリ制限は LDAREGRQ フィールドから取得され、使用可能な空きメモリは LDAELOAL フィールドから取得されます。

システムのアクション： 処理は継続します。タスクの開始に使用できるメモリが不足している場合、Listener は受信した接続の受け入れを停止します。

ユーザの応答： アクションは必要ありません。メモリの問題が発生した場合は、ワークロードに適した JCL REGION サイズを設定して、LSQA の不足を防ぐことができます。LSQA の不足を防ぐために、領域サイズを PWX-00647 の *memory_available* の量の最大値から 80 MB を差し引いた値に設定することをお勧めします。例えば、*memory_available* が 1580M の場合は、REGION=1500M をお勧めします。

PWX-00648	JCL REGION= <i>region_size_1M</i> は REGION= <i>region_size_2M</i> ま で増やすことができます (最大タスク <i>tasks</i> の場合)。
説明:	z/OS システム上の PowerExchange Listener の起動時に、この警告 メッセージは JCL 領域サイズを示し、タスクの最大数が既存の領域 サイズで開始できる数を超えているため、サイズを増やすことを提案 します。これらの値は、JCL 領域と IEFUSI 出口 (設定されている場 合) の影響を受けます。
システムのアクション:	処理は継続します。タスクの開始に使用できるメモリが不足している 場合、Listener は受信した接続の受け入れを停止します。
ユーザの応答:	ワークロードに対応し、LSQA の不足を防ぐために、提案に従って JCL REGION サイズを増やすことを検討してください。
PWX-00649	警告。REGION=0M は、LSQA の不足を引き起こす可能性があ ります。
説明:	z/OS システム上の PowerExchange Listener の起動時に、この警告 は、JCL 領域サイズがゼロに設定されているため、アプリケーション のプライベートメモリが領域全体を使用できることを示します。
システムのアクション:	処理は継続します。
システムのアクション:	処理は継続します。タスクの開始に使用できるメモリが不足している 場合、Listener は受信した接続の受け入れを停止します。
ユーザの応答:	ワークロードに対応し、LSQA の不足を防ぐために、JCL REGION サ イズを増やすことを検討してください。
PWX-00650	<i>subtask_ipaddress-port_number</i> : リスナ <i>initiator_task_ipaddress</i> → ポート <i>port_number</i> 上の <i>LISTENER_ipaddress</i> ソケット <i>socket_number</i>
説明:	PowerExchange リスナは、SSL 用に構成されていないソケットで接 続要求を検出すると、このメッセージを発行します。
	メッセージの説明
	<ul style="list-style-type: none"> • <i>subtask_ipaddress-port_number</i> は、起動時に生成された PowerExchange Listener サブタスクの IP アドレスとポート番号 です。IPv4 を使用する場合、形式は <i>ipaddress:port</i> です。IPv6 を使用する場合、形式は <i>ipaddress-port</i> です。 • <i>initiator_task_ipaddress</i> は、PowerExchange Listener に起動 を要求したタスクの IP アドレスです。 • <i>LISTENER_ipaddress</i> は、LISTENER 文で指定される、 PowerExchange Listener の IP アドレスです。 • <i>port_number</i> は、PowerExchange Listener が起動要求の受け取 りに使用したポートを示します。 • <i>socket_number</i> は、PowerExchange Listener が起動要求の受け 取りに使用したソケットを示します。
システムのアクション:	起動処理は続行されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-00651	リスナ <i>Listener</i> はポート <i>portnumberSSL-on</i> をポーリングしています。
説明:	これは、起動処理中に PowerExchange Listener が発行する情報メッセージです。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00652	<i>i:TCP/IP TCPVerb</i> エラー。戻りコード=<i>ErrorCode</i>、理由 <<i>Message</i>>
説明:	TCP/IP 処理時に、エラーが発生しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	報告された通信エラーを修正し、要求をもう一度実行してください。
PWX-00653	TCPIP 入力を待っているときにオペレータのクローズ要求を検出しました。
説明:	ネットワークを介したデータ転送中に、ユーザーがタスク停止要求を入力しました。このメッセージは情報としてのみ送信されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00654	TCPIP ロードモジュール <i>DTLNETsuffix</i> を使用しています。
説明:	TCP/IP アクセスは、指定された DTLNET ロードモジュールで実行されています
ユーザの応答:	z/OS では、パラメータ TCPIPVER が省略されている場合、TCP/IP アクセスはロードモジュール DTLNET によって実行されます。パラメータ TCPIPVER が 2 に設定されている場合、ロードモジュール DTLNET2 が使用されます。パラメータ TCPIPVER が 3 に設定されている場合、ロードモジュール DTLNET3 が使用されます。
PWX-00655	TCPIP ソケット統計:書き込み可能 <i>Writable_Select_count</i> を選択、ゼロバイト送信 <i>sends_with_zero_bytes</i>、戻りコード -1 <i>send_return_code_-1</i>、送信成功回数 <i>successful_sends</i>、送信試行回数 <i>attempted_sends</i>
説明:	このメッセージは、TCPIP 統計メッセージを表示し、Informatica グローバルカスタマサポートのみで使用されます。このメッセージは、ネットワークに制約があることを示すものではありません。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00656	ポート <i>port</i> は SSL モードで動作しています
説明:	これは、起動処理中に PowerExchange Listener が発行する情報メッセージです。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-00657 *connection_ID: operation* 中に TCPIP エラーが検出されました。接続は終了しました

説明： 指定された操作中に TCP/IP のエラーが検出されました。指定された接続が終了します。

通常この状況は、ネットワーク障害または通信の片側が消失することによって生じます。

システムのアクション： 接続が終了します。

ユーザの応答： セッション終了の理由を判断し、エラーを修正します。

PWX-00661 REGION=*region_sizeM* が大きすぎます。最大値は *max_region_sizeM* です。

説明： z/OS システム上の PowerExchange Listener の起動時に、このメッセージは、JCL 領域サイズの設定が大きすぎることを警告します。このメッセージは最大許容値を示します (LDALDAESIZA フィールドから取得)。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： JCL 領域サイズを、最大値を超えない範囲でワークロードに対応し、LSQA の不足を防ぐ値に設定します。

PWX-00662 使用された実行メモリの末尾。境界未満 *memoryK*、拡張 *extended_memoryK*、タスク *tasks*。

説明： z/OS システム上の PowerExchange Listener の停止時に、このメッセージは、現在のジョブで使用されたメモリの最大値と完了したタスクの数を報告します。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： アクションは必要ありません。

PWX-00663 ステップ初期化出口 IEFUSI に *memory_limit* バイトの制限が設定されています。

説明： LDA フィールド LDAESMFL と LDAELIM の値は同じです。これは、IEFUSI 出口が使用され、領域メモリを制限できることを示しています。LDAESMFL の値が無制限の場合、IEFUSI 出口は使用されません。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： アクションは必要ありません。

PWX-00665 IBMIMSGQ

説明： IBMIMSGQ キーワード。

システムのアクション： なし。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00670	リスナのセキュリティプロファイルを格納できません。
説明:	ユーザープロファイル情報の確認中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	詳細については、タスクに対して前に発行されたメッセージを参照してください。
PWX-00671	リスナのセキュリティプロファイルを復元できません。
説明:	ユーザープロファイル情報の確認中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	詳細については、タスクに対して前に発行されたメッセージを参照してください。
PWX-00673	セキュアな接続を開始します。ポート <i>port_number</i>、クライアントマシン <i>client_name</i>。
説明:	この情報メッセージは、z/OS 上の PowerExchange リスナが新しいセキュア接続の要求を検出したときにログに記録されます。パケットは交換されておらず、接続を確立するための TLS ハンドシェイクは完了していません。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00674	セキュリティで保護された接続が承認されませんでした <i>information</i>。
説明:	セキュリティで保護された接続の要求が承認されませんでしたこのメッセージ情報は、プロセスがクライアントプロセスまたはサーバープロセスであるか、およびピア証明書が検証されているかどうかを示します。Linux、Unix、Windows、および IBM i マシンなどでは、拒否された接続に関する情報は通常、メッセージ PWX-00674 ではなく PWX-31046 や PWX-31070 などのメッセージでログに記録されます。
システムのアクション:	タスクは開始されません。
ユーザの応答:	エラーの原因を特定するには、次の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> クライアントで、プロトコル、暗号、および証明書に関するメッセージを探します。プロトコル、暗号、証明書が有効であることを確認します。 クライアントマシンの DBMOVER 構成ファイルの NODE 文が正しく構成されていることを確認します。 IBM i V7R2 マシンに接続するクライアントの場合、クライアントが TLSV1.2 を使用していることを確認してください。

- TCP/IP ジョブの印刷ファイル、JESMSG LG、または UNIX の syslog で AT-TLS のエラーコードを探します。エラーコードの詳細については、IBM の『暗号化サービスシステムの *Secure Sockets Layer* プログラミングガイド』を参照してください。次に、ポートを制御する AT-TLS ポリシールールを確認します。

PWX-00675 **セキュリティで保護された接続が承認されました。プロトコル *protocol*、暗号 *cipher*、セキュリティタイプ *security_type*。**

説明： セキュリティで保護された接続の要求が承認されました。このメッセージには、プロトコル、暗号、セキュリティタイプ、および z/OS では AT-TLS ルール名が含まれます。セキュリティタイプは、プロセスがクライアントプロセスまたはサーバープロセスであるか、およびピア証明書が検証されているかどうかを示します。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00680 **コマンド *command_text* を受信しました**

説明： DBMOVE コマンドサブタスクがコマンドを受信しました。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00681 **コマンドが無効です**

説明： DBMOVE コマンドが無効でした。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00682 **受け付けたコマンド：**

説明： DBMOVE コマンドサブタスクのヘルプの 1 行目です。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00683 **C、CLOSE または STOP - DBMOVE を停止します**

説明： DBMOVE コマンド構文。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00684 **D または DIS - 現在読み取ったレコードの数を表示します**

説明： DBMOVE コマンド構文。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00685 **H または HELP - このヘルプ構文を表示します**

説明： DBMOVE コマンド構文。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00690 **読み取ったレコード数=*number_of_records_read***

説明： DBMOVE コマンドサブタスクは、読み取ったレコード数を報告しています。

ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00700	MTF 不明なエラー。
説明：	PowerExchange Listener サブタスクの起動に失敗しました。
システムのアクション：	PowerExchange Listener は一時的に停止し、新しい接続を受け入れます。
ユーザの応答：	システムログに原因を示す他のメッセージがないか調べてください。 Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00701	MTF スレッドの上限を超えました。
説明：	PowerExchange Listener サブタスクの起動に失敗しました。
システムのアクション：	PowerExchange Listener は一時的に停止し、新しい接続を受け入れます。
ユーザの応答：	DBMOVER ファイルの MAXTASKS パラメータを増やし、 PowerExchange Listener をリスタートしてください。
PWX-00702	MTF サブタスクが異常終了しました
説明：	PowerExchange Listener サブタスクの起動に失敗しました。
システムのアクション：	PowerExchange Listener は一時的に停止し、新しい接続を受け入れます。
ユーザの応答：	ログで他のメッセージを調べてください。
PWX-00703	MTF アクティブではありません。
説明：	PowerExchange Listener のサブタスクを起動しようとしたが、 マルチタスキング環境がアクティブではないため失敗しました。
システムのアクション：	PowerExchange Listener は一時的に停止し、新しい接続を受け入れます。
ユーザの応答：	ログで他のメッセージを調べてください。 Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00704	MTF プログラムのリンケージが不正です。
説明：	PowerExchange Listener サブタスクの起動に失敗しました。
システムのアクション：	PowerExchange Listener は一時的に停止し、新しい接続を受け入れます。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00705	MTF 無効なタスク ID です。
説明：	PowerExchange Listener サブタスクの起動に失敗しました。
システムのアクション：	PowerExchange Listener は一時的に停止し、新しい接続を受け入れます。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00706	MTF 関数が見つかりませんでした。
説明：	PowerExchange Listener サブタスクの起動に失敗しました。

システムのアクション: PowerExchange Listener は一時的に停止し、新しい接続を受け入れます。

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00707 **MTF メモリ不足です。**

説明: PowerExchange Listener サブタスクの起動に失敗しました。

システムのアクション: PowerExchange Listener は一時的に停止し、新しい接続を受け入れます。

ユーザの応答: PowerExchange Listener の領域サイズを大きくして、PowerExchange Listener をリスタートしてください。

PWX-00708 **MTF プログラム *program_name* 用に初期化できませんでした。理由コード *reason*。**

説明: PowerExchange Listener のサブタスクをサポートするように MTF 環境を初期化できませんでした。

システムのアクション: PowerExchange Listener が終了します。

ユーザの応答: システムログで詳細なメッセージを調べ、z/OS システムプログラマまたは Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00709 ***number*個の休止中の TCB**

説明: このメッセージは、非アクティブな永続待機 TCB の数をレポートします。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-00710 **プログラム *program* の接続に失敗しました。戻りコード =*reason_code***

説明: サブタスクの初期化中に予期しないエラーが発生しました。

システムのアクション: タスクは終了します。

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートにメッセージと戻りコードを報告してください。

PWX-00711 **アクティブなタスク:**

説明: これは、アクティブなタスクの報告を補足するために内部プロセスで使用される情報メッセージです。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-00712

first_field=value、*パートナー=partner_address*、*ポート=port_number*、*PwrCntrSess=session_name*、*アプリケーション=application_ID*、*ステータス=status*、*AM=access_method*、*モード=mode*、*プロセス=process_name*、*SessId=session_ID*

説明：

このメッセージは、PowerExchange リスナに関連付けられたタスクのステータスを示します。メッセージテキストには、次のフィールドが含まれます。

- *first_field* は、システムタイプによって異なります。
 - z/OS と Windows では、[タスク] フィールドはタスク ID を示すか、(z/OS の Adabas、Datacom、または IDMS ソースの場合のみ) タスクが永続待機状態のときに値 "dormant" を表示します。タスクは永続待機状態の可能性があり得ます。理由は、PowerExchange がデータベースインタフェースのみを一度初期化して再利用することで、何度も初期化されないようにしたり、PowerExchange でロードまたは割り当てが行われるルーチンとメモリが、タスクが存在する限り、保持されるようにしたりするためです。
 - Linux と UNIX では、PID フィールドがプロセス ID を示します。
 - i5/OS では、JobName フィールドが i5/OS ジョブ番号を示します。
- Partner。PowerExchange の接続先で、タスクの作成元であるマシンの TCP/IP アドレスを示します。
- Port。接続された TCP/IP ポートのポート番号を示します。
- PwrCntrSess。PowerCenter セッションに対して作成された PowerExchange タスクの場合、次の形式でセッション名を示します。 *integration_service/workflow_name/session_name* そうでない場合は、"N/A" を示します。
- Application。CDC セッションの場合、PWXPCL アプリケーション接続における **【アプリケーション名】** 属性の値を示します。そうでない場合は、"N/A" を示します。
- Status。次のいずれかの値のタスクステータスを示します。Active、STOPTASK acknowledged、STOPTASK set。または、z/OS タスクに関して [タスク] =dormant である場合、PW (永続的な待機)。
- AM。タスクの PowerExchange アクセス方式を示します。
- Mode。次のいずれかの要求モードを示します。Append、Exec、Read、Write、Update、または Unknown。
- Process。利用可能である場合は、PowerExchange タスクのプロセス名を示します。
- SessId。利用可能である場合は、DTLSESSID SQL エスケープシーケンスの値を示します。

ユーザの応答：

対応する必要はありません。

PWX-00713

number 個のアクティブなタスク

説明：

この情報メッセージは、内部プロセスのアクティブなタスクの数を報告します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00714 **コマンド *Parameter1 Parameter2* コマンドを無視しました。
理由:メッセージ**

説明： 入力されたコマンドは、エラーが検出されたため無視されました。

システムのアクション： PowerExchange はコマンドを無視します。

ユーザの応答： コマンドを修正し、要求をもう一度実行します。

PWX-00715 **Command *Parameter1 Parameter2* 正常に処理しました**

説明： これは、ユーザーが入力したコマンドが正常に処理されたことを伝える情報メッセージです。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00720 **PWX が異常終了しました。シグナル *signal*、異常終了コード *abend_code*、理由コード *reason_code***

説明： サブタスクで予期しないエラーが発生しました。

システムのアクション： サブタスクが終了します。

ユーザの応答： エラーの原因を正し、要求をもう一度実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00721 **ユーザーは TASK_CTRL 関数 *task_control* リソース *resource* アクセス *access* が許可されていません。**

説明： これは、セキュリティメッセージでサポートされている必要があります。

システムのアクション： PowerExchange は要求を終了し、制御を呼び出し元のプログラムに返します。PowerExchange はセキュリティメッセージも記録します。

ユーザの応答： 要求またはユーザーのセキュリティを修正してください。その後、要求をもう一度実行します。

PWX-00722 **コマンド<*command_name*>が失敗しました。dtlamutl は OPEN で *return_code* を返しました**

説明： 指定されたコマンドは指定された戻りコードで失敗しました。

システムのアクション： PowerExchange は要求を終了し、制御を呼び出し元のプログラムに返します。

ユーザの応答： 要求を修正してください。その後、要求をもう一度実行します。

PWX-00723 **コマンド<*command_name*>が成功しました**

説明： 指定されたコマンドは正常に実行されました。

システムのアクション： PowerExchange は要求を終了し、制御を呼び出し元のプログラムに返します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00724	コマンド<command_name>が失敗しました。dtlamutl は EXECSQL で rc を返しました
説明:	指定されたコマンドは指定された戻りコードで失敗しました。
システムのアクション:	要求は終了し、制御が戻されます。
ユーザの応答:	要求を修正してください。その後、要求をもう一度実行します。
PWX-00725	割り当て:DDN=<DD_name> DSN=<data_set_name>
説明:	このメッセージは、割り当てられたデータセットを表示します。
システムのアクション:	PowerExchange は要求を終了し、制御を呼び出し元のプログラムに返します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00726	閉じる
説明:	PowerExchange Listener が CLOSE コマンドを受け取りました。
システムのアクション:	PowerExchange が要求を処理します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00727	FORCE をクローズします
説明:	PowerExchange Listener が CLOSE FORCE コマンドを受け取りました。
システムのアクション:	PowerExchange が要求を処理します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00728	input_field に指定された長さの値 length が、最大長である maximum_length を超えています。
説明:	PowerExchange Listener が、入力フィールドが許可されている最大長を超えている要求を受け取りました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	値を修正します。その後、要求をもう一度実行します。
PWX-00729	ユーザー ID=userid、クライアント=clientid、ファイル=capture_registration_file_name、テーブル=table_name、DB=database_name
説明:	このメッセージは、アクティブな PowerExchange リスナタスクに関する情報を示します。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-00730	コードページファイル名が長すぎます <i>file_name</i>
説明:	PowerExchange 構成ファイルで記述された外部コードページファイル名が長すぎます。完全修飾ファイル名は、512 バイト未満でなければなりません。
システムのアクション:	PowerExchange はエラーコードとメッセージを返し、異常終了します。
ユーザの応答:	完全修飾コードページ名を変更し、512 バイト未満であることを確認してください。
PWX-00731	コードページファイル <i>file_name</i> を開けません
説明:	PowerExchange は、外部コードページファイルを開けませんでした。
システムのアクション:	PowerExchange はエラーコードとメッセージを返し、異常終了します。
ユーザの応答:	PowerExchange 構成ファイルに入力した完全修飾外部コードページファイル名が入力されたとおりに存在することを確認してください。上記を行った後で、要求をサブミットし直します。
PWX-00732	次のコードページファイルの読み取り中にエラー <i>error_code</i> が発生しました: <i>file_name</i>
説明:	PowerExchange で、コードページファイルの読み取り中に問題が発生しました。エラーコード <i>error_code</i> とコードページファイル名 <i>file_name</i> も返されます。
システムのアクション:	PowerExchange はエラーコードとメッセージを返し、異常終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートでさらに調査できるようエラーの詳細を報告してください。
PWX-00733	無効な文字 <i>character</i> がコードページファイル <i>file_name</i>、行 <i>line_number</i> にあります
説明:	コードページファイルで無効な文字が検出されました。
システムのアクション:	PowerExchange はエラーコードとメッセージを返し、異常終了します。
ユーザの応答:	コードページファイルの文字は 2 つの有効な 16 進文字と、その後ろのスペースまたは行の終わりマーカーで構成されている必要があります。無効な文字を修正し、サブミットし直してください。
PWX-00734	コードページファイル <i>file_name</i> 内の文字が十分ではありません
説明:	コードページファイルに十分な文字がありません。
システムのアクション:	PowerExchange はエラーコードとメッセージを返し、異常終了します。
ユーザの応答:	コードページには正確に 256 文字なければなりません。コードページファイルを修正し、正しい数の文字が存在することを確認して、サブミットし直してください。

PWX-00735	コードページファイル <i>file_name</i> の行 <i>line_number</i> の文字が多すぎます
説明:	コードページファイルのメッセージで示されている行の文字数が多すぎます。
システムのアクション:	PowerExchange はエラーコードとメッセージを返し、異常終了します。
ユーザの応答:	コードページファイルの各行は 16 文字でなければなりません。修正して、サブミットし直してください。
PWX-00736	コードページファイル <i>file_name</i> の行 <i>line_number</i> の文字が少なすぎます。
説明:	コードページファイルのメッセージで示されている行の文字数が少なすぎます。
システムのアクション:	PowerExchange はエラーコードとメッセージを返し、異常終了します。
ユーザの応答:	コードページファイルの各行は 16 文字でなければなりません。修正して、サブミットし直してください。
PWX-00738	マルチバイトコードページ <i>codepage</i> はここでは使用できません。
説明:	PowerExchange は、無効な制御コードページ要求を検出しました。
システムのアクション:	PowerExchange はエラーコードとメッセージを返し、異常終了します。
ユーザの応答:	シングルスバイト制御コードページを指定してください。
PWX-00739	エラーメッセージが、コードページの変換テーブルコードページ (<i>codepage_number</i>) -コードページ (<i>codepage_number</i>) の作成中に発生しました。
説明:	PowerExchange は、メッセージで示されている 2 つのコードページに変換テーブルを作成できませんでした。
システムのアクション:	PowerExchange はエラーコードとメッセージを返し、異常終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートでさらに調査できるようエラーの詳細を報告してください。
PWX-00740	<i>codepage_name</i> は、認識されるコードページではありません。
説明:	PowerExchange 構成ファイルのコードページ名が認識されませんでした。
システムのアクション:	PowerExchange はエラーコードとメッセージを返し、異常終了します。
ユーザの応答:	コードページ名は、IBM-037 などの標準コードページまたは USRCPO1 などのユーザーコードページ名でなければなりません。PowerExchange 構成ファイルのコードページ名を修正し、サブミットし直してください。

PWX-00741 ***code_page_name*(number)から *code_page_name*(number)の変換でエラーが発生しました。**

説明: 変換ルーチンは、コードページ間の変換を行えませんでした。

システムのアクション: PowerExchange は、呼び出しモジュールに戻りコードとメッセージを返します。

ユーザの応答: エラーに関する情報を収集し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00742 **変換エラー。 *error_information*。**

説明: 変換エラーに関する追加情報です。

システムのアクション: PowerExchange は、呼び出しモジュールに戻りコードとメッセージを返します。

ユーザの応答: エラーに関する情報を収集し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00744 **コードページ番号 (説明) はネットワーク経由では使用できません。数値の格納方式はプラットフォームによって決まります。**

説明: コードページの動作は、ローエンドとハイエンドのプラットフォームでは異なります。ローカルのみで使用できます。PowerExchange Listener やネットワーク経由では動作しません。

システムのアクション: タスクは終了します。

ユーザの応答: コードページを格納方式が明示的に定義されたものに変更してください。例えば、UTF-8 の代わりに、UTF-8LE または UTF-8BE。

PWX-00745 ***code_page_number*は認識されるコードページ番号ではありません。**

説明: PowerExchange は、指定されたコードページ番号を認識しません。コードページ番号はコードページ名より優先され、番号は PowerExchange で認識可能な範囲内になければなりません。例:

- 1. ISO-8859。
- 2. IBM-037。
- 3. IBM-037。
- 41. UTF-8。

システムのアクション: PowerExchange はエラーコードとメッセージを返し、異常終了します。

ユーザの応答: 40 より大きいコードページ番号は、プラットフォームでサポートされていない ICU コードページを示している可能性があります。エラーに関する情報を収集し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00746	コードページ番号 <i>code_page_number</i> は、<i>low_code_page_number</i> から <i>high_code_page_number</i> の ICU CPN 範囲内にありません。
説明：	コードページ番号が、ICU コードページに必要な範囲内にありません。
システムのアクション：	PowerExchange はエラーコードとメッセージを返し、異常終了します。
ユーザの応答：	ICU CONVERTER または ICU ALIAS コマンドで、有効なコードページ番号を指定してください。
PWX-00747	ICU データディレクトリは <i>name</i> に設定されています。
説明：	ICU データディレクトリは指定されたディレクトリに設定されました。ユーザー定義の ICU コードページは、このディレクトリの CNV ファイルからロードできます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00748	コードページ <i>code_page_number</i>(<i>code_page_name</i>) では、切り捨てはサポートされていません。
説明：	マルチバイトのコードページでデータを切り捨てようとしたが、そのコードページでは切り捨てを使用できません。
システムのアクション：	処理は中断されます。
ユーザの応答：	このコードページで、切り捨てが行われないことを確認してください。読み取りでは、データを受け取るカラムが十分に大きいことを確認してください。書き込みでは、問題のあるコードページにソースデータが変換される前にソースデータを切り捨ててください。または、別のコードページを使用してください。
PWX-00749	無効な UTF8 先頭バイト <i>hex_of_byte</i> がオフセット <i>offset</i> にあります。
説明：	UTF8 文字列に、無効な先頭バイトが見つかりました。
システムのアクション：	処理は中断されます。
ユーザの応答：	データが実際に UTF8 かどうか確認してください。データを修正してください。
PWX-00750	DTLREXE 入力の場所=<i>location</i>、プログラム=<i>program_name</i>、パラメータ=<i>parameters</i>、ユーザー ID=<<i>user_ID</i>>。
説明：	このメッセージは、場所のノード、プログラム、渡されたパラメータ、Run/Execute プロシージャに渡されるユーザー ID を示します。
システムのアクション：	PowerExchange は示します。このメッセージは情報提供のためのメッセージです。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。

PWX-00751	DTLREXE ユーザー戻りコード 1= <i>return_code</i> 、 2= <i>return_code</i> 。
説明：	DTLREXE プロシージャは表示されたコードを返しました。
システムのアクション：	処理のために戻りコードを呼び出しモジュールに返します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートでさらに調査できるようエラーの詳細を報告してください。
PWX-00752	DTLREXE スタートアップエラー < <i>error_message</i> >。
説明：	DTLREXE プロシージャは指定されたエラーで失敗しました。
システムのアクション：	PowerExchange は、エラーメッセージを示して、プロシージャを終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにエラーの詳細を報告してください。
PWX-00753	DTLREXEL 入力を受信した場所 = <i>location</i> 、 プログラム = <i>program_name</i> 、 パラメータ = <i>parameters</i> 。
説明：	場所のノード、プログラム、Run/Execute プロシージャが受け取るパラメータを示す情報メッセージです。
システムのアクション：	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-00754	DTLREXEL ユーザー戻りコード 1= <i>return_code</i> 、 2= <i>return_code</i> 。
説明：	DTLREXEL プロシージャからの戻りコードを示すメッセージです。ゼロ以外の場合は、詳細なメッセージが表示されます。
システムのアクション：	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答：	戻りコードがゼロ以外の場合、対応する必要はありません。それ以外の場合、他のエラーメッセージを書き留めて、Informatica グローバルカスタマサポートでさらに調査できるよう報告してください。
PWX-00755	DTLREXE コマンドは正常です。
説明：	DTLREXE プロシージャが正常に完了したことを伝える情報メッセージです。
システムのアクション：	メッセージを出力します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。

PWX-00756	DTLREXE サブミットパラメータファイル名= <i>job_file</i> 、モード = (<i>action</i> , <i>wait_option</i>)、時間= <i>wait_time</i> 、サブミットタイムアウト= <i>submit_timeout</i> 、出力= <i>output_data_set</i> 、結果 = <i>result_data_set</i>
説明:	場所のノード、プログラム、渡されたパラメータ、Run/Execute プロシージャに渡されるユーザー ID を示す情報メッセージです。
システムのアクション:	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00757	REXE <i>field</i> の変換中にエラーが発生しました。
説明:	文字を別のコードページに変換しているときに、エラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。PowerExchange はエラーを報告します。
ユーザの応答:	このエラーの詳細については、関連する別のエラーメッセージを参照してください。ソースとターゲットのコードページ、ICU から報告されたエラー情報、問題データの最初の 100 バイトなどの情報が得られます。このエラーがマルチバイト SQL で発生した場合は、ソースとターゲットの両方のマシンについて、SQL のマルチバイトコードページが CODEPAGE パラメータで指定されていることを確認してください。
PWX-00774	<i>vsam_data_set_type</i> VSAM データセットを <i>access_method</i> アクセス方式で開けません。
説明:	VSAM アクセスモジュールは、リストされたアクセス方式で指定されたデータセットを開けませんでした。
システムのアクション:	システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。
ユーザの応答:	データセット名またはアクセス方式を修正してください。
PWX-00775	AMVSM 検証エラー - バイナリではありません
説明:	VSAM アクセスモジュールは、非バイナリモードでデータセットを開くよう指示されました。
システムのアクション:	システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00776	AMVSM <i>function_call</i> に失敗しました。戻りコード = <i>return_code</i> 理由= <i>reason_code</i> ファイル= <i>file name</i>
説明:	VSAM アクセスモジュールで、VSAM インタフェースルーチンの呼び出し中にエラーが発生しました。戻りコードと理由コードは、IBM のマニュアル『DFSMS Macro Instructions for Data Sets』（英語）で説明されています。
システムのアクション:	システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。

ユーザの応答： MACRO の戻りコードおよび理由コードについては、IBM のマニュアル『DFSMS Macro Instructions for Data Sets』（英語）を参照してください。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00777 **AMVSM ユーザー ID <"user_ID">の認証エラー**

説明： VSAM アクセスモジュールは、指定されたユーザー ID で認証エラーが発生したため、データセットにアクセスできませんでした。

システムのアクション： システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。

ユーザの応答： 認証の問題を解決してください。

PWX-00778 **AMVSM 情報検索が失敗しました。エラーコード=0xS99ERROR、情報コード=0xS99INFO**

説明： VSAM アクセスモジュールで、データセットに関する情報の取得中にエラーが発生しました。

システムのアクション： システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。

ユーザの応答： ジョブログのシステムメッセージをチェックしてください。IKJxyyz メッセージについては、『TSO/E Messages』マニュアルを参照してください。SVC 99 ERROR/INFO コードについては、『MVS アセンブラーサービスガイド』を確認します。問題を解決できない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。そのとき、エラーメッセージとパラメータ入力の詳細をお知らせください。

PWX-00779 **AMVSM サポートされていないデータセットの種類 <VSAM_data_set_type>**

説明： VSAM アクセスモジュールは、サポートしない型のデータセットを開けようとしていました。

システムのアクション： システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。

ユーザの応答： データセット名またはアクセス方式を修正してください。

PWX-00780 **AMVSM OPEN に失敗しました**

説明： VSAM アクセスモジュールで、データセットを開いているときにエラーが発生しました。

システムのアクション： システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。

ユーザの応答： 問題を解決してください。

PWX-00781 **AMVSM call_type に失敗しました。位置は保持されません**

説明： VSAM アクセスモジュール関数が、位置が保持されないために失敗しました。

システムのアクション： システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00782 **AMVSM VSAM ファイルが空です。プライマリにするまで使用できません**

説明： VSAM データセットがプライマリに設定されていなかったため、VSAM アクセスモジュール関数は失敗しました。

システムのアクション： システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。

ユーザの応答： VSAM データセットをプライマリに設定してください。

PWX-00783 **AMVSM 空のデータセットの処理に関するエラーが発生しました**

説明： 空のデータセットの処理中にエラーが発生したため、VSAM アクセスモジュール関数は失敗しました。

システムのアクション： システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00784 **AMVSM *processing_mode* は、*access_method* アクセス方式ではサポートされていません。**

説明： VSAM アクセスモジュールは、アクセス方式 RRDS で指定された処理モードをサポートしていません。

システムのアクション： システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。

ユーザの応答： 処理オプションは、VSAMPREFIX オプションがない場合は使用できません。

PWX-00785 **AMVSM CI ACCESS は、READMODE でのみ許可されています**

説明： VSAM アクセスモジュールは、読み取り処理以外に CIACCESS を使用するよう指示されました。

システムのアクション： システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。

ユーザの応答： CIACCESS オプションを削除してください。

PWX-00786 **AMVSM CI ACCESS を無視しました。データセットを圧縮しました**

説明： VSAM アクセスモジュールは、圧縮されたデータセットに CIACCESS を使用するよう指示されました。VSAM アクセスでは、圧縮データセットに CIACCESS を使用することはできません。

システムのアクション： 通常の処理が使用されます。

ユーザの応答： CIACCESS オプションを削除してください。このメッセージは情報提供のためのメッセージです。

PWX-00787 AMVSM CI ACCESS を無視しました。データセットにスパン
レコードが含まれます

説明： VSAM アクセスモジュールは、レコードをまたぐデータセットに
 CIACCESS を使用するよう指示されました。VSAM アクセスでは、ス
 パンされたレコードに対して CIACCESS を使用できません。

システムのアクショ 通常の処理が使用されます。
ン：

ユーザの応答： CIACCESS オプションを削除してください。このメッセージは情報提
 供のためのメッセージです。

PWX-00788 AMVSM PREFIX は、*access_method* アクセス方式では許可さ
 れていません

説明： VSAM アクセスモジュールは、無効なアクセス方式に VSAMPREFIX
 を使用するよう指示されました。

システムのアクショ システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。
ン：

ユーザの応答： VSAMPREFIX オプションを削除します。

PWX-00789 AMVSM PREFIX は、*access_method* アクセス方式でのみ許可
 されています

説明： VSAM アクセスモジュールは、読み取りモードでのみサポートされて
 いるアクセス方式に VSAMPREFIX を使用するよう指示されました。

システムのアクショ システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。
ン：

ユーザの応答： VSAMPREFIX オプションを削除します。

PWX-00790 AMVSM *call_type* は、CI ACCESS で許可されていません

説明： VSAM アクセスモジュールは、指定された呼び出しを実行するよう指
 示されましたが、CIACCESS オプションではサポートされていま
 せん。

システムのアクショ システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。
ン：

ユーザの応答： CIACCESS オプションを削除してください。

PWX-00791 AMVSM CI 処理エラー<*error_message*>

説明： コントロールインターバルの処理中に、VSAM アクセスモジュールで
 指定されたエラーが発生しました。

システムのアクショ システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。
ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00792 AMVSM PREFIX は、特別な PowerExchange ファイルでは許可
 されていません

説明： VSAM アクセスモジュールは、PREFIX オプションで特別な
 PowerExchange ファイルを開くよう指示されました。

システムのアクション: システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。
 ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00793 **operation 操作には AMVSM PREFIX オプションが必要です**
 説明: VSAM アクセスモジュールは、指定された操作を実行するよう指示されましたが、このタイプの処理には PREFIX オプションが必要です。

システムのアクション: システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。
 ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00794 **AMVSM レコードプレフィクスが無効です**
 説明: VSAM アクセスモジュールは、無効なレコードプレフィクスを含むレコード上での操作を指示されました。例えば、RRDS レコードのゼロでなければならない最初の 4 バイトにプレフィクスが含まれていません。

システムのアクション: システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。
 ユーザの応答: 問題を解決してください。うまくいかない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにエラーを報告してください。

PWX-00795 **空の RRDS 処理に関する AMVSM エラー**
 説明: RRDS の空のデータセットの処理中にエラーが発生したため、VSAM アクセスモジュール関数が失敗しました。

システムのアクション: システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。
 ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00796 **AMVSM エラーにより、空のデータセットが読み取り用に開かれようとしています。**
 説明: おそらく空のデータセットを開いて読み取ろうとしたために、VSAM アクセスモジュールでエラーが発生しました。

システムのアクション: システムは呼び出しソフトウェアにエラーを返します。
 ユーザの応答: 修正し、もう一度実行します。

PWX-00800 **必須のパラメータ *parameter_name* が TO/FROM/CMD 定義にありません。アクセス方式 *access_method* が必要です。**
 説明: DBMOVE 入力エラーが発生しました。

システムのアクション: DBMOVE コマンドの処理は終了します。
 ユーザの応答: 入力を確認します。

PWX-00801 **パラメータ *parameter_name* (*TO/FROM* 定義内の) は、アクセス方式 *access_method* では無効です。**

説明： DBMOVE 入力エラーが発生しました。

システムのアクション： DBMOVE コマンドの処理は終了します。

ユーザの応答： 入力を確認します。

PWX-00802 **パラメータ *parameter_name* (*TO/FROM/CMD* 定義内の) は、アクセス方式 *access_method* では相互に排他的です。**

説明： DBMOVE 入力エラーが発生しました。

システムのアクション： DBMOVE コマンドの処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 入力を確認します。

PWX-00803 **ローダオプション *parameter_name=parameter_value* は、アクセス方式 *access_method* では無効です。**

説明： DBMOVE 入力エラーが発生しました。

システムのアクション： DBMOVE コマンドの処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 入力を確認します。

PWX-00804 **TYPE=GLOBAL は、MV では適切ではありません。**

説明： DBMOVE 入力エラーが発生しました。 - TYPE=GLOBAL は、MV では実装されていません。

システムのアクション： DBMOVE コマンドの処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 入力を確認します。

PWX-00805 **接続先リストに含まれていないテーブル *table_name* にマッピングします。**

説明： TO フィールドマッピングで指定されたテーブルがターゲットリストに存在しません。

システムのアクション： DBMOVE コマンドの処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： コマンドセット入力をチェックしてください。生成されたコマンドセットが手動で変更された可能性があります。

PWX-00806 **MAP 命令に構文エラーがあります。**

説明： コマンドセットのフィールドマッピング部分に構文エラーがあります。

システムのアクション： DBMOVE コマンドの処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： コマンドセット入力をチェックしてください。

PWX-00807	APPLY では、ソースの種類 CAPX/CAPXRT が必要です
説明:	APPLY の FROM ソースの種類が、CAPX、CAPXRT、EMR ではありません。
システムのアクション:	DBMOVE コマンドの処理は終了します。
ユーザの応答:	入力を確認します。
PWX-00808	TIMEOUTS は、TO/FROM/CMD は、データ定義で範囲外です。
説明:	DBMOVE 入力エラーが発生しました。
システムのアクション:	DBMOVE コマンドの処理は終了します。
ユーザの応答:	入力を確認します。
PWX-00809	PWD オプションと EPWD オプションの両方を指定しました。指定できるのは 1 つだけです。
説明:	DBMOVE パラメータで、PWD=と EPWD=の両方が指定されています。.
システムのアクション:	DBMOVE コマンドの処理は終了します。
ユーザの応答:	指定されたオプションのいずれかで DBMOVE を指定します。
PWX-00810	暗号化されたパスワードの解読に失敗しました
説明:	DB 接続またはリポジトリのユーザー ID で指定された暗号化パスワードが無効でした。
システムのアクション:	DBMOVE コマンドの処理は終了します。PowerExchange からエラーメッセージが発行されます。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00811	プレーンテキストパスワードの暗号化に失敗しました
説明:	PowerExchange Navigator で作成されたコマンドセットの保存中にパスワードの暗号化に失敗しました。
システムのアクション:	コマンド設定は保存されません。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00812	COMMIT 数が処理モードと互換性がありません
説明:	パラメータ COMMIT が APPLY に対して有効ではありません。
システムのアクション:	DBMOVE コマンドの処理は終了します。
ユーザの応答:	入力を確認します。

PWX-00813	暗号化の種類 <i>encryption_type</i> の暗号化レベルがありません。
説明:	選択した暗号化の種類に必須の暗号化レベルを入力する必要があります。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	DBMOVER コンフィギュレーションファイルのパラメータ ENCRYPTLEVEL に有効な値が入力されていることを確認してください。
PWX-00815	<i>keyword</i> と <i>keyword</i> キーワードの両方を指定しました。指定できるのは 1 つだけです。
説明:	DBMOVER または PWXCCL コンフィギュレーションファイルにある、指定されたキーワードは、相互に排他的です。これらのキーワードのうち 1 つのみが許可されています。
システムのアクション:	PowerExchange は指定したキーワードを無視します。
ユーザの応答:	キーワードのいずれか 1 つだけを入力します。
PWX-00816	Oracle オーバーライドの累積長が長すぎます。
説明:	DBMOVE 文に含まれている Oracle オーバーライドの累積長が長すぎます。
システムのアクション:	PowerExchange では、この文を実行しません。
ユーザの応答:	問題を解決し、もう一度実行してください。
PWX-00817	DBMOVE MQRESTART パラメータには MQ NRDB TARGETS が必要です。
説明:	DBMOVE 文に AMLG 型の CAPX または CAPXRT ソースが含まれています。DBMOVER コンフィギュレーションファイルで MQRESTART= が指定されている場合はターゲットに DBMOVE MQRESTART パラメータが必要です。
システムのアクション:	PowerExchange では、この文を実行しません。
ユーザの応答:	問題を解決し、もう一度実行してください。
PWX-00818	MQRESTART は、このプラットフォームではサポートされていません。
説明:	MQRESTART は、このプラットフォームではサポートされていません。
システムのアクション:	PowerExchange では、この文を実行しません。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00819 **コマンドリスト *list_number* は、*destination_table_name* と *destination_table_name* の両方をターゲットとします。**

説明： MQRESTART では、複数の宛先は指定できません。

システムのアクション： PowerExchange では、この文を実行しません。

ユーザの応答： 複数の MV コマンドに分離し、もう一度実行してください。

PWX-00820 **終了エラー。**

説明： このメッセージに続くメッセージは終了に関連しています。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00821 **DBMOVE MQRESTART パラメータが MQ NRDB TARGETS なしで Y を指定しています。**

説明： DBMOVE 文に、AMLG 型の CAPX または CAPXRT ソースが含まれています。MQRESTART=(Y)を指定するターゲットは MQ をターゲットとしません。

システムのアクション： PowerExchange では、この文を実行しません。

ユーザの応答： 問題を解決し、もう一度実行してください。

PWX-00822 **DBMOVE MQRESTART がリスタート情報を提供します。**

説明： DBMOVE コマンドは、MQ リスタートを使用して、リスタート情報を提供します。

ユーザの応答： この情報が不要な場合以外は、対応する必要はありません。不要な場合は、DBMOVE TO パラメータ MQRESTART=(N)を指定するか、DBMOVER コンフィギュレーションファイルから MQRESTART パラメータを削除してください。

PWX-00823 **パラメータ *parameter_name* (TO/FROM 定義内) は、アクセス方式 *access_method* では無効です。**

説明： DBMOVE 入力エラーが発生しました。

システムのアクション： DBMOVE コマンドの処理は終了します。

ユーザの応答： 入力を確認します。

PWX-00824 **DBMOVE:DBN2*old_parameter* と APPN*new_parameter* の両方でアプリケーション名を指定します。**

説明： DBN2 と APPN パラメータの両方でアプリケーション名が指定されました。

システムのアクション： DBMOVE コマンドの処理が異常終了します。

ユーザの応答： DBN2 または APPN パラメータのいずれかのみでアプリケーション名を指定します。

PWX-00825	キーワード"<i>keyword_name</i>"には、キーワード"<i>keyword_name</i>"を指定する必要があります。キーワードは1つしかありません。
説明:	キーワードには、もう1つのキーワードを指定する必要があります。メッセージのテキストでは、2番目のキーワードが欠落しています。
システムのアクション:	文は実行されません。
ユーザの応答:	欠落しているキーワードを指定し、文を再度実行してください。
PWX-00826	要求された行数が <i>requested_rows</i> に設定されました。ソース配列サイズ <i>source_array_size</i> がターゲット配列サイズ <i>target_array_size</i> を超えたためです
説明:	LOB 処理のため、PowerExchange はターゲットの配列サイズをソースの配列サイズよりも小さい数にしました。補正するため、PowerExchange は各ソース要求内の行数を少なくしました。
システムのアクション:	各要求の行が少なくなって処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00880	AMVSM OPEN 警告:戻りコード=<i>return_code</i> 理由コード=<i>reason_code</i> 対象ファイル=<i>file name</i>
説明:	VSAM アクセスモジュールで、データセットを開いているときに警告が生成されました。戻りコードと理由コードの詳細については、IBM のマニュアル『 <i>z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets</i> 』（英語）を参照してください。
システムのアクション:	PowerExchange は、メッセージを PowerExchange ログに書き込みます。処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00881	AMVSM OPEN 警告:入力に対して使用できないファイル <i>file name</i> が開かれました
説明:	VSAM アクセスモジュールで、入力に対して使用できないデータセットが開かれたことを伝える警告が生成されました。
システムのアクション:	PowerExchange は、メッセージを PowerExchange ログに書き込みます。処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-00882	AMVSM OPEN 警告:ファイル <i>file name</i> に空の代替インデックスがあります
説明:	VSAM アクセスモジュールで、開いているデータセットに空の代替インデックスが関連付けられていることを伝える警告が生成されました。
システムのアクション:	PowerExchange は、メッセージを PowerExchange ログに書き込みます。処理は継続します。
ユーザの応答:	空のアップグレード代替インデックスは更新されません。挿入を反映するには BLDINDEX が必要です。

PWX-00900 **メモリエラー。無効な長さ *number* バイトをプール *poolid* で要求しました。**

説明： 0 または負のバイトのメモリが要求されました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。呼び出しで指定する生成 SQL に終了しない文字列がないかチェックしてください。

PWX-00901 **メモリエラー。無効なプール名 "*poolid*" です。**

説明： メモリの要求で無効なプール ID が指定されました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。

PWX-00902 **メモリエラー。共有メモリの "*request_type*" 要求に失敗しました。エラー="*error*"。エラー番号=*error_number*。**

説明： タスク間通信に使用する共有メモリの要求に失敗しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。

PWX-00903 **メモリエラー。 サポートされていない関数を要求しました。**

説明： 不明な要求です。

システムのアクション： 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。

PWX-00904 **メモリエラー。 *number* バイトをプール *poolid* に割り当てられませんでした。**

説明： リソースが足りないため、要求されたメモリを割り当てられませんでした。

システムのアクション： 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 処理に十分なリソースがあることを確認してください。

PWX-00905 **メモリエラー。解放するアドレス *address* が無効です。**

説明： 解放するメモリが無効です。または破損しています。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。

PWX-00906	メモリエラー。重複するエレメントプール"<i>element_pool_id</i>"をプール"<i>poolid</i>"に割り当てようとした。
説明:	要求された一意のエレメントプールはすでに存在します。.
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00907	メモリエラー。無効なエレメントプール ID "<i>element_poolid</i>" がプール "<i>poolid</i>" にあります。
説明:	エレメントプールの要求で、不正プール ID が指定されました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00908	メモリエラー。エレメントプール ID "<i>element_poolid</i>" (プール "<i>poolid</i>" 内の) の最小/最大サイズが無効です。
説明:	自動プールの最小/最大サイズが矛盾しています。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00909	メモリエラー。自動プール ID "<i>element_poolid</i>" (プール "<i>poolid</i>" 内の) から固定エレメントを割り当てようとした。
説明:	自動プールから固定エレメントを割り当てようとした。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00910	メモリエラー。サイズ <i>nbytes</i> の自動エレメントを固定プール ID <i>sub_poolid</i> (プール <i>poolid</i> 内の) から割り当てようとした。
説明:	固定エレメントプールの自動エレメントを割り当てようとした。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。

PWX-00911	メモリエラー。length n バイトの自動エレメントサイズが、プール ID "element_poolid" (プール "poolid" 内の) の最大値を超えています。
説明:	割り当てる自動エレメントが、エレメントプールの許容最大サイズを超えています。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00912	メモリエラー。"poolid" を使用して一意のプール ID を作成できませんでした。
説明:	一意のプールの作成中に、重複するプール ID が検出されました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00913	メモリエラー。MemoryAddress (プール "poolid" 内の) に破損したブロックがあります。長さ=NumberOfBytes。
説明:	タスクが前に割り当てられたメモリの解放を試みているときに予期しないエラーが発生しました。
システムのアクション:	プロセスは割り当てられたメモリの解放を続行します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00914	メモリエラー。アドレス MemoryAddress がフリーチェーン上にありません。プール poolid、長さ=NumberOfBytes。
説明:	タスクが前に割り当てられたメモリの解放を試みているときに予期しないエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00916	このプロセスが所有する共有メモリをデタッチしようとした。プール "pool_ID"、長さ bytes。
説明:	PoweExchange プロセスが所有する共有メモリからのデタッチに失敗しました。このメモリは、解放のみ可能です。
システムのアクション:	プロセスは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00917	このプロセスが所有する共有メモリを解放しようとししました。プール "<i>pool_ID</i>"、長さ <i>number_of_bytes</i>。
説明:	PowerExchange プロセスが所有していない共有メモリは解放できません。このメモリは、デタッチのみ可能です。
システムのアクション:	プロセスは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00918	"<i>reason</i>"のため、プール "<i>storage_pool_ID</i>" <i>number_of_bytes</i> バイトを割り当てることができませんでした。プログラム = "<i>program_name</i>"。行 = <i>line_number</i>。
説明:	システムリソースが不足しているため、指定されたバイト数のメモリストレージをプログラムに割り当てることができません。
システムのアクション:	プログラムは終了します。
ユーザの応答:	プログラムで十分なストレージリソースを利用できることを確認してください。
PWX-00919	<i>number</i> 添付ファイル <i>shmid number</i> (0x<i>hexadecimal_value</i>) 長さ <i>bytes</i> プール "<i>pool_ID</i>" アドレス <i>address</i> の共有メモリを解放しようとししました。
説明:	関数 <i>shmdt()</i> によって共有メモリを削除する要求が行われました。ただし、共有メモリにまだ複数のスレッドがアタッチされています。システムでは、メモリの所有者に対して 1 つの添付ファイルのみを想定しています。他のスレッドがメモリからデタッチされる前にメモリの所有者が共有メモリを解放した場合に、この警告が発生することがあります。このメッセージが頻繁に発行される場合、問題が起きている可能性があります。
システムのアクション:	すべてのスレッドがメモリからデタッチされるまで、メモリは物理的に削除されません。
ユーザの応答:	リスナスレッドに対してコアダンプが作成されているかどうかを確認してください。また、Linux コマンドの <i>ipcs -m</i> または <i>pstat</i> を使用して、共有メモリのリークが発生していないかを判断します。
PWX-00920	<i>memory_address description</i> の BWA は <i>number</i> バイトを使用しました。最大のメモリプール "<i>name</i>" は <i>number</i> バイトを使用しました。
説明:	PowerExchange の終了時に、使用されたメモリが構成パラメータ <i>HIGH_MEMORY_MESSAGE_THRESHOLD</i> で指定した量を超えました。このメッセージは、ベースの作業領域 (BWA) によって使用された最大バイト数と最大メモリプールの名前を示します。 PowerExchange は、ベースの作業領域を使用して、テーブル処理、およびネットワーク処理と非リレーショナルソースのマッピングを処理するスレッドのメモリを制御します。
システムのアクション:	処理は継続します。

ユーザの応答： このメッセージは、Informatica グローバルカスタマサポートの要求に応じて、メモリ使用量が多い場合の診断テストを実行している際に発生する可能性があります。問題が解決しない場合は、ARRAY_SIZE 構成パラメータをデフォルト値の 25 より小さい値に減らすことを検討してください。

PWX-00925 **値の長さ *specified_length* が、割り当てられた最大長 *maximum_length* を超過しています。**

説明： このメッセージは、メッセージ PWX-00964 で詳細が表示されているエラーの原因となったパラメータに対して、指定されている長さの値を示しています。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： このプロセスの入力ファイルを有効なパラメータの値で修正し、もう一度タスクを送信してください。

PWX-00926 **許容される値の範囲は、*minimum* から *maximum* です。**

説明： このメッセージは、メッセージ PWX-00966 で詳細が表示されているエラーの原因となったパラメータに対して、最小値と最大値を示しています。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： このプロセスの入力ファイルを有効なパラメータの値で修正し、もう一度タスクを送信してください。

PWX-00927 **許容可能な値は *values_list* です。**

説明： このメッセージは、メッセージ PWX-00963 で詳細が表示されているエラーの原因となったパラメータに対して、許容可能な値のリストを示しています。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： このプロセスの入力ファイルを有効なパラメータの値で修正し、もう一度タスクを送信してください。

PWX-00929 **パラメータ「*parameter*」に範囲外の値の長さが指定されています。位置 *position*。長さ「*length*」。**

説明： 入力制御ファイルの所定の位置に指定されているパラメータに入力された値の長さが値の有効範囲内にありません。メッセージテキストの *position* は、誤った値が発生したパラメータ文の最初からの文字数です。

システムのアクション： プロセスは異常終了します。

ユーザの応答： 値が値の有効範囲にあり、プロセスを再度実行できるようにパラメータ値を編集します。パラメータ値に、括弧、引用符、バックスラッシュなどの標準外の文字が含まれている場合は、その値を二重引用符 (") で囲みます。再度エラーが発生した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-00930	入力プロセッサエラー。初期化に失敗しました。
説明：	前に報告されたエラーが原因で、タスクの初期化手順が終了しました。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00931	入力プロセッサエラー。コマンドタブオーバーフロー。 INP_DECLARE_CMDTABLE で"<i>nentries</i>"を調整してください。
説明：	タスクの初期化手順中に予期しないエラーが発生しました。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00932	入力プロセッサエラー。コマンドタブが空です。
説明：	タスクの初期化手順中に予期しないエラーが発生しました。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00933	入力プロセッサエラー。コマンドタブに INP_START_CMDTABLE がありません。
説明：	タスクの初期化手順中に予期しないエラーが発生しました。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00934	入力プロセッサエラー。コマンドタブには、コマンド定義が 少なくとも 1 つ含まれていなければなりません。
説明：	タスクの初期化手順中に予期しないエラーが発生しました。
システムのアクション：	処理は終了します。

ユーザの応答：	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00935	入力プロセッサエラー。コマンドタブシーケンスエラー。行 <i>RowNumber</i>。
説明：	タスクの初期化手順中に予期しないエラーが発生しました。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00936	入力プロセッサエラー。コマンドタブ重複キー/サブリスト名 "<i>ListName</i>"。行 <i>RowNumber</i>。
説明：	タスクの初期化手順中に予期しないエラーが発生しました。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00937	入力プロセッサエラー。コマンドタブエラー。ターゲットが定義されていません。行 <i>RowNumber</i>。
説明：	タスクの初期化手順中に予期しないエラーが発生しました。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00938	入力プロセッサエラー。コマンドタブエラー。不正にネストされている配列です。行 <i>RowNumber</i>。
説明：	タスクの初期化手順中に予期しないエラーが発生しました。
システムのアクション：	処理は終了します。

ユーザの応答： プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。

PWX-00939 **入力プロセッサエラー。Cmdtab テーブルエラー。ターゲットがベース構造の範囲外になっています。行 RowNumber。**

説明： タスクの初期化手順中に予期しないエラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。

PWX-00940 **入力プロセッサエラー。Cmdtab テーブルエラー。ターゲット長が定義されていません。行 RowNumber。**

説明： タスクの初期化手順中に予期しないエラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。

PWX-00941 **入力プロセッサエラー。Cmdtab テーブルエラー。スタックオーバーフロー。行 RowNumber。**

説明： タスクの初期化手順中に予期しないエラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。

PWX-00942 **入力プロセッサエラー。Cmdtab テーブルエラー。スタックアンダーフロー。行 RowNumber。**

説明： タスクの初期化手順中に予期しないエラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。

PWX-00943 **入力プロセッサエラー。Cmdtab テーブルエラー。コールバックを含む文は、レベル 0 のみで定義できます。行 *RowNumber*。**

説明： タスクの初期化手順中に予期しないエラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。

PWX-00944 **入力プロセッサ。入力が正常に終了しました。**

説明： これは、トレースがアクティブなときにソフトウェアによって発行される情報メッセージです。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-00945 **入力エラー。ファイル *file_name*。行 *LineNumber*。**

説明： タスクの初期化手順中に予期しないエラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。

PWX-00946 **位置 *ColumnNumber* に入力構文エラーがあります。*"character"*が不正です。**

説明： 入力ファイルで、その位置に置くことができない文字が検出されました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。

PWX-00947	入力エラー。トークンが多すぎます。
説明：	入力ファイルでエラーが検出されました。パラメータ値に指定されているトークン数が多すぎます。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力が標準以外の文字（カッコ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00948	入力エラー。文が長すぎます。
説明：	入力ファイルでエラーが検出されました。パラメータ値が長すぎます。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力が標準以外の文字（カッコ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00949	入力文の最後に二重引用符がありません。
説明：	入力ファイルでエラーが検出されました。パラメータに文字列を終了する二重引用符がありません。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力が標準以外の文字（カッコ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00950	位置 <i>position</i> に入力構文エラーがあります。ネストのレベルが多すぎます。
説明：	入力ファイルに含まれているネストのレベルが、ソフトウェアの最大値を超えています。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力が標準以外の文字（カッコ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。

PWX-00951	入力文の最後に')'がありません。
説明:	入力ファイルでエラーが検出されました。パラメータに値を終了する)がありません。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00952	16 進数のトークンに閉じる引用符がありません。位置 <i>position</i>。
説明:	入力ファイルでエラーが検出されました。16 進数のパラメータに 16 進数文字列を終了する閉じる引用符がありません。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00953	16 進数のトークンのバイト数が偶数ではありません。位置 <i>position</i>。
説明:	入力ファイルでエラーが検出されました。16 進数文字列に含まれている文字数が偶数ではありません。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00954	16 進数のトークンに無効な 16 進数が含まれています。位置 <i>position</i>。
説明:	入力ファイルでエラーが検出されました。16 進数の文字列に無効な 16 進文字が含まれています。有効な 16 進文字は A～F または 0～9 です。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。

PWX-00955	入力プロセッサエラー。コマンドタブエラー。検証オプションが競合しています。行 <i>RowNumber</i>。
説明:	入力テーブルの検証プロセスでエラーが検出されました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00956	有効なコマンドセット名を指定してください。
説明:	コマンドセットファイルを指定せずにタスクを実行しようとした。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	コマンドセットファイルの名前を指定して、タスクをもう一度実行してください。
PWX-00957	入力エラー。ファイル <i>file_name</i> が空です。
説明:	コマンドセットファイルにレコードが含まれていないタスクを実行しようとした。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	有効な情報を含むコマンドセットファイル名を指定して、タスクをもう一度実行してください。
PWX-00958	入力プロセッサエラー。コマンドタブに INP_END_CMDTABLE がありません。
説明:	入力テーブルの検証プロセスでエラーが検出されました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。
PWX-00959	入力プロセッサ警告:キーワード '<i>kw</i>' が認識されません。
説明:	認識されないキーワードが見つかりました。
システムのアクション:	処理は継続します。キーワードは無視されます。
ユーザの応答:	この警告は、旧バージョンの PowerExchange と新しいバージョンの PowerCenter を併用したときに表示されることがあります。状況によっては、この警告は無視しても安全です。疑わしい場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-00960	必須のパラメータ <i>ParameterName</i> が指定されていません。
説明:	入力ファイルには指定パラメータが必要ですが、パラメータの参照が見つかりませんでした。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットしてください。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告してください。

PWX-00961 入力エラー。ファイル *file_name*。行 *LineNumber*。

説明: 指定されたファイルおよび行番号でエラーが発生しました。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: エラーの診断および解決に役立つ関連メッセージの情報を確認してください。根本原因のエラーメッセージが、PWX-00962 から PWX-00970 の範囲で発生している可能性があります。

PWX-00962 入力エラー。検証エラーコード *ErrorCode*。

説明: 入力テーブルの検証プロセスでエラーが検出されました。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットします。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行します。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告します。

PWX-00963 パラメータ *parameter* に無効な値が指定されています。位置 *position*。値 *value*。

説明: メッセージで示されている位置のパラメータに無効な値が指定されました。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットします。入力に標準以外の文字（かっこ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行します。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告します。

PWX-00964 パラメータ *parameter* に指定された値が長すぎます。位置 *position*。

説明: メッセージで示されているパラメータに指定された値が長すぎます。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答： プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットします。入力に標準以外の文字（カッコ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行します。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告します。

PWX-00965 **パラメータ *parameter* に整数以外の値が指定されています。位置 *position*。値 *value*。**

説明： メッセージで示されている位置のパラメータに無効な値が指定されました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットします。入力に標準以外の文字（カッコ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行します。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告します。

PWX-00966 **パラメータ *parameter* に指定された値は範囲外です。位置 *position*。値 *value*。**

説明： メッセージで示されている位置のパラメータに無効な値が指定されました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットします。入力に標準以外の文字（カッコ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行します。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告します。

PWX-00967 **予期しないキーワードパラメータ *parameter=* です。位置 *position*。**

説明： タスクの入力ファイルに予期しないキーワードが指定されています。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットします。入力に標準以外の文字（カッコ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行します。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告します。

PWX-00968 **エラー *parameter=* サブリストの上限を超えています。位置 *position*。**

説明： タスクの入力ファイルのリスト内に指定されているパラメータが多すぎました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： プロセスの入力ファイルを修正し、マニュアルに記述されている制限に注意して、タスクをサブミットし直します。入力に標準以外の文字（カッコ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行します。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告します。

PWX-00969 **予期しない位置パラメータ *parameter* です。位置 *position*。**
説明： タスクの入力ファイルで予期しない位置パラメータが指定されています。

このエラーは、データマップの作成に使用したバージョンより前のバージョンの PowerExchange でそのデータマップを開こうとする場合にも発生します。データマップに以前のバージョンの PowerExchange では処理できない情報が含まれており、その結果データマップをロードできない可能性があります。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットします。入力に標準以外の文字（カッコ、引用符、バックスラッシュなど）が含まれる場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから、タスクをもう一度試します。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告します。

データマップを開こうとするとエラーが発生し、データマップをロードできない場合は、PowerExchange のバージョンを最新バージョンにアップグレードします。その後、もう一度データマップを開く操作を試みます。

PWX-00970 **入力コールバック関数からエラーが返されました。**

説明： 入力ファイルの処理中に内部エラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告します。

PWX-00971 **指定した NODE パラメータの数が多すぎます。ノードの最大数は *MaximumNodes* です。**

説明： 入力ファイル内の NODE 文が多すぎます。現在の許容最大値はエラーメッセージに示されています。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットします。入力に標準以外の文字（カッコ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行します。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告します。

PWX-00973	IP アドレスが有効なドット区切りの十進数 <i>IP_Address</i> ではありません。
説明：	入力ファイルに、n.n.n.n の標準フォーマットに従っていない IP アドレスが含まれています。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットします。入力が標準以外の文字（カッコ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行します。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告します。
PWX-00974	<<i>journal_name</i>>は、ジャーナル名としては長さが正しくありません。
説明：	オペレーティングシステムに無効な、指定されたジャーナル名のエントリが入力ファイルに含まれています。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットします。入力が標準以外の文字（カッコ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行します。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告します。
PWX-00975	<<i>journal_name_qualifier</i>>は、ジャーナル名 <i>qualifier</i> の修飾子としては長さが正しくありません
説明：	入力ファイルに、オペレーティングシステムに無効な、指定されたジャーナル名の修飾子のエントリがあります。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットします。入力が標準以外の文字（カッコ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行します。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告します。
PWX-00976	<<i>journal_name</i>>は、ジャーナル名としては区切り記号が多すぎます
説明：	オペレーティングシステムに無効な、指定されたジャーナル名のエントリが入力ファイルに含まれています。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットします。入力が標準以外の文字（カッコ、引用符、円記号など）がある場合は、そのトークンを二重引用符で囲ってから再実行します。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告します。

PWX-00978	暗号化の種類 <i>ENCRYPTTYPE</i> の暗号化レベルがありません。
説明：	選択した暗号化の種類に必須の暗号化レベルを入力する必要があります。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	DBMOVER コンフィギュレーションファイルのパラメータ <i>ENCRYPTLEVEL</i> に有効な値が入力されていることを確認します。
PWX-00980	ICUCONVERTER (<i>code_page_number, command, name, minimum_bytes, maximum_bytes, space_character_hex</i>) でエラーが発生しました。
説明：	このコマンドをコードページに対して実行中にエラーが発生しました。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	無効なパラメータを修正します。
PWX-00981	ICUALIAS (<i>code_page_number, command, alias, alias_type</i>) でエラーが発生しました。
説明：	この別名の処理でエラーが発生しました。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	無効なパラメータを修正します。
PWX-00982	無効な無名のコードページ番号 <i>code_page_number</i> が ICUCNVPROPERTY (<i>code_page_number, name, value</i>) にあります。
説明：	プロパティのコードページ番号が使用されていません（コードページ番号に名前がありません）
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	無効なパラメータを修正します。
PWX-00983	ICUCNVPROPERTY (<i>code_page_number, name, value</i>) でエラーが発生しました。
説明：	この ICU コンバータプロパティの処理でエラーが発生しました。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	無効なパラメータを修正します。
PWX-00984	無効なスペース文字の 16 進数 <i>space_character_hex</i> です。
説明：	スペース文字の 16 進数が有効ではありません。これは、文字数が 2 ～20 の偶数で、有効な 16 進数文字（0～9 または A～F）で構成されている必要があります。

システムのアクション: 検証に失敗しました。
ン:

ユーザの応答: 無効なパラメータを修正します。

PWX-00985 **コードページ番号 *code_page_number* は、*low_code_page_number*~*high_code_page_number* の ICU CPN 範囲内にありません。**

説明: コードページ番号が、ICU ユーザー定義コードページに必要な範囲内にありません。

システムのアクション: PowerExchange はエラーコードとメッセージを返し、異常終了します。

ユーザの応答: 無効なパラメータを修正します。

PWX-00986 **スペース文字の 16 進数 *space_character_hex* (コードページ番号 *code_page_number* 内) を 1 つの UTF-16LE 文字に変換できません。**

説明: ユーザー定義 ICU コードページのスペース文字を、UTF-16LE に正しく変換できませんでした。このエラーは、バイナリの CNV ファイルを ICU データディレクトリからロードできない場合や、スペース文字が無効な場合に発生することがあります。

システムのアクション: 検証に失敗しました。
ン:

ユーザの応答: 無効なパラメータを修正します。

PWX-00987 **ICU CONVERTER ADD でエラーが発生しました。コードページ番号 "*code_page_number*" は、名前 "*name*" ですでに使用されています。**

説明: このコードページ番号は、名前が付けられており、すでに使用されています。したがって、この CPN を使用している別のコンバータを追加する処理は有効ではありません。

システムのアクション: PowerExchange はエラーコードとメッセージを返し、異常終了します。

ユーザの応答: 無効なパラメータを修正します。

PWX-00988 **コードページ番号 *code_page_number* は既存の名前付きコードページではありません。**

説明: そのコードページ番号は、名前が付けられていないため、使用されていません。したがって、別名を追加する処理は有効ではありません。

システムのアクション: PowerExchange はエラーコードとメッセージを返し、異常終了します。

ユーザの応答: 無効なパラメータを修正します。

PWX-00989 **ICU CONVERTER (*code_page_number,command*) でエラーが発生しました。**

説明: このコマンドをコードページに対して実行中にエラーが発生しました。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： 無効なパラメータを修正します。

PWX-00990 **ICUALIAS (*code_page_number,command*) でエラーが発生しました。**

説明： この別名の処理でエラーが発生しました。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： 無効なパラメータを修正します。

PWX-00991 **ICUALIAS (*code_page_number,command*) に別名がありません。**

説明： 3 番目のパラメータ位置に、別名が指定されていませんでした。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： 無効なパラメータを修正します。

PWX-00992 **有効な ICUCNVPROPERTY 名は *names* です。**

説明： 有効な ICUCNVPROPERTY 名を一覧表示します。

システムのアクション ICUCNVPROPERTY の検証チェックでエラーが発生すると、メッセージが出力されます。

ユーザの応答： 無効なパラメータを修正します。

PWX-00993 **キーワードパラメータ *parameter=*が重複しています。位置 *position*。**

説明： タスクの入力ファイルで重複するキーワードが指定されました。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： プロセスの入力ファイルを修正し、タスクを再サブミットします。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに詳細を報告します。

PWX-00994 **無効な別名型 *type* です。有効な型は "*types_list*" です。**

説明： オプションの別名型が無効です。この型は、このメッセージに示されている有効な別名型のリストにありません。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 無効な 4 番目のサブパラメータを修正します（リストに記述されている有効な型を指定するか、削除します）。

PWX-00995	ORACLE_CAPTURE_TYPE " <i>type</i> " が CAPI_CONNECTION タイプ " <i>connection_type</i> " と一致しません。
説明:	dbmover コンフィギュレーションファイルで、ORACLE_CAPTURE_TYPE の値が Oracle インスタンス用 CAPI_CONNECTION 文の TYPE パラメータ値と互換性がありません。すべての Oracle インスタンス用 CAPI_CONNECTION 文は、ORAD または ORCL のいずれかの、同じ TYPE 値を指定する必要があります。ORACLE_CAPTURE_TYPE 値が指定された場合、この値と一致している必要があります。
システムのアクション:	Oracle インスタンス用の PowerExchange CDC 処理は異常終了します。
ユーザの応答:	dbmover コンフィギュレーションファイルを編集して、Oracle インスタンス用 CAPI_CONNECTION 文の TYPE の値と互換性のある ORACLE_CAPTURE_TYPE の値を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • CAPI_CONNECTION タイプが ORAD の場合、ORACLE_CAPTURE_TYPE に「D」を入力します。 • CAPI_CONNECTION タイプが ORCL の場合、ORACLE_CAPTURE_TYPE に「L」を入力します。 異なる TYPE 値が指定された複数の Oracle CAPI_CONNECTION 文を使用する場合は、同じ値を指定するようにそれらを編集します。
PWX-00996	" <i>database_name</i> " CAPI_CONNECTION 文 (Oracle インスタンス " <i>instance_name</i> " 用) には、競合する TYPE 値 " <i>type1</i> " および " <i>type2</i> " が含まれています。
説明:	dbmover コンフィギュレーションファイル内で、指定された Oracle インスタンスの CAPI_CONNECTION 文に異なる TYPE パラメータ値が含まれています。CAPI_CONNECTION 文はすべて、同一のキャプチャタイプ (ORAD または ORCL) を指定する必要があります。
システムのアクション:	Oracle インスタンス用の PowerExchange CDC 処理は異常終了します。
ユーザの応答:	dbmover コンフィギュレーションファイルを編集し、Oracle データベースのすべての CAPI_CONNECTION 文に同じ TYPE パラメータ値を指定します。次のいずれかの値を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • ORAD: PowerExchange Express CDC for Oracle を使用する場合。 • ORCL: PowerExchange Oracle CDC with LogMiner を使用する場合。
PWX-00997	CAPI_CONNECTION 名 <i>CAPI_name</i> が複数回表示されています。
説明:	レポートされた CAPI_CONNECTION 名が、複数回表示されています。
システムのアクション:	検証チェックでエラーが発生すると、メッセージが出力されます。
ユーザの応答:	無効なパラメータを修正します。

PWX-00998 CAPI_CONNECTION *CAPI_name* CAPINAME **パラメータの参照が無効です。**

説明： レポートされた CAPI_CONNECTION 名に、無効な CAPINAME 参照が含まれています。

システムのアクション： 検証チェックでエラーが発生すると、メッセージが出力されます。

ユーザの応答： 無効なパラメータを修正します。

PWX-00999 **プログラム論理エラー。プログラム="Program"。行=LineNumber。 P1=AdditionalInfo#1。 P2=AdditionalInfo#2。**

説明： 通常の処理中に予期しないエラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにエラーとその追加の詳細を報告します。

第 3 章

PWX-01000～PWX-01999

- [PWX-01000～PWX-01999, 125](#) ページ

PWX-01000～PWX-01999

PWX-01053 UOWRSTANY **接続パラメータ N は廃止され、Y のみとなりました**

説明： i5/OS ソースの DB2 の AS4J CAPI_CONNECTION 文における UOWRSTANY パラメータは廃止されました。パラメータ値 N はサポートされなくなりました。Y が唯一の有効な値であり、デフォルト値です。

システムのアクション： 抽出セッションがコールドスタートする場合、PowerExchange は現在のジャーナルレシーバ内に開始 UOW ポイントが存在しない部分的な UOW をすべて破棄し、次の UOW を開始します。この結果、データ消失が発生する可能性があります。

ユーザの応答： DBMOVE ファイルで、AS4J CAPI_CONNECTION 文から UOWRSTANY パラメータを削除します。デフォルトの動作は、パラメータが Y に設定された場合と同じです。

PWX-01081 **分割は、SEQ/TXT アクセス方式でのみ有効です。**

説明： 出力を複数のファイルに分散させる分割オプションは、シーケンシャルまたはテキスト出力アクセス方式でのみ有効です。

システムのアクション： DBMOVE は、データを転送せずに終了します。

ユーザの応答： ターゲットの種類または分割オプションを変更します。

PWX-01201 DTLNET Windows **スタートアップに失敗しました**

説明： ネットワークのエラーにより、タスクを正しく起動できませんでした。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： 要求をもう一度実行します。タスクの起動に再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01202	DTLNET 接続待機中
説明:	ソフトウェアは、クライアントとサーバーの接続が確立されるのを待っています。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-01203	DTLNET 要求がタイムアウトになりました (CFG タイムアウト値を参照)
説明:	PowerExchange 構成ファイルで指定された時間内にサーバーから応答を受け取りませんでした。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	ネットワークがビジー状態の場合は、要求をもう一度実行します。それ以外の場合は、クライアントとサーバーの PowerExchange 構成ファイルで指定されているタイムアウト値を、処理の完了に十分な時間に変更します。
PWX-01204	DTLNET 受信長さが予期したとおりではありません
説明:	クライアントがサーバーから受け取る予定のデータ量が、実際に受信したデータ量と異なりました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01205	DTLNET Send-State ではないときに送信しようとしてしました
説明:	クライアントが送信モードではないときに、ソフトウェアがデータ送信要求を発行しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01206	DTLNET 受信時に選択エラーが発生しました
説明:	クライアントとサーバーの通信中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01207	DTLNET パートナから SEND_ERROR を受信しました
説明:	クライアントは、サーバーからのデータ受信中にエラーを受け取りました。

システムのアクション: タスクは終了します。
ン:

ユーザの応答: 要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01208 **DTLNET クライアントの TCPIP アドレスを取得できませんでした**

説明: ソフトウェアは、クライアントの IP アドレスを特定できませんでした。

システムのアクション: タスクは終了します。
ン:

ユーザの応答: クライアントの IP アドレスが設定されていることを確認し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗する場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01209 **DTLNET 一致する NODE が CFG にありません**

説明: PowerExchange 構成ファイルにもリポジトリ（有効な場合）にも、IP アドレスに対応するエントリが見つかりませんでした。

システムのアクション: タスクは終了します。
ン:

ユーザの応答: 必要に応じて PowerExchange 構成ファイルまたはリポジトリを更新し、要求をもう一度実行します。

PWX-01210 **DTLNET メモリ割り当てに失敗しました**

説明: タスクは、必要な関数を実行するために必要なメモリを割り当てられませんでした。

システムのアクション: タスクは終了します。
ン:

ユーザの応答: 要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01211 **DTLNET リスナがハンドオーバーを完了できませんでした**

説明: データ転送中に予期しないエラーが発生しました。

システムのアクション: タスクは終了します。
ン:

ユーザの応答: 要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01212 **DTLNET ポーリングに失敗しました。メモリ不足です**

説明: タスクは、必要な関数を実行するために必要なメモリを割り当てられませんでした。

システムのアクション: タスクは終了します。
ン:

ユーザの応答: 要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01213	DTLNET <i>receive_state</i> ではないときに受信しようとした
説明:	クライアントが受信モードではないときに、ソフトウェアがデータ受信要求を発行しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01214	DTLNET 受信が応答を返しませんでした
説明:	送信モードから受信モードへの切り替え中にタスクが失敗しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01215	データ長が欠落しているか無効です。ファイル <i>file_name</i>、ライン <i>line_number</i>、ルーチン <i>routine_name</i>。
説明:	タスクは、大量のバイト数を送信または受信する予定でした。タスクはこの情報を取得できませんでした。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01216	データポインタが存在しないか無効です。ファイル <i>file_name</i>、ライン <i>line_number</i>、ルーチン <i>routine_name</i>。
説明:	タスクは、大量のバイト数を送信または受信する予定でした。タスクはこの情報を取得できませんでした。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01217	DTLNET 接続に失敗しました
説明:	サーバーへの接続中にタスクが失敗しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01218	DTLNET 初期送信に失敗しました
説明:	タスクの初期化中に、クライアントとサーバーが通信を開始します。クライアントによる初期送信要求がサーバーに届きませんでした。
システムのアクション:	タスクは終了します。

ユーザの応答： 要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01219 DTLNET **初期受信に失敗しました**

説明： タスクの初期化中に、クライアントとサーバーが通信を開始します。クライアントによる初期受信要求がサーバーに届きませんでした。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： 要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01220 DTLNET **送信に失敗しました**

説明： タスクの処理中に、クライアントとサーバーの通信が失敗しました。クライアントによる送信要求がサーバーに届きませんでした。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： 要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01221 DTLNET **受信に失敗しました**

説明： タスクの処理中に、クライアントとサーバーの通信が失敗しました。クライアントによる受信要求がサーバーに届きませんでした。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： 要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01222 DTLNET **切断に失敗しました**

説明： タスクの処理中に、クライアントとサーバーの通信が失敗しました。クライアントによる切断要求がサーバーに届きませんでした。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： 要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01223 DTLNET **エラーの送信に失敗しました**

説明： タスクの処理中に、クライアントとサーバーの通信が失敗しました。クライアントによるエラー送信要求がサーバーに届きませんでした。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： 要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01224	DTLNET Givesocket が失敗しました
説明:	タスクの処理中に、クライアントとサーバーの通信が失敗しました。 クライアントによるソケット提供要求が失敗しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、 Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01225	DTLNET 受諾が失敗しました
説明:	タスクの処理中に、クライアントとサーバーの通信が失敗しました。 クライアントによる受諾要求が失敗しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、 Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01226	DTLNET ソケットの取得に失敗しました
説明:	タスクの処理中に、クライアントとサーバーの通信が失敗しました。 クライアントによるソケット取得要求が失敗しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、 Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01227	DTLNET リモートユーザーアプリケーションエラー
説明:	タスクは、サーバーで動作するユーザーアプリケーションからエラー を受け取りました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	ユーザーアプリケーションを修正し、要求をもう一度実行します。タ スクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポ ートに問い合わせて、指示を受けてください。
PWX-01228	DTLNET リモートアプリケーションマネージャのロードに失 敗しました
説明:	タスクは、サーバーで動作するユーザーアプリケーションの起動中に エラーを受け取りました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	ユーザーアプリケーションを修正し、要求をもう一度実行します。タ スクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポ ートに問い合わせて、指示を受けてください。

PWX-01229	DTLNET データを受信しませんでした
説明:	タスクは、大量のバイト数のデータを受信する予定でした。タスクはこの情報を取得できませんでした。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01230	DTLNET リモートアプリケーションデータ長エラー
説明:	クライアントがサーバーから受け取る予定のデータ量が、実際に受信したデータ量と異なりました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01231	DTLNET リモート DB 要求が OPEN または FINDNEXT ではありません
説明:	予期しない要求を受け取りました。OPEN 要求または FINDNEXT 要求のみ受信します。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01233	DTLNET gethostname()が失敗しました
説明:	タスクに指定された IP アドレスにホスト名情報が返されませんでした。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	すべての TCP/IP 情報が正しいことを確認し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗する場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01234	DTLNET GEN_EncryptAES が失敗しました
説明:	関数 GEN_EncryptAES がエラーを返しました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-01235	DTLNET GEN_DecryptAES が失敗しました
説明:	関数 GEN_DecryptAES がエラーを返しました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-01236 DTLNET DB **要求が終了しました。暗号化の種類がサポートされていません。**

説明： その暗号化の種類には対応していません。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： 必要なプラットフォームで使用可能な暗号化の種類を設定します。

PWX-01240 DTLNET SSL は、このプラットフォームではサポートされていません。要求=request_type。

説明： このプラットフォームでは SSL（セキュアソケット）がサポートされていませんが、SSL を使用できると考えたクライアントノードから要求がありました。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： リモートマシンで NODE 文から SSL サブパラメータを削除します。

PWX-01241 DTLNET 受諾が SELECT 中にタイムアウトになりました（*n* 秒後）。

説明： PowerExchange Listener が、そのいずれかのポートで新しい作業要求を受け入れようとしたが、ソケット SELECT コマンドの実行中にタイムアウトが発生しました。

システムのアクション： 受信した作業要求が、15 秒間の一時停止後に拒否されました。PowerExchange Listener は、新しい作業の有無をポーリングします。

ユーザの応答： これは、一般にネットワークの問題が発生していることを示します。

PWX-01242 DTLNET 受諾がヘッダの RECV 中にタイムアウトになりました（*n* 秒後）。bytes が必要です。bytes バイトを受信しました。

説明： PowerExchange Listener が、そのいずれかのポートで新しい作業要求を受け入れようとしたが、ソケット RECV コマンドを実行して最初のパケットを取得しようとしているときにタイムアウトが発生しました。

システムのアクション： 受信した作業要求が、15 秒間の一時停止後に拒否されました。PowerExchange Listener は、新しい作業の有無をポーリングします。

ユーザの応答： このメッセージは、ネットワークの問題が原因で発生することもあります。多くの場合は、PowerExchange クライアントから受信したパケットが、PowerExchange Listener が予期していたサイズよりも小さかったことを示します。以下に例を示します。

1. DTLREXE などのクライアントプロセスが、SSL を使用するように構成されている NODE に要求を送信したものの、PowerExchange Listener が SSL 用に構成されていない場合。クライアントの PowerExchange 構成ファイルの NODE 文が、PowerExchange Listener の構成ファイルの PowerExchange Listener 文と一致することを確認します。SSL は、両方に存在するか、または両方に存在しない必要があります。
2. PowerExchange Listener が、PowerExchange クライアント以外（ポートスニファなど）からパケットを受け取った場合。

PWX-01243 **DTLNET 受諾がデータの RECV 中にタイムアウトになりました (n 秒後)。bytes が必要です。bytes バイトを受信しました。**

説明： PowerExchange Listener が、そのいずれかのポートで新しい作業要求を受け入れようとしたが、ソケット RECV コマンドを実行してデータパケットを取得しようとしているときにタイムアウトが発生しました。

システムのアクション： 受信した作業要求が、15 秒間の一時停止後に拒否されました。PowerExchange Listener は、新しい作業の有無をポーリングします。

ユーザの応答： このメッセージが発生することはほとんどありません（通常は、PowerExchange クライアントプログラムが接続処理でデータパケットを送信することはありません）。Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01244 **DTLNET 受信がネットワーク選択操作中にタイムアウトになりました (n 秒後)。**

説明： データの受信を待機している間、接続のネットワークアクティビティタイムアウト期間中に、PowerExchange がネットワークアクティビティを検出ませんでした。

システムのアクション： 受信要求が失敗し、タスクが終了します。

ユーザの応答： ネットワークがビジー状態の場合は、要求をもう一度実行します。あるいは、PWX Override プロパティの TCPIP_OP_TIMEOUT パラメータが接続に指定されている場合は、値を大きくします。また、接続のための PWX Override プロパティの TCPIP_CON_TIMEOUT パラメータ値を大きくすることもできます。詳細については、『PowerCenter 用の PowerExchange インタフェース』を参照してください。

PWX-01245 **DTLNET 受信がヘッダの RECV 中にタイムアウトになりました (n 秒後)。bytes が必要です。bytes バイトを受信しました。**

説明： ヘッダパケットの受信を待機している間、接続のネットワークアクティビティタイムアウト期間中に、PowerExchange がネットワークアクティビティを検出ませんでした。

システムのアクション: 受信要求が失敗し、タスクが終了します。

ユーザの応答: ネットワークがビジー状態の場合は、要求をもう一度実行します。あるいは、PWX Override プロパティの TCPIP_OP_TIMEOUT パラメータが接続に指定されている場合は、値を大きくします。また、接続のための PWX Override プロパティの TCPIP_CON_TIMEOUT パラメータ値を大きくすることもできます。詳細については、『PowerCenter 用の PowerExchange インタフェース』を参照してください。

PWX-01246 DTLNET 受信がデータの RECV 中にタイムアウトになりました (*n* 秒後)。bytes が必要です。bytes バイトを受信しました。

説明: データパケットの受信を待機している間、接続のネットワークアクティビティタイムアウト期間中に、PowerExchange がネットワークアクティビティを検出しませんでした。

システムのアクション: 受信要求が失敗し、タスクが終了します。

ユーザの応答: ネットワークがビジー状態の場合は、要求をもう一度実行します。あるいは、PWX Override プロパティの TCPIP_OP_TIMEOUT パラメータが接続に指定されている場合は、値を大きくします。また、接続のための PWX Override プロパティの TCPIP_CON_TIMEOUT パラメータ値を大きくすることもできます。詳細については、『PowerCenter 用の PowerExchange インタフェース』を参照してください。

PWX-01250 DBNTC 場所 "*Location*" への通信の初期化に失敗しました。理由コード *ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3*。

説明: 指定された場所への通信の初期化中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、指定された理由コードに関する詳細な情報が記載されています。

システムのアクション: タスクは終了します。

ユーザの応答: エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01251 DBNTC 場所場所への通信の接続に失敗しました。理由コード *ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3*

説明: 指定された場所との接続中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、指定された理由コードに関する詳細な情報が記載されています。

システムのアクション: タスクは終了します。

ユーザの応答: エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01252	DBNTC 初期の TaskStep CONVERSE (場所 Location への) に失敗しました。戻りコード ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3。
説明:	指定された場所との通信中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01253	DBNTL 内部長エラー。STD ローカル=LocalLength、受信 RemoteLength。
説明:	内部プロセスが、クライアントソフトウェアとサーバーソフトウェアに違いがあることを検出しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	クライアントとサーバーが同じリリースのソフトウェアを使用していることを確認します。使用している場合、Informatica グローバルカスタマサポートにエラーを報告します。
PWX-01254	DBNTL 内部長エラー。IBMD ローカル=LocalLength、受信 RemoteLength。
説明:	内部プロセスが、クライアントソフトウェアとサーバーソフトウェアに違いがあることを検出しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	クライアントとサーバーが同じリリースのソフトウェアを使用していることを確認します。使用している場合、Informatica グローバルカスタマサポートにエラーを報告します。
PWX-01255	DBNTL 初期要求が OPEN または FINDNEXT DB_Request ではありません。
説明:	予期しない要求を受け取りました。OPEN 要求または FINDNEXT 要求のみ受信します。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01256	DBNTL ファイル file_name の受信 SQL に失敗しました。戻りコード ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3。
説明:	通信中、メッセージで示されているファイルの SQL 要求の処理中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。

システムのアクション: タスクは終了します。

システム:

ユーザの応答: エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01257 DBNTL **ファイル *file_name* の SQL のストレージを取得できませんでした。**

説明: タスクは、必要な十分なメモリを割り当てられませんでした。

システムのアクション: タスクは終了します。

システム:

ユーザの応答: 要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01258 DBNTL COLDSC の送信で DB *file_name* に失敗しました。戻りコード *ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3*。

説明: 通信中、メッセージで示されているファイルのカラム記述要求の処理中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。

システムのアクション: タスクは終了します。

システム:

ユーザの応答: エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01259 DBNTL **変換の早期終了でファイル *file_name* を受信しました。**

説明: 通信中に通信を停止させるエラーが発生しました。詳細については、前のメッセージを参照します。

システムのアクション: タスクは終了します。

システム:

ユーザの応答: エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01260 DBNTC **場所 *Location* への記述 CONVERSE に失敗しました。戻りコード *ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3*。**

説明: 通信中、メッセージで示されているファイルのコンバース要求の処理中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。

システムのアクション: タスクは終了します。

システム:

ユーザの応答: エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01261	DBNTC 列エントリの長さが一致しません。ローカル=LocalLength、リモート=RemoteLength。
説明:	内部プロセスが、クライアントソフトウェアとサーバーソフトウェアに違いがあることを検出しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	クライアントとサーバーが同じリリースのソフトウェアを使用していることを確認します。 使用している場合、Informatica グローバルカスタマサポートにエラーを報告します。
PWX-01262	DBNTC DB <i>file_name</i> の記述に失敗しました。NCOL がゼロです。
説明:	<i>file_name</i> の記述が、ソフトウェアに必要なカラムメタデータ情報を返せませんでした。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	<i>file_name</i> が有効なことを確認し、要求をもう一度実行します。 タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01263	DBNTL ファイル <i>file_name</i> の次の要求の受信に失敗しました。 戻りコード <i>ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3</i>。
説明:	メッセージで示されているファイルの処理中にエラーが発生しました。 前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01264	DBNTL 不正な長さ <i>length</i> ファイル <i>file_name</i> の受信 READ を受信しました。 戻りコード <i>ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3</i>。
説明:	メッセージで示されているファイルの処理中にエラーが発生しました。 前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01265 DBNTC **ファイル *file_name* の READ ヘッダの送信に失敗しました。戻りコード *ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3*。**

説明： メッセージで示されているファイルの処理中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01266 DBNTC **ファイル *file_name* の READ ヘッダの受信に失敗しました。戻りコード *ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3*。**

説明： メッセージで示されているファイルの処理中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01267 DBNTC **ファイル *file_name* の CLOSE ヘッダの送信に失敗しました。戻りコード *ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3*。**

説明： メッセージで示されているファイルの処理中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01268 DBNTC **ファイル *file_name* の切断エラーに失敗しました。戻りコード *ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3*。**

説明： メッセージで示されているファイルの処理中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01269 DBNTC **ファイル *file_name* の WRITE データの受信に失敗しました。戻りコード *ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3*。**

説明： メッセージで示されているファイルの処理中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01270 DBNTC **ファイル *file_name* の送信に失敗しました。戻りコード *ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3*。**

説明： メッセージで示されているファイルの処理中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01271 DBNTC **ファイル *file_name* の最終 WRITE の対話に失敗しました。戻りコード *ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3*。**

説明： メッセージで示されているファイルの処理中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01272 DBNTC **ファイル *file_name* の ROLLBACK が失敗しました。戻りコード *ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3*。**

説明： メッセージで示されているファイルの処理中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01273	DBNTC ファイル <i>file_name</i> の FORCESYNC が失敗しました。 パートナエラー戻りコード <i>reason_code1/reason_code2/ reason_code3</i>。
説明：	指定されたファイルの処理中にエラーが発生しました。理由コードに関する情報については、前のエラーメッセージを確認してください。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01274	DBNTC Operation (ファイル <i>file_name</i> の) が失敗しました。 戻りコード <i>ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3</i>。
説明：	メッセージで示されているファイルの処理中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01275	DBNTC ファイル <i>file_name</i> の ExecSQL が失敗しました。戻りコード <i>ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3</i>。
説明：	メッセージで示されているファイルの処理中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01276	DBNTC ファイル <i>file_name</i> の最終挿入送信が失敗しました。 戻りコード <i>ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3</i>。
説明：	メッセージで示されているファイルの処理中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01277	アプリケーションバッファサイズ <i>buffer_size</i> が小さすぎます。推奨: <i>required_size</i>。APPBUFSIZE パラメータを確認してください。
説明：	指定されたアプリケーションバッファのサイズが小さすぎます。

システムのアクション タスクは終了します。

ン：

ユーザの応答： アプリケーションバッファのサイズを増やし、要求をもう一度試します。アプリケーションバッファサイズを増やすには、次のアクションのいずれかを実行します。

- DBMOVER コンフィギュレーションファイルで、行の最大長より大きい APPBUFSIZE 値を指定します。
- **[PWX オーバーライド]** 接続属性で、APPBUFSIZE オプションに行の最大長より大きい値を指定します。

バッファは、許容される最大サイズの単一の行（制御情報を含む）を保持できるだけの十分な大きさである必要があります。このエラーメッセージに推奨サイズとして N/A が表示される場合は、最大の行サイズが PowerExchange でサポートされるサイズを超えています。この場合、処理中のデータを変更して行の最大サイズを小さくする必要があります。

PWX-01278 DBNTC **ファイル *file_name* の送信バッファのフラッシュが失敗しました。 戻りコード *ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3*。**

説明： メッセージで示されているファイルの処理中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。

システムのアクション タスクは終了します。

ン：

ユーザの応答： エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01279 DBNTC **ファイル *file_name* の Operation が失敗しました。 戻りコード *ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3*。**

説明： メッセージで示されているファイルの処理中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。

システムのアクション タスクは終了します。

ン：

ユーザの応答： エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01280 DBNTC **通信エラーによりファイル *file_name* の Operation が失敗しました。 戻りコード *ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3*。**

説明： メッセージで示されているファイルの処理中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。

システムのアクション タスクは終了します。

ン：

ユーザの応答：	エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01281	DBNTL クライアントから予期しない要求 <i>request_type</i> (説明) を受信しました。
説明：	タスクが予期しない要求を受け取りました。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01282	DBNTC 場所場所への記述 PARAMETER RECEIVE に失敗しました。戻りコード <i>ReasonCode1/ReasonCode2/ReasonCode3</i>。
説明：	メッセージで示されているファイルの処理中にエラーが発生しました。前のエラーメッセージに、理由コードに関する詳細な情報が記載されています。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	エラーを修正し、要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01283	DBNTL DBCB 番号は 1~<i>Maximum_DBCB_Slots</i> の範囲でなければなりません。
説明：	許容範囲外の数を使用して接続が行われました。現在の最大値は 16 です。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01284	DBNTL 接続されている DBCB の最初の要求は Open または FINDNEXT でなければなりません。
説明：	予期しない要求を受け取りました。OPEN 要求または FINDNEXT 要求のみ受信します。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	要求をもう一度実行します。タスクが再び失敗した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01285	DBNT <i>Process</i> が <i>Direction</i> の無効な方向が存在するのを検出しました。
説明：	通信中に予期しないエラーが発生しました。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01286	DBNT2 <i>Variable</i> の <i>varstring</i> の作成に失敗しました。プログラム <i>ProgramName</i>、行番号 <i>LineNumber</i>。
説明:	タスクの処理中に内部エラーが発生しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01287	DBNT <i>PresenceType</i> の無効な種類が存在することを検出しました。
説明:	タスクの処理中に内部エラーが発生しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01288	DBNTL <i>function</i> (ファイル <i>file_name</i> の) でオペレータのクローズ要求を検出しました。
説明:	タスクを実行している PowerExchange Listener が終了したため、タスクが終了しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-01289	DBNTC 接続ターゲットは <i>IP_nameIP_addr</i>ポート<<i>port</i>>です。
説明:	PowerExchange は、指定されたアドレスとポートに接続できませんでした。
システムのアクション:	処理は終了します。PowerExchange はエラーを報告します。
ユーザの応答:	使用するアドレスが実行中の PowerExchange Listener で利用できることを確認します。
PWX-01290	DBNTC ファイル場所の受信エラーが発生しました。ユーザーデータが返されませんでした。戻りコード <i>return_code1/return_code2/return_code3</i>。
説明:	ネットワークから受信予定のデータが見つかりません。
システムのアクション:	処理は終了します。PowerExchange はエラーを報告します。
ユーザの応答:	すべてのログ情報を収集し、問題を製品の Informatica グローバルカスタマサポートに報告します。
PWX-01291	DBNTC フィールドの変換中にエラーが発生しました。
説明:	文字を別のコードページに変換しているときに、エラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。PowerExchange はエラーを報告します。

ユーザの応答：	このエラーの詳細については、関連する別のエラーメッセージを参照してください。ソースとターゲットのコードページ、ICU から報告されたエラー情報、問題データの最初の 100 バイトなどの情報が得られます。このエラーがマルチバイト SQL で発生した場合は、ソースとターゲットの両方のマシンについて、SQL のマルチバイトコードページが CODEPAGE パラメータで指定されていることを確認します。
PWX-01292	DBNTC エラーが発生しました。列 <i>column_name</i> の長さ <i>length</i> がテーブル <i>table_name</i> の列長 <i>row_length</i> を超えています。
説明：	PowerExchange が可変長カラムの長さを計算中にエラーが発生しました。マッピングで可変長カラムを指定したことで、計算されたカラム長はマップ対象の行には長すぎます。
システムのアクション：	処理は終了します。PowerExchange はエラーを報告します。
ユーザの応答：	ログ情報を収集します。続いて、Informatica グローバルカスタマサポートに問題を報告します。
PWX-01293	DBNTC エラーが発生しました。列 <i>column_name</i> の長さ <i>length</i> がテーブル <i>table_name</i> の列の長さ <i>column_length</i> を超えています。
説明：	PowerExchange がカラムに受け取ったデータの長さはマッピングのカラムの長さよりも長くなっています。
システムのアクション：	処理は終了します。PowerExchange はエラーを報告します。
ユーザの応答：	ログ情報を収集します。続いて、Informatica グローバルカスタマサポートに問題を報告します。
PWX-01295	ネットワークバッファ長 (APPBUFSIZE) は十分なパフォーマンスを得るには小さすぎます。推奨: <i>bytes</i>
説明：	DBMOVER 構成ファイルの APPBUFSIZE 文で指定されたアプリケーションバッファサイズが、最大サイズの 2 つのデータ行を保持するために十分ではない場合、オフロード処理を使用する場合にパフォーマンスが低下する可能性があります。このメッセージには、推奨されるバッファサイズが含まれます。
システムのアクション：	処理は継続します。

ユーザの応答：	スループットを向上させるチューニングを要するセッションでオフロード処理を使用する場合は、DBMOVER 構成ファイルの APPBUFSIZE 文内の値を少なくとも 推奨値まで大きくします。また、アプリケーションバッファの動的なサイズ決定が有効になっていることを確認します。動的アプリケーションバッファのサイズ決定はデフォルトで有効になっています。DBMOVER 構成ファイルで APPBUFSIZEDYN=Y を指定することにより、明示的に有効にできます。
	CDC オフロード処理のチューニング詳細については、使用しているシステムの CDC ガイドを参照してください。バルクデータオフロード処理のチューニングの詳細については、『PowerExchange バルクデータ移動ガイド』を参照してください。
PWX-01296	ネットワーク接続が無効です。直前にエラーが発生しました (process)。
説明：	ネットワーク接続で試行中に、指定された処理でその前のエラーが検出されました。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	失敗の原因を確認するには、PowerExchange ログ内のそれより前のメッセージを調べます。
PWX-01297	ネットワークバッファ長 (APPBUFSIZE) が小さすぎるためサイズ変更されます
説明：	ネットワークバッファ長が小さすぎます。転送の開始時に、この接続のためにアプリケーションバッファのサイズが PowerExchange によって動的に変更されます。
システムのアクション：	処理は継続します。
ユーザの応答：	<p>アプリケーションバッファの初期サイズを増やすには、次のアクションのいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DBMOVER コンフィギュレーションファイルで、行の最大長より大きい APPBUFSIZE 値を指定します。 • [PWX オーバーライド] 接続属性で、APPBUFSIZE オプションに行の最大長より大きい値を指定します。 <p>デフォルトでは、各接続用のアプリケーションバッファの初期サイズは 256,000 バイトです。</p>
PWX-01305	パラメータ <i>parm_name</i> と <i>parm_name2</i> は相互に排他的です
説明：	dbmove の引数として 2 つのパラメータを一緒に使用することはできません。
システムのアクション：	処理は終了します。PowerExchange はエラーを報告します。
ユーザの応答：	必要なパラメータを決定し、1 つだけ使用します。

PWX-01331	テーブルまたはドキュメントが見つかりません <i>resource</i>
説明:	存在しないテーブルまたはドキュメント名を使用してデータをマップしようとしてしました。
システムのアクション:	PowerExchange がエラーを報告します。処理は終了します。
ユーザの応答:	テーブルまたはドキュメント名が正しいことを確認します。
PWX-01343	DB_READ_C アプリケーション名の最大文字数は 20 文字です。
説明:	CAPX 要求では、アプリケーション名の最大長は 20 文字です。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	アプリケーション/データベース名 2 を修正し、もう一度実行します。
PWX-01344	DB_READ_C アプリケーション名を定義する必要があります。
説明:	CAPX 要求では、アプリケーション名を指定する必要があります。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	アプリケーション/データベース名 2 を指定し、もう一度実行します。
PWX-01345	DB_READ_C アプリケーション名の先頭の文字は英字でなければなりません。先頭以外には英数字と_#%\$を指定できません
説明:	CAPX 要求の場合、アプリケーション名の先頭文字は英字でなければなりません。先頭以外には英数字と下線(_)、シャープ(#)、パーセント(%)、ドル(\$)を指定できます。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	アプリケーション/データベース名 2 を修正し、もう一度実行します。
PWX-01456	パスワードの解読に失敗しました
説明:	システムエラーが発生しました。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01481	CFG DATERANGE パラメータエラー。終了日が開始日より前になっています。
説明:	PowerExchange 構成ファイルの DATERANGE パラメータの終了日は、開始日以降でなければなりません。
システムのアクション:	PowerExchange はエラーダイアログボックスを表示します。処理は異常終了します。
ユーザの応答:	終了日が開始日以降になるように PowerExchange 構成ファイルの DATERANGE パラメータを修正します。

PWX-01492	CFG DEFAULTDATE パラメータエラー。無効な日付です。 <date>
説明:	PowerExchange 構成ファイルの DEFAULTDATE パラメータで指定された日付は形式が無効です (YYYYMMDD)。
システムのアクション:	PowerExchange はエラーダイアログボックスを表示します。処理は異常終了します。
ユーザの応答:	PowerExchange 構成ファイルの DEFAULTDATE パラメータを有効な YYYYMMDD 日付形式に修正します。
PWX-01500	文 statementid のデータマップをロードする順序が違います。
説明:	データマップの文が間違った順序でロードされています。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	データマップが手動で変更されていない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにエラーを報告します。そのとき、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-01501	フルマップ名の長さが length バイトを超えています。
説明:	マップ名の長さが許容値を超えています。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	有効な長さのマップ名を入力します。
PWX-01502	指定した 16 進数値が無効です。
説明:	16 進数フィールド値が無効です。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	有効な 16 進数値を入力します。
PWX-01503	レコード ID 値が長すぎます。
説明:	[レコード ID] フィールドに、フィールド長より長い値が指定されました。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	有効なレコード ID を入力します。
PWX-01504	レコード ID 値が無効です。
説明:	[レコード ID] フィールドに指定された値は、フィールドの特性に適していません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	有効なレコード ID を入力します。

PWX-01505	フィールドの種類がレコード ID の用途に適格ではありません。
説明:	フィールドの型としてレコード ID を指定するのは適切ではありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	レコード ID を削除するか、フィールドの型を変更します。
PWX-01506	<i>name</i> は有効な名前ではありません。
説明:	Adabas フィールド名が無効です。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	ドキュメントの構造が有効であることを確認します。Adabas 名が 2 バイト長で、最初の文字は英字 (e または E を除く)、2 番目の文字は英数字であることを確認します。
PWX-01507	無効なフィールドフォーマットです。
説明:	フィールドに指定されたフィールドフォーマット文字列は、フィールドの特性に適していません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	有効なフィールドフォーマット文字列を入力します。
PWX-01508	少なくとも 1 つのレコードを定義する必要があります。
説明:	データマップには、少なくとも 1 つのレコードが必要です。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	レコードを入力します。
PWX-01509	レコード <i>rd_name</i> の計算した長さは <i>recsize</i> で、マップのプロパティに指定されている値 <i>maxsize</i> を超えています。
説明:	レコードにレコード長が指定されましたが、超えています。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	レコード構造が正しく、指定されたレコード長が正しいことを確認します。
PWX-01510	フィールド <i>field_name</i> (レコード <i>record_name</i> 内) :区切りフォーマットレコードで無効な種類です。
説明:	レコードフォーマットは区切られていますが、フィールドが有効な種類ではありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	

ユーザの応答： フィールドプロパティを変更して、フィールドを有効な種類にします。

PWX-01511 **フィールド *field_name* (レコード *record_name* 内) :レコード ID フィールドは配列の一部であってはいけません。**

説明： レコード ID フィールドを配列のメンバにすることはできません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： フィールドを配列から削除するか、レコード ID を削除します。

PWX-01512 **フィールド *field_name* (レコード *record_name* 内) :レコード ID フィールドは、固定オフセットになければなりません。**

説明： レコードが区切りフォーマットではない場合、フィールドは固定オフセットになければなりません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： レコードが区切りフォーマットではない場合、フィールドが固定オフセットにあることを確認します。

PWX-01513 **フィールド *field_name* (レコード *record_name* 内) :可変配列カウントフィールド *count_name* が整数または許可された種類ではありません。**

説明： フィールドが可変配列の場合、カウントフィールドの種類は整数でなければなりません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： カウントフィールドの種類が整数であることを確認します。

PWX-01514 **フィールド *field_name* (レコード *record_name* 内) : [可変長カウント] フィールド *count_name* が整数または許可された種類ではありません。**

説明： カウントフィールドの種類が整数ではありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： カウントフィールドの種類が整数であることを確認します。

PWX-01515 **フィールド *field_name* (レコード *record_name* 内) :配列カウントフィールド *count_name* が見つかりません。**

説明： 配列カウントフィールドが見つかりませんでした。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 配列カウントフィールドが、それを使用するフィールドの前にあることを確認します。

PWX-01516	フィールド <i>field_name</i>. 配列カウントフィールド <i>count_name</i> が見つかりません。
説明:	配列カウントフィールドが見つかりませんでした。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	配列カウントフィールドが、それを使用するフィールドの前にあることを確認します。
PWX-01517	フィールド <i>field_name</i> (レコード <i>record_name</i> 内) :可変長カウントフィールド <i>count_name</i> が見つかりません。
説明:	[可変長カウント] フィールドが見つかりませんでした。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	[可変長カウント] フィールドが、それを使用するフィールドの前にあることを確認します。
PWX-01518	フィールド <i>field_name</i>. 可変長カウントフィールド <i>count_name</i> が見つかりません。
説明:	[可変長カウント] フィールドが見つかりませんでした。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	[可変長カウント] フィールドが、それを使用するフィールドの前にあることを確認します。
PWX-01519	マップには <i>rec_count</i> 個のレコードが含まれていますが、レコード ID フィールドが指定されているのは <i>numrecid</i> 個だけです。
説明:	複数のレコードが定義されていますが、ID のないレコードもあります。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	すべてのレコードに ID があることを確認します。
PWX-01520	少なくとも 1 つのテーブルまたはドキュメントを指定する必要があります。
説明:	マップには、少なくとも 1 つのテーブルまたはドキュメントが必要です。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	テーブルまたはドキュメントを入力します。
PWX-01521	ベースフィールド <i>field_name</i> (列 <i>column_name</i> (テーブル <i>table_name</i> 内の)) が存在しません。
説明:	テーブルのカラムにベースフィールドが存在しません。

システムのアクション: 検証に失敗しました。
ン:

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-01522 **依存関係 *record_name* には *new_row* というマークが付いていますが、同じレベルに他の依存が存在します。**

説明: 同じレベルに複数の依存関係がある場合、依存レコードに新しい行というマークを付けることはできません。

システムのアクション: 検証に失敗しました。
ン:

ユーザの応答: 選択したレコードの複数インスタンスをどのように処理するかチェックします。

PWX-01523 **依存関係 *record_name* には *new_row* というマークが付いていますが、上位レベルには、レベルあたり複数の依存があります。**

説明: 上位レベルに複数の依存関係がある場合、依存レコードに *new_row* というマークを付けることはできません。

システムのアクション: 検証に失敗しました。
ン:

ユーザの応答: 選択したレコードの複数インスタンスをどのように処理するかチェックします。

PWX-01524 **依存関係 *<record_name1>* には *new_row* というマークが付いているため、配列である *<record_name1>* に依存することはできません。**

説明: 上位レベルは配列としてマークされるため、依存レコードを「新しい行」としてマークすることはできません。

システムのアクション: 検証に失敗しました。
ン:

ユーザの応答: 選択したレコードの複数インスタンスをどのように処理するかチェックします。

PWX-01525 **セグメント *segment* (依存 *<record_name1>* (テーブル *table_name* 内の) によって参照されている) は、すでに依存 *<record_name1>* によって参照されています。**

説明: セグメント名が2つのレコード依存によって参照されました。

システムのアクション: 検証に失敗しました。
ン:

ユーザの応答: レコード依存で、1つのセグメントが1度だけ参照されていることを確認します。

PWX-01526 **レコード依存は、*levels_depth* レベルまでネストできます。**

説明: レコード依存数が許容最大数を超過しました。

システムのアクション: 検証に失敗しました。

ユーザーの応答:

レコード依存の数を減らします。

PWX-01527 **DL1 のレコード依存階層の最上位レベルは、1 つの依存に制限されています。**

説明: 最上位レベルで定義できるレコードは 1 つだけです。

システムのアクション: 検証に失敗しました。

ユーザーの応答:

最上位レベルで 1 つのレコードだけが定義されていることを確認します。

PWX-01528 **レコード ID 用途にはフィールドが長すぎます。**

説明: フィールドが、レコード ID として使用するには長すぎます。

システムのアクション: 検証に失敗しました。

ユーザーの応答:

有効なフィールドを入力します。

PWX-01529 **マップ *schema_name.map_name* の整合性チェックが次の警告を生成しました:**

説明: 一連の警告の前に表示されるメッセージです。

ユーザーの応答: 警告をチェックし、各警告メッセージを参照します。

PWX-01530 **マップ *schema_name.map_name* の整合性チェックが以下のエラーを生成しました。**

説明: 一連のエラーの前に表示されるメッセージです。

システムのアクション: 検証に失敗しました。

ユーザーの応答:

エラーをチェックし、各エラーメッセージを参照します。

PWX-01531 **フィールド *field_name* (レコード *record_name* 内の) に、区切りデータマップでは許可されていない種類 *field_type* があります。**

説明: フィールドの型が、区切りマップでは無効です。

システムのアクション: 検証に失敗しました。

ユーザーの応答:

フィールドの型が正しく入力されていることを確認します。

PWX-01532 **Adabas フィールド *ada_field_name* が FDT に存在しません。**

説明: Adabas フィールドが FDT に存在しないため、検証できません。

ユーザーの応答: FDT のリフレッシュが必要かどうかを確認します。

PWX-01533	PowerExchange のデータ型が、Adabas フィールド <i>ada_field_name</i> の FDT 定義と互換性がありません。
説明:	FDT のフィールドプロパティが、PowerExchange のフィールドプロパティと互換性がありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	PowerExchange フィールドのプロパティが正しく設定されていることを確認します。
PWX-01534	フィールド <i>field_name</i> (レコード <i>record_name</i> 内の) が、Adabas フィールド <i>ada_field_name</i> の FDT 定義と互換性がありません。
説明:	PowerExchange のフィールド定義の特性は、Adabas フィールドの実際の特性と互換性があります。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	PowerExchange フィールドのプロパティが正しく設定されていることを確認します。
PWX-01535	Adabas フィールド <i>ada_field_name</i> は、MU または PE ではありません。配列として定義できません。
説明:	Adabas フィールドを配列として定義するには、MU または PE でなければなりません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	Adabas と PowerExchange のフィールド定義が正しく宣言されていることを確認します。
PWX-01536	長さのオーバーライドは、Adabas フィールド <i>ada_field_name</i> では有効ではありません。
説明:	FDT 特性を使用して Adabas フィールドに指定された長さのオーバーライド値は使用できません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	Adabas と PowerExchange のフィールド定義が正しく宣言されていることを確認します。
PWX-01537	オフセットオーバーライドが [Adabas] フィールド <i>ada_field_name</i> に対して有効ではありません。
説明:	FDT 特性を使用すると、[Adabas] フィールドに指定されたオフセットのオーバーライド値は使用できません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	Adabas と PowerExchange のフィールド定義が正しく宣言されていることを確認します。

PWX-01538	長さのオーバーライドは、Adabas フィールド <i>ada_field_name</i> では有効ではありません。PowerExchange=<i>value1</i>。Adabas=<i>value2</i>。
説明:	FDT 特性を使用した長さまたは精度が Adabas フィールドの最大値を超えています。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	Adabas と PowerExchange のフィールド定義が正しく宣言されていることを確認します。
PWX-01539	フィールドの種類が FDT または Adabas フィールド <i>ada_field_name</i> のオーバーライド長と互換性がありません。有効長さ=length。
説明:	入力された PowerExchange のフィールドの型または長さ、あるいは両方が FDT 定義と互換性がありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	有効なフィールド長さまたはフィールドの型の組み合わせを入力します。
PWX-01540	オフセットオーバーライドと PowerExchange 長の加算値が Adabas フィールド <i>ada_field_name</i> の有効長さを超えています。有効長さ=length。
説明:	PowerExchange の長さの合計が、FDT の定義を超えています。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	オーバーライドとオフセットの長さが PowerExchange の長さを超えていないことを確認します。
PWX-01541	フィールド <i>field_name</i> (レコード <i>record_name</i> 内の) は、Adabas グループフィールド <i>ada_grp_field</i> にマップできません。グループに複数の値または変数フィールド。
説明:	Adabas グループフィールドの構造では、フィールドをマップすることができません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	フィールドまたはグループ構造を修正します。
PWX-01542	フィールド <i>field_name</i> (レコード <i>record_name</i> 内の) に Adabas 名 (最上位フィールド) が必要です。
説明:	必須の [Adabas 名] フィールドが空です。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	有効な Adabas 名を入力します。

PWX-01543 **フィールド *field_name* (レコード *record_name* 内) :Null 制御フィールド *null_field*が見つかりません。**

説明： フィールドは Null にできるフィールドとして設定されていますが、対応する制御フィールドが見つかりません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 対応する Null 制御フィールドが存在することを確認します。

PWX-01544 **フィールド *field_name* (レコード *record_name* 内) : [配列での Null 制御] フィールド *null_field*が見つかりません。**

説明： フィールドは Null にできるフィールドとして設定されていますが、対応する制御フィールドが見つかりません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 対応する Null 制御フィールドが存在することを確認します。

PWX-01545 **データマップレコード内のフィールド数がテーブル内のカラム数と一致しません。データ内の Null 値をチェックできません。データ内の Null 値をチェックできません。**

説明： データマップレコード内のフィールド数がテーブル内のカラム数と一致しません。データ内の Null 値をチェックできません。データ内の Null 値をチェックできません。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-01546 **レコード *record_name* に、フィールド名 *field_name* の種類と式 (またはそのいずれか) がありません。**

説明： フィールドが正しく定義されていません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： フィールドの型または式、あるいは両方を入力します。

PWX-01547 **レコード *record_name* に無効なフィールド名 *field_name* が含まれています。**

説明： レコードに無効なフィールド名が含まれています。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 有効なフィールド名を入力します。

PWX-01548 **レコード *record_name* にフェーズ値がありません。**

説明： 式を含むフィールドにはフェーズ値が必要です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [フェーズ] の値を入力します。

PWX-01549	レコード <i>record_name</i> に無効なフィールド名 <i>field_name</i> が含まれています。
説明:	レコードに重複するフィールド名が含まれています。フィールド名は一意でなければなりません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	フィールド名が一意であることを確認します。
PWX-01550	レコード <i>record_name</i> に宣言されていないフィールド名 <i>field_name</i> が含まれています。
説明:	定義されていないフィールド名がレコードに含まれています。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	すべてのフィールド名が宣言されていることを確認します。
PWX-01551	レコード <i>record_name</i> にエラーが含まれています。エラー。
説明:	無効な式がレコードに含まれています。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	有効な式だけが含まれていることを確認します。
PWX-01552	レコード <i>record_name</i> に【フィールド名】がありません。
説明:	レコードに、フィールド名のないフィールド宣言が含まれています。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	すべてのフィールド宣言に有効なフィールド名が含まれていることを確認します。
PWX-01553	レコード <i>record_name</i> には、<i>min_range</i>～<i>max_range</i> の範囲の精度の値（フィールド <i>field_name</i> の）が必要です。
説明:	精度の値が有効な範囲内にありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	精度の値を有効な範囲内で入力します。
PWX-01554	レコード <i>record_name</i> には、フィールド <i>field_name</i> に対する <i>min_range</i>～<i>max_range</i> の範囲の【スケール】の値が必要です。
説明:	【スケール】の値が有効な範囲内にありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	【スケール】の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01555 **レコード *record_name* には、フィールド *field_name* に対する *min_range*～*max_range* の範囲の [長さ] の値が必要です。**

説明： [長さ] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [長さ] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01556 ***name* は有効な文字ではありません。**

説明： リソース名が無効です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 名前は A～Z、0～9、およびアンダスコア('_')の文字のみで構成されていることを確認します。 名前は英字で開始する必要があります。

PWX-01557 **フィールド "*field_name*" (レコード "*record_name*" 内) : LOB 記述子フィールド名がタイプ "*field_datatype_number*" の抽出マップにありません。**

説明： データマップまたは抽出マップに必須の内部 LOB 記述子フィールドがない BLOB または CLOB カラムが含まれているため、これらのマップは有効ではありません。

システムのアクション： 抽出マップの検証に失敗しました。

ユーザの応答： Windows の最上位にある PowerExchange ディレクトリに古い dtlcecrm.dll ファイルが含まれていないことを確認します。次に、PowerExchange Navigator で抽出マップを再作成します。

PWX-01558 **E フィールド配列 *field_name* では、物理的な配列フィールド引数を含む式が必要です。**

説明： E フィールド配列 (u1 [*] など) が渡すことができるのは、式内の物理的なフィールド引数から配列次元をシステムが判断できる場合の検証のみです。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： PowerExchange フィールドのプロパティが正しく設定されていることを確認します。

PWX-01559 **E フィールド配列 *field_name* の引数 *field_name* と *field_name* の添字の次元が異なります。**

説明： E フィールド配列に物理フィールド引数が複数ある場合、そのすべての引数の配列次元は同じである必要があります。 添字の数と各レベルでのオカレンスの最大数は同じである必要があります。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： PowerExchange フィールドのプロパティが正しく設定されていることを確認します。

PWX-01560	レコード <i>record_name</i> はフィールド名 <i>field_name</i> を使用できません。名前は CCK 処理で使用されています。
説明:	フィールド名が、CCK 式フィールド名と同じです。これは許可されていません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	レコードで使用されていない一意のフィールド名を入力します。
PWX-01561	<i>field_name</i> はすでに存在しています。別の名前を使用してください。
説明:	リソースに重複する名前が入力されました。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	一意のリソース名を入力します。
PWX-01562	名前 <i>field_name</i> は宣言されていません。
説明:	式は、宣言されていないフィールド名を参照しています。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	式で参照されているフィールドが宣言されていることを確認します。
PWX-01563	<i>errormsg</i> 。
説明:	このメッセージは内部ブレースホルダです。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-01564	有効な <i>field_name</i> 名を入力してください。
説明:	[名前] フィールドが空です。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	有効なフィールド名を入力します。
PWX-01565	<i>min_range</i>~<i>max_range</i> の範囲の精度の値を入力してください。
説明:	精度の値が有効な範囲内にありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	精度の値を有効な範囲内で入力します。
PWX-01566	<i>min_range</i>~<i>max_range</i> の範囲で [スケール] の値を入力します。
説明:	[スケール] の値が有効な範囲内にありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	

ユーザの応答： [スケール] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01567 *min_range*～*max_range*の範囲で [長さ] の値を入力します。

説明： [長さ] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [長さ] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01568 **フィールド名 *field_name* を使用できません。名前は CCK 処理で使用されています。**

説明： CCK 式フィールド名を再使用することはできません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： レコードで使用されていない一意のフィールド名を入力します。

PWX-01569 **種類と式（またはそのいずれか）がありません。**

説明： フィールドが正しく定義されていません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： フィールドの型または式、あるいは両方を入力します。

PWX-01570 **無効な名前 *field_name* です。**

説明： フィールド名に無効な文字が含まれています。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 有効なフィールド名を入力します。

PWX-01571 **[フェーズ] の値がありません。**

説明： 式を含むフィールドにはフェーズ値が必要です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [フェーズ] の値を入力します。

PWX-01572 **フィールド名 *field_name* (レコード *record_name* 内の) が長すぎます。**

説明： フィールド名が長すぎます。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 有効なフィールド名を入力します。

PWX-01573	データマップ"<i>map</i>"のロードが失敗しました。バージョンの不一致の可能性があります。マップバージョン: "<i>v1</i>". PowerExchange のバージョン: "<i>v2</i>".
説明:	指定されたデータマップのロードが失敗しました。このエラーは、データマップの作成に使用したバージョンより前のバージョンの PowerExchange でそのデータマップを開こうとする場合に発生します。データマップに前のバージョンの PowerExchange では処理できない情報が含まれている可能性があります。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	PowerExchange のバージョンを最新バージョンにアップグレードし、もう一度データマップを開く操作を試します。
PWX-01574	IMS データマップ <i>schema.name</i>、フィールド <i>field_name</i> の検索フィールドタイプ'<i>S</i>'は廃止されています。'<i>U</i>'に変更してください。
説明:	PowerExchange Navigator によって、シーケンスフィールドのキータイプが" <i>S</i> "であるレコード検索フィールドを含んだ IMS データマップがロードされました。キータイプ" <i>S</i> "は廃止されています。シーケンスフィールドである検索フィールドについては、PowerExchange で処理されるのは DBD によって (SEQ,U) または (SEQ,M) と定義されているフィールドだけです。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	指定された検索フィールドが存在するレコードの [レコードのプロパティ] ダイアログ ボックスを開きます。検索フィールドの [キー] ドロップダウンリストで、一意のキータイプとして U を選択します。
PWX-01575	ファイルリスト処理には無効なアクセス方式です。
説明:	処理するファイルリストに無効なアクセス方式が選択されました。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	有効なアクセス方式を入力するか、処理するファイルリストをオフにします。
PWX-01576	フィールド "<i>field_name</i>" (レコード "<i>record_name</i>" 内) : タイプ "<i>field_datatype_number</i>" が無効です。
説明:	データマップまたは抽出マップで、ネットワークを介して送信されるフィールドデータ型の番号識別子が有効ではありません。
システムのアクション:	PowerExchange でデータマップまたは抽出マップを処理できません。
ユーザの応答:	データマップまたは抽出マップを再作成します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01577	ファイルリスト処理が入力ファイルを指定しませんでした。
説明:	入力ファイルのファイルに有効なファイルが含まれていません。

システムのアクション: 検証に失敗しました。

ン:

ユーザの応答: ファイルリストファイルに有効なファイルを指定します。

PWX-01578 **ファイルリストファイルに無効なファイル名が含まれていません。 *reason_code*。**

説明: 入力ファイルのファイルに無効なファイル名が含まれていました。

システムのアクション: 検証に失敗しました。

ン:

ユーザの応答: ファイルリストファイルの無効なファイル名を修正します。

PWX-01579 **ファイルリスト処理が *filecount* 個のファイルを追加しました。**

説明: 有効な入力ファイルの数が表示されます。

ユーザの応答: この数字が過度に大きい場合、無効なファイルリストファイルが指定されている可能性があります。

PWX-01580 **ファイルリスト処理は、読み取りモードだけをサポートしています。**

説明: 処理するファイルリストに無効なアクセスモードが選択されました。

システムのアクション: 検証に失敗しました。

ン:

ユーザの応答: ファイルリスト処理は、読み取りについてのみサポートされています。

PWX-01586 **条件 *condition* のために書き込みモードオフロード処理が起動しません**

説明: 書き込み操作のオフロード処理は、指定された条件のため、データターゲットと同時に使用することはできません。この条件は、書き込み操作のオフロード処理に関する次の制約のいずれかを示します。

- マッピングには同じ VSAM ファイルを指す複数のターゲットを含めることはできない。
- データターゲットは z/OS 上の VSAM ファイルまたはシーケンシャルファイルでなければならない。
- ターゲットへの挿入のみがサポートされています。削除と更新はサポートされていません。
- ターゲットのデータマップはレコードレベルの出口を使用してはならない。

システムのアクション: ワークフロー処理が終了します。

ン:

ユーザの応答: **オフロード処理**接続オプションで **【いいえ】** を選択するか、またはオフロード処理を防止している条件を削除します。

PWX-01587	複数の検索フィールドがテーブル <i>table</i> に定義されています
説明:	Adabas テーブルに関連付けできるのは、1 つの検索フィールドのみです。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	一意のリソース名を入力します。
PWX-01588	上位記述子のテーブル <i>table</i> またはテーブル <i>table</i> の一部にマッチングする列がありません。
説明:	上位記述子を構成する要素は、すべてカラムとして存在する必要があります。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	データマップを修正します。
PWX-01589	フィールドグループ <i>field</i> のすべてのメンバはテーブル <i>table</i> になければなりません。
説明:	記述子または上位記述子であるグループのすべての要素は、テーブル内にある必要があります。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	データマップを修正します。
PWX-01591	エラー <i>error_reason</i> が UTF8 テキストのオフセット <i>offset</i> で発生しました。長さ <i>text_length</i> 文字数 <i>length</i> レコード型 <i>type</i>。
説明:	<p>指定されたフィールドには、無効な UTF8 テキストが含まれています。VERSION レコードを含むデータマップのフィールドは、すべて UTF8 コードページ内にある必要があります。たとえば、文字 POUND SIGN は X'C2A3' でなければならず、YEN SIGN は X'C2A5' はでなければなりません。リードバイトが X'C2' でない場合はエラーが発生します。</p> <p>エラーの理由は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1. リードバイトが X'7F' より大きい。 • 2. 文字に 4 バイト。 • 3. 不明な文字長。 • 4. 文字列の末尾の文字切り詰め。 • 5. 複数バイトシーケンスでリードバイト以外が X'80' より小さい。
システムのアクション:	データマップはロードされません。処理は終了します。
ン:	

ユーザの応答： 問題が、PowerExchange Listener で使用するエクスポートされたデータマップファイルにある場合は、PowerExchange Navigator からデータマップを送信してリフレッシュします。

問題が、PowerExchange Navigator で使用するデータマップ (DMP) ファイルにある場合は、外部エディタを使用して、DMP ファイルを編集します。

VERSION レコードが存在し、文字が UTF8 でない場合は、VERSION レコードを削除するのが最良の方法です。文字が ISO-8859 コードページにあることを確認してから (Windows ではタイプ ANSI として保存してから)、PowerExchange Navigator でマップを編集します。それが正常でない場合は、無効な文字を修正します。この場合、VERSION レコードがある場合は UTF8、VERSION レコードがない場合は ISO-8859 になります。

PWX-01592 データマップは UTF8 で正しく符号化されていません

説明： データマップに VERSION レコードが含まれてるため、UTF8 であることが必要ですが、その UTF8 のルールに違反するバイトが一部にあります。Windows の場合は、VERSION レコードが含まれる DMP ファイルを、誤って ANSI として保存したことが原因で、問題が発生した可能性があります。

システムのアクション： データマップはロードされません。処理は終了します。

ユーザの応答： 問題が、PowerExchange Listener で使用するエクスポートされたデータマップファイルにある場合は、PowerExchange Navigator からデータマップを送信してリフレッシュします。

問題が、PowerExchange Navigator で使用するデータマップ (DMP) ファイルにある場合は、外部エディタを使用して、DMP ファイルを編集します。

VERSION レコードが存在し、文字が UTF8 でない場合は、VERSION レコードを削除するのが最良の方法です。文字が ISO-8859 コードページにあることを確認してから (Windows ではタイプ ANSI として保存してから)、PowerExchange Navigator でマップを編集します。それが正常でない場合は、無効な文字を修正します。この場合、VERSION レコードがある場合は UTF8、VERSION レコードがない場合は ISO-8859 になります。

PWX-01599 フィールド"*field_name*" (レコード"*record_name*"内) :LOB 記述子フィールド"*null_field*"が見つかりません。

説明： フィールド識別子が NULL であるため、抽出マップ内の DB2 for z/OS BLOB または CLOB フィールドに対して指定された内部 LOB 記述子フィールドを PowerExchange で見つけることができません。

システムのアクション： 抽出マップの検証に失敗しました。

ユーザの応答： 古いバージョンの DTLCECRM モジュールを使用していないことを確認します。次に、PowerExchange Navigator で抽出マップを再作成します。

PWX-01600	データマップ <i>map_name</i> に対する変更を保存します。
説明:	未保存の変更を含むデータマップを閉じようとしています。
システムのアクション:	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ユーザーの応答:	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • はい。 ファイルを上書きします。 • いいえ。 変更を保存せずにデータマップを閉じます。 • [キャンセル]。 データマップを編集します。
PWX-01601	<i>name</i> はすでに存在しています。別の名前を使用してください。
説明:	リソースに重複する名前が入力されました。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザーの応答:	一意のリソース名を入力します。
PWX-01602	[レコードサイズ] を <i>min_range</i>～<i>max_range</i> の範囲で入力します。
説明:	[レコードサイズ] が有効な範囲内にありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザーの応答:	レコードサイズの値を有効な範囲内で入力します。
PWX-01603	有効な区切り値を入力してください。
説明:	区切り値が入力されませんでした。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザーの応答:	有効な [区切り記号] の値を入力します。
PWX-01604	[フィールドの位置] を <i>min_range</i>～<i>max_range</i> の範囲で入力します。
説明:	[フィールドの位置] の値が有効な範囲内にありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザーの応答:	[フィールドの位置] の値を有効な範囲内で入力します。
PWX-01605	[世紀] の値を <i>min_range</i>～<i>max_range</i> の範囲で入力します。
説明:	[世紀] の値が有効な範囲内にありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザーの応答:	[世紀] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01606 **【年】の値を *min_range*～*max_range* の範囲で入力します**

説明： [年] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [年] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01607 **【月】の値を *min_range*～*max_range* の範囲で入力します。**

説明： [月] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [月] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01608 **【日】の値を *min_range*～*max_range* の範囲で入力します。**

説明： [日] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [日] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01609 **【文字の置き換え】の値を入力してください。**

説明： 文字の置き換え値がありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [文字の置き換え] の値を入力します。

PWX-01610 **【ピボット】の値を *min_range*～*max_range* の範囲で入力します。**

説明： [ピボット] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [ピボット] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01611 ***min_range*～*max_range* の範囲で [長さ] の値を入力します。**

説明： [長さ] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [長さ] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01612 ***min_range*～*max_range* の範囲の精度の値を入力します。**

説明： 精度の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 精度の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01613 *min_range*～*max_range*の範囲で【スケール】の値を入力します。

説明： 【スケール】の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： 【スケール】の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01614 **【配列】の値を *min_range*～*max_range*の範囲で入力します。**

説明： 【配列】の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： 【配列】の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01615 **【フィールド配列】の値を *min_range*～*max_range*の範囲で入力します。**

説明： 【フィールド配列】の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： 【フィールド配列】の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01616 **有効な【カウントフィールド】値を入力します。**

説明： 【フィールド配列】の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： 可変サイズを識別するフィールド名を入力します。

PWX-01617 *name*は有効なベースフィールドではありません。別のフィールドを使用してください。

説明： レコード定義にベースフィールドが見つかりません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： レコードで正しく定義されているベースフィールドを選択します。

PWX-01618 **有効な【ファイル名】を入力します。**

説明： 必須の【ファイル名】フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： 【ファイル名】に値を入力します。

PWX-01619 *resourcename*を削除してよろしいですか？

説明： このメッセージは、リソースの削除を確認します。

システムのアクション： システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ン：

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **【はい】** をクリックしてリソースを削除します。
- **【いいえ】** をクリックして要求をキャンセルします。

PWX-01620 ***resourcename* のレコード依存を入力してください。**

説明： テーブルまたはドキュメントのどちらかに少なくとも 1 つのレコード依存が必要です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 指定されたリソース名のレコード依存を入力します。

PWX-01621 **【PSB 名】 を入力してください。**

説明： 必須の **【PSB 名】** フィールドに入力する必要があります。

システムのアクション： 検証に失敗しました。 システムはユーザーの応答を待機します。

ユーザの応答： **【PSB 名】** に値を入力します。

PWX-01622 **【PCB 番号】 を *min_range*~*max_range* の範囲で入力してください。**

説明： **PCB Number** フィールドで値が必要です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 1~2500 の PCB 値を入力します。

PWX-01623 **有効な *resource* 名を入力してください。**

説明： 必須のリソース型名がありません。入力する必要があります。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 有効な名前を入力します。

PWX-01624 **データマップ *map_name* はすでにディレクトリ *directory* に存在しています。上書きしますか？**

説明： 同じ名前のデータマップが、ディレクトリにすでに存在します。

システムのアクション： システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **【はい】** をクリックしてデータマップを上書きします。
- **【いいえ】** をクリックしてデータマップのプロパティを削除します。

PWX-01625 **データベースの終わりに到達しました。**

説明： データベースの終わりに到達しました。データはすべて返されました。

ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-01626	現在のデータマップの名前を <i>mapname1</i> から <i>mapname2</i> に変更しますか?
説明：	既存のデータマップ名の変更を確認します。
システムのアクション：	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ユーザの応答：	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【はい】 をクリックしてデータマップの名前を変更します。 • 【いいえ】 をクリックしてデータマップのプロパティを削除します。
PWX-01627	データマップ <i>map_name</i> は、すでにディレクトリ <i>directory</i> に存在し、読み取り専用になっています。
説明：	既存のデータマップ名の変更を確認します。
システムのアクション：	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ユーザの応答：	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【はい】 をクリックしてデータマップの名前を変更します。 • 【いいえ】 をクリックしてデータマップのプロパティを削除します。
PWX-01628	<i>resourcename</i> を削除すると、この項目への <i>number</i> 相互参照も削除されます。続行しますか?
説明：	リソースの削除を確認します。相互参照項目も削除されます。 More PowerExchange をクリックすると、削除されるリソースのリストが表示されます。
システムのアクション：	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ユーザの応答：	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【はい】 をクリックして項目とその依存関係を削除します。 • 【いいえ】 をクリックして操作を中止します。
PWX-01629	データマップ "<i>map_name</i>" をリモートロケーションに送信しますか? 送信する場合は 【はい】 を選択し、送信せずに行テストに進む場合は 【いいえ】 を選択します。
説明：	このプロンプトは、PowerExchange Navigator のデータマップの 【設定】 ダイアログボックスで 【開発者モード】 オプションが選択されており、ユーザーが開発者ユーザーと見なされる場合に、データベース行テストを開始すると表示されます。このプロンプトにより、行テストを実行する前にデータマップをリモートの場所へ送信するか、ローカルマシン上にあるデータマップを使用するかを決定できます。
システムのアクション：	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ユーザの応答： 次のいずれかの方法で応答します。

- データマップをリモートの場所に送信する場合は、**【はい】** を選択します。その後、行テストの実行に進みます。
- データマップをリモートの場所に送信せずに行テストの実行に進む場合は、**【いいえ】** を選択します。行テストにはローカルマシン上のデータマップが使用されます。
- データマップをリモートの場所に送信せず、行テストの実行にも進まない場合は、**【キャンセル】** を選択します。

PWX-01630 **【セグメント名】を入力してください。**

説明： 必須の「セグメント名」フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 「セグメント名」に値を入力します。

PWX-01641 **【テーブル名】を入力してください。**

説明： 必須の「テーブル名」フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 「テーブル名」に値を入力します。

PWX-01646 **有効なカスタム SQL 文を入力してください。**

説明： 必須のカスタム SQL 文が空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： カスタム SQL 文の値を入力します。

PWX-01647 **入力したカスタム SQL 文が長すぎます。**

説明： カスタム SQL 文が許容された長さを超えています。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 有効なカスタム SQL 文を入力します。

PWX-01649 **リソースフォルダ名ではない名前を入力してください。**

説明： リソース名がリソースフォルダ名と同じです。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： リソースフォルダ名ではない名前を入力します。

PWX-01650 **リモートファイルの保存名を入力してください。**

説明： 必須のファイル名が空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： ファイル名の値を入力します。

PWX-01651 **【開始】 値を *min_range*～*max_range* の範囲で入力してください。**

説明： 【開始】 値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 【開始】 値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01652 **【終了】 値を *min_range*～*max_range* の範囲で入力してください。**

説明： 【終了】 値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 【終了】 値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01653 **ソースにレコード定義が存在しません。開始カラムと終了カラムをチェックします。**

説明： データマップへのコピーブックのインポート中に、PowerExchange Navigator は、コピーブックにレコードの定義が含まれておらず、PowerExchange では使用できないことを検出しました。

システムのアクション： コピーブックのインポート操作は失敗します。

ユーザの応答： コピーブックのファイルを確認し、ファイルに実際にレコードの定義が含まれているかどうかを確認してください。また、PowerExchange Navigator の【コピーブックのインポート - ソースの詳細】ダイアログボックスで、【カラムの範囲】フィールドの【開始】および【終了】の値が有効であることを確認してください。

PWX-01654 **ディレクトリ *directory*が存在しません。作成しますか？**

説明： ディレクトリパスが存在しません。ディレクトリを作成するかどうかを確認します。

システムのアクション： システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- 【はい】 をクリックしてディレクトリを作成します。
- 【いいえ】 をクリックして操作を中止します。

PWX-01655 **ディレクトリ *directory*を作成できませんでした。指定したディレクトリ名を確認してください。**

説明： 失われたディレクトリの作成に失敗しました。

ユーザの応答： ディレクトリ名が有効なシステムディレクトリ名かどうかをチェックします。

PWX-01656	インポート処理が <i>numdefinitions</i> 個の定義（データ項目 <i>name</i> の）を検出しました。
説明：	メタデータのデータ項目に複数の定義が含まれています。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-01657	必要な定義を選択して、インポートを再開してください。
説明：	インポート処理でデータ項目の複数の定義が検出され、ユーザーに必要な定義の選択を求めるメッセージが表示されます。
システムのアクション：	ユーザーが必要な定義を選択すると、インポート処理は続行されます。
ユーザの応答：	複数の選択肢から必要な定義を選択します。
PWX-01658	アクティブな登録<<i>registration_name</i>>を削除するかどうかの確認:履歴にすると、そのレコードが維持されます。
説明：	選択したキャプチャ登録がアクティブです。削除アクションを確認します。
システムのアクション：	PowerExchange はユーザー確認を待ちます。
ユーザの応答：	要求を確認するかキャンセルします。
PWX-01659	ユーザーが選択した行は、有効なデータ定義に対応しません。もう一度実行してください。
説明：	ユーザーが選択した行は、有効なデータ定義ではありません。
システムのアクション：	ユーザーが新しい行を選択すると、インポート処理が続行されます。
ユーザの応答：	複数の選択肢から必要な定義を選択します。
PWX-01660	<i>numitemsresource_type</i> 個の項目を削除すると、これらの項目への <i>numxrefs</i> 相互参照も削除されます。続行しますか？
説明：	選択した項目と依存項目が削除されることを伝える確認のダイアログボックスです。【詳細】をクリックすると、削除される項目が表示されます。
システムのアクション：	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ユーザの応答：	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • はい。選択した項目と依存項目を削除します。 • いいえ。操作を中止します。
PWX-01661	<i>name</i> を削除してよろしいですか？
説明：	選択した項目が削除されることを伝える確認のダイアログボックスです。
システムのアクション：	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ユーザの応答：	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【はい】 をクリックして選択した項目とその依存関係を削除します。 • 【いいえ】 をクリックして操作を中止します。
PWX-01662	<i>resource_type</i> が貼り付けられます
説明：	クリップボード項目を貼り付けることができる場所が複数あります。相対的な場所を選択して 【OK】 をクリックすると、貼り付けが続行されます。
システムのアクション：	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ユーザの応答：	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【OK】 をクリックして、項目をクリップボードから選択された場所に貼り付けます。 • 【キャンセル】 をクリックして操作を中止します。
PWX-01663	【位置】 の値を <i>min_range</i>～<i>max_range</i> の範囲で入力してください。
説明：	【位置】 の値が有効な範囲内にありません。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	【位置】 の値を有効な範囲内で入力します。
PWX-01664	<i>min_range</i>～<i>max_range</i> の範囲で【長さ】 の値を入力してください。
説明：	【長さ】 の値が有効な範囲内にありません。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	【長さ】 の値を有効な範囲内で入力します。
PWX-01665	【名前】 を入力してください。
説明：	必須の【名前】 フィールドが空です。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	【名前】 に値を入力します。
PWX-01666	フィールドに無効な文字 <i>character</i> が含まれています。
説明：	フィールドに無効な文字が含まれています。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	無効な文字を含まない有効な文字列を入力します。

PWX-01667	構成の [名前] を入力してください。
説明:	必須の構成の [名前] フィールドが空です。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	構成の [名前] の値を入力します。
PWX-01669	次の名前の構成は: <i>name</i> がすでに存在します。
説明:	構成に指定された名前はすでに存在します。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	一意の構成名を入力します。
PWX-01670	削除する前に構成を選択解除してください。
説明:	現在選択されている構成を削除しようとしています。別の構成をアクティブにして、対象のエントリを削除する必要があります。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	別の構成をアクティブにして、対象のエントリを削除します。
PWX-01671	リソースディレクトリ <i>name</i> が見つかりません。作成しますか?
説明:	リソースディレクトリが存在しません。作成するかどうかを確認します。
システムのアクション:	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ユーザの応答:	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【はい】 をクリックしてリソースディレクトリを作成します。 • 【いいえ】 をクリックして操作を中止します。
PWX-01672	リソース項目 <i>name</i> が見つかりません。
説明:	このメッセージは、必須リソース項目の検索が失敗したことを示します。
ユーザの応答:	検索条件をチェックして、サブミットし直します。
PWX-01673	有効な [データソース名] を入力してください。
説明:	必須の [データソース名] フィールドが空です。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	[データソース名] の値を入力します。
PWX-01674	有効な [パーソナルメタデータ名] を入力してください。
説明:	必須の [パーソナルメタデータ名] フィールドが空です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [パーソナルメタデータ名] の値を入力します。

PWX-01675 **パーソナルメタデータの場所を選択してください。**

説明： 必須の [パーソナルメタデータの場所] フィールドが空です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [パーソナルメタデータの場所] の値を入力します。

PWX-01676 **[パーソナルメタデータの種類] を選択してください。**

説明： 必須の [パーソナルメタデータの種類] フィールドが空です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [パーソナルメタデータの種類] の値を入力します。

PWX-01677 **パーソナルメタデータ *metaname* に対する変更を保存しますか?**

説明： 未保存の変更を含むパーソナルメタデータファイルを閉じようとしています。

システムのアクション システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ン：

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **【はい】** をクリックしてパーソナルメタデータのプロパティを保存して閉じます。
- **【いいえ】** をクリックしてパーソナルメタデータのプロパティを保存せずに閉じます。
- **【キャンセル】** をクリックしてパーソナルメタデータのプロパティの編集ダイアログボックスに戻ります。

PWX-01678 **パーソナルメタデータ *metaname* はすでにディレクトリ *directory* に存在しています。上書きしますか?**

説明： 同じ名前のパーソナルメタデータファイルが、ディレクトリにすでに存在します。

システムのアクション システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ン：

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **【はい】** をクリックして既存のファイルを上書きします。
- **【いいえ】** をクリックしてパーソナルメタデータを編集します。

PWX-01679 **パーソナルメタデータ *metaname* はすでにディレクトリ *directory* に存在し、読み取り専用になっています。**

説明： このメッセージは、同じ名前のファイルが、ディレクトリにすでに存在し読み取り専用のため上書きできないことを示します。

ユーザの応答： パーソナルメタデータを同じファイル名に保存するには、既存のファイルを削除するか、名前を変更するか、書き込み可能にする必要があります。

PWX-01680 **現在のパーソナルメタデータの名前を *metaname1* から *metaname2* に変更しますか？**

説明： 既存のパーソナルメタデータファイル名の変更を確認します。

システムのアクション： システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **【はい】** をクリックして、パーソナルメタデータの名前を変更します。
- **【いいえ】** をクリックしてパーソナルメタデータを編集します。

PWX-01681 **【最大行数】の値を *min_range*～*max_range* の範囲で入力してください。**

説明： 【最大行数】の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 【最大行数】の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01682 **選択した SEQ ファイル名（パスを含む）が、最大許容長を超えています。**

説明： ファイルの名前と完全パスが最大許容長を超えています。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： パスとファイル名に正しい文字列を入力します。

PWX-01683 **ファイル *file_name* が存在しません。**

説明： ファイル *file_name* が存在しません。

ユーザの応答： パスとファイル名が正しく、ファイルがその場所にあることを確認します。

PWX-01684 ***min_range*～*max_range* の範囲の SQL レコード長を入力してください。**

説明： 【SQL レコード長】の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 【SQL レコード長】の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01685 **ファイルの終わりに到達しました。**

説明： データはすべて返されました。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-01686	【レコード番号】を <i>min_range</i>～<i>max_range</i> の範囲で入力してください。
説明：	【レコード番号】の値が有効な範囲内にありません。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	【レコード番号】の値を有効な範囲内で入力します。
PWX-01687	選択した <i>name</i> リソースを開くには、それを現在の構成にインポートする必要があります。この操作を実行しますか？
説明：	リソースを現在の構成にインポートするよう求めます。
システムのアクション：	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ユーザの応答：	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【はい】をクリックして、リソースを構成にインポートします。 • 【いいえ】をクリックして操作を中止します。
PWX-01688	リソース <i>resource_name</i> はすでにディレクトリ <i>directory</i> に存在していて、読み取り専用になっています。インポートを終了します。
説明：	インポートするファイルはディレクトリにすでに存在し、読み取り専用になっているため、インポートは終了します。
システムのアクション：	リソースファイルのインポートを停止します。
ユーザの応答：	リソースファイルを同じファイルディレクトリに保存するには、既存のファイルを削除するか、名前を変更するか、書き込み可能にして、もう一度インポートする必要があります。
PWX-01689	リソース <i>resource_name</i> はすでにディレクトリ <i>directory</i> に存在しています。上書きしますか？
説明：	インポートするファイルはディレクトリにすでに存在します。
システムのアクション：	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ユーザの応答：	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【はい】をクリックしてリソースを上書きします。 • 【いいえ】をクリックして操作を中止します。
PWX-01690	リソースを開くには、まずリソースのディレクトリを構成する必要があります。
説明：	リソースを正しくインポートするには、リソースディレクトリを作成する必要があります。
システムのアクション：	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ユーザの応答：	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【はい】 をクリックしてリソースディレクトリを作成してインポートを続行します。 • 【いいえ】 をクリックして操作を中止します。
PWX-01691	データベース <i>qualifier</i>を入力してください。
説明：	必須の [データベース修飾子] フィールドが空です。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	[データベース修飾子] の値を入力します。
PWX-01693	【データベース ID】 を <i>min_range</i>~<i>max_range</i> の範囲で入力してください。
説明：	[データベース ID] の値が有効な範囲内にありません。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	[データベース ID] の値を有効な範囲内で入力します。
PWX-01694	【ファイル番号】 を <i>min_range</i>~<i>max_range</i> の範囲で入力してください。
説明：	[ファイル番号] の値が有効な範囲内にありません。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	[ファイル番号] の値を有効な範囲内で入力します。
PWX-01695	【フィールド長】 を <i>min_range</i>~<i>max_range</i> の範囲で入力してください。
説明：	[フィールド長] の値が有効な範囲内にありません。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	[フィールド長] の値を有効な範囲内で入力します。
PWX-01696	【フィールドのオフセット】 を <i>min_range</i>~<i>max_range</i> の範囲で入力してください。
説明：	[フィールドのオフセット] の値が有効な範囲内にありません。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	[フィールドのオフセット] の値を有効な範囲内で入力します。
PWX-01697	エラーの早期検出を有効にするには、FDT 詳細をインポートすることをお勧めします。この操作を今すぐ実行しますか？
説明：	データマップの検証を有効にするには、FDT 詳細をインポートします。

システムのアクション システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ン：

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **【はい】** をクリックして FDT 詳細をインポートします。
- **【いいえ】** をクリックしてデータマップを編集します。

PWX-01698 **FDT が正常にインポートされました。**
説明： FDT が正常にインポートされ、データマップの検証に使用できます。
ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-01699 **FDT キャッシュファイルの更新に失敗しました。**
説明： インポートした FDT ファイルから FDT キャッシュファイルを更新できませんでした。

システムのアクション FDT 詳細なしに、処理が継続します。
ン：

ユーザの応答： インポートした FDT ファイルが移動または削除されていないことを確認します。

PWX-01700 **データマップ *map_name* はノード *node_name* に正常に送信されました。**
説明： このメッセージは、指定されたデータマップがノードに正常に送信されたことを示します。
ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-01701 **FDT のリフレッシュが正常に完了しました。**
説明： このメッセージは、FDT 詳細が正常にリフレッシュされたことを確認します。
ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-01702 **有効な【名前】を入力してください。**
説明： 必須の【名前】フィールドが空です。

システムのアクション 検証に失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 【名前】 に値を入力します。

PWX-01703 **ノード *nodename* にデータマップを送信すると、現在の FDT が無効になります。この操作を実行しますか？**
説明： データマップをノードに送信すると、検証用に保存されている現在の FDT 詳細が無効になります。

システムのアクション システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ン：

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **【はい】** をクリックして現在の FDT 詳細を無効にします。

	<ul style="list-style-type: none"> • 【いいえ】 をクリックして操作を中止します。
PWX-01704	ノード <i>nodename</i> から FDT をインポートすると、現在のデータマップの場所が無効になります。この操作を実行しますか？
説明：	FDT をインポートすると、現在のデータマップの場所が無効になります。
システムのアクション：	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ユーザの応答：	<p>以下のいずれかのアクションを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 【はい】 をクリックして現在のデータマップの場所を無効にします。 • 【いいえ】 をクリックして操作を中止します。
PWX-01705	【カラム名】 を入力してください。
説明：	必須の 【カラム名】 フィールドが空です。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	【カラム名】 に値を入力します。
PWX-01706	リソースは現在別のプロセスで使用されています。読み取り専用で開きます。
説明：	現在別のプロセスがファイルを開いているため、ファイルは読み取り専用で開きます。
システムのアクション：	ファイルを読み取り専用で開きます。
ユーザの応答：	コンテンツを変更するには、ファイルを使用しているプロセスを終了する必要があります。
PWX-01707	リソース <i>name</i> は現在別のプロセスで使用されています。<i>action</i> を行うことはできません。
説明：	このメッセージは別のプロセスがファイルを開いてため、指定されたアクション（インポート、保存、上書き、削除）は完了できないことを示します。
ユーザの応答：	要求をサブミットし直すには、ファイルを使用しているプロセスを終了します。
PWX-01708	有効な完全修飾パス名を入力してください。
説明：	必須の 【パス名】 フィールドが空です。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	【パス名】 の値を入力します。

PWX-01709 **別のローカルディレクトリパスと共有ディレクトリパスを入力してください。**

説明： ローカルおよび共有ディレクトリパスは、異なる場所でなければなりません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 別のローカルディレクトリパスと共有ディレクトリパスを入力します。

PWX-01710 **出口プログラム名を入力してください。**

説明： 必須の [出口プログラム名] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [出口プログラム名] に値を入力します。

PWX-01711 **[サブスキーマ名] を入力してください。**

説明： 必須の [サブスキーマ名] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [サブスキーマ名] に値を入力します。

PWX-01712 **[データベース名] を入力してください。**

説明： 必須の [データベース名] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [データベース名] に値を入力します。

PWX-01713 **[ディレクトリ名] を入力してください。**

説明： 必須の [ディクショナリ名] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [ディクショナリ名] に値を入力します。

PWX-01714 **IDMS レコード名を入力してください。**

説明： 必須の [IDMS レコード名] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [IDMS レコード名] に値を入力します。

PWX-01715 **[領域名] を入力してください。**

説明： 必須の [領域名] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [領域名] に値を入力します。

PWX-01716 **ナチュラルユーザーライブラリへのパスを入力してください。**

説明： 必須の [ナチュラルユーザーライブラリへのパス] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [ナチュラルユーザーライブラリへのパス] に値を入力します。

PWX-01717 **[オーナー名] を入力してください。**

説明： 必須の [オーナー名] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [オーナー名] に値を入力します。

PWX-01718 **[セット名] を入力してください。**

説明： 必須の [セット名] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [セット名] に値を入力します。

PWX-01720 **フィールド名には、空の文字は使用できません。**

説明： フィールド名には、空の文字は使用できません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 空の文字のないフィールド名を入力します。

PWX-01721 **セット名 *setname* はすでに存在します。別の名前を使用してください。**

説明： 重複した [セット名] が入力されました。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 一意の [セット名] を入力します。

PWX-01722 **IDMS レコード名 "*record_name*" がレコードのリストで見つかりませんでした。**

説明： 親/子レコードから IDMS レコード名を取得できませんでした。

システムのアクション： テーブル依存を許可しません。

ユーザの応答： レコード定義が正しいことを確認します。

PWX-01723	DB2 テーブル <i>table_name</i> がありません。
説明:	入力した DB2 テーブル名がデータベース内のどのテーブルとも一致しません。
ユーザの応答:	その DB2 テーブルがデータベース内に存在することを確認します。
PWX-01724	フィールドを編集できません。テーブル <i>tablename</i> にレコード依存 (レコード <i>record_name</i> (セット名 <i>setname</i>) の) が存在します。
説明:	このリレーションを使用しているテーブルがすでに存在するため、オーナーまたはセット名を編集できませんでした。
システムのアクション:	詳細に対する読み取り専用アクセスのみを有効にします。
ユーザの応答:	オーナーレコードとセット名を変更または削除する必要がある場合は、依存テーブルを削除します。
PWX-01725	【PCB 名】を入力してください。
説明:	必須の【PCB 名】フィールドが空です。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	【PCB 名】に値を入力します。
PWX-01726	有効な <i>resource_type</i> 名を入力してください。
説明:	必須のフィールド名が見つかりません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	有効な名前を入力します。
PWX-01727	<i>resource_type</i> の場所を選択してください。
説明:	必須の【場所】フィールドが見つかりません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	有効な【場所】を入力します。
PWX-01728	<i>resource_type</i> 【種類】を選択してください。
説明:	必須の【種類】フィールドが見つかりません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	有効な【種類】を入力します。
PWX-01729	<i>resource_type resource_name</i> は、すでにディレクトリ <i>directory</i> に存在していて、読み取り専用になっています。
説明:	このメッセージは、同じ名前のリソースがディレクトリにすでに存在し、読み取り専用のため上書きできないことを示します。

ユーザの応答： リソースを同じファイル名に保存するには、既存のリソースを削除するか、名前を変更するか、書き込み可能にする必要があります。

PWX-01730 *resource_type resource_name* **がすでにディレクトリ *directory* に存在しています。上書きしますか?**

説明： 同じ名前のリソースが、ディレクトリにすでに存在します。

システムのアクション： システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **【はい】** をクリックしてリソースを上書きします。
- **【いいえ】** をクリックして操作を中止します。

PWX-01731 *resource_type resource_name* **に対する変更を保存しますか?**

説明： 未保存の変更を含むリソースを閉じようとしています。

システムのアクション： システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **【はい】** をクリックしてリソースを保存して閉じます。
- **【いいえ】** をクリックしてリソースを保存せずに閉じます。
- **【キャンセル】** をクリックしてダイアログボックスを閉じて、操作を中止します。

PWX-01732 **有効な** *resource_type group_name* **を入力してください。**

説明： 必須フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 有効な文字列を入力します。

PWX-01733 **有効な【キャプチャ登録名】を入力してください。**

説明： 必須のキャプチャ登録名フィールドが空か、または無効な文字を含んでいます。登録名は、文字で開始して、その後ろに文字または数字を続ける必要があります。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： キャプチャ登録名に対して有効な値を入力します。

PWX-01734 *resource_type resource_name* **はすでに存在します。別の名前を選択してください。**

説明： リソース名がすでに存在します。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 一意のリソース名を入力します。

PWX-01735 **ビット位置の値を 1～最大値の範囲で入力してください。**

説明： [ビット位置] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [ビット位置] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01736 **時間の値を 0～99999 の範囲で入力してください。**

説明： [時間] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [時間] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01737 **JCL テンプレート名を入力してください。**

説明： 必須の [JCL テンプレート] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [JCL テンプレート] に値を入力します。

PWX-01738 **[CTL テンプレート] を入力してください。**

説明： 必須の [CTL テンプレート] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [CTL テンプレート] に値を入力します。

PWX-01739 **[ファイル名] を入力してください。**

説明： 必須の [ファイル名] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [ファイル名] に値を入力します。

PWX-01742 **バージョン *version1* のキャプチャ登録 *name* はすでにアクティブです。バージョン *version2* は無効で作成されます。この操作を実行しますか?**

説明： このメッセージは、キャプチャ登録で行うアクションを確認します。

システムのアクション： システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **【はい】** をクリックして既存のファイルを上書きします。
- **【いいえ】** をクリックして変更を無視します。
- **【キャンセル】** をクリックしてダイアログボックスを閉じて、操作を中止します。

PWX-01743 **バージョン *version1* のキャプチャ登録 *name* を [アクティブ] にして、バージョン *version2* を [履歴] にします。この操作を実行しますか?**

説明： キャプチャ登録の状態変更を確認するメッセージです。

システムのアクション： アクティブと履歴のキャプチャ登録のバージョン番号を設定します。

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **[はい]** をクリックして変更を許可します。
- **[いいえ]** をクリックして変更を無視します。
- **[キャンセル]** をクリックしてダイアログボックスを閉じて、操作を中止します。

PWX-01744 **現在の *resource_type* を *resource_name1* から *resource_name2* に変更しますか?**

説明： リソース名の変更を確認するメッセージです。

システムのアクション： システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **[はい]** をクリックしてリソース名を変更します。
- **[いいえ]** をクリックしてリソースの変更を破棄し、操作を中止します。

PWX-01745 **有効な抽出定義マップ名を入力してください。**

説明： 必須の [抽出定義マップ名] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 抽出定義マップ名の値を入力します。

PWX-01746 **有効な [抽出定義テーブル名] を入力してください。**

説明： 必須の [抽出定義テーブル名] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [抽出定義テーブル名] の値を入力します。

PWX-01747 **ライブラリ名を入力してください。**

説明： 必須の [ライブラリ名] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [ライブラリ名] に値を入力します。

PWX-01748 **場所 *location* からインポートするデータマップがありません。**

説明： 指定された場所でデータマップが見つかりませんでした。

システムのアクション: インポートプロセスを中止します。

ユーザの応答: 場所が正しくサブミットされたことと、指定された場所にデータマップが存在することを確認します。

PWX-01749 **データマップが場所 *location* から正常にインポートされました。**

説明: このメッセージは、選択したデータマップが指定された場所 *location* から正常にインポートされたことを示します。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-01750 ***minimum_minutes* から *maximum_minutes* の間で行テスト接続タイムアウトを入力してください。**

説明: PowerExchange Navigator の「設定」ダイアログボックス「**行のテストの接続タイムアウト (分)**」フィールドに無効な値が指定されました。有効な値は 0 - 999 分です。デフォルト値は 15 分です。0 よりも大きい値を入力すると、指定した数値の分数が経過したときに、アクティブなデータベース行テストのデータソースへの PowerExchange 接続がタイムアウトになります。値 0 は、影響するタイムアウトがないことを示します。

システムのアクション: 検証に失敗しました。

ユーザの応答: **【行のテストの接続タイムアウト (分)】** フィールドに 0 - 999 の有効な値を入力します。

PWX-01751 ***minimum_value* から *maximum_value* の間で行テストフォント高さを入力してください。**

説明: PowerExchange Navigator の【設定】ダイアログボックスの【**行テストフォント高さ**】フィールドに無効な値が指定されました。有効な値は 8～72 です。デフォルト値は 16 です。

システムのアクション: 検証に失敗しました。

ユーザの応答: **【行テストのフォントの高さ】** フィールドには、8 から 72 の間の有効な値を入力してください。

PWX-01752 **フォントの高さの変更は、PowerExchange Navigator の再起動後に適用されます。**

説明: データベース行テストの行テストフォント高さの値が変更されました。行テスト高さは、PowerExchange Navigator の【データマップ設定】ダイアログボックスで設定されます。

システムのアクション: フォント高さの変更が適用されました。

ユーザの応答: 行テストフォント高さを変更する前行テストを実行した場合は、PowerExchange Navigator を再起動して、変更を有効にしてください。行テストフォント高さを変更する前行テストを実行しなかった場合、変更は PowerExchange Navigator ですぐに、または次に PowerExchange Navigator を起動したときに有効になります。

PWX-01755 **レコード ID を 10～9999 の範囲で入力してください。**

説明： [レコード ID] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [レコード ID] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01756 **選択したフィールドを削除しますか?**

説明： 選択したフィールドの削除を確認します。

システムのアクション： システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **【はい】** をクリックしてフィールドを削除します。
- **【いいえ】** をクリックして操作を中止します。

PWX-01757 **順序が無効です。許可されている値は ASC または DESC です。**

説明： 必須の順序値を入力する必要があります。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 有効な [順序] の値を入力します。

PWX-01758 **スキーマバージョンに、最大値、最小値、または 1～9999 の範囲の値を入力してください。**

説明： スキーマバージョン値が有効ではありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 有効な [スキーマバージョン] の値を入力します。

PWX-01759 **【データベース名】を入力してください。**

説明： 必須の [データベース名] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [データベース名] に値を入力します。

PWX-01761 **UTC タイムスタンプを入力してください。**

説明： 必須の [UTC タイムスタンプ] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [UTC タイムスタンプ] に値を入力します。

PWX-01764 **【データセット名】を入力してください。**

説明： 必須の [データセット名] フィールドが空です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [データセット名] に値を入力します。

PWX-01771 **ジャーナルライブラリ名を入力してください。**

説明： 必須の [ジャーナルライブラリ] フィールドが空です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [ジャーナルライブラリ] に値を入力します。

PWX-01772 **【ジャーナル名】を入力してください。**

説明： 必須の [ジャーナル名] フィールドが空です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [ジャーナル名] に値を入力します。

PWX-01773 **ライブラリ名を入力してください。**

説明： 必須の [ライブラリ名] フィールドが空です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [ライブラリ名] に値を入力します。

PWX-01774 **【受信側】を入力してください。**

説明： 必須の [受信側] フィールドが空です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [受信側] の値を入力します。

PWX-01775 **シーケンス番号を入力してください。**

説明： 必須の [シーケンス番号] フィールドが空です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [シーケンス番号] に値を入力します。

PWX-01776 **無効なシーケンス番号です。FIRST、LAST、または数値を入力してください。**

説明： [シーケンス番号] に入力された値は無効です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： 有効なシーケンス番号を入力します。

PWX-01778 **有効なキー値（M、S、U、または空）を入力してください。**

説明： 入力されたキー値が無効です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： キーに有効な値を入力します。

PWX-01779 **【データセット名】を入力してください。**

説明： 必須の【データセット名】フィールドが空です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： 【データセット名】に値を入力します。

PWX-01780 **【ファイル番号】を入力してください。**

説明： 必須の【ファイル番号】フィールドが空です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： 【ファイル番号】に値を入力します。

PWX-01781 **【データベース ID】を入力してください。**

説明： 必須の【データベース ID】フィールドが空です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： 【データベース ID】に値を入力します。

PWX-01782 **宣言できるのは一意キーの値は 1 つだけです。**

説明： 検索フィールドに複数のキー値が宣言されています。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： キー値が 1 つの検索フィールドのみに宣言されていることを確認します。

PWX-01783 **レコード名 *name* のレコードが見つかりません。**

説明： レコード依存で宣言されたレコードが見つかりません。

システムのアクション テーブルの作成を停止します。

ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-01784 **レコード *record_name* の CCK フィールドが存在しますが、
【CCK カラムを生成する】フラグが選択解除されています。
続行しますか？**

説明： テーブルに CCK カラムを生成しないことを確認します。

システムのアクション システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ン：

ユーザの応答：	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【はい】 をクリックして CCK カラムを生成せずに続行します。 • 【いいえ】 をクリックしてテーブルのプロパティを編集します。
PWX-01785	少なくとも 1 つのキーカラムを完全要約に選択する必要があります。
説明：	完全要約を選択する場合は、少なくとも 1 つのキーが存在することを確認します。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	完全要約を選択する場合は、少なくとも 1 つのキーが存在することを確認します。
PWX-01786	少なくとも 1 つのカラムを選択する必要があります。
説明：	少なくとも 1 つのカラムを選択する必要があります。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	少なくとも 1 つの列を選択します。
PWX-01787	キーカラムの合計サイズが完全要約の上限を超えています。
説明：	キーカラムの合計サイズが完全要約の上限を超えています。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	合計サイズが完全要約の上限を超えないように、キーカラム選択を変更します。
PWX-01789	受信側名 <i>record_name</i> とシーケンス番号 <i>seqnumber</i> を一緒に使用することは許可されていません。
説明：	受信側名とシーケンス番号の組み合わせが無効です。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	正しい組み合わせの [受信側名] と [シーケンス番号] を入力します。
PWX-01790	シーケンス番号 <i>seqnumber</i> は許可されていません。 *FIRST、*LAST、または数値のみ許可されています。
説明：	無効な [シーケンス番号] が入力されました。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	有効なシーケンス番号を入力します。
PWX-01791	受信側名 <i><record_name1></i> は許可されていません。 <i><record_name1></i> に変更してください。
説明：	受信側名は正しく入力されませんでした。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： 受信側名を修正候補に変更します。

PWX-01793 **セグメントレベルを 1～15 の範囲で入力してください。**

説明： [セグメントレベル] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [セグメントレベル] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01794 **[セグメントコード] を 1～15 の範囲で入力してください。**

説明： [セグメントコード] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [セグメントコード] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01795 **セグメントレベルの値が 1 の場合は、親セグメントコードに 0 を入力してください。**

説明： セグメントレベル値と親セグメントコードの組み合わせが無効です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [セグメントレベル] の値が 1 の場合は、[親セグメントコード] に 0 を入力します。

PWX-01796 **キーの開始値を 0～32766 の範囲で入力してください。**

説明： [キーの開始] 値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [キーの開始] 値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01797 **キー長さを 1～255 の範囲で入力してください。**

説明： [キーの長さ] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [キーの長さ] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01798 **セグメント名と親セグメント名は同じであってはいけません。**

説明： セグメント名と親セグメント名は同じであってはいけません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： セグメント名または親セグメント名を変更します。

PWX-01799 **キューマネージャ名を入力してください。**
説明： 必須の [キューマネージャ] フィールドが空です。
システムのアクション： 検証に失敗しました。
ユーザの応答： [キューマネージャ] に値を入力します。

PWX-01800 **[キュー名] を入力してください。**
説明： 必須の [キュー名] フィールドが空です。
システムのアクション： 検証に失敗しました。
ユーザの応答： [キュー名] に値を入力します。

PWX-01801 **不正なベース名です。文字 *character* は使用できません。**
説明： カラムのベース名に無効な文字が入力されました。
システムのアクション： 検証に失敗しました。
ユーザの応答： 有効なベース名を入力します。

PWX-01802 **[MUF 名] を入力してください。**
説明： 必須の [MUF 名] フィールドが空です。
システムのアクション： 検証に失敗しました。
ユーザの応答： [MUF 名] に値を入力します。

PWX-01803 **ユーザー要件テーブル名を入力してください。**
説明： 必須の [ユーザー要件テーブル] フィールドが空です。
システムのアクション： 検証に失敗しました。
ユーザの応答： [ユーザー要件テーブル] に値を入力します。

PWX-01804 **[長いテーブル名] を入力してください。**
説明： 必須の [長いテーブル名] フィールドが空です。
システムのアクション： 検証に失敗しました。
ユーザの応答： [長いテーブル名] に値を入力します。

PWX-01805 **[短いテーブル名] を入力してください。**
説明： 必須の [短いテーブル名] フィールドが空です。
システムのアクション： 検証に失敗しました。
ユーザの応答： [短いテーブル名] に値を入力します。

PWX-01806	テーブル ID を 1～240 の範囲で入力してください。
説明:	[テーブル ID] の値が有効な範囲内にありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	[テーブル ID] の値を有効な範囲内で入力します。
PWX-01807	[テーブルの状態] を入力してください。
説明:	必須の [テーブルの状態] フィールドが空です。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	[テーブルの状態] に値を入力します。
PWX-01808	[テーブルのバージョン] を 1～999 の範囲で入力してください。
説明:	[テーブルのバージョン] の値が有効な範囲内にありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	[テーブルのバージョン] の値を有効な範囲内で入力します。
PWX-01809	[データベース ID] を 1～5000 の範囲で入力してください。
説明:	[データベース ID] の値が有効な範囲内にありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	[データベース ID] の値を有効な範囲内で入力します。
PWX-01811	ソース <i>source</i> を削除すると、すべてのターゲットと行出口も削除されます。この操作を実行しますか?
説明:	ソースの削除を確認します。すべてのターゲットと行出口も削除されます。
システムのアクション:	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ユーザの応答:	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【はい】 をクリックして選択した項目とその依存関係を削除します。 • 【いいえ】 をクリックして操作を中止します。
PWX-01815	指定した名前はすでに存在します。別の名前を使用してください。
説明:	重複した [名前] が入力されました。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	一意の名前を入力します。

PWX-01816	<i>name</i> は、すでにレコード内にフィールドまたは式の名前として存在します。別の名前を使用してください。
説明:	レコードに重複するフィールドまたは式名が入力されました。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	フィールドまたは式に一意の名前を入力します。
PWX-01818	ターゲット <i>target</i> を削除すると、ターゲット接続と依存する行出口インタフェースも削除されます。続行しますか?
説明:	ターゲットの削除を確認します。すべての依存行出口インタフェースも削除されます。
システムのアクション:	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ユーザの応答:	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【はい】 をクリックして削除します。 • 【いいえ】 をクリックして操作を中止します。
PWX-01819	セグメントレベルの値が 1 の場合は、親セグメントコードに 1~255 の範囲の値を入力してください。
説明:	【親セグメントコード】 が有効な範囲内ありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	親セグメントコードを有効な範囲内で入力します。
PWX-01821	パーソナルメタデータ <i>metaname</i> はすでに存在します。別の名前を使用してください。
説明:	重複する【パーソナルメタデータ】 名が入力されました。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	【パーソナルメタデータ】 に一意の名前を入力します。
PWX-01825	【長いキー名】 を入力してください。
説明:	必須の【長いキー名】 フィールドが空です。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	【長いキー名】 に値を入力します。
PWX-01826	【短いキー名】 を入力してください。
説明:	必須の【短いキー名】 フィールドが空です。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	【短いキー名】 に値を入力します。

PWX-01827 **長いキー名 *key_name* はすでに使用されています。別の名前を使用します。**

説明： 重複した [長いキー名] が入力されました。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [長いキー名] に一意の名前を入力します。

PWX-01828 **キーの秘匿度を入力してください。**

説明： 必須の [キー秘匿度] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [キー秘匿度] の値を入力します。

PWX-01829 **短いキー名 *key_name* はすでに使用されています。別の名前を使用してください。**

説明： 重複した [短いキー名] が入力されました。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [短いキー名] に一意の名前を入力します。

PWX-01830 **名前 *name* はすでに存在しています。別の名前を使用します。**

説明： 重複名が入力されました。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： 一意の名前を入力します。

PWX-01831 ***max_chars* 文字の最大長を超えました。**

説明： フィールド値が最大長を超えています。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： 有効なフィールド値を入力します。

PWX-01833 **アプリケーション名を入力してください。これは、CAPX と CAPXRT の必須フィールドです。**

説明： 必須の [アプリケーション名] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [アプリケーション名] に値を入力します。

PWX-01838 **無効な AIN エントリです。**

説明： 無効な AIN エントリです。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 有効な AIN エントリを入力します。

PWX-01839 **データマップ名に無効な文字_が含まれています。修正してください。**

説明： データマップ名に_（アンダースコア）文字は使用できません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 有効なデータマップ名を入力します。

PWX-01843 **選択した抽出実行にランタイムがありません。**

説明： 抽出実行にランタイムがありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 抽出実行のランタイム値を入力します。

PWX-01844 **データマップ *map_name* に DBD 名が含まれていません。データマップの作成には DBD インポート機能を使用する必要があります。**

説明： データマップに DBD 名が含まれていません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： DBD インポート機能を含むデータマップを作成します。

PWX-01846 **項目が見つかりませんでした。削除命令を発効できません。**

説明： キーと既存の DKF フィールドを削除しようとしたますが、項目が見つかりませんでした。

システムのアクション： 削除プロセスが終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-01847 **CAPX タイムアウト値を *min_range*～*max_range* の範囲で入力してください。**

説明： [CAPX タイムアウト] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [CAPX タイムアウト] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01848 **ドライブ *drive* が使用できません。使用可能なドライブを選択するか、別のリソース構成を選択してください。**

説明： 使用できないドライブにアクセスしようとした。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： ドライブを使用可能にするか、異なるリソース構成を選択します。

PWX-01850 **有効な [ユーザー ID] を入力します。**

説明： 必須の [ユーザー ID] フィールドが空です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [ユーザー ID] に値を入力します。

PWX-01851 **有効な [パスワード] を入力します。**

説明： 必須の [パスワード] フィールドが空です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [パスワード] に値を入力します。

PWX-01852 **有効な [IP アドレス] を入力します。**

説明： 必須の [IP アドレス] フィールドが空です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [IP アドレス] に値を入力します。

PWX-01853 **[ポート番号] を *min_range*～*max_range* の範囲で入力します。**

説明： [ポート番号] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [ポート番号] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01857 **ユーザーを少なくとも 1 つのグループに追加します。**

説明： ユーザーは少なくとも 1 つのグループに属している必要があります。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： ユーザーを少なくとも 1 つのグループに追加します。

PWX-01858 **有効な [ホスト名] を入力します。**

説明： 必須の [ホスト名] フィールドが空です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [ホスト名] に値を入力します。

PWX-01859	<i>resource_type resource_name</i> に対する変更を保存しますか?
説明:	未保存の変更を含むリソースを閉じようとしています。
システムのアクション:	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ユーザの応答:	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【はい】 をクリックしてリソースを保存して閉じます。 • 【いいえ】 をクリックしてリソースを保存せずに閉じます。 • 【キャンセル】 をクリックし、ダイアログボックスに戻ります。
PWX-01860	リソース名 <i>name1</i> を <i>name2</i> に変更すると、このリソースに依存する他のリソースに問題が発生する可能性があります。続行しますか?
説明:	依存リソースが存在する可能性のあるリソース名の変更を確認します。
システムのアクション:	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ユーザの応答:	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【はい】 をクリックしてリソースを上書きします。 • 【いいえ】 をクリックしてリソースを保存せずに閉じます。
PWX-01861	リソース <i>name</i> を削除すると、このリソースに依存している他のリソースに問題が発生する可能性があります。続行しますか?
説明:	依存リソースが存在する可能性のあるリソース名の削除を確認します。
システムのアクション:	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ユーザの応答:	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【はい】 をクリックしてリソースを削除します。 • 【いいえ】 をクリックして操作を中止します。
PWX-01863	パスワードが一致しません。入力し直してください。
説明:	2つのパスワード文字列が一致しません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	パスワードが一致することを確認します。
PWX-01864	【送信バッファサイズ】 を <i>min_range</i>~<i>max_range</i> の範囲で入力します。
説明:	【送信バッファサイズ】 の値が有効な範囲内にありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	

ユーザの応答： [送信バッファサイズ] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01865 **受信バッファサイズを *min_range*～*max_range* の範囲で入力してください。**

説明： [受信バッファサイズ] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [受信バッファサイズ] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01869 **選択してください。**

説明： ターゲットが選択されませんでした。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： ターゲットを選択します。

PWX-01879 **場所 *location* のユーザー認証を削除してよろしいですか？**

説明： 選択した場所のユーザー認証の削除を確認します。

システムのアクション： システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **【はい】** をクリックして、ユーザー認証を削除します。
- **【いいえ】** をクリックして操作を中止します。

PWX-01880 **待機時間に指定できるのは 0 または 2～86400 です。**

説明： [待機時間] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [待機時間] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01881 **補足ロググループ名を入力してください。**

説明： 必須の [補足ロググループ名] フィールドが空です。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [補足ロググループ名] に値を入力します。

PWX-01885 **[送信メッセージサイズ] を *min_range*～*max_range* の範囲で入力します。**

説明： [受信バッファサイズ] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： [受信バッファサイズ] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01886 **【受信メッセージサイズ】を *min_range*～*max_range* の範囲で入力します。**

説明： [受信メッセージサイズ] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： [受信メッセージサイズ] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-01889 **入力ソースを変更すると、既定のカラムマッピングがリセットされ、新しいものが作成されます。続行しますか？**

説明： 入力ソースの変更を確認します。これによりリセットされ、新しい既定の列マッピングが作成されます。

システムのアクション： システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ン：

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **【はい】** をクリックすると、変更が適用され、新しいデフォルトの列マッピングが作成されます。
- **【いいえ】** をクリックして操作を中止します。

PWX-01890 **出力ターゲットを変更すると、既定のカラムマッピングがリセットされ、新しいものが作成されます。続行しますか？**

説明： 出力ターゲットの変更を確認します。これによりリセットされ、新しい既定の列マッピングが作成されます。

システムのアクション： システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ン：

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **【はい】** をクリックすると、変更が適用され、新しいデフォルトの列マッピングが作成されます。
- **【いいえ】** をクリックして操作を中止します。

PWX-01892 **保留中の列変更があります。これにより、リセットが行われ、新しい既定の列マッピングが作成されます。適用しますか？**

説明： 適用されなかった列詳細の変更があります。変更を確認します。確認すると、既定のカラムマッピングがリセットされ、新しいものが作成されます。

システムのアクション： システムアクションはユーザーの応答によって異なります。

ン：

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **【はい】** をクリックすると、変更が適用され、新しいデフォルトの列マッピングが作成されます。
- **【いいえ】** をクリックして操作を中止します。

PWX-01893 **保留中の列変更があります。適用しますか？**

説明： 適用されなかった列詳細の変更があります。

システムのアクション システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ン：

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **【はい】** をクリックして変更を適用します。
- **【いいえ】** をクリックして操作を中止します。

PWX-01897 **管理者ユーザー ID *user_ID* は削除できません。**

説明： 必須の管理者ユーザー ID は削除できません。

システムのアクション 検証に失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-01899 **管理者グループ ID *groupid* は削除できません。**

説明： 必須の管理者グループ ID は削除できません。

システムのアクション 検証に失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-01900 ***dbqualifier* は *resource_type* データベース接続に必要です。**

説明： 必須のデータベース修飾子がありません。

システムのアクション 検証に失敗しました。
ン：

ユーザの応答： データベース修飾子を入力し、要求をサブミットし直します。

PWX-01909 **ユーザー *user* に Oracle インスタンス *instance* の V \$PARAMETER への選択アクセスがありません。**

説明： データベースユーザーには、ビュー V\$PARAMETER にアクセスする権限がありません。

システムのアクション 検証に失敗しました。
ン：

ユーザの応答： 必要な権限を持つ代替データベースユーザーを使用するか、現在のユーザーに必要な特権を与えてください。

PWX-01910 **フォルダ *folder* を削除すると、フォルダのコンテンツも削除されます。続行しますか？**

説明： フォルダとそのコンテンツを削除することを確認します。

システムのアクション システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ン：

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- **【はい】** をクリックしてフォルダとそのコンテンツを削除します。
- **【いいえ】** をクリックして操作を中止します。

PWX-01917	【シーケンス番号の範囲の先頭】を入力します。
説明:	必須の【シーケンス番号の範囲の先頭】フィールドが空です。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	【シーケンス番号の範囲の先頭】の値を入力します。
PWX-01918	シーケンス番号の範囲の末尾の値を入力してください。
説明:	必須の【シーケンス番号の範囲の末尾】フィールドが空です。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	【シーケンス番号の範囲の末尾】の値を入力します。
PWX-01919	シーケンス番号の範囲の先頭の値が 15 桁に切り詰められました。
説明:	シーケンス番号の範囲の最大長を超えました。
システムのアクション:	シーケンス番号の範囲を切り捨てます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-01923	リスナから戻された Oracle SID <i>orasid1</i> が Oracle データベースから取得された Oracle SID <i>orasid2</i> と異なります。
説明:	キャプチャ登録を続行するには、指定された Oracle SID がデータベースから取得した Oracle SID と一致している必要があります。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	DBMOVER コンフィギュレーションファイルの ORACLEID=パラメータに入力された Oracle SID がデータベースの Oracle SID と一致することを確認します。
PWX-01924	【データバッファ番号】を <i>min_range</i>~<i>max_range</i> の範囲で入力します。
説明:	【データバッファ番号】が有効な範囲内にありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	【データバッファ番号】を有効な範囲内で入力します。
PWX-01925	【インデックスバッファ番号】を <i>min_range</i>~<i>max_range</i> の範囲で入力します。
説明:	【インデックスバッファ番号】が有効な範囲内にありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	【インデックスバッファ番号】を有効な範囲内で入力します。

PWX-01926	既存のパブリケーションを使用しますか？
説明：	ユーザーが、既存のパブリケーションを使用するか、新規作成するかを選択できるようにします。
システムのアクション：	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ユーザの応答：	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【はい】 をクリックして処理を続行します。 • 【いいえ】 をクリックして、新しいパブリケーションを作成します。
PWX-01927	PowerExchange パブリケーションに対して定義された既存の記事がドロップされます。続行しますか？ 警告: パブリケーションの置換に関するメッセージです。
システムのアクション：	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ユーザの応答：	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【はい】 をクリックして、パブリケーションを作成します。 • 【いいえ】 をクリックして操作を中止します。
PWX-01930	Striva 設定を Informatica レジストリキーにインポートすることをお勧めします。この操作を実行しますか？
説明：	PowerExchange Navigator 変更の一環として、Striva レジストリキー情報を Informatica レジストリキーにコピーして、PowerExchange Navigator 設定が失われないようにする必要があります。
システムのアクション：	システムアクションはユーザーの応答によって異なります。
ユーザの応答：	以下のいずれかのアクションを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【はい】 をクリックして処理を続行します。 • 【いいえ】 をクリックして操作を中止します。
PWX-01931	Striva レジストリキーが正常にインポートされました。
説明：	Striva レジストリキーが Informatica レジストリキーに正常にインポートされたことを伝える確認メッセージです。
ユーザの応答：	【OK】 をクリックして、メッセージダイアログボックスを閉じます。
PWX-01936	Unicode フォント <i>font</i> はこのシステムにありません。一部の文字が正常に表示されない可能性があります。
説明：	すべての文字を正しく表示するには、Unicode フォントが必要です。
ユーザの応答：	正しい Unicode フォントをインストールします。
PWX-01937	クリエイター <i>name</i> を登録に使用できません。名前が <i>length</i> 文字を超えています。
説明：	最大文字数を超えるクリエイター名は、登録に使用できません。

ユーザの応答：	[OK] をクリックして、メッセージダイアログボックスを閉じます。
PWX-01938	スキーマ <i>name</i> を登録に使用できません。名前が <i>length</i> 文字を超えています。
説明：	最大文字数を超えるスキーマ名は、登録に使用できません。
ユーザの応答：	[OK] をクリックして、メッセージダイアログボックスを閉じます。
PWX-01939	テーブル <i>name</i> を登録に使用できません。名前が <i>length</i> 文字を超えています。
説明：	最大文字数を超えるテーブル名は、登録に使用できません。
ユーザの応答：	[OK] をクリックして、メッセージダイアログボックスを閉じます。
PWX-01940	列 <i>name</i> を登録に使用できません。名前が 32 文字を超えています。
説明：	登録では、32 文字を超す列名は使用できません。
ユーザの応答：	[OK] をクリックして、メッセージダイアログボックスを閉じます。
PWX-01943	ファイル <i>name</i> が読み取り専用です。別の名前で保存してください。
説明：	ファイル <i>name</i> が読み取り専用です。
ユーザの応答：	代替ファイルに保存します。
PWX-01944	【オーナーキーの位置】を <i>min_range</i>～<i>max_range</i> の範囲で入力します。
説明：	【オーナーキーの位置】が有効な範囲内にありません。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	【オーナーキーの位置】を有効な範囲内で入力します。
PWX-01945	リスト項目 <i>name</i> が見つかりませんでした。
説明：	リストで DL1 フィールドが見つかりませんでした。
ユーザの応答：	[OK] をクリックして、メッセージダイアログボックスを閉じます。
PWX-01947	【オーナーページグループ】を <i>min_range</i>～<i>max_range</i> の範囲で入力します。
説明：	【オーナーページグループ】が有効な範囲内にありません。
システムのアクション：	検証に失敗しました。
ユーザの応答：	【オーナーページグループ】を有効な範囲内で入力します。
PWX-01948	【オーナーの基数】を <i>min_range</i>～<i>max_range</i> の範囲で入力します。
説明：	【オーナーの基数】が有効な範囲内にありません。

システムのアクション: 検証に失敗しました。
ユーザーの応答:

[オーナーの基数] を有効な範囲内で入力します。

PWX-01949 **[ページグループ] を *min_range*~*max_range* の範囲で入力します。**

説明: [ページグループ] が有効な範囲内にありません。

システムのアクション: 検証に失敗しました。
ユーザーの応答:

[ページグループ] を有効な範囲内で入力します。

PWX-01950 **基数を *min_range*~*max_range* の範囲で入力してください。**

説明: [基数] が有効な範囲内にありません。

システムのアクション: 検証に失敗しました。
ユーザーの応答:

[基数] を有効な範囲内で入力します。

PWX-01951 **マージ用のキャプチャ登録を 1 つだけ選択してください。**

説明: マージ処理には、キャプチャ登録を 1 つのみ選択できます。

ユーザーの応答: キャプチャ登録を 1 つ選択します。

PWX-01952 **有効なバルクデータマップ名を入力します。**

説明: マージ処理には、バルクデータマップ名が必要です。

ユーザーの応答: 有効なバルクデータマップ名を入力します。

PWX-01953 **レコード *record_name* が見つかりませんでした。ソースのデータマップの変更が発生した可能性があります。**

説明: レコードがマップで見つかりませんでした。抽出マップの生成後に、データマップが変更された可能性があります。

システムのアクション: 抽出処理が終了しました。
ユーザーの応答:

抽出マップが有効か確認します。

PWX-01954 **不明な拡張型です。**

説明: 式フィールドの型が不明です。

システムのアクション: 抽出定義の保存を停止します。
ユーザーの応答:

問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-01955 **テーブル *tablename* が見つかりません。ソースのデータマップの変更が発生した可能性があります。**

説明: テーブルがマップで見つかりませんでした。抽出マップの生成後に、データマップが変更された可能性があります。

システムのアクション: 抽出処理が終了しました。

ユーザの応答: 抽出マップが有効か確認します。

PWX-01956 **列 *colname* が見つかりません。ソースのデータマップの変更が発生した可能性があります。**

説明: カラムがマップで見つかりませんでした。抽出マップの生成後に、データマップが変更された可能性があります。

システムのアクション: 抽出処理が終了しました。

ユーザの応答: 抽出マップが有効か確認します。

PWX-01957 **テーブル "*table_name*" には、空間データ型のカラムが含まれているため、変更キャプチャに対して登録することはできません。**

説明: テーブルに空間データ型のカラムが含まれているため。指定された MySQL テーブルに対してキャプチャの登録を作成できません。PowerExchange は、空間データ型をサポートしていません。登録がないと、PowerExchange はテーブルから変更データをキャプチャできません。

ユーザの応答: [OK] をクリックして、エラーメッセージボックスを閉じます。

PWX-01958 **テーブル "*table_name*" には、プライマリキーが含まれていないため、変更キャプチャに対して登録することはできません。**

説明: プライマリキーが含まれていない PostgreSQL テーブルは登録に適していません。

ユーザの応答: [OK] を押して、メッセージボックスを閉じます。

PWX-01959 **フィールド *fldname* が見つかりません。ソースのデータマップの変更が発生した可能性があります。**

説明: フィールドがマップで見つかりませんでした。抽出マップの生成後に、データマップが変更された可能性があります。

システムのアクション: 抽出処理が終了しました。

ユーザの応答: 抽出マップが有効か確認します。

PWX-01960 **列 *colname* が見つかりません。カラム名の変更中にエラーが発生しました。ソースのデータマップの変更が発生した可能性があります。**

説明: カラムがマップで見つかりませんでした。抽出マップの生成後に、データマップが変更された可能性があります。

システムのアクション: 抽出処理が終了しました。

ユーザの応答: 抽出マップが有効か確認します。

PWX-01961	レコード依存性 <i>recdep</i> が見つかりません。ソースのデータマップの変更が発生した可能性があります。
説明:	レコード依存性がマップで見つかりませんでした。抽出マップの生成後に、データマップが変更された可能性があります。
システムのアクション:	抽出処理が終了しました。
ユーザの応答:	抽出マップが有効か確認します。
PWX-01962	垂直配列制御 <i>array</i> が見つかりません。データソースの変更が発生した可能性があります。
説明:	垂直配列制御がマップで見つかりませんでした。抽出マップの生成後に、データマップが変更された可能性があります。
システムのアクション:	抽出処理が終了しました。
ユーザの応答:	抽出マップが有効か確認します。
PWX-01963	バルクデータマップテーブル <i>array</i> が見つかりません。抽出定義をロードして変更することができません。
説明:	テーブルがバルクデータマップで見つかりませんでした。
システムのアクション:	抽出処理が終了しました。
ユーザの応答:	抽出マップが有効か確認します。
PWX-01964	ドキュメントファイル PowerExchangeHelp.chm がディレクトリ <i>dir</i> に見つかりません。
説明:	ヘルプファイル PowerExchangeHelp.chm が Helpdoc ディレクトリ内に見つかりませんでした。
システムのアクション:	オンラインヘルプが表示されません。
ユーザの応答:	ファイル PowerExchangeHelp.chm が Helpdoc ディレクトリにあることを確認します。
PWX-01965	警告 - 一部の列データは 256 文字を超えているので、表示のために切り捨てられました。
説明:	行のテストでは、256 文字を超える列データを表示できません。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-01966	警告 - 区切りレコードの最後にあるフィールド <i>name</i> の後にフィールドを追加しようとしています。
説明:	「レコードの最後」マークで区切られているレコードの後ろに、フィールドを追加しようとしています。
ユーザの応答:	[OK] をクリックして、メッセージダイアログボックスを閉じます。

PWX-01967	このテーブルの名前を登録することはできません。
説明:	PowerExchange で登録が許されるテーブル名は、ASCII の x00～x7F の範囲の文字と GB ポンド記号および円記号で構成される名前のみです。
ユーザの応答:	[OK] をクリックして、メッセージダイアログボックスを閉じます。
PWX-01968	[最小ルート長] を <i>min_range</i>～<i>max_range</i> の範囲で入力します。
説明:	[最小ルート長] が有効な範囲内にありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	[最小ルート長] を有効な範囲内で入力します。
PWX-01969	[データ長] を <i>min_range</i>～<i>max_range</i> の範囲で入力します。
説明:	[データ長] が有効な範囲内にありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	[データ長] を有効な範囲内で入力します。
PWX-01970	[プレフィクス長] を <i>min_range</i>～<i>max_range</i> の範囲で入力します。
説明:	[プレフィクス長] が有効な範囲内にありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	[プレフィクス長] を有効な範囲内で入力します。
PWX-01971	[制御部分長] を <i>min_range</i>～<i>max_range</i> の範囲で入力します。
説明:	[制御部分長] が有効な範囲内にありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	[制御部分長] を有効な範囲内で入力します。
PWX-01972	キー <i>key_name</i> (テーブル <i>table_name</i> 内) は無効です。
説明:	テーブルのキーが有効ではありません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	有効なキーをテーブルに配置します。
PWX-01973	キー <i>key_name</i> (テーブル <i>table_name</i> 内) は無効で、削除されました。
説明:	テーブル内のキーは無効であり、削除されました。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	

ユーザの応答：	有効なキーをテーブルに配置します。
PWX-01974	指定された入力パラメータに適したデータが見つかりません。
説明：	指定された入力パラメータに一致するデータはありません。
システムのアクション：	タスクが失敗します。
ユーザの応答：	入力を確認します。
PWX-01975	IDMS Presspack DCTABLE を入力します
説明：	CA-IDMS Presspack COMPRESS オプションは、PowerExchange が変更をキャプチャするレコードでアクティブです。しかし、Presspack DCTABLE 名が指定されていません。Presspack には、PowerExchange change data capture (CDC) 中の実行時解凍に使用する DCT テーブルを見つけるためにこの名前が必要です。
システムのアクション：	PowerExchange Navigator によるデータマップの検証は失敗します。
ユーザの応答：	CDC 用の対象となるレコードについて、Presspack DCTABLE 名の値を入力します。
PWX-01976	アクティブにできるのは 1 つの圧縮オプションだけです。
説明：	CA-IDMS の標準圧縮と Presspack の圧縮は相互に排他的です。IDMS レコードに対して一度にアクティブにできるのは、これらの圧縮オプションの一方だけです。
システムのアクション：	PowerExchange Navigator によるデータマップの検証は失敗します。
ユーザの応答：	どちらか一方の圧縮オプションの選択を取り消します。
PWX-01977	キーの位置を <i>minimum</i> から <i>maximum</i> の間で入力するか、フィールドをクリアします。
説明：	キーの位置が、有効な値の範囲内にありません。
システムのアクション：	PowerExchange Navigator によるデータマップの検証は失敗します。
ユーザの応答：	有効な値の範囲内に存在するキーの位置を入力します。
PWX-01978	行のテスト接続が <i>number_of_minutes</i> 分後にタイムアウトになりました。
説明：	データベース行テストのデータソースへの PowerExchange Navigator の接続は、接続タイムアウト間隔を超えた後にタイムアウトしました。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。PowerExchange Navigator では、 【設定】 ダイアログボックスの 【行テスト接続タイムアウト】 フィールドでタイムアウト間隔を調整できます。デフォルトは 15 分です。

PWX-01979	リスタートトークン 1 の値 <i>token_value</i> が無効です。
説明:	PowerExchange Navigator で、データベース行のテストの CAPX の 【詳細パラメータ】 ダイアログボックスまたは CAPXRT の 【詳細パラメータ】 ダイアログボックスに入力された 【リスタートトークン 1】 の値が無効です。
システムのアクション:	リスタートトークンの検証に失敗します。
ユーザの応答:	有効なトークン値を 【リスタートトークン 1】 フィールドに入力してください。
PWX-01980	リスタートトークン 2 の値 <i>token_value</i> が無効です。
説明:	PowerExchange Navigator で、データベース行のテストの CAPX の 【詳細パラメータ】 ダイアログボックスまたは CAPXRT の 【詳細パラメータ】 ダイアログボックスに入力された 【リスタートトークン 2】 の値が無効です。
システムのアクション:	リスタートトークンの検証に失敗します。
システムのアクション:	有効なトークン値を 【リスタートトークン 2】 フィールドに入力してください。
PWX-01981	リスタートトークン 1 の値を使用しないでリスタートトークン 2 が設定されています。
説明:	PowerExchange Navigator で、データベース行のテストの CAPX の 【詳細パラメータ】 ダイアログボックスまたは CAPXRT の 【詳細パラメータ】 ダイアログボックスで 【リスタートトークン 2】 の値が指定されましたが、それに対応する 【リスタートトークン 1】 の値がありません。両方のリスタートトークン値が必要です。
システムのアクション:	リスタートトークンの検証に失敗します。
ユーザの応答:	有効なトークン値を 【リスタートトークン 1】 フィールドに入力してください。
PWX-01982	リスタートトークン 2 の値を使用しないでリスタートトークン 1 が設定されています。
説明:	PowerExchange Navigator で、データベース行のテストの CAPX の 【詳細パラメータ】 ダイアログボックスまたは CAPXRT の 【詳細パラメータ】 ダイアログボックスで 【リスタートトークン 1】 の値が指定されましたが、それに対応する 【リスタートトークン 2】 の値がありません。両方のリスタートトークン値が必要です。
システムのアクション:	リスタートトークンの検証に失敗します。
ユーザの応答:	有効なトークン値を 【リスタートトークン 2】 フィールドに入力してください。

PWX-01983	キャプチャ登録の削除を続行しますか? 続行するためには、SQL Server アーティクルを手動で削除する必要があります。
説明:	PowerExchange Navigator で Microsoft SQL Server テーブルのキャプチャ登録の削除を要求したときに、関連付けられた SQL Server アーティクルの削除が試みられましたが削除できませんでした。キャプチャ登録の削除を続行するか、登録を削除せずにキャプチャ登録のリストに戻るかのいずれかを選択できます。削除を続行する場合、SQL Server アーティクルをパブリケーションデータベースから手動で削除する必要があります。
ユーザの応答:	キャプチャ登録を削除するには、 [はい] をクリックします。その後、関連付けられた SQL Server アーティクルをパブリケーションデータベースから手動で削除します。または、登録を削除せずにキャプチャ登録のリストに戻るには、 [いいえ] をクリックします。
PWX-01984	キャプチャ登録ステータスの履歴への設定を続行しますか? 続行するためには、SQL Server Article を手動で削除する必要があります。
説明:	PowerExchange Navigator で Microsoft SQL Server テーブルのキャプチャ登録のステータスを [履歴] に設定したときに、関連付けられた SQL Server アーティクルの削除が試みられましたが削除できませんでした。このメッセージでは、登録ステータスを [履歴] に変更し続けるか、または登録ステータスを変更せずにキャプチャ登録のリストに戻るかどうかを尋ねます。登録ステータスの変更を確認したら、登録済みテーブルに関連付けられている SQL Server アーティクルを手動で削除する必要があります。
ユーザの応答:	[はい] をクリックして、登録ステータスを [履歴] に設定します。その後、関連付けられた SQL Server アーティクルをパブリケーションデータベースから手動で削除します。または、登録ステータスを変更せずにキャプチャ登録のリストに戻るには、 [いいえ] をクリックします。
PWX-01985	ルーチン <i>routine</i> の呼び出し中にエラーが発生しました。戻りコード <i>return_code</i>。エラーからリカバリできません。ナビゲータを終了します。
説明:	指定したルーチンからエラーが返されました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-01986	アクティブな構成の読み込みに失敗しました。リソース構成で [キャンセル] を選択するとナビゲータが終了します。
説明:	アクティブな構成の切り替えに失敗し、アクティブな構成の再ロードにも失敗しました。有効な構成が必要なため、 [リソース構成] ダイアログボックスで [キャンセル] をクリックして PowerExchange Navigator を閉じます。
システムのアクション:	[リソース構成] ダイアログボックスからキャンセルすると、PowerExchange Navigator が閉じます。

ユーザの応答：	[リソース構成] ダイアログボックスで 【キャンセル】 をクリックして、Navigator を閉じます。次に、リソース構成エラーを修正します (可能な場合)。例えば、DBMOVER 構成ファイルと有効な PowerExchange ライセンスファイルが、アクティブなリソース構成で指定された場所にあることを確認します。
PWX-01987	抽出タイプ CC には、リスタートトークン 1 とリスタートトークン 2 の値が必要です。
説明：	データベース行のテストで使用する 【CAPX/CAPXRT 詳細パラメータ】 ダイアログボックスの 【全般】 タブで、 【リスタートトークン 1】 と 【リスタートトークン 2】 の値が無効であるか、または欠落しています。 【抽出タイプ】 フィールドが 【CC】 に設定されている場合、これらのフィールドに有効なリスタートトークン値が含まれている必要があります。
システムのアクション：	【リスタートトークン 1】 および 【リスタートトークン 2】 フィールドの PowerExchange Navigator 検証に失敗します。
ユーザの応答：	【リスタートトークン 1】 および 【リスタートトークン 2】 フィールドの有効なリスタートトークン値を入力します。

第 4 章

PWX-02000～PWX-04999

この章では、以下の項目について説明します。

- [PWX-02000～PWX-02999, 213](#) ページ
- [PWX-03000～PWX-03999, 283](#) ページ
- [PWX-04000～PWX-04999, 317](#) ページ

PWX-02000～PWX-02999

PWX-02000	データベースログオンエラーです。ユーザー ID を指定する必要があります。
説明：	データベースとの接続にはユーザー ID が必要です。
システムのアクション：	接続の試みは破棄されます。
ユーザの応答：	ユーザー ID を入力します。
PWX-02001	データベースログオンエラーです。パスワードを指定する必要があります。
説明：	データベースとの接続にはパスワードが必要です。
システムのアクション：	接続の試みは破棄されます。
ユーザの応答：	パスワードを指定します。
PWX-02002	データベース接続エラーです。SQL コード=<i>sqlcode</i>。ユーザー ID=<i>user_ID</i>。データベース=<i>database</i>。
説明：	データベースへの接続によってエラーが返されます。
システムのアクション：	接続の試みは破棄されます。
ユーザの応答：	接続パラメータ（データベース名、ユーザー ID、パスワード）が正しいことを確認します。
PWX-02003	データベース切断エラー。SQL コード=<i>sqlcode</i>。
説明：	データベースからの切断によってエラーが返されます。

システムのアクション: 接続が開いている可能性があります。

ン:

ユーザの応答: データベースマニュアルで *SQL* コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-02004 **カーソルオープンエラー。** *SQL コード=sqlcode。*

説明: カーソルオープン呼び出しによってエラーが返されました。

システムのアクション: データベース接続が閉じます。

ン:

ユーザの応答: データベースマニュアルで *SQL* コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-02005 **カーソルクローズエラー。** *SQL コード=sqlcode。*

説明: カーソルクローズ呼び出しによってエラーが返されました。

システムのアクション: データベース接続が閉じます。

ン:

ユーザの応答: データベースマニュアルで *SQL* コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-02006 **SQL prepare エラー。** *SQL コード= sqlcode。*

説明: SQL prepare 呼び出しによってエラーが返されました。

システムのアクション: データベース接続が閉じます。

ン:

ユーザの応答: データベースマニュアルで *SQL* コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-02007 **SQL describe エラー。** *SQL コード= sqlcode。*

説明: SQL describe 呼び出しによってエラーが返されました。

システムのアクション: データベース接続が閉じます。

ン:

ユーザの応答: データベースマニュアルで *SQL* コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-02008 **SQL 文が SELECT ではありません。**

説明: READMODE で記述されている文が SELECT 文ではないため、エラーが発行されました。

システムのアクション: データベース接続が閉じます。

ン:

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-02009	入力変数のバインド中に SQL エラーが発生しました。SQL コード=sqlcode。
説明:	入力変数のバインドによってエラーが返されました。
システムのアクション:	データベース接続が閉じます。
ユーザの応答:	データベースマニュアルで <i>SQL</i> コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02010	SQL exec エラー。SQL コード=sqlcode。
説明:	SQL exec 呼び出しによってエラーが返されました。
システムのアクション:	データベース接続が閉じます。
ユーザの応答:	データベースマニュアルで <i>SQL</i> コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02011	SQL fetch エラー。SQL コード=sqlcode。
説明:	SQL fetch 呼び出しによってエラーが返されました。
システムのアクション:	データベース接続が閉じます。
ユーザの応答:	データベースマニュアルで <i>SQL</i> コードを確認します。Adabass の場合、SQLCODE の 1255 は、SQLCODE の 255 (NAB エラー) として解釈する必要があります。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02012	出力変数のバインド中に SQL エラーが発生しました。SQL コード=sqlcode。
説明:	出力変数のバインドによってエラーが返されました。
システムのアクション:	データベース接続が閉じます。
ユーザの応答:	データベースマニュアルで <i>SQL</i> コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02013	ロールバックエラー。SQL コード=sqlcode。
説明:	ロールバックによってエラーが返されました。
システムのアクション:	データベース接続が閉じます。
ユーザの応答:	データベースマニュアルで <i>SQL</i> コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02014	テーブルがありません。SQL コード=sqlcode。
説明:	存在しないテーブルを使用して SQL 呼び出しが実行されました。

システムのアクション 呼び出しは失敗しました。
ン：

ユーザの応答： データベースマニュアルで *SQL* コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-02015 **モジュール *module_name* のアクティブ要求が多すぎます。**

説明： *SQL* 呼び出しが発行されましたが、そのモジュールに対する要求が多すぎます。

システムのアクション 呼び出しは実行されませんでした。
ン：

ユーザの応答： 他のいくつかの要求が完了するまで待機します。

PWX-02016 **挿入用に作成された *SQL* の長さが *num_bytes* バイトを超えています。**

説明： *SQL* 呼び出しの長さが許容最大値を超えています。

システムのアクション 呼び出しは実行されませんでした。
ン：

ユーザの応答： 異なる *SQL* 呼び出しを使用します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-02017 **ネイティブコマンド *command* の実行中にエラーが発生しました。**

説明： ネイティブコマンドの実行はエラーにより終了しました。

システムのアクション 呼び出しは実行されませんでした。
ン：

ユーザの応答： コマンドが有効かどうか確認します。有効でない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-02018 **コミットエラー。SQL コード=*sqlcode*。**

説明： コミット呼び出しの実行はエラーにより終了しました。

システムのアクション コミットは実行されませんでした。
ン：

ユーザの応答： データベースマニュアルで *SQL* コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-02019 ***SQL insert* エラー。SQL コード=*sqlcode*。**

説明： 挿入呼び出しの実行はエラーにより終了しました。

システムのアクション 挿入は実行されませんでした。
ン：

ユーザの応答： データベースマニュアルで *SQL* コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-02020	エラーが発生した行は、行 <i>row</i> です。
説明：	SQL 呼び出しの実行はエラーにより終了しました。
システムのアクション：	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答：	データベースマニュアルで <i>SQL</i> コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02021	カーソル宣言エラー。SQL コード=<i>sqlcode</i>。
説明：	カーソル宣言呼び出しの実行はエラーにより終了しました。
システムのアクション：	カーソル宣言は実行されませんでした。
ユーザの応答：	データベースマニュアルで <i>SQL</i> コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02022	記述子割り当てエラー。SQL コード=<i>sqlcode</i>。
説明：	割り当て呼び出しの実行はエラーにより終了しました。
システムのアクション：	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答：	データベースマニュアルで <i>SQL</i> コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02023	記述子取得エラー。SQL コード=<i>sqlcode</i>。
説明：	記述子取得の実行はエラーにより終了しました。
システムのアクション：	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答：	データベースマニュアルで <i>SQL</i> コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02024	SQL put エラー。SQL コード=<i>sqlcode</i>。
説明：	SQL put get の実行はエラーにより終了しました。
システムのアクション：	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答：	データベースマニュアルで <i>SQL</i> コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02025	切り捨てエラー。SQL コード=<i>sqlcode</i>。
説明：	ファイルクリアの試みは、エラーにより終了しました。
システムのアクション：	要求が失敗します。

ユーザの応答：	<i>sqlcode/errno</i> を確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02027	SQL PARM prepare エラー 。SQL コード= <i>sqlcode</i> 。
説明：	SQL prepare の実行はエラーにより終了しました。
システムのアクション：	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答：	データベースマニュアルで <i>SQL</i> コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02028	SQL PARM describe エラー 。SQL コード= <i>sqlcode</i> 。
説明：	SQL describe の実行はエラーにより終了しました。
システムのアクション：	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答：	データベースマニュアルで <i>SQL</i> コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02029	更新用に作成された SQL の長さが <i>number</i> バイトを超えています。
説明：	生成された SQL 文の長さが上限を超えています。
システムのアクション：	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答：	より短い SQL 文を使用します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02030	SQL update エラー 。SQL コード= <i>sqlcode</i> 。
説明：	SQL prepare の実行はエラーにより終了しました。
システムのアクション：	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答：	データベースマニュアルで <i>SQL</i> コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02031	削除用に作成された SQL の長さが <i>number</i> バイトを超えています。
説明：	生成された SQL 文の長さが上限を超えています。
システムのアクション：	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答：	より短い SQL 文を使用します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02032	SQL delete エラー 。SQL コード= <i>sqlcode</i> 。
説明：	SQL delete の実行はエラーにより終了しました。

システムのアクション SQL 呼び出しが実行されません。
ン：

ユーザの応答： データベースマニュアルで *SQL* コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-02033 **グループソースの読み取りが要求されましたが、GS オプションが設定されていません。**

説明： SQL delete の実行はエラーにより終了しました。

システムのアクション SQL 呼び出しが実行されません。
ン：

ユーザの応答： データベースマニュアルで *SQL* コードを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-02035 Oracle ID *oracle_id* が構成に見つかりません。

説明： Oracle に接続するには Oracle ID が必要です。

システムのアクション 接続が試みられませんでした。
ン：

ユーザの応答： 構成パラメータを見直します。

PWX-02036 **エラー時に停止カウントの範囲は 0～2147483647 です。**

説明： [エラー時に停止] の値が有効な範囲内にありません。

システムのアクション 検証に失敗しました。
ン：

ユーザの応答： [エラー時に停止] の値を有効な範囲内で入力します。

PWX-02037 DB2 サブシステム *subsystem_id*、リリース *db2_release* は、DB2V8 新機能モードの機能をサポートしていません。

説明： DB2ID 構成パラメータによって DB2 サブシステムが DB2V8 新機能モードとして構成されていますが、DB2 V8 は新機能モードで実行されていません。

システムのアクション DB2 から切断し、エラーを返します。
ン：

ユーザの応答： この DB2 サブシステムの DB2ID パラメータを修正します。

PWX-02038 DB2 サブシステム *subsystem_id*、リリース *db2_release* は、V8 互換モード/V8 以前の機能をサポートしていません。

説明： DB2ID 構成パラメータによって DB2 サブシステムが DB2V8 互換モードまたは V8 以前として構成されていますが、DB2 V8 は新機能モードで実行されています。

システムのアクション DB2 から切断し、エラーを返します。
ン：

ユーザの応答： この DB2 サブシステムの DB2ID パラメータを修正します。

PWX-02039 **データベース接続エラーです。ユーザー ID="user_ID"。データベース="database"。**

説明： 指定されたデータベースへの接続の試行時にエラーが発生しました。

システムのアクション： 接続の試行に失敗しました。

ユーザの応答： データベース名、ユーザー ID、およびパスワードを含む、接続パラメータを確認します。

PWX-02040 **データベース接続エラーです。ユーザー ID="user_ID"。サーバー="server"。**

説明： 指定されたデータベースサーバーへの接続の試行時にエラーが発生しました。

システムのアクション： 接続の試行に失敗しました。

ユーザの応答： サーバー名、ユーザー ID、パスワードを含む、接続パラメータを確認します。

PWX-02041 **データベース接続エラーです。ユーザー ID="user_ID"。サーバー="server"。データベース="database"。**

説明： 指定されたデータベースへの接続の試行時にエラーが発生しました。

システムのアクション： 接続の試行に失敗しました。

ユーザの応答： サーバー名、データベース名、ユーザー ID、およびパスワードを含む、接続パラメータを確認します。

PWX-02042 **SQL 呼び出しのエラー。SQL コード= sqlcode。**

説明： ストアドプロシージャへの SQL 呼び出しによってエラーが返されました。

システムのアクション： データベース接続が閉じます。

ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、指定された SQL コードを見直します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。

PWX-02043 **SQL associate エラー。SQL コード= sqlcode。**

説明： SQL associate カーソル呼び出しによってエラーが返されました。

システムのアクション： データベース接続が閉じます。

ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、指定された SQL コードを見直します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。

PWX-02044 **プレゼンスエラー。コード = code**

説明： プレゼンス呼び出しの実行により内部エラーが発生しました。

システムのアクション タスクは終了します。

ン：

ユーザの応答： 一緒に表示されるエラーメッセージを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-02045 **SQL<sql_statement>でエラーが発生しています。**

説明： 指定された SQL 文の実行に DB2 SQL エラーコードで失敗しました。

システムのアクション タスクが異常終了します。

ン：

ユーザの応答： このメッセージを使用して文の構文エラーを識別します。エラーの詳細については、一緒に表示されるメッセージを参照します。その後、SQL 文を修正するか、または Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-02100 **識別子**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション SQL 呼び出しが実行されません。

ン：

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02101 **演算子**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション SQL 呼び出しが実行されません。

ン：

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02102 **16 進定数**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション SQL 呼び出しが実行されません。

ン：

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02103 **複合識別子**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション SQL 呼び出しが実行されません。

ン：

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02104 **引用識別子**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション SQL 呼び出しが実行されません。

ン：

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02105 **文の終わり**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02106 **数値定数**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02107 **文字定数**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02108 **パラメータ対応 SQL 置換マーカ**

説明： SQL 内でこの種類のトークンによるエラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを参照します。

PWX-02114 **エラー、SQL 内の *position:SQL***

説明： SQL エラーを最大 100 バイトまで表示します。SQL が切り捨てられた場合、エラーの位置が示されます。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： SQL を修正し、もう一度実行します。

PWX-02115 **SQL エラー、位置: *position*。パラメータ対応 SQL 置換マーカは不要です。**

説明： パラメータ対応 SQL 置換マーカ (?) は、このコンテキストでは許可されていません。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： 疑問符の位置が使用可能な位置にあることを確認します。

PWX-02117 **CAPX/CAPXRT テーブルに、適用に必要なカラムが含まれていません。カラム**

説明： テーブルに、適用に必要なカラムが含まれていません。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 抽出マップカラムを見直します。 AutoGeneratedColumns が選択されていることを確認します。

PWX-02118 **SQL エラー、位置: *position*。 2 層テーブル名 *table_name* は、形式 *schema.mapname_table_name* である必要があります。**

説明： テーブル名が 2 層ではありません。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： テーブル名を確認します。

PWX-02119 **トークンの種類が不明です。**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション SQL 呼び出しが実行されません。

ン：

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02120 **SQL の解析でエラー *error_num* が発生しました。**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション SQL 呼び出しが実行されません。

ン：

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02121 **SQL エラー、位置: *position*。 キーワード *keyword* が必要です。 *token* が *token* です。**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション SQL 呼び出しが実行されません。

ン：

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02122 **SQL エラー、位置: *position*。 トークンの長さが *length* バイトを超えています。**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション SQL 呼び出しが実行されません。

ン：

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02123 **SQL エラー、位置: *position*。 識別子 *identifier* に含まれている修飾子のレベルが多すぎます。**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション SQL 呼び出しが実行されません。

ン：

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02124 SQL エラー、位置: *position*。識別子 *identifier* の最後のピリオドの後に識別子が必要です。

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02125 SQL エラー、位置: *position*。文字 "*char*" が無効です（識別子 *identifier* の最後のピリオドの後）。

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02126 SQL エラー、位置: *position*。識別子 *identifier* に閉じる引用符がありません。

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02127 SQL エラー、位置: *position*。無効な Null 識別子が *identifier* に見つかりました。

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02128 SQL エラー、位置: *position*。カラム名が必要です。定数が見つかりました。

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。カラム名が必要でした。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02129 SQL エラー、位置: *position*。識別子が必要です。token が token です。

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02130	SQL エラー、位置: <i>position</i>。 結果名が必要です。 <i>token</i> が <i>token</i> です。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文が正しいことを確認します。
PWX-02131	SQL エラー、位置: <i>position</i>。 演算子 "," またはキーワード "FROM" が必要です。 <i>token</i> が <i>token</i> です。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文が正しいことを確認します。
PWX-02132	SQL エラー、位置: <i>position</i>。 文の終わりまたは "WHERE" が必要です。 <i>token</i> が <i>token</i> です。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文が正しいことを確認します。
PWX-02133	SQL エラー、位置: <i>position</i>。 テーブル名 <i>table_name</i> にスキーマ名が必要です。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文のテーブル名を確認します。
PWX-02134	SQL エラー、位置: <i>position</i>。 テーブル名 <i>table_name</i> にスキーマ名とマップ名が必要です。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文のテーブル名を確認します。
PWX-02135	SQL エラー、位置: <i>position</i>。 修飾子 <i>qualifier</i> は FROM リストで公開される名前ではありません。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文が正しいことを確認します。
PWX-02136	SQL エラー、位置: <i>position</i>。 名前 <i>name</i> があいまいです。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション SQL 呼び出しが実行されません。
ン：

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02137 **SQL エラー、位置: *position*。 トークンが length バイトを超えています。**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション SQL 呼び出しが実行されません。
ン：

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02138 **データマップ修飾子 1.修飾子 2 のロード中にエラーが発生しました。**

説明： データマップのロードに失敗しました。

システムのアクション 処理は終了します。
ン：

ユーザの応答： マップが不正になっている可能性があります。マップを再度作成し、要求を再試行します。z/OS プラットフォームでは、ジョブに関連付けられている領域サイズを確認します。マップのロードに、より大きな領域サイズを必要としている可能性があります。

PWX-02139 **SQL エラー、位置: *position*。 テーブル "*table_name*" がありません。**

説明： SQL 文で使用されているテーブルが存在しません。

システムのアクション 処理は終了します。
ン：

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02140 **SQL エラー、位置: *position*。 カラム "*column_name*" がテーブル "*table_name*" にありません。**

説明： SQL 文で使用されているカラムが、そのテーブルに存在しません。

システムのアクション 処理は終了します。
ン：

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02141 **レコードマッピングエラー。テーブル=*table_name*。 レコード=*record_name*。 行=*row_number*。**

説明： 入力レコードのマッピング中にエラーが発生しました。

システムのアクション 終了するか、レコードをスキップします。データマップで定義されているオプションによって異なります。

ユーザの応答： エラーが発生した行のデータとデータマップのレコード定義を確認します。

PWX-02142	フィールドが過去のレコードの最後を超えています。フィールド=<i>field</i>。テーブル=<i>table_name</i>。レコード=<i>record_name</i>。行=<i>row_counter</i>。
説明:	入力データの長さが、入力レコードに必要な長さより短すぎます。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	エラーが発生した行のデータとデータマップのレコード定義を確認します。
PWX-02143	算出されたフィールド長 <i>field_length</i> バイトは、上限の <i>max_length</i> を超えています。フィールド=<i>field_name</i>。テーブル=<i>table_name</i>。レコード=<i>record_name</i>。行=<i>row_number</i>。
説明:	入力レコードの算出されたフィールド長が、フィールドの最大長を超えています。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	エラーが発生した行のデータとデータマップのレコード定義を確認します。
PWX-02144	短いレコードの読み込み。length バイトが必要です。length バイト読み込みました。レコードカウント=<i>counter</i>。
説明:	読み取られたデータレコードが短すぎます。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	エラーが発生した行のデータとデータマップのレコード定義を確認します。
PWX-02145	カウント変換エラー。カウントフィールド "<i>count_field_name</i>" ("<i>field_name</i>")。テーブル=<i>table_name</i>。レコード=<i>record_name</i>。行=<i>row_number</i>。 理由: Null フィールド。
説明:	オプションではないカウントフィールドが Null 値です。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	エラーが発生した行のデータを確認します。
PWX-02146	カウント変換エラー。カウントフィールド "<i>count_field_name</i>" ("<i>field_name</i>")。テーブル=<i>table_name</i>。レコード=<i>record_name</i>。行=<i>row_number</i>。 理由: 長さエラー。
説明:	可変長フィールドの長さカウントフィールドのマッピング中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	エラーが発生した行のデータを確認します。

PWX-02147	カウント変換エラー。カウントフィールド ド"count_field_name" ("field_name")。テーブル =table_name。レコード=record_name。行=row_number。 理由: メッセージ
説明:	可変長フィールドの長さカウントフィールドのマッピング中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	エラーが発生した行のデータを確認します。
PWX-02148	変数配列カウントエラー。配列=array_name。テーブル =table_name。レコード=record。行=row_number。算出さ れたサイズ=size。指定=specified_size。
説明:	配列のマッピング中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	エラーが発生した行のデータとデータマップの配列定義を確認します。
PWX-02149	変換長エラー。フィールド=field_name。テーブル =table_name。レコード=record_name。行=row_number。
説明:	変換処理中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	エラーが発生した行のデータを確認します。
PWX-02150	日付時刻変換エラー。フィールド=field_name。テーブル =table_name。レコード=record_name。行=row_number。 理由: メッセージ
説明:	日付時刻の変換処理中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	エラーが発生した行のデータを確認します。
PWX-02151	データエラーのため、行をスキップしました。
説明:	データ変換またはデータチェックエラーにより、式評価中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	行をスキップします。
ユーザの応答:	エラーが発生した行のデータを確認します。
PWX-02152	無効データの先頭 count バイト:<data>x'hex_data'。
説明:	不良データが出力され、エラーが発生しました。
ユーザの応答:	関連メッセージを参照します。

PWX-02153	フィールドのコンテンツの有効性チェックが失敗しました。フィールド=<i>field_name</i>。テーブル=<i>table_name</i>。レコード=<i>record_name</i>。行=<i>row_number</i>。
説明:	指定のフィールドの検証が失敗しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	データマップのレコード定義とエラーが発生した行のデータを確認します。
PWX-02154	数値変換エラー。フィールド=<i>field_name</i>。テーブル=<i>table_name</i>。レコード=<i>record_name</i>。行=<i>row_number</i>。 理由: メッセージ
説明:	数値変換処理中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	データマップのレコード定義とエラーが発生した行のデータを確認します。
PWX-02155	WHERE 句には条件式が少なくとも 1 つ必要です。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。WHERE 句に条件式がありません。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文が正しいことを確認します。
PWX-02156	SQL エラー、位置: <i>position</i>。")"が必要です。token1 が token2 です。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。")"が必要です。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文が正しいことを確認します。
PWX-02157	SQL エラー、位置: <i>position</i>。")"の不一致があります。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。")"が一致しません。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文が正しいことを確認します。
PWX-02158	SQL エラー、位置: <i>position</i>。ブール演算子 <i>operator</i> が必要です。token1 が token2 です。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。ブール演算子が必要です。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02159	SQL エラー、位置: <i>position</i> 。識別子または定数が必要です。 <i>token1</i> が <i>token2</i> です。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました、識別子または定数が必要です。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文が正しいことを確認します。
PWX-02160	SQL エラー、位置: <i>position</i> 。キーワード <i>keyword</i> またはリレーショナル演算子が必要です。 <i>token1</i> が <i>token2</i> です。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。キーワードが必要です。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文が正しいことを確認します。
PWX-02161	SQL エラー、位置: <i>position</i> 。定数が必要です。カラム名が見つかりました。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。定数が必要です。カラム名が見つかりました。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文が正しいことを確認します。
PWX-02162	SQL エラー、位置: <i>position</i> 。定数に閉じる引用符がありません。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。定数に閉じる引用符がありません。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文が正しいことを確認します。
PWX-02163	SQL エラー、位置: <i>position</i> 。定数が length バイトを超えています。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。定数が最大長を超えています。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文が正しいことを確認します。
PWX-02164	SQL エラー、位置: <i>position</i> 。16 進定数で数字 <i>digit</i> は無効です。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。16 進定数で無効な数字が見つかりました。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02165 **SQL エラー、位置: *position*。 16 進定数の桁数が偶数ではありません。**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。 16 進定数の桁数は偶数です。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02166 **SQL エラー、位置: *position*。 数値定数 *constant* は無効です。**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。 無効な数値定数がありました。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02167 **カラム *column_name* (式 *expression*、位置 *position*) は無効で、比較できません。長さが *length* バイトを超えています。**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。 式のカラム名が無効です。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02168 **比較式 *expression* (位置 *position*) は常に定数です。**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。 比較式は常に定数です。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02169 **比較式 *expression* (位置 *position*) が無効です。オペランドの種類が一致していません (*type1/type2*)。**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。 比較式の型が一致しません。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02170 **式 *expression* (位置 *position*) がエラーになりました。戻りコード *return_code*、行 *row*。説明:**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02171 **SQL エラー、位置: *position*。 LIKE パターンには文字定数が必要です。**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。 LIKE パターンには文字定数が必要です。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02172 **比較式 *expression* (位置 *position*) が無効です。 カラムの型が CHAR または VARCHAR ではありません。**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。 CHAR 型または VARCHAR 型のカラムが必要です。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02173 **数値定数 *constant* (*expression*、位置 *position*) が無効です。 小数点の前後が *max_digits* 桁を超えています。**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。 式内の数値定数の桁数が多すぎます。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02174 **比較式 *expression* (位置 *position*) が無効です。 日付定数 '*constant*' が無効です。 YYYY-MM-DD の形式で指定します。**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。 日付定数の形式が正しくないか、日付定数が DATERANGE の範囲外にあります。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文内のすべての日付が有効で、構成設定 DATERANGE の範囲内にあることを確認します。

PWX-02175 **比較式 *expression* (位置 *position*) が無効です。 時刻定数 '*constant*' が無効です。 HH.MM.SS の形式で指定します。**

説明： SQL 文の解析中にエラーが発生しました。 時刻定数のフォーマットが正しくありません。

システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。

ユーザの応答： SQL 文が正しいことを確認します。

PWX-02176	比較式 <i>expression</i> (位置 <i>position</i>) が無効です。タイムスタンプ定数 <i>constant</i> が無効です。YYYY-MM-DD HH.MI.SS.NNNNNN の形式で指定します。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。タイムスタンプ定数のフォーマットが正しくありません。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文が正しいことを確認します。
PWX-02177	SQL エラー、位置: <i>position</i>。エスケープ文字が 1 文字必要です。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文が正しいことを確認します。
PWX-02178	SQL エラー、位置: <i>position</i>。LIKE パターンのエスケープ文字 <i>character</i> は、"_" または "%" の前でのみ有効です。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。エスケープ文字が無効です。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文が正しいことを確認します。
PWX-02179	SQL エラー、位置: <i>position</i>。"%" または "_" は、エスケープ文字として使用できません。
説明:	SQL 文の解析中にエラーが発生しました。エスケープ文字が無効です。
システムのアクション:	SQL 呼び出しが実行されません。
ユーザの応答:	SQL 文が正しいことを確認します。
PWX-02180	出力レコードの構築エラー。フィールド <i>field_name</i>。テーブル <i>table_name</i>。レコード <i>record_name</i>。値 <i>value</i> (<i>map_length</i> バイト) がターゲット長 <i>data_length</i> を超えています。
説明:	入力データに対してフィールド定義が短すぎます。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	出力データマップ定義とエラーが発生した行のデータを確認します。

PWX-02181	出力レコードの構築エラー。フィールド <i>field_name</i>。テーブル <i>table_name</i>。レコード <i>record_name</i>。日付変換エラー: <i>date</i>。
説明:	指定されたフォーマット文字列を使用した出力日付フォーマットへの変換中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	出力データマップ定義とエラーが発生した行のデータを確認します。
PWX-02182	結果セットに列が含まれていません。
説明:	文の結果セットにカラムが含まれていません。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	SQL 文を確認します。
PWX-02183	1つの物理レコード上に構築されたテーブルへの出力はサポートしていません。
説明:	出力テーブルに複数の物理レコードがあります。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	出力データマップの定義を確認します。
PWX-02184	ターゲットアクセス方式は出力には使用できません。
説明:	出力に指定されたアクセス方式は無効です。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	move コマンドの出力アクセス方式を確認します。
PWX-02185	リスト形式の配列を含むテーブルへの出力はサポートしていません。
説明:	リスト形式の配列を含むテーブルにデータを移動しようとしました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	出力データマップ内のテーブルを確認します。
PWX-02186	出力レコードの構築エラー。フィールド <i>field_name</i>。テーブル <i>table_name</i>。レコード <i>record_name</i>。NUMCHAR 変換エラー: メッセージ。
説明:	数値変換処理中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	データマップのレコード定義とエラーが発生した行のデータを確認します。

PWX-02187	フィールド <i>field_name</i> が ADABAS フィールド <i>field_name</i> を、前回の参照とは矛盾したレベルの添字で参照しています。
説明：	Adabas ファイル構造体が無効です。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	確認し、Adabas ファイル定義を修正します。
PWX-02188	フィールド <i>field_name</i> が ADABAS フィールド <i>field_name</i> を、別のグループ (<i>group_name</i>、前回の参照では <i>group_name</i>) から参照しています。
説明：	Adabas ファイル構造体が無効です。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	確認し、Adabas ファイル定義を修正します。
PWX-02189	Adabas フィールド <i>field_name</i> (参照元は <i>field_name</i>) が FDT にありません。 DBId=<i>database_ID</i>。 ファイル =<i>file_num</i>。
説明：	ディクショナリ定義が FDT と一致しません。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	確認し、ディクショナリと FDT の不一致を修正します。
PWX-02190	フィールド <i>field_name</i> が ADABAS フィールド <i>field_name</i> を無効な PE グループ (<i>group</i>) で参照。本当の親は <i>parent</i> です。
説明：	Adabas ファイル構造体が無効です。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	Adabas ファイル定義を確認し修正します。
PWX-02191	フィールド <i>field_name</i> が ADABAS フィールド <i>field_name</i> を無効な PE グループ (<i>group</i>) で参照。 <i>field_name</i> は PE グループのメンバではありません。
説明：	ディクショナリ定義が FDT と一致しません。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	確認し、ディクショナリと FDT の不一致を修正します。
PWX-02192	ADABAS フィールド <i>field_name</i> の長さカウントが負です。
説明：	Adabas フィールドのフィールド長カウントが無効です。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	フィールド長の定義を修正します。

PWX-02193	フィールド <i>field_name</i> (マップ先 ADABAS フィールド <i>field_name</i>) が配列レベル <i>level_num</i> で配列オーバーフロー。実際のレベル=<i>level_num</i>。定義レベル=<i>level_def</i>。
説明:	ディクショナリ定義が FDT と一致しません。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	確認し、ディクショナリと FDT の不一致を修正します。
PWX-02194	レコードマッピングエラー。テーブル=<i>table_name</i>。レコード=<i>record_name</i>。行=<i>row_number</i>。ファイルのオフセット=<i>offset</i>。
説明:	ファイルからのレコードをデータマップレコードにマップしているときにエラーが発生しました。.
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	データマップ内のレコード定義を確認します。
PWX-02195	レコードマッピングエラー。テーブル=<i>table</i>。ファイルのオフセット <i>offset</i> のレコード型が不明です。
説明:	ファイルに不明な型のレコードがあります。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	データマップ内のレコード定義を確認します。
PWX-02196	ADABAS OPT: メッセージ。
説明:	Adabas 最適化に関する情報です。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-02197	データマップ作成エラー:スキーマ/<i>map_name</i>
説明:	メモリに内部一時データマップを作成しているときにエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	z/OS で、領域サイズを確認します。Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02198	検索フィールドとフィールド定義が一致していません。データマップ=<i>datamap_name</i>、検索フィールド位置=<i>position</i>。
説明:	検索フィールドが、1 つのフィールドまたは連続するフィールドのグループと一致しません。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	検索フィールド定義が、1 つのフィールドまたは複数の連続するフィールドをマップしていることを確認します。

PWX-02199	<i>feature</i> 機能は、アクセス方式 <i>access_method</i> (プラットフォーム <i>platform</i>) では使用できません。
説明:	指定のプラットフォームで指定されたアクセス方式では使用できない機能が要求されました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	move コマンドを確認します。
PWX-02200	DL1 実行用の環境が正しくありません。サーバージョブの NETPORT またはクライアントの実行可能ファイルを確認します。
説明:	NETPORT ジョブの実行中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	サーバージョブの NETPORT、クライアントまたは場所の実行ファイルを確認します。
PWX-02201	PCB 番号 <i>pcb_number</i> が指定された PSB にありません。
説明:	不正な PCB 番号が使用されています。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	データマップ内で使用されている PCB/PSB を確認します。
PWX-02202	予期しない DL1 状態コード <i>status_code</i> です。メッセージ
説明:	DL/1 エラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	DL/1 マニュアルで状態コードの説明を確認します。
PWX-02203	変数セグメント長が無効です。セグメント =<i>Segment_name</i>。長さ=length。
説明:	そのセグメントのデータマップで指定された長さが正しくありません。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	データマップ内のそのセグメントのレコード定義マッピングを確認します。

PWX-02204

Get_IMSConcatenatedKey または GetIMSRBAByLevel から予
期しないエラーが返されました。戻りコード=
<return_code>、理由=<reason_code>

説明：

Get_IMSConcatenatedKey 関数または GetIMSRBAByLevel 関数によ
ってエラーが返されました。IMS データマップレコード内のユーザー
定義フィールドに GetIMSRBAByLevel 関数を指定すると、現在のセ
グメントのバスの指定されたレベルにある IMS セグメントの RBA 値
がこの関数によって取得されます。IMS データマップテーブル内の連
結キー (CCK) カラムを表示すると、PowerExchange によって
Get_IMSConcatenatedKey 関数が呼び出されます。CCK カラムを表
示するには、1 つ以上の CCK フィールドを IMS データマップレコ
ードに追加し、対応する IMS データマップテーブルのプロパティで
[CCK カラムを生成する] オプションを選択します。

Get_IMSConcatenatedKey 関数または GetIMSRBAByLevel 関数によ
って、次のいずれかのエラーコードでエラーが返されました。

- 001. Unsupported DBD type.
- 002. Supplied buffer too short for key.
- 003. Required submodule not found.
- 004. Required submodule load failed.次の理由コードの 1 つが
低位 2 バイトで表示されます。
 - +0004.MODULE NOT FOUND.
 - +0008.DFSMODU0 ALLOCATION ERROR.
 - +000C.BLDL ALLOC ERROR.
 - +0010.BLDL/FETCH I/O ERROR.
 - +0014.REQUESTED MEMBER NOT A LOAD MODULE.
 - +001C.FETCH PROGRAM CHECK.
 - +0024.DCB NOT OPEN FOR BLDL ERROR (CAN BE CAUSED IF
THE POWEREXCHANGE LOAD LIBRARY IS A PDSE INSTEAD OF
A PDS).
 - +0028 - IMODULE LOAD。許可呼び出しですが、非許可ライブラ
リにモジュールが見つかりました。
- 005. Not used.
- 006. Submodule unload failed.
- 007. Free storage failed.
- 008. Not used.
- 009. Not used.
- 010. ODBA SSOB block not found.
- 011。ストレージの割り当てに失敗しました。
- 012. No IMS external subsystem (ESS) found or the
PowerExchange Listener is not running APF-authorized.
- 013. ECCR not installed.
- 014. エージェントが見つかりません。

- 015. 間違ったエージェント識別子。
- 016. Not used.
- 017. エージェントハンドルの取得に失敗しました。
- 018. エージェント許可の呼び出しに失敗しました。
- 019. エージェントの再認可コールに失敗しました。
- 020. ISWITCH failed.
- 021. Return from ISWITCH failed.
- 022. Region type not supported.
- 023. 作業用ストレージを取得できません。
- 024. 呼び出し元がトークンのリターンアドレスを指定しませんでした。
- 025. 呼び出し元が PCB/AIB アドレスを指定しませんでした。
- 026. 呼び出し元が ODBA アクセス用の IMSID を指定しませんでした。
- 027. 要求された IMS サブシステムが見つかりません。
- 028. 指定された PCB の IMS 処理領域が見つかりませんでした。
- 029. ISWITCH は要求された抽出およびデータベースタイプには無効です。
- 030. IMS 領域への切り替えに失敗しました。
戻りコード 30 および 31 の場合、IBM の『*z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference*』の ALESERV マクロの説明で、報告された理由コードを調べてください。
- 031. IMS 領域からの切り替えに失敗しました。

システムのアクション: システムのアクション 処理は終了します。

ユーザの応答: ユーザの応答: 戻りコード値を確認します。

GetDatabaseKey 関数または GetIMSRBByLevel 関数を使用する次のタイプの IMS データマップに対してデータベース行のテストを実行するには、次のライブラリを APF 許可する必要があります。

- Netport ジョブに BMP とともに IMS DL/1 バッチデータマップを使用する場合は、BMP STEPLIB 連結内のすべてのライブラリを APF 許可します。このように処理しないと、PowerExchange によって戻りコード 12 でメッセージ PWX-02204 が発行されます。
- IMS ODBA データマップを使用する場合は、PowerExchange Listener の STEPLIB 連結内のすべてのライブラリを APF 許可します。このように処理しないと、PowerExchange が異常終了します。

PWX-02205

複数のセグメントに書き込みできません。

説明:

データマップを使用して IMS への書き込みを実行しようとしたが、そのデータマップが複数のセグメントを参照していました。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: 単一セグメントデータマップのみを使用して書き込んでください。

PWX-02206 CCK フィールドの検証中にエラーが発生しました。

説明: データマップで宣言されている CCK フィールドのサイズが不十分です。または、サイズが正しく設定されていません。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: データマップ定義を確認します。

PWX-02207 使用する SQL: SQL

説明: SQL のログが使用されています。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-02208 初期 IMS 呼び出し=<function_code> DB=<database_name>
TYPE=<database_type> PSBNAME=<psb_name>
IMSID=<imsid> IMSVersion=<ims_version> Datamap
type=<data_map_type>

説明: IMS への最初の PowerExchange 呼び出しに、指定された機能コード、データベース名、データベースタイプ、PSB 名、IMS SSID、IMS バージョン、およびデータマップタイプが含まれていました。このメッセージでは、*database_type* は、HISAM、HDAM、PHDAM、HIDAM、PHIDAM、または DEDB のいずれかの値です。*data_map_type* は、DL1 などの PowerExchange 内部のタイプであり、データマップのアクセス方法とは必ずしも一致しません。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-02209 SSA:

<SSA>
x'hex_value_of_SSA'

説明: このメッセージは、IMS 呼び出しで使用された指定の SSA のログを示します。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-02210 IBM DL1 の状態コードリファレンスを参照します。

説明: DL1 エラーが発生しました。

ユーザの応答: このエラーは、IBM DL1 ドキュメントで調べてください。

PWX-02211 セグメント名と階層の順序を確認します。

説明: DL1 エラーが発生しました。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: データマップ内のセグメント名および順序を確認します。

PWX-02212	PCB が DB 型であることを確認します。
説明:	非 DB 型の PCB でデータベースにアクセスしているときにエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	データマップ内で PCB が指定されているか確認します。
PWX-02213	DB データセットがジョブに定義されていることを確認します。
説明:	IMS データセットを開いているときにエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	データセットが DD または動的割り当てであることを確認します。
PWX-02214	重複キーを含むセグメントを挿入しようとした。
説明:	IMS ISRT 時にエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	データに競合する行がないかどうかを確認します。
PWX-02215	IMS 呼び出し <i>call_type</i>, SSA の数=<i>number</i>, CCK=<i>concatenated_key</i>
説明:	IMS バルクデータ移動中に、指定されたタイプの IMS 呼び出しでエラーが発生しました。このメッセージは、セグメント検索指数 (SSA) の数と連結キー (CCK) のフィールドを報告します。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	エラーの詳細については、IBM DL/I ドキュメントで戻りコードと理由コードを参照してください。
PWX-02216	SSA レベル=<i>level</i>, 長さ=<i>length</i>, 値=<i>SSA_hexadecimal_value</i>
説明:	IMS バルクデータ移動中に、IMS 呼び出しでエラーが発生しました。このメッセージは、関連するセグメント検索指数 (SSA) の長さと 16 進値を報告します。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	エラーの詳細については、IBM DL/I ドキュメントを参照してください。
PWX-02217	DBD: <i>DBD_name</i>, ST コード: <i>status_code</i>, セグメントレベル: <i>segment_level</i>, セグメント: <i>segment</i>, PROCOPT: <i>processing_options</i>, CCK 長: <i>concatenated_key_length</i>
説明:	IMS バルクデータ移動中に、IMS 呼び出しでエラーが発生しました。このメッセージは、診断に使用する情報を示します。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： エラーの詳細については、IBM DL/I ドキュメントを参照してください。

PWX-02220 ODBA *Call_type* の呼び出しが失敗しました。戻りコード
=*return_code* 理由=*reason_code*。

説明： DL1 呼び出しの発行後にエラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： DL1 のマニュアルで、戻りコードと理由コードをチェックします。

PWX-02221 **予期しない DL1 状態コード *Status_code* です。 *message*、
AIB 戻りコード=*return_code*、理由=*reason_code*。**

説明： DL1 呼び出しの発行後にエラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： DL1 のマニュアルで、戻りコードと理由コードをチェックします。

PWX-02222 **高速パスデータベース *database_name* に 255 を超える領域
があります。**

説明： 255 を超える領域を持つ IMS 高速パスデータベースが処理されています。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： このデータベースが IMS 同期変更キャプチャに登録されており、以下の条件のいずれかが当てはまる場合は、PowerExchange 10.5 をインストールしてからターゲットが再実体化されていることを確認する必要があります。

- キーまたは一意キーのないセグメントセグメントからデータをキャプチャしている。
- データベース階層内でキーまたは一意キーのないセグメントの下位にあるセグメントからデータをキャプチャしている。
- データベースに対して定義されたデータマップのいずれかで `GetDatabaseKey` 関数または `GetIMSRBByLevel` 関数を使用している。

PowerExchange 10.5 のインストール後にターゲットを再実体化しない場合、IMS 連結キー、または `GetDatabaseKey` 関数あるいは `GetIMSRBByLevel` 関数の結果に依存するターゲットを更新する際に変更適用プロセスでエラーが発生する可能性があります。

PWX-02223	IMS INQY 呼び出し、関数=<function>。予期しないステータスコード"status_code"。AIB 戻りコード=return_code、理由=reason_code。
説明：	PowerExchange が IMS INQY 呼び出しを発行した後にエラーが発生しました。このメッセージには、エラーに関連するアプリケーションインタフェースブロック (AIB) の戻りコードと理由コードが含まれています。
ユーザの応答：	戻りコードと理由コードについては、IMS のマニュアルを確認してください。
PWX-02224	ODBA 呼び出しには ODBASUPP 設定パラメータが必要です。
説明：	ODBA 呼び出し中にエラーが発生しました。PowerExchange リスナの DBMOVER 構成ファイルで ODBASUPP 構成パラメータを Y に設定する必要があります。
システムのアクション：	PowerExchange リスナはメッセージをログに記録し、クライアント要求の処理を続行します。
ユーザの応答：	PowerExchange リスナの DBMOVER 構成ファイルで ODBASUPP=Y を指定し、PowerExchange リスナを再起動します。
PWX-02230	ターゲットがローカルです。要求されたバルクロードのモードの種類は、JOB から TASK に切り替えられました。
説明：	DB2 バルクロードをローカルモードで実行する要求が、ジョブではなくタスクとして実行するように変更されました。ローカルモードでは、ジョブのサブミットがサポートされていません。
システムのアクション：	ジョブモードではなくタスクモードでバルクロードが実行されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-02231	DB2 ロードは DD'ddname'をファイル'file_name'処理'catalog_disposition'に割り当てました。
説明：	<p>DB2 ロードが PowerExchange リスナ内でタスクとして実行されている場合、このメッセージで、実行の終了時に次の情報が報告されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ロードの開始前またはロードが処理を完了した後に動的に割り当てられた一時または保持されているデータセットの DD 名。 • DD SYSIN に基づいて PowerExchange が作成するロード入力ファイルのファイル名。 • 割り当てられたファイルの処理。 <p><i>disposition</i> は、以下の値のいずれかで開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • N。新規ファイル。 • O。古い非共有ファイル。 • S。既存の共有ファイル。 <p><i>disposition</i> は、以下の値のいずれかで終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • C。ファイルはカタログ化されます。

- **D**。ファイルは削除されます。

システムのアクション 処理は継続します。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-02232 DB2 **ローダのファイル名**'*file_name*'長さ *length*が**最大許容値** *maximum_length*を超えています。

説明： 指定された名前に「.SYSPRINT」の9バイトが付加された後のDB2ローダファイルが、z/OSでのファイル名の最大長を超えています。z/OSファイル名の最大長は44バイトのため、ベースファイル名が35バイトを超えることができません。

システムのアクション 処理は終了します。
ン：

ユーザの応答： 35バイトを超えないようにファイル名を短くします。

PWX-02233 DB2 **ローダの【ファイルを削除】オプション**'*option*'(*option_number*)です。

説明： このメッセージは、PowerCenter DB2 リレーショナル接続で【一時ファイルの削除】属性に設定されているオプションを報告します。このオプションは、DB2 ローダ用にPowerExchangeが作成する一時ファイルを削除するかどうか、またはいつ削除するかを制御します。有効な *option* 値については、PowerCenter 用のPowerExchange インタフェースのパブリケーションを参照してください。このメッセージは実行の終了時に発行されます。

システムのアクション 処理は継続します。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-02234 DB2 **ローダの【挿入】または【置換】モード**'*option*'(*option_number*)です。

説明： このメッセージは、DB2 ローダを挿入モードで実行するかまたは置換モードで実行するかを示します。*option* 値は、DB2 リレーショナル接続の【ロードオプション】属性で指定されている、RESUME または REPLACE です。このメッセージは実行の終了時に発行されます。

システムのアクション 処理は継続します。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-02235 DB2 **ローダは**'*option*'(*option_number*)**モードで実行中です。**

説明： このメッセージは、JCL がジョブに対して作成されるが送信されない場合に、DB2 ローダをジョブモードで実行するかタスクモードで実行するかを示します。*option* 値は、DB2 リレーショナル接続の【モードの種類】属性で指定されている、TASK、JOB、または NOSUBMIT です。このメッセージは実行の終了時に発行されます。

システムのアクション 処理は継続します。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-02236 DB2 ロードの [バックグラウンドジョブ監視] オプション'*option*' (*option_number*)です。

説明： このメッセージは、DB2 ロードを実行するバックグラウンドジョブの監視方法を報告します。*option* 値は次のとおりです。

- 終了指定なしでロード JOB が完了するまで待機(SYNCH)
- ロードジョブを待機しない(ASYNCH)
- 時間を制限してロード JOB が完了するまで待機(TIMED)
- ロードせずデータファイルを作成(DATA_ONLY)
- ロードせず制御ファイルを作成(CNTRL_ONLY)
- ロードせずデータファイルおよび制御ファイルを作成(CNTRLDATA)

これらのオプションは、DB2 リレーショナル接続の [モードの時間] 属性の WAIT、NO WAIT、TIMED、および DATA ONLY オプションに関連します。

システムのアクション 処理は継続します。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-02237 DB2 ロードはタスクモードで終了しました。戻りコード=*return_code*。

説明： DB2 ロードのプログラムはタスクモードで実行し、指定された戻りコードで終了しました。このメッセージは実行の終了時に発行されます。

システムのアクション 処理は継続します。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-02238 DB2 ロードのジョブ'*job_ID*'は送信済みです。制御トークン'*token_name*'。開始トークン'*token_name*'。

説明： DB2 ロードの指定されたジョブ ID のバックグラウンドジョブは指定された制御トークンおよび開始トークンで開始されました。バックグラウンドジョブは、制御トークンが存在することを確認してから、ジョブが実際に開始されたことを示すために開始トークンを作成します。制御トークンが存在しない場合、タイムアウト後に制御タスクがキャンセルされたと想定するため、バックグラウンドジョブは異常終了します。このメッセージは実行の終了時に発行されます。

システムのアクション 処理は継続します。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-02239	DB2 ローダのジョブ'<i>job_ID</i>'は終了しました。待機中 RC= <i>return_code</i> 。制御トークン RC= <i>return_code</i> 。
説明：	DB2 ローダのバックグラウンドジョブは終了しました。開始前にバックグラウンドジョブがタイムアウトした場合、待機中 RC 値はゼロ以外です。例えば、JCL エラーが発生した、またはジョブの実行時間が長過ぎたなどです。DB2 ローダが 4 より大きい戻りコードで終了した場合、制御トークン RC 値はゼロ以外です。このメッセージは実行の終了時に発行されます。
システムのアクション：	処理は継続します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-02240	DB2 配列挿入: 行 <i>row</i> SQL コード <i>sqlcode</i> SQL 状態 <i>sqlstate</i>
説明：	DB2 V8 新機能モードで行を挿入中にエラーが発生しました。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-02241	DB2 配列取得エラー: 行 <i>row_id</i> SQLCODE <i>code</i> SQLSTATE <i>code</i>
説明：	PowerExchange が z/OS バージョン 8 新機能モードデータベースの DB2 から指定された行を取得するときにエラーが発生しました。このメッセージには、エラーの SQLCODE 戻りコードと関連する SQLSTATE コードが表示されます。
システムのアクション：	処理は停止します。
ユーザの応答：	このエラーの詳細については、DB2 のマニュアルで SQLCODE と SQLSTATE の値を参照してください。その後、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02250	DB2 サブシステム識別子を指定します。
説明：	DSN ID なしで接続を実行しようとしています。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	DB2 サブシステム識別子を指定します。
PWX-02251	DB2 サブシステム識別子 <i>dsnid</i>が無効です。
説明：	無効な DSN ID で接続を実行しようとします。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	有効な DB2 サブシステム識別子を指定します。
PWX-02252	DB2 CAF/DB2 レベルの不一致です。
説明：	DB2 CAF と DB2 のリリースが一致しません。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： データベース管理者にお問い合わせください。

PWX-02253 DB2 サブシステム *dsnid* は使用できません。CAF 戻りコード=*return_code*。理由=*reason*。

説明： DB2 サブシステムを使用できません。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： *dsnid* が正しく動作していることを確認します。

PWX-02254 DB2 AF (*AFname*) エラー (*phase* 中)。プラン=*plan_name*。AF 戻りコード=*return_code*。理由=*reason_code*。

説明： DB2 AF エラーが発生しました。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 戻りコードと理由コードを確認します。

PWX-02255 DB2 AF (*AFname*) エラー。SQL コード=*sqlcode*。メッセージ。

説明： DB2 AF エラーが発生しました。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： SQL コードおよびメッセージを表示します。

PWX-02256 メッセージのフォーマット中に DB2 エラーが発生しました。戻りコード=*return_code*。元の SQL コード=*sqlcode*。元の情報=*info*。

説明： 前に発行された SQL メッセージをフォーマットする DSNTIAR/sqlaintp の呼び出し中にエラーが発生しました。

ユーザの応答： ユーティリティからの戻りコードを確認します。

PWX-02257 DB2 の distinct 型と large object 型はサポートしていません。

説明： large object 型が使用されたことを示す警告メッセージです。Large objects はサポートされません。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-02258 PowerExchange カタログビュー *viewname* を作成できませんでした。

説明： カタログビューの作成に失敗しました。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 他のメッセージで SQL エラーがないかどうかを確認します。

PWX-02259 **アクセス方式 *access_method* はこのプラットフォームでは無効です。 *ValidAccessMethod* を使用します。**

説明： 使用されているアクセス方式が無効です。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： メッセージで指定されているアクセス方式を使用します。

PWX-02260 **オブジェクトの選択権限を PUBLIC に付与することはできません。**

説明： オブジェクトでの GRANT アクションが失敗しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： 他のメッセージで SQL エラーがないかどうかを確認します。

PWX-02261 **情報提供用。 *request_type* が DB2 カタログ要求に使用されました。**

説明： この情報メッセージでは、カタログアクセス要求について説明しています。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-02262 **必須パラメータである PowerExchange ライブラリ名が指定されていません。ジョブは失敗しました。**

説明： カタログビュープログラムをインストールするには、PowerExchange ライブラリをパラメータとして指定する必要があります。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： PowerExchange ライブラリ名を指定します。

PWX-02263 **ライブラリ *libraryname* の PowerExchange カタログビューのセットアップが正常に完了しました。**

説明： PowerExchange カタログビューのセットアップが正常に完了しました。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-02264 ***** ライブラリ *libraryname* の PowerExchange カタログビューのセットアップに失敗しました *****

説明： PowerExchange カタログビューのセットアップが正常に完了しませんでした。

システムのアクション： PowerExchange がエラーを報告します。

ユーザの応答： 前のメッセージで、エラーコードと理由コードを確認します。

PWX-02265	PowerExchange カatalogビュー <i>viewname</i> はすでに存在しています。次のステップに進みます。
説明:	ユーティリティが作成しようとしているビューはすでに存在します。
システムのアクション:	次のビューの作成に進んでください。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-02266	DB2 インタフェース <i>interface_name</i> のロード中にエラーが発生しました。完了コード=<i>return_code</i>。理由=<i>reason_code</i>。
説明:	接続機能のロードでエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	戻りコードと理由コードを確認します。
PWX-02267	RRS/MVS がアクティブではありません。完了コード=<i>return_code</i>。理由=<i>reason_code</i>。
説明:	RRSAF を使用できません。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	戻りコードと理由コードを確認します。
PWX-02268	プラン <i>plan_name</i> が存在しないか、ユーザー <i>user_ID</i> にはアクセスできません。
説明:	プランが存在しません。または許可されていません。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	プラン名を確認します。
PWX-02269	ロードが中止されました - 上限の数 (number) のロードタスクが実行中です。
説明:	ロードユーティリティを使用するタスクが多すぎます。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	他のタスクが終了したら、もう一度ジョブを実行します。
PWX-02270	DB2 ロードが警告で終了しました。戻りコード=<i>return_code</i>。
説明:	DB2 ロードが警告で終了しました。
ユーザの応答:	戻りコードの意味を確認します。
PWX-02271	DB2 ロードがエラーで終了しました。戻りコード=<i>return_code</i>。
説明:	DB2 ロードがエラーで終了しました。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 戻りコードの意味を確認します。

PWX-02272 DB2 ロードのモードが無効か、モードが指定されていません: フラグ= (モード)。

説明： DB2 ロードのモードが無効です。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 構成パラメータの DB2 ロードモードを見直します。

PWX-02273 バックグラウンドジョブ時間が制限を超えました。レポートする結果はありません。

説明： バックグラウンドジョブが、指定時間内に完了しませんでした。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： ロードジョブの Time パラメータを見直します。

PWX-02274 バックグラウンドロードジョブが所定の時間内に開始されませんでした。レポートする結果はありません。

説明： バックグラウンドジョブが指定時間内に開始されませんでした。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： ロードジョブの DBMOVER パラメータを確認します。

PWX-02275 DD 名 *ddname* はすでに割り当てられています。Listener JCL から削除することを検討します。

説明： DB2 ロードのプログラムがタスクモードで実行されるときに必要な DD 名は、PowerExchange リスナ JCL での DD のオカレンスに基づいてすでに割り当てられています。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： PowerExchange リスナ JCL から DD 文を削除するか、DB2 ロードを JOB モードで実行します。

PWX-02276 DB2 接続 RRSF を TASK ロードとともに使用するは無効です。CAF を使用するか、ロードモードを変更します。

説明： ロード (DSNUTILB) は CAF を使用していますが、PowerExchange Listener はおそらく RRSF を使用しています。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： ロードの種類が TASK の場合は、PowerExchange Listener と DB2 の接続方法を確認します。ロード (DSNUTILB) が CAF を使用している場合は、アドレス空間で 1 種類の接続しか使用できません。

PWX-02277	バックグラウンドロードの通信トークンを作成できませんでした。戻りコード=<i>return_code</i>。モードが NOWAIT に設定されました。
説明:	システムは通信トークンを作成できませんでした。
システムのアクション:	オプションが NOWAIT に変更されました。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-02278	入力 SQL に <i>parameter</i> パラメータマーカ <i>marker</i> がありますが、where 句がありません。
説明:	SQL が解析され、where 句がありませんでした。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	SQL 問い合わせを修正します。
PWX-02279	内部エラー: SQL パラメータマーカの作業文字列が小さすぎます。サイズ= <i>size</i>、<i>size_need</i> が必要です。
説明:	内部エラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02280	EBCDIC の CCSID が ASCII/UNICODE データベースに提供されていません。
説明:	DB2 では、(OS/390 または z/OS 上で) ASCII/UNICODE データと EBCDIC データ間のデータ変換が行われます。PowerExchange Listener では、変換データを正しく処理するために、対応する EBCDIC CCSID を持つ必要があります。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	DB2CODEPAGE 構成パラメータで、正しい CCSID を指定します。PowerExchange Listener を停止してリスタートし、再試行します。
PWX-02281	<i>encoding_scheme type</i> CCSID <i>ccsid</i> には、対応するコードページがありません。
説明:	指定された CCSID に対応するコードページがありません。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	エラーを修正します。その後、要求をもう一度実行します。CCSID が有効な場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02284	アクティブ <i>encodingtype</i> CCSID は、<i>ccsid</i><<i>codepage</i>>です。
説明:	指定された CCSID は、対応する DB2 データに対して発行されました。

ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-02287	無効な i5/OS オーバライド文<override_statement>が見つかりました。
説明：	i5/OS DB2 のアクセス方式では、記述処理中にこのメッセージを発行します。オーバライド文の形式は、次のいずれかの形式であることが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> • FromFile/ToLibrary/ToFile • FromFile/ToLibrary/ToFile/ToMember.
システムのアクション：	PowerExchange では、この文に対してオーバライド処理を実行しません。DB2 処理は継続されます。
ユーザの応答：	オーバライド文字列内の、エラーがあるオーバライド文を修正します。
PWX-02288	i5/OS オーバライド文字列<override_string>に、現在の最大許容数<max_allowed>を超える文が含まれています。
説明：	i5/OS DB2 のアクセス方式では、記述処理中にこのメッセージを発行します。文字列には、処理可能な文の数についての制限があります。
システムのアクション：	PowerExchange では、この追加文に対してオーバライド処理を実行しません。DB2 処理は継続されます。
ユーザの応答：	示されているオーバライド文字列を修正します。
PWX-02289	option_name は、ローカルモードでの実行中には使用できません。
説明：	示されているオプションは、PowerExchange をローカルモードで実行しているとき（例えば、PowerExchange Listener を経由していないとき）は使用できません。これらは、現在のところ、パーティション化されたテーブルへの DB2 バルクロードまたは NOSUBMIT を指定した状態で可能です。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	PowerExchange Listener を経由してこれらのオプションを含む要求を実行します。ただし、Netport ジョブとしては実行しないでください。
PWX-02296	DB2 バルクロードは、パーティションおよび非パーティションテーブルには無効です
説明：	バルクロード用のテーブルは、パーティション用または非パーティション用のどちらかにすることができます。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	ワークフローを修正して再実行します。

PWX-02297	ファイル名 <i>file_name</i> はパーティションロードには無効です。
説明:	パーティションロードのファイル名は、aaa.bbb/PARTnn の形式である必要があります (<i>nn</i> はパーティション番号)。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	ファイルの名前を訂正し、再実行します。
PWX-02298	パーティションロードするファイル名 <i>file_name</i> が不明です。
説明:	メッセージに示されているファイル名が、パーティション用に指定されていませんでした。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	ファイルの名前を訂正し、再実行します。
PWX-02300	データソース名を指定します。
説明:	接続にはデータソースが必要です。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	データソース名を指定します。
PWX-02301	AllocEnv エラー。
説明:	環境ハンドルの割り当て中にメモリエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	ODBC マニュアルで考えられる原因を探します (SQLAllocEnv)。
PWX-02302	CLI SQL 状態=<i>sqlstate</i>。 ネイティブ=<i>native_error</i>。 メッセージ
説明:	CLI 呼び出しによってエラーが返されました。
システムのアクション:	エラーを記録します。
ユーザの応答:	CLI/ODBC マニュアルで SQL 状態、ネイティブエラー、メッセージを確認します。
PWX-02303	<i>function_name</i> を返す CLI 関数は <i>error_code</i> です。
説明:	CLI 呼び出しによってエラーが返されました。
システムのアクション:	エラーを記録します。
ユーザの応答:	CLI/ODBC マニュアルで関数のエラーコードを確認します。

PWX-02304	データベース <i>database</i> に切り替えることができませんでした。
説明:	DSN 構成で指定された既定以外のデータベースへの切り替え中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	指定したデータベース名を見直します。
PWX-02305	有効なタイプを [データソースタイプ] に入力してください。
説明:	必須フィールド [データソースタイプ] が入力されていません。
システムのアクション:	検証チェックに失敗しました。
ユーザの応答:	データソースのタイプに対応する値を選択します。
PWX-02321	ODBC ドライバ <i>driver_title</i> が削除されました。
説明:	指定された ODBC ドライバが、レジストリから削除されました。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-02322	ODBC ドライバ <i>driver_title</i> が追加されました。
説明:	指定された ODBC ドライバがレジストリに追加されました。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-02323	戻りコード=<i>return_code</i> ODBC ドライバ <i>driver_title</i> の削除中。 <i>error_description</i>。
説明:	レジストリから ODBC ドライバを削除しているときにエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	削除しようとするドライバがインストールされていなかった場合は、エラー 6 (コンポーネントがレジストリ内に見つからない) が発生することがあります。
PWX-02324	戻りコード=<i>return_code</i> ODBC ドライバ <i>driver_title</i> の追加中。 <i>error_description</i>。
説明:	レジストリに ODBC ドライバを追加しているときにエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-02340	アクセス方式 <i>access_method</i> は、元のアクセス方式 <i>OriginalAccessMethod</i> では許可されていません。
説明：	タスクに対して指定されたアクセス方式と元のアクセス方式の組み合わせが無効です。現在、許可されていない組み合わせがあります。例えば、MSSQL 登録に CAPX は使用できません。
システムのアクション：	タスクがエラーを報告して終了します。
ユーザの応答：	要求を修正してもう一度実行します。
PWX-02350	サーバー名の指定がなく、DSQUERY 環境変数が設定されていません。
説明：	指定のサーバーへの接続の試行で問題が発生しました。また、要求された環境変数 DSQUERY が設定されていませんでした。接続は行われませんでした。
システムのアクション：	エラーを通知し、処理を中断します。
ユーザの応答：	サーバー名が正しく入力されており、サーバーインスタンスが使用可能であることを確認します。
PWX-02351	サーバー <i>server_name</i> に接続できませんでした。関数 <i>function_name</i>、戻りコード= <i>return_code</i>。
説明：	指定された関数の実行中に、指定されたサーバーへの接続に問題が発生しました。戻りコードが表示されます。
システムのアクション：	エラーを通知し、処理を中断します。
ユーザの応答：	サーバーが依然として使用可能であることを確認します。
PWX-02352	データベース <i>database_name</i> に <i>command</i> (サーバー <i>server_name</i>) を使用して切り替えることができませんでした。 <i>location</i> 戻りコード= <i>return_code</i>。
説明：	指定されたコマンドで、指定されたサーバーの指定されたデータベースに切り替えることができませんでした。戻りコードと場所（クライアントまたはサーバー）が表示されます。
システムのアクション：	エラーを通知し、処理を中断します。
ユーザの応答：	サーバーが依然として使用可能であることを確認します。
PWX-02355	サーバー <i>server_name</i> への <i>describe</i> が失敗しました。関数 <i>function</i>、戻りコード= <i>return_code</i>。
説明：	指定された関数の実行中に、 <i>describe</i> が失敗しました。戻りコードが表示されます。
システムのアクション：	エラーを通知し、処理を中断します。
ユーザの応答：	サーバーが依然として使用可能であることを確認します。

PWX-02356	SQL_Statementで参照されているテーブルがデータベース database_name (サーバー server_name) に見つかりませんでした。
説明:	SQL 文で参照されているテーブルが見つかりませんでした。
システムのアクション:	エラーを通知し、処理を中断します。
ユーザの応答:	テーブルが依然として使用可能であることを確認します。
PWX-02357	カラム名 column_name (長さ length、データベース database_name) は PowerExchange データ記述子には長すぎます。
説明:	カラム名が PowerExchange には長すぎます。
システムのアクション:	エラーを通知し、処理を中断します。
ユーザの応答:	ソースデータベースのカラムを要求データから除くか、短い名前に変更します。
PWX-02358	カラム名 column_name (データベース database_name) に、処理できないデータ型 Datatypeが含まれています。
説明:	指定されたカラムは、PowerExchange でサポートされていないデータ型です。
システムのアクション:	エラーを通知し、処理を中断します。
ユーザの応答:	ソースデータベースの該当するカラムを要求データから除く必要があります。該当するデータ型に対して PowerExchange 製品でのサポートを希望される場合は、データ型の詳細について Informatica グローバルカスタマサポートに問い合わせてください。
PWX-02359	バルクロードコミット、No.行数 (または-1) =Number、テーブル table_name、データベース database_name
説明:	コミットされた行数です。
システムのアクション:	情報メッセージです。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-02360	バルクロードエラー、番号=error_code、重大度=severity、"message"
説明:	バルクロードでエラーが発生しました。エラーコード、重大度、メッセージ文字列が表示されます。
システムのアクション:	エラーを通知し、処理を中断します。
注:	表示されたメッセージに従って対処します。

PWX-02361	バルクロード OS エラー番号=error_code、重大度=severity、message
説明:	バルクロードで、オペレーティングシステムのエラーが発生しました。エラーコード、重大度、メッセージ文字列が表示されます。
システムのアクション:	エラーを通知し、処理を中断します。 注: 表示されたメッセージに従って対処します。
PWX-02362	バルクロードサーバー=server_name、Prc=Procedure_name、N=message_number、ST=message_state、S=severity、L=line_number、message_text
説明:	バルクロードサーバーでエラーが発生しました。プロシージャ名、メッセージ状態、行番号も表示されます。
システムのアクション:	エラーを通知し、処理を中断します。 注: 表示されたメッセージに従って対処します。
PWX-02363	サーバー使用時のエラー、server_name、データベース、database_name、関数 function_name、戻りコード=return_code。
説明:	サーバーの使用中にエラーが発生しました。プロシージャ名、メッセージ状態、行番号も表示されます。
システムのアクション:	エラーを通知し、処理を中断します。 注: 表示されたメッセージに従って対処します。
PWX-02400	IDMS サブスキーマがデータマップ data_map_name に指定されていません。
説明:	データマップにはサブスキーマが含まれません。
システムのアクション:	システムでエラーメッセージが表示され、ユーザーの応答が待機されます。
ユーザの応答:	データマップを修正するか、またはデータマップを再作成するためにメタデータを再インポートします。
PWX-02401	IDMS 関数 function が状態 status を戻しました。
説明:	表示された IDMS 関数が、表示された状態で失敗しました。
システムのアクション:	システムでエラーメッセージが表示され、ユーザーの応答が待機されます。
ユーザの応答:	エラーの詳細について、データベースシステムのチームに問い合わせてください。
PWX-02402	IDMS レコード名がデータマップレコード recordname (テーブル table_name) に指定されていません。
説明:	表示されたテーブル内のレコード名が、データマップに指定されていません。
システムのアクション:	システムでエラーメッセージが表示され、ユーザーの応答が待機されます。

ユーザの応答： データマップを修正するか、またはデータマップを再作成するためにメタデータを再インポートします。

PWX-02403 IDMS Area **名がデータマップレコード *recordname* (テーブル *table_name*) に指定されていません。**

説明： 表示されたテーブル内のレコードの領域名がデータマップに指定されていません。

システムのアクション： システムでエラーメッセージが表示され、ユーザーの応答が待機されます。

ユーザの応答： データマップを修正するか、またはデータマップを再作成するためにメタデータを再インポートします。

PWX-02404 IDMS Set **名がデータマップレコード *recordname* (テーブル *table_name*) に指定されていません。**

説明： 表示されたテーブル内のレコードセット名がデータマップに指定されていません。

システムのアクション： システムでエラーメッセージが表示され、ユーザーの応答が待機されます。

ユーザの応答： データマップを修正するか、またはデータマップを再作成するためにメタデータを再インポートします。

PWX-02405 IDMS System Index Set **名がデータマップレコード *recordname* (テーブル *table_name*) に指定されていません。**

説明： 表示されたテーブル内のレコードの System Index Set 名がデータマップに指定されていません。

システムのアクション： システムでエラーメッセージが表示され、ユーザーの応答が待機されます。

ユーザの応答： データマップを修正するか、またはデータマップを再作成するためにメタデータを再インポートします。

PWX-02406 IDMS は IDMSX 非共有サービス *service* を開始できませんでした。サービスライブラリ= *service_library*、戻りコード= *return_code*。

説明： IDMS は、要求された非共有サービスを開始できませんでした。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： 非共有サービス名とサービスライブラリ名の修正、サービスの許可が適切に付与されていることの確認などを行ってから、要求をもう一度実行します。

PWX-02407 IDMS は IDMSX 非共有サービス *service* に接続できませんでした。サービスライブラリ= *service_library*、戻りコード= *return_code*。

説明： IDMS は、要求された共有サービスに接続できませんでした。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答：	共有サービス名とサービスライブラリ名の修正、サービスの許可が適切に付与されていることの確認などを行ってから、要求をもう一度実行します。
PWX-02408	IDMSX 非共有サービス <i>service</i> の停止中に IDMS エラーが発生しました。サービスライブラリ=<i>service_library</i>、戻りコード=<i>return_code</i>。
説明：	IDMS は、要求された非共有サービスを停止できませんでした。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	必要に応じて、非共有サービス名とサービスライブラリ名を修正し、要求をもう一度実行します。指定した名前が正しい場合は、自社の IT 部門または Informatica グローバルカスタマサポートに連絡して、メッセージを報告します。
PWX-02409	IDMSX 非共有サービス <i>service</i> から切断中に IDMS エラーが発生しました。サービスライブラリ=<i>service_library</i>、戻りコード=<i>return_code</i>。
説明：	IDMS は、要求された共有サービスから切断できませんでした。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	必要に応じて、共有サービス名とサービスライブラリ名を修正し、要求をもう一度実行します。指定した名前が正しい場合は、自社の IT 部門または Informatica グローバルカスタマサポートに連絡して、メッセージを報告します。
PWX-02410	IDMS は、Netport ジョブを介してセキュリティレベル 2 のみでアクセスできます。
説明：	セキュリティレベル 2 が指定されている場合、アクセスは Netport ジョブを介して行い、アクセスごとにセキュリティ情報を確実にリフレッシュすることが必要です。
システムのアクション：	システムでエラーメッセージが表示され、ユーザーの応答が待機されます。
ユーザの応答：	ネットポート接続を使用してアクセスします。
PWX-02448	IDMS。モジュール "<i>module</i>" をロードできませんでした。戻りコード="<i>return_code</i> (<i>0xhex_return_code</i>) "理由コード="<i>reason_code</i>"。
説明：	IDMS サブスキーマをロードできませんでした。このメッセージには、エラーの戻りコードと理由コードが表示されます。
システムのアクション：	処理は、このエラーメッセージで終了します。
ユーザの応答：	戻りコードおよび理由コードの意味を調べるには、z/OS システム管理者に問い合わせるか、z/OS LOAD マクロのマニュアルを参照してください。戻りコードが 0x806 の場合は、生成されるデータマップに関するサブスキーマロードモジュールが STEPLIB 連結内のロードライブラリにあることを確認します。

PWX-02449	IDMS。ロードされたモジュール <i>module</i> に正しくないアイキャッチャがあります。
説明：	ロードされた IDMS モジュールに、予想されたアイキャッチャ「IB50」がありません。
システムのアクション：	処理は終了します。システムからエラーメッセージが発行されます。
ユーザの応答：	ロードしたのは、おそらく無効なサブスキーマです。
PWX-02450	既定のサーバーが指定されていません。
説明：	このメッセージは現在使用されていません。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-02500	IDMS メタデータ検索、ジョブ <i>jobname</i> がエラーです。戻りコード= <i>return_code</i>。
説明：	IDMS メタデータ検索ジョブが、表示された戻りコードで失敗しました。
システムのアクション：	システムでエラーメッセージが表示され、ユーザーの応答が待機されます。
ユーザの応答：	ジョブの詳細と戻りコードの詳しい調査について、システムプログラマに問い合わせてください。
PWX-02501	IDMS メタデータ検索、ジョブ <i>jobname</i> の待機がタイムアウトしました。
説明：	IDMS メタデータ検索ジョブがタイムアウトしました。
システムのアクション：	システムでエラーメッセージが表示され、ユーザーの応答が待機されます。
ユーザの応答：	さらに調査を行うには、システムプログラマに連絡し、ジョブの詳細を報告します。
PWX-02502	IDMS メタデータ検索、ジョブ <i>jobname</i> が開始されていません。
説明：	IDMS メタデータ検索ジョブが開始されていません。
システムのアクション：	システムでエラーメッセージが表示され、ユーザーの応答が待機されます。
ユーザの応答：	さらに調査を行うには、システムプログラマに連絡し、ジョブの詳細を報告します。
PWX-02503	IDMS メタデータ検索、PowerExchange ロードライブラリが許可されていません。
説明：	PowerExchange ロードライブラリが APF 許可されていません。
システムのアクション：	システムでエラーメッセージが表示され、ユーザーの応答が待機されます。
ユーザの応答：	PowerExchange ロードライブラリの APF 許可をシステムプログラマに問い合わせてください。

PWX-02504	バックグラウンドメタデータ検索の通信トークンを作成できませんでした。
説明:	z/OS トークンサービスの制御トークンの割り当てに失敗しました。
システムのアクション:	システムでエラーメッセージが表示され、ユーザーの応答が待機されます。
ユーザの応答:	この問題を解決するには、システムプログラマにお問い合わせください。
PWX-02510	IDMSX - 要求されたメタデータは使用できません、戻りコード= (return_code1/return_code2/return_code3)、パラメータを確認します。
説明:	メタデータ情報が要求されましたが、指定されていたパラメータが無効です。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	パラメータを修正し、要求をもう一度実行します。
PWX-02511	IDMSX - 無効なメタデータパラメータ <metadata_parameters>です。
説明:	メタデータ情報が要求されましたが、指定されていたパラメータが無効です。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	パラメータを修正し、要求をもう一度実行します。
PWX-02525	DATACOM メタデータ検索、ジョブ <i>jobname</i> がエラーです。戻りコード=return_code。
説明:	Datacom メタデータ検索ジョブが指定の戻りコードで失敗しました。
システムのアクション:	システムでエラーメッセージが表示され、ユーザーの応答が待機されます。
ユーザの応答:	ジョブの詳細と戻りコードの詳しい調査について、システムプログラマに問い合わせてください。
PWX-02526	DATACOM メタデータ検索、ジョブ <i>jobname</i> の待機がタイムアウトしました。
説明:	Datacom メタデータ検索ジョブがタイムアウトしました。
システムのアクション:	システムでエラーメッセージが表示され、ユーザーの応答が待機されます。
ユーザの応答:	さらに調査を行うには、システムプログラマに連絡し、ジョブの詳細を報告します。
PWX-02527	DATACOM メタデータ検索、ジョブ <i>jobname</i> が開始されていません。
説明:	DATACOM メタデータ検索ジョブが開始されていません。

システムのアクション：	システムでエラーメッセージが表示され、ユーザーの応答が待機されます。
ユーザの応答：	さらに調査を行うには、システムプログラマに連絡し、ジョブの詳細を報告します。
PWX-02528	DATAKOM メタデータ検索、PowerExchange ロードライブラリが許可されていません。
説明：	PowerExchange ロードライブラリが APF 許可されていません。
システムのアクション：	システムでエラーメッセージが表示され、ユーザーの応答が待機されます。
ユーザの応答：	PowerExchange ロードライブラリの APF 許可をシステムプログラマに問い合わせてください。
PWX-02529	バックグラウンドメタデータ検索の通信トークンを作成できませんでした。
説明：	z/OS トークンサービスの制御トークンの割り当てに失敗しました。
システムのアクション：	システムでエラーメッセージが表示され、ユーザーの応答が待機されます。
ユーザの応答：	この問題を解決するには、システムプログラマにお問い合わせください。
PWX-02530	要求されたメタデータは使用できないか、またはアクセス権がありません。指定したパラメータを確認します。
説明：	Datacom データベースから要求されたメタデータが見つからないか、またはアクセス権がありません。
システムのアクション：	システムでエラーメッセージが表示され、ユーザーの応答が待機されます。
ユーザの応答：	データベースに対して要求された Datacom メタデータを確認し、入力したパラメータを修正します。
PWX-02550	グループソースアクセス方式は、CAPX、CAPXRT、EMR、IMSUNLD、NRDB、NRDB2 のいずれかに設定する必要があります。
説明：	不正なアクセス方式がグループソース処理に渡されました。
システムのアクション：	処理は終了します。システムからエラーメッセージが発行されます。
ユーザの応答：	アクセス方式を見直し、修正します。
PWX-02551	グループソース、アクセス方式の混在はできません。
説明：	すべてのソースに対するアクセス方式は同一である必要があります。
システムのアクション：	処理は終了します。システムからエラーメッセージが発行されます。
ユーザの応答：	すべてのソースを見直し、アクセス方式をすべて同じものにします。

PWX-02553	グループソース、グループのすべてのメンバに同じ物理データソースを使用する必要があります。
説明:	グループのすべてのメンバの物理データソースは同一である必要があります。
システムのアクション:	処理は終了します。システムからエラーメッセージが発行されます。
ユーザの応答:	物理データソースが同一であることを確認します。
PWX-02554	グループソース、number = <i>data_map_file_name</i>、number = <i>data_map_file_name</i>。
説明:	このメッセージは、メッセージ PWX-02553 に関して、データマップファイル名を含む補足情報を提供します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-02555	グループソース、使用できるのは SEQ、ESDS、KSDS、または TAPE 向けの NRDB または NRDB2 データマップのみです。
説明:	グループソースは、SEQ、ESDS、KSDS、TAPE 向けの NRDB または NRDB2 のみ使用できます。
システムのアクション:	処理は終了します。システムからエラーメッセージが発行されます。
ユーザの応答:	使用可能なデータマップアクセス方式のみ使用されていることを確認します。
PWX-02575	複数ターゲット、データマッププライマリパスの混在はできません。
説明:	複数ターゲットでは、すべてのプライマリパスは同一である必要があります。
システムのアクション:	処理は終了します。システムからエラーメッセージが発行されます。
ユーザの応答:	複数ターゲットのすべてのプライマリパスが同一であることを確認します。
PWX-02576	複数ターゲット、データマップアクセス方式の混在はできません。
説明:	複数ターゲットでは、すべてのアクセス方式は同一である必要があります。
システムのアクション:	処理は終了します。システムからエラーメッセージが発行されます。
ユーザの応答:	複数ターゲットでのすべてのアクセス方式が同一であることを確認します。

PWX-02600	方向タイプ=type Precn=99 スケール=99 長さ=99 データ=xxxx
説明:	宣言中に型を変更できない E フィールドの情報を提供するメッセージです。 一方のメッセージは、通常 NUMCHAR である <i>from</i> フィールドに関するメッセージです。他方のメッセージは、 <i>to</i> フィールドに関するメッセージです。このメッセージは常にメッセージ PWX-02614、PWX-02603、PWX-02601 とともに表示され、メッセージ PWX-02626 とともに表示されることもあります。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	メッセージ PWX-02603 を見直すことにより、問題の原因になっている E フィールドを特定します。ユーザーの対処については、メッセージ PWX-02614 を参照します。
PWX-02601	タイプ=99 (type_decription) 長さ=99 精度=99 スケール=99
説明:	E フィールドの宣言に関する情報を提供するメッセージです。このメッセージは、フィールド名を表示するメッセージ PWX-02603 と、エラーの原因を表示するその他のメッセージと常に一緒に表示されます。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	メッセージ PWX-02603 および関連メッセージを確認することにより、問題の原因になっている E フィールドを特定します。E フィールドを修正します。
PWX-02602	式=xxxx
説明:	E フィールドの問題の式情報を表示するメッセージです。このメッセージは、フィールド名を表示するメッセージ PWX-02603 と、エラーの原因を表示するその他のメッセージと常に一緒に表示されます。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	メッセージ PWX-02603 および関連メッセージを確認することにより、問題の原因になっている E フィールドを特定します。E フィールドを修正します。
PWX-02603	レコード 99 フィールド番号 99 名前 xxxx アクション番号 99 に問題があります。
説明:	失敗した E フィールドの問題を特定するメッセージです。エラーの原因を示すその他のメッセージと常に一緒に表示されます。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	多くの場合、対応する E フィールドは名前を使用して PowerExchange Navigator で特定できます。異なるレコードで、同じ名前が使用されている場合、それを区別するためにレコード番号が使用されます。その他の一緒に表示されるメッセージからエラーの原因を特定し、E フィールドを修正します。

PWX-02604	式が無効です。xxxxx。
説明：	最初のレコードの処理前に E フィールドを初期化すると、式が定数ではないものと検出され、関数としての検証に失敗します。通常、関数の構文エラーは、PowerExchange Navigator によってマップが作成される際に検出されます。このエラーが表示されるのはまれです。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	データマップを PowerExchange Navigator にロードし、E フィールドウィンドウに移動します。すべての E フィールドが検証されます。無効なフィールドが強調表示されます。問題を修正し、データマップを保存してリモートノードへ送信します。次に、再実行します。
PWX-02605	データに問題があります。xxxxx。
説明：	メッセージ PWX-02604 の原因でもある式での関数構文の検証でエラーが検出され、エラーの実際のデータが提供されます。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	ユーザーの対処については、メッセージ PWX-02604 を参照します。
PWX-02610	フィールド型 99 は認識されません。
説明：	フィールドの型の番号が不正です。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	マップを PowerExchange Navigator にロードし、E フィールドウィンドウに移動します。すべての E フィールドが検証され、問題がある部分は強調表示されます。問題を修正し、データマップを保存してリモートノードへ送信し、再実行します。
PWX-02611	type 99 に name がありません。
説明：	新しい E フィールドが宣言されたことを示すフィールド型番号が指定されましたが、名前がありません。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	マップを PowerExchange Navigator にロードし、E フィールドウィンドウに移動します。すべての E フィールドが検証され、問題がある部分は強調表示されます。問題を修正し、データマップを保存してリモートノードへ送信し、再実行します。
PWX-02612	attribute がフィールド型 99 (field_type) には必要です。
説明：	新しい E フィールドが宣言されていますが、属性（長さまたは精度）がありません。これらはフィールド型には必要です。
システムのアクション：	タスクは終了します。

ユーザの応答： マップを PowerExchange Navigator にロードし、E フィールドウィンドウに移動します。すべての E フィールドが検証され、問題がある部分は強調表示されます。問題を修正し、データマップを保存してリモートノードへ送信し、再実行します。

PWX-02618 **名前 *xxxx* の宣言が重複しています。**

説明： フィールド型のある新しい E フィールドが宣言されていますが、その名前は以前に別の E フィールドで使用されたものです。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： マップを PowerExchange Navigator にロードし、E フィールドウィンドウに移動します。すべての E フィールドが検証され、問題がある部分は強調表示されます。問題を修正し、データマップを保存してリモートノードへ送信し、再実行します。

PWX-02624 **フィールド *xxxx* が見つかりませんでした。**

説明： XML 処理中にフィールドが見つかりませんでした。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-02625 **システム関数 *xxxx* が見つかりませんでした。**

説明： DTLFUNC 内に指定のシステム関数（例えば、CopyData）が見つかりませんでした。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、その時点で実行していた関数をお知らせください。

PWX-02626 **戻りコード=99 (関数 *xxxx*)。**

説明： 関数が、失敗を示す戻りコードを返しました。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： このメッセージが PWX-02614 のメッセージと同時に発生した場合は、問題は、特定の E フィールドの範囲を超えた数値定数の変換中に発生しています。メッセージ PWX-02614 を参照します。それ以外の場合は、関数の呼び出し中に失敗が発生しているので、対応は関数によって異なります。関数が CALLPROG の場合、ユーザー出口プログラムはロードできないことがあります。問題を特定できない場合、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。そのとき、実行しようとしている関数をお知らせください。

PWX-02650 **サポートされている *attribute= value*。**

説明： メッセージでは、属性に使用できる値を示しています。問題の属性を表示する PWX-02667 や問題の E フィールドを特定する PWX-02603 などのメッセージと一緒に表示されます。

システムのアクション: タスクは終了します。

システム:

ユーザの応答: メッセージ PWX-02667 を参照します。

PWX-02651 **サブルーチン=external_module_and_entry_point. リンケージ型 type。**

説明: CALLPROG 関数がロード中または実行中に問題が発生した際、このメッセージはモジュールとエントリポイント（モジュールにつき2つ以上のエントリポイントをサポートする言語に対して）とリンケージ型を表示します。

システムのアクション: タスクは終了します。

システム:

ユーザの応答: モジュールのロードの問題については、関連するメッセージ（おそらく PWX-00351、PWX-00352）を参照してください。また、外部ルーチンの実行に関する問題については、メッセージ PWX-02667、PWX-02668、および PWX-02676 を参照してください。

PWX-02660 **関数 function が引数を number 個受け取りました。正確に number 個だけです。**

説明: 関数が予期しない数の引数を受け取りました。ユーザーがマップで関数を定義する際に早い段階で検証することによって、多くの場合、この問題を防ぐことができます。

システムのアクション: タスクは終了します。

システム:

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-02661 **関数 function が引数を number 個受け取りました。少なくとも number 個が必要です。**

説明: 関数が予期しない数の引数を受け取りました。ユーザーがマップで関数を定義する際に早い段階で検証することによって、多くの場合、この問題を防ぐことができます。

システムのアクション: タスクは終了します。

システム:

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-02662 **関数 function が引数を number 個受け取りました。最大 number 個までです。**

説明: 関数が予期しない数の引数を受け取りました。ユーザーがマップで関数を定義する際に早い段階で検証することによって、多くの場合、この問題を防ぐことができます。

システムのアクション: タスクは終了します。

システム:

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-02663	関数 <i>function</i> が結果引数を受け取りませんでした。
説明:	関数が結果引数を受け取りませんでした。ユーザーがマップで関数を定義する際に早い段階で検証することによって、多くの場合、この問題を防ぐことができます。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-02664	関数 <i>function: source_field_type_number (source_field_type_description) から target_field_type_number (target_field_type_description) への変換はサポートしていません。</i>
説明:	ソースとターゲットフィールド型の変換はサポートされていません。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	メッセージ PWX-02603 を使用して、E フィールドの問題を特定します。関数は、通常 COPYDATA (<i>source,target</i>) あるいは式がソースフィールド名または定数に設定されるような割り当てによって明示的に呼び出される COPYDATA です。PowerExchange Navigator を使用して E フィールドを修正し、データマップを保存してリモートノードに送信し、タスクを再実行します。
PWX-02665	関数 <i>function: 予期しない戻りコード=return_code が API_routine から戻されました。</i>
説明:	関数の実行中に、サブルーチンから予期しない戻りコードを受け取りました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-02666	関数 <i>function: attribute</i> の変換に予期しない変換があります 最初の呼び出し=<i>value2</i> 番目の呼び出し=<i>value</i>。
説明:	最初と 2 番目の呼び出しの間に、属性の変換で予期しない変更があります。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-02667	関数 <i>function</i> は、<i>attribute (value)</i> をサポートしていません。
説明:	この関数は指定の属性値をサポートしていません。例えば、関数 CALLPROG は、20 を超えた引数をサポートしません。関数 CALLPROG は、特定のリンケージ型のみをサポートし、その型は実行中のオペレーティングシステムによって異なります。属性に使用可能な値を示す PWX-02650 と問題の E フィールドを特定する PWX-02603 などのメッセージと一緒に表示されます。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	メッセージ PWX-02603 を使用して、E フィールドの問題を特定します。PowerExchange Navigator を使用して E フィールドを修正し、データマップを保存してリモートノードに送信し、タスクを再実行します。
PWX-02668	リンケージ <i>linkage_type</i> が number 個の引数を受信しました。 <i>condition number</i> が必要です。
説明:	CALLPROG ルーチンに渡される引数の数が不正です。CALLPROG には、外部サブルーチンに渡される 1 以上 20 以下の引数が必要です。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	メッセージ PWX-02603 を使用して、E フィールドの問題を特定します。PowerExchange Navigator を使用して E フィールドを修正し、データマップを保存してリモートノードに送信し、タスクを再実行します。
PWX-02669	関数 <i>function</i>: 変換長=<i>length</i> データ=<<i>data</i>>。
説明:	データのあるフィールドタイプから別のフィールドタイプに変換できませんでした。メッセージ PWX-02665 は、このメッセージとともに表示されます。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-02671	関数 <i>function</i>: 結果に <i>attributevalue</i> がありません。
説明:	結果セットの引数への内部の一貫性チェックで問題が検出されました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-02672 **関数 *function*: 結果の型が、サポートしている型<*field_types*>に含まれていません。**

説明： 結果引数のフィールドタイプが指定の機能でサポートされていません。このメッセージに、サポートされるフィールドタイプを示します。例えば、LengthOf 関数は、フィールドタイプ NUM32 または NUM32U のみの結果を返します。したがって、結果引数が CHAR フィールドタイプである場合にエラーが発生します。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： メッセージ PWX-02603 を使用して、無効な E フィールドを特定します。PowerExchange Navigator で、E フィールドを修正し、データマップを保存してリモートノードに送信し、タスクを再実行します。

PWX-02673 **関数 *function*: 引数 *number* 型 *field_type_number* が、サポートしている型<*supported_field_types*>に含まれていません。**

説明： 結果引数のフィールドタイプが指定の機能でサポートされていません。このメッセージに、サポートされるフィールドタイプを示します。例えば、Split 関数に渡す第 2 の引数は、NUM32 タイプまたは NUM32U タイプのみである必要があります。他のタイプを使用すると、エラーが発生します。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： メッセージ PWX-02603 を使用して、無効な E フィールドを特定します。PowerExchange Navigator で、E フィールドを修正し、データマップを保存してリモートノードに送信し、タスクを再実行します。

PWX-02674 **CHECK により、*return_codecondition* に一致しました。**

説明： 戻りコードが不正な戻りコードのリストにあるか、戻りコードが正しい戻りコードのリストにはないため、CHECK 関数によって問題が検出されました。

システムのアクション： タスクは [プロパティ] -> [データチェック] -> [レコードマッピングエラーの処理方法] でのデータマップの定義に応じた処理が実行されます。通常この値は、[データ抽出の終了] または [行をスキップする] に設定されます。

ユーザの応答： メッセージ PWX-02603 を使用して、無効な E フィールドを特定します。戻りコードがどこに設定されているかを特定し、それに従って対処します。一般的に、これは、CALLPROG 関数で呼び出される外部ルーチンの何かを修正することを意味します。

PWX-02675 **CHECK メッセージメッセージ。**

説明： このメッセージは、エラーの状態を示すのに役立つ関数 CHECK へ渡される引数 2 のテキストを表示します。メッセージ PWX-02674 がともに表示されます。

システムのアクション： システムにより、メッセージ PWX-02674 が出力されます。

ユーザの応答： メッセージ PWX-02674 の「対策」を参照します。

PWX-02676 **ルーチン *routine_module_and_entry_point* がエラーコード = *return_code* を戻しました。**

説明： このメッセージは、外部サブルーチンから関数 CALLPROG へ返された値がゼロではなく、結果引数がエラー用のコードに割り当てられない場合に表示されます。デフォルトのエラー処理では、これをエラーとして扱います。

システムのアクション： タスクは【プロパティ】->【データチェック】->【レコードマッピング
 グエラーの処理方法】でのデータマップの定義に応じた処理が実行されます。通常この値は、【データ抽出の終了】または【行をスキップする】に設定されます。

ユーザの応答： メッセージ PWX-02603 を使用して、E フィールドの問題を特定します。戻りコードがどこに設定されているかを特定し、それに従って対処します。一般的に、これは、関数 CALLPROG で呼び出される外部ルーチンの何かを修正することを意味します。結果引数を関数 CALLPROG に定義することによって、ある戻りコードを許容することもでき、関数 CHECK を使用して、エラーの場合と無視できる値を区別できます。

PWX-02677 **関数 *function*: 引数 *number* 型 *field_type_number* (*field_type_description*) は末尾でのみ使用できます。**

説明： 関数では、このフィールド型の引数は末尾でのみ可能です。例えば、関数 FRAGMENT では VARCHAR や VARBIN といった可変長の引数を末尾の引数としてのみ使用できます。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： メッセージ PWX-02603 を使用して、E フィールドの問題を特定します。PowerExchange Navigator を使用して E フィールドを修正し、データマップを保存してリモートノードに送信し、タスクを再実行します。

PWX-02678 **関数 *function*: オフセット値がフィールド長より大きいか負です。**

説明： 関数が、処理中のフィールドのサイズに対して不正なオフセット値を渡しました。この状態は、SETBITA や SETBITN などの関数で発生する場合があります。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： メッセージ PWX-02603 を使用して、E フィールドの問題を特定します。PowerExchange Navigator を使用して E フィールドを修正し、データマップを保存してリモートノードに送信し、タスクを再実行します。

PWX-02679 **関数 *function*: アクセスメソッド *access_method_number* には無効です。**

説明： 関数はマップのアクセス方式に対して実行できません。例えば、関数 GETDATABASEKEY は、i5/OS 上の Adabas、CAPX、CAPXRT、DL1、ESDS、HPIMAGE、IDMS、ODBA、RRDS、SEQ などのアクセス方式でのみ実行可能なので、その他のアクセス方式を使用した場合、エラーになります。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： メッセージ PWX-02603 を使用して、E フィールドの問題を特定します。PowerExchange Navigator を使用して E フィールドを削除するか、アクセス方式を変更します。データマップを保存し、リモートノードに送信し、タスクを再実行します。

PWX-02680 **関数 *function*: 内部エラー、アクセスメソッド *access_method_number* のキーの長さを *number* バイトにすることはできません。**

説明： 関数 GETDATABASEKEY に渡される結果引数のサイズが、この型のデータベースキーのサイズと一致しません。例えば、IDMS データベースキーは、NUM32 である必要があります。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： メッセージ PWX-02603 を使用して、E フィールドの問題を特定します。PowerExchange Navigator を使用して E フィールドを修正し、データマップを保存してリモートノードに送信し、タスクを再実行します。

PWX-02681 **関数 *function*: 内部エラー、アクセスメソッド *access_method_number* のキーがありません。**

説明： 関数 GETDATABASEKEY に渡される結果引数がありません。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： メッセージ PWX-02603 を使用して、E フィールドの問題を特定します。PowerExchange Navigator を使用して E フィールドを修正し、データマップを保存してリモートノードに送信し、タスクを再実行します。

PWX-02682 **関数 *function*: 設定 *set_name* が見つかりません。**

説明： 指定された設定が、マップが使用する設定のリストに見つかりません。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： メッセージ PWX-02603 を使用して、E フィールドの問題を特定します。PowerExchange Navigator を使用して、レコードの [オーナーレコードとセット名] タブで設定名が正しいか調べてください。E フィールドを修正し、データマップを保存してリモートノードへ送信し、タスクを再実行します。

PWX-02683 **関数 *function*: 外部符号化されたファイルのテキスト定数を設定できませんでした。**

説明: テキスト定数が外部のコードページのファイルで CHAR または VARCHAR のフィールドにコピー中であり、テーブルによる変換（例えば、IBM-037 から ISO-8859 へ）だけでは不可能であり、コードページの ICU 変換が設定されていません。

システムのアクション: タスクは終了します。
ン:

ユーザの応答: マップ属性が正しい外部エンコードを定義しているか確認します。ICU をサポートしないプラットフォームでは、最初の 40 コードページしかサポートされず、UTF-16LE 以降のコードページはサポートされません。コードページの開始と終了についてはメッセージ PWX-00739 を参照します。PowerExchange Navigator を使用して E フィールドを修正し、データマップを保存してリモートノードに送信し、タスクを再実行します。

PWX-02684 **関数 *function*: 外部符号化 CHAR/VARCHAR フィールド *before_or_after* 変換の変換中にエラーが発生しました。**

説明: コードページがプラットフォームの外部であるファイルでの数値フィールドと CHAR または VARCHAR フィールド間の変換にユーザー定義のフィールドが含まれており、コードページ変換処理中に問題が発生しました。

システムのアクション: タスクは終了します。
ン:

ユーザの応答: マップ属性で指定されたコードページにデータが実際に存在することを確認します。

PWX-02685 **関数 *function*: "アクション"でエラーが発生しました。バッドファサイズ=*size*。**

説明: 関数がエラーを通知しました。

システムのアクション: タスクは終了します。
ン:

ユーザの応答: PowerExchange Navigator を使用して E フィールドを修正し、データマップを保存してリモートノードに送信し、タスクを再実行します。

PWX-02686 **関数 *function*: 外部符号化 CHAR/VARCHAR フィールドのコードページトランスレータを設定できませんでした。**

説明: コードページがプラットフォームの外部であるファイルでの数値フィールドと CHAR または VARCHAR フィールド間の変換にユーザー定義のフィールドが含まれており、テーブルによる変換（例えば、IBM-037 から ISO-8859 へ）だけでは不可能であり、コードページの ICU 変換が設定されていません。

システムのアクション: タスクは終了します。
ン:

ユーザの応答： マップ属性が正しい外部エンコードを定義しているか確認します。
ICU をサポートしないプラットフォームでは、最初の 40 コードページしかサポートされず、UTF-16LE 以降のコードページはサポートされません。コードページの開始と終了についてはメッセージ PWX-00739 を参照します。PowerExchange Navigator を使用して E フィールドを修正し、データマップを保存してリモートノードに送信し、タスクを再実行します。

PWX-02687 **関数 *function*: 入力引数 *argument_number* として無効な値を受け取りました。**

説明： メッセージに示された引数をユーザー定義フィールドが受け取りましたが、その値が範囲外でした。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： マッププロパティで指定する値が、エラーメッセージに示されている関数を使用するユーザー定義フィールドに対する入力値として有効であることを確認します。PowerExchange Navigator を使用して E フィールドを修正し、データマップを保存してリモートノードに送信し、タスクを再実行します。

PWX-02688 **テキスト *text* の解析中にエラーが発生しました。**

説明： テキストを解析して、次の文字とその長さを特定しようとしているときに、エラーが発生しました。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： このエラーは、テキストがデータマップのコードページで無効だったことが原因で発生する場合があります。次のコードページがありません。

- Windows および UNIX。UTF-16LE。
- i5/OS。IBM-37。
- z/OS。IBM-1047。

PWX-02689 **関数“*function*” 引数“*argument_number*” 値“*value*”が範囲外です。下限=“*minimum*”。上限=“*maximum*”。**

説明： 指定の関数に渡された指定の引数の値が許容最大範囲の下限を下回っています。

メッセージテキスト：

- *function* は、無効な引数が渡された関数です。
- *argument_number* は、無効な引数の番号です。
- *value* は、無効な引数の値です。
- *minimum* は、許容範囲の最小値です。
- *maximum* は、許容範囲の最大値です。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答：	以下の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 示されている関数を使用するユーザー定義フィールドに対して有効な入力値にデータマッププロパティの指定値を修正します。 2. PowerExchange Navigator で、E フィールドを修正します。 3. データマップを保存します。 4. リモートノードにマップを送信します。 5. タスクを再実行します。
PWX-02690	関数"<i>function_name</i>"がデータマップのアクセス方式"<i>access_method</i>"で実行できません。
説明：	ランタイム環境の初期化時に、PowerExchange がデータマップへのアクセス方式のリストを検出しませんでした。
システムのアクション：	処理は異常終了します。
ユーザの応答：	データマップに手動で関数を追加している場合には削除します。 [PowerExchange からインポート] ダイアログボックスで [シーケンスフィールドを使用する] オプションを選択して関数が生成された場合には、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-02700	連結キーのビルド - レコード=<<i>record_name1</i>>内にレコード=<<i>record_name2</i>>の検索フィールドエントリがありません。
説明：	一意キーフィールドが定義されていません。
システムのアクション：	E フィールドの生成が失敗しました。
ユーザの応答：	検索フィールドに一意キーフィールドが含まれることを確認します。
PWX-02701	連結キーのビルド - 検索フィールド=<<i>search_field</i>>にマッチングするフィールドがレコード=<<i>record_name1</i>>に見つかりませんでした。対象レコード=<<i>record_name2</i>>。
説明：	検索フィールドが連結キーではありません。
システムのアクション：	E フィールドの生成が失敗しました。
ユーザの応答：	検索フィールドが連結キーではないことを確認します。
PWX-02702	連結キーのビルド - フィールド=<<i>field_name</i>>が検索フィールド=<<i>search_field</i>>にレコード=<<i>record_name1</i>>内でオーバーラップしています。対象レコード=<<i>record_name2</i>>。
説明：	検索フィールドが連結キーエントリにオーバーラップしています。
システムのアクション：	E フィールドの生成が失敗しました。
ユーザの応答：	検索フィールドを確認します。

PWX-02703	連結キーのビルド - レコード=<record_nameI>内にレコード=<record_nameI>の親セグメント名がありません。
説明:	レコードに親セグメントがありません。
システムのアクション:	E フィールドの生成が失敗しました。
ユーザの応答:	テーブルまたはドキュメントの定義を確認します。
PWX-02704	連結キーのビルド - セグメント=<segment_name>に対してレコード=<record_nameI>内にレコードがありません。対象レコード=<record_nameI>。
説明:	親セグメント用の連結キーが見つかりませんでした。
システムのアクション:	E フィールドの生成が失敗しました。
ユーザの応答:	テーブルまたはドキュメントの定義を確認します。
PWX-02705	連結キーのビルド - レコード=<record_name>にマッチングするフィールドが見つかりませんでした。
説明:	連結キー用の一致フィールドが見つかりませんでした。
システムのアクション:	E フィールドの生成が失敗しました。
ユーザの応答:	検索フィールドを確認します。
PWX-02706	連結キーのビルド - MapIMSCCK 関数の文字列= fname、上限 = Maxnum。対象レコード= <record_name>。
説明:	MapIMSCCK のビルドに必要な文字列が長すぎます。
システムのアクション:	E フィールドの生成が失敗しました。
ユーザの応答:	検索フィールドの定義を確認します。
PWX-02707	連結キーのビルド - 親セグメント=<segment_name>がレコード=<record_nameI>でそれ自体を参照しています。対象レコード=<record_nameI>。
説明:	親レコードが自分自身を指しています。
システムのアクション:	E フィールドの生成が失敗しました。
ユーザの応答:	レコードの定義を確認します。
PWX-02708	連結キーのビルド - 検索フィールド=<search_field> (レコード=<record_nameI>内、対象レコード=<record_nameI>) のマッピングが不完全です。
説明:	検索フィールドが完全にマップされていません。
システムのアクション:	E フィールドの生成が失敗しました。
ユーザの応答:	検索フィールドの定義を確認します。

PWX-02709 **階層のすべてのレベルで一意的検索フィールドが必要です。**

説明： この IMS データマップは、階層内のレベルごとに一意な検索フィールドがないため、複数レベルにわたる書き込み操作に適していません。

システムのアクション： 操作は終了します。

ユーザの応答： 一意なキーが指定されているデータマップを使用するか、一度に 1 つのレベルのみが書き込まれるデータマップを使用します。

PWX-02710 **IMS データマップの階層が無効です。**

説明： この IMS データマップは、階層の詳細にエラーを含んでいます。

システムのアクション： 操作は終了します。

ユーザの応答： データマップのレコードごとに、セグメント名と親セグメント名を確認します。

PWX-02720 **CECRM - ベース *resource_type* <resource_name>が見つかりません。**

説明： 抽出マップのビルドに必要なキャプチャ登録テーブルまたはドキュメントが見つかりませんでした。

システムのアクション： 抽出マップの作成を停止します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-02721 **CECRM - レコード<record_name>が見つからず、レコードの依存関係をビルドできませんでした。**

説明： 抽出マップのビルドに必要なテーブルまたはドキュメントの依存レコードを見付けることができませんでした。

システムのアクション： 抽出マップの作成を停止します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-02722 **CECRM - *resource_type* エントリが見つかりません。**

説明： 作成中の抽出マップに、必要なリソース（レコード、テーブルまたはドキュメント）がありません。

システムのアクション： 抽出マップの作成を停止します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-02723	CECRM - <i>resource_type1</i> エントリが< <i>resource_type2</i> > <i>resource_name</i> に対して見つかりません。
説明:	テーブルまたはドキュメントにカラムまたはエレメントが見つかりませんでした。
システムのアクション:	抽出マップの作成を停止します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-02724	CECRM - テーブル名が無効です。文字 '_' (アンダスコア) がありません。
説明:	無効なテーブル名です。テーブル名に '_' (アンダスコア) がありません。
システムのアクション:	抽出マップの作成を停止します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-02725	CECRM - ベース名が無効です。文字 ':' がありません。
説明:	無効なベース名です。ベース名に ':' がありません。
システムのアクション:	抽出マップの作成を停止します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-02726	CECRM - ベース名が無効です。サフィックスがありません。
説明:	ベース名は、次の 2 つの部分に分かれています。 <i>recordname.field_name</i> 。 <i>field_name</i> がありません。
システムのアクション:	抽出マップの作成は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-02727	CECRM - 抽出定義データマップをビルドしています。キャプチャ登録 " <i>cname</i> " (インスタンス " <i>instance</i> ") をロードできませんでした。
説明:	キャプチャ登録マップをロードできません。
システムのアクション:	抽出マップの作成を停止します。
ユーザの応答:	キャプチャ登録マップが削除されなかったことを確認します。
PWX-02728	CECRM - ロードセッションを開始できませんでした。場所 <i>location</i> 、ユーザー名 <i>user_name</i> 。
説明:	ロードセッションを開始できませんでした。

システムのアクション 抽出マップの作成を停止します。

ン：

ユーザの応答： 接続パラメータの REPNODE に設定された値を確認し、PowerExchange Listener がそのノードに存在することを確認します。

PWX-02729 CECRM - データマップを保存できませんでした。戻りコード `=return_code`、場所 `=location`、ユーザー名 `=user_name`。

説明： データマップを保存できませんでした。

システムのアクション 抽出マップの作成を停止します。

ン：

ユーザの応答： 接続パラメータの REPNODE に設定された値を確認し、PowerExchange Listener がそのノードに存在することを確認します。

PWX-02730 CECRM-データマップをロードできませんでした。場所 `=location`、ユーザー名 `=username`、スキーマ名 `=schemaname`、マップ名 `=mapname`。

説明： データマップをロードできませんでした。

システムのアクション 抽出マップの作成を停止します。

ン：

ユーザの応答： 接続パラメータの REPNODE に設定された値を確認し、PowerExchange Listener がそのノードに存在することを確認します。

PWX-02731 **互換性のないカラムの種類です。DB2 カラム "column" (種類 "type")、マップカラム "column" (種類 "type")。**

説明： カラムの検証エラー。

システムのアクション 抽出マップの作成を停止します。

ン：

ユーザの応答： マージする別のバルクデータマップを選択します。

PWX-02732 **互換性のないカラムの長さです。DB2 カラム column (長さ length) ; マップカラム column (長さ length)。**

説明： カラムの検証エラー。

システムのアクション 抽出マップの作成を停止します。

ン：

ユーザの応答： マージする別のバルクデータマップを選択します。

PWX-02733 **警告 - カラム DB2_column_name の統合に対して長さチェックは検証できません。マップされたグループには可変長カラムが含まれています。**

説明： グループ内の複数のフィールドに対して、VARCHAR および VARBIN フィールドの長さ検証が行われていません。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-02734	iSeries カラム " <i>column_name</i> " の形式がありません。スキーマ " <i>schema</i> "。テーブル " <i>table</i> "。タイプ " <i>column_datatype</i> "。
説明：	DTLUCBRG ユーティリティは、指定された Db2 for i テーブルのキャプチャ登録および抽出マップを作成しようとしたときに、指定されたカラムの形式を特定できませんでした。カラムのデータ型は、Date、Time、または Timestamp です。
システムのアクション：	登録および抽出マップは作成されません。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。エラーを報告する際は、エラーの発生時に実行されていた関数を記載してください。
PWX-02760	旧形式のデータマップでルートセグメントを特定できませんでした。最適化を省略します。
説明：	HDAM、DEDB、または PHDAM の型のデータベースにアクセスする際に、DL/1 アクセスルーチンは、セグメントがルートセグメントかどうか決定できません。最適化がオフになっています。
システムのアクション：	修飾されていない SSA がデータベースセグメントの読み込みに使用されています。
ユーザの応答：	データベースルートセグメント用のデータマップを再作成します。
PWX-02800	DMSRV - データマップファイル <i>file_name</i> はすでに使用中です。
説明：	指定されたデータマップデータセットは、同じシステム内の別の PowerExchange Listener に既すでに使用されています。
システムのアクション：	このメッセージを発行する PowerExchange Listener は、データマップファイルへのアクセスでシステムに接続しようとします。
ユーザの応答：	PowerExchange Listener でデータマップ要求を満たすことができないことが関連メッセージで示されていない限り、対処は必要ありません。
PWX-02801	DMSRV - データマップファイルのキュー追加の戻りコード <i>return_code</i>
説明：	データマップデータセットでキューへの追加を試みたときに、ゼロでない戻りコードが返されました。
システムのアクション：	この PowerExchange Listener のデータマップサーバタスクが終了します。
ユーザの応答：	戻りコードが 0 より小さい場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。0 より大きい戻りコードについては、z/OS ENQ (SVC 56) ,RET=USE の説明を参照してください。
PWX-02802	DMSRV - データマップファイルを開けませんでした。タスクを終了します。
説明：	データマップファイルを開けませんでした。PowerExchange のログに、エラーを説明するメッセージが含まれています。

システムのアクション： この PowerExchange Listener のデータマップサーバータスクが終了します。

ユーザの応答： ログのメッセージを確認し、エラーを修正します。

PWX-02803 **DMSRV - データマップファイルを開けませんでした。タスクを終了します。**

説明： データマップファイルを開けませんでした。PowerExchange のログに、エラーを説明するメッセージが含まれています。

システムのアクション： この PowerExchange Listener のデータマップサーバータスクが終了します。

ユーザの応答： ログのメッセージを確認し、エラーを修正します。

PWX-02804 **リスナは *data_set_name* を使用するデータマップサーバーです**

説明： この PowerExchange Listener はデータマップサーバーとして機能しており、このシステムのすべてのデータマップの要求を処理します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-02805 **リスナはノード *node* (*ipaddr*, ポート *portnum*) のデータマップサーバーを使用します。**

説明： この PowerExchange Listener は、データマップサーバーとして指定のノードを使用します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-02806 **このリスナにデータマップサーバーは指定されていません**

説明： PowerExchange Listener に対してデータマップサーバーが指定されておらず、データマップファイルが存在しません。定義されていません。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-02820 **データマップサーバー**

説明： データマップサーバー *nodename* が正しく指定されませんでした。

システムのアクション： プログラムは終了します。

ユーザの応答： エラーを修正し、もう一度実行します。

PWX-02821 **データマップサブタスク**

説明： DM_SUBSTASK の正しいパラメータは、Y または N のみです。

システムのアクション： プログラムは終了します。

ユーザの応答： パラメータに Y または N のいずれかを入力します。

PWX-02822	データマップデータセットリソース
説明:	データマップアクセスの RACF リソース名が正しく指定されていません。
システムのアクション:	プログラムは終了します。
ユーザの応答:	エラーを修正し、もう一度実行します。
PWX-02830	行が見つからない場合はエラー
説明:	ERRROWNOTFOUND の正しいパラメータは Y または N のみです。
システムのアクション:	プログラムは終了します。
ユーザの応答:	パラメータに Y または N のいずれかを入力します。
PWX-02831	フィールドの区切り文字が正しく指定されていません。
説明:	フィールドの区切り文字が正しく指定されていません。
システムのアクション:	プログラムは終了します。
ユーザの応答:	エラーを修正し、もう一度実行します。
PWX-02832	レコードの区切り文字が正しく指定されていません。
説明:	レコード区切り文字が正しく指定されていません
システムのアクション:	プログラムは終了します。
ユーザの応答:	エラーを修正し、もう一度実行します。
PWX-02836	値 <i>parameter_value</i> で指定されたパラメータ <i>parameter_name</i>。 <i>new_value</i> に対してオーバーライドされた値です。
説明:	指定されたパラメータ値は、システムの要件が原因でパラメータの要件を満たしていません。
システムのアクション:	指定したオーバーライド値で処理が続行されます。
ユーザの応答:	構成ファイルのパラメータ値を、それをオーバーライドする新しい値に更新します。PowerExchange リスナを再起動すると、更新されたパラメータ値が使用されます。
PWX-02901	DBAPI エラー。戻りコード 1=<i>return_code1</i>、戻りコード 2=<i>return_code2</i>、戻りコード 3=<i>return_code3</i>。 リクエスト '<i>call_type</i>'。 アクセス方法 '<i>access_method_name</i>'。 ロケーション '<i>node_name</i>'。
説明:	PowerExchange Database API (DBAPI) 呼び出しに失敗しました。この呼び出しでは、指定されたアクセス方法とノードのロケーションを使用しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	

ユーザの応答： エラーの詳細については、付随するメッセージ（特に戻りコード 2 に対応するメッセージ）を確認してください。エラーを修正し、プロセスをもう一度実行します。

PWX-02902 DBAPI エラー。戻りコード 1=*return_code1*、戻りコード 2=*return_code2*、戻りコード 3=*return_code3*。リクエスト '*call_type*'。アクセス方法 '*access_method_name*'。ロケーション '*node_name*'。SQL '*SQL_statements*'。

説明： PowerExchange Database API (DBAPI) 呼び出しに失敗しました。この呼び出しでは、指定されたアクセス方法、ノードのロケーション、SQL 文を使用しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： エラーの詳細については、付随するメッセージ（特に戻りコード 2 に対応するメッセージ）を確認してください。エラーを修正し、プロセスをもう一度実行します。

PWX-03000～PWX-03999

PWX-03000 **マップ *schema* のアクセス方式。map はパラメータ対応 SQL をサポートしません。**

説明： サポートしていないデータマップアクセス方式でパラメータ対応 SQL を実行しようとしてしました。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： WHERE 句に存在する疑問符によって、システムがパラメータ対応 SQL モードに切り替わり、各読み込み要求でパラメータを受信します。必要でない場合は、疑問符を取り除いてください。パラメータ対応 SQL 処理は、特定のデータマップアクセス方式に制限されていません。

PWX-03001 **フィールド *name* のコードページトランスレータの設定中にエラーが発生しました。**

説明： 外部エンコードファイルを処理中に、外部コードページとネイティブコードページ間のトランスレータを初期化しようとして、エラーが発生しました（コードページ番号については、メッセージ PWX-00739 を参照してください）。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： マップ属性で定義されたコードページが正しいこと（または PowerExchange 構成ファイルでデータコードページが存在しないかどうか）を確認します。フィールドの型が正しいことを確認します。ICU コードページの変換システムが、PowerExchange Listener が実行中のプラットフォームで使用可能かどうかを確認します。CHAR と VARCHAR の SQL 型にマップされる CHAR と VARCHAR フィールド以外、すべてのフィールド型は、プラットフォームに対応した単一バイトのネイティブコードページに変換されます。ICU コードページ変換機能を使用できないプラットフォーム上で複数バイトまたは外部エンコードファイル进行处理する場合、CHAR フィールドから DATE へのマップ、または NUMCHAR フィールドの使用はできません。

PWX-03002 **コードページ変換エラー。フィールド名。バッファ長長さ。型=type。**

説明： 外部エンコードファイルの処理中に、読み込み中の外部コードページとネイティブコードページの変換でエラーが発生しました。

システムのアクション： タスクは終了します。
ン：

ユーザの応答： "読み込み元のコードページ"で報告されたデータが正しいコードページにあることを確認します。

PWX-03003 **SQL コードページ番号 *code_page_number* を認識できませんでした。情報**

説明： SQL コードページ番号がこのプラットフォームでは認識されませんでした。

システムのアクション： タスクは終了します。
ン：

ユーザの応答： PowerExchange 構成ファイル CODEPAGE パラメータで定義された正しい SQL コードページが存在することを確認します。

PWX-03004 **Sql をコードページ *code_page_number* から UTF-16LE に変換中にエラーが発生しました。バッファサイズ "*buffer_size*"。情報**

説明： SQL から UTF-16LE への変換が失敗しました。

システムのアクション： タスクは終了します。
ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-03005 **データマップのアクセス方式は読み取り専用です**

説明： この種類のデータマップには、読み取り操作のみが許可されています。

システムのアクション： タスクは終了します。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-03006	<フィールドの内容の印刷が抑制されました>
説明:	先行するエラーの原因となった不正なデータは、印刷が抑制されました。
ユーザの応答:	他の生成メッセージを確認します。
PWX-03007	SELECT DISTINCT はこのソースではサポートされていません
説明:	"select distinct"を含む SQL が使用されましたが、このソースではサポートされていません。
システムのアクション:	"describe"エラーでタスクが終了します。
ユーザの応答:	SQL を変更して、"distinct"キーワードを削除します。
PWX-03008	ORDER BY はこのソースではサポートされていません
説明:	"order by"を含む SQL が使用されましたが、このソースではサポートされていません。
システムのアクション:	"describe"エラーでタスクが終了します。
ユーザの応答:	SQL を変更して、"order by"命令を削除します。
PWX-03009	SELECT DISTINCT は式では保証されません
説明:	"select distinct"を含む SQL が使用され、ユーザー定義フィールド (式) が要求されました。"select distinct"は、DB2 フィールド全体でのみ使用する必要があります。
システムのアクション:	"select distinct"を含む SQL は DB2 に渡されますが、ユーザーから見えないカラムも要求されるため、その結果、返される行が重複しているように見えることがあります。
ユーザの応答:	"select distinct"の効果に意味があるかどうかを確認します。
PWX-03010	<i>transchar</i> パラメータ内の文字がターゲットコードページに変換されません。
説明:	指定されたオーバーライドパラメータ内で指定された文字がターゲットコードページに変換できません。
システムのアクション:	"translate"エラーでタスクが終了します。
ユーザの応答:	パラメータを編集して有効かつ変換可能な文字を指定します。
PWX-03011	エラーマッピングテーブル <i>table_name</i>、OBID <i>OBID_number_in_SYSIBM.SYSTABLES</i>、イメージコピーファイル <i>OBIDOBID_number_in_image_copy_file</i>
説明:	PowerExchange で、バルクデータの移動操作中に、指定のテーブルの z/OS イメージコピーファイルについて、DB2 のマッピング中にエラーが発生しました。このエラーは、z/OS および以降のテーブルについて、DB2 9 でのみ発生します。
システムのアクション:	タスクが異常終了します。

ユーザの応答：	エラーの詳細については、メッセージ PWX-03012 または PWX-03013 を参照します。テーブルをロードするために別の方法を使用することが必要になる場合があります。
PWX-03012	可変長のカラム配列は、オフセット <i>offset</i> サイズ <i>size_of_array</i> で、レコード長 <i>record_length</i> を超過しています。
説明：	バルクデータの移動操作中、テーブルの z/OS イメージコピーファイルについて DB2 のマッピング中に PowerExchange でエラーが発生しました。イメージコピーからのレコード長が、テーブル内の可変長カラムの指定の配列に対して十分に大きくありません。この状況は例えば、イメージコピーを作成した後で可変長カラムをテーブルに追加したために発生する場合があります。PowerExchange では、テーブルをマップするために DB2 イメージコピーファイルを使用できません。
システムのアクション：	タスクが異常終了します。
ユーザの応答：	テーブルに対して、別の実体化方法を使用します。例えば、DB2 アンロードファイルを使用します。
PWX-03013	可変長カラム番号 <i>column_number</i> のオフセット <i>offset</i> がレコード長 <i>record_length</i> を超過しています。
説明：	バルクデータの移動操作中、テーブルの z/OS イメージコピーファイルについて DB2 のマッピング中に PowerExchange でエラーが発生しました。指定された可変長カラムのオフセットがイメージコピーのレコード長を超過しています。PowerExchange では、テーブルをマップするために DB2 イメージコピーファイルを使用できません。
システムのアクション：	タスクが異常終了します。
ユーザの応答：	テーブルに対して、別の実体化方法を使用します。例えば、DB2 アンロードファイルを使用します。
PWX-03014	NRDB タイプ <i>description (alphabetic_code)</i> では、テーブルの切り詰めはサポートされていません。
説明：	切り詰めがサポートされていない NRDB データマップタイプを使用して、テーブルを切り詰める要求が行われました。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	pre-SQL または ODBC のテーブルの切り詰めオプションを使用してテーブルをクリアしようとししないでください。

- PWX-03015 **フィールド'*field_name*'、サイズ'*field_size*'が、カウントフィールド'*field_name*'の値'*value*'と一致しません。テーブル=*table_name* レコード=*record_number*。**
- 説明： カウントフィールドによってサイズが決まる可変長フィールドに書き込むとき、PowerExchange で実際の値と予期した値の間に不一致が発生しました。この不一致は、カウントフィールドにカラムデータの実際のサイズと一致しない値が入力された場合、または多次元 COBOL 配列でレベル 2 可変長フィールドの長さが一貫していない場合に発生します。
- システムのアクション： タスクは終了します。
- ユーザの応答： カウントフィールドに誤った値が渡された場合、その値をマッピングから削除し、システムに計算させます。多次元 COBOL 配列で一貫したサイズが使用されていることを確認してください。
- PWX-03016 ***code_page_number* (*code_page_name*) から *code_page_number* (*code_page_name*) までのトランスレーターを作成できません。**
- 説明： PowerExchange が、あるコードページから別のコードページまでのトランスレーターを作成しようとしたときにエラーが発生しました。
- システムのアクション： 処理は続行しますが、コードページの変換が要求されると失敗する場合があります。
- ユーザの応答： エラーの詳細については、付随するメッセージを確認してください。カスタマイズしたコードページを使用している場合、DBMOVER 設定ファイルで ICUDATADIR パラメータが定義されていること、そのパラメータで CNV ファイルが指定されていることを確認してください。
- PWX-03020 **グループソースバッファが空です**
- 説明： グループソースバッファが空です。
- システムのアクション： PowerExchange が次のソースレコードを読み込みます。
- ユーザの応答： このメッセージは内部エラーを示します。Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
- PWX-03021 **カラム "*name*" はマップコードページ "*name*" (*number*) を使用し、DB2 コードページ "*name*" (*number*) を無視します。**
- 説明： DB2 データマップを使用した DB2 テーブルのマッピング中に、データマップ内のコードページと DB カタログから派生したコードページの間の不一致が PowerExchange で発生しました。
- システムのアクション： マップコードページを使用して、処理は続行されます。
- ユーザの応答： コードページの変更は意図されたものだったことを確認します。必要に応じて、DB2 データマップ内のコードページを変更します。

- PWX-03022 **複合テーブル登録 *registration_name* の IMS FLD 呼び出しのログレコードが見つかりました。ログレコード時刻=*lrsn timestamp*.**
- 説明： PowerExchange ロガーログファイルから変更データを抽出する PowerExchange プロセスが、指定された複合テーブル登録の低レベルのセグメントに対する IMS FLD 呼び出しによって生成されてログに記録された変更レコードを検出しました。この抽出により、低レベルのセグメントのみの変更データが取得され、すべての親セグメントが 0 に設定されます。
- システムのアクション： PowerExchange は、FLD 呼び出しがデータをキャプチャした低レベルのセグメントに対してのみデータを提供します。
- ユーザの応答： PowerExchange Navigator の複合テーブルのデータマップで **【CCK カラムを生成する】** オプションを選択し、PowerExchange が低レベルのセグメントに対する連結キー（CCK）を生成するようにします。CCK は、低レベルのセグメントからキャプチャされたデータを適切に適用するために必要です。
-
- PWX-03031 **定数の比較条件 "*expression*"（位置 *position*）は、他の条件の後には使用できません。**
- 説明： WHERE 句で、他の条件の後に定数式が存在していました。
- システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。
- ユーザの応答： WHERE 句から、問題となっている条件を取り除きます。数値定数を伴う条件は、他の条件が存在しない場合にのみ許可されます。
-
- PWX-03032 **定数の比較条件 "*expression*"（位置 *position*）は、数値以外の型とともに使用できません。**
- 説明： WHERE 句に、数値以外の型を使用する定数式が存在していました。
- システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。
- ユーザの応答： WHERE 句から、問題となっている条件を取り除きます。
-
- PWX-03033 **SQL where 句の最初の定数の比較条件の後に、他の条件がありました。**
- 説明： WHERE 句で、他の条件の後に定数式が存在しています。
- システムのアクション： SQL 呼び出しが実行されません。
- ユーザの応答： WHERE 句から、問題となっている条件を取り除きます。数値定数を伴う条件は、他の条件が存在しない場合にのみ許可されます。

PWX-03034	グループソースのレコードが長過ぎます。型" <i>type</i> "。長さ <i>length_in_bytes</i>。GSBUFSIZE <i>gsbufsize</i>
説明：	<p>グループソースのレコードが、データの処理のバッファに対して長過ぎます。このメッセージには以下の情報があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IDMS や DL1 などのデータマップタイプ。このフィールドでは、特定のデータマップタイプについての追加情報が提供されます。例えば、SEQ VSTREAM は可変長ストリームデータファイル処理する SEQ データマップを示しています。 • グループソースレコードの長さ。 • DBMOVER コンフィギュレーションファイルの GSBUFSIZE 文によって指定された、最大内部バッファサイズ。この値は、少なくともグループソースレコードの長さと同程度に長い必要があります。
システムのアクション：	CDC セッションを終了します。
ユーザの応答：	バッファのサイズを増やすには、DBMOVER コンフィギュレーションファイルの GSBUFSIZE の値を増やします。
PWX-03041	グループターゲットのテーブル" <i>table_name</i> "のプライマリキー列" <i>column_name</i> "に Null フラグが設定されています。
説明：	指定したターゲットテーブルのレコードのプライマリキー列に NULL 値が含まれています。その結果、グループターゲットの処理で正しいレコードのシーケンスを特定できません。
システムのアクション：	処理は異常終了します。
ユーザの応答：	プライマリキー列がワークフローに正しくリンクされていることを確認してください。
PWX-03042	VSTREAM ファイルのスキップ行値は無視されます
説明：	可変長ストリームファイルに関連付けられた SEQ データマップのデータベース行のテストのために、 Skip First <i>n</i> Rows オプションが 0 より大きい値に設定されています。このメッセージは、PowerExchange Navigator が可変長ストリームファイルのスキップ行の値を無視し、最初のレコードから始まるデータを読み取ることを警告します。
システムのアクション：	PowerExchange Navigator は、データベース行のテスト結果を表示する際に、最初の <i>n</i> 行をスキップしません。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-03043	グループターゲットテーブル <i>table_name</i> で外部キーカラム <i>column_name</i> に対して null フラグが設定されています。
説明：	PowerExchange は、指定された外部キーカラムに対して null フラグが設定されている行を検出しました。null フラグにより、PowerExchange がレコードの正しい親を判断することが妨げられます。外部キーの結合の結果生じる孤立した行を破棄することはできません。

システムのアクション: 処理は終了します。
ン:

ユーザの応答: 問題を解決するには、以下のアクションを実行します。

- 外部キーカラムがワークフローに正しくマッピングされていることを確認します。
- ソースデータマップとターゲットデータマップが同じか、互いに互換性があることを確認します。
- ソースデータマップ内の親レコード名が、ターゲットデータマップ内の対応するレコード名と同じであることを確認します。

PWX-03051 **マップ名 *mapname* を 2 階層アクセス方式 *access_method_name*(*access_method_number*) に渡さない
ください。SQL=*qualified_table_name*。**

説明: PowerExchange リスナは、非リレーショナルソースからデータを取得しようとしたときに、2 階層アクセス方式の無効な DTLDESCRIBE SQL 構文を検出しました。2 階層アクセス方式では、アンダースコア () をセパレータとして使用して、DTLDESCRIBE SQL のコンマの位置 3 でマップ名およびテーブル名の両方が指定され、コンマの位置 2 は空にする必要があります。以下に例を示します。

```
DTLDESCRIBE TABLES, schema, , mapname, tablename
```

このエラーは、PowerExchange Navigator が生成した SQL を使用する代わりに DTLDESCRIBE SQL を手動で編集すると発生する可能性があります。

システムのアクション: 処理は終了します。
ン:

ユーザの応答: DTLDESCRIBE 修飾子の形式がアクセス方式に一致することを確認します。

- NRDB などの 3 階層アクセス方式の場合はコンマの位置 2 でマップ名を指定します。
- NRDB2 および CAPXRT などの 2 階層アクセス方式の場合はコンマの位置 2 を空のままにします。

DTLDESCRIBE TABLES 修飾子の構文の詳細については、『PowerExchange リファレンスマニュアル』を参照してください。

PWX-03060 **マップ *schema.map_name* レコード *record_name* に
number 個のオプションフィールドがあります。1 つ目のオ
プションフィールドは *field_name* です。**

説明: データマップレコードに、固定長の出力ファイルへの書き込みで許可されていないオプションのフィールドが含まれています。レコードフォーマットとターゲットファイル名については、メッセージ PWX-03061 および PWX-03062 を参照してください。

システムのアクション: 処理は終了します。
ン:

ユーザの応答: この問題を解決するには、[オプションフィールド] 属性をクリアするか、ターゲットファイルを可変長レコードフォーマットに設定してください。

PWX-03061 **オプションフィールドをテーブル *table_name* に書き込むことはできません。マップ *schema.map_name* に RECFM *record_format* があります。**

説明： ターゲット出力ファイルにメッセージに記載されている固定長レコードフォーマットがあります。固定長レコードに書き込めないオプションフィールドがデータマップに含まれています。オプションフィールド名はメッセージ PWX-03060 に記載されます。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： この問題を解決するには、[オプションフィールド] 属性をクリアするか、ターゲットファイルを可変長レコードフォーマットに設定してください。

PWX-03062 **オプションフィールドを固定長ファイル *record_name* に書き込むことはできません。ファイル RECFM *record_format*。**

説明： ターゲット出力ファイルにメッセージに記載されている固定長レコードフォーマットがあります。固定長レコードに書き込めないオプションフィールドがデータマップに含まれています。オプションフィールド名はメッセージ PWX-03060 に記載されます。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： この問題を解決するには、[オプションフィールド] 属性をクリアするか、ターゲットファイルを可変長レコードフォーマットに設定してください。

PWX-03200 **Adabas クライアントライブラリを定義する ADALNK 環境変数がありません。**

説明： UNIX 環境変数 ADALNK が存在しません。この変数では、Adabas ニュークリアスプログラムとの通信に使用される Adabas ライブラリのフルパスとライブラリ名を定義します。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： フルパスとライブラリ名を指す ADALNK 環境変数をエクスポートします。

PWX-03201 **コードページ変換後に FDT フィールド長が変更されました。変換前: 長さ。変換後: 長さ。**

説明： Adabas キャプチャが完全にオフロードで実行されているときに、FDT ソースコードページをローカルコードページに変更したところ、フィールド長が予期せず変更されました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-03202 **フィールド *field* を変換しているときにエラーが発生しました (Adabas FDT の構造体のタイプ *type*、オフセット *offset*)。**

説明： Adabas キャプチャが完全にオフロードで実行されているときに、指定されたフィールドのコードページを変換しようとしてエラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は終了します。
ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-03203 **構造体のタイプのバイト *byte* を変換しようとしてエラーが発生しました (Adabas FDT のオフセット *offset*)。**

説明： Adabas キャプチャが完全にオフロードで実行されているときに、構造体のタイプのコードページを変換しようとしてエラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は終了します。
ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-03204 **ワイド文字コードページが定義されていませんが、フィールド *field* には必要です。**

説明： キャプチャしたデータの処理中に、PowerExchange が Adabas 形式の WIDECHAR フィールドを見つけましたが、ワイド文字のコードページが定義されていません。パディングに使用するスペース文字をシステムで特定できません。

システムのアクション： 処理は終了します。
ン：

ユーザの応答： 次のいずれかの場所でワイド文字コードページを定義します。

- データマップフィールドプロパティ
- Adabas 用のデータマッププロパティ
- DBMOVER コンフィギュレーションファイルでの Adabas CODEPAGE 文

PWX-03205 **値 *value* がパラメータ *parameter* には有効ではありません。**

説明： 指定された Adabas DBID またはファイル番号が有効な値ではありません。

システムのアクション： 処理は終了します。
ン：

ユーザの応答： パラメータ値を修正します。

PWX-03206	タイムゾーン (DBID=<i>database_ID</i>) を確立できません。TZ オプションを持つフィールドは、読み取り時にエラー 55 サブコード 30 を引き起こします。
説明:	タイムゾーン用の Adabas DD 文 (//TZINFO DD) が Adabas nucleus JCL 内に見つかりませんでした。この文はタイムゾーンを実装する場合にのみ必要です。この DD 文を含めずにタイムゾーンを実装する場合、PowerExchange リスナは、データソースを読み取るときに示されたエラーメッセージおよびサブコードを発行します。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	<p>フィールドにタイムゾーンを追加する前に、Adabas nucleus JCL に//TZINFO DD 文を追加します。</p> <p>注: DBMOVER 構成ファイルの ADA_TIMEZONE_CHECK 文は、PowerExchange が、タイムゾーンの Adabas DD 文が定義されていないアクセス先の各 Adabas データベースについて、PWX-03206 メッセージを 1 回のみ発行するのかどうかを制御します。</p>
PWX-03302	セキュリティチェック環境を利用できません。戻りコード"<i>return_code</i>"。
説明:	PowerExchange Listener プロセスは、環境のエラーが原因でユーザー ID およびパスワードをチェックできません。例えば、z/OS では、PowerExchange Listener の STEPLIB DD が APF 許可されていない場合、PowerExchange セキュリティ API への呼び出しが成功しません。
システムのアクション:	CDC の処理は異常終了します。
ユーザの応答:	エラーの詳細については、一緒に表示されるメッセージを参照します。また、必要な権限が PowerExchange Listener プロセスにあることを確認します。
PWX-03306	データベースタイプ "<i>type</i>" (<i>number</i>) は i5/OS 上の <i>node_name</i> では利用できません。
説明:	<p>PowerExchange は、指定された i5/OS ノード上のソースデータベースリソースにアクセスするためのユーザー権限をチェックしようとしました。しかし、i5/OS 上では、そのデータベースタイプがサポートされていません。</p> <p>メッセージテキスト内では、<i>type</i> がデータベースタイプ、<i>number</i> がそのデータベースタイプの PowerExchange 数値識別子になります。</p>
システムのアクション:	CDC の処理は異常終了します。
ユーザの応答:	抽出マップファイルを含むシステムに、ソースシステムを正しく指している NODE 文のある DBMOVER コンフィギュレーションファイルが存在することを確認します。

PWX-03307	データベースタイプ"<i>type</i>" (<i>number</i>) は z/OS 上の <i>node_name</i> では利用できません。
説明：	PowerExchange は、指定された z/OS ノード上のソースデータベースリソースにアクセスするためのユーザー権限をチェックしようとしてしました。しかし、z/OS 上では、そのデータベースタイプがサポートされていません。 メッセージテキスト内では、 <i>type</i> がデータベースタイプ、 <i>number</i> がそのデータベースタイプの PowerExchange 数値識別子になります。
システムのアクション：	CDC の処理は異常終了します。
ユーザの応答：	抽出マップファイルを含むシステムに、ソースシステムを正しく指している NODE 文のある DBMOVER コンフィギュレーションファイルが存在することを確認します。
PWX-03308	データベースタイプ"<i>type</i>" (<i>number</i>) は Linux または UNIX 上の <i>node_name</i> では利用できません。
説明：	PowerExchange は、指定された Linux または UNIX ノード上のソースデータベースリソースにアクセスするための権限をチェックしようとしてしました。しかし、Linux または UNIX 上では、そのデータベースタイプがサポートされていません。 メッセージテキスト内では、 <i>type</i> がデータベースタイプ、 <i>number</i> がそのデータベースタイプの PowerExchange 数値識別子になります。
システムのアクション：	CDC の処理は異常終了します。
ユーザの応答：	抽出マップファイルを含むシステムに、ソースシステムを正しく指している NODE 文のある DBMOVER コンフィギュレーションファイルが存在することを確認します。
PWX-03309	データベースタイプ"<i>type</i>" (<i>number</i>) は Windows 上の <i>node_name</i> では利用できません。
説明：	PowerExchange は、指定された Windows ノード上のソースデータベースリソースにアクセスするための権限をチェックしようとしてしました。しかし、Windows 上では、そのデータベースタイプがサポートされていません。 メッセージテキスト内では、 <i>type</i> がデータベースタイプ、 <i>number</i> がそのデータベースタイプの PowerExchange 数値識別子になります。
システムのアクション：	CDC の処理は異常終了します。
ユーザの応答：	抽出マップファイルを含むシステムに、ソースシステムを正しく指している NODE 文のある DBMOVER コンフィギュレーションファイルが存在することを確認します。

PWX-03310	ユーザー ID "<i>user_id</i>"は、<i>node_name</i>でのリソースアクセスに対する権限チェックにパスしました。
説明：	PowerExchange は、指定されたノードの指定されたユーザー ID がリソースアクセスに必要な権限を持っていることを確認しました。
システムのアクション：	CDC 処理を続行します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-03311	リソースアクセスにはユーザー ID が必要ですが、指定されていません。
説明：	DBMOVER コンフィギュレーションファイル内の SECURITY 文が値 2 を指定している場合、PowerExchange ではリソースアクセスにユーザー ID およびパスワードが必要です。しかし、ユーザー ID が指定されていませんでした。
システムのアクション：	CDC の処理は異常終了します。
ユーザの応答：	リソースアクセスに必要な権限を持つユーザー ID および対応するパスワードを指定します。
PWX-03312	リソースアクセスにはパスワードが必要ですが、指定されていません。
説明：	DBMOVER コンフィギュレーションファイル内の SECURITY 文が 2 を指定している場合、PowerExchange ではリソースアクセスにユーザー ID およびパスワードが必要です。しかし、パスワードが指定されていませんでした。
システムのアクション：	CDC の処理は異常終了します。
ユーザの応答：	ユーザー ID に対応するパスワードを指定します。ユーザー ID とパスワードは、リソースアクセスに必要な権限を持つものでなければなりません。
PWX-03314	内部ユーザー ID "<i>user_id</i>"はここでは許可されていません。
説明：	PowerExchange は、内部ユーザー ID に対してユーザー権限をチェックしようとしていました。これらのユーザー ID は PowerExchange での内部使用のみを目的としているため、PowerExchange は内部ユーザー ID に対する権限のチェックを省略します。
システムのアクション：	CDC の処理は異常終了します。
ユーザの応答：	内部ユーザー ID ではなく、リソースアクセスに必要な権限のあるユーザー ID を指定します。
PWX-03320	ユーザー ID "<i>user_id</i>"には、クラス "<i>class_name</i>"内のリソースへの読み取りアクセスがありません。
説明：	ユーザー ID には、指定されたクラス内の 1 つ以上のリソースへの READ アクセスがありません。

システムのアクション CDC の処理は異常終了します。

ン：

ユーザの応答： 一緒に表示される PWX-03322 メッセージを確認し、ユーザーに READ アクセスが必要な戻りコードおよびリソース名を取得します。次に、それらのリソースについての READ 権限をユーザーに付与します。

PWX-03321 **ユーザー ID "*user_id*"には、*number*個のリソース（クラス "*class_name*"内）への読み取りアクセスがありません。**

説明： 指定されたユーザー ID には、指定されたクラス内の指定されたリソース数に対する READ アクセスがありません。

システムのアクション CDC の処理は異常終了します。

ン：

ユーザの応答： 一緒に表示される PWX-03322 メッセージを確認し、ユーザーに READ アクセスが必要な戻りコードおよびリソース名を取得します。次に、それらのリソースについての READ 権限をユーザーに付与します。

PWX-03322 **ユーザー ID "*user_id*"には、リソース "*name*"への読み取りアクセスがありません。戻りコード "*return_code*"。**

説明： 指定されたユーザー ID には、指定されたリソースに対する READ アクセスがありません。関連するメッセージを識別する戻りコードは、以下の値のいずれかになります。

- 242. PWX-00242 を参照します。
- 3341. PWX-03341 を参照します。

システムのアクション CDC の処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： エラーに関する詳細については、戻りコードによって識別されるメッセージを参照してください。次に、そのリソースについての READ 権限をユーザー ID に付与します。リアルタイム CDC セッションの変更データのカラムレベル処理をオフロードする場合、PWX CDC リアルタイムアプリケーション接続の【マップの場所】属性内に指定されたソースシステム上のリソースアクセスに対してユーザー権限を定義する必要があります。

PWX-03323 **ユーザー ID "*user_id*"には、リソース "*resource_name*"への読み取りアクセスがありません。**

説明： 指定されたユーザー ID には、指定されたリソースに対する読み取りアクセスがありません。

システムのアクション CDC の処理は異常終了します。

ン：

ユーザの応答： 適切なシステム上で、指定されたユーザーにリソースへの読み取りアクセスを許可する権限レベルを付与します。リアルタイム CDC セッションの変更データのカラムレベル処理をオフロードする場合、PWX CDC リアルタイムアプリケーション接続の【マップの場所】属性内に指定されたソースシステム上のリソースアクセスに対してユーザー権限を定義する必要があります。

PWX-03341	RACF によってリソースへのアクセスを許可されていないユーザー ID です。
説明：	z/OS では、リソースアクセス管理機能（RACF）によって、CDC 処理に必要な保護されたリソースに対するユーザー ID のアクセスが許可されませんでした。
システムのアクション：	CDC の処理は異常終了します。
ユーザの応答：	そのユーザー ID およびリソースを特定するには、一緒に表示される、戻りコード 3341 の PWX-03322 メッセージを参照します。次に、z/OS システムで、そのリソースについての READ 権限をユーザーに付与します。
PWX-03351	リソースが一致しません。リモートアクセスが「許可」されています。
説明：	リモートシステムに送信された文字と返信されてきた文字とで、リソース名が一致しませんでした。このメッセージでは、権限チェックの結果（許可を表す 1 または不許可を表す 0 のいずれか）も表示されません。
システムのアクション：	処理を終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-03352	予期した長さ <i>length</i>、名前「<i>name</i>」、<i>hexadecimal_value</i>。
説明：	このメッセージには、リモートシステムに送信されたリソース名が表示されます。
システムのアクション：	処理を終了します。
ユーザの応答：	詳細は、表示されるメッセージ PWX-03351 を参照してください。
PWX-03353	実際の長さ <i>length</i>、名前「<i>name</i>」、<i>hexadecimal_value</i>。
説明：	このメッセージには、リモートシステムから送信されてきたリソース名が表示されます。
システムのアクション：	処理を終了します。
ユーザの応答：	詳細は、表示されるメッセージ PWX-03351 を参照してください。
PWXmmm-03400	プロセッサをチェックしています...
説明：	初期化コードにより、プレフィックスが付いた保存領域とのアンカーを解除されたプロセッサ通信配列がスキャンされます。
システムのアクション：	処理は継続します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。

PWXmmm-03401 Cpu *nn* Serial *xxx* Type *type* Rel.Speed *speed*

説明： PowerExchange は、システム上で見つかったプロセッサごとにこのメッセージを表示します。 *type* は CP または zIIP です。

システムのアクション： 処理は継続します。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWXmmm-03402 zIIP **オフロードに利用できるプロセッサがありません。**

説明： PowerExchange では、システム上に利用可能な zIIP が見つかりませんでした。

システムのアクション： 処理は継続します。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWXmmm-03403 zIIP **オフロードに使用できるプロセッサが *n* 個存在します**

説明： 示されている数の zIIP プロセッサをこのシステムで使用できることが PowerExchange によって確認されました。

システムのアクション： 処理は継続します。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWXmmm-03404 WLM **への接続に失敗しました。戻りコード= *return_code*、理由= *reason_code***

説明： Workload Manager への接続中にエラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は停止します。

ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWXmmm-03405 WLM Sub = *type* Subn = *instance* token = *token* **に接続**

説明： このメッセージは、Workload Manager への接続に成功したことを示す情報を表示します。

システムのアクション： 処理は継続します。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWXmmm-03406 WLM **からの切断に失敗しました。戻りコード= *return_code***

説明： Workload Manager からの切断時にエラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は停止します。

ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWXmmm-03407 WLM Sub = *type* Subn = *instance* token = *token* **から切断**

説明： このメッセージは、Workload Manager からの正常な切断を示す情報を表示します。

システムのアクション: 処理は継続します。
ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWXmmm-03408 **作業の WLM への分類に失敗しました。戻りコード=**
return_code、**理由=** *reason_code*

説明: 作業の Workload Manager への分類中にエラーが発生しました。

システムのアクション: 処理は停止します。
ン:

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWXmmm-03409 **作業を WLM Service クラス =** *service_class_token* **に分類し**
ます

説明: このメッセージは、作業が Workload Manager に正常に分類されたことを示す情報を表示します。

システムのアクション: 処理は継続します。
ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWXmmm-03410 **WLM 領域の作成に失敗しました。戻りコード=**
return_code、**理由=** *reason_code*

説明: Workload Manager 領域の作成中にエラーが発生しました。

システムのアクション: 処理は停止します。
ン:

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWXmmm-03411 **WLM Create Enclave 関数=** *function_name* **領域トークン=**
token

説明: このメッセージは、Workload Manager 領域が正常な作成されたことを示す情報を表示します。

システムのアクション: 処理は継続します。
ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWXmmm-03412 **WLM 領域の削除に失敗しました。戻りコード=**
return_code、**理由=** *reason_code*

説明: Workload Manager 領域の削除中にエラーが発生しました。戻りコード=4 の場合、領域がほかの作業を処理していることが原因でエラーが発生した可能性があります。

システムのアクション: 戻りコード=4 の場合、処理は続行されます。それ以外の場合、処理は停止します。

ユーザの応答: 戻りコード=4 以外の場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWXmmm-03413 WLM **領域の削除関数**= *function_name* **領域トークン**= *token*

説明： このメッセージは、Workload Manager 領域が正常に削除されたことを示す情報を表示します。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWXmmm-03414 WLM **におけるルール設定に失敗しました。戻りコード**= *return_code*、**理由**= *reason_code*

説明： IBM Workload Manager でエラーが発生しました。戻りコード=4 の場合、IEAOPTxx パラメータ PROJECTCPU が NO に設定されている可能性があります。

システムのアクション： zIIP が定義されていないシステムで戻りコード=0 または戻りコード=4 の場合、処理が続行します。それ以外の場合、処理は停止します。

ユーザの応答： システムで zIIP が定義されていない場合は、IEAOPTxx パラメータが PROJECTCPU=YES であるかを確認します。このメッセージが継続的に表示される場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWXmmm-03415 WLM Set Rules tok = *token* id = *ID* ver = *version* cnt = *count*
Dur = *duration* Pct = *percent*

説明： このメッセージは、zIIP 処理用のオフロードルールが適用されたことを示す情報を表示します。ルールでは最大で 100%の期間が許可されます。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWXmmm-03416 Pause Element **トークンの割り当てに失敗しました。戻りコード**= *return_code*

説明： タスクまたはサービス要求ブロックのいずれかで、タスク同期の Pause Element の割り当てに失敗しました。メッセージ ID で、*mmm* はタスクの GPE またはサービス要求ブロックの SMN を表します。

システムのアクション： 処理は停止します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWXmmm-03417 Pause Element **トークンの割り当て解除に失敗しました。戻りコード**= *return_code*

説明： タスクまたはサービス要求ブロックのいずれかで、Pause Element の割り当て解除に失敗しました。メッセージ ID で、*mmm* はタスクの GPE またはサービス要求ブロックの SMN を表します。

システムのアクション： 処理は停止します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWXmmm-03418	SRB のスケジュールに失敗しました。戻りコード= <i>return_codecc = srb_return_code</i> 理由= <i>reason</i>
説明:	サービス要求ブロックのスケジュールを試みた際にエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は停止します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-03450	領域 SRB の終了中にエラーが発生しました - ハンドルが破損しています
説明:	領域のサービス要求ブロックの終了に使用されるハンドルが破損しています。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-03452	TRACE はアクティブですが zIIP サポートが無効になっています。
説明:	zIIP Exploitation がトレースと互換性がなく、無効になっています。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-03500	読み取りエラー詳細情報: <i>information。</i>
説明:	このメッセージには、以前に報告されたファイル読み取りエラーについての詳細情報が表示されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-03501	書き込みエラー詳細情報: <i>information。</i>
説明:	このメッセージには、以前に報告されたファイル書き込みエラーについての詳細情報が表示されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-03502	読み取りエラー: 計算された行の長さ <i>row_length</i> がゼロ未満です。
説明:	このメッセージには、計算された行の長さに関して以前に報告されたエラーについての情報が表示されます。長さをゼロ未満にすることはできません。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-03503	読み取りエラー: レコード切り詰め。行の長さ <i>row_length</i>、レコード長 <i>record_length</i>。
説明:	このメッセージには、切り詰められたレコードに関して以前に報告された読み取りエラーについての詳細情報が表示されます。切り詰められたレコード長と計算された行の長さが一致しません。

ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-03504	DBAPI SEQ ファイル名 " <i>table_name</i> " 書き込みエラー <i>error_description</i> 。
説明：	PowerExchange タスクが指定されたテーブルにレコードを書き込んでいるときにエラーが発生しました。このメッセージにはエラーの原因が含まれます。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-03600	マップ <i>schema.map_name</i> がシーケンスフィールドに対して無効です。レコード <i>record_name</i> がテーブル <i>table_name1</i> および <i>table_name2</i> で使用されています。レコードごとに許可されているテーブルは 1 つのみです。
説明：	生成されたシーケンスフィールドがある 2 つのテーブルで 1 つのレコードを使用することはできません。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	重複テーブルを削除します。
PWX-03601	マップ <i>schema.map_name</i> の再ロードに失敗しました。数値テーブル <i>number</i>。テーブル <i>table_name</i>。
説明：	ユーザー定義フィールドが編集された後にデータマップを再ロードできませんでした。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	一緒に表示されるエラーメッセージを参照してください。
PWX-03602	マップ <i>schema.map_name</i> にテーブルがありません。要求されたテーブル <i>table_name</i>。
説明：	要求されたテーブルが見つからないため、データマップをロードできませんでした。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	詳細については、一緒に表示されるエラーメッセージを参照してください。テーブル名が正しく指定されていることを確認し、必要に応じてデータマップを再作成して問題を修正してください。
PWX-03603	マップ <i>schema.map_name</i> にレコード行が含まれていません。
説明：	データマップまたは抽出マップのレコードを処理できませんでした。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	データマップまたは抽出マップを再作成してください。

PWX-03604	メタデータ処理のため <i>number</i> 個のマップのロード中にエラーが発生しました。
説明:	メタデータ処理のためにデータマップまたは抽出マップをロードするときにエラーが見つかりました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	データマップまたは抽出マップを再作成してください。
PWX-03605	メタデータ処理のため <i>number_maps</i> 個のマップのロード中にエラーが発生しました。 <i>number_errors</i> 個のマップエラーが詳細ログにのみあります。
説明:	データまたは抽出マップのロード中に、大量のエラーが見つかりました。エラーの一部はアプリケーションに報告されましたが、多くのエラーはログファイルにのみ記録されました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	データマップまたは抽出マップを再作成してください。
PWX-03606	マップ <i>schema_name.map_name</i> の <i>access_method</i> (<i>description</i>) が、必須リスト <i>access_method_list</i> にありません。
説明:	データマップのアクセス方式が、データマップメタデータが必要とするリストにありません。
システムのアクション:	マップはロードされず、メタデータ処理では無視されます。スキーマまたはマップ名にワイルドカードを使用していないデータマップが1つだけ含まれるタスクの場合、処理が終了します。複数のマップが含まれるタスクの場合、このメッセージにはログに記録されていないメタデータについての詳細情報が表示されます。
ユーザの応答:	タスクにデータマップが1つだけ含まれる場合は、アクセス方式フィルタを削除してからタスクを再試行してください。タスクに複数のデータマップが含まれる場合は、データマップとアクセス方式リストの競合を解決する必要があります。
PWX-03611	SSID が指定されていないため、IMS マップ <i>schema.data_map_name</i> が処理されませんでした。
説明:	データマップで SSID が指定されていないため、IMS データマップの DBD ロードモジュールから PowerExchange が追加のメタデータを取得できません。
システムのアクション:	PowerExchange がデータマップを処理できません。メタデータのインポート時に、PowerExchange はデータマップを無視します。複数レコードの IMS アンロードファイルのランタイム処理中に、処理が異常終了します。
ユーザの応答:	データマップに SSID を追加します。

PWX-03612	DBD 名が指定されていないため、IMS マップ <i>schema.data_map_name</i> が処理されませんでした。
説明：	データマップで DBD 名が指定されていないため、PowerExchange が IMS データマップの DBD ロードモジュールから追加のメタデータを取得できませんでした。
システムのアクション：	PowerExchange がデータマップを処理できません。メタデータのインポート時に、PowerExchange はデータマップを無視します。複数レコードの IMS アンロードファイルのランタイム処理中に、処理が異常終了します。
ユーザの応答：	データマップに DMD 名を追加します。
PWX-03613	SSID <i>ssid</i> の DBD <i>dbd_name</i> から情報を取得中にエラー <i>error_code</i> が発生したため、IMS マップ <i>schema.data_map_name</i> が処理されませんでした。
説明：	エラーが発生したため、IMS データマップの DBD ロードモジュールから PowerExchange がメタデータを取得できません。
システムのアクション：	PowerExchange がデータマップを処理できません。メタデータのインポート時に、PowerExchange はデータマップを無視します。複数レコードの IMS アンロードファイルのランタイム処理中に、処理が異常終了します。
ユーザの応答：	エラーの詳細については、一緒に表示されるエラーメッセージを参照します。
PWX-03614	IMS マップ <i>schema.data_map_name</i> のエラーです。セグメント <i>segment_name</i> に親はありませんが、ルートセグメントでもありません。
説明：	指定した IMS セグメントには親セグメントがなく、かつデータマップのルートセグメントでもありません。これらの条件のうちひとつを満たす必要があります。
システムのアクション：	PowerExchange がデータマップを処理できません。メタデータのインポート時に、PowerExchange はデータマップを無視します。複数レコードの IMS アンロードファイルのランタイム処理中に、処理が異常終了します。
ユーザの応答：	指定したセグメントに親セグメントを持たせるか、データマップでルートセグメントとして特定します。
PWX-03615	IMS マップ <i>schema.data_map_name</i> のエラーです。セグメント <i>segment_name1</i> およびセグメント <i>segment_name2</i> の両方がルートセグメントとしてマークされています。
説明：	IMS データマップが 2 つのセグメントをルートセグメントとして特定しています。ルートセグメントとしてマークできるのは、1 つのセグメントのみです。
システムのアクション：	PowerExchange がデータマップを処理できません。メタデータのインポート時に、PowerExchange はデータマップを無視します。複数レコードの IMS アンロードファイルのランタイム処理中に、処理が異常終了します。

ユーザの応答： データマップの 1 つのレコードだけをルートセグメントとして指定します。

PWX-03616 **IMS マップ *schema.data_map_name* のエラーです。親セグメント *parent_segment* は、セグメント *segment_name* には使用できません。**

説明： 指定した IMS の親セグメントのデータマップにレコードおよびテーブルが含まれていません。

システムのアクション： PowerExchange がデータマップを処理できません。メタデータのインポート時に、PowerExchange はデータマップを無視します。複数レコードの IMS アンロードファイルのランタイム処理中に、処理が異常終了します。

ユーザの応答： データマップで親セグメントにレコードとテーブルを定義します。

PWX-03617 **マップ *schema.data_map_name* のエラーです。*segment_name1* は *segment_name2* の親であり、子です。**

説明： 単一の IMS セグメントが他のセグメントの親と子の両方としてマークされており、無限ループが生じています。

システムのアクション： PowerExchange がデータマップを処理できません。メタデータのインポート時に、PowerExchange はデータマップを無視します。複数レコードのファイルのランタイム処理中に処理が異常終了します。

ユーザの応答： データマップでそのセグメントに正しい親レコードを定義します。

PWX-03618 **マップ *schema.data_map_name* のエラー。レコード "*record_name*" にはレコード ID 条件がありませんが、レコードを再定義するためのベースになっています。**

説明： データマップで、再定義がベースにしている指定したレコードにレコード ID 値の条件を持つフィールドがありません。

システムのアクション： PowerExchange がデータマップを処理できません。メタデータのインポート時に、PowerExchange はデータマップを無視します。複数レコードのファイルのランタイム処理中に処理が異常終了します。

ユーザの応答： レコードのフィールドにレコード ID 条件を追加します。

PWX-03619 **マップ *schema.data_map_name* のエラー。レコード "*record_name*" には、レコード ID 条件がありませんが、レコード "*record_name_*" を再定義します。**

説明： データマップで、再定義したレコードがベースにしている指定したレコードにレコード ID 値の条件を持つフィールドがありません。

システムのアクション： PowerExchange がデータマップを処理できません。メタデータのインポート時に、PowerExchange はデータマップを無視します。複数レコードのファイルのランタイム処理中に処理が異常終了します。

ユーザの応答： レコードのフィールドにレコード ID 条件を追加します。

PWX-03620	マップ <i>schema.data_map_name</i> のエラー。再定義のためのベースレコード '<i>record_name</i>' がデータマップにありません。
説明:	再定義したレコードがベースにしているベースレコードがデータマップにありません。
システムのアクション:	PowerExchange がデータマップを処理できません。メタデータのインポート時に、PowerExchange はデータマップを無視します。複数レコードのファイルのランタイム処理中に処理が異常終了します。
ユーザの応答:	必要なベースレコードをデータマップに追加するか、再定義したレコードを削除します。
PWX-03631	マップキャッシュの初期化に失敗しました。スキーマ '<i>schema</i>'。マップ '<i>map_name</i>'。テーブル '<i>table_name</i>'。タイプ '<i>map_type</i>'。戻りコード=<i>code</i>。
説明:	Linux、UNIX、または Windows システム上で、PowerExchange が指定されたデータマップまたは抽出マップのキャッシュに対してメモリを割り当て中にキャッシュの初期化エラーが発生しました。このメッセージは、マップに関連付けられているスキーマとテーブル、マップ名とタイプ、およびエラーの戻りコードを報告します。 <i>map_type</i> は、データマップの DMX または抽出マップの CRX です。
システムのアクション:	キャッシュ済みマップの処理は失敗します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-03632	キャッシュされたデータマップの取得エラー。スキーマ '<i>schema</i>'。マップ '<i>map_name</i>'。テーブル '<i>table_name</i>'。タイプ '<i>map_type</i>'。戻りコード=<i>return_code</i>。
説明:	Linux、UNIX、または Windows システム上で、PowerExchange がキャッシュされたデータマップまたは抽出マップを取得中にエラーが発生しました。このメッセージは、マップに関連付けられているスキーマとテーブル、マップ名とタイプ、およびエラーの戻りコードを報告します。 <i>map_type</i> は、データマップの DMX または抽出マップの CRX です。
システムのアクション:	PowerExchange は、キャッシュを使用しないで直接マップを取得しようとします。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-03633	キャッシュへのデータマップの追加エラー。スキーマ '<i>schema</i>'。マップ '<i>map_name</i>'。テーブル '<i>table_name</i>'。タイプ '<i>map_type</i>'。戻りコード=<i>return_code</i>。
説明:	Linux、UNIX、または Windows システム上で、PowerExchange がデータマップまたは抽出マップをキャッシュに追加中にエラーが発生しました。このメッセージは、マップに関連付けられているスキーマとテーブル、マップ名とタイプ、およびエラーの戻りコードを報告します。 <i>map_type</i> は、データマップの DMX または抽出マップの CRX です。
システムのアクション:	PowerExchange は、キャッシュを使用しないで直接マップを取得しようとします。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-03640 **マップ *schema.map_name* レコード *record_name* には位置 *position* 長さ *length* に検索フィールド *field_name* がありますが、レコードにはフィールドが含まれていません。**

説明： レコードにフィールドがないため、PowerExchange データマップレコードのこの検索フィールドは使用できません。IMS DBD をインポートしてデータマップを作成すると、PowerExchange によって検索フィールドが作成されます。レコードのフィールドは、IMS コピーブックをインポートするか、データマップを手動で編集することによって作成できます。

システムのアクション： 処理は続きます。PKEYS メタデータでは検索フィールドはスキップされます。

ユーザの応答： データマップの内容を確認してください。必要に応じて、IMS コピーブックをインポートするか、データマップを編集して、レコードに必要なフィールドを作成してください。

PWX-03641 **マップ *schema.map_name* レコード *record_name* には位置 *position* 長さ *length* に検索フィールド *field_name* がありますが、この位置に定義されているフィールドがありません。**

説明： レコードには指定された位置に一致するフィールドがないため、PowerExchange データマップレコードのこの検索フィールドは使用できません。IMS DBD をインポートしてデータマップを作成すると、PowerExchange によって検索フィールドが作成されます。レコードのフィールドは、IMS コピーブックをインポートするか、データマップを手動で編集することによって作成できます。

システムのアクション： 処理は続きます。PKEYS メタデータでは検索フィールドはスキップされます。

ユーザの応答： 検索フィールドが正しく定義されていることを確認してください。PowerExchange Navigator で、[オプション] > [設定] で、[フィールドオフセットの表示] が選択されていることを確認します。

検索フィールド位置のフィールドオフセットを確認してください。オフセットの採番は 0 から始まりますが、位置の採番は 1 から始まります。

PowerExchange Navigator を使用して、検索フィールドと一致するようにデータマップレコードのフィールドを追加、削除、変更してください。

PWX-03642 **マップ *schema.map_name* レコード *record_name* には位置 *position* 長さ *length* の検索フィールド *field_name* がありますが、この位置のフィールド *field_name* はそれより長い *length* です。**

説明： 指定された位置の一致するフィールドが想定される長さでないため、PowerExchange データマップレコードのこの検索フィールドは使用できません。

システムのアクション： 処理は続きます。PKEYS メタデータでは検索フィールドはスキップされます。

ユーザの応答：	検索フィールドが正しく定義されていることを確認してください。データマップレコードのフィールドが正しく定義されていることを確認してください。
PWX-03643	マップ <i>schema.map_name</i> レコード <i>record_name</i> には位置 <i>position</i> 長さ <i>length</i> に検索フィールド <i>field_name</i> がありますが、この位置にある <i>number</i> 個のフィールドの長さは <i>length</i> です。
説明：	PowerExchange データマップレコードのこの検索フィールドは使用できません。指定された位置に複数のフィールドが見つかりましたが、長さが検索フィールドの長さとは一致しません。これは、PowerExchange 非リレーショナルソースに対する WHERE 句を含むデータマップで発生することがあります。WHERE 句を部分的なフィールドと照合することはできません。検索フィールドの長さは、完全なフィールドを表している必要があります。
システムのアクション：	処理は続きます。PKEYS メタデータでは検索フィールドはスキップされます。
ユーザの応答：	検索フィールドが正しく定義されていることを確認してください。データマップレコードのフィールドが正しく定義されていることを確認してください。
PWX-03700	PWXUCREG:インスタンスが「<i>instance_id</i>」、ステータスが「<i>registration_status</i>」でバージョンが「<i>registration_version</i>」の登録「<i>registration_name</i>」、はすでに一時停止されています。
説明：	すでに一時停止されているキャプチャ登録に PWXUCREG ユーティリティコマンド SUSPEND_REGISTRATION を発行しようとしてしました。一時停止できるのはアクティブな登録のみです。
システムのアクション：	ユーティリティは終了します。
ユーザの応答：	ユーティリティ入力コマンド文が正しく、登録の【ステータス】が【アクティブ】に設定されていることを確認します。その後、ユーティリティを再度実行します。
PWX-03701	PWXUCREG:インスタンスが「<i>instance_id</i>」、ステータスが「<i>registration_status</i>」でバージョンが「<i>registration_version</i>」の登録「<i>registration_name</i>」はすでにアクティブになっています。
説明：	すでにアクティブになっているキャプチャ登録に PWXUCREG ユーティリティコマンド ACTIVATE_REGISTRATION を発行しようとしてしました。このコマンドで再有効化できるのは、一時停止された登録のみです。
システムのアクション：	ユーティリティは終了します。
ユーザの応答：	ユーティリティ入力コマンド文が正しく、登録の【ステータス】が【一時停止中】に設定されていることを確認します。その後、ユーティリティを再度実行します。

PWX-03702 PWXUCREG:インスタンスが「*instance_id*」、ステータスが「*registration_status*」で、バージョンが「*registration_version*」の登録「*registration_name*」は一時停止されていません。

説明： ステータスが[一時停止中]でないキャプチャ登録にPWXUCREGユーティリティコマンドCANCEL_SUSPEND_REGISTRATIONを発行しようとした。このコマンドは、登録ステータスを[一時停止中]から[アクティブ]にリセットするためのもので、誤って、または不適切なタイミングで以前に発行したSUSPEND_REGISTRATIONコマンドを取り消すことができる場合があります。

システムのアクション： ユーティリティは終了します。

ユーザの応答： ユーティリティコマンドの入力を修正し、そのユーティリティを必要に応じて再度実行します。

PWX-03703 PWXUCREG:インスタンスが「*instance_id*」、ステータスが「*registration_status*」で、バージョンが「*registration_version*」の登録「*registration_name*」はアクティブではありません。

説明： ステータスが[アクティブ]でないキャプチャ登録にPWXUCREGユーティリティコマンドCANCEL_ACTIVATE_REGISTRATIONを発行しようとした。このコマンドは、登録ステータスを[アクティブ]から[一時停止中]にリセットするためのもので、誤って、または不適切なタイミングで以前に発行したACTIVATE_REGISTRATIONコマンドを取り消すことができる場合があります。

システムのアクション： ユーティリティは終了します。

ユーザの応答： ユーティリティコマンドの入力を修正し、そのユーティリティを必要に応じて再度実行します。

PWX-03704 PWXUCREG:インスタンスが「*instance_id*」、ステータスが「*registration_status*」で、バージョンが「*registration_version*」の登録「*registration_name*」はアクティブではありません。

説明： キャプチャ登録の現在のシステム時間よりも前の変更データのキャプチャを防止するPWXUCREGユーティリティコマンドDROP_OLD_REGISTRATION_DATAを発行しようとした。ただし、指定された登録がアクティブでなかったため、このコマンドは失敗しました。

システムのアクション： ユーティリティは終了します。

ユーザの応答： ユーティリティ入力コマンド文が正しく、登録の[ステータス]設定が[アクティブ]であることを確認します。その後、ユーティリティを再度実行します。

PWX-03705 PWXUCREG:処理に使用できるキャプチャ登録はありません

説明： PWXUCREGユーティリティでキャプチャ登録、または入力コマンドの条件に一致する登録は見つかりませんでした。

システムのアクション ユーティリティは終了します。
ン：

ユーザの応答： ユーティリティ入力コマンド文が正しいことを確認します。その後、ユーティリティを再度実行します。

PWX-03706 PWXUCREG:処理に使用できるアクティブなキャプチャ登録はありません

説明： PWXUCREG でアクティブなキャプチャ登録、または入力コマンドの条件に一致する登録は見つかりませんでした。このユーティリティには、要求された処理を実行するアクティブな登録が必要です。

システムのアクション ユーティリティは終了します。
ン：

ユーザの応答： ユーティリティ入力コマンド文が正しいことを確認します。その後、ユーティリティを再度実行します。

PWX-03707 PWXUCREG:処理に使用できる一時停止されたキャプチャ登録はありません

説明： PWXUCREG で一時停止されたキャプチャ登録、または入力コマンドの条件に一致する登録は見つかりませんでした。このユーティリティには、要求された処理を実行する一時停止中の登録が必要です。

システムのアクション ユーティリティは終了します。
ン：

ユーザの応答： ユーティリティ入力コマンド文が正しいことを確認します。その後、ユーティリティを再度実行します。

PWX-03708 PWXUCREG:表示に使用できるキャプチャ登録一致条件はありません。

説明： PWXUCREG ユーティリティでキャプチャ登録、または DISPLAY_REGISTRATION コマンドの入力条件に一致する登録は見つかりませんでした。

システムのアクション ユーティリティは終了します。
ン：

ユーザの応答： ユーティリティ入力コマンド文が正しいことを確認します。その後、ユーティリティを再度実行します。

PWX-03709 PWXUCREG:インスタンスが「*instance_id*」でバージョンが「*registration_version*」の登録「*registration_name*」は、一時停止がキャンセルされ、ステータスが「*status1*」から「*status2*」に変更されました。 *additional_text*

説明： PWXUCREG ユーティリティは、指定されたキャプチャ登録に対する CANCEL_SUSPEND_REGISTRATION コマンドを正常に処理しました。このコマンドは、以前の一時停止要求をキャンセルし、登録ステータスを [一時停止中] から [アクティブ] に戻しました。コマンドに VALIDATE パラメータを指定した場合のみ、追加テキスト「**検証のみ**」がメッセージの末尾に表示されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。このメッセージは監査に使用されます。

PWX-03710	PWXUCREG:登録「 <i>registration_name</i> 」、バージョン「 <i>registration_version</i> 」、インスタンス「 <i>instance_id</i> 」。有効化が取り消され、ステータスが「アクティブ」から「一時停止中」に変更されました。 <i>additional_text</i>
説明:	PWXUCREG ユーティリティは、指定されたキャプチャ登録に対する CANCEL_ACTIVATE_REGISTRATION コマンドを正常に処理しました。一時停止状態の登録に対し以前 ACTIVATE_REGISTRATION コマンドを発行していた場合、この CANCEL_ACTIVATE_REGISTRATION コマンドによって再有効化要求が取り消され、登録ステータスがアクティブから一時停止に戻ります。コマンドに VALIDATE パラメータを指定した場合のみ、追加テキスト「**検証のみ**」がメッセージの末尾に表示されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。このメッセージは監査に使用されます。
PWX-03711	PWXUCREG:インスタンスが「 <i>instance_id</i> 」でバージョンが「 <i>registration_version</i> 」の登録「 <i>registration_name</i> 」の古いデータは削除しますが、ステータス「 <i>registration_status</i> 」は変更されません。 <i>additional_text</i>
説明:	PWXUCREG ユーティリティは、指定されたキャプチャ登録に対する DROP_OLD_REGISTRATION_DATA コマンドを正常に処理しました。このコマンドにより、ECCR が現在のシステム時間で変更データのキャプチャを開始し、以前のデータを削除します。登録ステータスは [アクティブ] のままです。コマンドに VALIDATE パラメータを指定した場合のみ、追加テキスト「**検証のみ**」がメッセージの末尾に表示されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。このメッセージは監査に使用されます。
PWX-03712	PWXUCREG:登録「 <i>registration_name</i> 」はタイプが「 <i>database_type</i> 」、インスタンスが「 <i>instance_id</i> 」で、バージョンが「 <i>registration_version</i> 」、現在のステータスが「 <i>registration_status</i> 」。
説明:	このメッセージには、現在の登録ステータスなど、PWXUCREG ユーティリティが処理したキャプチャ登録に関する情報が表示されます。このメッセージは、明示的なコマンド DISPLAY_REGISTRATION への応答として表示されるか、グローバルパラメータ DISPLAY_REGISTRATION_BEFORE_COMMAND または DISPLAY_REGISTRATION_AFTER_COMMAND に基づいて自動的に表示されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-03713	PWXUCREG:登録「 <i>registration_name</i> 」は「 <i>suspension_timestamp</i> 」に一時停止されました。現在時刻は「 <i>current_system_timestamp</i> 」です。
説明:	このメッセージには、以前の PWXUCREG ユーティリティコマンド SUSPEND_REGISTRATION によって設定された一時停止のタイムスタンプが表示されます。このメッセージは、明示的なコマンド DISPLAY_REGISTRATION への応答として表示されるか、グローバルパラメータ DISPLAY_REGISTRATION_AFTER_COMMAND に基づいて自動的に表示されます。現在時刻の値は、表示要求がいつ処理されたかを示します。

ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-03714	PWXUCREG:登録「 <i>registration_name</i> 」は、「 <i>activation_timestamp</i> 」に有効化されました。現在の時刻は「 <i>current_system_timestamp</i> 」です。
説明：	このメッセージには、以前の PWXUCREG ユーティリティコマンド ACTIVATE_REGISTRATION によって設定された有効化のタイムスタンプが表示されます。このメッセージは、明示的なコマンド DISPLAY_REGISTRATION への応答として表示されるか、グローバルパラメータ DISPLAY_REGISTRATION_AFTER_COMMAND に基づいて自動的に表示されます。現在時刻の値は、表示要求がいつ処理されたかを示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-03715	PWXUCREG:行 <i>line_number</i> から始まる文「 <i>utility_command_statement</i> 」で終了しています
説明：	JCL 入力に指定された行番号で開始するコマンド文を処理中に PWXUCREG ユーティリティでエラーが発生しました。
システムのアクション：	ユーティリティは終了します。
ユーザの応答：	入力文が正しく指定されていることを確認します。
PWX-03716	PWXUCREG:インスタンスが「 <i>instance_id</i> 」で、バージョンが「 <i>registration_version</i> 」の登録「 <i>registration_name</i> 」はステータスが「 <i>status1</i> 」から「 <i>status2</i> 」に変更されました。 <i>additional_text</i>
説明：	PWXUCREG ユーティリティコマンドに回答して、指定されたキャプチャ登録のステータスが [アクティブ] から [一時停止中]、または [一時停止中] から [アクティブ] に変更されました。コマンドに VALIDATE パラメータを指定した場合のみ、追加テキスト「**検証のみ**」がメッセージの末尾に表示されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。このメッセージは監査に使用されます。
PWX-03717	PWXUCREG:処理された登録の数 <i>number additional_text</i>
説明：	PWXUCREG ユーティリティが指定された数のキャプチャ登録を処理しました。コマンドに VALIDATE パラメータを指定した場合のみ、追加テキスト「**検証のみ**」がメッセージの末尾に表示されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-03718	PWXUCREG:インスタンス「 <i>instance_id</i> 」に対する「バージョン「 <i>registration_version</i> 」の登録「 <i>registration_name</i> 」処理中のエラー戻りコード <i>return_code</i> 」。
説明：	PWXUCREG ユーティリティが指定されたキャプチャ登録を処理中にエラーが発生しました。このメッセージにはエラー戻りコードが表示されます。
ユーザの応答：	PWXUCREG 入力コマンド文および登録が正しいことを確認します。必要な場合、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。このメッセージの情報をサポートに伝えます。

PWX-03719	PWXUCREG:すべてのコマンドが処理されました。入力ファイルの末尾です
説明:	PWXUCREG ユーティリティが、PWXSYSIN 入力のすべてのコマンドを処理しました。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-03720	PWXUCREG:GENERIC=Y が指定されていない限り、汎用操作は許可されません。
説明:	複数のキャプチャ登録に対してコマンドを実行する PWXUCREG ユーティリティの場合は、入力コマンドに GENERIC=Y を指定する必要があります。
システムのアクション:	ユーティリティは終了します。
ユーザの応答:	ユーティリティ入力コマンド文に GENERIC=Y が含まれていることを確認します。その後、ユーティリティを実行します。
PWX-03721	PWXUCREG:入力文がデフォルトで拡張されました:
説明:	このメッセージは、PWXUCREG ユーティリティの拡張入力文を説明するもので、デフォルト値が設定されたパラメータが含まれています。拡張された文は後続のメッセージに表示されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-03722	PWXUCREG:戻りコード <i>error_return_code</i> のエラーにより終了しました。
説明:	PWXUCREG ユーティリティ処理中にエラーが発生しました。このメッセージにはエラー戻りコードが表示されます。
システムのアクション:	ユーティリティは異常終了します。
システムのアクション:	関連メッセージを参照します。ユーティリティ入力が誤っていたためにエラーが発生した場合は、入力コマンド文を修正し、ユーティリティを再度実行します。それ以外の場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-03723	PWXUCREG:タイプ「<i>database_type</i>」の場合、インスタンスが「<i>instance_id</i>」、ステータスが「<i>registration_status</i>」で、バージョンが「<i>registration_version</i>」の登録「<i>registration_name</i>」のバイパスは許可されていません。
説明:	PWXUCREG ユーティリティは、キャプチャ登録ステータスの変更要求をバイパスしました。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。このメッセージは監査に使用されます。
PWX-03724	PWXUCREG:表示された登録数 <i>number</i>
説明:	PWXUCREG ユーティリティが、DISPLAY_REGISTRATION コマンドへの応答として、指定された数のキャプチャ登録に関する情報を表示しました。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-03725	PWXUCREG:インスタンスが「 <i>instance_id</i> 」、ステータスが「 <i>registration_status</i> 」、タイプが「 <i>database_type</i> 」で、バージョンが「 <i>registration_version</i> 」の登録「 <i>registration_name</i> 」が汎用操作中にバイパスしました。
説明:	PWXUCREG ユーティリティは、複数のキャプチャ登録に対してステータス変更を要求する、GENERIC=Y が設定されたコマンドをバイパスしました。このコマンドでは登録のストアドステータスは有効ではありません。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。このメッセージは監査に使用されます。
PWX-03726	PWXUCREG:インスタンスが「 <i>instance_id</i> 」でバージョンが「 <i>registration_version</i> 」の登録「 <i>registration_name</i> 」の一時停止ウィンドウがリセットされ、ステータスが「 <i>registration_status</i> 」に変更されました <i>additional_text</i> 。
説明:	PWXUCREG ユーティリティがキャプチャ登録の一時停止ウィンドウのタイムスタンプをクリアし、RESET_SUSPENSION_WINDOW に応答して登録ステータスを [アクティブ] にリセットしました。コマンドに VALIDATE パラメータを指定した場合のみ、追加テキスト「**検証のみ**」がメッセージの末尾に表示されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。このメッセージは監査に使用されます。
PWX-03727	PWXUCREG: 登録「 <i>registration_name</i> 」、バージョン「 <i>registration_version</i> 」、インスタンス「 <i>instance_id</i> 」、ステータス「 <i>status</i> 」。これは一度も一時停止も PWXUCREG による有効化も行われたことはありません。
説明:	一度も一時停止したことのない、あるいは PWXUCREG ユーティリティで再有効化されたことのないキャプチャ登録に対して、CANCEL_ACTIVATE_REGISTRATION コマンドを発行する試みが行われました。
システムのアクション:	PWXUCREG ユーティリティが異常終了します。
ユーザの応答:	コマンドの入力パラメータを修正してください。必要があればコマンドを再実行してください。
PWX-03728	PWXUCREG: 登録「 <i>registration_name</i> 」、バージョン「 <i>registration_number</i> 」、インスタンス「 <i>instance_id</i> 」、ステータス「 <i>status</i> 」。タイムスタンプが有効化の取り消しと一致しませんでした。
説明:	有効になっているが有効化のタイムスタンプが一時停止のタイムスタンプと互換性のない登録に対して、PWXUCREG ユーティリティで CANCEL_ACTIVATE_REGISTRATION コマンドを発行する試みが行われました。例えば、有効化のタイムスタンプが一時停止のタイムスタンプより古い場合などです。
システムのアクション:	PWXUCREG ユーティリティが異常終了します。
ユーザの応答:	コマンドの入力パラメータを修正してください。必要があればコマンドを再実行してください。

PWX-03729	登録"registration_name"、バージョン"version"、インスタンス"instance_id"、ステータス"registration_status"、タイプ"database_type"は削除されませんでした。最終更新時刻が"date_time"であるためです。
説明：	この監査メッセージは、PWXUCREG ユーティリティの DELETE_INACTIVE_REGISTRATION コマンドで指定されたデータベースタイプ、インスタンス、およびフィルタパラメータを満たした登録を示します。 DELETE_INACTIVE_REGISTRATION コマンドでは、LAST_UPDATED_BEFORE_DATE パラメータも指定されます。 LAST_UPDATED_BEFORE_DATE が指定されている場合は、LAST_UPDATED_BEFORE_DATE パラメータの日付より前の登録のみが削除されます。LAST_UPDATED_BEFORE_DATE フィルタ値で指定されたフィルタ日付より後に更新された登録は削除されません。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-03730	登録"registration_name"、バージョン"registration_version"、インスタンス"instance_id"、ステータス"registration_status"、タイプ"database_type"は削除されました。
説明：	この監査メッセージは、どの登録が削除されたかを示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-03801	IMS アンロードファイル「file_name」のレコード長 record_length が小さすぎます。ヘッダレコードの最小サイズは min_size です。
説明：	IMS アンロードファイルの最大レコード長が小さすぎます。ヘッダレコードを書き込めませんでした。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	十分なレコード長をファイルに割り当てるようにします。ほとんどの場合、27KB のように大きな LRECL 最大レコード長を推奨します。
PWX-03802	IMS アンロードファイル「file_name」のレコード長 length が小さすぎて、レコードプレフィックス number とデータ number を収容できません。
説明：	IMS アンロードファイルの最大レコード長が小さすぎます。データレコードを書き込めませんでした。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	十分なレコード長をファイルに割り当てるようにします。ほとんどの場合、27KB のように大きな LRECL 最大レコード長を推奨します。

PWX-03803 BMC DB ツール形式のアンロードファイル「*file_name*」は、**z/OS でのみ読み取ることができます。**

説明： BMC Database Management for IMS Solutions のアンロード関数を使用して IMS DEDB Fast Path アンロードファイルから領域番号を取得するには、PowerExchange の GetDatabaseKey()関数または GetIMSRBAByLevel()がデータマップに指定されていた場合、PowerExchange は IMS DEDB ランダマイザルーチンを呼び出す必要があります。したがって、Linux、UNIX、または Windows では、このファイルを読み取ることができません。

システムのアクション： 処理を終了します。

ユーザの応答： 以下のいずれかの対処を実行します。

- z/OS のノードを指定する。
- データマップから PowerExchange の GetDatabaseKey()関数や GetIMSRBAByLevel()関数を呼び出している RBA カラムを削除する。これらの関数にはランダマイザが必要です。
- IMS データベースを、IBM Trimar または BMC Trimar などの異なる IMS 形式にアンロードする。

PWX-03804 DEDB BMC DB ツール形式のアンロードファイル「*file_name*」は、**z/OS でのみ書き込むことができます。**

説明： BMC Database Management for IMS のアンロード関数を使用する IMS DEDB Fast Path のアンロードファイルに対して書き込みを行う際に領域番号と RAP/RBA 番号を取得するには、PowerExchange は IMS DEDB のランダマイザルーチンを呼び出す必要があります。したがって、Linux、UNIX、または Windows では、このファイルに書き込むことができません。

システムのアクション： 処理を終了します。

ユーザの応答： ターゲットの接続プロパティが確実に z/OS のノードを指定するようにしてください。

PWX-03821 **親セグメント *segment_name* の処理が行われないとセグメント "*segment_name*" の子セグメントには書き込みができません。**

説明： IMS アンロードファイルに複数のレコード書き込みを実行する PowerCenter セッションでは、親セグメントを持たない子セグメントにデータを書き込もうとすると失敗します。

システムのアクション： セッションが終了します。

ユーザの応答： 親セグメントがワークフローに含まれていることを確認します。

PWX-04000～PWX-04999

PWX-04000	文が <i>number</i> バイトまたは <i>number</i> トークンを超えました。文の残り部分は無視されました。
説明：	インポート中のファイル内の文が、長すぎるかトークン数が多すぎます。
システムのアクション：	インポート処理はエラーになっている文にフラグを付け、継続します。
ユーザの応答：	インポート中のファイルが言語構文に一致していることを確認します。正しい場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに、インポートファイルのコピーを添えて連絡します。
PWX-04001	PIC エラー - フィールド <i>field_name</i>、頭文字 <i>character</i> が無効です。
説明：	フィールド <i>field_name</i> の PICTURE 句が無効な文字で始まっています。
システムのアクション：	インポート処理はエラーになっている文にフラグを付け、継続します。
ユーザの応答：	フィールドの PICTURE 句が不正な文字 (X、9、S など) で始まっていないか確認します。正しい場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに、インポートファイルのコピーを添えて連絡します。
PWX-04002	PIC エラー - フィールド <i>field_name</i>、PIC <i>picture_clause</i> を、COMP_n の用途 <i>usage</i> と組み合わせて使用することはできません。
説明：	フィールド <i>field_name</i> の PICTURE 句は、comp-n 用途と組み合わせて使用することはできません。
システムのアクション：	インポート処理はエラーになっている文にフラグを付け、継続します。
ユーザの応答：	フィールドの PICTURE 句が言語構文に一致していることを確認します。正しい場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに、インポートファイルのコピーを添えて連絡します。
PWX-04003	PIC エラー - フィールド <i>field_name</i>、マッチングするカッコがないか、不正な文字 <i>character</i> があります。
説明：	フィールド <i>field_name</i> の PICTURE 句にマッチングするカッコがないか、不正な文字が含まれています。
システムのアクション：	インポート処理はエラーになっている文にフラグを付け、継続します。
ユーザの応答：	フィールドの PICTURE 句が言語構文に一致していることを確認します。正しい場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに、インポートファイルのコピーを添えて連絡します。

PWX-04004	PIC エラー - フィールド <i>field_name</i>、画像 <i>picture_clause</i> に含まれている文字が無効です。
説明：	フィールド <i>field_name</i> の PICTURE 句に不正な文字が含まれています。
システムのアクション：	インポート処理はエラーになっている文にフラグを付け、継続します。
ユーザの応答：	フィールドの PICTURE 句が言語構文に一致していることを確認します。正しい場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに、インポートファイルのコピーを添えて連絡します。
PWX-04005	PIC エラー - フィールド <i>field_name</i>、PIC <i>picture_clause</i> と用途 <i>usage</i> の組み合わせは無効です。
説明：	フィールド <i>field_name</i> の PICTURE 句は用途と互換性がありません。
システムのアクション：	インポート処理はエラーになっている文にフラグを付け、継続します。
ユーザの応答：	フィールドの PICTURE 句が言語構文に一致していることを確認します。正しい場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに、インポートファイルのコピーを添えて連絡します。
PWX-04006	PIC エラー - フィールド <i>field_name</i>、PIC <i>picture_clause</i> と用途 <i>usage</i> の桁数>18 です。
説明：	フィールド <i>field_name</i> の PICTURE 句は用途と互換性がありません。
システムのアクション：	インポート処理はエラーになっている文にフラグを付け、継続します。
ユーザの応答：	フィールドの PICTURE 句が言語構文に一致していることを確認します。正しい場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに、インポートファイルのコピーを添えて連絡します。
PWX-04007	PIC エラー - フィールド <i>field_name</i>、無効な型 <i>token</i>
説明：	フィールド <i>field_name</i> の PICTURE 句で、文中に無効なトークンがあります。
システムのアクション：	インポート処理はエラーになっている文にフラグを付け、継続します。
ユーザの応答：	フィールドの PICTURE 句が言語構文に一致していることを確認します。正しい場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに、インポートファイルのコピーを添えて連絡します。
PWX-04008	'LIKE'フィールド <i>field_name</i> は未インポートです。
説明：	PL/I インポートで、フィールドがその他のフィールドの 'LIKE' として定義されました。ただし、元のフィールドが存在しません。
システムのアクション：	インポート処理はエラーになっている文にフラグを付け、処理を続行します。
ユーザの応答：	元のフィールド名が正しいことを確認します。正しい場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにインポートファイルのコピーを添えて連絡します。

PWX-04009	完全修飾フィールド名 512 バイト - <i>field_name</i>
説明:	グループフィールドの PL/I インポートで LIKE 句を使用する際、PowerExchange は、元のエレメントフィールドと新しいグループ名を連結します。512 を超えた長さの名前を生成する場合に、このメッセージが生成されます。
システムのアクション:	インポート処理はエラーになっている文にフラグを付け、継続します。
ユーザの応答:	生成された名前が 512 未満の長さの文字列になるように、コピーブックの <i>field_names</i> を短くします。
PWX-04010	変数配列 <i>field_name</i> が出現数に設定されました
説明:	変数配列は、表示されている出現数に設定されました。PowerExchange は、変数の長さを決定できないため、デフォルト (通常 10) になります。
システムのアクション:	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答:	移動するデータに対して出現数が正しいことを確認します。正しくない場合は、PowerExchange のウィンドウインタフェースを使用して、配列のサイズを手動で変更できます。
PWX-04011	フィールド <i>field_name</i> の頭文字が数字です。"N"に変更されました。
説明:	フィールド名が文字ではなく、数字で始まっています。
システムのアクション:	システムは警告メッセージを示します。
ユーザの応答:	PowerExchange のフィールド名は数字で始まることはできません。フィールド名の頭文字が数字の場合、数字は 'N' に変更されます。
PWX-04012	長さがゼロのフィールドは無視されました。
説明:	PL/I では、長さゼロで定義されたフィールドが可能です。PowerExchange では、長さゼロのフィールドは使用できないので、無視されます。
システムのアクション:	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-04013	文字フィールド長の上限は number です。
説明:	PL/I では 32765 より大きい文字フィールドは使用できません。
システムのアクション:	インポート処理はエラーになっている文にフラグを付け、継続します。
ユーザの応答:	文字フィールドの長さが正しいことを確認します。正しい場合は、より小さなフィールドに分割してみます。

PWX-04014	文 <i>statement_number</i> にトークンが <i>number</i> 個あります。 <i>number</i> 個である必要があります。
説明:	PowerExchange がインポートするコピーブックを解析中に、予期しないエラーが発生しました。
システムのアクション:	コピーブックのインポート処理でエラーになっている文にフラグを付け、処理を続行します。
ユーザの応答:	インポートしようとしているコピーブックが現在の言語要件を満たしていることを確認します。
PWX-04015	外部浮動小数点フィールドが CHAR としてインポートされました。
説明:	PowerExchange は、外部浮動小数点の NUMCHAR 形式を FLOAT 型に変換できないため、CHAR フィールドとしてインポートしました。
システムのアクション:	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-04016	フィールド "<i>fieldname</i>" の精度 <i><precision></i> が、サポートされている最大値 <i><max_supported></i> (用途 "<i>usage</i>" に対する) を超えています。
説明:	フィールド <i>field_name</i> の精度句が大きすぎてサポートできません。
システムのアクション:	インポート処理はエラーになっている文にフラグを付け、継続します。
ユーザの応答:	フィールドの精度句が、PowerExchange でサポートしている最大値に適合していることを確認します。正しい場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに、インポートしているファイルのコピーを添えて連絡します。
PWX-04020	ソースのインポートが終了しました。
説明:	ソースのインポートが終了しました。
システムのアクション:	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-04021	<i>number</i> 個のレコードがインポートされました。
説明:	指定された数のレコードがインポート処理で作成されました。
システムのアクション:	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-04022	<i>number</i> 個のエラーが発生しました。
説明:	指定された数のエラーがインポート処理で報告されました。
システムのアクション:	システムは警告メッセージを示します。

ユーザの応答：	各エラーを確認し、各エラーメッセージの手順に従います。
PWX-04023	位置 <i>column_number</i> のレベル番号が無効です。
説明：	インポート処理は、文の最初のトークンとしてレベル番号を検索しましたが、検出できませんでした。
システムのアクション：	インポート処理はエラーになっている文にフラグを付け、継続します。
ユーザの応答：	インポート中のファイルが言語構文に一致していることを確認します。PowerExchange ウィンドウズインタフェースに設定されている開始列で、文の最初の外部文字が無視されていることを確認します。正しい場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに、インポートファイルのコピーを添えて連絡します。
PWX-04024	<i>field_name</i> の再定義は要求によってスキップされました。
説明：	再定義がユーザーによって選択されませんでした。
システムのアクション：	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-04025	<i>number</i> 個のフィールドがインポートされました。
説明：	指定された数のフィールドがインポート処理で作成されました。
システムのアクション：	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-04026	<i>number</i> 個のテーブルが作成されました。
説明：	指定された数のテーブルがインポート処理で作成されました。
システムのアクション：	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-04027	ネストが <i>number</i> レベルを超えています。フィールド <i>field_name</i> は無視されます。
説明：	PowerExchange ではネストのレベルに最大値があり、現在は 15 です。この値より深くネストされているフィールドは無視されます。
システムのアクション：	インポート処理はエラーになっている文にフラグを付け、継続します。
ユーザの応答：	コピーブックでレベルの数を調整してみます。不可能な場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにコピーブックの情報を報告し、アドバイスを受けてください。
PWX-04028	定義 <i>field_name</i> が選択されました。
説明：	指定された <i>field_name</i> は再定義リストから選択されました。
システムのアクション：	システムは情報メッセージを示します。

ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-04029	フィールド <i>field_name</i> の配列サイズが存在しないか、1～<i>number</i> の範囲外です。
説明：	OCCURS 句の後に配列サイズが定義されていないか、PowerExchange の最大配列サイズ（現在は、4096）を超えています。
システムのアクション：	インポート処理はエラーになっている文にフラグを付け、継続します。
ユーザの応答：	OCCURS 値がコピーブックで正しく表示され、PowerExchange の範囲内であることを確認します。正しい場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにコピーブックの情報を報告し、アドバイスを受けてください。
PWX-04030	可変配列制御変数がフィールド <i>field_name</i> に指定されていません。
説明：	指定されたフィールド名は、'OCCURS DEPENDING ON'配列として定義されていましたが、制御変数が指定されていませんでした。
システムのアクション：	インポート処理はエラーになっている文にフラグを付け、継続します。
ユーザの応答：	フィールドの制御変数がコピーブックに入力されていることを確認します。入力されている場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにコピーブックの情報を報告して、アドバイスを求めます。
PWX-04031	<i>number</i>個のレコードがスキップされました。
説明：	このメッセージは、インポート処理でスキップした重複レコードの数を示します。
システムのアクション：	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-04032	<i>number</i>個の重複レコードが上書きされました。
説明：	このメッセージは、インポート処理で上書きされた重複レコードの数を示します。
システムのアクション：	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-04033	<i>number</i>個の重複レコードの名前が自動的に変更されました。
説明：	このメッセージは、インポート処理で名前が変更された重複レコードの数を示します。
システムのアクション：	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。

PWX-04034	<i>number</i>個のフィールドがスキップされました。
説明：	このメッセージは、インポート処理でスキップした重複フィールドの数を示します。
システムのアクション：	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-04035	<i>number</i>個の重複フィールドが上書きされました。
説明：	このメッセージは、インポート処理で上書きされた重複フィールドの数を示します。
システムのアクション：	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-04036	<i>number</i>個の重複フィールドの名前が自動的に変更されました。
説明：	このメッセージは、インポート処理で名前が変更された重複フィールドの数を示します。
システムのアクション：	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-04037	<i>number</i>個のテーブルがスキップされました。
説明：	このメッセージは、インポート処理でスキップした重複テーブルの数を示します。
システムのアクション：	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-04038	<i>number</i>個の重複したテーブルが上書きされました。
説明：	このメッセージは、インポート処理で上書きされた重複テーブルの数を示します。
システムのアクション：	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-04039	<i>number</i>個のテーブルの名前が自動的に変更されました。
説明：	このメッセージは、インポート処理で名前が変更された重複テーブルの数を示します。
システムのアクション：	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。

PWX-04040	ルートセグメントがソースにありませんでした。階層テーブルは作成されません。
説明:	ルートセグメントが DBD インポートファイルで見つかりませんでした。これによって、階層テーブル構造体は作成できませんでした。
システムのアクション:	システムは警告メッセージを示します。
ユーザの応答:	ルートセグメントの DBD インポートファイルを確認します。これがない場合や形式が不正な場合は、修正します。正しいと思われる場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにコピーブックの情報を報告し、アドバイスを受けてください。
PWX-04041	セグメント <i>segment_name</i> のレコードがデータマップにありませんでした。レコード <i>recordname</i> が生成されました
説明:	階層構造体の生成中に、指定されたセグメントのレコードが見つかりませんでした。一貫性のためにダミーのレコードが作成されました。
システムのアクション:	システムは警告メッセージを示します。
ユーザの応答:	レコードまたはセグメントの一貫性について DBD インポートファイルを確認します。正しいと思われる場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにコピーブックの情報を報告し、アドバイスを受けてください。
PWX-04042	<i>number</i> このレコードが階層を満たすために生成されました。
説明:	階層を満たすために生成されたレコード数です。
システムのアクション:	現在は使用されていません。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-04043	フィールド <i>field_name</i> はセグメント上の領域を使用しないため、無視されました。
説明:	フィールドは、PowerExchange で使用されていないので、無視されました。これは、主にセカンダリインデックスフィールドと連結されたキーマーカーで発生します。
システムのアクション:	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-04044	<i>number</i> 個のテーブルが、インポートされたレコードをもとにリフレッシュされました。
説明:	テーブルが、インポートされたレコードのデータをもとにリフレッシュされました。
システムのアクション:	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-04045	<i>number</i>個の IMS 連結キー警告。
説明:	IMS 連結キー処理で生成された警告の数です。
システムのアクション:	システムは警告メッセージを示します。
ユーザの応答:	指定された警告を確認し、個々のメッセージでの指示に従って適切に対処します。
PWX-04046	インポートは最初の DBD の後で停止しました。以降の DBD は無視されます。
説明:	DBD インポートファイルで複数の DBD が出現しました。PowerExchange は一度に 1 つの DBD のみ処理します。
システムのアクション:	システムは警告メッセージを示します。
ユーザの応答:	複数の DBD が必要な場合は、各インポートファイルに DBD が 1 つのみ出現するように、インポートファイルを分割します。
PWX-04047	<i>number</i>個の重複レコードが末尾に追加されました。
説明:	このメッセージは、インポート処理で追加された重複レコードの数を示します。
システムのアクション:	システムは情報メッセージを示します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-04048	IDMS スキーマは検証されていません
説明:	インポート処理中の IDMS スキーマは検証されていません。不正なデータを含んでいる可能性があります。
システムのアクション:	メッセージを生成し、インポートを中断します。
ユーザの応答:	適切な正しいスキーマが IDMS インポート処理で使用されていることを確認します。
PWX-04101	呼び出しの種類が無効です (0 (初期)、1 (行の処理)、2 (最後) のどれかを要指定)
説明:	内部エラー。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。
PWX-04102	レベル番号が無効か、指定されていません。
説明:	ソース入力行のレベル番号が無効です。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	入力を修正して、もう一度実行します。

PWX-04103	フィールド長が無効か、指定されていません
説明：	Adabas ECCR が終了中です。
システムのアクション：	ECCR が終了します。
ユーザの応答：	ECCR 出力を調べて診断情報を確認します。可能な場合はエラーを修正します。その後、ECCR をもう一度開始します。
PWX-04104	'=' (等号) がありません
説明：	無効な構文です（例えば、FNDEF または SUPDE で '=' がありません）。
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	入力を修正して、もう一度実行します。
PWX-04105	開始位置が無効か、存在しません。
説明：	SUPDE/SUBDE 指定で構文が無効です。
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	入力を修正して、もう一度実行します。
PWX-04106	終了位置が無効か、指定されていません。
説明：	SUPDE/SUBDE 指定で構文が正しくありません。
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	入力を修正して、もう一度実行します。
PWX-04107	上位フィールド/記述子の親が 20 を超えています。
説明：	SUPDE の指定が無効です。
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	入力を修正して、もう一度実行します。
PWX-04108	上位フィールド/記述子の親は 1 つだけです。
説明：	SUPDE の指定が無効です。
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	入力を修正して、もう一度実行します。
PWX-04109	フィールド名が無効です
説明：	ソース入力行に無効なフィールド名が含まれています。
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	入力を修正して、もう一度実行します。

PWX-04110	予約済みのフィールド名が使用されています
説明:	ソース入力行に、フィールド名 E0->E9 が含まれています。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	入力を修正して、もう一度実行します。
PWX-04111	フィールド形式指定が無効です
説明:	ソース入力行に無効な形式（A、P、B など）が含まれています。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	入力を修正して、もう一度実行します。
PWX-04112	キーワードがありません。レコードは無視されます
説明:	ソース入力行が無効であり、キーワード（FNDEF など）が認識されません。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	入力を修正して、もう一度実行します。
PWX-04113	'('（左かっこ）がありません
説明:	ソース入力行で、PHONDE パラメータの指定が無効です。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	入力を修正して、もう一度実行します。
PWX-04114	指定されているオプションが無効です
説明:	ソース入力で、オプション（MU、PE、DE、LA など）の指定が無効です。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	入力を修正して、もう一度実行します。
PWX-04115	出現値が無効です
説明:	ソース入力で、PE/MU 出現値が無効です。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	入力を修正して、もう一度実行します。
PWX-04116	再定義オプションは'R'または空白である必要があります
説明:	ソース入力で、再定義オプションで内部エラーが発生しました。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	

ユーザの応答： 再定義フィールドが正しい場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに問い合わせます。正しくない場合は、入力値を修正します。

PWX-04117 入力されたパラメータが多すぎます

説明： ソース行のパラメータまたはコンマが多すぎます。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： ソース行で、不要なパラメータやコンマを削除し、再試行します。

PWX-04118 フィールド型が無効です

説明： ソース入力行のフィールド型が正しくありません。正しい値は、A や P などです。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： 入力を修正して、もう一度実行します。

PWX-04119 Natural 形式が無効です

説明： ソース入力行の Natural 形式が、D、T、I、L のいずれでもありません。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： 入力を修正して、もう一度実行します。

PWX-04120 スケール<scale>が無効です。

説明： ソース入力行のスケールが無効です。大きすぎる可能性があります。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： 入力を修正して、もう一度実行します。

PWX-04121 配列カウントが無効か、存在しません

説明： 内部エラーの可能性があります。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。

PWX-04122 上位記述子リストが無効です

説明： 内部エラーの可能性があります。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します

PWX-04123 一意のインジケータが無効です

説明： 内部エラーの可能性があります。

システムのアクション: 要求が失敗します。
ン:

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。

PWX-04124 **フィールド長に対してスケールが無効です。スケール=*scale*
長さ=*length***

説明: ソース入力行のスケールが無効です。大きすぎる可能性があります。

システムのアクション: 要求が失敗します。
ン:

ユーザの応答: 入力を修正して、もう一度実行します。

PWX-04251 **DDM *ddm* が FDIC (*dbid,fileno*) にありません。**

説明: 指定された FDIC ファイルに DDM がありません。

システムのアクション: 要求が失敗します。
ン:

ユーザの応答: FDIC 値または DDM 名を修正して、再試行します。

PWX-04252 **要求された FDIC (*dbid,fileno*) がありません**

説明: 指定された FDIC ファイルが存在しないか、ロックされています。

システムのアクション: 要求が失敗します。
ン:

ユーザの応答: FDIC 値を修正し、再試行します。

PWX-04301 **ファイル *file* が FDIC (*dbid,fileno*) にありません。**

説明: 指定された FDIC ファイルにファイルまたはビューがありません。

システムのアクション: 要求が失敗します。
ン:

ユーザの応答: FDIC 値、あるいはファイルまたはビューの名前を修正し、再実行します。

PWX-04302 **要求された FDIC (*dbid,fileno*) がありません**

説明: 指定された FDIC ファイルが存在しないか、ロックされています。

システムのアクション: 要求が失敗します。
ン:

ユーザの応答: FDIC 値を修正し、再試行します。

PWX-04303 **無効な関数: *function***

説明: アクセス方式に渡された関数が無効です。

システムのアクション: 要求は失敗しました。
ン:

ユーザの応答: 関数を変更します。有効なものは、GETDDM、GETPREDICT、GETFDT です。

PWX-04350	エラー - PLOG の順序が乱れています。
説明:	PCAT 制御ファイルに追加している PLOG ファイルが、最後に追加されたファイルより前に作成されました。これは、複数の PLOG コピーのジョブが不正な順序で実行されていたか、リストアでデータベースがリセットされた時点より後に作成される PLOG を無効にするデータベースのリストアが実行されたことを示しています。
システムのアクション:	プログラムが終了し、戻りコード 8 を返します。
ユーザの応答:	コンピュータ部門や DBA に問い合わせ、エラーの原因を確定します。必要に応じて、DTLCCADW ユーティリティの 'D' 削除関数を使用して、PCAT エントリを削除します ('R' レポート関数では調査が可能です)。DTLCCADW の 'A' 追加関数で、もう一度 PLOG を PCAT に正しい順序で追加します。
PWX-04351	Plog レコード <i>seqno</i> データセット名=<i>dsname</i> が削除されています。
説明:	情報メッセージです。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-04352	*** 警告 - 削除されたレコード <i>seqno</i> は最後に追加されたレコードです - リセットするには L 関数を使用します
説明:	ユーザーが、PCAT ファイルで一番大きい数字の（例えば一番最後に追加された）PCAT エントリを削除したことを示します。これにより、全体の制御レコードは、一番大きい数字のシーケンス番号にリセットされる必要があります。
ユーザの応答:	手動または、DTLCCADW の 'L'（最新の状態にリセット）関数を実行して、PCAT 制御レコードをリセットします。
PWX-04353	エラー - シーケンス番号 <i>seqno</i> のレコードはすでに存在します
説明:	'I' 挿入関数を使用してレコードを追加しようとしたが、そのシーケンス番号のレコードがすでに存在します。
システムのアクション:	プログラムが終了し、戻りコード 8 を返します。
ユーザの応答:	DTLCCADW の 'R' レポート関数を使用して、レコードがすでにファイルにあることを確認します。このレコードを削除して、挿入を実行するか、別のシーケンス番号を使用します。
PWX-04354	エラー - 既存のキーシーケンスの最高番号以降に挿入しようとした
説明:	'I' 挿入関数を使用して、レコードを追加しようとしたが、シーケンス番号が最後に追加されたエントリより大きな値です。
システムのアクション:	プログラムが終了し、戻りコード 8 を返します。
ユーザの応答:	DTLCCADW の 'R' レポート関数を実行して、シーケンス番号を確認します。'A' 追加関数は、ファイルの末尾にレコードを追加する際に使用します。

PWX-04355 **エラー - EOF に達したか、エラーが発生しました。戻りコード=return_code**

説明： PCAT ファイルの読み込み中に、無効な状態が発生しました。'999999999'制御レコードがない可能性があります。

システムのアクション： プログラムが終了し、戻りコード 8 を返します。

ユーザの応答： DTLCCADW の'R'レポート関数を実行して、ファイルの状態を確認します。エラーを修正して要求を再実行します。

PWX-04356 **制御レコードの更新前の最新キーは seqno です。**

説明： このメッセージは、最大の制御ファイルのシーケンス番号が設定された値を示します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-04357 **エラー - 制御レコードの更新中 - 戻りコード=return_code**

説明： PCAT ファイルのエントリを更新中に、無効な状態が発生しました。

システムのアクション： プログラムが終了し、戻りコード 8 を返します。

ユーザの応答： DTLCCADW の'R'レポート関数を実行して、ファイルの状態を確認します。エラーを修正して要求を再実行します。

PWX-04358 **制御レコードの最新キーが seqno にリセットされました。**

説明： このメッセージは、制御レコードのリセットを確認するメッセージです。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-04359 **エラー - PLOG 処理中、戻りコード=return_code**

説明： PCAT ファイルのエントリの読み込み中に、無効な状態が発生しました。内部戻りコードが表示されます。

システムのアクション： プログラムが終了し、戻りコード 8 を返します。

ユーザの応答： 詳細について、すべての出力を確認します。DTLCCADW の'R'レポート関数を実行して、ファイルの状態を確認します。エラーを修正して要求を再実行します。

PWX-04360 **エラー - VSAM 制御ファイルの処理中、戻りコード=return_code**

説明： VSAM PCAT ファイルにアクセス中に、無効な状態が発生しました。内部戻りコードが表示されます。

システムのアクション： プログラムが終了し、戻りコード 8 を返します。

ユーザの応答： 詳細について、すべての出力を確認します。DTLCCADW の'R'レポート関数を実行して、ファイルの状態を確認します。エラーを修正して要求を再実行します。

PWX-04361	エラー - PLOG データセット名 <i>dsnamereason</i>。
説明：	PLOG からの情報を展開中に、無効な状態が発生しました。アクセス中のデータセット名と、考えられる原因がエラーメッセージに表示されます。
システムのアクション：	プログラムが終了し、ゼロではない戻りコードを返します。
ユーザの応答：	詳しくは、すべての出力を確認し、問題の PLOG を作成した PLOG コピージョブの出力を検証します。エラーに対応した適切なアクションを行います。不明な場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-04362	エラー - JCL ファイルの問題、戻りコード=<i>return_code</i>。
説明：	JCL を含むファイルにアクセス中に、無効な状態が発生しました。内部戻りコードが表示されます。
システムのアクション：	プログラムが終了し、ゼロではない戻りコードを返します。
ユーザの応答：	詳細について、すべての出力を確認します。エラーを修正し、再実行します。不明な場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-04363	エラー-INTRDR ファイルの問題、戻りコード=<i>return_code</i>。
説明：	JCL を内部リーダーに書き込み中に、無効な状態が発生しました。内部戻りコードが表示されます。
システムのアクション：	プログラムが終了し、ゼロではない戻りコードを返します。
ユーザの応答：	詳細について、すべての出力を確認します。エラーを修正し、再実行します。不明な場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-04364	エラー - VSAM レコードの削除、戻りコード=<i>return_code</i>
説明：	PCAT ファイルでエントリを削除中に、無効な状態が発生しました。内部戻りコードが表示されます。
システムのアクション：	プログラムが終了し、戻りコード 8 を返します。
ユーザの応答：	詳細について、すべての出力を確認します。DTLCCADW の'R'レポート関数を実行して、ファイルの状態を確認します。エラーを修正して要求を再実行します。
PWX-04365	エラー - パラメータ数が無効です。修正して、サブミットし直します。
説明：	EXEC 文で指定された関数コードに対して、入力されたパラメータ数が無効です。
システムのアクション：	プログラムが終了し、戻りコード 8 を返します。
ユーザの応答：	EXEC 文のパラメータを確認します。エラーを修正します。その後、要求をもう一度実行します。

PWX-04366	エラー - ADASEL ジョブのサブミット - キーが無効です。
説明:	指定された PCAT ファイルシーケンス番号の内部リーダーに JCL をサブミットしようとしたときにエラーが発生しました。
システムのアクション:	プログラムが終了し、戻りコード 8 を返します。
ユーザの応答:	診断メッセージの出力を確認します。指定されたシーケンス番号の PCAT エントリを確認します。エラーを修正し、再実行します。不明な場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-04367	エラー - PLOG 制御レコードの追加中、データセット名=dsn。
説明:	DTLCCADW の'A'追加関数または'P' populate 関数でエラーが発生しました。
システムのアクション:	プログラムが終了し、戻りコード 8 を返します。
ユーザの応答:	診断メッセージの出力を確認します。DTLCCADW の'R'レポート関数を実行して、ファイルの状態を確認します。エラーを修正して要求を再実行します。不明な場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-04368	エラー-PLOG レコードの削除中-キーが無効の可能性があり ます。
説明:	指定された PCAT ファイルシーケンス番号のエントリを削除中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	プログラムが終了し、戻りコード 8 を返します。
ユーザの応答:	診断メッセージの出力を確認します。指定されたシーケンス番号の PCAT エントリを確認します。エラーを修正し、再実行します。
PWX-04369	エラー - PLOG 挿入ルーチン内。
説明:	指定された PCAT ファイルシーケンス番号のエントリを挿入中に、エラーが発生しました。
システムのアクション:	プログラムが終了し、戻りコード 8 を返します。
ユーザの応答:	診断メッセージの出力を確認します。指定されたシーケンス番号の PCAT エントリを確認します。エラーを修正し、再実行します。
PWX-04370	エラー - 最新のシーケンス番号のリセットルーチン内。
説明:	DTLCCADW の PCAT 'シーケンス番号のリセット'関数の使用中に、エラーが発生しました。
システムのアクション:	プログラムが終了し、戻りコード 8 を返します。
ユーザの応答:	診断メッセージの出力を確認します。DTLCCADW の'R'レポート関数を実行して、ファイルの状態を確認し、エラーを修正して再実行します。

PWX-04371	エラー - PLOG DSNAMES のファイルを開こうとしてエラーが発生しました -jcl を確認します。
説明:	DTLCCADW の'P' populate 関数の使用中に、エラーが発生しました。JCL エラーの可能性あります。
システムのアクション:	プログラムが終了し、戻りコード 8 を返します。
ユーザの応答:	診断メッセージの出力を確認します。DTLCCADW の'R'レポート関数を実行して、ファイルの状態を確認し、エラーを修正して再実行します。
PWX-04372	PLOG ファイル自動入力アクションの終了。
説明:	情報メッセージです。
ユーザの応答:	DTLCCADW の'R'レポート関数を実行して、ファイルの状態を確認します。
PWX-04373	エラー - PLOG ファイルリストファイルの読み込み中、戻りコード=return_code
説明:	DTLCCADW の'P' populate 関数の使用中に、エラーが発生しました。JCL エラーの可能性あります。
システムのアクション:	プログラムが終了し、戻りコード 8 を返します。
ユーザの応答:	診断メッセージの出力を確認します。DTLCCADW の'R'レポート関数を実行して、ファイルの状態を確認し、エラーを修正して再実行します。
PWX-04374	エラー - パラメータ 1 は S、A、D、I、P、E、L、R のいずれかにする必要があります - 修正してサブミットし直します
説明:	最初のパラメータは S、A、D、I、P、E、L、R のいずれかにする必要があります。
システムのアクション:	プログラムが終了し、戻りコード 8 を返します。
ユーザの応答:	JCL 内のパラメータ文を確認します。エラーを修正します。その後、要求をもう一度実行します。
PWX-04375	PLOG データセット名 dsname がキーシーケンス seqno で追加されました。
説明:	情報メッセージです。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-04376	関数 function が正常に終了しました。
説明:	情報メッセージです。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-04377 PLOG *plog_file* の ADASEL 出力に NULL SELHTRN が含まれています。レコードブロック番号 *block_number*。更新のタイムスタンプ *timestamp*。

説明： PowerExchange Adabas ECCR が ADASEL ユーティリティを実行したとき、ADASEL ユーティリティが、レコードの NULL のトランザクション番号が含まれる出力を返しました。この問題は、Adabas スパンレコードが含まれるソースファイルの変更データをキャプチャするように ECCR JCL が構成されている場合に発生します。

システムのアクション： プログラムが停止し、ゼロではない戻りコードを返します。

ユーザの応答： PowerExchange でスパンレコードの変更をキャプチャする際に必要となる次の SAG ZAP が ADABAS ロードライブラリに含まれていることを確認します: AU823101 (ADA823)、AU824072 (ADA824)、AU825047 (ADA825)、AU826017 (ADA826)。

PWX-04500 エラー *error code* キャプチャデータファイル *file name* の読み込み中。

説明： 指定された部分または完全要約ファイルの読み込み中に、エラーが発生しました。同じエラー番号を含む以前のメッセージに、エラーの原因に関するより正確な情報が表示されています。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： より正確なエラーメッセージを検索して、対処します。

PWX-04501 キャプチャデータファイル *file_name* を開く際にエラー *error_code* が発生しました。

説明： 指定された部分要約または完全要約ファイルを PowerExchange が開こうとした際に、エラーが発生しました。このエラーはファイルが存在しないか、またはジョブにファイルの読み込み権限がない場合に発生することがあります。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： 指定された要約ファイルを検索します。ファイルが削除されている場合は、適切な方法で CDCT ファイルを既存の要約ファイルと同期させます。たとえば、ターゲットを再マテリアライズして、PowerExchange Condense をコールドスタートします。この方法を用いると、CDCT またはチェックポイントファイルからのインスタンスのすべての情報をがクリアされ、外部のキャプチャマスク（z/OS 用）または要約ライブラリ（i5OS 用）に関連付けられた要約ファイルがすべて削除されます。

別の方法としては、適切なリスタート時間を定義するチェックポイントファイルを検索してそれよりも新しいチェックポイントファイルを削除することがあります。圧縮を実行すると、システムは CDCT ファイルを選択したチェックポイントファイルの DCT エントリと同期します。問題のレコードは CDCT ファイルから削除され、シーケンスおよびリスタートトークンで定義されたポイントから再開処理が行われます。この方法を使用する場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

要約ファイルが存在しないと表示される場合には、PowerExchange Listener を介してファイルを読み込みます。たとえば、PowerExchange Navigator または DBMOVE ジョブを NRDB アクセス方式を使用するデータマップで定義されたソースとともに実行します。問題の原因を特定できない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-04502 **エラー *error code* 要約データキャプチャテーブル *CDCT file name* のオープン中。**

説明： タスクで、CDCT ファイルをオープンできませんでした。z/OS では、*file name* は、z/OS DDNAME DTLACDC です。i5/OS では、*file name* はデータライブラリおよびファイル名です。z/OS では、場所が LOCAL の場合、PowerExchange Listener JCL または DBMOVE JCL で、DDNAME DTLACDC が存在しない（または DUMMY に割り当てられている）ときに、問題が発生する可能性があります。i5/OS では、指定されたファイルが存在しないか、アクセス権限の問題でオープンできない場合が考えられます。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： CDCT ファイルを検索します。CDCT ファイルが存在しない場合は、新規に CDCT ファイルを作成し、レコード長、キー長、トレーラレコードが正しくなるように、アダプタのマニュアルに従って初期化します。CDCT が存在する場合は、NRDB マップを作成して、PowerExchange Navigator から行のテストを実行します。問題を特定できない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-04503 **圧縮データキャプチャテーブル *CDCT file name* の読み取り中にエラー *error code* が発生しました。**

説明： インスタンスとシーケンストークン条件に従って処理する要約ファイルを特定するために、CAPX アクセス方式の初期化中に発生する CDCT ファイルの読み込み中に、エラーが発生しました。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： CDCT ファイルのレコード長、キー長、およびトレーラレコードが適切であることを確認します。問題を特定できない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-04504 **圧縮データキャプチャテーブル *CDCT file name* のクローズ中にエラー *error code* が発生しました。**

説明： CDCT ファイルのクローズ中にエラーが発生しました。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-04506 **エラー *error code* 要約データキャプチャテーブル *CDCT file name* へのアクセス中。**

説明： CDCT ファイルでポイント実行および読み取り中にエラーが発生しました。一緒に表示されるメッセージで、より詳細な情報が提供されます。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-04507 **キャプチャデータ抽出処理テーブル *file_name/action* を開いている最中のエラー *return_code1.return_code2.return_code3*。**

説明： 抽出の進捗を示す、表示されたファイルを開いているときにエラーが発生しました。プラットフォームによっては、ファイルの自動生成に関連している場合があります。設定の部分的な変更によって発生する可能性があります。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： 関連メッセージを見直し、原因を確定し、ファイルを修正して再試行します。

PWX-04508 **エラー *return_code1.return_code2.return_code3* キャプチャデータ抽出処理テーブル *file_name* の読み取り中。**

説明： 表示されたファイルで抽出処理の読み取りが失敗しました。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： 関連メッセージを見直し、原因を確定し、ファイルを修正して再試行します。

PWX-04509 **エラー *rc* 個のキャプチャデータ抽出処理テーブル *file_name* のクローズ中。**

説明： キャプチャデータ抽出処理ファイルのクローズ中に、問題が発生しました。2 次的な問題である可能性があります。関連性があるかどうか、最初の問題を調べてください。

システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	関連メッセージを見直し、原因を確定し、ファイルを修正して再試行します。
PWX-04510	キャプチャデータ抽出処理テーブル <i>file_name</i> へのアクセス中にエラーが発生しました。コード <i>return_code1</i>/<i>return_code2</i>/<i>return_code3</i>。
説明:	表示されたファイルの抽出プロセスを見つける要求が失敗しました。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	関連メッセージを見直し、原因を確定し、ファイルを修正して再試行します。
PWX-04511	キャプチャデータ抽出処理テーブルがファイル <i>file_name</i> がありません。コード <i>return_code1</i>/<i>return_code2</i>/<i>return_code3</i>。
説明:	論理進捗レコードの一部に物理的な拡張レコードがありません。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、関連するエラーを報告します。
PWX-04512	キャプチャファイル <i>file_name</i> を開いています。
説明:	このメッセージは、変更データの PowerExchange CAPX 抽出処理で使用されるファイルの名前を報告します。このメッセージの発行を CDC 処理の監査証跡として使用します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-04513	キャプチャデータ抽出処理テーブル 1 <i>file_name</i> の書き込み中にエラー <i>return_code1.return_code2.return_code3</i> が発生しました。
説明:	抽出進捗レコードの書き込みに失敗しました。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	関連メッセージを見直し、原因を確定し、ファイルを修正して再試行します。
PWX-04515	キャプチャデータ抽出の開始の種類 <i>starttype</i> は認識されません。
説明:	キャプチャデータの抽出要求が、認識されない開始の種類パラメータで作成されました。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	要求を見直し、原因を確定し、修正して再試行します。

PWX-04519	エラー <i>error code</i> 要約データキャプチャファイルの読み取り中。
説明:	CAPX 抽出の初期化中、CDCT ファイルから処理するファイルの情報をロードするときにエラーが発生しました。
システムのアクション:	タスクは終了します。
ユーザの応答:	関連付けられたメッセージ PWX-04502、PWX-04503、PWX-04504、および PWX-04506 を参照します。
PWX-04520	抽出できる要約データがインスタンス <i>instance</i> にありません。最初の登録タグ <i>registration_tag</i>。
説明:	シーケンストークン、インスタンス、登録タグのリストの基準を満たす要約ファイルが CDCT にありません。メッセージには、インスタンスと最初の登録タグが表示されます。(コマンドリストが実行されている場合、複数の登録タグが存在する可能性があります。) このメッセージは、PowerExchange Listener 上でのみ表示され、クライアント上には表示されません。
システムのアクション:	処理は正常に終了しましたが、抽出されたデータはありません。
ユーザの応答:	抽出するデータが存在していることを確認します。要約ジョブが最近実行されていない可能性があります。
PWX-04521	各レコードの行オプションを使用できるのはデータキャプチャのみです。
説明:	各レコードの行が要求されましたが、要求はデータキャプチャ抽出型の要求ではありません。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	設定と要求が新しい場合は、修正して再試行します。そうでない場合は、関連するエラーについて Informatica グローバルカスタマサポートに報告します。
PWX-04523	データキャプチャ対象のアプリケーションがありません。
説明:	必須のアプリケーションパラメータが CAPX または CAPXRT 抽出に指定されていません。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	アプリケーション名が指定されていることを確認します。コマンドセットでは、アプリケーション名は From パラメータ DBN2 を介して入力します。行のテストスクリーンでは、アプリケーション名は、 <i>application_name</i> というフィールドで入力します。

PWX-04525	要約ファイルまたは要約の種類の無効な組み合わせを検出しました。
説明：	<p>このエラーは、以下の変更データを抽出しようとしたときに発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 要約の種類（なし、部分、フル）が異なるキャプチャ登録 • 完全要約ファイルと部分要約ファイルの両方の変更を含む単一のキャプチャ登録
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	<p>グループソースを使用して要約ファイルから変更データを抽出する場合は、抽出処理で要約の種類が1つだけになるように、キャプチャ登録を分けてください。要約の種類がフル、なし、部分のキャプチャ登録をそれぞれ別々の抽出処理に含めます。これらの抽出処理を別々に実行します。</p> <p>特定のキャプチャ登録の要約の種類が、フルから部分または部分からフルに変更されている場合は、追加のアクションが必要になります。1つの種類の要約ファイルにデータを再要約するか、または抽出開始ポイントを変更して前の種類の要約ファイルをスキップする必要があります。キャプチャ登録を変えて要約の種類を変更する前に、すべてのデータを抽出します。</p> <p>問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。</p>
PWX-04528	エラー - 進捗データが変更されました。 <i>submessage</i>。データキャプチャ。
説明：	<p>更新するレコードが、更新を要求されたレコードと一致しません。これは、別プロセスでの更新を意味します。関連メッセージが問題の診断に役立ちます。</p> <p>可能性のあるサブメッセージは、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 抽出制御の範囲 • 制御フィールドの破損 • 制御フィールドの追加 • 制御フィールドが手順外 • 制御フィールド削除が手順外
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	<p>要求のクラッシュを特定できることがありますが、その場合は、別々に実行します。特定できない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、このメッセージおよび関連するメッセージを報告します。</p>

PWX-04531	エラー - <i>extractname</i> の <i><start_time></i> への登録を再開できません。データキャプチャ。
説明:	このメッセージは、次のいずれかの理由で発行されました。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 表示された時間に起動した抽出に対して指定された抽出をリスタートしようとしたが、抽出は別のものでした。アプリケーションを複数の抽出で共有した結果で、無効な抽出がリスタートした可能性があります。 2. 表示された時間に開始した抽出が完了する前に、指定された抽出に対する要求が作成されました。これは、アプリケーションが複数間で共有されているためであり、抽出要求が単一のストリームではないため発生します。PowerExchange ログにはこの状況が明確に示されており、<i><start_time></i> から失敗の時点までオーバーラップを特定し、各タスクの開始と終了の時点を確認できます。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	関連メッセージを確認し、原因を確定して修正し、再試行します。
PWX-04539	キャプチャデータ相互参照インデックス <i>file_name</i> へのアクセス中にエラーが発生しました。コード <i>return_code1/return_code2/return_code3</i>。
説明:	表示されたファイルのアプリケーションインデックスを検索する要求が失敗しました。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	関連メッセージを見直し、原因を確定し、ファイルを修正して再試行します。
PWX-04540	エラー <i>return_code1.return_code2.return_code3</i> キャプチャデータアプリケーションインデックス <i>file_name</i> の読み込み中。
説明:	表示されたファイルでアプリケーションインデックスの読み込みに失敗しました。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	関連メッセージを見直し、原因を確定し、ファイルを修正して再試行します。
PWX-04541	エラー - アプリケーションインデックスデータ <i>reason</i>。データキャプチャ。
説明:	次の理由でアプリケーションを使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> • ユーティリティの更新が不完全です。 • 進行中または失敗したユーティリティが外部の抽出制御を変更しました。 • 同時処理のファイル制御が破損しました。

- 内部フィールドの上書きファイル制御に一貫がありません。メッセージ PWX-04559 を参照します。
- 内部フィールドの上書きシーケンスがアプリケーションインデックスで失敗しました。メッセージ PWX-04559 を参照します。
- アプリケーションインデックスの古いシーケンスのエラー。メッセージ PWX-04559 を参照します。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： 最後の3つの理由では、同時要求が原因で更新が競合しました。ファイルが破損しました。ファイル破損の原因として、前のエラーを調べます。必要に応じてファイルをリストアします。要求を再試行します。関連するエラーについて、継続する問題のイベントのログを添えて、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。

PWX-04542 **キャプチャデータ抽出アプリケーションインデックス *file_name* の書き込み中にエラー *return_code1.return_code2.return_code3* が発生しました。**

説明： アプリケーションのインデックスレコードの書き込みに失敗しました。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： 関連メッセージを見直し、原因を確定し、ファイルを修正して再試行します。

PWX-04543 **ユーザー ID<*user_ID*>は、<*required*>access を持っていません (<*resource*>に対する)。戻りコード<*return_code*>。**

説明： ユーザーのセキュリティの上限を超えています。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： 要求またはユーザーのセキュリティを修正します。その後、要求をもう一度実行します。

PWX-04544 **キャプチャ抽出認証警告:ユーザー ID<*user_ID*>、戻りコード<*return_code*>。**

説明： ユーザーがサインオンしようとしたましたが、表示される戻りコードで失敗しました。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： 要求またはユーザーのセキュリティを修正します。その後、要求をもう一度実行します。

PWX-04545	キャプチャ抽出 <i>source</i> が <i>extractstart</i> にリセットされました。CDE に進捗が見られません。
説明：	このメッセージは、次のいずれかの理由で発行されました。 <ol style="list-style-type: none"> 1. PowerExchange Navigator で設定された開始ポイントに関連する抽出が見つかりませんでした。アプリケーションを複数の抽出で共有した結果で、無効な抽出が再設定の後実行された可能性があります。 2. XTYPE=リスタートに使用される RS。
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	要求を修正します。その後、要求をもう一度実行します。
PWX-04548	操作前の画像のキャプチャ抽出は、<i>file name</i> に対しては実行できません。
説明：	操作前の画像が要求されましたが、指定された要約ファイルでは操作後の画像しか利用できません。DBMOVE パラメータ IMTYPE は、要約ファイルに格納された操作後のイメージがない場合、BA または TU に設定できません。要約が実行された際、ジョブは、BA（操作前の画像と操作後の画像）ではなく AI（操作後の画像）に設定されたパラメータ CAPT_IMAGE を使用しました。
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	パラメータ IMTYPE=AI を使用して CAPX 抽出を実行するか、CAPT_IMAGE=BA で要約ジョブを再マテリアル化し実行します。
PWX-04549	キャプチャ抽出イメージの種類 <i>requestedtype</i> を認識できません。
説明：	BA、AI、TP 以外のイメージの種類が要求で見つかりました。
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	要求を修正します。その後、要求をもう一度実行します。
PWX-04550	エラー - キャプチャ抽出が dbcb との接続なしに開始されました。
説明：	CAPX（RT）への要求は正しく構造化されません。
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	設定と要求が新しい場合は、修正して再試行します。そうでない場合は、関連するエラーについて Informatica グローバルカスタマサポートに報告します。

PWX-04551	<i>attribute</i>でクラッシュが発生しました。最初のコマンドセット <i>value</i>。その他のコマンドセット <i>value</i>。
説明：	CAPX または CAPXRT の移動に使用されるコマンドのリストで、次のような属性について、最初のコマンドセットとそれに続くコマンドセットが矛盾しています。 <ul style="list-style-type: none"> • インスタンス（抽出が得られる場所） • 画像の種類（AI、BA、TU などの IMTYPE パラメータで定義） • ソースの種類（1=DB2、2=IMS などの数値によるデータベースの種類） • 抽出の種類（RS=restart、SL=since last などのパラメータ XTYPE による定義）
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	属性が一貫するようにコマンドセットを修正してから、再試行します。
PWX-04552	エラー - グループ DBCB にメンバが <i>processedsources</i> 個あります。必要なのは <i>requestedources</i> 個です。
説明：	ソースの識別中にエラーが発生しました。
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、関連するエラーを報告します。
PWX-04553	アプリケーション <i>application_name</i> に関するリスタートトークンのエラー <i>required/not_allowed</i>。
説明：	リスタートトークンを指定したアプリケーションが許可されていないアプリケーションの要求に存在したか、要求された際に、見つかりません。許可されていないこの制御を渡す方法がないので、アプリケーションのリスタート制御に対するアプリケーションの変更をキャンセルします。
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	要求を修正するか、新しくアプリケーションを起動します。
PWX-04554	エラー - 開始ポイントがナビゲータからリセットされました。リスタートトークンが必要です。
説明：	現在の開始ポイントを PowerExchange Navigator で再設定した後、トークンがアプリケーションで指定されました。どのリスタートポイントを採用するか、決定します。
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	要求を修正するか、新しくアプリケーションを起動します。

PWX-04556	エラー - 登録タグ <i>registrationtag</i> がアプリケーション <i><application_name></i> で見つかりませんでした。
説明:	最初の検証の後、登録タグが見つかりませんでした。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、関連するエラーを報告します。
PWX-04557	エラー - 進捗データには <i>requested</i> 個の一意的登録タグが必要です。 <i>present</i> 個がアプリケーション <i>application</i> で見つかりました。
説明:	初期化の後、ソースにエラーが見つかりました。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、関連するエラーを報告します。
PWX-04558	<i><application_name></i> のアプリケーションインデックスデータが見つかりませんでした。
説明:	アプリケーションが見つかりませんでした。
システムのアクション:	エラーの場合は、要求が失敗します。警告の場合、このメッセージは、関連付けられたエラーに関することがあります。
ユーザの応答:	抽出に対して、PowerExchange のログを件所うして、このメッセージが関連する（時間）を参照してください。どのアプリケーションかを検出し、要求を再試行します。
PWX-04559	エラー - <i><application_name></i> のアプリケーションインデックスデータをビルドできませんでした。
説明:	物理レコードを超えて分割された可能性のあるアプリケーションレコードの再構築で問題が発生しました。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	前の失敗によってどのように破壊されたかを調べます。必要に応じてファイルをリストアします。要求を再試行します。関連するエラーについて、継続する問題のイベントのログを添えて、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。
PWX-04560	キャプチャデータ進捗拡張 <i>file_name</i> へのアクセス中にエラーが発生しました。コード <i>return_code1</i>/<i>return_code2</i>/<i>return_code3</i>。
説明:	物理レコードを超えて分割された進捗レコードの再構築で問題が発生しました。
システムのアクション:	要求が失敗します。

ユーザの応答：	前の失敗によってどのように破壊されたかを調べます。必要に応じてファイルをリストアします。要求を再試行します。関連するエラーについて、継続する問題のイベントのログを添えて、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。
PWX-04561	エラー - 進捗データを再ビルトできませんでした。ファイル <file_name> アプリケーション <application_name> 開始 <start_time>
説明：	物理レコードを超えて分割された可能性のある進捗レコードの再構築で問題が発生しました。
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	前の失敗によってどのように破壊されたかを調べます。必要に応じてファイルをリストアします。要求を再試行します。関連するエラーについて、継続する問題のイベントのログを添えて、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。
PWX-04562	エラー - アプリケーションインデックス <application_name> でトークンが見つかりましたが、不要です。
説明：	アプリケーションにリスタートトークンが存在しましたが、これは要求により予期されていません。許可されていないこの制御を渡す方法がないので、アプリケーションのリスタート制御に対するアプリケーションの変更をキャッチします。
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	要求を修正するか、新しくアプリケーションを起動します。
PWX-04563	エラー - アクション <action_type> (登録 <registration> アプリケーション <application>) がまだ要求されています。
説明：	DTLUAPPL トークンユーティリティによって追加されたトークンは、要求の一部であるため処理できません。削除する意図を持たずに手動でトークンを削除する可能性は低いと考えられます。
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	要求からトークンを削除し、再試行します。
PWX-04564	エラー - アクション <action_type> (登録 <registration> アプリケーション <application>) がまだ要求されています。
説明：	DTLUAPPL トークンユーティリティによって追加されたトークンは、要求に含まれないため処理できません。トークンが使用する意図なしに手動で追加される可能性は低いとみなされます。
システムのアクション：	要求が失敗します。
ユーザの応答：	トークンを要求に追加し再試行するか、一時的または新しいアプリケーションを作成して、タイミングの問題を回避します。

PWX-04565	登録タグ <i>registration_tag</i> シーケンス <i>hexprint</i> PowerExchange ロgger <i>hexprint</i>
説明:	このメッセージは、抽出が開始した時点を示すトークンに関する情報を示します。 <i>hexprint</i> 値がゼロ 2 つの場合は、データは抽出されておらず、アプリケーションに対してトークンユーティリティが実行されていないことを示します。
ユーザの応答:	この情報は監査目的のためです。
PWX-04566	キャプチャ抽出戻りコード = <i>return_code</i> (API_routineerror_information から)
説明:	指定されたルーチンでエラーが発生しました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-04567	アプリケーション <i>application</i> を <i>timestamp</i> の抽出から再抽出しています。
説明:	開始時刻で開始されたアプリケーションの抽出が再開しています。
ユーザの応答:	この情報は監査目的のためです。
PWX-04568	説明用にオーバーライドされました。抽出 <i>original</i> はレコード用の <i>internal</i> になります。
説明:	抽出がオーバーライドされ、進捗レコードの新しい抽出名になりました。これは、抽出の通常の実行で混乱しないことを意味しています。
ユーザの応答:	この情報は監査目的のためです。
PWX-04570	エラー登録 <i>registration_name</i> 要約の種類が <i>current_condense_type</i> であり、この要求には設定する必要があります。
説明:	抽出マップでの要約の種類が、関連付けられたキャプチャ登録内の指定された 【要約】 設定と一致しません。
システムのアクション:	抽出要求が失敗します。
ユーザの応答:	以下のアクションを実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. キャプチャ登録の 【要約】 設定を修正します。有効な要約の種類は 【フル】 および 【部分】 です。 2. 新しいバージョンのキャプチャ登録に関連付けるように抽出マップを更新します。 3. 抽出要求を再試行します。

PWX-04571	エラー - 登録タグ <i>registration_tag</i> 開始シーケンス <i>sequence_token</i> が要約上限 <i>sequence_token</i> を超えました
説明:	指定された開始位置は、この登録タグの CDCT 上の最新のファイルよりも新しいです。それにより、抽出されたデータはありません。この状態は、抽出の正常な終了をストップしない警告で、警告メッセージは破棄されるため、このメッセージはめったに表示されません。抽出が正常終了しない原因となるエラーメッセージとともに表示される場合があります。通常、1 つの CAPX の開始位置は、前回の実行の終了位置と同じです。
システムのアクション:	データが抽出されることなく、タスクは継続します。
ユーザの応答:	開始シーケンストークンが正しいことを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。
PWX-04572	エラー - タイムアウト値が次の範囲にありません。 <i>seconds</i>。
説明:	タイムアウト値が大きすぎます。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	問題を解決し、もう一度実行します。
PWX-04573	エラー <i>tokentype</i> トークンサイズ <i>current</i> が <i>startsize</i> と異なります (サイズはまずこの抽出に使用されます)
説明:	トークンの種類と一致しないトークンサイズによるエラーです。各トークンのメッセージ PWX-04574 と一緒に表示されます。
システムのアクション:	コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	問題を解決し、もう一度実行します。
PWX-04574	サイズ-<i><hexprint></i>
説明:	通知されたトークンです。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	関連するエラーも使用して、このトークンがアプリケーションに送られた理由を確定します。
PWX-04575	無効なジャーナル値: <i>journal</i>
説明:	ジャーナルライブラリ名は、1~10 の長さの英字でなければなりません。ジャーナルファイル名は、1~10 の長さのアルファベット文字でなければなりません。値は/ (スラッシュ) で分割する必要があります。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	問題を解決し、もう一度実行します。

PWX-04576	無効な <i>Library/file_name</i> 値: <i>libfile_name</i>
説明:	ライブラリ名は、1～10 の長さのアルファベット文字でなければなりません。ファイル名は、1～10 の長さのアルファベット文字でなければなりません。値は/（スラッシュ）で分割する必要があります。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	問題を解決し、もう一度実行します。
PWX-04577	エラー - イベントテーブル <i>required/not_allowed</i> アプリケーション <i>application_name</i>
説明:	許可されていないアプリケーションに対する要求にイベントテーブル eventtb が存在したか、必要時にありませんでした。許可されていないアプリケーション終了制御への変更を検出します。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	要求を修正するか、新しくアプリケーションを起動します。
PWX-04578	<i>Application_Name: Capture_Registration: 挿入=Num_Inserts 更新=Num_Updated 削除=Num_Deleted コミット=Num_Commits 合計=Total_Num</i>
説明:	CAPX/CAPXRT/EMR ソースの情報メッセージです。各キャプチャ登録のソースから読み込まれたレコードの内訳です。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-04581	AS4J 接続接続の検索中にエラーが発生しました。
説明:	CAPI 接続がタイプ AS4J の接続を見つけることができませんでした。
システムのアクション:	抽出は失敗します。
ユーザの応答:	問題を解決し、もう一度実行します。
PWX-04582	エラー - レシーバリスト検索からの戻りコード <i>return_code</i>
説明:	CDC 抽出のジャーナルに関連したレシーバの検索が表示されたコードで失敗しました。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	関連メッセージを確認し、原因を確定して修正し、再試行します。
PWX-04583	<i>token_occurrence</i> を新しいリリースに変換しようとしてエラーが発生しました。戻りコード <i>return_code</i>
説明:	表示されているトークンのオカレンスを新しいリリースに変換中に戻りコードを受け取りました。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	関連メッセージを確認し、原因を確定して修正し、再試行します。

PWX-04584	<i>extract_information</i>
説明:	監査と診断用の抽出の情報です。
ユーザの応答:	調査と診断のために、関連するメッセージを使用します。
PWX-04587	<i>(application_name): 読み込みレコード数</i> <i>=number_of_records_readnumber_of_bytes_read</i>
説明:	この情報メッセージは、読み取ったレコードの数と読み取ったバイトの数を示します。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-04588	<i>application_name:読み込みレコード総数</i> <i>=number_of_records_read</i>
説明:	読み込まれたレコードに関する最終的な処理メッセージです。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-04589	トークンを追加できません。
説明:	シーケンスとリスタートトークンを CAPX 一時領域に追加できませんでした。
システムのアクション:	抽出は失敗します。
ユーザの応答:	問題を解決し、もう一度実行します。
PWX-04590	最終シーケンス読み込み <i>sequence</i>
説明:	変更データの取得中の最終シーケンス読み込みです。シーケンスがゼロ 2 つの場合は、データは抽出されておらず、アプリケーションに対してトークンユーティリティが実行されていないことを示します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-04591	キャプチャデータ相互参照インデックス <i>file_name</i> へのアクセス中にエラーが発生しました。コード <i>return_code1/return_code2/return_code3</i>
説明:	示されているファイルの相互参照インデックスを見つけるように要求されましたが失敗しました。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	関連メッセージを見直し、原因を確定し、ファイルを修正して再試行します。
PWX-04592	キャプチャデータ相互参照インデックス <i>file_name</i> の読み取り中にエラー <i>return_code1.return_code2.return_code3</i> が発生しました。
説明:	表示されているファイルの相互参照インデックスの読み取りに失敗しました。

システムのアクション: 要求が失敗します。
ン:

ユーザの応答: 関連メッセージを見直し、原因を確定し、ファイルを修正して再試行します。

PWX-04593 **エラー - 相互参照インデックスデータ *reason*。データキャプチャ。**

説明: 次の理由で相互参照を使用できません。ユーティリティの更新が不完全 - 進行中または失敗したユーティリティが外部の抽出コントロールを変更しました - 同時処理のファイル制御が破損しました

システムのアクション: 要求が失敗します。
ン:

ユーザの応答: 同時要求が原因で更新が競合しました。必要に応じてファイルをリストアします。要求を再試行します。関連するエラーについて、継続する問題のイベントのログを添えて、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。

PWX-04594 **エラー *return_code1.return_code2.return_code3* キャプチャデータ抽出相互参照インデックス *file_name* を書き込んでいます。**

説明: 相互参照インデックスレコードの書き込みに失敗しました。

システムのアクション: 要求が失敗します。
ン:

ユーザの応答: 関連メッセージを見直し、原因を確定し、ファイルを修正して再試行します。

PWX-04595 **エラー - *<application>* の相互参照インデックスデータが見つかりませんでした。**

説明: 相互参照レコードの読み込み中に問題が発生しました。

システムのアクション: 要求が失敗します。
ン:

ユーザの応答: 前の失敗によってどのように破壊されたかを調べます。必要に応じてファイルをリストアします。要求を再試行します。関連するエラーについて、継続する問題のイベントのログを添えて、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。

PWX-04596 ***<change_to>* 抽出 (*<resource>* に対する)**

説明: リソースの抽出の変更がレポートされます。可能性のある変更の内容:

- Warning unexpected - 追加で抽出されたリソースが DTLUAPPL トークンユーティリティによって通知されていません。
- New - 追加で抽出されたリソース。
- Warning ended - リソース抽出が終了したことが DTLUAPPL トークンユーティリティによって通知されていません。
- Ended - リソースの抽出を終了しました。

ユーザの応答： 警告の場合は、プロシージャを調査することをお勧めします。

PWX-04597 **エラー - ハッシュ抽出名サイズ *Calc_size* が *full_size* より大きく、*prefix* 未満です (*sizeinf*)。**

説明： 内部エラー。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-04598 **抽出履歴に対する抽出要求のチェック中にエラー *rcapplicationextract_start*。**

説明： メッセージに示されているアプリケーションと開始タイムスタンプを照合しているときに、メッセージに示されている戻りコードでマッチング処理が失敗しました。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： 関連メッセージを参照します。

PWX-04599 **エラー *return_code1.return_code2.return_code3* キャプチャデータ抽出処理テーブル *file_name.application* の書き込み中。**

説明： 指定されたアプリケーションの書き込み中に、メッセージに示されている戻りコードで相互参照処理が失敗しました。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： 関連メッセージを参照します。

PWX-04600 **キャプチャデータ抽出処理テーブル *registration_tag.sequence* の書き込み中のエラー *return_code1.return_code2.return_code3*。**

説明： 特定の登録タグとシーケンスの書き込み中に、表示された戻りコードで相互参照処理が失敗しました。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： 関連メッセージを参照します。

PWX-04601 **警告 - このリリース実装における *application* が変更した抽出は、お勧めしません。**

説明： 関連メッセージ PWX-04596 を参照します。

システムのアクション： 要求は継続します。

ユーザの応答： 関連メッセージを参照します。継続が維持されていることを確認します。

PWX-04606 **connection_override と登録タグ registration_tag に対する接続検索が失敗しました。**

説明： 関連するメッセージを参照します。

システムのアクション： 抽出は失敗します。

ン：

ユーザの応答： 関連メッセージを参照します。問題を解決し、もう一度実行します。

PWX-04607 **接続からの内部接続に対する接続検索が失敗しました。**

説明： 関連するメッセージを参照します。

システムのアクション： 抽出は失敗します。

ン：

ユーザの応答： 関連メッセージを参照します。問題を解決し、もう一度実行します。

PWX-04608 **接続オーバーライド Connection で subparameter<value>が入力されましたが、instance_override とクラッシュします。**

説明： 接続とインスタンスがクラッシュする原因を調査します。構成とは、使用されている接続そのものに接続制御文が紐付けられる開始点のことです。これが使用される理由は、それらの接続パラメータと抽出要求によるものです。

システムのアクション： 抽出は失敗します。

ン：

ユーザの応答： 問題を解決し、もう一度実行します。

PWX-04609 **CAPX Variable の varstring の作成に失敗しました。プログラム program_name、行番号 LineNumber。**

説明： タスクの処理中に内部エラーが発生しました。

システムのアクション： タスクは終了します。

ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-04610 **登録タグ<registration_tag_name>の有効な CAPX 型の CAPI_CONNECTION 文が見つかりません。**

説明： PowerExchange 構成ファイルに、CAPX 型の有効な CAPI_CONNECTION 文が存在しません。

システムのアクション： タスクは終了します。

ン：

ユーザの応答： CAPX タイプの CAPI_CONNECTION 文が、PowerExchange 構成ファイルに存在することを確認します。存在していた場合は、CAPX タイプの CAPI_SRC_DFLT 文が存在し、CAPI_CONNECTION 文を指していることを確認します。

PWX-04611 **EOD データマップ“qualifier1.qualifier2”のロード中にエラーが発生しました。**

説明： 指定されたデータマップをロードできませんでした。データマップが破損している可能性があります。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: データマップを再作成します。要求をもう一度実行します。

z/OS プラットフォームでは、ジョブに関連付けられた領域サイズで十分なことを確認します。データマップをロードするには、より大きな領域が必要になる場合があります。

PWX-04621 **最初の抽出マップ "schema_name.map_name" テーブル "table_name"。**

説明: このメッセージは、抽出マップの最初のテーブルに関する情報を表示します。追加のメッセージは、マップのエラーと不整合について説明しています。

ユーザの応答: メッセージ内の情報を使用して、抽出マップの問題を診断します。

PWX-04622 **失敗した抽出マップ "schema_name.map_name" テーブル "table_name"。**

説明: このメッセージは、抽出マップの失敗したテーブルに関する情報を表示します。追加のメッセージは、マップのエラーと不整合について説明しています。

ユーザの応答: メッセージ内の情報を使用して、抽出マップの指定されたテーブルの問題を診断します。

PWX-04623 **抽出が、サポートされていないデータベースタイプ "type" を参照しています。**

説明: CAPXRT 抽出は、サポートされていないアクセス方法を使用するデータベースを読み取ろうとしました。

ユーザの応答: PWX-04621 および PWX-04622 の情報を使用して、エラーの原因となったデータベースとテーブルを特定します。サポートされていないデータベースを抽出マップから削除します。

PWX-04624 **抽出が、異なるスキーマプレフィックスのログデータを参照しています。最初のプレフィックス "schema_prefix_1"。失敗したプレフィックス "schema_prefix_2"。**

説明: CAPXRT 抽出は、異なるスキーマプレフィックスを持つテーブルから読み取ろうとしました。

ユーザの応答: 抽出マップ内のすべてのテーブルが同じスキーマプレフィックスを使用していることを確認してください。

PWX-04625 **抽出が、異なるデータベースインスタンスのログデータを参照しています。最初のインスタンス "instance_name_1"。失敗したインスタンス "instance_name_2"。**

説明: CAPXRT 抽出は、異なるスキーマ名を持つテーブルから読み取ろうとしたため、基になるデータベースインスタンスに一貫性がありません。

ユーザの応答: 抽出マップ内のすべてのテーブルが一貫性のある抽出スキーマを使用していることを確認してください。

PWX-04626	抽出が、異なるデータベースタイプのログデータを参照しています。最初のタイプ" <i>type_1</i>"。失敗したタイプ" <i>type_2</i>"。
説明:	CAPXRT 抽出は、抽出マップで異なる元のアクセス方法を使用してデータベースから読み取ろうとしました。
ユーザの応答:	抽出マップ内のすべてのテーブルが同じデータベースアクセス方法を使用していることを確認してください。
PWX-04627	長いスキーマ名 <i>schema_name</i> が見つかりません。
説明:	DB2 for i CDC の場合に、CAPXRT 抽出プロセスが、ジャーナルのオーバーライドで指定されている長いスキーマ名に対応するシステムスキーマ名を判別しようとしていました。しかし、サーバー上で一致するものが見つかりませんでした。
システムのアクション:	抽出処理は失敗します。
ユーザの応答:	ジャーナルのオーバーライドで正しいスキーマ名が指定されていることを確認してください。
PWX-04628	長いスキーマ名 <i>schema_name</i> の一致が複数見つかりました。
説明:	DB2 for i CDC の場合に、CAPXRT 抽出プロセスが、ジャーナルのオーバーライドで指定されている長いスキーマ名に対応するシステムスキーマ名を判別しようとしています。サーバー上で一致が複数見つかりました。
システムのアクション:	抽出処理は失敗します。
ユーザの応答:	ジャーナルのオーバーライドで正しいスキーマ名が指定されていることを確認してください。
PWX-04631	ロガーファイル <i>file_name</i>、レコード <i>record_number</i>、長さ <i>bytes</i>、変更のタイプ <i>type</i>、タイムスタンプ <i>time_stamp</i>、タグ <i>registration_tag</i>。
説明:	Linux、UNIX、または Windows 用の PowerExchange ロggerまたは DTLCACON プログラムログファイルからの変更データの抽出に失敗しました。PowerExchange リスナは、CAPX または CAPXRT アクセス方法を使用してソースデータを抽出しています。この問題は、レコードが抽出マップと矛盾している場合に発生する可能性があります。このメッセージは、エラーが発生したログファイルとレコード、抽出しようとしている変更のタイプ、ソースオブジェクトの登録タグ名など、エラーに関する情報を提供します。
システムのアクション:	抽出は失敗します。
ユーザの応答:	エラーを診断するには、一緒に表示されたメッセージを確認します。PowerExchange ロggerログファイル内で問題のあるレコードを特定するには、PWXUCCLPRT ユーティリティを使用します。その後、Informatica グローバルカスタマサポートに情報を送信します。

PWX-04632 シーケンストークン *hex*。コンポーネント情報 *information*。

説明： シーケンストークンによって記述されたログ位置での CAPXRT 抽出でエラーが発生しました。

システムのアクション： 抽出は失敗します。

ユーザの応答： エラーを診断するには、一緒に表示されたメッセージを確認します。Linux、UNIX、または Windows 用の PowerExchange ロgger のログファイル内で問題のあるレコードを特定するには、PWXUCCLPRT ユーティリティを使用します。その後、Informatica グローバルカスタマサポートに情報を送信します。

第 5 章

PWX-05000～PWX-06999

この章では、以下の項目について説明します。

- [PWX-05000～PWX-05999, 357](#) ページ
- [PWX-06000～PWX-06999, 364](#) ページ

PWX-05000～PWX-05999

PWX-05000 **オブジェクトタイプ *object_type* のオブジェクト名の長さが *nnn* バイトを超えています。**

説明： 指定されたタイプのオブジェクトの長さが *nnn* バイトを超えています。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-05001 **エラー *error* キャッシュファイル "*file_name*" の削除中。**

説明： 指定されたキャッシュファイルの削除中にエラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-05100 **構造 '*structure_name*' のサイズが一致しません。 '*program_1*' の予期したサイズは *size* です。 '*program_file_2*' が設定したサイズは *size* です。**

説明： あるプログラムが設定した、指定された構造のサイズが、別のプログラムが予期した構造のサイズと異なっています。このメッセージは、プログラムと、予期または設定された構造サイズを示しています。この条件は、プログラムが別のヘッダーファイルを使用してコンパイルされたことを示しています。これは、すべての影響を受けるプログラムモジュールが含まれていない EBF または Hotfix を適用した場合に発生することがあります。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答：	DTLINFO ユーティリティを使用して、影響を受けるプログラムファイルのコンパイル日付を確認してください。その後、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。エラーテキスト、DTLINFO の出力、エラーが発生したときに実行されていた関数をご報告ください。
PWX-05101	構造 <i>structure_name</i> のサイズが一致しません。 <i>definition_name</i>. 予期したサイズは <i>expected_size</i> です。コンパイル済みサイズは <i>compiled_size</i> です。ファイル=<i>file name</i>, 行 <i>line_number</i>.
説明：	PowerExchange は定義済みのファイルサイズを予期しますが、コンパイル済みファイルのサイズが予期したサイズと一致しません。このエラーは、PowerExchange の緊急バグ修正(EBF)または HotFix が適用されているが、インストール済みの EBF または HotFix に影響を受けるすべてのモジュールが含まれていない場合に発生する可能性があります。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。サポートによる問題の診断に使用するため、このメッセージの情報と DTLINFO レポートを報告してください。
PWX-05102	ファイル <i>file_name</i> はパック済み構造でコンパイルされました。
説明：	PowerExchange ではデフォルトのアライメントでコンパイルされたファイルを予期しますが、ファイルがパック済み構造でコンパイルされました。このエラーは、PowerExchange の緊急バグ修正(EBF)または HotFix が適用されているが、インストール済みの EBF または HotFix に影響を受けるすべてのモジュールが含まれていない場合に発生する可能性があります。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。サポートによる問題の診断に使用するため、このメッセージの情報と DTLINFO レポートを報告してください。
PWX-05200	IMSSID
説明：	このメッセージは、DBMOVER 構成ファイルの IMSBDS 文の最初の位置パラメータとして使用される IMSSSID を指定する IMSSID パラメータを示しています。IMSSID パラメータ値は、最大長が 4 バイトのテキスト文字列です。これは、z/OS PowerExchange リスナジョブによって使用されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-05201	IMS BSDS HLQ
説明：	DBMOVER 構成ファイルの IMSBDS 文の 2 番目の位置パラメータとして指定される IMS ブートストラップデータセット(BSDS)高位修飾子(HLQ)です。このパラメータ値は、z/OS PowerExchange リスナジョブによって使用されます。

ユーザの応答： 高位修飾子には 39 バイト以下のテキスト文字列を使用できます。

PWX-05202 検索設定

説明： DBD の場所を検索する順序を示す設定です。このパラメータは、DBMOVER 構成ファイルの IMSBDS 文の 3 番目の位置パラメータとして指定されます。このパラメータ値は、z/OS PowerExchange リスナジョブによって使用されます。

ユーザの応答： このパラメータに有効なオプションを次に示します。

- **C**。最初に IMS カタログ、次に DBDLIB ライブラリを検索します。
- **D**。最初に DBDLIB ライブラリ、可能であれば次に IMS カタログを検索します。
- **O**。IMS カタログのみを検索します。カタログを利用できない場合、エラーメッセージを表示します。
- **値なしまたは空白**。DBDLIB ライブラリのみを検索します。

デフォルトは値なしです。

PWX-05204 無効な名前 *dbd_name*

説明： IMS カタログから DBD をインポートするときに指定した DBD が無効です。名前にアスタリスク (*) ワイルドカード文字を含めることはできません。

システムのアクション： インポート要求は終了します。

ユーザの応答： DBD 名にアスタリスク (*) ワイルドカード文字を使用せずに要求を再送信してください。

PWX-05210 *ddname*、*dsname*、*rc = return_code* を割り当てられません。

説明： PowerExchange では、IMS カタログビルダーユーティリティ、DFS3LU00 の入力が含まれる、指定されたパーティション化拡張データセット(PDSE)メンバを割り当てられません。

システムのアクション： 割り当て要求は、指定された戻りコードで終了します。

ユーザの応答： データセットが存在し、有効な名前であることを確認してください。

PWX-05211 DFS3LU00 の取得に失敗しました。

説明： PowerExchange は、IMS カタログビルダーユーティリティ、DFS3LU00 を取得できませんでした。

システムのアクション： 取得要求は終了します。

ユーザの応答： PowerExchange リスナ STEPLIB 連結に含まれる IMS ライブラリに DFS3LU00 ユーティリティがあることを確認してください。

PWX-05212 *ddname.dsname* はすでに割り当てられています、rc = *return_code*。

説明： PowerExchange では、IMS カタログビルダーユーティリティ、DFS3LU00 の指定されたパーティション化拡張データセット (PDSE) メンバを割り当てられません。

システムのアクション： 割り当て要求は、指定された戻りコードで終了します。

ユーザの応答： PDSE メンバを削除して割り当て要求を再度実行します。

PWX-05213 *ddname.dsname* は割り当てられています、disp = *disposition*。

説明： IMS カタログユーティリティ、DFS3LU00 への SYSIN 入力が含まれる指定されたパーティション化拡張データセット (PDSE) メンバが割り当てられています。このメッセージは、PDSE の DISP ステータスを報告します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-05214 **IMS カタログから DBD*dbd_name*をインポートしました、環境設定 *search_preference*。**

説明： 指定された DBD が IMS カタログからインポートされました。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-05215 **ソースライブラリから DBD*dbd_name*をインポートしました、環境設定 *search_preference*。**

説明： 指定された IMS DBD がソースライブラリからインポートされました。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-05216 **ブートストラップデータセット HLQ が *ims_ssid* に対して定義されていません。**

説明： 指定された IMS SSID が、z/OS 上の PowerExchange リスナ DBMOVER ファイルに定義されているどの IMSBSDS 文とも一致しません。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： IMS SSID が有効なことを確認するか、指定された IMS SSID をブートストラップデータセットの高位修飾子 (HLQ) に関連付ける IMSBSDS 文を DBMOVER ファイルに追加してください。

PWX-05217 **DBD *dbd_name*が見つかりません、環境設定 *search_preference*。**

説明： z/OS PowerExchange リスナ DBMOVER ファイルの IMSBSDS 文で設定されている検索設定に基づいて、指定された DBD が見つかりませんでした。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： DBD 名が有効であることを確認するか、IMSBSDS 文の検索設定を変更します。

PWX-05220 ***ims_ssid* の IMS カタログに DBD *dbdname* が見つかりました。**

説明： 指定された IMS サブシステムの IMS カタログに IMS データベース記述 (DBD) が見つかりました。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-05221 **ライブラリ *pds_name* に DBD *dbdname* が見つかりました。**

説明： 指定されたライブラリに IMS データベース記述 (DBD) が見つかりました。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-05222 **ライブラリ *pds_name* をスキャンした後に、*ims_ssid* の IMS カタログに DBD *dbdname* が見つかりました。**

説明： 指定されたライブラリで IMS データベース記述 (DBD) を検索した後に、指定された IMS サブシステムの IMS カタログで DBD が見つかりました。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-05223 ***ims_ssid* の IMS カタログをスキャンした後に、ライブラリ *pds_name* に DBD *dbdname* が見つかりました。**

説明： 指定された IMS サブシステムの IMS カタログで IMS データベース記述 (DBD) を検索した後に、指定されたライブラリ内 DBD が見つかりました。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-05224 ***ims_ssid* の IMS カタログに DBD *dbdname* が見つかりません。**

説明： データベース記述 (DBD) をデータマップにインポートしようとしたときに、指定された IMS サブシステムの IMS カタログに DBD が見つかりませんでした。DBMOVER ファイル内の IMS SSID に対応する IMSBSDS 文で IMS カタログからのみ DBD をインポートするように設定されているため、PowerExchange は IMS カタログでのみ DBD を検索しました。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： **【コピーブックのインポート - リモート詳細】** ダイアログボックスで、IMSBSDS 文で指定されているブートストラップデータセット HLQ と一致するように IMS SSID を修正してください。DBD の検索に正しいカタログが使用されるようになります。

PWX-05225	指定されたライブラリ <i>pds_name</i> に DBD <i>dbdname</i> が見つかりません。
説明：	IMS データベース記述 (DBD) をデータマップにインポートしようとしたときに、指定されたライブラリの PDS または PDSE に DBD が見つかりませんでした。DBMOVER ファイル内の IMS SSID に対応する IMSBDS 文でライブラリからのみ DBD をインポートするように設定されているため、PowerExchange はライブラリでのみ DBD を検索しました。この動作はデフォルトの動作です。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	【コピーブックのインポート - リモート詳細】 ダイアログボックスで、ライブラリ <i>HLQ.PDS_NAME (dbdname)</i> 値を修正して正しい PDS とメンバ名を指定してください。
PWX-05226	<i>ims_ssid</i> の IMS カタログまたは指定されたライブラリ <i>pds_name</i> に DBD <i>dbdname</i> が見つかりません。
説明：	IMS データベース記述 (DBD) をデータマップにインポートしようとしたときに、IMS カタログまたは指定されたライブラリに DBD が見つかりませんでした。DBMOVER ファイルの IMS SSID に対応する IMSBDS 文で IMS カタログを検索してからライブラリを検索するように設定されているため、IMS カタログが先に検索されました。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	【コピーブックのインポート - リモート詳細】 ダイアログボックスで、 <i>HLQ.PDS_NAME (dbdname)</i> 値に正しい DBD の場所を指定してください。この値を指定するとカタログとライブラリの両方が検索されます。
PWX-05227	指定されたライブラリ <i>pds_name</i> または <i>ims_ssid</i> の IMS カタログに DBD <i>dbdname</i> が見つかりません。
説明：	IMS データベース記述 (DBD) をデータマップにインポートしようとしたときに、指定したライブラリまたは IMS サブシステムの IMS カタログに DBD が見つかりませんでした。DBMOVER ファイルの IMS SSID に対応する IMSBDS 文でライブラリを検索してから IMS カタログを検索するように設定されているため、PowerExchange はライブラリを先に検索しました。
システムのアクション：	タスクは終了します。
ユーザの応答：	【コピーブックのインポート - リモート詳細】 ダイアログボックスで、 <i>HLQ.PDS_NAME (dbdname)</i> 値に正しい DBD の場所を指定してください。この値を指定するとライブラリとカタログの両方が検索されます。

PWX-05228 ***ims_ssid* の IMS カタログに DBD *dbdname* が見つかりません。代替検索のライブラリ名が指定されていません。**

説明： IMS データベース記述（DBD）をデータマップにインポートしようとしたときに、IMS カタログに DBD が見つかりませんでした。DBMOVER ファイルで指定された IMS SSID に対応する IMSBDS 文で IMS カタログを検索してからライブラリを検索するように設定されています。しかしインポート操作のライブラリ PDS 名が指定されていないため、PowerExchange はライブラリを検索しませんでした。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： IMS カタログと代替のライブラリ PDS の両方を検索するには、**【コピーブックのインポート - リモート詳細】** ダイアログボックスで、DBD の場所を *HLQ.PDS_NAME (dbdname)* と指定してください。

PWX-05229 **DBD 名 *dbdname* は長すぎます。**

説明： DBD のインポート用に指定された IMS データベース記述（DBD）名が最大長の 8 文字を超えています。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： **【コピーブックのインポート - リモート詳細】** ダイアログボックスで、インポートする DBD の名前を修正してください。

PWX-05950 **予期しないレコード型。<expected_record_type>が必要ですが、<found_record_type>が見つかりました。**

説明： 予期しないレコード型が受信されました。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-05951 **ブロックの終わりマーカがブロック<block>にありません。**

説明： 指定されたブロックには、ブロックの終わりマーカが欠落しています。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06000～PWX-06999

PWX-06001	部分圧縮ファイルが、ブロックサイズ <i>block_size</i>、レコード長 <i>record_length</i> で割り当てられます。
説明：	この情報メッセージは、PowerExchange Condense が、z/OS または i5/OS システム上で部分圧縮ファイルを割り当てるために使用するブロックサイズとレコード長をバイト単位で報告します。レコード長は、圧縮ファイル内でレコードが物理的に格納されている方法に関連しており、これは実行時のディスクスペースや効率に影響する場合があります。レコード長によって、特定の行のバイト数が制限されることはありません。1 行で、32760 バイト以上のデータを複数のレコードにまたがって書き込むことができます。
システムのアクション：	処理は継続します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06002	z/OS の部分圧縮ファイルがパラメータ '<i>parameter1,parameter2,...</i>' を使用して割り当てられます。
説明：	この情報メッセージは、z/OS 上で部分圧縮ファイルを動的に割り当てるためのリクエストで使用されるパラメータを報告しています。このメッセージは、同等の JCL パラメータ名を使用して、パラメータを表しています。
システムのアクション：	処理は継続します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06003	警告。スロー非ブロック化レコードフォーマットが使用されます。
説明：	この警告メッセージは、PowerExchange Condense が RECFM=VS パラメータを使用して、z/OS 上の部分圧縮ファイル内で非ブロック化可変長レコードを作成していることを報告しています。このレコードフォーマットは、深刻な処理の遅延を引き起こす可能性があります。PowerExchange Condense は、論理レコード長が 32756 バイトより大きい場合は、RECFM=VS フォーマットを使用します。論理レコード長が 32756 バイト以下の場合、PowerExchange Condense は RECFM=VB パラメータを使用して、非ブロック化可変長レコードを作成します。この方法がより効率的です。 注: システムは、32756 バイトを超える行のデータを、29 KB など、より小さく効率的なサイズの複数のレコードに分割できます。
システムのアクション：	PowerExchange Condense の処理が、大幅に遅くなる可能性があります。
ユーザの応答：	PowerExchange Condense の CAPTPARM 設定メンバーで、CONDF_PART_LRECL パラメータの値を 32756 バイト以下に変更してください。
PWX-06031	コントローラ: 解析エラー
説明：	キャプチャパラメータファイルのロード中にエラーが発生しました。

システムのアクション 要約ジョブは終了します。

ン：

ユーザの応答： 一緒に表示されるメッセージを確認して、どのパラメータでエラーが発生したかを特定します。エラーを修正して、圧縮ジョブを再度実行します。z/OSでは、パラメータファイルはDD DTLACCFGを通じて読み込まれます。i5/OSでは、パラメータファイルは*LIBL/CFG(CAPTPARM)です。

PWX-06032 **コントローラ: イベント=*event* への関心を表明しようとしてエラーが発生しました。戻りコード=*return_code*。**

説明： プロセス間イベントシグナルの初期化中にエラーが発生しました。

システムのアクション 要約ジョブは終了します。

ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-06033 **Controller: サブタスク *name* の開始中にエラーが発生しました**

説明： PowerExchange Condense Controller タスクが、コマンドハンドラまたは圧縮サブタスクの起動に失敗しました。

- z/OSでは、ロードモジュール DTLCCMD0 または DTLCCND2 が見つからない場合に、このエラーが発生することがあります。
- i5/OSでは、DTLCCMDH または DTLCCNDS プログラム、あるいは DTLCCMD0 または DTLCCND2 サービスプログラムが見つからない場合に、このエラーが発生することがあります。

システムのアクション 要約ジョブは終了します。

ン：

ユーザの応答： 必要なロードモジュールが利用可能であることを確認します。

PWX-06035 **コントローラ: キャプチャ KSDS の読み込み中にエラーが発生しました。**

説明： SRT レコードを要約チェックポイントファイルから読み込もうとして、ウォームスタートで失敗しました。

システムのアクション 要約ジョブは終了します。

ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。要約チェックポイントファイルが無効である可能性があります。

PWX-06036 **Controller: timestamp が開始されました。**

説明： 要約コントローラが開始した日時を表示します。

システムのアクション 処理は継続します。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06038 **チェックポイントファイル *file name* の時刻は *timestamp* です。**

説明： 表示された時刻で、チェックポイントからファイルが作成されました。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06039 **コントローラ: 終了しています。**

説明： これは、PowerExchange Condense Controller タスクが、正規の手順に従ったシャットダウンの前にログに出力する最後のメッセージです。コマンドハンドラと圧縮サブタスクはすでに終了しています。

システムのアクション： 要約ジョブは終了します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06040 **チェックポイントは、ファイル *file name* を使用してリスタートします。**

説明： 指定されたファイルは、ウォームスタートでリスタートポイントを指定するために使用されました。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06041 **チェックポイントリスタートファイル *file name* を開くときにエラーが発生しました。**

説明： ウォームスタートでリスタートポイントを指定するために、選択されたファイルを開こうとしてエラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。要約チェックポイントファイルが無効である可能性があります。

PWX-06044 **イベント *event* のポスト中にエラーが発生しました。戻りコード=*return_code*。**

説明： PowerExchange Condense が、コントローラタスク、コマンドハンドラサブタスク、圧縮サブタスクのタスク間通信イベントをポストしたとき、エラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。エラー時に実行されていた関数を識別します。

PWX-06048 **コントローラ: ウォームスタートが完了しました。テーブルがチェックポイントファイルから復元されました。**

説明: 最新のチェックポイントファイルからリスタートポイントに関するランタイム情報が読み込まれました。指定された DBID と DB_TYPE の登録の再ロードが完了しました。

システムのアクション: 処理は継続し、要約サブタスクが開始します。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-06049 **コントローラ: コールドスタートが完了しました。**

説明: コールドスタート処理が完了しました。指定された DBID と DB_TYPE の登録のロードが完了しました。

システムのアクション: 処理は継続し、要約サブタスクが開始します。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-06050 **(キャプチャ) CHKPT_VOLSERS 1**

説明: キャプチャ構成ファイルの CHKPT_VOLSERS に続く最初のコンマで区切られたパラメータでエラーが見つかりました。

システムのアクション: 要約ジョブは終了します。

ユーザの応答: 最大 6 文字を使用して z/OS ディスク VOLSER を定義します。

PWX-06051 **(キャプチャ) CHKPT_VOLSERS 2**

説明: キャプチャ構成ファイルの CHKPT_VOLSERS に続く 2 番目のコンマで区切られたパラメータでエラーが見つかりました。

システムのアクション: 要約ジョブは終了します。

ユーザの応答: 最大 6 文字を使用して z/OS ディスク VOLSER を定義します。

PWX-06052 **(キャプチャ) CHKPT_VOLSERS 3**

説明: キャプチャ構成ファイルの CHKPT_VOLSERS に続く 3 番目のコンマで区切られたパラメータでエラーが見つかりました。

システムのアクション: 要約ジョブは終了します。

ユーザの応答: 最大 6 文字を使用して z/OS ディスク VOLSER を定義します。

PWX-06059 **Controller: スタートアップが中断されました。
checkpoint_base* という名前のチェックポイントファイルは存在せず、コールドスタートは却下されました。**

説明: チェックポイントファイルが見つかりませんでしたが、コールドスタートを確認する要求に対して、ユーザーが"いいえ"と応答しました。

システムのアクション: 要約ジョブは終了します。

ユーザの応答： コールドスタートが必要な場合は、確認の要求で"はい"と応答します。ウォームスタートが必要な場合は、CHKPT_BASENAME パラメータが正しいことと、最後の実行で作成されたチェックポイントファイルが存在することを確認します。

PWX-06060 Controller:**サブタスク *name* が終了しました。**

説明： 指定されたサブタスクが終了しました。

システムのアクション： コントローラの終了処理は継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06061 **コントローラ: エラーハンドラがトリガされました。**

説明： C シグナルシステムで致命的なエラーが検出され、すべてのサブタスクを直ちにシャットダウンしようとしています。パラメータ SIGNALLING は"Y"に設定されました。

システムのアクション： 要約ジョブは終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-06065 **コントローラ: 要約が完了しました。最終チェックポイント時刻 *time*。**

説明： 最終チェックポイントファイルの日時が記録されます。

システムのアクション： 圧縮ジョブは正常に終了します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06067 Controller:**チェックポイント SRT レコードの読み込み中にエラーが発生しました。戻りコード=*return_code*。**

説明： SRT レコードをチェックポイントファイルから読み込んでいるときに、エラーが発生しました。

システムのアクション： 要約ジョブは終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。要約チェックポイントファイルが無効である可能性があります。

PWX-06068 Controller:**タスクイベントテーブルの初期化中にエラーが発生しました。戻りコード=*return_code*。**

説明： PowerExchange Condense が、コントローラタスク、コマンドハンドラサブタスク、圧縮タスク間の通信を可能にするために使用されるタスクイベントテーブルを初期化しているときにエラーが発生しました。

システムのアクション： 要約ジョブは終了します。

ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。 エラー時に実行されていた関数を識別します。i5/OS では、2 つの圧縮ジョブを同時に実行しようとした場合にこのメッセージがログに記録されます。その場合、最初のジョブによってメッセージキューがロックされ、2 つ目のジョブがメッセージキューにアクセスできないことがあります。圧縮ジョブの別のインスタンスが実行中かどうか確認してください。
PWX-06069	Controller: チェックポイントを開けませんでした。戻りコード=return_code。
説明：	最新を特定するためチェックポイントファイルを処理しているときにエラーが発生しました。
システムのアクション：	ジョブが終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-06070	登録を CCT ファイルから読み込んでいるときにエラーが発生しました。戻りコード=return_code。
説明：	CCT ファイルから登録を読み込んでいるときにエラーが発生しました。
システムのアクション：	ジョブが終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-06073	Controller: チェックポイントファイルから DCT レコードを読み込んでいるときにエラーが発生しました。戻りコード=return_code。
説明：	チェックポイントファイルから DCT レコードを読み込んでいるときにエラーが発生しました。
システムのアクション：	ジョブが終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-06076	サブタスクプログラム name を開始しています。
説明：	指定された PowerExchange Condense プログラムを、コマンドハンドラまたは圧縮サブタスクを実行できるように開始しています。プログラム名は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • コマンドハンドラサブタスクを実行する DTLCCMDH • 圧縮サブタスクを実行する DTLCCND2/DTLCCNDS
システムのアクション：	処理は継続します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。

PWX-06079	コントローラ: 読み込み後にチェックポイントファイルを閉じているときにエラーが発生しました。戻りコード <code>=return_code</code>。
説明:	ウォームスタート中に、チェックポイントファイルからレコードを読み込んだ後でクローズ中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	ジョブが終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-06080	キャプチャがシグナルハンドラを設定できませんでした。
説明:	致命的なエラーを検出するために C シグナルを処理するルーチンを登録しているときに、エラーが発生しました。
システムのアクション:	ジョブが終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-06081	致命的なエラーが検出されました。シグナル <code>signal_name</code>。異常終了コード <code>code</code>。戻りコード <code>code</code>。
説明:	致命的なエラーシグナルが検出されました。
システムのアクション:	ジョブが終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-06086	パラメータ <code>parameter</code> の値 <code>value</code> は、<code>reason</code> のため無効です。
説明:	指定したパラメータに渡された値が無効です。
システムのアクション:	要約ジョブは終了します。
ユーザの応答:	パラメータを、検証の必要条件を満たすように修正します。
PWX-06099	登録が CCT ファイルにありません。
説明:	登録が CCT ファイルに見つかりませんでした。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	DBID と DB_TYPE パラメータの登録があることを確認します
PWX-06100	<code>type</code> トークン <code>hex_value</code>
説明:	確認要求の前に、特定のトークンでコールドスタートからのシーケンスおよびリスタートトークンが、16 進数で表示されます。z/OS では、確認要求は、PWX-06101 メッセージでオペレータのコンソールに WTOR として送信されます。

システムのアクション: 処理は継続します。
ン:

ユーザの応答: コールドスタート確認要球に対して Y または N と応答します。

PWX-06101 **チェックポイントファイルがありません。指定したリスタートポイント *restart_point* からコールドスタートを開始しますか? (Y/N)**

説明: z/OS では、このメッセージは、要約ジョブのコールドスタートが必要かどうかの確認に対して Y または N の応答を必要とする WTOR プロンプトで使用されます。

システムのアクション: システムは WTOR への応答を待ちます。
ン:

ユーザの応答: トークンの 16 進数値を確認した後、WTOR に Y か N を応答します。

PWX-06102 **チェックポイントファイルおよびトークンが指定されていません。コールドスタートに、現在の PowerExchange ロggerを使用しますか? (Y/N)**

説明: z/OS では、このメッセージは、要約ジョブのコールドスタートが必要かどうかを確認するために、WTOR プロンプトで使用されます。プロンプトは Y または N の応答を必要とします。

システムのアクション: システムは WTOR プロンプトに対する応答を待機します。
ン:

ユーザの応答: WTOR プロンプトに対して Y または N の応答を入力します。

PWX-06103 **コールドスタートが受け付けられました**

説明: コールドスタートが必要である確認要求から Y の応答を受け取りました。

システムのアクション: 処理は継続します。
ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-06104 **コールドスタートが拒否されました**

説明: コールドスタートが必要である確認要求から、N の応答を受け取りました。

システムのアクション: 処理は終了します。
ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-06106 Controller: **シグナルエラー *error_information***

説明: 致命的なエラーが C シグナル環境によって検出されました。

システムのアクション: 処理は終了します。
ン:

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-06107	コントローラ: サブタスクをすべてシャットダウンします。
説明:	PowerExchange Condense コマンドハンドラと圧縮サブタスクがシャットダウンされました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06108	Controller:API_routine でエラーが発生しました。戻りコード=return_code。
説明:	エラーが発生しました。メッセージテキストおよび戻りコードにエラーが記述されています。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-06109	Controller:警告 reason。
説明:	予期しないイベントが発生しました。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-06110	モジュール name がアンロードされました。
説明:	指定されたタスクのプログラムがアンロードされています。 コマンドハンドラ、圧縮またはダンプタスクによる最終メッセージです。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06111	コントローラ: タスクの初期化がすべて終了しました。
説明:	コントローラは、コマンドハンドラ、圧縮タスクおよびダンプタスクから、初期化が終了し、開始の準備ができたことを知らせるイベント通知を受け取りました。
システムのアクション:	処理は継続します。コントローラはイベント"キャプチャスタートアップの完了"をポストし、初期チェックポイントを取得します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06112	コントローラ: キャプチャサブタスクを開始しています。
説明:	PowerExchange Condense コマンドハンドラまたは圧縮サブタスクのプログラムがロードされ、実行可能になります。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-06113	DB タイプ"<i>source_database_type</i>"、インスタンス"<i>instance_id</i>"、ステータス"<i>registration_status</i>"のアクティブなキャプチャ登録が見つかりません。
説明：	PWXUCREG ユーティリティで、登録固有のコマンドで指定されたデータベースタイプ、インスタンス識別子、および登録ステータスパラメータに基づいて、CCT ファイルからキャプチャ登録が読み取られませんでした。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	<p>コマンドで正しいデータベースタイプ、インスタンス、およびステータス値が指定されていることを確認してください。PowerExchange ロggerまたは PowerExchange Condense を使用している場合は、次の項目も確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キャプチャ構成ファイルの DBID 値と DB_TYPE 値 • ソースデータベースタイプおよびインスタンスにアクティブな登録が存在すること <p>PWXUCREG ユーティリティを使用している場合、このメッセージは、ステータスが H（履歴）、I（非アクティブ）、または N（非ライブ）の登録がないことを示している可能性があります。</p>
PWX-06115	処理するアクティブなキャプチャ登録はありません
説明：	検証処理の後、キャプチャ登録の処理は実行されません。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	メッセージ PWX-06114 を参照します。このエラーは、アクティブな登録で要約の種類が「部分」または「完全」ではなく、「なし」に設定された場合に表示されます。
PWX-06116	登録ロードセッションを開始できませんでした。
説明：	キャプチャ登録の処理中にエラーが発生しました。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-06117	インスタンス <i>connection_instance</i> の登録をロードできませんでした。
説明：	指定したインスタンスの登録をロードできませんでした。
システムのアクション：	コレクションの初期化が終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答：	このメッセージと関連するメッセージを使用して、要求または設定を修正し、再試行します。

PWX-06118 **登録がロードされました:DB 名:database_name
RegName:name 作成者:creator テーブル:table_name**

説明: 変更キャプチャ処理のための指定された登録が正常にロードされました。

システムのアクション: 処理は続きます。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-06119 **Controller:change_type 登録タグ tag**

説明: 変更を登録タグに通知します。変更の種類には、「新規を追加」と「非アクティブを破棄」があります。

システムのアクション: 処理は続きます。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-06120 **MSS パブリケーションの追加中にエラーが発生しました。**

説明: 変更を登録タグに通知します。変更の種類には、「新規を追加」と「非アクティブを破棄」があります。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: ユーティリティに渡されたパラメータを確認します。

PWX-06121 **登録がロードされました:DB 名:database_name
RegName:name 要約:option 作成者:creator テーブル:table**

説明: 登録のロードに成功しました。

システムのアクション: 処理は続きます。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-06123 **コントローラ: 登録数の制限 limit を超えています。**

説明: z/OS の PowerExchange Condense のタスクが CDC に対して処理できるキャプチャ登録の最大数を超えています。

システムのアクション: Condense 処理は終了します。

ユーザの応答: PowerExchange Condense タスクが処理するキャプチャ登録の数を減らすか、各タスクが一意のセットの登録を処理するように、登録を複数の PowerExchange Condense タスクに分割します。

PWX-06127 **コントローラ: ロードモジュール DTLIDCAM のフェッチ/リリース中にエラーが発生しました。**

説明: ロードモジュール DTLIDCAM のフェッチまたはリリース中にエラーが発生しました。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-06129 Controller:**タスク *task_name* のアンロード中にエラーが発生しました。**

説明： PowerExchange Condense Controller が圧縮ジョブのサブタスク (DTLCMDH または DTLCCNDS/DTLCCND2) のプログラムをアンロードしようとしているときに、オペレーティングシステムのエラーが発生しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。エラー時に実行されていた関数をレポートします。

PWX-06130 **コントローラ: 要約サブタスクが完了前に終了しました。**

説明： 要約サブタスクでエラーが発生し、完了前に終了しました。例えば、要約サブタスクが、「要約の初期化の完了」イベントをポストする前に初期化中に終了しました。あるいは、要約サブタスクが「すべてのタスクのシャットダウン」イベントなしで終了しました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： 圧縮タスクの関連メッセージからエラーの原因を特定します。

PWX-06131 **PWXCCL コンフィギュレーションエラー：CAPTURE_NODE_PWD と CAPTURE_NODE_EPWD パラメータは相互に排他的です。**

説明： CAPTURE_NODE_PWD と CAPTURE_NODE_EPWD パラメータは、PowerExchange ロgger (Linux、UNIX、Windows 用) の pwxccl.cfg 構成ファイルで指定されています。これらのパラメータのうち 1 つのみが許可されています。

システムのアクション： PowerExchange ロggerプロセスが初期化できません。

ユーザの応答： CAPTURE_NODE_PWD パラメータまたは CAPTURE_NODE_EPWD パラメータのどちらかを削除するか、コメントアウトします。または、どちらのパラメータも省略可能なので、両方とも削除できます。

PWX-06132 **PWXURDMO：サーバー *server_name* のデータベース *database_name* に接続できませんでした。**

説明： Microsoft SQL Server キャプチャ登録で、指定したデータベース名が有効ではありませんでした。

システムのアクション： キャプチャ登録操作が失敗します。

ユーザの応答： キャプチャ登録のデータベース名を修正します。要求を再試行します。

PWX-06133	PWXURDMO: サーバー <i>server_name</i> に接続できませんでした。
説明:	Microsoft SQL Server キャプチャ登録で、サーバー名が有効ではありませんでした。
システムのアクション:	キャプチャ登録操作が失敗します。
ユーザの応答:	キャプチャ登録のサーバー名を修正します。要求を再試行します。
PWX-06135	コントローラ: ERT レコードの処理中にエラーが発生しました。戻りコード=<i>return_code</i>。
説明:	チェックポイントファイルから ERT レコードを処理しているとき、または新しい登録のタグから派生した ERT レコードを追加しているときに、エラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-06136	チェックポイントがファイル=<i>file name</i> 時刻=<i>timestamp</i> で作成されました。
説明:	この時刻にこのファイルで、チェックポイントが作成されました。
システムのアクション:	処理は続行します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06137	登録に列がありません。DB 名:<i>database_name</i> RegName:<i>name</i> 作成者: <i>creator</i> テーブル: <i>table</i>
説明:	指定した登録に列が読み込まれなかったため、処理できません。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	PowerExchange Navigator で登録を確認し、一部の列で再作成します。
PWX-06139	コントローラ: RET レコードの処理中にエラーが発生しました。戻りコード=<i>return_code</i>。
説明:	チェックポイントファイルの RET レコードの処理中にエラーが発生しました。データは圧縮データの保持期間に関係します。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	圧縮タスクの関連メッセージからエラーの原因を特定します。必要に応じて、Informatica グローバルカスタマサポートにエラーを報告します。そのとき、エラーの発生時に実行していた関数を知らせます。

PWX-06140	RACF_CLASS
説明:	構成ファイルのパラメータ RACF_CLASS にエラーが見つかりました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	パラメータ値は最大 8 バイト長のテキストです。パラメータは、z/OS システムの PowerExchange Listener ジョブで使用されます。
PWX-06142	RECONID
説明:	DBMOVER コンフィギュレーションファイルの RECONID パラメータにエラーが見つかりました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	パラメータ値は最大 8 バイト長のテキストです。z/OS システムでは、このパラメータは、PowerExchange Listener ジョブまたは IMS ECCR ジョブで使用されます。
PWX-06143	RECON1
説明:	構成ファイルの RECON1 パラメータにエラーが見つかりました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	パラメータ値は最大 44 バイトの長さのテキストです。z/OS システムでは、このパラメータは、PowerExchange Listener ジョブまたは IMS ECCR ジョブで使用されます。
PWX-06144	RECON2
説明:	構成ファイルの RECON2 パラメータにエラーが見つかりました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	パラメータ値は最大 44 バイトの長さのテキストです。z/OS システムでは、このパラメータは、PowerExchange Listener ジョブまたは IMS ECCR ジョブで使用されます。
PWX-06145	RECON3
説明:	構成ファイルの RECON3 パラメータにエラーが見つかりました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	パラメータ値は最大 44 バイトの長さのテキストです。z/OS システムでは、このパラメータは、PowerExchange Listener ジョブまたは IMS ECCR ジョブで使用されます。
PWX-06146	DBDLIB
説明:	構成ファイルの DBDLIB パラメータにエラーが見つかりました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	

ユーザの応答： パラメータ値は最大 44 バイトの長さのテキストです。z/OS システムでは、このパラメータは、PowerExchange Listener ジョブまたは IMS ECCR ジョブで使用されます。

PWX-06147 IMSID

説明： DBMOVER 構成ファイルで、IMSBSDS 文の *imsid* パラメータにエラーが含まれています。パラメータは最大長の 4 バイトよりも長い IMS ID 値を指定しています。このパラメータ値は、z/OS PowerExchange リスナおよび IMS コレクタジョブによって使用されます。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： パラメータ値を修正して 4 バイト以下の IMS ID 値を指定します。

PWX-06148 **IMS ブートストラップデータセット**

説明： DBMOVER 構成ファイルの IMSBSDS 文の *bsds_hlq* パラメータにエラーが含まれています。パラメータ値は最大長の 39 バイトよりも長いです。このパラメータは、z/OS PowerExchange リスナおよび IMS コレクタジョブによって使用されます。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： *bsds_hlq* パラメータを編集して 39 バイト以下の値を指定します。

PWX-06149 **検索設定**

説明： DBMOVER 構成ファイルの IMSBSDS 文の検索設定パラメータにエラーが含まれています。パラメータは無効なオプションを指定しています。このパラメータは、z/OS PowerExchange リスナおよび IMS コレクタジョブによって使用されます。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： IMSBSDS 文の検索設定パラメータを修正して次の有効なオプションのいずれかを指定します。

- **C**。最初に IMS カタログ、次に DBDLIB ライブラリを検索します。
- **D**。最初に DBDLIB ライブラリ、可能であれば次に IMS カタログを検索します。
- **O**。IMS カタログのみを検索します。カタログを利用できない場合、エラーメッセージを表示します。

値なしまたは空白は、DBDLIB ライブラリのみ検索することを意味します。

PWX-06150 **(キャプチャ) OPER_WTO**

説明： キャプチャ構成ファイルのパラメータ OPER_WTO にエラーが見つかりました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： パラメータに Y または N のいずれかを入力します。

PWX-06152 **IMS SLDS ファイル *file_name* が閉じられ、{some|no} のレコードが処理されました。 *commits_and_aborts***

説明： このメッセージは、IMS ログベース ECCR が IMS SLDS の処理を完了すると、この ECCR によって生成されます。このメッセージでは、最後に PWX-06152 メッセージが発行されてから ECCR が処理した、コミットされた変更レコードと強制終了された UOW の合計数が報告されます。不完全なマルチパーツの 9904 レコードが IMS ログ中に存在する場合、UOW は、強制終了されることがあります。このメッセージは、登録によってキャプチャされた挿入、更新、削除の数をレポートする PWX-06153 メッセージの後に続いて表示されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06153 *registration_name dbd/copybooksegment/file/table=number_of_inserts U=number_of_updates D=number_of_deletes*

説明： このメッセージは、登録済み非リレーショナルソースについて ECCR がキャプチャした挿入、更新、および削除の数をレポートします。このメッセージは、ECCR によるソースログからのデータ読み取り後および ECCR 実行終了時に発行されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06154 **DTLCACON 引数形式エラー<*parameter*>が検出されましたが、<CS=>であることが必要です。**

説明： DTLACON に渡されたパラメータまたは引数が *cs=keyword* で始まっていません。

システムのアクション： 要求が失敗します。

ユーザの応答： 引数を修正して、サブミットし直します。

PWX-06155 ***executable* 構成ファイルは *file_name* でオーバーライドされました。**

説明： DTLACON または PWXCCL 実行可能ファイルを開始したとき、PowerExchange は、*cs=parameter* で指定したオーバーライド構成ファイルを使用しました。

システムのアクション： PowerExchange ロガーまたは PowerExchange Condense の処理が継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。このメッセージを監査証跡の一部に使用できます。

PWX-06156 **オーバーライド<*DBID*>およびデフォルトの<*INST*>の DBIDS の混在登録はできません。**

説明： これまでに処理された登録は、*cfg* (CAPTPARM) の DBID と CFG (DBMOVER) の INSTANCE をソースとしていました。これは許可されていません。

システムのアクション: 処理は終了します。
ン:

ユーザの応答: 1つのインスタンスに登録を制限するようにパラメータを変更するか、テストを回避する追加の登録を作成します。

PWX-06157 **登録<registration_name>が見つかりませんでした**

説明: 使用可能なインスタンスのどちらにも登録が見つかりませんでした。

システムのアクション: 処理は終了します。
ン:

ユーザの応答: cfg (CAPTPARM) の DBID と CFG (DBMOVER) の INSTANCE (INST) 両方で、登録が正しいことを確認します。

PWX-06158 **登録がありません。<parameter_count>が必要ですが、<match_count>が見つかりました。**

説明: 処理された登録の一部が見つかりませんでした

システムのアクション: 処理は終了します。
ン:

ユーザの応答: cfg (CAPTPARM) の DBID と CFG (DBMOVER) の INSTANCE (INST) 両方で、登録が正しいことを確認します。

PWX-06159 DTLCACON **サブプロセス ID が<process_number>を<start_time>から開始します。**

説明: このメッセージは情報目的です。

ユーザの応答: このメッセージは、複数の要約が実行されている場合のサブタスクでの診断と、監査証跡としてのアクションを支援するためのものです。

PWX-06160 DTLCACON **接続インスタンスに<count_of>個の接続がありません。**

説明: 要約コントローラは、DBMOVER コンフィギュレーションファイルでデフォルトのインスタンスを検出できませんでした。

注: 接続カウントがゼロの場合、接続情報はありません。

ユーザの応答: DBMOVER の設定を修正するか、またはライブラリリストの datalib に DBMOVER があることを確認します。

PWX-06162 **キャプチャチェックポイントファイルのファイル名の作成中にエラーが発生しました。**

説明: キャプチャチェックポイントファイルのファイル名の作成中にエラーが発生しました。

システムのアクション: 処理は終了します。
ン:

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-06163 **アクセス方式 *access_method* (コマンドセット *commandset* 内) が別のコマンドセットと一致しません。**

説明： 複数のコマンドセットが1つのコマンドリストから実行されている場合、"from"アクセス方式のうちのいずれか1つがそれ以外のものと同じではないか、"to"アクセス方式のうちの1つがそれ以外のものと同じではありません。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： 問題のコマンドセットのアクセス方式を修正します。

PWX-06164 **ソース *file/table_name* (コマンドセット *command_set_name* 内) は、すでにコマンドリストに存在しています。**

説明： このコマンドセットのデータソースは、このリストの別のコマンドセットで指定されたものと同じです。同一のコマンドセットで、複数のターゲットを指定できます。これをアーカイブするためにセカンドコマンドセットを使用しないでください。

システムのアクション： DBMOVE は、データを転送せずに終了します。

ユーザの応答： 1つのデータソースからターゲットはすべて同じコマンドセットに入れてください。

PWX-06165 **場所 *location* (コマンドセット *command_set_name* 内) が別のコマンドセットと一致しません。**

説明： すべてのコマンドセットは、同じ場所のデータソースである必要があります。

システムのアクション： DBMOVE は、データを転送せずに終了します。

ユーザの応答： コマンドリストを同じ場所からのコマンドセットに制限します。

PWX-06166 **コマンドリストに無効なセッション ID があります。**

説明： セッションが無効です。二重引用符で囲まれていないか、8文字以上の長さです。

システムのアクション： DBMOVE は、データを転送せずに終了します。

ユーザの応答： セッションパラメータを修正します。

PWX-06167 **セッション *session* を number レコード後にリスタートします。**

説明： 指定されたポイントで DBMOVE がリスタートします。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06168	セッションログ <i>file name</i> の書き込み中にエラーが発生しました。
説明:	セッションログファイルの書き込み中（またはオープンとクローズ中）にエラーが見つかりました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	ファイル名が正しいこと、ファイルへの書き込み権限があること、およびディスクに適切な空き容量があることを確認します。
PWX-06169	セッションログ <i>file name</i> の読み込み中にエラーが発生しました。
説明:	セッションログファイルの読み込み中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	ファイル名が正しいこと、およびファイルの読み込み権限があることを確認します。
PWX-06170	型 TXT は DBMOVE の FROM 型には無効です。
説明:	データソースの型として TXT は許可されていません。
システムのアクション:	DBMOVE は、データを転送せずに終了します。
ユーザの応答:	データソースの型を見直します。SEQ で代用できる場合があります。
PWX-06171	リスタートエラー - ログに記録されているセッションが現在の DBMOVE ではありません。
説明:	セッションログレコードと現在の DBMOVE が呼び出された方法とが違います。
システムのアクション:	DBMOVE のリスタートは中断されます。
ユーザの応答:	セッションログレコードと DBMOVE パラメータを確認します。
PWX-06172	COLS=はコマンドリストでは使用できません。代わりに MAP=を使用します (<i>command_set_name</i>)。
説明:	COLS=は使用できず、MAP=文で実行できます。コマンドリストでコマンドセットを使用する場合は、MAP=を使用する必要があります。
システムのアクション:	DBMOVE は、データを転送せずに終了します。
ユーザの応答:	コマンドセットを MAP=を使用して書き直します。
PWX-06173	複数のセッション ID は指定できません。
説明:	セッション ID が複数回指定されました。
システムのアクション:	DBMOVE は、データを転送せずに終了します。
ユーザの応答:	余分なセッションパラメータをコマンドセットから削除します。

PWX-06174	DBdbname (コマンドセット <i>command_set_name</i> 内) が別のコマンドセットと一致しません。
説明:	このコマンドセットリストのすべてのコマンドセットは、コマンドセットの db=パラメータで指定された同一の DB 名である必要があります。
システムのアクション:	DBMOVE は、データを転送せずに終了します。
ユーザの応答:	すべてのコマンドセットに同一のソース DB があることを確認します。
PWX-06175	AS4J 接続の検索中にエラーが発生しました。
説明:	CAPJ 接続は、AS4J 接続の種類を含みません。
システムのアクション:	抽出は失敗します。
ユーザの応答:	問題を解決し、もう一度実行します。
PWX-06176	エラー - レシーバリスト検索からの戻りコード <i>return_code</i>。
説明:	CDC 抽出のジャーナルに関連したレシーバの検索が表示されたコードで失敗しました。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	関連メッセージを確認し、原因を確定して修正し、再試行します。
PWX-06177	<i>token_occurrence</i> を新しいリリースに変換しようとしてエラーが発生しました。戻りコード <i>return_code</i>。
説明:	表示されているトークンのオカレンスを新しいリリースに変換中に戻りコードを受け取りました。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	関連メッセージを確認し、原因を確定して修正し、再試行します。
PWX-06178	<i>token_occurrence</i> トークンを新しいリリースに更新しようとしてエラーが発生しました。戻りコード=<i>return_code</i>。
説明:	表示されているトークンのオカレンスを新しいリリースに更新中に戻りコードを受け取りました。
システムのアクション:	要求が失敗します。
ユーザの応答:	関連メッセージを確認し、原因を確定して修正し、再試行します。
PWX-06179	IMS ECCR 実行が完了しました。この実行の合計:
説明:	このメッセージには、この実行についてログ記録されたすべての変更の統計が表示されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-06180	ECCR (<i>eccr_type eccr_name</i>) の実行が完了しました。この実行の合計:
説明:	ECCR の実行が完了しました。このメッセージは、実行のためにキャプチャおよびログに記録された変更の合計数を表示します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06181	間隔 <i>end_timestamp</i> <i>I=number_of_inserts</i> <i>U=number_of_updates</i> <i>D=number_of_deletes</i> <i>C=number_of_commits</i> <i>Log=timestamp</i>
説明:	このメッセージは、指定された時間に終了した間隔中に、ECCR がキャプチャし、ログに記録した挿入、更新、削除、およびコミットの数レポートします。このメッセージはキャプチャされた最後の変更レコードのログ位置もレポートします。間隔のタイムスタンプは、YY/DD/MM HH:MM:SS の形式となり、ログ位置のタイムスタンプは、YY/DD/MM HH:MM:SS.NN の形式となります。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06182	合計 <i>timestamp</i> <i>I=number_of_inserts</i> <i>U=number_of_updates</i> <i>D=number_of_deletes</i> <i>C=number_of_commits</i> <i>Log=timestamp</i>
説明:	このメッセージは、ECCR の実行中に、すべての登録について ECCR がキャプチャし、ログに記録した挿入、更新、削除、およびコミットの合計数をレポートします。このメッセージはキャプチャされた最後の変更レコードのログ位置もレポートします。実行のタイムスタンプは、YY/MM/DD HH:MM:SS の形式となり、ログ位置のタイムスタンプは、YY/MM/DD HH:MM:SS.NN の形式になります。このメッセージは、ECCR コンフィギュレーションメンバ内の CAPT_STATS パラメータを Y に指定したか、または STATISTICS ON コマンドを入力したかにかかわらず、常に ECCR の実行の最後に発行されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06183	SinceLast <i>timestamp</i>
説明:	これは、STATISTICS SINCE コマンドへの応答として発行されるメッセージのブロックのヘッダメッセージです。このコマンドは、STATISTICS SINCE コマンドの最後の実行以降にキャプチャされた変更の ECCR 統計を出力します。 <i>timestamp</i> は、このコマンドが最後に実行された日時です。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-06184	<i>SnceLast timestamp</i> <i>I=number_of_inserts</i> <i>U=number_of_updates</i> <i>D=number_of_deletes</i> <i>C=number_of_commits</i> <i>Log=timestamp</i>
説明:	このメッセージは、STATISTICS SINCE コマンドに対する応答として発行されるメッセージのブロックの最後を示します。このメッセージは、STATISTICS SINCE コマンドの最後の実行以降に、ECCR がキャプチャし、ログに記録した挿入、更新、削除、およびコミットの合計数をレポートします。このメッセージはこの期間にキャプチャされた最後のレコードのログ位置もレポートします。最後のコマンドの実行の SnceLast タイムスタンプは、YY/MM/DD HH:MM:SS の形式となり、ログ位置の Log タイムスタンプは YY/MM/DD HH:MM:SS:NN の形式になります。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06185	合計 <i>timestamp</i> , <i>I=inserts</i> , <i>U=updates</i> , <i>D=deletes</i>
説明:	このメッセージは、PowerExchange がログに記録したソースデータベースでの挿入、更新、および削除操作の合計数を報告します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06186	<i>C=number of commits</i> , <i>A=number of aborts</i> , <i>Log=position</i>
説明:	このメッセージは、ソースデータベースでのコミットおよび Unit of Work の中止操作の合計数と、PowerExchange がキャプチャしたログ内の最後の変更レコードの位置を報告します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06211	(キャプチャ) FILE_SWITCH_MIN (value, サブパラメータ 1)
説明:	キャプチャ構成ファイルで FILE_SWITCH_MIN パラメータのサブパラメータ 1 にエラーが見つかりました。このサブパラメータは、ファイルスイッチ間隔の時間 (分) またはレコード数 (どちらかはパラメータ FILE_SWITCH_CRIT の値による) の最小値を定義します。
システムのアクション:	要約ジョブは終了します。
ユーザの応答:	必要な時間 (分) またはレコード数をサブパラメータに設定します。
PWX-06212	(キャプチャ) FILE_SWITCH_MIN (無視値, サブパラメータ 2)
説明:	キャプチャ構成ファイルで FILE_SWITCH_MIN パラメータのサブパラメータ 2 にエラーが見つかりました。このサブパラメータは、コールドスタートした要約が、FILE_SWITCH_MIN サブパラメータ 1 の値を無視し、FILE_SWITCH_VAL パラメータのみに基づいてファイルスイッチを実行する時間 (分) またはレコード数 (どちらかは、FILE_SWITCH_CRIT の値による) を定義します。
システムのアクション:	要約ジョブは終了します。
ユーザの応答:	必要な時間 (分) またはレコード数をサブパラメータに設定します。

PWX-06214	(キャプチャ) FILE_SWITCH_MIN サブパラメータ 1 の値 (<i>value_from_condense_config_file</i>) が FILE_SWITCH_VAL (<i>value_from_condense_config_file</i>) と同じです。
説明:	キャプチャ構成ファイルで指定されたファイルスイッチ時間の最小値が、ファイルスイッチの基本時間以上になっています。この最小値は無視され、ファイルスイッチは常に FILE_SWITCH_VAL に基づいて行われます。
システムのアクション:	圧縮ジョブは継続されます。
ユーザの応答:	この動作が望ましくない場合は、圧縮構成ファイルで値を修正します。
PWX-06215	PWXCCL 構成: 入力パーサーは戻りコード= (<i>return_code</i>) で失敗しました (PowerExchange ロgger 構成ファイル (<i>file_name</i>) の解析中)。
説明:	PowerExchange ロgger (Linux、UNIX、Windows 用) の pwxcl.cfg 構成ファイルを検証しているときに、PowerExchange パーサーにエラーが発生しました。
	メッセージテキスト:
	<ul style="list-style-type: none"> • <i>return_code</i> はエラーの戻りコードです。 • <i>file_name</i> は、PowerExchange ロgger 構成ファイル pwxcl.cfg の名前です。
システムのアクション:	PowerExchange ロgger プロセスが初期化できません。
ユーザの応答:	PowerExchange メッセージログファイルでこのエラーに関連したメッセージを確認して、検証に失敗した PowerExchange ロgger 構成パラメータを特定します。続いてこれらのパラメータを修正します。
PWX-06216	(キャプチャ) NO_DATA_WAIT2 パラメータ値の秒数 (<i>number_of_seconds</i>) が FILE_SWITCH_VAL の分数 (<i>number_of_minutes</i>) 以上です。
説明:	PowerExchange Condense 構成ファイルで、NO_DATA_WAIT2 時間間隔が、FILE_SWITCH_VAL 時間間隔以上です。FILE_SWITCH_VAL 値が分単位で表されている場合、秒単位で NO_DATA_WAIT2 時間間隔以上の時間間隔を定義する必要があります。
システムのアクション:	圧縮ジョブは失敗します。
ユーザの応答:	FILE_SWITCH_VALUE 時間間隔が NO_DATA_WAIT2 時間値より大きくなるように、PowerExchange Condense 構成ファイルを編集します。

PWX-06217 CCL 構成: CHKPT_BASENAME ディレクトリにアクセスできません。CHKPT_BASENAME= (*path_basename*) システムエラー番号=<*error_number*>

説明: PowerExchange は、PowerExchange ロgger (Linux、UNIX、Windows 用) の生成したチェックポイントファイルを格納するディレクトリにアクセスすることも、このディレクトリを作成することもできません。このディレクトリは、pwxcl.cfg ファイルの CHKPT_BASENAME パラメータで指定されます。

メッセージテキストに表示された *system errno* は、ディレクトリアクセス試行から返されたエラーコードです。

システムのアクション: PowerExchange ロgger プロセスが初期化できません。

ユーザの応答: CHKPT_BASENAME パラメータが有効なパスを指定していることを確認します。また、ディレクトリが存在しない場合に、ディレクトリを作成する適切な権限が PowerExchange ロgger プロセスにあることを確認します。

PWX-06218 CCL 構成: EXT_CAPT_MASK ディレクトリにアクセスできません。CHKPT_BASENAME= (*path_mask*) システムエラー番号=<*error_number*>

説明: PowerExchange は、PowerExchange ロgger (Linux、UNIX、Windows 用) のログファイルを格納するディレクトリにアクセスすることも、このディレクトリを作成することもできません。このディレクトリは、pwxcl.cfg ファイルの EXT_CAPT_MASK パラメータで指定されます。

メッセージテキストに表示された *system errno* は、ディレクトリ呼び出しから返されたエラーコードです。

システムのアクション: PowerExchange ロgger プロセスが初期化できません。

ユーザの応答: EXT_CAPT_MASK パラメータで有効なパスを指定されていることを確認します。また、ディレクトリが存在しない場合に、ディレクトリを作成する適切な権限が PowerExchange ロgger プロセスにあることを確認します。

PWX-06250 GROUPDEFS=と REGS=は同時に使用できません

説明: GROUPDEFS と REGS パラメータは一緒に使用できません。

システムのアクション: 検証に失敗しました。

ユーザの応答: 要約構成ファイルのパラメータを修正します。

PWX-06252 GROUPNAME

説明: 構成ファイルのパラメータ GROUPNAME にエラーが見つかりました。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答： 構文は GROUP= (*group_name*,*mask*) でなければなりません。名前の長さは 255 以下でなければなりません。

PWX-06253 GROUPCAPTMASK

説明： 構成ファイルのパラメータ GROUPCAPTMASK にエラーが見つかりました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： 構文は GROUP= (*group_name*,*mask*) でなければなりません。マスクの長さは 255 以下でなければなりません。

PWX-06257 **文 *statementid* の構成ファイル内での順序が違っています**

説明： 構成ファイルの文のロード順が正しくありません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 要約構成ファイルのパラメータを修正します。

PWX-06258 **構成ファイルでは、行あたり 1 つのパラメータしか入力できません**

説明： 構成ファイルの 1 つの文に複数のパラメータが含まれています。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 要約構成ファイルのパラメータを修正します。

PWX-06259 **構成ファイルでは重複したグループは使用できません。グループ *group_name***

説明： 構成ファイルでグループが重複しています。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 要約構成ファイルのパラメータを修正します。

PWX-06260 SCHEMA パラメータは *dbtype* で使用できません

説明： データベースの種類によっては、スキーマパラメータが許されていません。

システムのアクション： 検証に失敗しました。

ユーザの応答： 要約構成ファイルのパラメータを修正します。

PWX-06261 **グループ<*group*>は登録<*registration_name*>(reg_schema=<*schema*> table=<*table*>) を schema=<*schema*>で使用することはできません。すでに使用されています。**

説明： そのスキーマ名とテーブル名で存在している登録がすでにあります。.

システムのアクション: 登録を無視し、メッセージを出力して、処理が続行されます。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-06262 **構成ファイルでは重複したキャプチャマスクは使用できません。マスク *maskname***

説明: 構成ファイル内のキャプチャマスクが重複しています。

システムのアクション: 検証に失敗しました。これは、重複した要約ファイル名を終了します。

ユーザの応答: 要約構成ファイルのパラメータを修正します。

PWX-06263 **グループ<*group_name*>に対する登録が見つかりませんでした。**

説明: このグループに対して指定された登録パラメータに一致する登録が見つかりませんでした。

システムのアクション: 検証に失敗しました。要約が終了します。

ユーザの応答: この特定のグループの登録文の内容を確認します。

PWX-06264 **グループ<*group*>が、登録<*registration_name*>reg_schema=<*schema*>table=<*table*>をschema=<*schema*>で使用しています。**

説明: 登録をスキーマオーバーライドで使用しているグループがあります。

システムのアクション: GROUPDEFS で使用される登録のレポートが出力されます。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-06265 **CCL 構成: 入力パーサーは戻りコード (*return_code*) で失敗しました (CCL GROUPDEF 構成ファイル (*file_name*) の解析中)。**

説明: CCL GROUPDEF 構成ファイルの解析が失敗しました。

メッセージテキスト:

- *return_code* はエラーの戻りコードです。
- *file_name* は、処理されていた CCL 構成ファイルの名前です。

システムのアクション: CCL ジョブは失敗します。

ユーザの応答: ログを確認して、正しくない CCL GROUPDEF パラメータ値があればこの値を特定します。続いてこれらのパラメータ値を修正します。

PWX-06270 **スレッド属性の初期化に失敗しました。デフォルトの属性が使用されます。戻りコード=<*return_code*>:< *explanation*>**

説明: スレッド実行属性を変更できませんでした。

システムのアクション: このプロセスは、デフォルトの実行属性を使用して実行されます。

ユーザの応答： プロセスが失敗した場合は、ソフトウェアプロバイダに連絡します。
プロセスからレポートされたエラーや警告があれば、併せて報告します。

PWX-06271 **デフォルトのスレッドスタックサイズは変更できません。
デフォルトのスタックサイズが使用されます。戻りコード**
=<return_code>:<explanation>

説明： デフォルトのスレッドスタックサイズを変更できませんでした。

システムのアクション： このプロセスは、デフォルトのスレッドスタックサイズを使用して実行されます。

ユーザの応答： プロセスが失敗した場合は、ソフトウェアプロバイダに連絡します。
プロセスからレポートされたエラーや警告があれば、併せて報告します。

PWX-06272 **スレッド属性の削除に失敗しました。戻りコード**
=<return_code>:<explanation>

説明： スレッド実行属性を削除できませんでした。

システムのアクション： プロセスは継続されます。

ユーザの応答： プロセスが失敗した場合は、ソフトウェアプロバイダに連絡します。
プロセスからレポートされたエラーや警告があれば、併せて報告します。

PWX-06273 **CCL コントローラ: シグナル SIGTERM を受信しました。**

説明： PowerExchange ロgger（Linux、UNIX、Windows 用）のコントローラタスクがシャットダウン処理を開始するシグナルを受信しました。

システムのアクション： コントローラはシャットダウン処理を開始します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06274 **CCL コントローラ: クリーンシャットダウンが開始されます。**

説明： PowerExchange ロgger（Linux、UNIX、Windows 用）のコントローラタスクがシャットダウン処理を開始しようとしています。

システムのアクション： コントローラタスクは制御シャットダウンを開始します。この場合、変更データは保持されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06275 **CCL コントローラ: イベント<event_id>、<event_name>は、PowerExchange ロggerがシャットダウンされているため、無視されます。**

説明： PowerExchange ロgger（Linux、UNIX、Windows 用）のコントローラタスクは、PowerExchange ロggerがシャットダウンされているため、指定したイベントを無視しました。

システムのアクション： シャットダウン処理は続行されます。

ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06276	CCL コントローラ：イベント<event_id>、<event_name>は、不明なイベントであるため、無視されます。
説明：	PowerExchange ロgger（Linux、UNIX、Windows 用）のコントローラタスクは、指定したイベントを定義済みのイベントと認識していないため、このイベントを無視しました。
システムのアクション：	コントローラはイベントを無視します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06277	CCL コントローラ：サブタスクは実行されていないため、コントローラをすぐにシャットダウンできます。
説明：	PowerExchange ロgger（Linux、UNIX、Windows 用）のコントローラタスクが、サブタスクを開始する前に SHUTDOWN コマンドを受信しました。この結果、コントローラは、サブタスクが完了するまで待機してから、シャットダウン処理を開始する必要がありません。
システムのアクション：	コントローラは、PowerExchange ロgger シャットダウン処理を即座に開始します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06278	CCL コントローラ：エラーのために、コマンドハンドラはシャットダウンされます。
説明：	PowerExchange ロgger（Linux、UNIX、Windows 用）のコマンドハンドラサブタスクは、エラーが発生したため、シャットダウンされます。
システムのアクション：	PowerExchange ロgger がシャットダウンします。
ユーザの応答：	エラーを診断するため、PowerExchange ログファイルで関連するメッセージを確認します。
PWX-06279	CCL コントローラ：イベント<event_id>、<event_name>は、コマンドハンドラがシャットダウンされたため、無視されます。
説明：	PowerExchange ロgger（Linux、UNIX、Windows 用）のコマンドハンドラサブタスクがシャットダウンされたため、指定したイベントは無視されます。以降のイベントもすべて無視されます。
システムのアクション：	PowerExchange ロgger のシャットダウン処理は続行されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06280	CCL コントローラ：エラーのために、PWXCLW タスクはシャットダウンされます。
説明：	PowerExchange ロgger（Linux、UNIX、Windows 用）の内部 PWXCLW タスクは、エラーが発生したためシャットダウンされます。

システムのアクション: PowerExchange ロggerがシャットダウンします。

ユーザの応答: エラーを診断するため、PowerExchange ログファイルで関連するメッセージを確認します。

PWX-06281 CCL コントローラ: イベント<event_id>、<event_name>は、PWXCCCLW タスクがシャットダウンされたため、無視されます。

説明: PowerExchange ロgger (Linux、UNIX、Windows 用) の内部 PWXCCLW タスクがシャットダウンされたため、指定したイベントは無視されます。以降のイベントもすべて無視されます。

システムのアクション: PowerExchange ロggerのシャットダウン処理は続行されます。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-06284 CCL コントローラ: イベント ID ALL_TASK_SHUTDOWN は無視されます。

説明: PowerExchange ロgger (Linux、UNIX、Windows 用) のコントローラタスクは、シャットダウンが進行中であるため、ALL_TASK_SHUTDOWN イベントを無視しました。後続のシャットダウン要求はすべて無視されます。

システムのアクション: PowerExchange ロggerのシャットダウン処理は続行されます。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-06285 CCL コントローラ: イベント<event_id>、<event_name>は、PowerExchange ロggerシャットダウンが保留されているため、無視されます。

説明: PowerExchange ロgger (Linux、UNIX、Windows 用) のコントローラタスクは、PowerExchange ロggerのシャットダウンが中断中のため、指定したイベントを無視しました。

システムのアクション: PowerExchange ロggerのシャットダウン処理は続行されます。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-06286 CCL コントローラ: エラー処理中に、イベント PEV_ALL_TASK_SHUTDOWN のポストに失敗しました。

説明: PowerExchange ロgger (Linux、UNIX、Windows 用) のコントローラタスクが、エラー処理中に、PEV_ALL_TASK_SHUTDOWN イベントのポストに失敗しました。

システムのアクション: PowerExchange ロggerがシャットダウンします。

ユーザの応答: エラー処理を呼び出したイベントのエラーを診断するには、PowerExchange ログファイルで関連するメッセージを確認します。

PWX-06287	CCL コントローラ: エラー処理中に、サブタスク待機間隔の有効期限が切れました。コントローラはシャットダウンしています。
説明:	PowerExchange ロgger (Linux、UNIX、Windows 用) のコントローラタスクが、エラー処理中にサブタスクが応答するまで、1 分の待機間隔よりも長く待機しました。
システムのアクション:	PowerExchange ロgger がシャットダウンします。
ユーザの応答:	エラー処理を呼び出したイベントのエラーを診断するには、PowerExchange ログファイルに関連するメッセージを確認します。
PWX-06288	CCL コントローラ: タイマーは (<i>number_of_seconds</i>) 秒後に切れました。((<i>number_of_tasks</i>) タスクの終了を待機していた間)。
説明:	シャットダウン処理中、PowerExchange ロgger (Linux、UNIX、Windows 用) のコントローラタスクは、サブタスクが終了するまで最大秒数待機しましたが、一部のサブタスクが終了しませんでした。この待機間隔は、pwxcl.cfg ファイルの CONDENSE_SHUTDOWN_TIMEOUT パラメータで指定されます。
システムのアクション:	PowerExchange ロgger がシャットダウンします。
ユーザの応答:	待機間隔を増やすには、pwxcl.cfg で CONDENSE_SHUTDOWN_TIMEOUT 値を編集します。
PWX-06289	CCL コントローラ: イベント<<i>event_id</i>>、<<i>event_name</i>>は WaitForStartup 中に無視されました。
説明:	PowerExchange のスタートアップ中、指定されたイベントは、内部 WaitForStartup コマンドのために無視されました。
システムのアクション:	PowerExchange ロgger の開始処理は続行されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06307	CHKPT_FILE_CTL=<<i>file_name</i>>とスペース/ボリュームは同時に使用できません
説明:	CHKPT_FILE_CTL と、CHKPT_PRIM_ALLOC、CHKPT_SCND_ALLOC、CHKPT_VOLSERS のいずれかのパラメータとを組み合わせることはできません。
システムのアクション:	検証に失敗しました。
ユーザの応答:	ルールに適合するように構成ファイルを変更します。

PWX-06308	resource=<member_name>とリソースが競合しています (type)
説明:	PowerExchange Condense コンフィギュレーションメンバにパラメータの競合が存在します。 メッセージテキスト: <ul style="list-style-type: none"> • <i>resource</i> は、競合しているパラメータの名前です。 • <i>member_name</i> は PowerExchange Condense JCL の DTLACCFG DD 文が指定するコンフィギュレーションメンバの名前です。通常、このメンバ名は CAPTPARM です。 • <i>type</i> は、競合のタイプを示す次の値のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> - BOTH STOR. CONDF_FULL_FILE_CTL と CONDF_PART_STORCLAS を、CONDF_UNIT または CONDF_VOL パラメータと一緒に使用することはできません。 - FULL STOR. 完全圧縮のために CONDF_FULL_FILE_CTL を CONDF_UNIT または CONDF_VOL パラメータと一緒に使用することはできません。 - PART STOR. 部分圧縮のために CONDF_PART_STORCLAS を CONDF_UNIT または CONDF_VOL パラメータと一緒に使用することはできません。
システムのアクション:	コンフィギュレーションパラメータの検証に失敗しました。
ユーザの応答:	コンフィギュレーションメンバで競合しているパラメータを修正します。
PWX-06309	パラメータファイルを開いているときにエラーが発生しました。戻りコード 1=<return_code1>戻りコード 2=<return_code2>戻りコード 3=<return_code3>ファイル名=<file_name>
説明:	指定されたファイルを開こうとする際にエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	問題を診断するには、戻りコードを確認します。
PWX-06310	CTL 行サイズエラー。長さ=length が上限 limitを超えています
説明:	行が長すぎます。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	パラメータを確認します。
PWX-06311	CTL ファイルの読み取り中にエラーが発生しました。戻りコード 1=<return_code1>戻りコード 2=<return_code2>戻りコード 3=<return_code3>ファイル名=<filename>
説明:	指定したファイル名を読み込もうとしているときにエラーが発生しました。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、戻りコードを確認します。

PWX-06312 **エラー - 指定された KEY (*user_key*) は (*expected*) (*number* バイト) のみと一致します。()**

説明： 制御ファイルの処理中にエラーが発生しました。メッセージには、問題がファイルキー仕様とともに記録されます。メッセージは、問題行の後で、制御ファイルの出力に表示されます。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： ルールに適合するように制御ファイルを変更します。

PWX-06313 **エラー - 名前行<*original*>が<*example*> (約<*nnn*>バイト) になって、80 を超えます。**

説明： コントロールファイルの処理中にエラーが発生しました。生成された最大の名前で置き換えられる場合、指定した行は列 2~80 に入りません。例は指定したプレフィックスを示します。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： ルールに適合するように制御ファイルを変更します。または、要約パラメータまたはグループ定義でプレフィックスを探します。

PWX-06314 **エラー - CTL ファイル *file name* にキーがありません。**

説明： 指定された制御ファイルの処理中に、キーが見つかりませんでした。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： ルールに適合するように制御ファイルを変更します。

PWX-06315 **エラー - *number* 個の名前がファイル *file_name* で見つかりました。予期した値は 3 です。**

説明： コントロールファイルの処理中にエラーが発生しました。指定された制御ファイルで見つかった行の数が正しくありません。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： ルールに適合するように制御ファイルを変更します。

PWX-06316 **エラー - *number* 個の行がファイル *file name* で見つかりました。予期した値は 35 です。**

説明： 制御ファイルの処理中にエラーが発生しました。指定された制御ファイルで見つかったコメントなし行の合計数が正しくありません。パラメータファイルの出力は、後続行を処理する前に受け取った行数を示します。

システムのアクション 処理は終了します。

ン：

ユーザの応答： ルールに適合するように制御ファイルを変更します。

PWX-06317 **警告 - 派生したサフィックス *suffix* の上限 *number* (ファイル *file name* 内のクラスタに対する) - チェックします。**

説明： この警告が出力された場合は、派生したサフィックスが意図どおりのものかどうかを確認します。システムでは、サフィックスが正しく終了されていないか、許容できる長さより長いと認識しています。これにより、今後の処理にリスクが発生します。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： 制御ファイルを修正します。

PWX-06319 **エラー:Chkpt ctl <*file_name*>にクラスタ名のサフィックス <*value*>が含まれています。**

説明： これにより、チェックポイントのサフィックスが停止されて、ウォームスタートの混乱のために処理エラーが発生したり、チェックポイントが作成されます。チェックポイント名は CHKPT_BASENAME から生成され、この関連付けが変動しないことがスムーズな実行に不可欠です。チェックポイント内ではほとんどの実行情報が保存されます。また、他の名前をチェックポイントに保存して取り出す操作を自由に実行できます。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： 制御ファイルを修正します。

PWX-06350 **要約ファイルインタフェース： *file_type* ファイルでのアクションでエラーが発生しました。コード *code1,code2,code3*。ファイル=*file name*。**

説明： 要約ファイルの処理中にエラーが発生しました。このメッセージは、実行されたアクション、戻りコード、ファイル名のログです。ファイルの種類は、"CDCT"、"フル"、"部分"のいずれかです。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-06351	要約ファイルインタフェース：完全ファイル：ハッシュインデックス=hi_hex同義語=counterイメージ=img_hexタグ=registration_tag
説明：	完全要約ファイルの処理中にエラーが発生しました。このメッセージは、エラー時の完全要約ファイルのキーに関する情報のログです。
	メッセージテキスト：
	<ul style="list-style-type: none"> • hi_hex は、16 進数のハッシュインデックスです。 <ul style="list-style-type: none"> - ハッシュインデックスが 00 で、同義語カウンタが-1 に設定されている場合、キーを形成するすべての列の合計の長さが 200 未満になります。 - それ以外の場合、ハッシュインデックスは FF、同義語カウンタは、最初の同義語には-2、2 番目の同義語には-3 というように設定されます。 • counter は同義語カウンタです。 • img_hex は、16 進数のイメージ値です。 • registration_tag は、キャプチャ登録タグです。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	エラーの理由について関連付けられているメッセージを参照します。
PWX-06352	要約ファイルインタフェース：完全ファイル：ハッシュキー=key
説明：	完全要約ファイルの処理中にエラーが発生しました。このメッセージは、影響を受けたレコードのハッシュキーのログです。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-06361	要約ファイルインタフェース：CDCT ファイル type キー：インスタンス=instance タグ=tag トークン=hexerror_information
説明：	IO が試行されていた CDCT のキーの出力です。必要な場合、補足情報が示されます。
システムのアクション：	処理は継続します。
ユーザの応答：	エラーの発生時に生成された関連メッセージを参照します。
PWX-06362	要約ファイルインタフェース：type=value
説明：	このメッセージはエラー情報のログです。種類には、"expected instance"と"expected tag"があります。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	エラーの理由について関連付けられているメッセージを参照します。

PWX-06363	要約ファイルインタフェース: <i>API_routine</i> でエラーが発生しました。戻りコード=<i>return_code</i>。
説明:	エラーが発生しました。説明情報と戻りコードを参照します。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-06364	エラー:チェックポイントファイル <i>file name</i> を読み込めませんでした。詳細
説明:	要約のウォームスタート中にチェックポイントファイルを読み込んでいるときにエラーが発生しました。
システムのアクション:	z/OS のみ。処理は終了します。
ユーザの応答:	<i>detail</i> 理由をチェックします。ログにシステムメッセージがないかどうかを確認します。
PWX-06365	警告:チェックポイントファイル <i>file name</i> を読み込めず、無視されました。詳細
説明:	要約のウォームスタート中にチェックポイントファイルを読み込んでいるときにエラーが発生しました。
システムのアクション:	z/OS 用ではありません。処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06400	要約: 開始しています。インスタンス=<i>instance</i>。
説明:	PowerExchange Condense サブタスクが開始しました。インスタンス値 <i>instance</i> は、構成ファイルの DBID パラメータで指定され、CDCT ファイルのキーの最初の部分として使用されます。
システムのアクション:	PowerExchange Condense の処理は続行されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06401	要約: <i>status</i> を終了しています。
説明:	PowerExchange Condense のサブタスクが終了中です。 <i>status</i> 変数は、サブタスクが正しく終了したか、失敗したかを示します。
システムのアクション:	PowerExchange Condense の処理は続行されます。
ユーザの応答:	PowerExchange Condense サブタスクが失敗した場合、以前に記録されたメッセージを参照して、問題の原因を特定します。
PWX-06402	要約:警告 <i>reason</i>。
説明:	PowerExchange Condense で予期しないイベントが発生しました。
システムのアクション:	PowerExchange Condense の処理は続行されます。

ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートに報告します。エラー時に、実行しようとした関数を知らせます。
PWX-06403	要約: シャットダウンしています。すべてのタスクのシャットダウンイベントを受信しました。
説明：	「すべてのタスクのシャットダウン」 イベントを受信したため、PowerExchange Condense サブタスクがシャットダウンしています。
システムのアクション：	PowerExchange Condense のサブタスクがシャットダウンします。
ユーザの応答：	「すべてのタスクのシャットダウン」 状態の理由を確認します。PowerExchange Condense コントローラまたはコマンドハンドラサブタスクによる原因が考えられます。
PWX-06404	要約: ファイル <i>condense_file_name</i> を削除しています。
説明：	<p>PowerExchange Condense は、エントリが CDCT ファイルに存在しないので、指定された要約ファイルを削除しました。</p> <p>PowerExchange は、ファイルスイッチを初期化、シャットダウン、または実行するとき、次の理由で要約ファイルを削除する場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PowerExchange Condense COND_CDCT_RET_P パラメータの設定に基づいて、要約ファイルの有効期限が切れた場合。 • CDCT ファイルにこの要約ファイルのエントリが含まれない場合。CDCT エントリが存在しない理由には、次のようなさまざまな原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> - 要約ファイルが作成されたときにエラーが発生した。 - PowerExchange Condense の再開時に、古いチェックポイントデータセットのコンテンツで、CDCT が同期化された。
システムのアクション：	PowerExchange Condense の処理は続行されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06405	要約: CDCT レコードを削除しています。 Reason: <i>reason_code</i> 。 タグ= <i>tag</i> シーケンス= <i>hexdate_and_condense_file_name</i> 。
説明：	<p>PowerExchange Condense は、指定されたキーと理由コードにより、CDCT エントリを削除しました。 キーは指定されたタグとシーケンスの値、さらにジョブのインスタンスで定義されます。</p> <p>メッセージテキスト:</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>reason_code</i> は理由コードです。 <ul style="list-style-type: none"> - 1. データが手順 - del にありません。 - 2. データが手順 - ins にありません。 - 3. 保持期間。 - 4. データがまだ入力されていません。

- 10. データがチェックポイント処理されていません。
- 11. データが保持期間を過ぎています。
- *tag* は登録タグです。
- *hex* は、シーケンス番号の 16 進数値です。
- *date_and_condense_file_name* は日付と要約ファイル名です。
日付と要約ファイル名は、以前の PWX-06405 メッセージに同じ
日付とファイル名が表示されている場合、省略されます。

システムのアクション: PowerExchange Condense の処理は続行されます。
ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-06406 **要約:エラー理由:***routine* 戻りコード=*return_code*

説明: PowerExchange Condense ルーチンでエラーが発生しました。

メッセージテキスト:

- *routine* は、エラーが発生したルーチンです。
- *return_code* は戻りコードです。
 - 1. データが手順 - del にありません。
 - 2. データが手順-ins にありません。
 - 3. 保持期間。
 - 4. データがまだ入力されていません。
 - 10. データがチェックポイント処理されていません。
 - 11. データが保持期間を過ぎています。
 - 51. 部分要約グループファイルを作成します。
 - 100. ロールバックエラー。
 - 101. CAPI の初期化エラー。
 - 102. ウォームスタート CDCT チェックのエラー。
 - 103. READ I/F_Open。
 - 104. Delete_incomplete 要約データ。
 - 105. CDCT のポイントと読み込み。
 - 106. CDCT データがチェックポイント処理されていません。
 - 107. CDCT データをチェックポイントにマッチング。
 - 108. CDCT データはチェックポイント上にのみあります。
 - 109. 次の CDCT を読み込みます。
 - 110. CDCT データがチェックポイント処理されていません。
 - 111. CDCT データはチェックポイント上にのみあります。
 - 112. 次の CDCT を読み込みます。
 - 113. CDCT を挿入します。
 - 114. CDCT のポイントと読み込み。
 - 115. 圧縮ファイルスイッチです。

- 116. 要約。
- 117. READ_I/F データアクセス問題。
- 118. READ_I/F。
- 119. 部分圧縮ファイルを作成します。
- 120. 部分要約レコードを書き込みます。
- 121. フル圧縮ファイルを作成します。
- 122. IDCAMS の呼び出し。
- 123. 完全要約レコードのポイントと読み込み。
- 124. 完全要約レコードのポイントと読み込み。
- 125. フル圧縮レコードを構築します。
- 126. フル圧縮レコードを構築します。
- 127. F164_InsertCDCTsFromList。
- 128. チェックポイントの取得。
- 129. READ_I/F のクローズ。

システムのアクション PowerExchange Condense の処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 1～99 の戻りコードを受信した場合、この戻りコードを使用して環境問題を修正します。

100～999 の戻りコードを受信した場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。そのとき、エラーの理由を知らせます。

PWX-06407 **要約:action でエラーが発生しました (file_type ファイル)。
コード code1,code2,code3。 ファイル=file_name。**

説明： 指定されたアクションをファイル file_name に対して実行しているときに、PowerExchange Condense でエラーが発生しました。 戻りコード情報は、code1、code2、および code3 で示されます。

システムのアクション PowerExchange Condense の処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 以下のいずれかのアクションを実行します。

- Windows、UNIX、または Linux プラットフォームで code3 が 0071 の場合、共有ファイルでロック問題が発生した可能性があります。競合問題を解消して、PowerExchange Condense を再開します。
- そうでない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。そのとき、エラーの発生時に実行していた関数を報告します。

PWX-06408 **CCL ライタ：CREAD は、CreadPublic.RecordType から無効なレコード型<record_type>を返しました。**

説明： CREAD は指定されたレコード型に関連したエラーを PowerExchange ロガー（Linux、UNIX、Windows 用）に返しました。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-06409 **要約: 完全ファイルエラー。変更の種類 *change_type* は *before_or_after* イメージでは無効です。**

説明: 変更の種類 *change_type* および *before_or_after* イメージに対する一貫性の検証が失敗しました。

システムのアクション: PowerExchange Condense の処理は続行されます。

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートに報告します。エラー時に、実行しようとした関数を知らせます。

PWX-06410 **要約: 完全ファイルエラー。変更の種類 *change_type* の後に変更の種類 *change_type* が続きました。**

説明: 変更の種類とイメージの種類に対する一貫性の検証が失敗しました。このエラーは、すべての更新が処理されたために発生することがあります。

例えば、あるプログラムがジャーナリングをオンにしてデータベースを更新し、その後で別のプログラムがジャーナリングをオフにして同じキーを更新し、さらに別のプログラムがジャーナリングをオンにしてデータベースを更新した場合に、エラーが発生する可能性があります。

システムのアクション: PowerExchange Condense の処理は続行されます。

ユーザの応答: データベースジャーナルにすべての更新が行われていることを確認します。場合によっては、問題となるキーの更新のシーケンスを確認するために、影響を受けたタグに対して部分要約の登録と実行を行う必要があります。

問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。そのとき、エラーの発生時に実行していた関数を報告します。

PWX-06411 **要約: *type=*value。**

説明: このメッセージはエラー情報のログです。

メッセージテキスト:

- *type* は次のいずれかの値になります。
 - 登録タグ
 - シーケンストークン
 - リスタートトークン
- *value* は指定された *type* の値です。

システムのアクション: PowerExchange Condense の処理は続行されます。

ユーザの応答: メッセージの原因を特定するには、関連メッセージを確認します。

PWX-06412	要約:登録タグ=tag
説明:	このメッセージは、CAPI の初期化前に PowerExchange Condense サブタスクが処理しているそれぞれの登録タグを通知します。
システムのアクション:	PowerExchange Condense の処理は続行されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06413	要約: 最高リスタートトークン。シーケンス=hex PowerExchange ロgger=hex
説明:	<p>このメッセージは CAPI インタフェースを使用して開始ポイントを通知します。ウォームスタートでは、値は、すべての 16 進数'FF'文字のキーを持つチェックポイントファイルの ERT レコードから取得されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • シーケンストークンは、処理された最後のレコードの値（または、コールドスタートではバイナリゼロ）を定義し、この値より大きいシーケンストークンを持つレコードのみが処理され、部分または完全要約ファイルに書き込まれます。 • リスタートトークンは、CAPI システムが Unit of Work (UOW) の累積を開始する時間を定義します。リスタートトークンは、最後の要約ジョブがシャットダウンしたときに未完了の UOW があった場合に、シーケンストークンの前に行われることがあります。
システムのアクション:	PowerExchange Condense の処理は続行されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06414	要約:error_information
説明:	このメッセージは、全般的な情報を表示します。
システムのアクション:	PowerExchange Condense の処理は続行されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06415	要約: 要約が完了しました。レコード総数 =total_records_count、データ=data_count、 UOW=UOW_count
説明:	<p>このメッセージは、PWX-06417 メッセージのログが取られたときに、最後に実行された要約でのレコードカウントをログに記録します。</p> <p>メッセージテキスト:</p> <ul style="list-style-type: none"> • total_records_count は、要約アクティビティが開始してから、例えば PWX-06417 メッセージがログに記録されてから処理されたレコードの総数です。継続モードで実行している場合、ファイルスイッチによってファイルが閉じられる前に、複数の要約が実行される場合があります。

- *data_count* は、データカウントであり、レコードの削除、挿入、および更新数です。

注: 操作前の画像（種類 T）レコードはこのカウントに含まれません。

- *UOW_count* は作業単位の数です。

システムのアクション: PowerExchange Condense の処理が以下のように続行されます。

- ジョブがバッチモードで実行している場合、ジョブがシャットダウンします。
- ジョブが継続モードで実行している場合は、NO_DATA_WAIT パラメータで定義した分数の間、要約タスクがスリープ状態になります。

続いて、システムは別の要約を実行します。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-06416 **要約:reason のためシャットダウンしています**

説明: このメッセージは、要約タスクがシャットダウンしている理由のログです。

シャットダウンの通常の原因には次のものがあります。

- 単一の要約の実行が完了した。例えば、COLL_END_LOG=1 とデータが使い果たされた。
- SHUTDOWN イベントが、タスク“イベントテーブル”を通じて、またはコンシューマ API EOF 戻りコードを通じて、要約ハンドラなどの別のタスクから受信された。

シャットダウンの通常ではない理由には、コンシューマ API でのデータアクセスの問題などがあります。

システムのアクション: 処理がシャットダウンします。

ユーザの応答: バッチ要約が実行されているときなどシャットダウンが予期されている場合は、応答は必要ありません。それ以外の場合は、このメッセージを使用して問題を診断します。

PWX-06417 **要約:reason のために要約を開始します**

説明: システムはデータの要約を開始しました。

メッセージテキスト:

- *reason* は、以下の値のいずれかになります。
 - **initialization complete**。最初の実行。
 - **CONDENSE コマンドを受信しました**。ユーザーがこのコマンドを入力しました。
 - **期限が切れた後で受信されたコマンドはありません**。期限が切れた後で受信されたコマンドはありません。

システムのアクション: 要約タスクはキャプチャされたデータの抽出を開始し、要約ファイルに書き込みます。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-06418	要約:ファイル <i>file_name</i> を閉じました
説明:	PowerExchange Condense は指定されたファイルを閉じました。データは現在、CAPX DBMOVE で使用することも、適切なプログラムから表示することもできます。
システムのアクション:	次のいずれかのアクションが発生します。 <ul style="list-style-type: none"> ジョブが継続モードで実行している場合は、PowerExchange Condense 処理が継続し、次のファイルスイッチによって、他のファイルが CAPX 処理で利用できるようになります。 ジョブがバッチモードで実行している場合、PowerExchange Condense の処理がシャットダウンします。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06419	要約: ファイルスイッチを実行しています。レコード=<i>count</i> 理由=<i>reason</i> CDCT=<i>nn</i> CPU: TotMs=<i>mmmmmmmmmmmm</i> Diff=<i>mmmmmmmmmmmm</i>
説明:	このメッセージは、コマンドハンドラがユーザーからファイルスイッチ要求を受信したか、ファイルスイッチが行われたことを示します。 メッセージテキスト: <ul style="list-style-type: none"> レコード=<i>count</i>。 ファイルスイッチ処理中に PowerExchange Condense プロセスによって処理されたレコードの数を示します。 理由=<i>reason</i>。 以下のいずれかの値を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> FILESWITCH 要求が受信されました。 コマンドハンドラはユーザーからファイルスイッチ要求を受信しました。 満たされたレコード基準。 ファイルスイッチが行われました。CAPTPARM 構成ファイルまたはメンバで、FILE_SWITCH_CRIT 文がレコード (R) 基準を指定し、FILE_SWITCH_VAL 文で設定されたレコード基準値が満たされました。 満たされた分基準。 ファイルスイッチが行われました。CAPTPARM 構成ファイルまたはメンバで、FILE_SWITCH_CRIT 文が分 (M) の基準を指定し、FILE_SWITCH_VAL 文で設定された分の基準値が満たされました。 前のファイルスイッチ後の最初の EndUOW。 前の部分要約ファイルは、Unit of Work (UOW) で終了しませんでした。 CDCT=<i>nn</i>。 最後のファイルスイッチ以降に PowerExchange で変更をキャプチャした異なるキャプチャ登録の数を示します。 TotMs=<i>mmmmmmmmmmmm</i>。 PowerExchange Condense プロセスが使用した合計の CPU 時間 (ミリ秒) を示します。 Diff=<i>mmmmmmmmmmmm</i>。 このファイルスイッチと最後のファイルスイッチとの間の CPU 時間の差 (ミリ秒) を示します。 TotMs 値と Diff 値との間の差を使用して、これが、PowerExchange Condense 処理が開始してから最初のファイルスイッチか、それ以降のファイルスイッチかを判断します。
システムのアクション:	PowerExchange Condense の処理は続行されます。ファイルスイッチは、継続モードで実行している場合、要約ファイルを CAPX 抽出で利用できるようにし、特定の部分および完全要約ファイル名をログに記録する PWX-06418 メッセージと一緒に表示されます。

ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06420	要約: チェックポイントが完了しました。シーケンス =<i>hex_value</i> PowerExchange ロgger =<i>hex_value</i>
説明：	このメッセージは、チェックポイントが完了したときに、シーケンスおよびリスタートトークンの 16 進数値をログに記録します。このメッセージには、チェックポイントの時間を示すメッセージ PWX-06136 が一緒に表示されます。
システムのアクション：	PowerExchange Condense の処理は続行されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06421	要約: <i>current_time</i> number <i>units</i> の間、コマンドを待機しています
説明：	このメッセージは、ジョブが継続モードで実行しているとき、および要約間でスリープ状態に入ったときにログに記録されます。
システムのアクション：	ジョブは、期限切れになるまでか、コマンドハンドラタスクからコマンドがユーザーから渡されるまで待機します。
ユーザの応答：	待機が許容される場合、応答は不要です。それ以外の場合、CONDENSE、FILESWITCH、または SHUTDOWN などのコマンドを使用して PowerExchange Condense 処理を開始できます。
PWX-06422	要約: FILESWITCH 要求を受信しました。
説明：	手動による FILESWITCH 要求が受信されました。
システムのアクション：	要約タスクによって、部分要約ファイルおよび完全要約ファイルが閉じられ、データが CAPX 抽出で使用可能になるように、CDCT ファイルにエントリが追加されます。PowerExchange Condense の処理は続行されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06423	要約: 保持データの作成 <i>start_time</i> が <i>count</i> CDCT を減らしています。お待ちください
説明：	保守操作を開始しています。これにより、保持処理で使用されるメモリが削減されます。
システムのアクション：	このプロセスによりデータが変換され、PowerExchange Condense 処理は継続します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06424	要約: 保持データ作成の完了 <i>end_time</i> により <i>count</i> CDCT を置き換えました。 <i>count</i> RET を作成しました
説明：	保守操作が完了しました。
システムのアクション：	PowerExchange Condense の処理は続行されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。

PWX-06425	要約:保持データの作成に失敗しました: <i>condense_end_time</i> 戻りコード <i>return_code</i>
説明:	保守操作が失敗しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	関連するメッセージにより解決が可能になった場合、その解決策を試みます。すべて失敗した場合は、サプライヤに連絡し、すべてのエラーメッセージを報告します。
PWX-06426	CCL ライタ: リスタートシーケンストークンは昇順ではありません。前=<<i>token_value</i>>現在=<<i>token_value</i>>
説明:	PowerExchange ロggerは、必要に応じて、現在のシーケンストークン値が前のシーケンストークン値より大きくないことを検出しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	リスタートトークンが有効であることを確認します
PWX-06427	要約: エラー: 登録がないため、初期化を中断しました。
説明:	圧縮タスクは処理または中断するアクティブな登録を受信しませんでした。
システムのアクション:	圧縮ジョブは失敗します。.
ユーザの応答:	キャプチャ構成ファイルのパラメータ DBID と DB_TYPE が正しいことを確認します。PowerExchange Navigator で、この DBID、DB_TYPE とプラットフォームの組み合わせで登録グループを開き、アクティブな登録があることを確認します。
PWX-06428	要約:<i>time_unit</i> あたりの要約ファイルが多すぎます。シーケンス 1 ファイルが <i>date</i> の <i>time</i> に作成されました。
説明:	一定期間内に作成されたファイルが多すぎるため、システムは新しい部分またはフル圧縮ファイルに一貫のファイル名を作成できませんでした。
システムのアクション:	圧縮ジョブは失敗します。.
ユーザの応答:	構成パラメータで、ファイルの生成の頻度を少なくするように設定します。z/OS では、1 分あたり 999 ファイルが上限です。i5/OS では、1 日あたり 9999 ファイルが上限です。
PWX-06431	要約:完全ファイル: キーの長さ=<i>key_length</i> ハッシュインデックス=<i>hi_hex</i> 同義語=<i>counter</i> タグ=<i>registration_tag</i>
説明:	このメッセージは完全要約ファイルのキーに関するログ情報です。
	メッセージテキスト:
	<ul style="list-style-type: none"> • <i>key_length</i> は、キーを形成するすべての列の合計の長さです。

- *hi_hex*は、16 進数のハッシュインデックスです。
- *counter*は同義語カウンタです。
- *registration_tag*は、キャプチャ登録タグです。

*key_length*が 200 以下の場合、ハッシュインデックスは 00 に設定され、同義語カウンタは-1 に設定され同義語が存在しなくなります。

*key_length*が 200 を超える場合、ハッシュインデックスは FF に設定され、同義語カウンタは最初の同義語に対して-2 に設定され、以降の同義語には-3、-4 というように設定されます。列データは 200 バイトに減らされます。このアクションは、別のカラムデータを持つ既存のレコードと同じキーを生成します。

システムのアクション: 処理は終了します。
ン:

ユーザの応答: エラーの理由について関連付けられているメッセージを参照します。

PWX-06432 **要約:完全ファイル: *type* キー=*column_data*。**

説明: このメッセージは完全要約ファイルのキーに関するログ情報です。種類は、"hashed"または列のいずれかです。"hashed"キーは、インデックス化された完全要約ファイルで使用され、最大の長さは 200 バイトです。列キーは真のデータであり、ハッシュが使用された場合にのみ表示されます。

システムのアクション: 処理は終了します。
ン:

ユーザの応答: エラーの理由について関連付けられているメッセージを参照します。

PWX-06433 **要約: 変更の種類シーケンスエラー。前=*change_type*後=*change_type*受信=*change_type*。**

説明: 変更の種類の無効なシーケンスがありました。変更の種類は、次のいずれかの種類になります。

- D: 削除。
- I: 挿入。
- T: 更新の操作前の画像。
- U:更新の操作後の画像。
- Z. この操作前または操作後の画像に影響する変更の種類はありません。

システムのアクション: 処理は終了します。
ン:

ユーザの応答: すべての更新がデータベースのジャーナル上にあることを確認します。問題となるキーの更新のシーケンスを確認するために、影響のあったタグに対して部分要約の登録と実行が必要な場合があります。Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-06434	要約:完全ファイルエラー - 検証する受信した更新: <i>error_information。</i>
説明:	完全要約ファイルの処理中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	それ以前の削除なしの複数のシーケンシャル挿入など、更新レコードの一貫性のないシーケンスが同じレコードキーで見つかった場合に、このメッセージが発行されます。ファイルがリストアされ更新が再実行した可能性があり、同じ更新のキャプチャが2度行われた可能性があります。これが当てはまらないことを確認します。すべて失敗した場合、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、すべてのエラーメッセージを報告します。
PWX-06435	要約: CDCT レコードを削除しています。イベント= <i>event (event_name)</i> 時に PEV_post_interested。 戻りコード <i>=return_code。</i>
説明:	エラーが発生しました。説明情報と戻りコードを参照します。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-06436	要約: CDCT レコードを削除しています。EdmName= <i>(edmtime)</i> の ERT で保存を再開。戻りコード <i>=return_code</i>
説明:	エラーが発生しました。説明情報と戻りコードを参照します。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-06437	要約: CDCT レコードを削除しています。真のキーを取得し ています。受信登録タグ= <i>tag</i> 、変更の種類= <i>type</i> 、戻りコード <i>=return_code</i>
説明:	エラーが発生しました。説明情報と戻りコードを参照します。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-06438	要約: CDCT レコードを削除しています。GetTrueKey 登録タ グ= <i>tag</i> 同義語= <i>synonym</i> イメージ= <i>image</i> 戻りコード <i>=return_code</i>
説明:	エラーが発生しました。説明情報と戻りコードを参照します。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-06439 **要約: CDCT レコードを削除しています。完全 BA 検証受信**
changetype=changetype 戻りコード=return_code

説明： エラーが発生しました。説明情報と戻りコードを参照します。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-06440 **要約: CDCT レコードを削除しています。イベント=event**
(event_name) をポストしています。戻りコード
=return_code

説明： エラーが発生しました。説明情報と戻りコードを参照します。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-06441 **要約: ファイル<file_name>のフラッシュに失敗しました。戻**
りコード=<system_return_code>:<reason_for_failure>

説明： 指定されたファイルにレコードをフラッシュする処理が失敗しました。

システムのアクション： 圧縮プロセスは失敗します。

ユーザの応答： メッセージに示されている問題を解決して、要約プロセスをリスタートします。この問題は、通常は領域不足の状態になっているか、I/O エラーがあることを示します。

PWX-06442 FS：R=recordsreasonC=CDCTcountCPUms (so_far、差分)
ファイル (list_of_files_with_type) CKPT (バージョン、日
時) S=sequence、L=logger

説明： 完全なファイルスイッチに関する非冗長的なメッセージです。このメッセージの代わりに、ファイルスイッチに関する 6419、6418、6136、および 6420 の完全なメッセージに詳細な情報が示されます。なお、柔軟な要約のファイルリストは、グループパラメータが指定された順序になっています（作成順序ではありません）。

システムのアクション： これは、非冗長的な監査証跡です。PowerExchange Condense 処理は継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06443

A_list_of_wait_condense_cycles

説明:

継続モードの要約によって促進される要約/待機期間に関する非冗長的なメッセージです。待機は、'W'で示され、待機期間を示す数値と単位プレフィックス（秒、分、または時間）が付加されます。この後に'I'が続くと、待機は中断されたことを意味します。要約は、'C'で示され、この後に要約完了時の統計（メッセージ PWX-06415 を参照）が続きます。このメッセージの代わりに、PWX-06421、PWX-06417、および PWX-06415 の完全なメッセージに詳細な情報が示されます。

システムのアクション:

これは、非冗長的な監査証跡です。PowerExchange Condense 処理は継続します。

ユーザの応答:

対応する必要はありません。

PWX-06446

タイムスタンプ"time_stamp"、タグ"registration_tag"、番号record_count reasonで、チェックポイントから CDCT への同期が行われていません。

説明:

PowerExchange Condense がウォームスタートした後、PowerExchange は、現在のチェックポイントファイルを CDCT ファイルと同期しようとしていました。ただし、指定したタイムスタンプおよび登録タグを含むチェックポイントファイルレコードは、CDCT ファイルの同じキーフィールドを含むレコードと一致しません。この不一致は、レコードでタイムスタンプまたは圧縮ファイル名が異なるため、またはチェックポイントファイルレコードが圧縮 RET レコードであることが原因で発生する場合があります。RET レコードには、インスタンス、登録タグ、圧縮ファイル名、保持情報フィールドのみが含まれており、対応するレコードを CDCT ファイルに追加するために使用することはできません。この警告メッセージは、CDCT ファイルレコードと同期できない各チェックポイントファイルレコードごとに発行されます。

通常、これらの不一致は発生しません。これらは、現在のチェックポイントファイルを削除するか、RET レコードに記録された保持制限よりも前の時点で CDCT ファイルをリストアすることにより発生する可能性があります。タイムスタンプまたは圧縮ファイル名の差違が原因で不一致が発生した場合、CDCT ファイルは、チェックポイントファイルの DCT レコードに基づいてリストアされます。ただし、チェックポイントファイルの RET レコードが原因で不一致が発生した場合は、同期処理を実行できず、一部のレコードが CDCT ファイルで不足します。

メッセージテキストに使用される変数は次のとおりです。

- *time_stamp* は、CDCT ファイルと同期できなかったチェックポイントレコードのタイムスタンプです。
- *registration_tag* は、CDCT ファイルで不足しているレコードに関連付けられているソースオブジェクトの登録識別子です。
- *record_count* は、チェックポイントファイルから CDCT ファイルへの同期処理後に CDCT ファイルで不足しているレコードの合計数です。各不足レコードに対して、個別に PWX-06446 メッセージが発行されます。この変数は、最新のメッセージが発行された時点までの累積合計を報告します。

- *reason* は、不一致の理由です。
 - 異なる時間:
`checkpoint=timestamp_in_checkpoint_file_record`
`file=timestamp_in_CDCT_record`
 - 異なるファイル名:
`checkpoint=condense_file_name_in_checkpoint_file`
`file=condense_file_name_in_CDCT`
 - チェックポイント RET 項目にのみ

システムのアクション: PowerExchange Condense OPER_WTOR_ENABLED パラメータが Y に設定されている場合は、チェックポイントから CDCT への同期処理の後に、CDCT ファイルで不足している各レコードに対してオペレータによる応答が必要なメッセージとして PWX-06449 メッセージが発行されます。ユーザーは、メッセージに対して Y または N と応答する必要があります。Y と応答すると、PowerExchange Condense の処理は続行します。この場合、不足しているレコードに関連付けられている圧縮ファイルが抽出処理で見つからず、一部の変更データが抽出されないことがあります。N と応答すると、PowerExchange Condense の処理は終了します。

OPER_WTO_ENABLED パラメータが N に設定されている場合、PowerExchange は、オペレータ応答メッセージ PWX-06449 を表示しません。PowerExchange Condense の処理は、CDCT ファイルに不足しているレコードの通知なしで続行します。この場合、一部の変更データは抽出されないことがあります。

ユーザの応答: 次のいずれかのアクションを実行します。

- このメッセージが報告するタイムスタンプを使用して、チェックポイントレコードが古いデータを含む圧縮ファイルを指しているか、または CDC ワークフローで処理された圧縮ファイルを指しているかを判断します。
- 報告された登録タグが変更データの損失が許容できるソースオブジェクトを識別するかどうかを判断します。
- CDCT ファイルの内容を調べて、古いバックアップからリストアされたかどうかを判断します。
- 変更データの損失を防ぐために、以前の時点から CDC ワークフローをコールドスタートします。

サポートが必要な場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-06447 受け入れられた要約データがありません

説明: 要約データの欠落を許容するかどうかを確認する要求から Y の応答を受け取りました。

システムのアクション: PowerExchange Condense の処理は続行されます。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-06448	拒否された圧縮データがありません
説明:	要約データの欠落を許容するかどうかを確認する要求から N の応答を受け取りました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06449	リソースがないため、CDCT はチェックポイントファイルと完全に同期できません。続行しますか?(Y/N)
説明:	z/OS または i5/OS システムで、このメッセージは、チェックポイントファイルから CDCT ファイルへの同期で一部のレコードを同期できなかったと報告された後で、PowerExchange Condense の処理を続行するか終了するかを指定する Y または N の応答を必要とする、オペレータメッセージとして発行されます。前述の PWX-06446 メッセージを参照して、同期後にどのレコードが CDCT ファイルに不足しているかを判断します。同期は、PowerExchange Condense の初期化時に発生します。
システムのアクション:	システムは、オペレータ応答プロンプトへの応答を待機します。
ユーザの応答:	レコードが CDCT ファイルで不足していて、抽出処理で一部の圧縮ファイルを識別できなくても許容される場合は Y と応答します。例えば、レコードは古いデータを含む圧縮ファイルに関連付けられている場合があります。この応答で、PowerExchange Condense の処理は続行し、不足しているレコードが指している圧縮ファイルの変更データは抽出されません。PowerExchange Condense の処理を終了する場合は N と応答します。次に、CDCT を適切なポイントにリストアするか、コールドスタートを実行して、変更データの損失を回避することができます。
PWX-06450	コマンドハンドラ: 開始しています。
説明:	コマンドハンドラタスクが開始しています。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06452	コマンドハンドラ: CMDH PEV_post_interested にエラーがあります。ret=<return_code>。
説明:	コマンドハンドラタスクがイベントのポストに失敗しました。
システムのアクション:	コマンドハンドラのタスクが終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡して、発行されたエラーコードを知らせます。
PWX-06453	コマンドハンドラ: シャットダウンしています。
説明:	コマンドハンドラのタスクが終了中です。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-06454	コマンドハンドラ: 停止しました。
説明:	コマンドハンドラが終了しました。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06455	コマンドハンドラ: CAPTURE_STARTUP_COMPLETE イベントを受信しました。
説明:	キャプチャスタートアップが完了しました。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06456	コマンドハンドラ: ファイルスイッチはすでに要求されています。
説明:	ファイルスイッチがすでに要求されています。
システムのアクション:	最後のファイルスイッチの要求が無視されます。
ユーザの応答:	最初のファイルスイッチの完了を待ってください。
PWX-06457	コマンドハンドラ: スタートアップが完了しませんでした。
説明:	ファイルスイッチが要求され、システムのスタートアップが完了していません。
システムのアクション:	ファイルスイッチの要求が無視されます。
ユーザの応答:	ファイルスイッチを要求は、スタートアップが終了するまで待ってください。
PWX-06458	コマンドハンドラ:CEEDMP は i5/OS ではサポートされません。
説明:	CEEDMP は i5/OS で要求されましたが、i5/OS ではサポートされていません。
システムのアクション:	要求は無視されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06460	コマンドハンドラ: 新しいファイルスイッチが要求されました。
説明:	新しいファイルスイッチが要求されました。
システムのアクション:	まもなくファイルスイッチが行われます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06461	コマンドハンドラ: 新しいファイルスイッチが要求されました。 CONDENSE 要求が生成されました。
説明:	新しいファイルスイッチが要求されました。
システムのアクション:	ファイルスイッチ要求の結果として、CONDENSE 処理が行われます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06462 **コマンドハンドラ: Condense クローズ要求はすでにキューに追加されています。**

説明： 圧縮コマンドのクローズがすでにキューに追加されています。

システムのアクション： 以前のクローズコマンドが処理中のため、新しいクローズコマンドが無視されます。

ユーザの応答： クローズを待ってください。

PWX-06463 **コマンドハンドラ: 圧縮のクローズ要求がキューに追加されました。**

説明： 要約コマンドのクローズがキューに追加されました。

システムのアクション： まもなく圧縮のクローズが行われます。

ユーザの応答： クローズが行われるまで待機します。

PWX-06464 **コマンドハンドラ: まもなくシャットダウンを開始します。**

説明： まもなくシャットダウンが行われます。

システムのアクション： まもなくシャットダウンが行われます。

ユーザの応答： シャットダウンが行われるのをお待ちください。

PWX-06465 **コマンドハンドラ: 要約がチェックポイントファイルを書き込んだら、シャットダウンが開始されます。**

説明： シャットダウンがキューに追加されましたが、実行中の要約があります。チェックポイントの後でシャットダウンが発生します。

システムのアクション： チェックポイントの後でシャットダウンが行われます。

ユーザの応答： シャットダウンが行われるのをお待ちください。

PWX-06467 **コマンドハンドラ: データがなくなったので、Condense のシャットダウンを設定しています。**

説明： 有効なデータをすべてキャプチャしてから、要約が開始されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06468 **コマンドハンドラ: 要約要求が発行されました。**

説明： 圧縮コマンドがキューに追加されました。

システムのアクション： 要約プロセスが開始されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06705 **コレクションが登録情報なしで開始されました。**

説明： 初期化された登録がありません。その他のメッセージが存在する場合があります。これは設定または要求である可能性があります。

システムのアクション: 初期化が終了し、要求が失敗します。

ユーザの応答: 関連するメッセージで元となる原因を調査します。

PWX-06706 CPT **一貫性チェックオープンエラー** *return_code* (DB2 for i5/OS CDC)。

説明: 要求"SELECT LAST_ALTERED_TIMESTAMP FROM qsys2.systables"が、コレクションを初期化中のテーブルのオープンに失敗しました。 セキュリティまたは命名が原因である可能性があります。

システムのアクション: コレクションの初期化が終了し、要求が失敗します。

ユーザの応答: 関連するメッセージで元となる原因を調査します。

PWX-06707 CPT **一貫性チェック describe エラー** *return_code* (DB2 for i5/OS CDC)。

説明: 要求"SELECT LAST_ALTERED_TIMESTAMP FROM qsys2.systables"が、コレクション初期化中のテーブルの describe に失敗しました。 セキュリティまたは命名が原因である可能性があります。

システムのアクション: コレクションの初期化が終了し、要求が失敗します。

ユーザの応答: 関連するメッセージで元となる原因を調査します。

PWX-06708 **テーブル *table_name* スキーマ *schema_name* のシステム情報がありません** (DB2 for i5/OS CDC)。

説明: 要求"SELECT LAST_ALTERED_TIMESTAMP FROM qsys2.systables"が、コレクション初期化中のテーブルの検索に失敗しました。 命名かセットアップが原因である可能性があります。

システムのアクション: コレクションの初期化が終了し、要求が失敗します。

ユーザの応答: 名前と ID を確認します。

PWX-06709 **テーブル *table_name* スキーマ *schema_name* のシステム情報エラーです** (DB2 for i5/OS CDC)。

説明: 要求"SELECT LAST_ALTERED_TIMESTAMP FROM qsys2.systables"が、コレクション初期化中のテーブルで失敗しました。 セキュリティまたは命名が原因である可能性があります。

システムのアクション: コレクションの初期化が終了し、要求が失敗します。

ユーザの応答: 関連するメッセージで元となる原因を調査します。

PWX-06710	登録 <i>LAST_ALTERED_TIMESTAMP</i> 現在 <i>LAST_ALTERED_TIMESTAMP</i> (DB2 for i5/OS CDC).
説明:	これは、登録時データベースが最終変更された時刻を示すサポートメッセージで、初期化の処理で検出されます。データベースへの問題ある変更に関連したデータの強調表示に使用されます。
ユーザの応答:	関連メッセージを参照します。
PWX-06711	CPT ビルドオープンエラー <i>return_codeschema_name.table_name</i> (DB2 for i5/OS CDC)。
説明:	SELECT * FROM <i>schema_name.table_name</i> 要求は、キャプチャ処理のために現在初期化されている DB2 for i5/OS テーブルを開けませんでした。このエラーの原因は、セキュリティまたは命名の問題である可能性があります。
システムのアクション:	初期化が終了し、SELECT 要求は失敗します。
ユーザの応答:	エラーの根本原因を診断するには、関連するメッセージを調べます。
PWX-06712	CPT ビルド describe エラー <i>return_code</i> (DB2 for i5/OS CDC)。
説明:	SELECT * FROM <i>schema_name.table_name</i> 要求は、キャプチャ処理のために現在初期化されている DB2 for i5/OS テーブルを開けませんでした。このエラーの原因は、セキュリティまたは命名の問題である可能性があります。
システムのアクション:	初期化が終了し、SELECT 要求は失敗します。
ユーザの応答:	エラーの根本原因を診断するには、関連するメッセージを調べます。
PWX-06713	CPT ビルドクローズエラー (<i>return_code</i>)。 <i>return_code1</i>、<i>return_code2</i>、<i>return_code3</i> (DB2 for i5/OS CDC)。
説明:	SELECT * FROM <i>schema_name.table_name</i> 要求は、キャプチャ処理のために現在初期化されている DB2 for i5/OS テーブルを閉じることができませんでした。原因はセキュリティまたは命名の問題である可能性があります。
システムのアクション:	初期化が終了し、SELECT 要求は失敗します。
ユーザの応答:	エラーの根本原因を診断するには、関連するメッセージを参照してください。
PWX-06714	テーブル <i>schema_name.table_name</i> フィールド <i>column_name</i> が不明です (DB2 for i5/OS CDC)
説明:	指定した DB2 for i5/OS テーブルは、キャプチャの初期化時に検出できないカラムに登録されています。このカラムは存在しなくなったか、非表示カラムである可能性があります。
システムのアクション:	初期化が終了し、SELECT 要求は失敗します。

ユーザの応答： エラーの詳細については、対応するメッセージ PWX-06710 を参照してください。また、テーブルに削除カラムなどの変更や非表示カラムがあるかを確認します。次に、テーブルまたは登録を修正し、キャプチャ処理を再開します。

PWX-06715 **テーブル *schema_name.table_name* フィールド *column_name* が変更されました (DB2 for i5/OS CDC)**

説明： 列の属性が変更されました。メッセージ PWX-06716 もこの問題に対して一緒に発行されます。メッセージ PWX-06710 でも情報が表示されます。

ユーザの応答： 関連メッセージを参照します。

PWX-06716 **フィールド *attribute* は *registered_value* でしたが、現在は *current_value* です。(DB2 for i5/OS CDC)**

説明： メッセージ PWX-06715 で詳しく述べられた、メッセージ PWX-06710 で特定された変更によるフィールドの通知された変更は、コレクションの結果が予期したものではないことを示します。

システムのアクション： コレクションの初期化が終了し、要求が失敗します。

ユーザの応答： テーブルの変更を調査し、リスタートの前に必要に応じて修正します。

PWX-06717 ***usage* サイズ *bytes* のメモリを割り当てることができませんでした。(DB2 for i5/OS CDC)。**

説明： メモリ割り当てのエラーです。

システムのアクション： コレクションの初期化が終了し、要求が失敗します。

ユーザの応答： タスクが適切なメモリで実行しているかどうかを調べます。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-06720 **データ抽出のオーバーフローエラー *fieldlength*、*maxlength* が上限です。(DB2 キャプチャ)**

説明： 別のエラーを補完するメッセージです。

システムのアクション： コレクションが終了し、要求が失敗します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、関連するエラーを報告します。

PWX-06727 **コレクタは現在アクティブ *hex restart token* です (DB2 for i5/OS CDC)**

説明： このメッセージは開始位置をレコードします。

システムのアクション： リスタートトークンを出力します。

ユーザの応答： 情報目的のみ必要とされますが、リスタートで何か不足している場合に使用される可能性もあります。

PWX-06732	警告 - ソース <i>rtypeJournal_entry_type</i> (DB2 for i5/OS CDC)。
説明:	このメッセージは、指定されたソースから未知のジャーナルエントリが入力されたことを警告します。
システムのアクション:	警告を表示します。
ユーザの応答:	関連する可能性のあるエラーが通知された場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。
PWX-06733	UOW 保守障害 - スイッチトレース <i>namelevel</i> オン。(DB2 for i5/OS CDC)
説明:	メモリ内のコミットメント制御情報が壊れています。
システムのアクション:	コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	別のトレース情報が出力されるまで、診断情報を取得するために、トレース= (名前、レベル、99) の適切なポイントでリスタートします。Informatica グローバルカスタマサポートに情報を報告します。
PWX-06734	Error/WarningUOW の開始がありません。timestamp が検出した処理 <i>commitcycle entry_type_ls_start_rba_good</i>。(DB2 for i5/OS CDC)
説明:	エラーメッセージの場合、収集される更新を含む作業単位の間、コレクションが開始されました。警告メッセージの場合は、作業単位の間、コレクションが開始されました。
システムのアクション:	エラーメッセージの場合は、コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	正しいリスタートポイントを確立し、リスタートユーティリティを使用して設定します。
PWX-06735	テーブル <i>schema_name.table_name</i> 文字列の挿入エラー。(DB2 for i5/OS CDC)
説明:	テーブルへの挿入を抽出および実行中に、問題が発生しました。
システムのアクション:	コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、関連するエラーを報告します。
PWX-06736	テーブル <i>schema_name.table_name</i> 文字の削除エラー。(DB2 for i5/OS CDC)
説明:	テーブルへの削除を抽出および実行中に、問題が発生しました。
システムのアクション:	コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、関連するエラーを報告します。

PWX-06737	テーブル <i>schema_name.table_name</i> 文字列の取り消しエラー。 (DB2 for i5/OS CDC)
説明:	テーブルへの更新文字列の取り消しの抽出および実行中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、関連するエラーを報告します。
PWX-06738	テーブル <i>schema_name.table_name</i> 文字列のやり直しエラー。 (DB2 for i5/OS CDC)
説明:	テーブルへの更新文字列のやり直しの抽出および実行中に、エラーが発生しました。
システムのアクション:	コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、関連するエラーを報告します。
PWX-06739	<i>journal_code/entry_type (registration_name)</i> の保留中の挿入を検索しようとしてエラーが発生しました。 (DB2 for i5/OS CDC)。
説明:	やり直しの文字列が、指定された登録の関連する取り消し文字列の検索に失敗しました。
システムのアクション:	コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、関連するエラーを報告します。
PWX-06740	エラー - <i>indexdown</i> の内部列 <i>columnnum</i> がありません。 (DB2 キャプチャ)。
説明:	別のエラーを補完するメッセージです。
システムのアクション:	コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、関連するエラーを報告します。
PWX-06748	PowerExchange データキャプチャ制御ファイル <i>file_name</i> にレコードが見つかりませんでした。
説明:	i5/OS コントローラジョブがサブミットされましたが、ファイル <i>datalib/cfg (captparm)</i> のデータベース識別子パラメータ (DBID = XXXX) に対して変更データキャプチャ登録が作成されていません。
システムのアクション:	i5/OS コントローラジョブが終了します。
ユーザの応答:	登録がすでに作成されている場合は、正しいデータベース識別子に対して登録が作成されていることを確認し、そうでない場合は、新しい登録を入力します。

PWX-06749	ユーザーキュー <i>name</i> への解決中にエラーが発生しました。理由 <i>error_code</i>。
説明:	ジャーナルレシーバからエントリを処理中に内部エラーが発生しました。
システムのアクション:	エラーが発生した i5/OS ジャーナル処理タスクは終了します。
ユーザの応答:	ユーザーキューの名前やエラーメッセージで発行されたエラーコードを含め、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。
PWX-06750	ジョブ情報の検索中にエラーが発生しました。理由 <i>error_code</i>-<i>description</i>。
説明:	ジョブ情報の取得中に内部エラーが発生しました。
システムのアクション:	エラーが発生した i5/OS ジャーナル処理タスクは、処理を続行できるかどうかを調べます。続行できない場合、処理は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡して、発行されたエラーコードを知らせます。
PWX-06751	ユーザーキュー<<i>library/queue_name</i>>にデータを送信中にエラーが発生しました。理由 <i>reason_code</i>。
説明:	ジャーナルレシーバからエントリを処理中に内部エラーが発生しました。
システムのアクション:	エラーが発生した i5/OS ジャーナル処理タスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。そのとき、キューの名前と発行されたエラーコードをお知らせください。
PWX-06752	エラー <i>error_code</i> ユーザーインデックス<<i>user_index</i>>。理由 <i>reason_code</i>。
説明:	ジャーナルレシーバからエントリを処理中に内部エラーが発生しました。
システムのアクション:	エラーが発生した i5/OS ジャーナル処理タスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。そのとき、ユーザーインデックスの名前と発行されたエラーコードをお知らせください。
PWX-06753	データ領域<<i>library/data_area</i>>の読み込み中にエラーが発生しました。理由 <i>reason_code</i>。
説明:	ジャーナルレシーバからエントリを処理中に内部エラーが発生しました。
システムのアクション:	エラーが発生した i5/OS ジャーナル処理タスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。そのとき、データ領域の名前と発行されたエラーコードをお知らせください。

PWX-06754 **データ領域 <library/data_area>の変更中にエラーが発生しました。理由 reason_code。**

説明： ジャーナルレシーバからエントリを処理中に内部エラーが発生しました。

システムのアクション： エラーが発生した i5/OS ジャーナル処理タスクは終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。そのとき、データ領域の名前と発行されたエラーコードをお知らせください。

PWX-06755 **ユーザーインデックスエントリを<user_index>で取得中にエラーが発生しました。理由 reason_code。**

説明： ジャーナルレシーバからエントリを処理中に内部エラーが発生しました。

システムのアクション： エラーが発生した i5/OS ジャーナル処理タスクは終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。そのとき、ユーザーインデックスの名前と発行されたエラーコードをお知らせください。

PWX-06756 **DTLAS4JE が PowerExchange のスコープを超えてサブミットされました。ジョブが終了されました。**

説明： PowerExchange コントローラタスクの制御外で、PowerExchange i5/OS ジャーナル処理タスクを実行しようとした。

システムのアクション： エラーが発生した i5/OS ジャーナル処理タスクは終了します。

ユーザの応答： すべての PowerExchange i5/OS ジャーナル処理タスクは、PowerExchange コントローラタスクの制御下で実行される必要があります。手動による実行は、明示的に禁止されています。ユーザーは、タスクを手動で実行できません。

PWX-06758 **メッセージをユーザー<user_ID>に送信しているときにエラーが発生しました。理由 reason_code。**

説明： ジャーナルレシーバからエントリを処理中に内部エラーが発生しました。

システムのアクション： エラーが発生した i5/OS ジャーナル処理タスクは終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。そのとき、ユーザーの名前と発行されたエラーコードをお知らせください。

PWX-06759 **ユーザー<user_ID>からメッセージを受信中にエラーが発生しました。理由 reason_code。**

説明： ジャーナルレシーバからエントリを処理中に内部エラーが発生しました。

システムのアクション： エラーが発生した i5/OS ジャーナル処理タスクは終了します。

ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。そのとき、ユーザーの名前と発行されたエラーコードをお知らせください。
PWX-06760	日付の変換中にエラーが発生しました。理由 <i>error_code-description</i>。
説明：	日付を変換しようとしたときに内部エラーが発生しました。このメッセージでは、エラーコードとその説明が示されます。
システムのアクション：	エラーが発生した i5/OS ジャーナル処理タスクは、処理を続行できるかどうかを調べます。続行できない場合、処理は終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。このメッセージからエラーコードと説明をレポートします。
PWX-06761	ジャーナルロックファイル PWXJRNLCCKP の取得中にエラーが発生しました。理由 <i>error_code-description</i>。
説明：	ジャーナルロックファイル PWXJRNLCCKP の場所の取得中に内部エラーが発生しました。
システムのアクション：	エラーが発生した i5/OS ジャーナル処理タスクは終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートに連絡して、発行されたエラーコードを知らせます。
PWX-06770	<i>parameter optional_parameter</i> パラメータがありません (AS4J)
説明：	一部のインスタンスとジャーナルが、構成 PowerExchange data library/CFG (dbmover) 内の CAPI 接続にありません。
システムのアクション：	コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答：	接続情報を修正し、再試行します。
PWX-06771	ジャーナルキャッシュは、ジャーナル <i>qualified_journal_name</i> の <i>journal_state</i> です。
説明：	IBM i システムでは、使用可能なメモリがいっぱいになった場合または定義した時間間隔の後、ディスクストレージにエントリをコミットする前に、ジャーナルキャッシュによってシステム上でジャーナルエントリがメモリに保持されます。ジャーナルキャッシュがアクティブである場合、トランザクション量が少ないときにタスクがエントリを読み取ると、PowerExchange のパフォーマンスに影響を及ぼす可能性があります。
システムのアクション：	処理は継続します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06772	ジャーナル <i>journal_identity</i> に関連付けられているファイルがありません。<<i>requested_number</i>>が必要です (AS4J)
説明：	要求が、表示されたジャーナルに関連付けられましたが、ファイルはジャーナルされていません。

システムのアクション コレクションが終了し、要求が失敗します。
ン：

ユーザの応答： 接続情報を修正し、再試行します。

PWX-06773 **<カウント>ファイルがジャーナル *journal_identity*に関連付けられています。<requested_number>が必要です (AS4J)**

説明： 要求が、表示されたジャーナルに関連付けられましたが、適切ではないファイルが要求にジャーナルされています。

システムのアクション コレクションが終了し、要求が失敗します。
ン：

ユーザの応答： 接続情報または要求を修正し、再試行します。

PWX-06775 **<internal_journal_ID>ジャーナルがリスタートトークンに関連付けられていますが、不要です。DIR (AS4J)**

説明： 直接処理が要求された際に、専用にマージされたジャーナルの処理に関連したリスタートトークンが指定されました。互換性はありません。内部ジャーナル ID はゼロである必要があります。

システムのアクション コレクションが終了し、要求が失敗します。
ン：

ユーザの応答： 接続情報、要求、またはリスタートポイントを修正し、再試行します。

PWX-06776 **ファイル<schema_name.table_name>がジャーナル *journal_identity*に関連付けられていませんが、必要です (AS4J)**

説明： 定義されたリソースは、指定されたジャーナルに現在ジャーナルされていません。

システムのアクション コレクションが終了し、要求が失敗します。
ン：

ユーザの応答： 接続情報または要求を修正し、再試行します。

PWX-06777 **コミットメント制御外でエラーが発生しました。 *description of issue and journal identity* (AS4J)**

説明： このメッセージは 1 組のメッセージの片方です。問題はコミットメント制御外の更新ペアの処理のみで発生します。2 つのメッセージが現れる理由は、一般的に、操作前の画像に続いて操作後の画像が失敗するためです。状態と予期されることを示すメッセージです。

システムのアクション コレクションが終了し、要求が失敗します。
ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、関連するエラーを報告します。

PWX-06778	{エラー 警告} user identity action {of for} resource_at_timestamp (AS4J)
説明:	メッセージテキストでは、 <i>action</i> は次の値いずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • changed format of。エラーが発生し、関連するメッセージが表示されます。 • stopped journaling for。警告。 • started journaling for。警告。 • deleted。エラー。 • moved。エラー。 • renamed。エラー。
システムのアクション:	警告メッセージでは、レコードは無視されます。エラーメッセージの場合は、コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	接続情報または要求を修正し、再試行します。
PWX-06779	テーブル <i>schema_name.table_name</i> 追加フィールド <i>column_name</i> が未登録です (DB2 for i5/OS CDC)
説明:	すべての列は収集されますが、これは未登録の列の通知です。
システムのアクション:	コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	データベースまたは登録を修正して、再試行します。
PWX-06780	テーブル形式発行内部登録タグ<overridden_tag>をオーバーライドします (DB2 for i5/OS CDC)
説明:	オーバーライドの引渡しに使用された登録は、形式で区切り記号が不足している可能性があるため、認識されませんでした。
システムのアクション:	コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-06781	テーブル (<i>library/file</i>) レクジョンを登録 <i>registration_name</i> を使用してオーバーライドします (DB2 for i5/OS CDC)
説明:	このメッセージは、PowerExchange の抽出処理が指定されたキャプチャ登録に関連付けられた i5/OS ライブラリまたはファイル (テーブル) にオーバーライドを使用することを示しています。オーバーライドは、ライブラリ名または特定のファイル名にアスタリスク (*) ワイルドカードとして PowerCenter で定義できます。
ユーザの応答:	このメッセージは監査に使用されます。
PWX-06782	<override_data>はオーバーライド名の長さとして無効です。
説明:	指定されたオーバーライドパラメータが基本の長さテストで失敗します。
システムのアクション:	コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	要求を修正します。その後、要求をもう一度実行します。

PWX-06783	<override_data>はオーバーライド名 attribute 修飾子の長さとして無効です。
説明:	指定されたオーバーライドパラメータは、表示されたサブフィールドでの長さテストで失敗します。
システムのアクション:	コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	要求を修正します。その後、要求をもう一度実行します。
PWX-06784	<override_data>でオーバーライド名の区切り文字が多すぎます
説明:	指定されたオーバーライドパラメータが、1 を超えた区切り文字数でのテストで失敗します。
システムのアクション:	コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	要求を修正します。その後、要求をもう一度実行します。
PWX-06785	エラー - インスタンスが CAPI 接続に供給されていません (DB2 for i5/OS CDC)。
説明:	インスタンス接続パラメータが供給されませんでした。
システムのアクション:	コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	構成を修正して、再試行します。
PWX-06786	エラー - STOPIT 接続パラメータが複数あります condition1 & condition2 (DB2 for i5/OS CDC)。
説明:	STOPIT 接続パラメータが2度出現しました。これは競合した要求であり、ユーザーの修正が必要です。
システムのアクション:	コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	構成を修正して、再試行します。
PWX-06787	エラー - library/file が操作前の画像についてジャーナルされていません (DB2 for i5/OS CDC)。
説明:	コレクションの要求が、操作前の画像に対してジャーナルセットアップを持たないファイルに対して行われています。操作前の画像は操作後の画像で、削除済みのレコードを特定する削除と、識別できる場所ではヌルの更新を渡さない更新の両方に対してするデータの収集に使用されます。
システムのアクション:	コレクションが終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	要求を修正するか、ジャーナルを正しく設定して再試行します。

PWX-06788	エラー - i5/O ジョブ <i>identity</i> が <i>library/file</i> 上で使用している CLRPFM によって、DB2 for i5/OS CDC による処理が妨げられています。
説明：	コレクション用に登録されたファイルが、i5/OS CLRPFM コマンドを使用してクリアされました。この方法でファイルをクリアすると、ジャーナルエントリが1つ書き込まれるだけなので、DB2 for i5/OS CDC には、ファイルから削除された実際のレコードを特定する方法がありません。
システムのアクション：	コレクションが終了し、要求が終了します。
ユーザの応答：	このファイルでは、このエラーの後で新しいリスタートトークンが必要になります。ユーザーは、コレクション用に登録されたファイルが、この方法でクリアされないことを確認する必要があります。
PWX-06789	エラー - <i>library/file</i> から削除するデータがありません (DB2 for i5/OS CDC)。
説明：	PowerExchange Condense では、削除に関する情報を渡すために、操作前の画像が必要になります。
システムのアクション：	PowerExchange Condense 処理は終了します。
ユーザの応答：	このファイルはリスタートする必要があります。
PWX-06790	エラー - <i>library/file</i> の更新より以前の日付のデータがありません (DB2 for i5/OS CDC)。
説明：	PowerExchange Condense は、登録された列に変更が存在するかどうかを判断するために、操作前の画像を必要とします。
システムのアクション：	PowerExchange Condense 処理は終了します。
ユーザの応答：	このファイルはリスタートする必要があります。
PWX-06791	<i>desc<value>: desc<value></i>
説明：	このメッセージは、サポートデータを示し、メッセージ PWX-06789 および PWX-06790 の続きです。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06792	パラメータ <i>jrnlparm</i> からのコレクションジャーナル (<i>jmlid</i>) のオーバーライド (DB2 for i5/OS CDC)
説明：	ジャーナルのオーバーライドのレコードです。
システムのアクション：	このメッセージは、監査証跡を提供します。
ユーザの応答：	処理中のオーバーライド情報用のみです。
PWX-06793	エラー - トークンのビルドでは、マイクロ秒 <i>microseconds</i> を予期していませんでした。
説明：	トークンのビルド処理は、すべて秒のみが予期されています。

システムのアクション: 処理は失敗します。
ン:

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-06794 **エラー - *next_receiver* へのレシーバチェイニングの発行が *last_receiver* からでした。 *next_receiver* へは *previous* からである必要があります。**

説明: レシーバチェイニングの処理が停止しました。コレクションに大変重大なエラーです。メッセージでレシーバの 2 番目の組は、ジャーナルに関連したレシーバのリスト上でシステムによって通知されたものになります。

システムのアクション: 処理は失敗します。
ン:

ユーザの応答: ジャーナルの保守がエラーの原因かどうかを判断します。それ以外の場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-06795 **ジャーナルレシーバを <*next_receiver*> (場所 <*sequence_number*>) に変更しています。 .**

説明: このメッセージには、レシーバ変更の開始用の監査証跡が表示されません。

ユーザの応答: 必要に応じて監査証跡を行います。

PWX-06796 **ジャーナルレシーバを <*last_receiver*> から <*current_receiver*> (場所 <*sequence_number*>) に変更しました。**

説明: このメッセージには、レシーバ変更の末尾用の監査証跡が表示されません。

ユーザの応答: 必要に応じて監査証跡を行います。

PWX-06797 **エラー - レシーバ *next_receiver* がチェインの末尾 *last_receiver* (*previous*) にありません。**

説明: レシーバチェイニングの処理が停止しました。コレクションに大変重大なエラーです。メッセージでレシーバの 2 番目の組は、ジャーナルに関連したレシーバのリスト上でシステムによって通知されたものになります。一致するレシーバがありません。

システムのアクション: 処理は失敗します。
ン:

ユーザの応答: ジャーナルの保守がエラーの原因かどうかを判断します。それ以外の場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-06798 **エラー - 変更されたジャーナルレシーバ形式が <*next_receiver*> *length* に発行されました。 予期されるのは <*expected_receiver*> です。**

説明: エラーレシーバ変更形式のエラーです。

システムのアクション: 処理は失敗します。
ン:

PWX-06807 **オブジェクト *object_name*、タイプ *object_type* に対する権限のないユーザー。**

説明： タスクに関連付けられているユーザー名は、指定されたオブジェクトにアクセスする権限がありません。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： タスクに関連付けられたユーザー名にシステム内で権限が正しく付与されていることを確認してください。ユーザー名に権限が正しく付与されている場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡してください。

PWX-06808 **ALWCLRPFM=Y と指定されているため、i5/OS ジョブ *identifier* が *library/file* 上で発行した CLRPFM コマンドが、DB2 for i5/OS キャプチャによって無視されました。**

説明： i5/OS ジョブは、削除済みのレコードを含むすべてのデータを、指定された物理ファイルから削除する物理ファイルメンバのクリア（Clear Physical File Member: CLRPFM）コマンドを発行します。このファイルは、DB2 for i5/OS 変更データキャプチャ（change data capture：CDC）の対象として登録されます。ただし、PowerExchange CDC は CLRPFM 変更をキャプチャできません。DBMOVER ファイルの AS4J CAPI_CONNECTION 文で ALWCLRPFM パラメータが Y に設定されているので、PowerExchange は、CDC 処理を停止させずに CLRPFM コマンドを無視します。ALWCLRPFM パラメータは、ターゲット上でデータ整合性問題を引き起こす場合があるので、このパラメータの指定は、Informatica グローバルカスタマサポートから指示された場合に限りです。

システムのアクション： PowerExchange は CLRPFM 変更を無視し、CDC 処理を続けます。

ユーザの応答： CLRPFM 変更を無視した結果、ターゲット上でデータ整合性問題が発生したかどうかを判断します。データ整合性が損なわれていた場合、必要に応じてターゲットを修正してデータ整合性を復元します。

PWX-06809 **ALWNONRENT=Y が指定されたため、i5/OS CDC 用の DB2 により、欠けていた NR エントリが生成されました。**

説明： ジャーナルレシーバが一杯になった場合は、i5/OS の場合は PowerExchange CDC for DB2 が次のレシーバ（NR）エントリを要求し、チェーン内の次のレシーバに処理を継続します。i5/OS が常にジャーナルレシーバの NR エントリを提供するわけではありません。i5/OS が NR エントリを提供しない場合にキャプチャタスクが失敗しないようにするには、AS4J CAPI_CONNECTION 文に ALWNONRENT=Y パラメータを指定します。このパラメータを設定すると、CDC 処理を続行できるように PowerExchange が内部で使用する NR エントリを生成します。生成された NR エントリは実際のジャーナルレシーバには配置されません。

システムのアクション： キャプチャ処理は続行されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06810 **i5/OS CDC 用 DB2 は、欠けていた NR エントリを PR エントリ *receiver_object* から生成できません。**

説明： i5/OS が NR エントリを提供せず、ALWNONRENT=Y パラメータが AS4J CAPI_CONNECTION 文に指定されていたため、PowerExchange が以前のレシーバエントリに基づいて次のレシーバ (NR) ジャーナルエントリを生成しようとしていました。現在のジャーナルレシーバが一杯になった場合にチェーン内の次のレシーバに処理を継続させるには、i5/OS 向けの PowerExchange CDC for DB2 には NR エントリが必要です。ただし、PowerExchange は使用する値が特定できなかったため、NR エントリの生成が失敗しました。

システムのアクション： キャプチャの処理が終了します。

ユーザの応答： 現在のチェーン内の以前のレシーバがシステムから削除されている可能性があります。以前のレシーバが削除されていた場合は、そのレシーバを復元するか、後のリスタートポイントから抽出を再開します。以前のレシーバが削除されていなかった場合は、Informatica グローバルサポートにお問い合わせください。

PWX-06811 **ジャーナルコード *journal_entry_type_code* が AS400USRJRNCODE 分の ADDLIB 値と DLTLIB 値の両方に指定されています。**

説明： DBMOVER メンバの AS400USRJRNCODE 文の ADDLIB パラメータと DLTLIB パラメータに同じジャーナルエントリタイプコードが指定されています。各パラメータには一意の、2 文字のコードを指定する必要があります。PowerExchange ではこれらのエントリを使用して SNDPWXJRNE とライブラリを特定し、i5/OS 向け DB2 のライブラリエントリを削除し、CDC ライブラリ対象リストを更新します。

システムのアクション： タスクは終了します。

ユーザの応答： AS400USRJRNCODE 文の ADDLIB パラメータおよび DLTLIB パラメータに異なる値を入力します。これらの値の長さは 2 文字である必要があります。

PWX-06812 **抽出で、予期しない形式のユーザージャーナルエントリが見つかりました。エントリタイプコード *code*、ジャーナル時刻 *timestamp*、シーケンス *sequence_number*。**

説明： PowerExchange による抽出で、SNDPWXJRNE のライブラリ追加またはライブラリ削除要求のエントリタイプコードがある i5/OS 向け DB2 ユーザージャーナルエントリが検出されました。ただし、このタイプの要求に対するエントリ形式が正しくありません。

システムのアクション： タスクは続行されます。

ユーザの応答： ライブラリの追加またはライブラリの削除要求に PowerExchange が使用するジャーナルエントリタイプコードが別のユーザーアプリケーションで使用されていないことを確認します。デフォルトでは、PowerExchange はライブラリの追加要求にはコード I1 を、ライブラリの削除要求には I2 を使用します。DBMOVER メンバの AS400USRJRNCODE 文のこれらのデフォルトジャーナルエントリタイプコードが一意でない場合は、それらのコードをオーバーライドできます。

PWX-06813 **エントリタイプコード *code*、ジャーナル時刻 *timestamp*、シーケンス *sequence_number* の SNDPWXJRNE 要求の CDC ライブラリ対象リストを再構築しています。**

説明： SNDPWXJRNE ライブラリ更新要求のジャーナルエントリに回答して、PowerExchange が CDC ライブラリ対象リストの再構築を開始しています。このメッセージでは、*code* 変数がジャーナルエントリがライブラリの追加要求か、ライブラリの削除要求かを示す 2 文字のジャーナルエントリコードタイプです。*timestamp* と *sequence_number* は、ジャーナル内でのジャーナルエントリの場所を示します。

システムのアクション： タスクは続行されます。

ユーザの応答： このメッセージは監査に使用されます。

PWX-06814 ***action* ライブラリの CDC ライブラリ対象リストを再構築しています。**

説明： このメッセージは、構築中の CDC ライブラリ対象リストが SNDPWXJRNE ライブラリ追加要求に対するものかライブラリ削除要求に対するものかを示します。*action* 変数は、「add」か「delete」のいずれかです。後続の PWX-06815 メッセージに追加または削除されたライブラリが一覧表示されます。

システムのアクション： タスクは続行されます。

ユーザの応答： このメッセージは監査に使用されます。

PWX-06815 ***library1 use_count*、*library2 use_count*、*library3 use_count*、*library4 use_count*、**

説明： このメッセージには、SNDPWXJRNE コマンドで CDC ライブラリ対象リストを更新している、追加または削除された i5/OS 向け DB2 ライブラリが 4 つまで表示され、各ライブラリの名前も表示されます。ライブラリ削除要求の場合、このメッセージにはライブラリのユーザージャーナルエントリを抽出で処理した回数かアスタリスク (*) のいずれかで示されるユーザーカウントも表示されます。アスタリスク (*) は、初めて使用されたジャーナルであることを意味します。追加または削除されたライブラリが 5 つ以上ある場合は、SNDPWXJRNE 要求に指定された 4 つのライブラリのセットごとにこのメッセージが繰り返し発行されます。

システムのアクション： タスクは続行されます。

ユーザの応答： このメッセージは監査に使用されます。

PWX-06816	<i>file_count</i>ソースのタイプコード <i>code</i>のユーザージャーナルエントリの処理後に CDC ライブラリ対象リストの再構築が完了します。
説明:	PowerExchange は、SNDPWXJRNE ライブラリ追加またはライブラリ削除要求に指定されたタイプコードのジャーナルエントリに応答し、CDC ライブラリ対象リストの再構築を完了しました。 <i>file_count</i> は、影響を受けたソーステーブル（ファイル）インスタンスの数を示します。
システムのアクション:	タスクは続行されます。
ユーザの応答:	このメッセージは監査に使用されます。
PWX-06817	ライブラリ <i>library</i>の追加要求は実行できません。これは、この要求が直前のライブラリ削除要求と一致しているためです。
説明:	CDC ライブラリ対象リストを更新するための SNDPWXJRNE コマンドには、無視されたライブラリの追加要求が含まれます。同じライブラリの以前のライブラリの削除要求と一致するため、ライブラリの追加要求は無視されました。
システムのアクション:	抽出処理は継続します。
ユーザの応答:	CCT 対象リストへの追加を試みているライブラリが正しいことを確認してください。正しいライブラリの場合は、CDC セッションを停止し再起動してライブラリを CCT 対象リストに追加します。
PWX-06818	i5/OS ジョブ <i>job_identifier</i>が DB2 テーブル <i>schema.table_name</i>に TRUNCATE 操作を実行したので、DB2 for i5/OS CDC が終了しました。
説明:	i5/OS ジョブは指定された DB2 テーブルに SQL TRUNCATE 操作を実行しました。このテーブルは、PowerExchange DB2 for i5/OS CDC に対して登録されています。DB2 は、切り詰めに対するジャーナルエントリを 1 つだけ書き込みます。その結果、PowerExchange CDC には、TRUNCATE 操作によってテーブルから削除されたレコードを識別する手段がありません。
システムのアクション:	CDC の処理は終了します。
ユーザの応答:	切り詰められたテーブルに新しい再起動トークンを指定します。再起動トークンは、TRUNCATE 操作の後に発生する変更ストリーム内の位置を識別する必要があります。TRUNCATE 文を使用して、CDC 用に登録されている i5/OS テーブルからレコードを削除しないことをお勧めします。

PWX-06819 i5/OS ジョブ *job_identifier*によって DB2 テーブル *schema.table_name*に実行された TRUNCATE 操作は、ALWCLRPFM=Y が指定されているので、CDC セッションによって無視されました。

説明： i5/OS ジョブは指定された DB2 テーブルに SQL TRUNCATE 操作を実行しました。このテーブルは、PowerExchange DB2 for i5/OS CDC に対して登録されています。DB2 は、切り詰めに対するジャーナル エントリを 1 つだけ書き込みます。その結果、PowerExchange CDC には、TRUNCATE 操作によってテーブルから削除されたレコードを識別する手段がありません。AS4J CAPI_CONNECTION 文に ALWCLRPFM=Y パラメータが指定されているので、CDC 処理は続行されます。このパラメータは、データの整合性を損なうことなく、ソーステーブルのその後のジャーナルエントリをターゲットで処理できる場合にのみ指定します。

システムのアクション： CDC 処理を続行します。

ユーザの応答： ターゲットがその後のジャーナルエントリを適切に処理できることを確認します。サポートが必要な場合は、DB2 DBA または Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。TRUNCATE 文を使用して、CDC 用に登録されている i5/OS テーブルからレコードを削除しないことをお勧めします。

PWX-06852 **エラー - タイムスタンプ *timestamp* シーケンス *sequence_number*を *journal*に関連付けられているレシーバに関連付けることができませんでした。**

説明： トークン変換処理は、既知のレシーバでジャーナルエントリを検出できませんでした。ジャーナルをさかのぼって検索が行われ、指定されたジャーナルエントリのタイムスタンプより前の、最初のレシーバを検出します。ジャーナルシーケンス番号は、最初から最後まで範囲内にあるはずですが、存在しません。

リスタートトークン内のタイムスタンプとシーケンスは、次のいずれかの理由により、処理に使用できるジャーナルレシーバ内のどれにも一致しません。

- 日付操作、日付、およびシーケンスが、この処理に使用できなくなったレシーバに対してリセットされました。
- ジャーナルレシーバが削除され、リスタートトークンタイムスタンプおよびシーケンスが、この処理に使用できなくなったレシーバに所属しています。
- CAPTPARM メンバが、チェックポイントが取得されたときに示されるジャーナルとは異なるジャーナルを指しています。

システムのアクション： 処理は失敗します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06853	タイムスタンプ <i>timestamp</i> とシーケンス番号 <i>sequence_number</i> で複数のジャーナルレシーバが見つかりました。
説明:	DB2 for i CDC セッションのリスタート中に、リスタートトークンと一致し、同じ接続タイムスタンプとシーケンス番号を持つジャーナルレシーバが複数検出されました。PowerExchange では、リスタートトークンが 1 つのジャーナルレシーバにのみ存在する必要があります。
システムのアクション:	リスタート処理は失敗します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-06901	エラー - CCT エントリオープンのビルドエラー <i>return_code</i>, <i>request_type</i>。
説明:	メッセージで指定された要求が、現在コレクション用に初期化されているテーブルのオープンに失敗しました。セキュリティまたは命名が原因である可能性があります。
システムのアクション:	コレクションの初期化が終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	関連するメッセージで元となる原因を調査します。
PWX-06902	CCT エントリ describe のビルドエラー <i>returncode</i>, <i>request_type</i>。
説明:	メッセージで指定された要求が、現在コレクション用に初期化されているテーブルの describe に失敗しました。セキュリティまたは命名が原因である可能性があります。
システムのアクション:	コレクションの初期化が終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	関連するメッセージで元となる原因を調査します。
PWX-06906	CPT 一貫性チェッククローズエラー <i>return_code</i> (IMS キャプチャ)
説明:	メッセージで指定された要求が、現在コレクション用に初期化されているテーブルのクローズに失敗しました。セキュリティまたは命名が原因である可能性があります。
システムのアクション:	コレクションの初期化が終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答:	関連するメッセージで元となる原因を調査します。
PWX-06911	CPT ビルド記述エラー <i>return_coderequest_type</i> (IMS キャプチャ)。
説明:	メッセージで指定された要求が、現在コレクション用に初期化されているテーブルの describe に失敗しました。セキュリティまたは命名が原因である可能性があります。
システムのアクション:	コレクションの初期化が終了し、要求が失敗します。

ユーザの応答：	関連するメッセージで元となる原因を調査します。
PWX-06921	終了の待機中に初期化に失敗しました。(IMS キャプチャ)
説明：	初期化を続行できません。関連メッセージを参照します。
システムのアクション：	コレクションの初期化が終了し、要求が失敗します。
ユーザの応答：	関連するメッセージで元となる原因を調査します。
PWX-06922	CAPTIMS の COLDSTART がログ記録開始時間より後であるため、ECCR は <i>data_set_name</i> バッチログを無視します。
説明：	RUNLIB(CAPTIMS)メンバの STARTTIME パラメータを使用して IMS の指定バッチアーカイブログの途中にキャプチャ開始位置が指定されていたため、IMS ログベース ECCR がコールドスタートしました。ターゲットのデータベースが壊れないように、ECCR は変更キャプチャに指定された IMS ログデータセットを無視します。
システムのアクション：	ECCR は処理を継続します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06923	ログ開始時刻 <i>start_store_clock_time start_timestamp</i>、ログ終了時刻 <i>end_store_clock_time end_timestamp</i>
説明：	IMS ログベース ECCR によって無視される IMS バッチアーカイブログには、ログの具体的な開始時刻と終了時刻があります。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06924	CAPTIMS COLDSTART STARTTIME=<i>timestamp</i>
説明：	RUNLIB(CAPTIMS)メンバの STARTTIME パラメータに指定された値により、IMS ログベース ECCR がコールドスタートしました。この STARTTIME 値が IMS ログ開始時刻より後であるため、ECCR はこのログを無視します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06925	ENDTIME <i>end_timestamp</i>、<i>end_storeclock_value</i>
説明：	このメッセージは、IMS ログベース ECCR が処理を停止するタイミングを制御する ENDTIME パラメータ設定を通知します。このパラメータは Informatica 内部でのみ使用され、主に IMS ECCR テストに使用されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06926	ENDTIME に達しました。レコード <i>record_storeclock_value record_timestamp</i>、終了時刻 <i>end_storeclock_value end_timestamp</i>
説明：	IMS ログベース ECCR が、ENDTIME パラメータに指定されている終了タイムスタンプを過ぎてもログを読み取っていました。このパラメータは Informatica 内部でのみ使用され、主に IMS ECCR テストに使用されます。

システムのアクション ECCR 処理が停止します。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06927 *eccr_name* は *timestamp* に開いている UOW を見つけることができませんでした。

説明： 開いている UOW を一覧表示するため、LIST OUOW コマンドを IMS ログベース ECCR に発行しました。しかし、ECCR では開いている UOW が見つかりませんでした。LIST OUOW コマンドは Informatica 内部でのみ使用されます。

システムのアクション ECCR 処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06928 *eccr_name* ECCR UOW=*uow_name* *uow_id* IMS
UOW=*ims_uowtype*=*type*

説明： LIST OUOW コマンドが IMS ログベース ECCR に発行されました。コマンドの結果として、指定された UOW が ECCR で見つかりました。LIST OUOW コマンドは Informatica 内部でのみ使用されます。

システムのアクション ECCR 処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 対処の必要はありません。

PWX-06929 *eccr_name timestamp* でスキップされたリストが空です。

説明： LIST SKIP コマンドが IMS ログベース ECCR に発行されました。しかし、ECCR は、スキップされたリストでデータセットのエントリを見つけれませんでした。LIST SKIP コマンドは Informatica 内部でのみ使用されます。

システムのアクション ECCR 処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06930 **開始** STCK *start_storeclock_value* **停止** STCK
stop_storeclock_value **フラグ**=*flag1/flag2/flag3*
dsn=<*data_set_name*>

説明： LIST SKIP コマンドが IMS ログベース ECCR に発行されました。このメッセージは、スキップされたリストで ECCR が見つけたデータセットのエントリを通知します。LIST SKIP コマンドは Informatica 内部でのみ使用されます。

システムのアクション ECCR 処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 対処の必要はありません。

PWX-06933 **IMS クローズエラー。戻りコード *return_code*。(IMS キャプチャ)**

説明： メッセージで指定された要求が、現在コレクション用に初期化されているテーブルのクローズに失敗しました。セキュリティまたは命名が原因である可能性があります。

システムのアクション： コレクションの初期化が終了し、要求が失敗します。

ユーザの応答： 関連するメッセージで元となる原因を調査します。

PWX-06934 **-DDNAME--ステータス--データセット名- SSID=*IMS_ssid*
*RECON_IMS_version***

説明： このメッセージは、IMS ログベース ECCR によって処理される RECON データセットについてメッセージ PWX-06935 がレポートする情報のヘッダを提供します。このメッセージはまた、その RECON データセットに関連付けられた IMS サブシステム ID (SSID) および IMS バージョンもレポートします。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06935 *ddname status data_set_name*

説明： このメッセージは、IMS ログベース CDC 用に PowerExchange が使用する RECON データセットに関する情報を表示します。メッセージは以下の変数で構成されています。

- *ddname* は、ECCR に割り当てられている RECON データセットを識別する DD 文の名前です。
- *status* は、RECON データセットヘッダの IMS ステータス値です。このメッセージは COPY1 のステータスを持つ RECON のみを示し、この COPY1 には PRIMARY ACTIVE RECON が示されます。
- *data_set_name* は、RECON データセット名です。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06936 **ECCR は開始時刻 *store_clock_time*、*normal_time* (ACTIVE OLDS の開始時刻) を過ぎても処理できません。**

説明： IMS ログベース ECCR は、IMS アーカイブ SLDS から変更データをキャプチャするため、指定された IMS ACTIVE OLDS の開始時刻よりも遅いタイムスタンプの変更レコードは処理しません。

システムのアクション： ECCR は、指定された開始時刻を過ぎた変更レコードは処理しません。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06937 **ECCR の初期化は必要な場合にのみ実行されます。ECCR はシャットダウンしています。**

説明： IMS ログベース ECCR は、テスト目的の初期化処理のみの実行要求を受け取りました。初期化が完了しました。

システムのアクション： ECCR がシャットダウンします。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06938 **IMS バージョンはサポートされていません。ECCR はシャットダウンしています。**

説明： 使用している IMS ログベースの ECCR プログラムは、IMS バージョンの CDC ソースデータベースをサポートしていません。

システムのアクション： ECCR がシャットダウンします。

ユーザの応答： 使用中の IMS バージョンに PowerExchange がサポートしている ECCR プログラムを使用します。次のリストは、各バージョンでサポートされている ECCR プログラムを示しています。

- IMS 8.1 の場合、DTLCCIM8 プログラムを使用する必要があります。
- IMS 9.1 の場合、DTLCCIM9 プログラムを使用します。
- IMS 10 の場合、DTLCCIMX または DTLCCIMA プログラムを使用します。
- IMS 11 の場合、DTLCCIMX または DTLCCIMB プログラムを使用します。

PWX-06939 **DD *ddname* はこのジョブに割り当てられていません。ECCR はシャットダウンしています。**

説明： DBRC API と連携して動作する、IMS ログベース ECCR プログラムの DTLCCIMX を使用しているため、DTLDBRC DD 文が ECCR JCL 内で指定されている必要があります。しかし、DD が存在しないか、または正しく指定されていません。

システムのアクション： ECCR がシャットダウンします。

ユーザの応答： ECCR JCL を編集して、必要な DD 文を追加または修正します。

PWX-06940 **バッチログ: StartTime=<time> loc=<FIRST|NEXT|SPEC> SSID=<job_name>の最初のクエリ。**

説明： このメッセージは、IMS バッチシステム用に、DBRC API に対して SLDS ログを要求する最初の IMS ログベース ECCR クエリ内のパラメータを表示します。ECCR は、変更データキャプチャ用の SLDS ログからデータを読み取ります。パラメータは次のとおりです。

- StartTime *timestamp*。要求されたログの検索基準として使用される、開始のタイムスタンプ。タイムスタンプは、UTC 形式のバックされた 10 進数のタイムスタンプです。
- Loc *option*。開始時刻に基づいてログを検索するために使用されるオプション。
 - SPEC。開始時刻が指定されたログ。
 - PREV。指定された開始時刻よりも、開始時刻が前のログ。
 - NEXT。指定された開始時刻よりも、開始時刻が後のログ。

- SSID *job_name*。クエリ中のログに関連付けられている IMS バッチジョブ。

これらのパラメータは、DBRC ログのクエリ要求パラメータに対応します。詳細については、IBM DBRC API プログラミングに関するマニュアルを参照してください。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06941 **オンラインログ:StartTime=<timestamp> loc=<FIRST|NEXT|SPEC> SSID=<ssid>の最初のクエリ。**

説明： このメッセージは、IMS オンラインシステムを対象に、DBRC API に対して SLDS ログを要求する最初の IMS ログベース ECCR クエリ内のパラメータを表示します。ECCR は、変更データキャプチャ用の SLDS ログからデータを読み取ります。パラメータは次のとおりです。

- StartTime *timestamp*。要求されたログの検索基準として使用される、開始のタイムスタンプ。タイムスタンプは、UTC 形式のバックされた 10 進数のタイムスタンプです。
- Loc *option*。開始時刻に基づいてログを検索するために使用されるオプション。
 - SPEC。開始時刻が指定されたログ。
 - PREV。指定された開始時刻よりも、開始時刻が前のログ。
 - NEXT。指定された開始時刻よりも、開始時刻が後のログ。
- SSID *ssid*。クエリ中のログの IMS サブシステム ID。

これらのパラメータは、DBRC ログのクエリ要求パラメータに対応します。詳細については、IBM DBRC API プログラミングに関するマニュアルを参照してください。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06942 **current_time の ECCR は time より後を処理できません。**

説明： IMS DBRC API の呼び出しが失敗したため、IMS ログベースの ECCR は、SLDS 内の指定された時刻より後の変更レコードを処理できません。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06946 **current_storeclock_time の ECCR は storeclock_time、date_time (ACTIVE OLDS <dd_name>の開始時刻) より後を処理できません**

説明： IMS ログベースの ECCR は IMS SLDS 内の現在のストアクロック時刻までの変更レコードを処理しました。ECCR は、指定された DD 名の IMS ACTIVE OLDS を、指定の開始より後は処理できません。ACTIVE OLDS の開始時刻がストアクロック時刻として表示され、その後に日付 (yyyy.ddd) と時刻 (hh:mm:ss.nnnnnn) が表示されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06947	<i>current_storeclock_time</i> の ECCR は <i>storeclock_time</i>、<i>time</i> (UNARCH OLDS <<i>dd_name</i>>の開始時刻) より後を処理できません
説明:	IMS ログベースの ECCR は IMS SLDS 内の現在のストアクロック時刻までの変更レコードを処理しました。ECCR は、指定された DD 名の IMS がアーカイブされていない最も早い OLDS を、指定の開始より後は処理できません。IMS がアーカイブされていない最も早い OLDS の開始時刻がストアクロック時刻として表示され、その後に日付 (yyyy.ddd) と時刻 (hh:mm:ss.nnnnnn) が表示されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06959	ECCR は、次の RUNLIB で指定された RECON を使用していません: <i>recon1</i>、<i>recon2</i>、<i>recon3</i>。
説明:	IMS ログベース ECCR は、RUNLIB ライブラリの DTLACCFG DD メンバの IMSID パラメータで指定された RECON データセットを使用しています。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06960	SLDS データセット <i>data_set_name</i> が対象ですが、LOGERR としてマークされています
説明:	指定された IMS SLDS データセットが変更データキャプチャの対象となります。ただし、IMS RECON データセットの PRISLDS ログ内のエントリが、データセットにエラーがあることを示しています。
システムのアクション:	IMS ログベースの ECCR は、利用可能な場合、SECSLDS ログファイル内の対応するデータセットのエントリを読み取ります。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06961	開始時間=<i>time_stamp</i> の圧縮 SLDS エントリは無視されます
説明:	IMS ログベースの ECCR は、RECON データセットの PRILOG または SECLOG レコードあるいは PRISLDS または SECSLDS レコードの中で、指定された開始時間および「COMPRESSED DATA SET」というデータセット名を持つデータセットのエントリを検出しました。ECCR は、このデータセット名に基づいてデータセットを識別できません。
システムのアクション:	IMS ログベースの ECCR は、変更の取得時に圧縮データセットを無視します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06962	IMS SECLOG が見つかりません。RECON キー=<i>hexadecimal_value</i>
説明:	IMS RECON データセットにおいて、IMS ログベースの ECCR が指定されたキー値を持つタイプ x'09' の SECLOG レコードを検出しませんでした。対応する PRILOG レコードは、データセットにエラーがあることを示しています。
システムのアクション:	ECCR が、PRILOG または SECLOG のいずれかで有効なデータセットのエントリを検出できないので、ECCR ジョブは 4 より大きな戻りコードで異常終了します。

ユーザの応答： IMS データベースが SECLOG リカバリログを使用するように設定されていることを確認します。設定されている場合、すべての RECON データセット内の SECLOG レコードをチェックして、指定されたキーを持つレコードを検索します。

PWX-06963 ***data_set_name* の IMS SECLOG または SECSLDS データセットエントリがエラーです。**

説明： IMS RECON データセットの SECLOG ログまたは SECSLDS ログ内のデータセットのエントリが、指定されたログのデータセットにエラーがあることを示しています。また、同じ開始時刻が PRILOG か PRISLDS ログにある対応するデータセットエントリは、ログデータセットが間違っているのを示します。

システムのアクション： IMS ログベースの ECCR が、RECON データセットのプライマリログまたはセカンダリログのいずれかで有効なデータセットのエントリを検出できないので、ECCR ジョブは異常終了します。

ユーザの応答： PRILOG ログまたは PRISLDS ログでエラーがあるとマークされているデータセットを識別するには、IMS LIST.LOG コマンドを使用します。その後、プライマリログおよびセカンダリログの中でエラーがあるとマークされているデータセットのうち、少なくとも 1 つの修復を試みます。

PWX-06964 **ECCR は、*data_set_name* の PRILOG または PRISLDS エントリに対応する、IMS SECLOG または SECSLDS データセットエントリを見つけることができませんでした。**

説明： RECON データセットの SECLOG ログまたは SECSLDS ログにおいて、IMS ログベースの ECCR が、PRILOG ログまたは PRISLDS ログ内で指定されたデータセットのエントリの開始時刻と一致するデータセットのエントリを検出できませんでした。PRILOG または PRISLDS データセットのエントリは、このデータセットにエラーがあることを示しています。

システムのアクション： ECCR がプライマリログまたはセカンダリログ内で有効なデータセットを検出しなかったため、ECCR ジョブは異常終了します。

ユーザの応答： PRILOG ログまたは PRISLDS ログでエラーがあるとマークされているデータセットの修復を試みます。

PWX-06965 **IMS SECSLDS にエラーが存在します。DSN=*data_set_name***

説明： RECON データセット内の SECSLDS データセットのエントリが、指定されたログのデータセットにエラーがあることを示しています。また、同じ開始時間を持つ対応する PRISLDS エントリもデータセットにエラーがあることを示しています。

システムのアクション： IMS ログベースの ECCR ジョブは異常終了します。

ユーザの応答： PRISLDS ログでエラーがあるとマークされているデータセットを識別するには、IMS LIST.LOG コマンドを使用します。その後、PRISLDS ログおよび SECSLDS ログの中でエラーがあるとマークされているデータセットのうち、少なくとも 1 つの修復を試みます。

PWX-06966	エラーである PRISLDS に対する IMS SECSLDS が見つかりません。RECON キー=<i>hexadecimal_value</i>
説明:	RECON データセットの SECSLDS ログにおいて、IMS ログベースの ECCR が指定されたキー値を持つ PRISLDS レコードに対応するタイプ x'47' の SECSLDS レコードを検出しませんでした。PRISLDS データセットのエントリは、このデータセットにエラーがあることを示しています。
システムのアクション:	ECCR が、PRISLDS または SECSLDS のいずれかに含まれる SLDS データセットに関する有効なデータセットのエントリを検出しなかったため、ECCR ジョブが異常終了します。
ユーザの応答:	PRISLDS でエラーがあるとマークされているデータセットを識別するには、IMS LIST.LOG コマンドを使用します。その後、データセットの修復を試みます。
PWX-06967	ECCR が IMS ログ時間 <i>timestamp</i> (YY/MM/DD HH:MM:SS.NNNNNN) で開始します。レコード数=<i>number</i>
説明:	スタートアップ時に、IMS ログベース ECCR が、指定されたタイムスタンプに対応する SLDS ログ内の位置から変更データの読み取りを開始します。タイムスタンプの形式で、NNNNNN はマイクロ秒を表します。
システムのアクション:	ECCR は変更データを処理します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-06970	(キャプチャ) コールドスタートしますか? (Y/N)
説明:	キャプチャにリスタートポイントもコールドスタートの要求合意もありません。
システムのアクション:	オペレータの応答を待ちます。
ユーザの応答:	Y または N をメッセージに入力します。
PWX-06971	ECCR 異常終了: 理由
説明:	キャプチャが異常終了しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	PowerExchange とシステムのログに他のメッセージがないかどうかを確認します。
PWX-06972	DBD=<i>dbd_name</i>、セグメント=<i>segment_name</i> の操作前の画像がないログレコードが見つかりました
説明:	IMS ECCR で、指定された DEDB DBD およびセグメントの操作前の画像がないログレコードが見つかりました。この警告メッセージは、操作前の画像がない最初のログレコードが ECCR で発生したときに、キャプチャ登録で 1 回発行されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-06973 (ECCR *eccr_name*) IMS ログ *data_set_name* 開始
hexadecimal_time time 終了 *hexadecimal_time time* は使用
できません。

説明： このメッセージは、指定された IMS ログにエラーがあることを示し
ます。 このメッセージは、IMS ログベース ECCR パラメータの
ERROR_LOG が WTOR に設定されている場合のみ表示されます。

システムのアクション： このシステムアクションは、次のメッセージでの選択内容によって変
わります。

ユーザの応答： IMS リカバリを実行してログを修正し、ECCR をもう一度実行しま
す。

PWX-06974 (ECCR *eccr_name*) 次のオプションのいずれかを入力します。
ABEND/WAIT/SKIP

説明： メッセージ PWX-06973 で指定されている IMS ログでエラーがあるた
め、IMS ログベース ECCR の応答方法を示す必要があります。 この
メッセージは、ECCR パラメータの ERROR_LOG が WTOR に設定さ
れている場合のみ発行されます。

システムのアクション： システムアクションは入力するオプションによって決まります。
ン：

ユーザの応答： 次のいずれかのオプションを入力します。

- ABEND。ECCR が終了します。
- WAIT。ECCR は待機してから、再試行します。このオプションで
は、エラーのあるログを修正できます。
- SKIP。ECCR はエラーのあるログをスキップして処理を継続しま
す。スキップされたログファイルは再処理できなくなるので、この
オプションはお勧めしません。IMS バッチバックアウトを使用し
てログファイルを修正できないことが確実でない限り、このオプ
ションは選択しません。

WAIT オプションをお勧めします。

ログを修正するには、IMS バッチバックアウトを実行します。

PWX-06975 (ECCR *eccr_name*) このログファイルを常にスキップするこ
とを確認します。SKIP を再入力します

説明： ユーザーが、エラー状態の IMS ログをスキップすることを選択しま
した。ログはメッセージ PWX-06973 に示されています。スキップ
されたログは再処理ができなくなるため、この SKIP オプションはお
勧めしません。ログをスキップするかどうかを確認してください。
このメッセージは、ECCR パラメータの ERROR_LOG が WTOR に設
定されている場合のみ表示されます。

システムのアクション： システムアクションはユーザーの応答によって決まります。
ン：

ユーザの応答： ログをスキップするには、SKIP をもう一度入力します。

PWX-06976	(ECCR <i>eccr_name</i>) IMS ログ <i>data_set_name</i> は、ERROR_LOG=SKIP またはオペレータの操作によってスキップされます。
説明：	エラー状態にある特定された IMS ログは常にスキップされています。IMS ログベース ECCR パラメータ ERROR_LOG が SKIP に設定されているか、または ERROR_LOG パラメータが WTOR に設定されていてユーザーが SKIP オプションを入力したため、このログはスキップされました。
システムのアクション：	IMS ECCR はこのログをスキップし、処理を続行します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06977	(ECCR <i>eccr_name</i>) IMS ECCR は、エラーログが訂正されるのを待って、再試行します。
説明：	IMS ログベース ECCR で、IMS ログインエラーが発生し、ログを修正できるように待機状態になりました。ECCR パラメータの ERROR_LOG が WAIT に設定されているか、または ERROR_LOG が WTOR に設定されて WAIT オプションが入力されたため、ECCR は待機します。
システムのアクション：	システムは待機してから、再試行します。
ユーザの応答：	待機期間中にエラーログを修正します。
PWX-06978	(ECCR <i>eccr_name</i>) IMS ECCR はログインエラー <i>log_name</i> のために終了します。
説明：	IMS ログベースの ECCR で IMS ログインエラーが発生しました。ECCR ERROR_LOG パラメータが ABEND (デフォルト) に設定されているか、または ERROR_LOG パラメータが WTOR に設定されていて、オペレータが ABEND を選択したため、ECCR は、このメッセージとともに異常終了します。このメッセージにはログ名が表示されません。
システムのアクション：	IMS ECCR 処理が終了します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06980	コレクタで使用される CCT が、PowerExchange ロggerで使用されるエージェントキャッシュと一致しません。
説明：	ECCR に定義されたキャプチャ登録に変更が見つかりました。ただし、これらの変更が PowerExchange ロggerに報告されたときに、PowerExchange ロggerで使用される PowerExchange エージェントキャッシュには、この登録のレコードがありませんでした。
システムのアクション：	ECCR はエラーにより終了します。

ユーザの応答：	リポジトリ PowerExchange Listener と ECCR の DTLAMCPR が一致していることを確認します。PowerExchange エージェントキャッシュは、UPDATEINTERVAL が AGENTREP ファイルで指定された後でのみフレッシュされます。新しい登録が作成され、それらの更新がキャプチャされた場合、PowerExchange エージェントキャッシュにその新しい登録がまだ含まれていないことがあります。UPDATEINTERVAL を待機して、ECCR をリスタートします。
PWX-06981	DBRC API 関数 <i>function</i> が失敗しました。戻りコード = <i>return_code</i> 理由 = <i>reason_code</i>
説明：	IMS DBRC API への呼び出しが失敗しました。
システムのアクション：	IMS ECCR はエラーにより終了します。
ユーザの応答：	戻りコードおよび理由コードの情報を確認します。
PWX-06982	モードログなし: 開始日は <i>start_date</i> です
説明：	ECCR のロギングは無効です。このメッセージは、ECCR が起動されたときに発行されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06983	F01A PowerExchange ロgger API INIT が失敗しました。戻りコード = 0x<i>return_code</i> 理由 = 0x<i>reason_code</i>
説明：	PowerExchange ロgger API の初期化に失敗したため、ECCR は PowerExchange ロgger に接続できませんでした。このメッセージには、エラーの戻りコードと理由コードが表示されます。
システムのアクション：	ECCR が終了します。
ユーザの応答：	問題を診断するには、指定された戻りコードと理由コードを確認します。
PWX-06984	拡張情報なし
説明：	PowerExchange ロgger は、ECCR に拡張情報をもたらしませんでした。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06985	F01A PowerExchange ロgger API RSTR 呼び出しが失敗しました。戻りコード = 0x<i>return_code</i> 理由 = 0x<i>reason_code</i>
説明：	PowerExchange ロgger へのリスタート呼び出しが失敗しました。この警告メッセージには、そのエラーの戻りコードと理由コードが表示されます。
ユーザの応答：	問題の原因を特定するには、指定された戻りコードと理由コードを確認します。

PWX-06986 F01A PowerExchange **ロッガー API GLCI 呼び出しが失敗しました。戻りコード=0xreturn_code理由=0xreason_code**

説明： PowerExchange ロッガーへの GLCI 呼び出しが失敗しました。この警告メッセージには、そのエラーの戻りコードと理由コードが表示されます。

ユーザの応答： 問題の原因を特定するには、戻りコードと理由コードを確認します。

PWX-06987 F01A GLCI **から拡張情報が返されませんでした**

説明： PowerExchange ロッガーへの GLCI 呼び出しから拡張情報が返されませんでした。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06988 F01A PowerExchange **ロッガー API GHSQ 呼び出しが失敗しました。戻りコード=0xreturn_code理由=0xreason_code**

説明： PowerExchange ロッガーへの GHSQ 呼び出しが失敗しました。この警告メッセージには、そのエラーの戻りコードと理由コードが表示されます。

ユーザの応答： 問題の原因を特定するには、戻りコードと理由コードを確認します。

PWX-06989 **コールドスタートが受け付けられました**

説明： ECCR はコールドスタートの要求を受け付けました。

システムのアクション： ECCR をコールドスタートします。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06990 **コールドスタートが拒否されました**

説明： ECCR はコールドスタートの要求を拒否しました。

システムのアクション： ECCR が開始しません。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06991 **コールドスタートは開始日 *date* を使用します**

説明： IMS ECCR のコールドスタートは、指定された開始日で実行されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-06992 CCIMT: **現在の RECON *copy1* ファイル *rc* が見つかりません**

説明： RECON データセットの使用可能なコピーを見つけられませんでした。
メッセージテキスト：

- *copy1* は、見つからなかった RECON データセットコピーの名前です。
- *rc* は PowerExchange のエラーの戻りコードです。

システムのアクション： IMS ECCR が終了します。

ユーザの応答：	RECON データセットのパラメータが正しいことを確認します。
PWX-06993	SLDS データセット <i>data_set</i> が対象です
説明：	指定された IMS SLDS データセットが、IMS ECCR の変更データキャプチャの対象となります。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06994	ECCR は、開始時刻 <i>store_clock_time</i>、<i>timestamp</i> から SLDS レコードを処理します。
説明：	IMS ECCR は、指定された開始時刻から SLDS レコードを処理します。開始時刻は、16 進数の格納クロックの時刻に続いて、ユリウス暦および hh:mm:ss:nnnnnn の時間（RECON 最低限のバージョン 10.1 以降）または hh:mm:ss:nn の時間（以前の RECON 最低限のバージョン）で構成されるタイムスタンプで示されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06995	終了時刻 <i>store_clock_time</i>、<i>timestamp</i> まで
説明：	IMS ECCR は、指定された終了時刻まで SLDS レコードを処理します。終了時刻は、16 進数の格納クロックの時刻に続いて、ユリウス暦および hh:mm:ss:nnnnnn の時間（RECON 最低限のバージョン 10.1 以降）または hh:mm:ss:nn の時間（以前の RECON 最低限のバージョン）で示されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06996	<i>start_time</i> (ACTIVE OLDS の開始時刻) を過ぎても処理できません
説明：	開始時刻が指定された開始時刻よりも遅い IMS オンライン OLDS データセットレコードは、IMS ECCR で処理できません。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06997	<i>start_time</i> (解凍済み OLDS の開始時刻) を過ぎても処理できません
説明：	開始時刻が指定された開始時刻よりも遅い IMS 解凍済み OLDS データセットレコードは、IMS ECCR で処理できません。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-06998	CCIMT: ***** recon <i>data_set_name</i> を開く際にエラーが発生しました *****
説明：	IMS ECCR は、指定された RECON データセットを開けません。
システムのアクション：	IMS ECCR は、変更データキャプチャに指定されたデータセットを使用しません。
ユーザの応答：	RECON データセットに指定されたパラメータが変更データキャプチャに対して正しいことを確認します。

PWX-06999 CCIMT: *data_set_name* は、このコレクタの実行中には使用されません

説明： IMS ECCR は、指定された RECON データセットを使用しません。

システムのアクション： IMS ECCR は、指定されたデータセットを使用しません。

ユーザの応答： RECON データセットに指定されたパラメータが正しいことを確認します。

第 6 章

PWX-07000～PWX-09999

この章では、以下の項目について説明します。

- [PWX-07000～PWX-07999, 450](#) ページ
- [PWX-08000～PWX-08999, 529](#) ページ
- [PWX-09000～PWX-09999, 533](#) ページ

PWX-07000～PWX-07999

PWX-07000	DSN の長さが <i>number</i> バイトを超えています。
説明：	入力されたデータソース名が 32 バイト長を超えています。
システムのアクション：	DTLDBC はエラーコード-1 を返します。
ユーザの応答：	入力を修正します。
PWX-07001	ユーザー ID の長さが <i>number</i> バイトを超えています。
説明：	入力されたユーザー ID が 128 バイト長を超えています。
システムのアクション：	DTLDBC はエラーコード-1 を返します。
ユーザの応答：	入力を修正します。
PWX-07002	パスワードの長さが <i>number</i> バイトを超えています。
説明：	入力されたパスワードの長さが 128 バイトを超えています。
システムのアクション：	DTLDBC はエラーコード-1 を返します。
ユーザの応答：	入力を修正します。
PWX-07003	関数シーケンスエラー。
説明：	ODBC 関数の無効なシーケンスを実行しようとした。例えば、SQLFreeConnect が、前に SQLDisconnect なしで発行されました。
システムのアクション：	DTLDBC はエラーコード-1 を返します。

ユーザの応答： ODBC 呼び出しの論理シーケンスを修正します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、ODBCD トレースを提示します。

PWX-07004 **オプション *option* が無効か、サポートされていません。**

説明： 要求された ODBC 呼び出しはサポート外のオプションです。別の ODBC 呼び出しで返される可能性のある一般的なエラーです。

システムのアクション： DTLODBC はエラーコード-1 を返します。

ユーザの応答： 使用可能な機能についてはマニュアルを確認するか、ODBC 呼び出しのパラメータのエラーを修正します。

PWX-07005 **列番号が無効です。**

説明： 1〜*n* 列の有効な範囲外の列番号の列記述子が要求されました。

システムのアクション： DTLODBC はエラーコード-1 を返します。

ユーザの応答： ODBC 要求パラメータを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、ODBCD トレースを提示します。

PWX-07006 **データが切り捨てられました。**

説明： ODBC 呼び出しが多い場合に発生します。基本的に、結果文字列パラメータが小さすぎます。

システムのアクション： DTLODBC はエラーコード（-1）を返します（あるいは、SQLDriverConnect や SQLGetInfo 呼び出しには、SQL_SUCCESS_WITH_INFO (+1)）。

ユーザの応答： 結果文字列が渡される領域のサイズと ODBC 呼び出しでの長さを拡張します。

PWX-07007 **型または長さが再バインド時に変更されました。**

説明： 型または長さが再バインド時に変更されました。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07008 **不明な SQL_C_TYPE (*coltype*)。**

説明： 列をユーザーバッファにバインドしようとしたが、ユーザーの列の種類が認識されず、変換が実行できなかったため、失敗しました。

システムのアクション： DTLODBC はエラーコード-1 を返します。

ユーザの応答： 要求で列の種類のパラメータを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、ODBCD トレースを提示します。

PWX-07009 **ドライバはプロンプトをサポートしていません。**

説明： SQLDriverConnect 呼び出しがプロンプトを要求しました。サポートされていません。

システムのアクション: DTLDBC はエラーコード-1 を返します。
ン:

ユーザの応答: ODBC 要求 uwMode パラメータを変更します。

PWX-07010 **DSN が供給されておらず、ドライバはプロンプトをサポートしていません。**

説明: SQLDriverConnect 呼び出しは接続文字列を渡さなかったか、接続文字列に DSN=キーワードが含まれていませんでした。

システムのアクション: DTLDBC はエラーコード-1 を返します。
ン:

ユーザの応答: 接続文字列を渡すように、ODBC 要求を変更します。

PWX-07011 **データ変換エラー - 列 *colnum* のフェッチ中 (*colname*)。理由: *msg*。**

説明: データ変換エラーが発生しました。メッセージには、原因に関する詳細情報が示されます。

システムのアクション: DTLDBC はエラーコード-1 を返します。
ン:

ユーザの応答: 詳細については、PowerExchange API からのその他のメッセージを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、ODBCD トレースを提示します。

PWX-07012 **型 *infotype* に対する GetInfo はこのドライバではサポートしていません。**

説明: この警告メッセージは、SQLGetInfo 呼び出しがサポートされていないタイプの情報を要求したことを報告しています。要求されたオプション情報なしで処理が続行されます。

システムのアクション: DTLDBC は、エラーコード-1 (SQL_ERROR) をドライバマネージャに返します。これは、属性がサポートされていないことを示します。ドライバマネージャは調整を行い、処理を続行します。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07013 **メタデータ SQL 要求のビルド中にオーバーフローが発生しました。**

説明: meta_SQL 要求の PowerExchange 形式への変換中に、2048 バイトのストレージ領域がオーバーフローしました。

システムのアクション: DTLDBC はエラーコード-1 を返します。
ン:

ユーザの応答: 要求を確認し、必要に応じて再フォーマットします。

PWX-07014 **列 *colnum*、*colname* はすでに SQLBindCol によってバインドされています。**

説明: 以前に SQLBindCol を別のターゲット領域にバインドした列に対して SQLGetData が要求されました。

システムのアクション: DTLDBC はエラーコード-1 を返します。
ン:

ユーザの応答：	呼び出しのシーケンスか列数を確認します。
PWX-07015	SQLExtendedFetch。フェッチエラー、カラム " <i>colnum</i> " (<i>colname</i>) 行セットの行 <i>RowNumber</i> 。
説明：	カラムをバインドしたレシーバにデータを移動中に、エラーが発生しました。.
システムのアクション：	DTLODBC は、SQLExtendedFetch では SQL_SUCCESS_WITH_INFO (+1)を、SQLGroupFetch か DTLFetch では 0 を返します。
ユーザの応答：	詳細については他のメッセージ（変換エラーなど）を参照します。
PWX-07016	ドライバにその機能がありません。(SQLExtendedFetch の FetchType)
説明：	SQLExtendedFetch 呼び出しのフェッチタイプが SQL_FETCH_NEXT ではありません。.
システムのアクション：	DTLODBC はエラーコード-1 を返します。
ユーザの応答：	使用可能な機能についてはマニュアルを確認するか、ODBC 呼び出しのパラメータのエラーを修正します。
PWX-07017	列番号が無効です。記述の前にサポートされる列数は <i>maxnum</i> です。
説明：	SQLBindCol または SQLBindParameter 呼び出しで渡される列数に無効な値があります。
システムのアクション：	DTLODBC はエラーコード-1 を返します。
ユーザの応答：	ODBC パラメータエラーを確認するか、列数とバインドされるパラメータの数を減らします。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、ODBCD トレースを提示します。
PWX-07018	型 <i>infotype</i> に対する ColAttributes はこのドライバではサポートされていません。
説明：	SQLColAttributes 呼び出しが、サポートされていない列に関する情報の型を要求しました。
システムのアクション：	DTLODBC はエラーコード-1 を返します。
ユーザの応答：	使用可能な機能についてはマニュアルを確認するか、ODBC 呼び出しのパラメータのエラーを修正します。
PWX-07019	DBType が DSN <i>datasource</i> の odbc.ini に指定されていません。
説明：	SQLConnect 呼び出しエラーです。要求された PowerExchange ODBC ソースに DBtype が定義されていません。
システムのアクション：	DTLODBC はエラーコード-1 を返します。
ユーザの応答：	odbc.ini ファイルを修正します。

PWX-07020	場所 が DSN <i>datasource</i> の <i>odbc.ini</i> に指定されていません。
説明:	SQLConnect 呼び出しエラーです。要求された PowerExchange ODBC ソースに場所が定義されていません。
システムのアクション:	DTLODBC はエラーコード-1 を返します。
ユーザの応答:	odbc.ini ファイルを修正します。
PWX-07022	BindParameter <i>number</i> が SQL 文の マーカー数を超えています 。
説明:	SQL 文でのパラメータマーカーの数が、呼び出しで渡されたパラメータ数未満です。
システムのアクション:	DTLODBC はエラーコード-1 を返します。
ユーザの応答:	ODBC 要求パラメータが正しいことを確認します。
PWX-07023	列 <i>colnum</i>、<i>colname</i> が SQL 文の 実行前にバインドされていません 。
説明:	SQL 文のパラメータマーカーが値にバインドされていません。
システムのアクション:	DTLODBC はエラーコード-1 を返します。
ユーザの応答:	ODBC 要求のシーケンスが正しいことを確認します。
PWX-07024	BindParameter の列番号 (<i>parmnum</i>) は無効です 。
説明:	パラメータ数に関する列記述子が文の有効範囲外で要求されました。
システムのアクション:	DTLODBC はエラーコード-1 を返します。
ユーザの応答:	ODBC 要求パラメータが正しいことを確認します。
PWX-07025	SQL 関数 <i>function</i> はサポートされていません 。
説明:	SQLPrepare に渡される SQL 文の種類はサポートされていません。
システムのアクション:	DTLODBC はエラーコード-1 を返します。
ユーザの応答:	SQL 文を修正します。
PWX-07026	列番号を SQL 文から決定できません 。
説明:	SQL 文の種類が、挿入、更新、選択、削除のいずれでもなく、かつ記述対象の列がありません。
システムのアクション:	DTLODBC はエラーコード-1 を返します。
ユーザの応答:	SQL 文を修正します。
PWX-07027	無効な SQL 文<<i>SQL_text</i>> 。
説明:	SQLPrepare に渡された SQL 文の種類が認識されていないか、Insert SQL 文に VALUES 句がありません。

システムのアクション DTLDBC はエラーコード-1 を返します。
ン：

ユーザの応答： 呼び出しで渡される SQL 文を修正します。

PWX-07028 **結果セットの列数が文の再実行中に変更されました。**

説明： 要求で返された列数が変更しました。

システムのアクション DTLDBC はエラーコード-1 を返します。
ン：

ユーザの応答： 内部エラー。Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、
ODBCD トレースを提示します。

PWX-07029 **ドライバは指定されたパラメータ *parameter* を処理できません。**

説明： ODCB 呼び出しパラメータで、サポートされていない機能またはエラー
です。例えば、SQLGetStmtOption では、使用できるオプション
は ROWSET_SIZE と CURSOR_TYPE のみです。

システムのアクション DTLDBC はエラーコード-1 を返します。
ン：

ユーザの応答： サポートされる機能についてのマニュアルを確認し、ODBC 呼び出し
のパラメータを修正します。

PWX-07030 **PKEYS は、複数のテーブルのプライマリキーを一度の呼び出しで戻すことはできません。**

説明： プライマリキー説明のメタデータ要求がテーブルを指定しなかった
か、通常のテーブル名が指定されました。

システムのアクション DTLAMODB はエラーコード 7030 を返します。
ン：

ユーザの応答： 要求を修正します。

PWX-07031 **FKEYS は親テーブルまたは外部テーブルが必要です。**

説明： 外部キー説明に関するメタデータの要求で、子テーブルも親テーブル
も指定しませんでした。

システムのアクション DTLAMODB はエラーコード 7031 を返します。
ン：

ユーザの応答： 要求を修正します。

PWX-07032 **FKEYS では、テーブル名にワイルドカードを使用できません。**

説明： 外部キー説明に関するメタデータ要求で、一般のテーブル名を指定し
ました。

システムのアクション DTLAMODB はエラーコード 7032 を返します。
ン：

ユーザの応答： 要求を修正します。

PWX-07033	DBQual2 (アプリケーション名) が DSN データソースの odbc.ini に指定されていません。
説明:	CAPX または CAPXRT 用に、odbc.ini ファイルで DBQUAL2 が指定されていません。また、DTLAPP=エスケープシーケンスを使用して指定されていません。
システムのアクション:	DTLODBC はエラーコード-1 を返します。
ユーザの応答:	コーディングエラーを修正するか、odbc.ini ファイルのエラーを修正します。
PWX-07034	行がないか、複数の行がアクションでした。
説明:	このメッセージは情報目的です。
システムのアクション:	DTLODBC は警告コード SQL_SUCCESS_WITH_INFO (+1) を返します。
ユーザの応答:	アプリケーションの予測に対して結果を確認します。
PWX-07035	Group Fetch を使用するには、GSMODE=YES で接続する必要があります。
説明:	CLI 呼び出しは、DTLGroupFetch 呼び出しで GSMODE=YES を指定しませんでした。
システムのアクション:	DTLSCLI はエラーコード (-1) を返します。
ユーザの応答:	要求を修正します。
PWX-07036	Group Fetch でアクティブにできるのは Select 文のみです。
説明:	DTLGroupFetch CLI 呼び出しは、Select ではない種類の SQL 文を使用しました。
システムのアクション:	DTLSCLI はエラーコード (-1) を返します。
ユーザの応答:	呼び出し文を変更します。
PWX-07037	Group Fetch オープン接続失敗: 戻りコード=return_code 戻りコード 1=return_code1 戻りコード 2=return_code2。
説明:	DTLConnect CLI 呼び出しが、PowerExchange API Openconnection 呼び出しへの呼び出しに失敗しました。
システムのアクション:	DTLSCLI はエラーコード (-1) を返します。
ユーザの応答:	PowerExchange API からのその他のメッセージを確認します。
PWX-07038	Group Fetch 読み込み接続が失敗しました。戻りコード=return_code 戻りコード 1=return_code1 戻りコード 2=return_code2。
説明:	DTLGroupFetch CLI 呼び出しが、PowerExchange API DB_READ 呼び出しへの呼び出しに失敗しました。

システムのアクション DTLSCLI はエラーコード (-1) を返します。

ン：

ユーザの応答： PowerExchange API からのその他のメッセージを確認します。

PWX-07039 BindParameter のパラメータ番号 (*parameter_number*) のパラメータ種類のセットが無効です。要求=*requested*、定義済み=*defined_type*。

説明： ストアドプロシージャトランスフォーメーションで、指定されたパラメータの種類が、パラメータの定義済みの種類と一致しません。パラメータの種類は INPUT、OUTPUT、および INOUT です。このエラーは、ストアドプロシージャトランスフォーメーションでポートを変更した場合に発生することがあります。

システムのアクション DTLODBC は、エラーコード (-1) を返します。

ン：

ユーザの応答： ODBC 要求パラメータが、ストアドプロシージャ定義に一致していることを確認します。ODBC 要求パラメータは、input (1)、output (4)、および inout (2) です。

PWX-07040 DB2 接続は、書き込みモードの書き込み確認オンとは互換性がありません。

説明： 指定された DB2 接続は配列挿入を使用します。これは、**Write Mode** 接続属性に対する **Confirm Write On** 設定とは互換性がありません。

システムのアクション DTLODBC は、エラーコード (-1) を返します。

ン：

ユーザの応答： エラーのリカバリおよびロギングが必要でない場合、**Write Mode** 設定を **Confirm Write Off** に変更します。エラーのリカバリおよびロギングが必要な場合は、**Write Mode** 設定を **Asynchronous With Fault Tolerance** に変更します。

PWX-07041 ドライバは接続オプション *option* を処理できません。

説明： サポートされていない機能またはエラーが、ODBC 呼び出しパラメータで発生しました。

システムのアクション DTLODBC は、エラーコード (-1) を返します。

ン：

ユーザの応答： サポートされている機能についてマニュアルを参照して、ODBC 呼び出しパラメータを修正します。

PWX-07042 ドライバは文オプション *option* を処理できません。

説明： サポートされていない機能またはエラーが、ODBC 呼び出しパラメータで発生しました。

システムのアクション DTLODBC は、エラーコード (-1) を返します。

ン：

ユーザの応答： サポートされている機能についてマニュアルを参照して、ODBC 呼び出しパラメータを修正します。

PWX-07043	ドライバは API <i>routine</i> を処理できません。
説明:	サポートされていない機能またはエラーが、ODBC 呼び出しパラメータで発生しました。
システムのアクション:	DTLODBC は、エラーコード (-1) を返します。
ユーザの応答:	サポートされている機能についてマニュアルを参照して、ODBC 呼び出しパラメータを修正します。
PWX-07051	互換性プロファイル内の認識できないテキスト <i>text</i> (DSN <i>source name</i>) は無視されました。
説明:	この ODBC の "互換性" プロファイル内に認識できないテキストが検出されました。
システムのアクション:	認識できないテキストは無視され、処理が続行されます。
ユーザの応答:	認識できないテキストを削除するには、Linux または UNIX では ODBC.INI ファイルを編集し、Windows ではデータソース (ODBC) システムを使用します。メッセージ PWX-07052 内の使用可能なキーワードを表示するには、互換性文字列内に "VERBOSE" を含めます。
PWX-07052	互換性プロファイルキーワード "<i>list</i>" は使用できます。
説明:	このメッセージは、互換性文字列に "VERBOSE" が含まれる場合にメッセージ PWX-07051 の後に記録されます。このメッセージは、ODBC ドライバがサポートするキーワードを表示します。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07053	互換性オプション "<i>list</i>" (DSN "<i>source name</i>") が使用されました。
説明:	このメッセージは、互換性文字列に "VERBOSE" が含まれる場合にメッセージ PWX-07051 の後に記録されます。このメッセージは、ODBC ドライバが使用したオプションを表示します。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07072	MQGETOPT
説明:	このメッセージは情報目的です。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07073	NOUPDATECDEP
説明:	このメッセージは情報目的です。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-07074	TIMEOUT
説明:	このメッセージは情報目的です。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07075	バインド制御要求を処理できません。文 (hstmt) パラメータが NULL です。
説明:	Statement パラメータに渡された無効な NULL 値のために、バインド制御要求を処理できません。
システムのアクション:	エラーコードを返します。
ユーザの応答:	正しい文がバインド制御関数に渡されることを確認します。
PWX-07076	バインド制御要求を処理できません。バッファパラメータが NULL です。
説明:	Buffer パラメータに渡された無効な NULL 値のためにバインド制御要求を処理できません。
システムのアクション:	エラーコードを返します。
ユーザの応答:	正しい Buffer パラメータがバインド制御関数に渡されることを確認します。
PWX-07077	バインド制御要求を処理できません。バッファ長パラメータが無効です。
説明:	Buffer Length パラメータに渡された無効な NULL 値のためにバインド制御要求を処理できません。Buffer の長さは 0 より大きい値である必要があります。
システムのアクション:	エラーコードを返します。
ユーザの応答:	正しい Buffer Length がバインド制御関数に渡されることを確認します。
PWX-07078	バインド制御要求を処理できません。制御の型が無効です。
説明:	Control Type パラメータに渡された無効な NULL 値のために、バインド制御要求を処理できません。有効な値は、SCLI_RESTART_TOKEN1 と SCLI_RESTART_TOKEN2 です。
システムのアクション:	エラーコードを返します。
ユーザの応答:	正しい Control Type がバインド制御関数に渡されることを確認します。
PWX-07079	実行制御要求を処理できません。接続 (hdbc) または文 (hstmt) を渡します。
説明:	Connection と Statement パラメータが相互に排他的であるため、実行制御要求を処理できません。

システムのアクション エラーコードを返します。
ン：

ユーザの応答： Connection または Statement の値をサブミットします。

PWX-07080 **実効制御要求を処理できません。制御の型が無効です。**

説明： Control Type パラメータに渡された無効な NULL 値のために実行制御要求を処理できません。有効な値は SCLI_RESTART_TOKEN_PUT です。

システムのアクション エラーコードを返します。
ン：

ユーザの応答： 正しい Control Type が実行制御関数に渡されることを確認します。

PWX-07081 **実効制御要求を処理できません。リスタートトークンが DTLBindControl を使用してバインドされていることを確認します。**

説明： DBCB の存在に対する無効な NULL 値のために実行制御要求を処理できません。

システムのアクション エラーコードを返します。
ン：

ユーザの応答： リスタートトークンが DTLBindControl を使用してバインドされていることを確認します。

PWX-07082 **実効制御要求を処理できません。SCLI_RESTART_TOKEN1 の値が無効です。**

説明： 実効制御要求を処理できません。SCLI_RESTART_TOKEN1 パラメータに無効な値があります。

システムのアクション エラーコードを返します。
ン：

ユーザの応答： リスタートトークンが DTLBindControl を使用してバインドされていることを確認します。

PWX-07083 **実効制御要求を処理できません。SCLI_RESTART_TOKEN2 の値が無効です。**

説明： 実効制御要求を処理できません。SCLI_RESTART_TOKEN2 パラメータに無効な値があります。

システムのアクション エラーコードを返します。
ン：

ユーザの応答： リスタートトークンが DTLBindControl を使用してバインドされていることを確認します。

PWX-07084 **DB_PRESENCE の呼び出しが失敗しました。戻りコード 1=return_code1 戻りコード 2=return_code2 戻りコード 3=return_code3**

説明： DTLExecuteControl CLI 呼び出しが PowerExchange API DB_PRESENCE 呼び出しへの呼び出しで失敗しました。

システムのアクション DTLSCLI がエラーコードを返します。

ン：

ユーザの応答： PowerExchange API からのその他のメッセージを確認します。

PWX-07086 **SQL 文が多すぎます。**

説明： CAPXRT と CAPX では読み込み時に 1 つの文のみが可能です。

システムのアクション エラーコードを返します。

ン：

ユーザの応答： 余分な文を削除します。

PWX-07088 **暗号化の種類 ENCRYPTTYPE の暗号化レベルがありません。**

説明： 選択した暗号化の種類に必須の暗号化レベルを入力する必要があります。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： パラメータ ENCRYPTLEVEL に有効な値が入力されていることを確認します。

PWX-07091 **キャプチャ待ち時間が無効です。**

説明： 無効な待ち時間が指定されました。有効な値は 0.86400 です。

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： 有効な待ち時間を入力します。LATENCY= (*n* 秒、Y/N)。

PWX-07092 **キャプチャ待ち時間フラグが無効です。**

説明： 無効な待ち時間フラグが指定されました。有効な値は以下のとおりです。

- Y=正確な待ち時間
- N=およその待ち時間

システムのアクション 検証に失敗しました。

ン：

ユーザの応答： 有効なオプション (Y/N) を入力します。

PWX-07094 **不良なコードページ値:**

説明： 接続文字列のコードページパラメータが無効です。

システムのアクション 接続が失敗します。.

ン：

ユーザの応答： 接続文字列パラメータが正しいことを確認します。

PWX-07095 **不良なコードページが DSN *DSName* の odbc.ini にありません。**

説明： ODBC データソースに関連したコードページはサポートされていません。

システムのアクション: ODBC データソースへの接続は失敗します。

ユーザの応答: ODBC データソースの設定が正しいことを確認します。

PWX-07096 **列 *number (name)* ODBC 呼び出し元のバッファ長 *buffer_length* が下限 *minimum* (複数バイトコードページ *PowerExchange_code_page_number (name)*) を下回っています。**

説明: 複数バイトコードページにデータが存在する指定された列とクライアントデータの長さが、ソース DBMS の長さと異なる可能性があります。API SQLBindCol で ODBC に提供されたバッファの長さが、PowerExchange が読み込みまたはその他の要求で使用する長さを下回っています。

システムのアクション: ODBC データソースへの接続は失敗します。

ユーザの応答: ODBC データソースで、異なるコードページが原因の可能性のある拡張を考慮に入れた後で、問題の列の長さを確認します。例えば、コードページ"IBM EBCDIC Japanese" (IBM-930) で精度 22 の CHAR 列は、ODBC ドライバが UTF-16LE になる場合にはかなり長いバッファにバインドする必要があります。

PWX-07098 **Null ポインタの使用が無効です**

説明: Attribute 引数が、文字属性を必要とする文属性を定義し、ValuePtr 引数がヌルポインタでした。

システムのアクション: 文属性の設定が失敗しました。

ユーザの応答: 文字列に有効なポインタを渡します。

PWX-07099 **文字列長またはバッファ長が無効です**

説明: *ValuePtr は文字ストリングで、StringLength 引数が 0 でしたが、SQL_NTS ではありませんでした。

システムのアクション: 文属性を設定する呼び出しが失敗しました。

ユーザの応答: 文字列と StringLength に有効なポインタを渡します。

PWX-07100 **属性/オプションの識別子が無効です**

説明: 引数属性に指定された値がドライバでサポートされている ODBC のバージョンに有効ではありませんでした。

システムのアクション: 文属性を設定する呼び出しが失敗しました。

ユーザの応答: 有効なサポートされる引数属性のみを入力します。

PWX-07101 **文字列長またはバッファ長が上限値の *maxvalue* を超えています。**

説明: 文字列長またはバッファ長が上限値を超えています。

システムのアクション: 文属性を設定する呼び出しが失敗しました。
 ユーザの応答: 長さ制限内の文字列を渡すようにします。

PWX-07102 LOGSID が無効または競合しています。

説明: 無効または競合する LOGSID が指定されました。サイズの最大値は 8 です。

システムのアクション: 検証に失敗しました。
 ユーザの応答: 有効な LOGSID を入力し、他のオプションと競合しないことを確認します。

PWX-07106 *value* に対する無効なエスケープシーケンス値 (*value*)。許容長=*length* 使用長=*length*

説明: エスケープシーケンスの値が、可能な長さを超えています。

システムのアクション: 検証に失敗しました。
 ユーザの応答: 有効な値を入力します。

PWX-07114 文<*statement*>は、文属性 DTL_ATTR_UPDELSEINS を付けて処理できません

説明: DTL_ATTR_UPDELSEINS 属性がありますが、「レコードが存在すれば更新し、存在しなければ挿入する」処理とは互換性はありません。

システムのアクション: この文で「レコードが存在すれば更新し、存在しなければ挿入する」処理は実行されません。
 ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07116 エラー - オーバーライドファイル<*file_name*>が見つかりません

説明: dbmover.cfg で指定されたエラーオーバーライドファイルが見つかりませんでした。

システムのアクション: 処理は終了します。
 ユーザの応答: 構成 (DB2_ERRORFILE など) でのエラーオーバーライドファイルの指定を修正または削除します。

PWX-07117 メタデータ列精度のスケーリングは、*code_page_name (number)* の ODBC 接続コードページを想定しています

説明: テーブル上のメタデータをインポートするとき、接続コードページが認識されません。システムでは、ODBC 接続コードページが構成データコードページと同じであると想定し、CHAR カラムと VARCHAR カラムを保持するために実行時に必要となるバイト数を決定します。

ユーザの応答: このメッセージは、ODBC を使用してワークフローを実行しているときに PWX-07096 切り捨てメッセージが表示された場合に役立つことがあります。

PWX-07118	メタデータ列精度のスケーリング (<i>expansion_factor</i>) は、<i>code_page_name (number)</i> の ODBC 接続コードページを想定しています
説明:	テーブル上のメタデータをインポートするとき、接続コードページが認識されません。システムでは、ODBC 接続コードページが構成データコードページと同じであると想定し、CHAR カラムと VARCHAR カラムを保持するために実行時に必要となるバイト数を決定します。このバイト数は、1 文字あたりの最大バイト数を掛けることで計算されます。
ユーザの応答:	このメッセージは、ODBC を使用してワークフローを実行しているときに PWX-07096 切り捨てメッセージが表示された場合に役立つことがあります。
PWX-07120	場所値が 'local' に設定されている場合に、書き込みモードを書き込み確認オンにオーバーライドします。
説明:	このメッセージは、ODBC または SCLI セッションの起動時に表示されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07122	<i>mod</i> は <i>routinePWX</i> バージョンを使用して接続されています。 <i>software_version</i>、パッチレベル: <i>patch_level</i>、ローカルコードページ: 制御=<i>code_page (internal_number)</i> データ=<i>code_page (internal_number)</i> SQL=<i>code_page (internal_number)</i>。
説明:	ODBC または SCLI セッションのスタートアップ中、この情報メッセージには、接続呼び出しの完了時に使用されるコードページに関する情報が表示されます。制御コードページと SQL コードページは、PowerExchange 構成ファイル dbmover.cfg で定義されます。データコードページは、接続 LocalCodepage パラメータから取得されますが、ソースまたはターゲットのテーブルをインポートするときのメタデータ呼び出しでは UTF8 にオーバーライドされます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07124	<i>call_type</i> 内で <i>field</i> を変換中にエラーが発生しました。
説明:	コードページの変換エラーが発生しました。
システムのアクション:	文に対する処理が失敗しました
ユーザの応答:	関連メッセージに、文字とソースおよびターゲットのコードページに関する情報がないか確認します。接続中にエラーが発生する場合は、制御コードページが文字を受け取れることを確認します。エラーが準備中に発生する場合は、SQL コードページが文字を受け取れること、および接続コードページが正しいことを確認します。
PWX-07125	(<i>call_type</i> 内で <i>internal_code_page_number</i> に関する情報の取得中にエラーが発生しました。
説明:	使用された内部コードページ番号が正しくありません。
システムのアクション:	文に対する処理が失敗しました

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-07126 **SQL コードページ *code_page (internal_number)* はこのプラットフォームで無効です。理由 *reason_number*。**

説明： 構成ファイルの SQL コードページが有効ではありません。

- 理由 1。コードページが、文字当たり 1 バイトの最小値をサポートしていません。
- 理由 2。コードページがプラットフォームに適合しておらず、プログラムがコンパイルされたコードページと互換性がありません。

システムのアクション： 処理は失敗します。
ン：

ユーザの応答： 適切な SQL コードページを PWX 構成ファイル (dbmover.cfg) で指定します。Windows および UNIX 上の、マルチバイト文字を含む SQL の場合は、UTF-16LE を使用できます。

PWX-07129 **アクションテーブル *table_name* 行数=カウント適用=カウント失敗=カウント *mutated***

説明： このメッセージには、Confirmwrite=T の処理の統計が表示されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07130 **データコードページは *code_page (internal_number)* にリセットされました。**

説明： このメッセージには、PowerExchange が使用するコードページに関する情報が表示されます。データコードページは、PowerCenter 接続コードページパラメータから取得されます。

システムのアクション： 処理は継続します。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07131 **データコードページを *code_page_name* にリセットできませんでした。データコードページは *code_page_name (internal_number)* に戻されました。**

説明： このメッセージには、PowerExchange で使用されるコードページに関する情報が表示されます。データコードページは、PowerCenter 接続コードページパラメータから取得されます。

システムのアクション： 処理は継続します。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07132	ワーカースレッド (DTLWORKERS) SQL エスケープシーケンスの無効な値: 指定された値=<i>val</i>, 有効な範囲 0 から <i>max</i>
説明:	PowerCenter Workflow Manager で、有効な値の範囲にない値が、DTLWORKERS SQL エスケープシーケンスに対して指定されました。有効な値は 0 から 64 です。 PowerExchange 変更データキャプチャ (change data capture : CDC) に対するオフロード処理を有効にしたとき、またはバルクデータ移動セッションを有効にしたとき、PowerExchange がデータを処理するために Integration Service マシンで使用するスレッド数を指定するように、DTLWORKERS SQL エスケープシーケンスを定義できます。エスケープシーケンス値は PowerExchange のデフォルト値である 0 をオーバーライドします。
システムのアクション:	セッションが終了します。
ユーザの応答:	マルチスレッド処理を使用するために、DTLWORKERS SQL エスケープシーケンスで 1~64 の値を入力します。オプションのパフォーマンスを得るには、この値が、Integration Service マシンで搭載済みまたは使用可能なプロセッサ数より大きくならないようにします。SQL エスケープシーケンスの詳細については、『 <i>PowerExchange リファレンスマニュアル</i> 』を参照します。
PWX-07133	複数グループの書き込みには [<i>property name=property value</i>] が必要です。指定された値 [<i>property name=property value</i>] から変更されました。
説明:	特定の接続プロパティは、複数レコードの書き込みを実行する必要があります。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07134	SQL エスケープシーケンス '<i>keyword</i>' に、無効な値 '<i>value</i>' が存在します。有効な値は '<i>values</i>' です。
説明:	SQL エスケープシーケンスのキーワードに無効な値が含まれていません。
システムのアクション:	ODBC 処理が失敗しました。
ユーザの応答:	無効な値をこのメッセージで指定されたいずれかの有効な値に置き換えます。
PWX-07140	ODBC。PWXOVERRIDES オプション <i>list</i> (DSN <i>source name</i>) が使用されました。
説明:	このメッセージは、ソース名の ODBC.INI ファイルの PWXOVERRIDES エントリのオプションを一覧表示します。
システムのアクション:	ODBC 処理は継続します。
ユーザの応答:	アクションは必要ありません。

PWX-07141 ODBC **接続タイムアウトが n 秒に設定されました。**

説明： 接続タイムアウト値が指定された秒数に変更されました。デフォルト値は 180 秒です。PowerExchange Listener マシンの実行速度が遅い場合は、ODBC.INI ファイルのソースの PWXOVERRIDES エントリで TCPIP_CON_TIMEOUT を使用して値を拡張できます。

システムのアクション： ODBC 処理は継続します。

ユーザの応答： アクションは必要ありません。

PWX-07142 ODBC **ハートビート間隔が n 秒に設定されました。**

説明： ハートビート間隔が指定された秒数に変更されました。デフォルト値は 30 秒です。クライアントマシンがハートビートパケットをリスナに送信してクライアントがまだ機能していることを通知するのが難しい場合は、ODBC.INI ファイルのソースの PWXOVERRIDES エントリで TCPIP_HB_INTERVAL を使用して値を拡張できます。

システムのアクション： ODBC 処理は継続します。

ユーザの応答： アクションは必要ありません。

PWX-07143 ODBC **操作間隔が n 秒に設定されました。**

説明： 操作間隔が n 秒に変更されました。デフォルト値は無制限です。操作タイムアウトを小さい値に設定すると、PowerExchange Listener でパケットの配信に時間がかかりすぎる場合に、クライアント処理が失敗します。

システムのアクション： ODBC 処理は継続します。

ユーザの応答： アクションは必要ありません。

PWX-07201 JXAS4 が、ファイル *file_name* を、**アクション関数の実行中に開けませんでした。戻りコードは *Code1*、*Code2*、および *Code3* です。**

説明： エラーメッセージに示されているアクションが目的でファイルを開いているときにエラーが発生しました。

システムのアクション： ジャーナルエントリの処理は終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにエラーと戻りコードを報告します。

PWX-07202 JXAS4 が、**アクション関数の実行中にファイル *file_name* を準備できませんでした。戻りコードは *Code1*、*Code2*、および *Code3* です。**

説明： エラーメッセージに表示されているアクション用のファイルを準備中にエラーが発生しました。

システムのアクション： ジャーナルエントリの処理は終了します。

ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにエラーと戻りコードを報告します。
PWX-07203	JXAS4 が、アクション関数の実行中にファイル <i>file_name</i> を読み込めませんでした。戻りコードは <i>Code1</i>、<i>Code2</i>、および <i>Code3</i> です。
説明：	エラーメッセージに表示されているアクション用のファイルを読み込み中にエラーが発生しました。
システムのアクション：	ジャーナルエントリの処理は終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにエラーと戻りコードを報告します。
PWX-07204	JXAS4 が、アクション関数の実行中にファイル <i>file_name</i> を閉じられませんでした。戻りコードは <i>Code1</i>、<i>Code2</i>、および <i>Code3</i> です。
説明：	エラーメッセージに表示されているアクション用のファイルを閉じている最中にエラーが発生しました。
システムのアクション：	ジャーナルエントリの処理は終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにエラーと戻りコードを報告します。
PWX-07205	JXAS4 が、アクション関数の実行中にファイル <i>file_name</i> に書き込めませんでした。戻りコードは <i>Code1</i>、<i>Code2</i>、および <i>Code3</i> です。
説明：	エラーメッセージに表示されているアクション用のファイルに書き込み中にエラーが発生しました。
システムのアクション：	ジャーナルエントリの処理は終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにエラーと戻りコードを報告します。
PWX-07206	JXAS4 が、アクション関数の実行中にファイル <i>file_name</i> から削除できませんでした。戻りコードは <i>Code1</i>、<i>Code2</i>、および <i>Code3</i> です。
説明：	エラーメッセージに表示されているアクション用のファイルから削除中にエラーが発生しました。
システムのアクション：	ジャーナルエントリの処理は終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにエラーと戻りコードを報告します。

PWX-07207 *Library*でレシーバ *Receiver*を参照 *Reference*用にロックできませんでした。レシーバカウント *count*。理由 *reason_code*。

説明： ジャーナルレシーバのロック処理でエラーが発生しました。詳細については、先行するメッセージを参照してください。

システムのアクション： ジャーナルエントリの処理は継続されます。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにエラーと戻りコードを報告します。

PWX-07208 *Library*でレシーバ *Receiver*を参照 *Reference*用にロックできませんでした。レシーバカウント *count*。理由 *reason_code*。

説明： ジャーナルレシーバのロックを解除しているときにエラーが発生しました。詳細については、先行するメッセージを参照してください。

システムのアクション： ジャーナルエントリの処理は継続されます。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにエラーと戻りコードを報告します。

PWX-07209 **現在のジョブの全レシーバをロック解除できませんでした。理由 *reason_code*。**

説明： タスクのすべてのジャーナルレシーバについて、そのロックを解除しているときにエラーが発生しました。詳細については、先行するメッセージを参照してください。

システムのアクション： ジャーナルエントリの処理は継続されます。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにエラーと戻りコードを報告します。

PWX-07251 **CCIMT: IMS レベルが、RECON データセットのキー長に一致しません。**

説明： RECON データセットのキー長が、IMS レベルに一致しません。KSDS データセットである RECON データセットには、バージョンによる違いがあります。これらの違いの1つがキー長です。

システムのアクション： IMS ECCR は、この RECON データセットを使用しません。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07252 **CCIMT: RECON 読み込みエラーが発生しました。戻りコード =*return_code1,return_code2,return_code3***

説明： IMS ECCR が RECON データセットからアーカイブログに関する情報を読み込んでいたときに、エラーが発生しました。

メッセージテキストでは、*return_code1*、*return_code2*、および *return_code3* は、エラーに関する PowerExchange 戻りコードです。

システムのアクション IMS ECCR は、RECON データセットを使用しません。

ン：

IMS ECCR は、RECON データセットの 3 つのコピーを保持します。プライマリ RECON データセットは RECON1 または Copy1 と呼ばれます。2 番目のデータセットは RECON2 または Copy2 と呼ばれます。3 番目は RECON3 または SPARE と呼ばれます。IMS ECCR が RECON1 にアクセスできない場合、RECON2 または RECON3 の使用を試みます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07253 CCIMT: RECON データセット *data_set_name* に RECON バージョンの不一致が存在します

説明： 指定された RECON データセットのバージョンレベルが IMS レベルに一致しません。

システムのアクション IMS ECCR が終了します。

ン：

ユーザの応答： IMS ECCR 構成パラメータで指定された RECON データセットが正しいことを確認します。

PWX-07254 CCIMT: IMS ECCR は、RECON データセット *data_set_name* のレコード 2 のキーを処理できません

説明： IMS ECCR は、指定された RECON データセットのレコード 2 のキーを処理できません。無効なキーがレコードに含まれています。

システムのアクション IMS ECCR は、変更データキャプチャにこの RECON データセットを使用しません。

IMS ECCR は、RECON データセットの 3 つのコピーを保持します。プライマリ RECON データセットは RECON1 または Copy1 と呼ばれます。2 番目のデータセットは RECON2 または Copy2 と呼ばれます。3 番目は RECON3 または SPARE と呼ばれます。IMS ECCR が RECON1 にアクセスできない場合、RECON2 および RECON3 の使用を試みます。

ユーザの応答： IMS ECCR 構成パラメータで指定された RECON データセットが正しいことを確認します。次の例は、構成パラメータの有効な指定を示します。

```
DBID=IMSA
DB_TYPE=IMS
ECCRNAME=MIGIMSAO
RECID=A0
IMSID=(IMSA,
        IMS1010.ACBLIB,
        RECON=IMS1010.RECON1,
        IMS1010.RECON2,
        IMS1010.RECON3))
NO_DATA_WAIT=60
NO_DATA_WAIT2=600
CAPT_STATS=Y
COLDSTART=N
```

PWX-07255 CCIMT: IMS ECCR は、オーバーフローログレコード X07、キー<key>から変更データを読み込みません。戻りコード
=return_code1,return_code2,return_code3

説明： IMS ECCR は、指定されたキーを持つオーバーフローログレコードから変更データを読み込みません。

RECON データセットにはさまざまな型のレコードが含まれ、その 1 つが X'07'レコードです。この型のレコードの情報は、単一のレコードにも、複数のレコードにも格納できます。

メッセージテキスト:

- keyはオーバーフローレコードのキーです。
- return_code1、return_code2、および return_code3は、エラーに関する PowerExchange 戻りコードです。

システムのアクション： IMS ECCR が終了します。

ユーザの応答： RECON データセットが正しいことを確認します。読み込みが失敗したので、データセットに不具合がある可能性があります。

PWX-07256 CCIMT: IMS ECCR は、ログレコード X05、キー<key>への RECON ポイント要求を処理できません。戻りコード
=return_code1,return_code2,return_code3

説明： IMS ECCR は、X05 ログレコードへのアクセスに、RECON データセットのポインタを使用できません。

メッセージテキスト:

- keyはポイント先のレコードのキーです。
- return_code1、return_code2、および return_code3は、エラーに関する PowerExchange 戻りコードです。

システムのアクション： IMS ECCR が終了します。

ユーザの応答： RECON データセットが正しいことを確認します。

PWX-07257 CCIMT: IMS ECCR は、RECON データセットのレコード X05 を読み込みません。戻りコード
=return_code1,return_code2,return_code3

説明： IMS ECCR は、RECON データセットの x05 レコードから変更データを読み込みません。

メッセージテキスト:

- return_code1、return_code2、および return_code3は、エラーに関する PowerExchange 戻りコードです。

システムのアクション： IMS ECCR が終了します。

ユーザの応答： RECON データセットが正しいことを確認します。

PWX-07258	CCIMT: PRILOG レコードにメモリを割り当てられません
説明:	IMS ECCR は、RECON データセット内の PRILOG レコードを処理するためのメモリを割り当てられません。
システムのアクション:	IMS ECCR が終了します。
ユーザの応答:	ECCR ジョブまたは開始タスクの領域サイズが十分な大きさであることを確認します。
PWX-07259	CCIMT: IMS ECCR は、RECON SECLOG データセットレコードを読み込めません。戻りコード=return_code1/return_code2/return_code3
説明:	IMS ECCR は、RECON データセット内の SECLOG を読み取れません。 メッセージテキストでは、 <i>return_code1</i> 、 <i>return_code2</i> 、および <i>return_code3</i> は、エラーに関する PowerExchange 戻りコードです。
システムのアクション:	IMS ECCR は、SECLOG レコードを無視し、PRILOG レコードに進みます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07260	閉じられていないログは、<i>timestamp</i> よりも前に ECCR の処理が停止する必要があることを示しています
説明:	IIMS ログベース ECCR が、開いたままの IMS ログを検出しました。ECCR は閉じられたログだけを処理することができます。閉じられていないログの指定の記録開始時刻に達する前に、ECCR が変更のキャプチャ処理を停止します。
システムのアクション:	ECCR は指定されたタイムスタンプより前に停止します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07261	IMS ECCR はオフラインログ <i>data_set_name</i> を使用します。
説明:	IMS ECCR は、指定されたオフラインログを処理します。オフラインログは、DL/1 バッチデータマップを使用したジョブなどによって作成できます。 このメッセージは、次の状況で発行されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 処理用の候補ログの ECCR リストにあるログにエラーフラグが設定された場合。この結果、ECCR は指定されたオフラインログを代わりに使用します。この場合、このメッセージにはメッセージ PWX-07262 および PWX-07263 が続きます。 • IMS ECCR パラメータのメッセージレベルは 0 より大きくなります。この場合、メッセージは情報メッセージのみです。
システムのアクション:	IMS ECCR の処理は続行されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-07262 **IMS ECCR は、開始時刻 *store_clock_time timestamp* でオフラインログのデータセットを使用します。**

説明： IMS ECCR は、開始時刻が指定されているオフラインのログデータセットを処理します。開始時刻は、16 進数の格納クロックの時刻に続いて、ユリウス暦および hh:mm:ss:nnnnnn の時間（RECON 最低限のバージョン 10.1 以降）または hh:mm:ss:nn の時間（以前の RECON 最低限のバージョン）で構成されるタイムスタンプで示されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07263 **データセット *dataset_name* にはエラーフラグが付いているため、使用可能にするにはアクションが必要です。**

説明： IMS は、エラーのある指定されたログデータセットにフラグを立てました。IMS ECCR は、エラーがクリアされるまで、変更データのキャプチャにこのログデータセットを使用できません。

システムのアクション： IMS ECCR は、ログデータセットを無視します。

ユーザの応答： ログデータセットを確認して、エラーがある場合は修正します。

PWX-07264 **データセット *dataset_name* には開始時刻が指定されていないため、IMS ECCR で処理できません。**

説明： 指定された IMS ログのデータセットに開始時刻が指定されていないため、IMS ECCR で処理できません。

システムのアクション： IMS ECCR は、データセットを無視します。

ユーザの応答： データセットに開始時刻が指定されていることを確認します。

PWX-07265 ***dataset_name* には停止時刻が指定されていないため、IMS ECCR で処理できません。**

説明： 指定された IMS ログのデータセットに停止時刻が指定されていないため、IMS ECCR で処理できません。

システムのアクション： IMS ECCR は、データセットを無視します。

ユーザの応答： データセットに停止時刻が指定されていることを確認します。

PWX-07266 **停止時刻 *log_stop_time* がアクティブなログの開始時刻 *active_log_start_time* よりも大きいため、データセット *dataset_name* を処理できません。**

説明： 停止時刻がアクティブな IMS ログの開始時刻よりも遅いため、指定された IMS ログデータセットを IMS ECCR で処理できません。このメッセージは、バッチログまたは SDLS に対して発行される可能性があります。

システムのアクション： アクティブなログがアクティブでなくなってから、IMS ECCR は後でログデータセットを処理します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07267	終了時刻が未処理ログの開始時刻より遅いため、データセット <i>dataset_name</i> を処理できません。
説明:	まだ処理されていないログの開始時刻より停止時刻が遅いため、指定されたログデータセットを IMS ECCR で処理できません。
システムのアクション:	IMS ECCR はこのデータセットを後で処理します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07268	(ECCR <i>eccr_name</i>) 選択したオプションは <i>option</i> です
説明:	指定されたオプションは ECCR 用に選択されています。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07269	割り当てが失敗し、停止時刻が現在時刻より大きくないため、ECCR はログ<<i>log_name</i>>を無視します。
説明:	データセットの割り当てが失敗し、データセットに現在時刻以前の停止時刻が記録されているため、指定されたログデータセットを ECCR で処理できません。
システムのアクション:	ECCR は、データセットを無視します。このメッセージには常に PWX-07271 が続きます。これはログのオープンが失敗したことを示します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07270	このログは、前回の実行時に処理された後で削除された可能性があります。
説明:	割り当てが失敗したため、ECCR はデータセットを処理できません。
システムのアクション:	ECCR は、データセットを無視します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07271	IMS ECCR は、データセット <i>data_set_name</i> を、開始時刻 <i>start_time</i>、停止時刻 <i>stop_time</i> で開けません。戻りコード =<i>return_code1</i>,<i>return_code2</i>,<i>return_code1</i>
説明:	IMS ECCR は、開始時刻および停止時刻が指定されているログデータセットを開けません。このため、ECCR はデータセットを処理しません。RECON はすべてのログデータセットの開始および停止時刻を格納します。このメッセージは、エラーに対する PowerExchange の戻りコードを含みます。
システムのアクション:	IMS ECCR が終了します。
ユーザの応答:	ログデータセットが有効であることを確認します。
PWX-07272	IMS ECCR は、ログデータセット <i>data_set_name</i> を処理しています
説明:	IMS ECCR は、指定されたログを処理中です。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-07273 CCIMT: F55 PowerExchange **ロッガー API ABRT が失敗しました。戻りコード=0xreturn_code理由=0xreason_code**

説明: PowerExchange ロッガーへの ABRT 呼び出しが失敗しました。

メッセージテキスト:

- *return_code* は PowerExchange のエラーの戻りコードです。
- *reason_code* はエラーの 2 番目の理由コードです。

システムのアクション: IMS ECCR が終了します。

ユーザの応答: 問題を診断するには、指定された戻りコードと理由コードを確認します。

PWX-07274 CCIMT: F03 PowerExchange **ロッガー API ISRT が失敗しました。戻りコード=0xreturn_code理由=0xreason_codeタグ=registration_tag**

説明: PowerExchange ロッガーへの ISRT 呼び出しが失敗しました。

メッセージテキスト:

- *return_code* は PowerExchange のエラーの戻りコードです。
- *reason_code* はエラーの 2 番目の理由コードです。

システムのアクション: IMS ECCR が終了します。

ユーザの応答: 問題を診断するには、指定された戻りコードと理由コードを確認します。

PWX-07275 CCIMT: F03 PowerExchange **ロッガー API ISRT が失敗しました。戻りコード=0xreturn_code理由=0xreason_codeタグ=registration_tag**

説明: PowerExchange ロッガーへの REPL 呼び出しが失敗しました。

メッセージテキスト:

- *return_code* は PowerExchange のエラーの戻りコードです。
- *reason_code* はエラーの 2 番目の理由コードです。
- *registration_tag* は、キャプチャ登録タグです。

システムのアクション: IMS ECCR が終了します。

ユーザの応答: 問題を診断するには、指定された戻りコードと理由コードを確認します。

PWX-07276 CCIMT: F03 PowerExchange **ロッガー API DLET が失敗しました。戻りコード=0xreturn_code理由=0xreason_codeタグ=registration_tag**

説明: PowerExchange ロッガーへの DLET 呼び出しが失敗しました。

メッセージテキスト:

- *return_code* は PowerExchange のエラーの戻りコードです。
- *reason_code* はエラーの 2 番目の理由コードです。
- *registration_tag* は、テーブルキャプチャのキャプチャ登録タグです。

システムのアクション IMS ECCR が終了します。

ン:

ユーザの応答: 問題を診断するには、指定された戻りコードと理由コードを確認します。

PWX-07277 **operation の BUOW が見つかりません。ログ=log_nameIMS 作業単位 uowレコード stck=log_record_timestampレコード カウント=0xlog_record_sequence**

説明: IMS ログベースの ECCR のコールドスタートの後、PowerExchange は IMS ログからの変更レコードを含む指定された作業単位 (UOW) を見つけられませんでした。ECCR は、不適切な開始時刻でコールドスタートされています。メッセージテキストの *log_record_timestamp* は、ハードウェア TOD (STCK)形式の 8 バイトのタイムスタンプです。*log_record_sequence* は 8 バイトのログシーケンス番号です。

システムのアクション IMS ログベースの ECCR が終了します。

ン:

ユーザの応答: 問題を診断するには、関連メッセージを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-07278 CCIMT: IMS ECCR は、**ログレコード X09、キー<key>への RECON ポイント要求を処理できません。戻りコード=rc1,rc2,rc3**

説明: RECON データセット内の SECLOG x09 レコードを指す IMS ログベース ECCR でエラーが発生しました。ECCR は RECON データセットを読み取って、データの読み取り元となる IMS ログを決定します。PRILOG がエラーとしてマークされた場合にのみ、ECCR は SECLOG x'09'レコードを指します。

システムのアクション IMS ログベース ECCR の処理は停止します。

ン:

ユーザの応答: RECON データセットでエラーがあるかどうかを確認します。エラーが発生している場合は、エラーを修正します。

PWX-07279	CCIMT: IMS ECCR は、ログレコード X43、キー<key>への RECON ポイント要求を処理できません。戻りコード =rc1,rc2,rc3
説明:	RECON データセット内の PRISLDS x43 レコードを指す IMS ログベース ECCR でエラーが発生しました。ECCR は RECON データセットを読み取って、データの読み取り元となる IMS ログを決定します。
システムのアクション:	IMS ログベース ECCR の処理は停止します。
ユーザの応答:	RECON データセットでエラーがあるかどうかを確認します。エラーが発生している場合は、エラーを修正します。
PWX-07280	および終了時刻 <i>store_clock_time timestamp</i>。
説明:	ECCR は、停止時刻が指定されているオフラインのログデータセットを処理します。停止時刻は、16 進数の格納クロックの時刻に続いて、ユリウス暦および hh:mm:ss:nnnnnn の時間（RECON 最低限のバージョン 10.1 以降）または hh:mm:ss:nn の時間（以前の RECON 最低限のバージョン）で構成されるタイムスタンプで示されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07281	開始時間が <i>hexadecimal_start_time start_time</i> のデータセットが LOGERROR になっています。
説明:	指定された開始日時のログデータセットが LOGERROR としてマークされています。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07282	TRACEON コマンドにトレースフィルタとトレースレベル引数がありません。
説明:	IMS ログベース ECCR の TRACEON コマンドの構文が正しくありません。TRACEON コマンドにはトレースフィルタとトレースレベルが必要です。
システムのアクション:	コマンドを処理できません。
ユーザの応答:	TRACEON コマンドの構文が正しいことを確認します。トレースフィルタおよびレベル値を取得するには、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。
PWX-07291	ECCR は <i>timestamp</i> への IMS ログの読み込み後にシャットダウンしています
説明:	IMS ECCR は IMS SLDS を指定されたタイムスタンプまで読み取り、現在シャットダウンしています。タイムスタンプは、YY/MM/DD HH:MM:SS の形式です。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07292	CCIMT: ログレコードが不完全です。更新は失われました。
説明:	IMS ECCR は不完全なログレコードを読み込みます。更新は失われました。

システムのアクション IMS ECCR が終了します。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-07293 CCIMT: **最初のレコードが見つかりません。**

説明： IMS ECCR はデータセットの最初のレコードを見つけられません。

システムのアクション IMS ECCR が終了します。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-07294 CCIMT: IMS ECCR は、**リカバリトークンを処理中です。**
recovtkn MVS ストアクロック値: *stk*

説明： IMS ECCR は、リカバリトークンを処理中です。

メッセージテキスト：

- *recovtkn* はリカバリトークンです。
- *stk* は、ログの格納クロックタイムスタンプです。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07295 CCIMT: Informatica **グローバルカスタマサポートにエラーを報告します。**

説明： 変更データのキャプチャ中に、IMS ECCR に重大なエラーが発生しました。

システムのアクション IMS ECCR が終了します。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-07296 CCIMT: **インターリーブ更新が失われました。リカバリトークンを処理しています。**

説明： 指定されたリカバリトークンは処理されています。更新は失われました。

システムのアクション IMS ECCR は、指定されたリカバリトークンを処理してから終了します。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-07297	CCIMT: DTLCCEXP への呼び出しが失敗しました。戻りコード <i>return_code</i>
説明:	DTLCCEXP への IMS ECCR 呼び出しが、指定された戻りコードでエラーを返しました。
システムのアクション:	IMS ECCR は、レコードを無視します。
ユーザの応答:	問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-07298	CCIMT: 内部診断情報: <i>ptr_dedr ptr_tank ログサイズ compression_algorithm 出力</i>
説明:	DTLCCEXP に対する呼び出しによってエラーが返されました。このメッセージは、Informatica グローバルカスタマサポートに次の診断情報を提供します。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>ptr_dedr</i> は、元の領域へのポインタです。 • <i>ptr_tank</i> は、圧縮解除領域へのポインタです。 • <i>logl</i> は、ログヘッダの後のデータへのポインタです。 • <i>size</i> は、データのサイズです。 • <i>compression_algorithm</i> は、圧縮アルゴリズムです。 • <i>output</i> は、要約解除されたデータへのポインタです。
システムのアクション:	IMS ECCR は、レコードを無視します。
ユーザの応答:	問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-07299	CCIMT: <i>ptr=pointereorec=end_of_record</i>
説明:	DTLCCEXP に対する呼び出しによってエラーが返されました。このメッセージは、Informatica グローバルカスタマサポートで診断するための内部ポインタ値 (<i>pointer</i> および <i>end_of_record</i>) を提供します。
システムのアクション:	IMS ECCR は、レコードを無視します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-07300	CCIMT: 3 つ以上の 16 進数文字を含んでいるため、IMS ログレコード ID は無効です。
説明:	IMS ログレコード ID には無効な値があります。この値は 3 つ以上の 16 進数文字です。
システムのアクション:	IMS ECCR が終了します。
ユーザの応答:	IMS ECCR 入力パラメータが正しいことを確認します。

PWX-07301	CCIMT: 値が 16 進数の A0 未満であるため、IMS ログレコード ID は無効です。
説明:	IMS ログレコード ID には無効な値があります。この値は 16 進数の A0 未満です。
システムのアクション:	IMS ECCR が終了します。
ユーザの応答:	入力パラメータが正しいことを確認します。
PWX-07302	マーカーイベントの IMS ログレコード ID は <i>record_id</i> です。
説明:	指定された IMS ログレコード ID が、マーカーイベントに対して有効ではありません。
システムのアクション:	IMS ECCR が終了します。
ユーザの応答:	ユーティリティの入力パラメータが正しいことを確認します。
PWX-07303	CCIMT: 16 進数以外の文字で指定されているため、IMS ログレコード ID は無効です。
説明:	16 進数以外の文字を含んだ無効な IMS ログレコード ID が指定されました。
システムのアクション:	IMS ECCR が終了します。
ユーザの応答:	入力パラメータが正しいことを確認します。
PWX-07304	CCIMT: RECON から DBD <i>dbd_name</i> の HALDB パーティション情報を読み込めません
説明:	IMS ECCR は、IMS RECON データセットから、指定された DBD の HALDB パーティション情報を読み込めません。
システムのアクション:	IMS ECCR が終了します。
ユーザの応答:	問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-07305	CCIMT: パーティション情報にメモリを割り当てられません
説明:	IMS ECCR は、これ以上メモリを割り当てられません。
システムのアクション:	IMS ECCR が終了します。
ユーザの応答:	JCL 領域サイズが正しいことを確認します。
PWX-07306	ログは以前に EOF まで処理された可能性があります。継続のためだけに再読み込みされています。
説明:	IMS ECCR は、この SLDS データセットをすでに処理している可能性があります。
システムのアクション:	IMS ECCR は、継続のために SLDS データセットを再度読み込みます。

ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-07307	SLDS データセットがすでに処理されているため、ログの欠如は許容されます。
説明：	IMS ECCR はログの欠如を許容します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-07308	ECCR でエラーが発生しました。ログには、DBRC ポスト済み ENDTIME よりも大きいタイムスタンプを持つ IMS ログレコードが含まれています。
説明：	IMS ログを読み込む際に ECCR でそのログの DBRC ポスト済み ENDTIME よりも大きなタイムスタンプが設定されたレコードを検出しました。このエラーは、ECCR が処理する前にそのデータセットが再利用されたことが原因である場合がほとんどです。再利用される前にログが含んでいた更新は失われています。ECCR が現在のログを処理するものであった場合、データの破損または予期していなかった結果が生じる可能性があります。
システムのアクション：	IMS ログベースの ECCR は異常終了します。
ユーザの応答：	RECON データセットのログエントリを確認します。その後、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、IMS のログをサポートに伝えます。
PWX-07309	不明な DLI 呼び出し= <i>DLI call</i>
説明：	IMS ログベース ECCR は、レコードに対する DLI 呼び出しの種類を特定できません。このエラーが複数回発生した場合、ECCR は、最初の 10 個の不明な DLI 呼び出しだけについて、MVS システムコンソールにこのエラーメッセージを書き込みます。
システムのアクション：	ECCR は、不明な DLI 呼び出しを持つレコードを無視し、変更データのキャプチャ処理を継続します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。IMS ログおよび DBD をサポートに提供します。
PWX-07310	レコード STCK <i>record_storeclock_time</i>、<i>record_timestamp</i>。
説明：	キャプチャされた変更レコードのストアクロック時刻が、RECON データセットに記録されている IMS ログの終了時刻ストアクロック時刻よりも後になっています。このメッセージには、ハードウェア TOD (STCK)形式とユーザーが判読可能な形式でレコードのタイムスタンプが表示されます。エラーについての詳細は、メッセージ PWX-07308 を参照します。
システムのアクション：	IMS ログベースの ECCR は異常終了します。
ユーザの応答：	エラーを報告する場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにこの情報を伝えます。

PWX-07311	開始時刻 <i>log_start_storeclock</i> 、 <i>log_start_timestamp</i> <i>log_name</i> .
説明:	キャプチャされた変更レコードのストアクロック時刻が、RECON データセットに記録されている IMS ログの終了時刻ストアクロックよりも後になっています。このメッセージは、ハードウェア TOD (STCK)形式と、ユーザーが判読可能な形式でログ名とログ開始時刻タイムスタンプを報告します。エラーについての詳細は、メッセージ PWX-07308 を参照します。
システムのアクション:	IMS ログベースの ECCR は異常終了します。
ユーザの応答:	エラーを報告する場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにこの情報を伝えます。
PWX-07312	終了時刻 <i>log_end_storeclock</i> 、 <i>log_end_timestamp</i> <i>log_name</i> .
説明:	キャプチャされた変更レコードのストアクロック時刻が、RECON データセットに記録されている IMS ログの終了時刻ストアクロックよりも後になっています。このメッセージは、ハードウェア TOD (STCK)形式と、ユーザーが判読可能な形式でログ名とログ終了タイムスタンプを報告します。エラーについての詳細は、メッセージ PWX-07308 を参照します。
システムのアクション:	IMS ログベースの ECCR は異常終了します。
ユーザの応答:	エラーを報告する場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにこの情報を伝えます。
PWX-07313	無効な SLDS LSN
説明:	IMS ログベース ECCR に対して指定された LSN パラメータが有効ではありません。このパラメータは、Informatica 担当者がテスト目的で内部的に使用するものです。
システムのアクション:	IMS ログベースの ECCR は異常終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせいただくか、LSN パラメーターを修正してください。
PWX-07315	複合テーブルの IMS FLD 呼び出しのログレコード Reg=<registration_name> DBD=<dbd_name> Segment=<low_level_segment_name>
説明:	IMS のログベースの ECCR が、複合テーブルの低レベルセグメントの IMS FLD 呼び出しによって作成された変更レコードを検出しました。IMS の制限により、IMS は親データをキャプチャしません。抽出時には、連結キー (CCK) 以外のどの親データも使用できません。この問題は、IMS 13 SPE FLD CALL SUPPORT で発生します。
システムのアクション:	ECCR は処理を継続します。

ユーザの応答：	<p>PowerExchange でターゲットに変更データが適用されるようにするために、PowerExchange Navigator で、複合テーブルのデータマップの 【CCK カラムを生成する】 オプションを選択する必要があります。</p> <p>ECCR が低レベルのセグメントの変更レコードを検出した場合に親セグメントからデータを取得するには、次のいずれかのアクションを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • FLD 呼び出しではなく REPL 呼び出しを使用するようにアプリケーションプログラムを変更します。そうすることで、IMS は親セグメントからデータをキャプチャするようになります。登録されている複合テーブルは引き続き使用できます。 • 複合テーブルは使用せず、各セグメントを個別に登録します。FLD 呼び出しが低レベルのセグメントを変更する場合は、CCK フィールドのコンテンツを使用して、親セグメントからデータを取得する IMS ルックアップを実行します。
PWX-07317	<p>ECCR は MPART レコードを再構築しています。最も古い MPART STCK=<i>oldest_mpart_storeclock_time</i>、現在時刻 =<i>current_storeclock_time</i></p>
説明：	<p>IMS ログベースの ECCR が、アクティブなマルチパート（MPART）レコードの処理中に予期せず停止しました。ECCR のウォームスタート後、MPART レコードの再構築を開始しました。このメッセージは、最も古いアクティブな MPART レコードの storeclock 時間と、ECCR の現在の storeclock 時間をレポートします。</p>
ユーザの応答：	<p>対応する必要はありません。</p>
PWX-07318	<p>ECCR による MPART レコードの再構築が完了しました。STCK=<i>storeclock_time</i> に到達しました。</p>
説明：	<p>アクティブなマルチパート（MPART）レコードの処理中に、IMS ログベースの ECCR が予期せず停止しました。ECCR がウォームスタートした後、MPART レコードを再構築しました。このメッセージでは、ECCR が MPART レコードの再構築を完了したことを示し、処理された最後の MPART レコードの storeclock 時間を指定します。</p>
ユーザの応答：	<p>対応する必要はありません。</p>
PWX-07321	<p>CAPD データ長が不明です。長さ=length。ログレコード STCK=<i>storeclock</i>、LSN=<i>lsn</i></p>
説明：	<p>IMS ログベース ECCR で x'9904'ログレコードに不明な長さの CAPD データブロックが検出されました。</p>
システムのアクション：	<p>ECCR 処理が終了します。</p>
ユーザの応答：	<p>Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。x'9904'ログレコードを提供できるように準備してください。</p>

PWX-07322	LogRec: <i>record_type</i> 、STCK= <i>storeclock_time</i> 、LSN= <i>lsn</i> 、ACIDENT= <i>reason</i> 、IMSID= <i>ims_id</i> 、PRILOG= <i>timestamp</i>
説明:	IMS ログベースの ECCR でタイプが x'06' の IMS ログレコードが見つかりました。このレコードは、IMS システムが開始または停止されたか、ボリュームの強制終了 (FEOV) が発生したことを示しています。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07323	LogRec: <i>record_type</i> 、STCK= <i>store_clock_value</i> 、LSN= <i>lsn</i> 、program type= <i>type</i> 、PSB= <i>psb_name</i> 、TRNCD= <i>transaction</i>
説明:	IMS ログベースの ECCR でログにタイプが x'07' の IMS ログレコードが見つかりました。このメッセージでは、関連する STCK 値、LSN、アプリケーションプログラム、プログラム仕様ブロック (PSB)、トランザクションなど、レコードの情報がレポートされます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07324	LogRec: <i>record_type</i> 、STCK= <i>store_clock_value</i> 、LSN= <i>lsn</i> 、QLXFFLGS= <i>flags</i>
説明:	IMS ログベースの ECCR でログにタイプが x'37' の IMS ログレコードが見つかりました。このメッセージでは、関連する STCK 値、LSN、QLXFFLGS フィールドフラグなど、レコードの情報がレポートされます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07325	LogRec: <i>record_type</i> 、STCK= <i>store_clock_value</i> 、LSN= <i>lsn</i> 、QLRIRTKN= <i>recovery_token</i>
説明:	IMS ログベースの ECCR でログにタイプが x'38' の IMS ログレコードが見つかりました。このメッセージでは、関連する STCK 値、LSN、QLRIRTKN リカバリトークンなど、レコードの情報がレポートされます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07326	LogRec: <i>record_type</i> 、STCK= <i>store_clock_value</i> 、LSN= <i>lsn</i> 、LOG41TKN= <i>recovery_token</i>
説明:	IMS ログベースの ECCR でタイプが x'41' の IMS ログレコードが見つかりました。このメッセージでは、関連する STCK 値、LSN、LOG41TKN リカバリトークンなど、レコードの情報がレポートされます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07327	LogRec: <i>record_type</i> 、STCK= <i>store_clock_value</i> 、LSN= <i>lsn</i> 、IMSID= <i>ims_identifier</i> 、IMSLevel=< <i>ims_version</i> >
説明:	IMS ログベースの ECCR でログにタイプが x'42' の IMS ログレコードが見つかりました。このメッセージでは、関連する STCK 値、LSN、IMS 識別子、IMS バージョンなど、レコードの情報がレポートされます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07328 LogRec:record_type、STCK=store_clock_value、LSN=lsn、PASUBCDE=subcode、PABLKCNT=current_block_sequence。

説明： IMS ログベースの ECCR にタイプが x'48' のログレコードが見つかりました。このメッセージでは、関連する STCK 値、LSN、PA サブコード、ブロックシーケンスなど、レコードの情報がレポートされます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07329 LogRec:record_type、STCK=store_clock_value、LSN=lsn、FPSUBCDE=subcode。

説明： IMS ログベースの ECCR で、ECCR で使用されていないタイプが x'59' の IMS ログレコードが見つかりました。このメッセージでは、関連する STCK 値、LSN、IMS Fast Path (FP) サブコードなど、レコードの情報がレポートされます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07330 LogRec:record_type、record_subtype、STCK=store_clock_value、LSN=lsn、RECOVTKN=recovery_token。

説明： IMS ログベースの ECCR でタイプが x'99' の IMS ログレコードが見つかりました。このメッセージでは、レコードのサブコード、STCK 値、LSN、RECOVTKN リカバリトークンなど、レコードの情報がレポートされます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07331 LogRec:record_type、record_subtype、STCK=store_clock_value、LSN=lsn。

説明： IMS ログベースの ECCR で、ECCR で処理されないタイプまたはログマーカーとして使用されているタイプの IMS ログレコードが見つかりました。このメッセージでは、レコードのタイプとサブタイプ、STCK 値、LSN など、レコードの情報がレポートされます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07401 **検証が失敗したため、ファイル"file_name"の Open 呼び出しによる永続エラーセット。戻りコード=return_code**

説明： 検証が失敗したため、PowerExchange でファイルを開くことができず、永続エラー状態になっています。

システムのアクション： これ以降、ファイルを処理しようとしても PowerExchange に拒否されます。

ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。

PWX-07402	<i>number_of_bytes</i> バイトのメモリ割り当てが失敗したため、ファイル"<i>file_name</i>"の Open 呼び出しによる永続エラーセット。
説明:	メモリ割り当てエラーのため、PowerExchange でファイルを開くことができず、永続エラー状態になっています。
システムのアクション:	これ以降、ファイルを処理しようとしても PowerExchange に拒否されます。
ユーザの応答:	使用可能なメモリが十分にあるか確認します。
PWX-07403	名前に無効な文字が存在するため、ファイル"<i>file_name</i>"の Open 呼び出しによる永続エラーセット。
説明:	名前に無効な文字が含まれているため、PowerExchange でファイルを開くことができず、永続エラー状態になっています。
システムのアクション:	これ以降、ファイルを処理しようとしても PowerExchange に拒否されます。
ユーザの応答:	ファイルが存在するマシンの制御コードページで有効な文字がファイル名に使用されているかどうか確認します。PowerExchange リスナが動作しているマシンの DBMOVER 構成ファイルの CODEPAGE パラメータをチェックします。
PWX-07404	動的割り当てが失敗したため、ファイル"<i>file_name</i>"の Open 呼び出しによる永続エラーセット。戻りコード=<i>return_code</i>
説明:	z/OS 動的割り当てが失敗したため、PowerExchange でファイルを開くことができず、永続エラー状態になっています。
システムのアクション:	これ以降、ファイルを処理しようとしても PowerExchange に拒否されます。
ユーザの応答:	エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。
PWX-07405	権限の確認に失敗したため、ファイル"<i>file_name</i>"の Open 呼び出しによる永続エラーセット。戻りコード=<i>return_code</i>
説明:	タスクのユーザークレデンシャルに、ファイルにアクセスするのに十分な権限がないため、PowerExchange でファイルを開くことができず、永続エラー状態になっています。
システムのアクション:	これ以降、ファイルを処理しようとしても PowerExchange に拒否されます。
ユーザの応答:	エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。
PWX-07406	API <i>api</i> が失敗したため、ファイル"<i>file_name</i>"の Open 呼び出しによる永続エラーセット。モード <i>mode</i>。
説明:	オープン API が失敗したため、PowerExchange でファイルを開くことができず、永続エラー状態になっています。
システムのアクション:	これ以降、ファイルを処理しようとしても PowerExchange に拒否されます。

ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。PowerExchange がファイルを読み込もうとする場合は、ファイルが存在するかどうか確認します。

PWX-07407 **ファイルがすでに存在するため、ファイル"*file_name*"の Open 呼び出しによる永続エラーセット。**

説明： ファイルがすでに存在するため、PowerExchange が永続エラー状態になっています。

システムのアクション： これ以降、ファイルを処理しようとしても PowerExchange に拒否されます。

ユーザの応答： 既存のファイルの上書きが試行された理由を確認します。
DTLURDMO ユーティリティを実行する場合は、適切なオプションを使用して既存のファイルの上書きを許可しているかどうか確認します。

PWX-07408 **情報呼び出しが失敗したため、ファイル"*file_name*"の Open 呼び出しによる永続エラーセット。**

説明： ファイルに関する情報を取得する API 呼び出しが失敗したため、PowerExchange が永続エラー状態になっています。

システムのアクション： これ以降、ファイルを処理しようとしても PowerExchange に拒否されます。

ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。

PWX-07411 **ライブラリ"*library_name*"に対する Open 呼び出しが失敗したことによる永続エラーセット。**

説明： プログラムライブラリの動的ロードが失敗したため、PowerExchange が永続エラー状態になっています。

システムのアクション： これ以降、ファイルを処理しようとしても PowerExchange に拒否されます。

ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。

PWX-07421 **挿入が失敗したため、ファイル"*file_name*"による永続エラーセット。戻りコード=*return_code***

説明： 挿入が失敗したため、PowerExchange が永続エラー状態になっています。

システムのアクション： これ以降、ファイルを処理しようとしても PowerExchange に拒否されます。

ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。

PWX-07431 **Adabas 応答コード *response_code* により、永続エラーをセットオンしました。OpCode *opcode*。**

説明： 致命的な Adabas 応答コードが検出されたので、永続エラーが設定されました。

システムのアクション: Adabas へのその後の書き込みは拒否されます。
ン:

ユーザの応答: エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを確認します。

PWX-07501 **テーブル *table_name* の文に永続エラーがあります。これ以上の処理を許可できません。**

説明: これ以前に報告されている永続エラーにより、テーブルに対する処理を実行できません。

システムのアクション: PowerExchange は受信要求を無視し、エラー状態にあることを示します。

ユーザの応答: これより前のエラーメッセージを確認し、永続エラーの原因を特定します。

PWX-07502 **接続に永続エラーがあります。テーブル *table_name* のこれ以上の処理を許可できません。**

説明: これより前に別の文およびテーブルで永続エラーが報告されています。このエラーにより、現在のテーブルに対する処理を実行できません。

システムのアクション: PowerExchange は受信要求を無視し、エラー状態にあることを示します。

ユーザの応答: これより前のエラーメッセージを確認し、永続エラーの原因を特定します。

PWX-07503 **接続に永続エラーがあります。これ以上の処理を許可できません。**

説明: PowerExchange による現在のテーブルの処理は、別のテーブルと文に関連する接続に以前に設定された永続エラー状態が原因で失敗しました。

システムのアクション: PowerExchange は受信要求を無視し、エラーを示します。

ユーザの応答: 永続エラーの原因を特定するには、メッセージログ内のこれより前のエラーメッセージを確認します。

PWX-07505 **永続エラーを持つテーブル *table_name* の文は閉じられました。戻りコード *return_code_1 return_code_2 return_code_3*。**

説明: これより前に永続エラーが報告されている文を閉じると、エラーが発生します。

システムのアクション: 文が閉じます。
ン:

ユーザの応答: これより前のエラーメッセージを確認し、永続エラーの原因を特定します。

PWX-07506	テーブル <i>table_name</i> の文はエラーで閉じられました。戻りコード <i>return_code_1 return_code_2 return_code_3</i>
説明:	文を閉じるときに、PowerExchange でエラーが発生しました。これより前に永続エラーは報告されていません。この結果は、実行の終了時にのみネットワークを介してリモートサーバーに送信されるバッファされた挿入、更新、または削除要求を処理するときにエラーを示す場合があります。
システムのアクション:	文が閉じます。
ユーザの応答:	エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。
PWX-07511	Open 接続呼び出しで永続エラーが発生しました。戻りコード <i>return_code_1 return_code_2 return_code_3</i>
説明:	接続を開くときに、PowerExchange でエラーが発生しました。
システムのアクション:	接続して文とテーブルに対する処理を実行しようとしても却下されます。
ユーザの応答:	エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。
PWX-07512	テーブル <i>table_name</i> の Open 呼び出しで永続エラーが発生しました。戻りコード <i>return_code_1 return_code_2 return_code_3</i>
説明:	テーブルの文を開くときに、PowerExchange でエラーが発生しました。
システムのアクション:	接続してこのテーブルと他のテーブルに対する処理を実行しようとしても却下されます。
ユーザの応答:	エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。
PWX-07513	テーブル <i>table_name</i> の Describe 呼び出しで永続エラーが発生しました。戻りコード <i>return_code_1 return_code_2 return_code_3</i>
説明:	テーブルを記述しているときにエラーが発生しました。
システムのアクション:	接続してこのテーブルまたは他のテーブルに対する処理を実行しようとしても却下されます。
ユーザの応答:	エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。
PWX-07514	テーブル <i>table_name</i> の Read 呼び出しで永続エラーが発生しました。戻りコード <i>return_code_1 return_code_2 return_code_3</i>
説明:	テーブルを読み取っているときにエラーが発生しました。
システムのアクション:	接続してこのテーブルまたは他のテーブルに対する処理を実行しようとしても却下されます。

ユーザの応答：	エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。
PWX-07515	テーブル <i>table_name</i> の Insert 呼び出しで永続エラーが発生しました。戻りコード <i>return_code_1 return_code_2 return_code_3</i>。
説明：	テーブルに行を挿入しているときにエラーが発生しました。
システムのアクション：	接続してこのテーブルまたは他のテーブルに対する処理を実行しようとしても却下されます。
ユーザの応答：	エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。
PWX-07516	テーブル <i>table_name</i> の Update 呼び出しで永続エラーが発生しました。戻りコード <i>return_code_1 return_code_2 return_code_3</i>。
説明：	テーブルの行を更新しているときに、PowerExchange でエラーが発生しました。
システムのアクション：	接続してこのテーブルまたは他のテーブルに対する処理を実行しようとしても却下されます。
ユーザの応答：	エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。
PWX-07517	テーブル <i>table_name</i> の Delete 呼び出しで永続エラーが発生しました。戻りコード <i>return_code_1 return_code_2 return_code_3</i>。
説明：	テーブルから行を削除しているときに、PowerExchange でエラーが発生しました。
システムのアクション：	接続してこのテーブルまたは他のテーブルに対する処理を実行しようとしても、PowerExchange によって却下されます。
ユーザの応答：	エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。
PWX-07518	テーブル <i>table_name</i> のストアードプロシージャ呼び出しで永続エラーが発生しました。戻りコード <i>return_code_1 return_code_2 return_code_3</i>。
説明：	テーブルのストアードプロシージャを実行しているときに、PowerExchange でエラーが発生しました。
システムのアクション：	接続してこのテーブルまたは他のテーブルに対する処理を実行しようとしても、PowerExchange によって却下されます。
ユーザの応答：	エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。
PWX-07519	テーブル <i>table_name</i> の Bind プロシージャパラメータで永続エラーが発生しました。戻りコード <i>return_code_1 return_code_2 return_code_3</i>。
説明：	テーブルのプロシージャパラメータをバインドしているときに、PowerExchange でエラーが発生しました。

システムのアクション： 接続してこのテーブルまたは他のテーブルに対する処理を実行しようとしても、PowerExchange によって却下されます。

ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。

PWX-07520 **テーブル *table_name* の Close カーソル呼び出しで永続エラーが発生しました。戻りコード *return_code_1* *return_code_2* *return_code_3*。**

説明： テーブルのカーソルを閉じるときに、PowerExchange でエラーが発生しました。

システムのアクション： 接続してこのテーブルまたは他のテーブルに対する処理を実行しようとしても、PowerExchange によって却下されます。

ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。

PWX-07530 **正常な API 呼び出しで永続エラーが予期せず発生しました。要求 "*name*"。場所 "*name*"。**

説明： PowerExchange リスナからの戻りコードは API 呼び出しが成功したことを示しましたが、指定された要求と場所の API 呼び出しの後に永続エラーが検出されました。

システムのアクション： 追加処理の要求は拒否されます。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにエラーを報告してください。エラー時に実行されていた関数を識別します。

PWX-07601 **テーブル "*table_name*" の処理時にアプリケーション名がありません。**

説明： PowerExchange がコードページ名を認識しませんでした。

システムのアクション： 処理は失敗します。

ユーザの応答： 接続文字列で有効なコードページ名が渡されているかどうか確認します。

PWX-07602 **DTLConnect が受け取った LOCALCODEPAGE "*code_page_name*" が無効です。**

説明： PowerExchange がコードページ名を認識しませんでした。

システムのアクション： 処理は失敗します。

ユーザの応答： 接続文字列で有効なコードページ名が渡されているかどうか確認します。

PWX-07603 **Unicode 接続コードページ"code_page_name" (number) は許可されていません。"code_page_name" (number) のみがサポートされています。**

説明： PowerExchange は、PowerCenter で PowerExchange Client for PowerCenter (PWXPC) 接続に指定された Unicode コードページをサポートしていません。これは、コードページの整数エンディアンがマシンタイプのエンディアンに一致しないためです。PowerCenter 統合サービスは、このコードページを使用してデータを抽出できません。リトルエンディアンの Linux マシンおよび Windows マシンでサポートされているコードページ値は「Unicode の UTF-16 エンコード (ロウワーエンディアン)」のみです。ビッグエンディアンマシンでサポートされているコードページ値は「Unicode の UTF-16 エンコード (ビッグエンディアン)」のみです。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： PWXPC 接続を編集します。接続するマシンのエンディアンに応じて、コードページを次のいずれかに変更します。

- Unicode の UTF-16 エンコード (ビッグエンディアン)
- Unicode の UTF-16 エンコード (ロウワーエンディアン)

PWX-07610 **"name"が指定されていません。接続文字列に USASCII 以外の文字があります。**

説明： 接続文字列に 7 ビット ASCII の範囲外の文字が含まれます。その結果、システムは使用されているコードページを特定できません。

システムのアクション： 処理は失敗します。

ユーザの応答： **[PWX オーバーライド]** 接続属性に CONNECTSTRINGCODEPAGE オーバーライドを入力し、その値が接続文字列の文字のコードページと一致することを確認してください。

PWX-07611 **接続文字列"connect string"の"tag"の後に"="がありません。**

説明： 接続文字列で渡される CONNECTSTRINGCODEPAGE タグの後には等号 (=) が必要ですが、等号がありません。

システムのアクション： 処理は失敗します。

ユーザの応答： **[PWX オーバーライド]** 接続属性内の CONNECTSTRINGCODEPAGE オーバーライドが正しい CONNECTSTRINGCODEPAGE=name 構文を使用していることを確認してください。

PWX-07612 **接続文字列"tag=value"に不明なコードページが指定されています。**

説明： 接続文字列で渡される CONNECTSTRINGCODEPAGE タグによって、認識されているコードページが指定されていません。

システムのアクション： 処理は失敗します。

ユーザの応答：	[PWX オーバーライド] 接続属性の CONNECTSTRINGCODEPAGE オーバーライドに有効なコードページ名を指定してください。
PWX-07613	DTLSetConnectOption()は、不明な接続文字列コードページ引数" <i>name</i>"を受け取りました。
説明：	DTLSetConnectOption()ルーチンは、認識されていないコードページ引数を受け取りました。
システムのアクション：	処理は失敗します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにエラーを報告してください。
PWX-07620	接続文字列をコードページ" <i>code_page_name</i>" (<i>number</i>)から UTF8 (41)に変換できません。
説明：	システムは、指定されたコードページから UTF-8 エンコードに接続文字列を変換できませんでした。
システムのアクション：	処理は失敗します。
ユーザの応答：	[PWX オーバーライド] 接続属性に CONNECTSTRINGCODEPAGE オーバーライドを入力し、その値が接続文字列の文字のコードページと一致することを確認してください。
PWX-07621	オフセット <i>number</i> の接続文字列には、コードページ"UTF8" (41)で許可されていない文字があります。タグ" <i>name</i>"。
説明：	指定されているオフセットの位置の接続文字列に、7 ビット ASCII の範囲外の文字が含まれます。接続文字列の処理は UTF-8 エンコードの接続文字列を想定して設定されていますが、PowerExchange による接続文字列の解析は、UTF-8 の先頭バイトが有効ではないことを示しています。
システムのアクション：	処理は失敗します。
ユーザの応答：	[PWX オーバーライド] 接続属性に CONNECTSTRINGCODEPAGE オーバーライドを入力し、その値が接続文字列の文字のコードページと一致することを確認してください。
PWX-07622	接続文字列には、UTF-8 で有効ではない文字が含まれています。
説明：	接続文字列に 7 ビット ASCII の範囲外の文字が含まれます。接続文字列の処理は、UTF-8 エンコードの接続文字列を想定して設定されていますが、UTF-8 からのコードページの変換が失敗します。
システムのアクション：	処理は失敗します。
ユーザの応答：	[PWX オーバーライド] 接続属性に CONNECTSTRINGCODEPAGE オーバーライドを入力し、その値が接続文字列の文字のコードページと一致することを確認してください。

PWX-07630	配列サイズが <i>initial_size</i> から <i>reduced_size</i> に削減されました。
説明:	接続で指定された配列サイズが許容される最大サイズを超過しているため、削減します。
システムのアクション:	この削減された配列サイズで処理を続行します。
ユーザの応答:	最大サイズ (5000) を超えないように、接続の配列サイズを削減します。配列サイズをデフォルトの 25 行より大きい値に増やすことによってパフォーマンスが向上する場合がありますが、1000 より大きくすると逆にパフォーマンスが落ちてしまいます。
PWX-07700	<i>eccr_type</i>、ECCR、<i>system_time</i>、初期化が開始されました。
説明:	ECCR は初期化処理を開始しています。 <i>eccr_type</i> は、以下の値のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • ADABAS LB CDC。Adabas ログベース ECCR 用です。 • DCOM TB CDC。Datacom テーブルベース ECCR 用です。 • IDMS LB CDC。IDMS ログベース ECCR 用です。 • IMS。IMS ログベース ECCR 用です。 <i>system_time</i> の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。
システムのアクション:	ECCR 処理は続行されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07701	<i>eccr_type</i>、<i>system_time</i>、初期化が完了しました。
説明:	ECCR の初期化処理は完了しました。 <i>eccr_type</i> は、以下の値のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • ADABAS LB CDC。Adabas ログベース ECCR 用です。 • DCOM TB CDC。Datacom テーブルベース ECCR 用です。 • IDMS LB CDC。IDMS ログベース ECCR 用です。 • "IMS"の後に、CAPTIMS コンフィギュレーションメンバの ECCRNAME の値が続きます。IMS ログベース ECCR 用です。 <i>system_time</i> の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。
システムのアクション:	ECCR 処理は続行されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07702	<i>eccr_type</i>、ECCR、<i>system_time</i>、登録の読み取りが開始されました。
説明:	ECCR でキャプチャ登録の読み取りが開始されました。 <i>eccr_type</i> は、以下の値のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • ADABAS LB CDC。Adabas ログベース ECCR 用です。

- DCOM TB CDC。Datcom テーブルベース ECCR 用です。
 - IDMS LB CDC。IDMS ログベース ECCR 用です。
 - "IMS"の後に、CAPTIMS コンフィギュレーションメンバの ECCRNAME の値が続きます。IMS ログベース ECCR 用です。
- system_time* の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション: ECCR 処理は続行されます。
 システムからのメッセージ:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07703 *eccr_type*、*system_timestamp*、Instance=*instance_identifier*の登録の読み取りが完了しました。

説明: ECCR で指定されたインスタンスのキャプチャ登録の読み取りが完了しました。

メッセージテキスト内:

- *eccr_type* は、以下の値のいずれかです。
 - Adabas ログベースの ECCR の場合は「ADABAS LB CDC」
 - Datcom テーブルベースの ECCR の場合は「DCOM TB CDC」
 - IDMS ログベースの ECCR の場合は「IDMS LB CDC」
 - IMS ログベースの ECCR の CAPTIMS 設定メンバ内の ECCRNAME 値が続く「IMS」
- *system_timestamp* は Day Month DD HH:M :SS.NNN YYYY 形式の現在のシステム日時です。.
- *instance_identifier* は、ECCR パラメータに指定された次の識別子のタイプのいずれかです。
 - Adabas の DBID
 - Datcom の MUF 名
 - IDMS の LOGSID
 - IMS の DBID 値

システムのアクション: ECCR 処理は続行されます。
 システムからのメッセージ:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07704 *eccr_type*、ECCR、*system_time*、見つかったアクティブな Unit of Work、*storeclock_of_uow*

説明: ECCR で指定されたストアクロック値を持つアクティブな Unit of Work (UOW) が見つかりました。

eccr_type は、以下の値のいずれかです。

- ADABAS LB CDC。Adabas ログベース ECCR 用です。
- DCOM TB CDC。Datcom テーブルベース ECCR 用です。
- IDMS LB CDC。IDMS ログベース ECCR 用です。

- "IMS"の後に、CAPTIMS コンフィギュレーションメンバの ECCRNAME の値が続きます。IMS ログベース ECCR 用です。

system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション ECCR 処理は続行されます。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07708 *eccr_type*、ECCR、*system_time*、リフレッシュコマンドが受け入れられました。

説明： ECCR はオペレータによって開始された REFRESH コマンドを受け入れました。

eccr_type は、以下の値のいずれかです。

- ADABAS LB CDC。Adabas ログベース ECCR 用です。
- DCOM TB CDC。Datacom テーブルベース ECCR 用です。
- IDMS LB CDC。IDMS ログベース ECCR 用です。
- "IMS"の後に、CAPTIMS コンフィギュレーションメンバの ECCRNAME の値が続きます。IMS ログベース ECCR 用です。

system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション ECCR 処理は続行されます。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07709 *eccr_type*、ECCR、*system_time*、暗黙のリフレッシュがトリガされました。

説明： ECCR は、登録に関連するエラーのため、リフレッシュ操作をトリガしました。

eccr_type は、以下の値のいずれかです。

- ADABAS LB CDC。Adabas ログベース ECCR 用です。
- DCOM TB CDC。Datacom テーブルベース ECCR 用です。
- IDMS LB CDC。IDMS ログベース ECCR 用です。
- "IMS"の後に、CAPTIMS コンフィギュレーションメンバの ECCRNAME の値が続きます。IMS ログベース ECCR 用です。

system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション ECCR 処理は続行されます。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07710 *eccr_type*、ECCR、*system_time*、リフレッシュが開始されました。

説明： ECCR はリフレッシュ処理を開始しました。

 eccr_type は、以下の値のいずれかです。

- ADABAS LB CDC。Adabas ログベース ECCR 用です。
- DCOM TB CDC。Datacom テーブルベース ECCR 用です。
- IDMS LB CDC。IDMS ログベース ECCR 用です。
- "IMS"の後に、CAPTIMS コンフィギュレーションメンバの ECCRNAME の値が続きます。IMS ログベース ECCR 用です。

system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション： ECCR 処理は続行されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07711 *eccr_type*、ECCR、*system_time*、リフレッシュの初期化が開始されました。

説明： ECCR はリフレッシュの初期化処理を開始しました。

 eccr_type は、以下の値のいずれかです。

- ADABAS LB CDC。Adabas ログベース ECCR 用です。
- DCOM TB CDC。Datacom テーブルベース ECCR 用です。
- IDMS LB CDC。IDMS ログベース ECCR 用です。
- "IMS"の後に、CAPTIMS コンフィギュレーションメンバの ECCRNAME の値が続きます。IMS ログベース ECCR 用です。

system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション： ECCR 処理は続行されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07712 *eccr_type*、ECCR、*system_time*、リフレッシュのインストールが完了しました。

説明： ECCR はリフレッシュの初期化処理を完了しました。

 eccr_type は、以下の値のいずれかです。

- ADABAS LB CDC。Adabas ログベース ECCR 用です。
- DCOM TB CDC。Datacom テーブルベース ECCR 用です。
- IDMS LB CDC。IDMS ログベース ECCR 用です。
- "IMS"の後に、CAPTIMS コンフィギュレーションメンバの ECCRNAME の値が続きます。IMS ログベース ECCR 用です。

system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション： ECCR 処理は続行されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07713 *eccr_type*、ECCR、*system_time*、リフレッシュ登録の読み取りが開始されました。

説明： ECCR はリフレッシュ処理の一部としてキャプチャ登録の読み取りを開始しました。

eccr_type は、以下の値のいずれかです。

- ADABAS LB CDC。Adabas ログベース ECCR 用です。
- DCOM TB CDC。Datacom テーブルベース ECCR 用です。
- IDMS LB CDC。IDMS ログベース ECCR 用です。
- "IMS"の後に、CAPTIMS コンフィギュレーションメンバの ECCRNAME の値が続きます。IMS ログベース ECCR 用です。

system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション： ECCR 処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07714 *eccr_type*、ECCR、*system_time*、Instance=*instance_idenfier* のリフレッシュ登録が完了しました。

説明： ECCR は ECCR リフレッシュ処理の一部としてキャプチャ登録の読み取りを完了しました。

メッセージテキスト内:

- *eccr_type* は、以下の値のいずれかです。
 - Adabas ログベースの ECCR の場合は「ADABAS LB CDC」
 - Datacom テーブルベースの ECCR の場合は「DCOM TB CDC」
 - IDMS ログベースの ECCR の場合は「IDMS LB CDC」
 - IMS ログベースの ECCR の CAPTIMS 設定メンバ内の ECCRNAME 値が続く「IMS」
- *system_time* の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。
- *instance_idenfier* は、ECCR パラメータに指定された次のソースインスタンス識別子の 1 つです。
 - Adabas の DBID
 - Datacom の MUF 名
 - IDMS の LOGSID
 - IMS の DBID 値

システムのアクション： ECCR 処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07715 *eccr_type*、*system_time*、リフレッシュ、アクティブな UOW
が見つかりました。*uow_identifier*。

説明： ECCR は、リフレッシュ処理中にアクティブな Unit of Work (UOW)
を見つけました。

eccr_type は、以下の値のいずれかです。

- ADABAS LB CDC。Adabas ログベース ECCR 用です。
- DCOM TB CDC。Datacom テーブルベース ECCR 用です。
- IDMS LB CDC。IDMS ログベース ECCR 用です。
- "IMS"の後に、CAPTIMS コンフィギュレーションメンバの
ECCRNAME の値が続きます。IMS ログベース ECCR 用です。

system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション： ECCR 処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07716 *eccr_name*、*system_time*、リフレッシュ、アクティブな UOW
の強制終了を開始します。

説明： ECCR はアクティブな Unit of Work (UOW) の強制終了を開始しま
した。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。

system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション： ECCR 処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07717 *eccr_name*、*system_time*、更新、アクティブな UOW の強制
終了、*text*。

説明： ECCR は、リフレッシュ操作の一部として再処理の準備中にアクティ
ブな Unit of Work (UOW) を強制終了しています。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。

system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション： ECCR 処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07718 *eccr_name*、*system_time*、リフレッシュ、アクティブな UOW
の強制終了を再処理の前に完了しました。

説明： ECCR は、リフレッシュ操作のためにアクティブな Unit of Work
(UOW) の強制終了を再処理の準備中に完了しました。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。

system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション ECCR 処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07719 *eccr_name*、リフレッシュ、再処理用にマークされた UOW、
STCK=*binary_store_clock_value*。

説明： ECCR は、ECCR リフレッシュ処理の一部として指定されたストアク
ロック時刻に再処理用にアクティブな Unit of Work (UOW) をマー
クしました。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。

システムのアクション ECCR 処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07720 *eccr_name*、ECCR、*system_time*、登録が暗黙的に一時停止
されました。*name*、*text*、戻りコード *return_code*、理由コ
ード *reason_code*。

説明： ECCR は、登録に関連するエラーを検出したため、指定された登録を
一時停止としてマークしました。メッセージには、エラーの戻りコー
ドと理由コードが含まれます。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。

system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション ECCR 処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07722 *eccr_name*、*system_time*、リフレッシュ、完了、通常の処
理を再開しました。

説明： ECCR はリフレッシュ処理を完了しました。通常の処理が再開されま
す。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。

system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション ECCR 処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07723 *eccr_name*、*time*、リフレッシュ、シャットダウン時にアク
ティブな UOW が見つかりました。*uow_identifier*。

説明： リフレッシュ処理の一部として ECCR がシャットダウンされたとき
に、指定されたストアロック時刻にアクティブな Unit of Work
(UOW) が見つかりました。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。

time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション ECCR 処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07727 *eccr_name*、ECCR、*system_time*、**初期化に失敗しました。**

説明： ECCR の初期化に失敗しました。
eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。
system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション ECCR は、異常終了します。
ン：

ユーザの応答： このエラーに関連するメッセージの ECCR 出力を確認します。

PWX-07728 *eccr_name*、ECCR、*system_time*、**リフレッシュの初期化に失敗しました。**

説明： ECCR REFRESH コマンドが発行されましたが、リフレッシュ処理の初期化が失敗しました。
eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。
system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション ECCR は、異常終了します。
ン：

ユーザの応答： このエラーに関連するメッセージの ECCR 出力を確認します。

PWX-07729 *eccr_name*、**シャットダウン時にアクティブな UOW が見つかりました。** *eccr_time*、UOW=*uow_id*。

説明： ECCR リフレッシュ処理のシャットダウン部分で、指定された日時に指定されたアクティブな Unit of Work (UOW) が見つかりました。
このメッセージで、*eccr_name* は ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。

システムのアクション ECCR 処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07730 *eccr_name*、ECCR、*system_time*、**シャットダウン時にアクティブな UOW が見つかりませんでした。**

説明： ECCR はシャットダウンしているときにアクティブな Unit of Work (UOW) を検出しませんでした。
eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。
system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション ECCR 処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07731	<i>eccr_name</i>、ECCR、<i>system_time</i>、リフレッシュコマンドが拒否されました。リフレッシュが許可されませんでした。
説明：	ECCR コンフィギュレーションメンバ内に Refresh Allowed=Y パラメータが指定されていないため、オペレータが開始した REFRESH コマンドは ECCR によって拒否されました。 <i>eccr_name</i> は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。 <i>system_time</i> の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。
システムのアクション：	ECCR 処理は続行されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-07732	<i>eccr_name</i>、ECCR、<i>system_time</i>、リフレッシュ、シャットダウン時に保留中の UOW が見つかりました。<i>eccr_time</i>。
説明：	ECCR が、リフレッシュ処理の一部のシャットダウン時に保留中の Unit of Work (UOW) を検出しました。 <i>eccr_name</i> は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。 <i>system_time</i> の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。
システムのアクション：	ECCR 処理は続行されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-07733	<i>eccr_name</i>、<i>system_time</i>、再実行のリフレッシュ、再処理用にリフレッシュされた UOW の強制終了を開始します。
説明：	ECCR がリフレッシュ処理中に異常終了するかシャットダウンされた後、再処理の準備中に開いた状態の Unit of Work (UOW) の強制終了を開始しました。 <i>eccr_name</i> は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。 <i>system_time</i> の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。
システムのアクション：	ECCR が再起動された後、リフレッシュ処理が再開され、UOW が再処理されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-07734	<i>eccr_name</i>、ECCR、<i>system_time</i>、再実行のリフレッシュ、以前にアクティブだった UOW は再処理の前に強制終了されました。<i>eccr_time</i>。
説明：	ECCR がリフレッシュ処理中に停止またはシャットダウンされた後、Unit of Work (UOW) の再処理の準備中に以前にアクティブだった UOW を強制終了しました。 <i>eccr_name</i> は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。 <i>system_time</i> の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。
システムのアクション：	ECCR が再起動された後、リフレッシュ処理が再開され、UOW が再処理されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。

PWX-07735 *eccr_name*、ECCR、*system_time*、**再実行のリフレッシュ、再処理用にリフレッシュされた UOW の強制終了が完了しました。**

説明： ECCR がリフレッシュ処理中に異常終了するかシャットダウンされた後、再処理の準備中にアクティブな Unit of Work (UOW) の強制終了を正常に完了しました。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。
system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション： ECCR が再起動された後、リフレッシュ処理が再開され、UOW が再処理されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07736 *eccr_name*、ECCR、*system_time*、**再実行のリフレッシュ、再処理用にアクティブな UOW の強制終了を開始します。**

説明： リフレッシュの処理中に、ECCR が終了したか、シャットダウンしました。その結果、ECCR は、それらの再処理中にアクティブな Unit of Work (UOW) の強制終了を開始しました。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。
system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション： ECCR が再起動された後、リフレッシュ処理が再開され、UOW が再処理されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07737 *eccr_name*、ECCR、*system_time*、**再実行のリフレッシュ、アクティブな UOW は再処理の前に強制終了されました。**
text

説明： ECCR がリフレッシュ処理中に停止またはシャットダウンされた後、Unit of Work (UOW) の再処理の準備中にアクティブな UOW を強制終了しました。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。
system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション： ECCR が再起動された後、リフレッシュ処理が再開され、UOW が再処理されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07738 *eccr_name*、ECCR、*system_time*、**再実行のリフレッシュ、再処理用にアクティブな UOW の強制終了が完了しました。**

説明： ECCR がリフレッシュ処理中に異常終了するかシャットダウンされた後、再処理の準備中にアクティブな Unit of Work (UOW) の強制終了を完了しました。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。
system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション： ECCR が再起動された後、リフレッシュ処理が再開され、UOW が再処理されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07739 *eccr_name*、*system_time*、リフレッシュ、再処理用にアクティブな UOW を再起動しています。

説明： ECCR は、リフレッシュ操作の一部として、それらの再処理の準備中にアクティブな Unit of Work (UOW) を再起動しています。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。

system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション： ECCR 処理は続行されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07740 *eccr_name*、リフレッシュ、アクティブな UOW の新しいインスタンスを再起動しました。 *eccr_time*。

説明： ECCR が、Unit of Work (UOW) の再処理に備えて、アクティブな UOW の新しいインスタンスを開始しました。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。

eccr_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション： ECCR 処理は続行されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07741 *eccr_name*、*system_time*、リフレッシュ、アクティブな UOW の再起動が完了しました。

説明： ECCR は、アクティブな Unit of Work (UOW) の再処理の準備中にそれらの再起動を完了しました。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。

system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション： ECCR 処理は続行されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07742 *eccr_name*、ECCR、*system_time*、リフレッシュコマンドが拒否されました。リフレッシュはすでにアクティブです。

説明： リフレッシュ処理がすでにアクティブになっているため、オペレータが開始した REFRESH コマンドは ECCR によって拒否されました。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。

system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション： ECCR 処理は続行されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07743	<i>eccr_name</i> 、ECCR、 <i>system_time</i> 、リフレッシュ、UOW、 <i>eccr_time</i> 、再処理が完了しました。
説明：	ECCR は、リフレッシュ操作のために、指定された Unit of Work (UOW) の再処理を完了しました。 <i>eccr_name</i> は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。 <i>system_time</i> の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。
システムのアクション：	ECCR 処理は続行されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-07744	<i>eccr_name</i> 、ECCR、 <i>system_time</i> 、登録が暗黙的に一時停止されました。名前 <i>registration_name</i> 、テーブル <i>table_name</i> 。
説明：	ECCR は、リフレッシュ処理の一部として、登録の再ロード後に暗黙的に一時停止されたものとして登録をマークしました。 <i>eccr_name</i> は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。 <i>system_time</i> の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。
システムのアクション：	ECCR 処理は続行されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-07748	<i>eccr_name</i> 、ECCR、 <i>system_time</i> 、リフレッシュ処理中、永続ストレージ<number>の割り当て中にメモリエラーが発生しました。
説明：	ECCR は、リフレッシュ処理を行うだけの十分なストレージを確保できませんでした。 <i>eccr_name</i> は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。 <i>system_time</i> の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。
システムのアクション：	ECCR 処理が異常終了します。
ユーザの応答：	ストレージ不足を解決します。サポートが必要な場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-07749	<i>eccr_name</i> 、ECCR、 <i>system_time</i> 、リフレッシュコマンドが拒否されました。古い UOW が実行中です。
説明：	リフレッシュ処理ではサポートされなくなった古い形式の実行中の UOW が見つかったため、ECCR はオペレータが開始した REFRESH コマンドを拒否しました。 <i>eccr_name</i> は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。 <i>system_time</i> の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。
システムのアクション：	ECCR 処理は続行されます。
ユーザの応答：	実行中の UOW がすべて完了するのを待つか、または ECCR をコールドスタートします。

PWX-07750 *eccr_name*、*system_time*、DELAYED をリフレッシュします。
マルチパート x'9904'内の ECCR。

説明： ECCR はリフレッシュコマンドを受信しましたが、現在複数パートの
x'9004'操作を処理中です。操作の実行中はリフレッシュコマンドを
処理できません。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。

system_time の形式は、Day Month DD HH:MM:SS.NNN YYYY です。

システムのアクション： 処理は継続します。リフレッシュコマンドは操作の完了後に処理され
ます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07751 REFRESH アクティブでウォームスタートします。
*Number_of_UOWs*が UOW を開きます。最も古い UOW
STCK=*binary_store_clock_value*、LSN=*lsn*、後の通常の処理
=*binary_store_clock_value*

説明： アクティブな ECCR REFRESH コマンドにより、ECCR がウォームス
タートします。このメッセージは、オープン Unit of Work (UOW)
の数を最も古いもののストアクロック値とともに報告します。

システムのアクション： ECCR 処理は続行されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07752 *eccr_name*、ECCR、*current_system_time*、登録、DB: *database
name*、名前: *registration_name*、*suspend_timestamp* でキャ
プチャが一時停止されました。timestamp で一致しました。

説明： ECCR は変更ストリームで登録サスペンションウィンドウの開始に達
しました。その後 ECCR は指定された一時停止時間に変更キャプチャ
を一時停止しました。ECCR がサスペンションウィンドウ内のタイム
スタンプを持つ最初の変更レコードを検出したとき、ECCR はそのレ
コードを処理しませんでした。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。

registration name は、登録バージョンが追加されたユーザー定義の
登録名です。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07753 *eccr_name*、ECCR、*current_system_time*、登録、DB:
database_name、名前: *registration_name*、*activation_timestamp* に有効になりました。 *timestamp* で一致しました。

説明: ECCR は変更ストリームでキャプチャ登録サスペンションウィンドウの終わりに成功しました。その後 ECCR は指定された有効化時刻にキャプチャ処理を再アクティブ化しました。ECCR が有効化タイムスタンプよりも遅いタイプスタンプの最初の変更レコードを検出したときに、ECCR がそのレコードを処理しました。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。

registration name は、登録バージョンが追加されたユーザー定義の登録名です。

システムのアクション: 処理は継続します。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07754 *eccr_name*、ECCR、*current_system_time*、登録、DB:
database_name、名前: *registration_name*、サスペンション違反、uow 時刻 *uow_time*、サスペンション時刻 *suspension_timestamp*、イメージのキャプチャ時刻 *change_record_timestamp*。

説明: 一時停止されたキャプチャ登録の変更レコードは、一時停止ウィンドウよりも前に開始された作業単位 (UOW) 内にあります。一時停止タイムスタンプは、いつ一時停止ウィンドウが開始されるかを示します。この状況は無効であり、データの整合性が損なわれる場合があります。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。

registration name は、登録バージョンが追加されたユーザー定義の登録名です。

システムのアクション: ECCR 構成ファイルの ON_SUSPENSION_ERROR_CONTINUE パラメータの設定に応じて処理が終了するか、続行されます。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07755 *eccr_name*、ECCR、*current_system_time*、登録、DB:
database_name、名前: *registration_name*、ポストサスペンション違反、uow 時刻 *uow_time*、有効化時刻 *activation_timestamp*、イメージのキャプチャ時刻 *change_record_timestamp*。

説明: 再有効化されたキャプチャ登録の変更レコードは、一時停止ウィンドウがまだ開いている間に開始した作業単位 (UOW) 内にあります。有効化タイムスタンプは、一時停止ウィンドウがいつ終了したかを示します。この状況は無効であり、データの整合性が損なわれる場合があります。

eccr_name は、ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。

registration name は、登録バージョンが追加されたユーザー定義の登録名です。

システムのアクション: ECCR 構成ファイルの ON_SUSPENSION_ERROR_CONTINUE パラメータの設定に応じて処理が終了するか、続行されます。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07756 ***eccr_name***、ECCR、*system_time*、サスペンション違反が発生しました。ECCR はデフォルトまたはユーザー要求により終了しました。

説明: PWXUCREG ユーティリティがキャプチャ登録を中断しようとしているときにエラーが発生しました。ECCR ON_SUSPENSION_ERROR_CONTINUE パラメータが N のデフォルト値を使用しているためまたはユーザーが ECCR を停止したため ECCR が終了しました。

このメッセージで、*eccr_name* は ECCR パラメータで指定された ECCRNAME 値です。

システムのアクション: ECCR が終了します。

ユーザの応答: エラーを診断するには、関連メッセージを確認します。サポートが必要な場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-07758 **登録がロードされました。***Vpwx_version* ステータス:*reg_status* RegName:*registration_name* database-specific_information 作成者:*creator_name* テーブル:*table_name*。

説明: ECCR が使用する指定されたソーステーブルのキャプチャ登録を PowerExchange がロードしました。このメッセージでは、

- *reg_status* は登録ステータスで、アクティブの場合は [A]、一時停止中の場合は [S] です。
- *Vpwx_version* は PowerExchange のバージョンです。
- *registration_name* は、登録バージョンが追加されたユーザー定義の登録名です。
- *database-specific_information* は、IMS 登録の場合は [DBD: *DBD name*]、Adabas 登録の場合は [インスタンス: *database _identifier*] です。
- *creator_name* は登録されたテーブルの作成者またはスキーマの名前です。
- *table_name* は登録されたテーブルの名前です。

システムのアクション: 処理は継続します。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07759 **一時停止時刻:***timestamp*

説明: メッセージ PWX-07758 で特定されたキャプチャ登録が指定された日時に一時停止されました。*timestamp* の形式は YYYY/MM/DD HH:MM:SS.ssssss で、ssssss は小数秒です。この時点は、一時停止ウィンドウの開始を示します。

システムのアクション: 処理は継続します。

ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07760 **有効化時刻:***timestamp*

説明: メッセージ PWX-07758 で特定されたキャプチャ登録が一時停止後、指定された日時に再有効化されました。*timestamp* の形式は YYYY/MM/DD HH:MM:SS.ssssss で、ssssss は小数秒です。この時点は、一時停止ウィンドウの終了を示します。

システムのアクション: 処理は継続します。

ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07761 ***サスペンションウィンドウが開きます (アクティベーションの時刻は設定されていません)。**

説明: このキャプチャ登録に一時停止のタイムスタンプは含まれていますが、再有効化に必要な有効化のタイムスタンプはまだ含まれていません。現在サスペンションウィンドウが開いています。この登録に関する PowerExchange の変更キャプチャ処理が臨時に一時停止されています。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07762 **リフレッシュ: dse=dataset 終了時刻=end_time は再処理されます。最も古い BUOW 時間=time、フラグ=flag。**

説明: ECCR リフレッシュ処理の一部として、ECCR は以前は EOF に読み取っていた指定されたデータセットを再処理し、アクティブな UOW を再構築します。

システムのアクション: ECCR 処理は続行されます。

ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07763 **リフレッシュ: dse=dataset 終了時刻=end_time は再処理されません。最も古い BUOW 時間=time、フラグ=flag。**

説明: ECCR のリフレッシュ処理中、ECCR は、指定されたデータセットがエラーがあるとしてマークされたことを検出しました。ECCR はこのデータセットを再処理しません。

システムのアクション: ECCR 処理は続行されます。

ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07764 Plog=*adabas_protection_log*、record=*record*、
blockno=*block_number*、uid=*user_id*、termid=*terminal_id*、
tranno=*transaction_number*

説明: シャットダウン処理中に、Adabas ECCR でアクティブな Unit of Work (UOW) が検出されました。

システムのアクション ECCR 処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07800 トレースがオフになりました

説明： このメッセージは、ECCR TRACEOFF コマンドに対する応答として発行されます。 トレースが無効になったことを示します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07801 *trace_id* のトレースは無効になりました

説明： ID が指定されているトレースが無効になりました。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07802 TRACEOFF コマンドの構文が正しくありません

説明： TRACEOFF コマンドの構文が正しくありません。

ユーザの応答： コマンドの構文を修正してください。正しい構文については、『PowerExchange コマンドリファレンス』を参照してください。引数を指定しないと、コマンドはすべてのトレースを無効にします。オプションの traceid 引数を指定した場合、コマンドは指定されたトレースのみを無効にします。

PWX-07803 統計の出力はオンになりました

説明： ECCR CAPT_STATS パラメータが Y に設定されていたため、統計の出力が有効になりました。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07804 統計の出力はオフになりました

説明： ECCR CAPT_STATS パラメータが N に設定されていたため、統計の出力が無効になりました。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07805 統計インターバルサブタスクが開始されました。収集間隔は *number_of_minutes* 分です。

説明： ECCR 統計サブタスクはアクティブであり、経過する収集間隔ごとに変更キャプチャ統計情報を収集してレポートします。間隔は、指定された分数継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07806 統計サブタスクの作成に失敗しました。戻りコード *return_code*

説明： ECCR の統計サブタスクの開始に失敗しました。このエラーの戻りコードは、オペレーティングシステム環境によって異なります。

システムのアクション ECCR は、異常終了します。
ン：

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-07807	統計サブタスクが終了しました。サイクルカウント= <i>number</i>
説明:	ECCR の統計サブタスクが正常に終了しました。 サイクルカウントは、統計サブタスクが変更キャプチャ統計情報の収集と報告を行った間隔の数です。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07808	統計インターバルが正しくありません。 <i>interval</i> は正の整数でなければなりません
説明:	STATISTICS <i>minutes</i> コマンドは、有効ではない <i>minutes</i> の値とともに入力されました。 <i>minutes</i> の値は統計の収集間隔を定義します。 この値は 0 より大きい整数である必要があります。
システムのアクション:	ECCR は前の統計インターバルで実行を継続します。
ユーザの応答:	STATISTICS <i>minutes</i> コマンドを、0 より大きい分の数で再度発行します。
PWX-07809	統計インターバル。 新しいインターバルコマンドが受け入れられました
説明:	ECCR 統計収集間隔を変更するため、STATISTICS <i>minutes</i> コマンドが発行されました。 要求は受け入れられました。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07810	統計インターバルサブタスク。 収集間隔が <i>number_of_minutes</i> 分に更新されました。
説明:	ECCR 統計サブタスクの統計値収集間隔が、指定された分数に変更されました。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07811	CAPS_STATS=N で ECCR が実行されています。 コマンドは許可されません
説明:	ECCR STATISTICS <i>minutes</i> コマンドを実行するには、ECCR 構成メンバで ECCR CAPT_STATS=Y パラメータを指定するか、あらかじめ STATISTICS ON コマンドを実行する必要があります。
システムのアクション:	STATISTICS <i>minutes</i> コマンドの実行が失敗します。
ユーザの応答:	RUNLIB ライブラリの ECCR 構成メンバで CAPT_STATS パラメータを Y に設定するか、または STATISTICS ON コマンドを実行します。
PWX-07812	最新の処理時刻 <i>timestamp</i> 処理レコード数 <i>number</i> (<i>eccr_type</i>)
説明:	このメッセージは、ECCR STATUS コマンドに対する応答として発行されます。 このメッセージは、ECCR が最後に処理したレコードのタイムスタンプおよび ECCR 実行でこの時点までに処理されたレコードの数を表示します。

システムのアクション ECCR 処理は続行されます。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07813 *eccr_type*、**リーダータスク** *point_in_processing* はデータ *timestamp* をキャプチャしました。

説明： このメッセージは、ECCR 実行で指定されたポイントにある変更データレコードのタイムスタンプをレポートします。

メッセージテキストでは、*eccr_type* 変数は次のいずれかの値を表します。

- DCOM TB CDC。Datacom テーブルベース ECCR 用です。
- IDMS LB CDC。IDMS ログベース ECCR 用です。
- "IMS"の後に、CAPTIMS コンフィギュレーションメンバの ECCRNAME の値が続きます。IMS ログベース ECCR 用です。

point_in_processing 変数は、次の値のいずれかを表します。

- 起動。ECCR のウォームスタートの場合、メッセージは ECCR が PowerExchange ロgger から最初に取得したタイムスタンプを表示します。コールドスタートの場合、タイムスタンプはすべてゼロで構成されます。
- 最初。処理中のこのポイントの場合、メッセージは ECCR で発生した最初の変更レコードのタイムスタンプを表示します。
- 最新。処理中のこのポイントの場合、メッセージは現在の変更レコードのタイムスタンプを表示します。このレコードは、ECCR STATUS コマンドがレポートするタイムスタンプに一致します。
- シャットダウン。処理中のこのポイントの場合、メッセージは ECCR でシャットダウンの前に発生した最後の変更レコードのタイムスタンプを表示します。

システムのアクション 処理は継続します。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07814 *eccr_type*、**リーダータスク** *point_in_processing* は *number_of_records* レコードを処理しました。

説明： このメッセージは、ECCR の実行の指定された時点で ECCR リーダータスクによって処理されたレコードの数を報告します。

メッセージテキストでは、*eccr_type* 変数は次のいずれかの値を表します。

- DCOM TB CDC。Datacom テーブルベース ECCR 用です。
- IDMS LB CDC。IDMS ログベース ECCR 用です。
- "IMS"の後に、CAPTIMS コンフィギュレーションメンバの ECCRNAME の値が続きます。IMS ログベース ECCR 用です。

point_in_processing 変数は、次の値のいずれかを表します。

- 起動。ECCR のスタートアップ時にはレコードカウントは 0 です。

- 最初。ECCR が最初の変更レコードを見つけた時点で、レコードカウントは 1 になります。
- 最新。この時点で、レコードカウントは現時点で処理されているレコードの数になります。これは、ECCR STATUS コマンドで報告されるレコードカウントと一致します。
- シャットダウン。ECCR のシャットダウン時には、レコードカウントは処理されたレコードの合計数になります。

システムのアクション: 処理は継続します。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07815 **LIST コマンドに無効なパラメータが含まれています。有効なパラメータ OUOW または SKIP を使用してください**

説明: IMS ログベース ECCR の LIST コマンドが、無効なパラメータを使用して入力されました。有効なパラメータは次のとおりです。

- **OUOW**。開いている UOW を一覧表示します。
- **SKIP**。ECCR スキップリストのデータセットエントリを一覧表示します。

システムのアクション: ECCR 処理は続行されますが、LIST コマンドは無視されます。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。LIST コマンドを発行する必要がある場合は、次の構文と有効なパラメータを使用してコマンドを入力してください。

/F eccr_name,LIST parameter

PWX-07816 **シャットダウンの遅延。マルチパーツ x'9904 内の ECCR。**

説明: IMS ログベースの ECCR の CLOSE コマンドが遅延しています。このコマンドの実行は、ECCR がマルチパーツレコードの処理中には許可されません。

システムのアクション: ECCR 処理は続行されます。ECCR がマルチパーツ x'9904 レコードの処理を完了すると、CLOSE コマンドが実行されます。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07818 **ECCR: コンソールハンドラの初期化に失敗しました。理由コード=reason_code。**

説明: ECCR がコンソールハンドラを初期化できませんでした。

システムのアクション: ECCR が終了します。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07819 **ECCR: スレッドの初期化に失敗しました。理由コード=reason_code。**

説明: ECCR がスレッド環境の初期化に失敗しました。

システムのアクション ECCR が終了します。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07820 ECCR: **クローズコマンドが受け付けられました。**

説明： ECCR のクローズコマンドが受け付けられました。

システムのアクション ECCR がクローズします。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07824 ECCR (*eccr_name*) : LOGREC ON コマンドが受け付けられました。IMS レコードタイプ=*record_type*。

説明： IMS ログベースの ECCR が SET LOGREC ON コマンドを受信しました。指定されたタイプのログレコードが診断用に出力されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07825 ECCR (*eccr_name*) : LOGREC OFF コマンドが受け付けられました。IMS レコードタイプ=*record_type*。

説明： IMS ログベースの ECCR が SET LOGREC OFF コマンドを受信しました。指定されたタイプのログレコードは出力されません。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07826 ECCR (*eccr_name*) : LOGRECOFF コマンドが受け入れられました。IMSLOGREC レコードタイプ *record_type* がオンです。

説明： IMS ログベースの ECCR が DISPLAY LOGREC コマンドを受信しました。指定したタイプのログレコードが出力されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07827 ECCR (*eccr_name*) : **すべての IMSLOGREC がオフになっています。**

説明： IMS ログベースの ECCR が DISPLAY LOGREC コマンドを受信しました。指定されたタイプのログレコードは出力されません。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07850 IMS ログベース ECCR *eccr_identifier* における DBD 名 *dbdname* のマーカーイベント

説明： IMS ログベース ECCR が、IMS SLDS で DTLCUIML ユーティリティによって生成されたマーカーを見つけ、登録済みソースに関連するリスタートトークンとシーケンストークンと共に、メッセージを PowerExchange ロgger (z/OS 用) に送信しました。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07851	リフレッシュコマンドのイベントマーカ <i>は、timeECCR eccr</i> <i>です。 ログの位置=timestamp</i>
説明：	ECCR は、REFRESH コマンドを確認した後、イベントマーカを生成しました。 ECCR は PowerExchange ロgger (z/OS 用) にイベントマーカを送信しました。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-07852	PowerExchange ロggerの高シーケンス <i>=high_sequence_number</i> <i>(hex=0xhex_high_sequence_number)</i>
説明：	IMS ログベース ECCR が、高いシーケンス番号を取得するための PowerExchange Logger (z/OS 用) への GHSQ 呼び出しの発行に成功しました。このメッセージは、ロggerが数値または 16 進数形式で返した高いシーケンス番号を示しています。ECCR は、ログへの変更レコードが検出されるときは常に、一意の昇順のシーケンス番号を使用してロggerへの次の呼び出しを行う前に、高いシーケンス番号を取得する必要があります。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-07853	SLDS LSN <i>log_sequence_number</i>
説明：	IMS ログベース ECCR は、IMS システムログデータセット (SLDS) へのクエリ用の指定されたログシーケンス番号 (LSN) を使用します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-07856	IMS マルチパートレコードアクティブ = <i>number_of_multipart_records</i>
説明：	このメッセージは、IMS ログベースの ECCR が処理中の IMS マルチパートレコードの数を報告します。このメッセージは、ECCR の LIST MPART コマンドによって生成されたレポートの一部です。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-07857	<i>multipart_record_sequence_number,</i> <i>DSN=log_data_set_name</i>
説明：	このメッセージは、IMS ログベースの ECCR が処理中の IMS マルチパートレコードのシーケンス番号と、レコードの最初のパートが読み取られたログデータセットの名前を報告します。このメッセージは、ECCR の LIST MPART コマンドによって生成されたレポートの一部です。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-07858	MPART (リカバリトークン、STCK) = (<i>recovery_token</i> , STCK 値)
説明：	このメッセージは、IMS ログベースの ECCR が処理中の IMS マルチパート (MPART) レコードの最初のパートを識別する、IMS リカバリトークンおよびスタックロック (STCK) 値を報告します。このメッセージは、ECCR の LIST MPART コマンドによって生成されたレポートの一部です。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07859 **最初のパート (STCK、LSN) = (*end_stck*, *lsn*)。読み取られたパート = パーツ数**

説明： このメッセージは、IMS ログベースの ECCR が処理中の IMS マルチパートレコードの次の情報を報告します。

- マルチパートレコードの最初のパートの x'9904'レコードの最後にある 16 バイトのストアクロック (STCK) 値
- マルチパートレコードの最初のパートのログシーケンス番号 (LSN)
- これまで ECCR が読み取ったマルチパートレコードの合計パーツ数。

このメッセージは、ECCR の LIST MPART コマンドによって生成されたレポートの一部です。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07863 **DSES がなくなった後に ECCR が現在時刻を進めています**

説明： 利用可能な最後のログエントリを処理し、次のログの処理を開始する前に、ECCR は現在時刻を進めます。新しい現在時刻は、RECON データセットから取得した、最後に処理されたログのログ終了時刻になります。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07864 ***stck* から、*time*。LSN=*lsn*。**

説明： 利用可能な最後のログエントリを処理し、次のログの処理を開始する前に、ECCR は現在時刻を進めます。このメッセージは、RECON データセットから取得した以前の現在時刻の値を示します。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07865 ***stck* まで、*current_time*。**

説明： 利用可能な最後のログエントリを処理し、次のログの処理を開始する前に、ECCR は現在時刻を進めます。新しい現在時刻は、RECON データセットから取得した、最後に処理されたログのログ終了時刻になります。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07900 **PLOG*prog name* の処理中。**

説明： このメッセージは、Adabas ECCR が Adabas PLOG ファイルの処理を開始したことを報告します。

システムのアクション Adabas ECCR 処理は続行されます。

ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07901 **コールドスタートしますか (Y/N) (ADABAS キャプチャ)。**

説明: このメッセージは、以下の状況において ECCR をコールドスタートすることへの確認を求めます。

- PowerExchange ロgger (z/OS 用) または PowerExchange エージェントがリスタート情報を提供できないために Adabas ECCR をウォームスタートできない場合。
- ECCR パラメータで COLDSTART=Y パラメータが指定されているため、Adabas ECCR のコールドスタートの要求がサブミットされた場合。

システムのアクション PowerExchange は応答を待機します。

ン:

ユーザの応答: ECCR をコールドスタートする場合は「Y」を、ECCR をコールドスタートしない場合は「N」を入力します。

PWX-07902 **コールドスタートがオペレータによって拒否されました (ADABAS キャプチャ)。**

説明: メッセージ PWX-07901 の確認プロンプトに対してユーザーが「N」と応答し、Adabas ECCR のコールドスタートを拒否しました。

システムのアクション Adabas ECCR が終了します。

ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07903 ***plog_data_setC=commitsA=aborts* の処理を終了しました**

説明: Adabas ECCR が、指定された PLOG データセットの処理を終了しました。このメッセージでは、ECCR が処理したコミットと強制終了の数が報告されます。

システムのアクション AdabasECCR は続行されます。

ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07904 ***eccr_name* ECCR が停止しています。**

説明: ECCR が停止しています。

システムのアクション ECCR 処理が終了します。

ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-07905	Adabas ECCR は現在 <i>action[plog_data_set]</i> で、最新の処理 PLOG 時間は <i>timestamp</i> です。
説明：	Adabas ECCR は Adabas PLOG データセットに対して、指定されたアクションを実行しています。 <i>action</i> は"処理中"または"次の PLOG を待機中"のどちらかです。メッセージには、ECCR によって処理され、PowerExchange ロgger（z/OS 用）に送信された最後の PLOG レコードのタイムスタンプが含まれます。
システムのアクション：	Adabas ECCR 処理は続行されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-07906	<i>eccr_name</i> ECCR がリフレッシュしています。
説明：	ECCR は REFRESH コマンドを実行中です。
システムのアクション：	コマンド処理の結果、ECCR はウォームスタートします。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-07908	ファイル番号をファイル名に変換しているときにエラーが発生しました。戻りコード=<i>return_code</i>
説明：	PLOG ファイルにアクセスしようとしたときに、Adabas ECCR にエラーが発生しました。
システムのアクション：	ECCR 処理が終了します。
ユーザの応答：	問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-07909	データセット DD:DDEXPA1 と DD:DTLCCETL へのアクセス中にエラーが発生しました。戻りコード=<i>return_code</i>
説明：	Adabas ECCR で、DDEXPA1 および DTLCCETL DD 文が指定しているデータセットにアクセスできませんでした。
システムのアクション：	Adabas ECCR 処理が終了します。
ユーザの応答：	データセットが正しく設定されていることを確認します。問題を診断するには、関連メッセージを確認します。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-07910	ログデータセットの読み込み中にエラーが発生しました。戻りコード=<i>return_code</i>
説明：	ECCR によるログデータセットの読み込みでエラーが発生しました。
システムのアクション：	キャプチャプロセスが終了します。
ユーザの応答：	問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-07911	アクションを登録しようとしたときにエラーが発生しました。 戻りコード=<i>return_code</i>理由=<i>rsn</i>登録タグ=<i>registration_tag_name</i>
説明:	キャプチャ登録の試行されたアクションが失敗し、理由コードおよび戻りコードが報告されました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-07912	イベントマーカーへの書き込みに失敗しました。 戻りコード=<i>return_code</i>。 続行
説明:	イベントマーカーテーブルへの更新の書き込みに失敗しました。
システムのアクション:	PowerExchange Condense の処理は続行されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-07913	PowerExchange ロggerが使用している CCT は、この ECCR が使用しているものではありません
説明:	ECCR が使用している CCT ファイルは、PowerExchange ロggerで使用されるものと一致しません。
システムのアクション:	変更キャプチャ処理は終了します。
ユーザの応答:	PowerExchange ロggerプロセスに対して定義された CCT ファイルを修正します。
PWX-07914	LLB ログに関連する、回復不能なエラーが発生しました
説明:	致命的なエラーが発生しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-07915	モード <i>mode</i>での OPENFILE に失敗しました。 ファイル名=<i>file_name</i> 戻りコード 1=<i>return_code1</i> 戻りコード 2=<i>return_code2</i> 戻りコード 3=<i>return_code3</i>
説明:	指定されたファイルを開くのに失敗しました。
	メッセージテキスト:
	<ul style="list-style-type: none"> • <i>mode</i> はオープンファイルモードです。 • <i>file_name</i> は、開かれていたファイルの名前です。 • <i>return_code1</i>、<i>return_code2</i>、および <i>return_code3</i> は、エラーに関する PowerExchange 戻りコードです。

システムのアクション 処理は終了します。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-07916 *mode*での CLOSEFILE に失敗しました。ファイル名
=*file_name* 戻りコード 1=*return_code1* 戻りコード
2=*return_code2* 戻りコード 3=*return_code3*

説明： 指定されたファイルを閉じるのに失敗しました。

メッセージテキスト：

- *mode*がファイルのクローズモードです。
- *file_name*は、閉じようとしているファイルの名前です。
- *return_code1*、*return_code2*、および *return_code3*は、エラーに関する PowerExchange 戻りコードです。

システムのアクション 処理は終了します。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-07917 *ref*に対する READFILE に失敗しました。ファイル名
=*file_name* 戻りコード 1=*return_code1* 戻りコード
2=*return_code2* 戻りコード 3=*return_code3*

説明： 指定されたファイルを読み取るのに失敗しました。

メッセージテキスト：

- *file_name*は、読み取ろうとしているファイルの名前です。
- *return_code1*、*return_code2*、および *return_code3*は、エラーに関する PowerExchange 戻りコードです。

システムのアクション 処理は終了します。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-07918 *ref*に対する WRITEFILE に失敗しました。ファイル名
=*file_name* 戻りコード 1=*return_code1* 戻りコード
2=*return_code2* 戻りコード 3=*return_code3*

説明： 指定されたファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

- *file_name*は、書き込まれているファイルの名前です。
- *return_code1*、*return_code2*、および *return_code3*は、エラーに関する PowerExchange 戻りコードです。

システムのアクション 処理は終了します。
ン：

ユーザの応答： 問題を診断するには、関連するメッセージを調べます。問題が解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-07919 ***eccr_name* がシャットダウンしています。時間 *timestamp*、レコード番号 *recno*、ファイル番号 *fileno* への読み取りを行いました。**

説明： ECCR は指定されたタイムスタンプ、レコード番号、およびファイル番号へのデータの読み取り後にシャットダウンしています。

システムのアクション： ECCR 処理が終了します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07920 **ADASEL 呼び出しが失敗しました。戻りコード *=return_code*。STEPLIB の ECCR DDCARD および ADABAS ライブラリをチェックしてください。**

説明： ADASEL ユーティリティへの Adabas ECCR 呼び出しが失敗しました。この問題は、ECCR JCL の STEPLIB 連結で、ADASEL のバージョンと互換性のない Adabas ライブラリが指定された場合に発生する可能性があります。例えば、ECCR STEPLIB で、Adabas スパンレコードをサポートしていない Adabas 7.1 ライブラリを指定した場合などです。ただし、ADASEL 8.2.x を実行すれば、スパンレコードがサポートされます。また、この問題は、ECCR JCL の DDCARD 文が、ECCR が期待するバージョンと互換性のないデータベース番号、デバイス、または SVC 番号が含まれる ADARUN 文が存在する RUNLIB メンバを指している場合にも発生することがあります。

システムのアクション： Adabas ECCR は異常終了します。

ユーザの応答： Adabas ECCR JCL の STEPLIB 文で指定されている ADABAS ライブラリのバージョンを修正します。または、DDCARD が指している RUNLIB メンバの ADARUN 文を修正します。

PWX-07921 **終了の待機中に初期化に失敗しました。Adabas ECCR**

説明： Adabas ECCR の初期化に失敗しました。その結果、ECCR が終了中です。

システムのアクション： ECCR 処理が終了します。

ユーザの応答： ECCR 出力を確認して追加情報を得てください。エラーがあれば修正します。その後、要求をもう一度実行します。

PWX-07967 **最新の処理時刻 *timestamp* 処理レコード数 *number* (IDMS キャプチャ)**

説明： このメッセージは、IDMS ログベースの ECCR が最後に処理されたレコードのタイムスタンプおよびこの ECCR の実行中に処理されたレコード数を表示します。このメッセージは、ECCR STATUS コマンドに対する応答として発行されます。

システムのアクション： ECCR 処理が終了します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07968 **トレースがオフになりました。**

説明： TRACEOFF コマンドに対応して、トレースが無効になりました。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07969 **コールドスタートしますか (Y/N) (IDMS キャプチャ)。**

説明： PowerExchange ロggerまたは PowerExchange エージェントからはリスタート情報を IDMS ECCR のウォームスタートに使用できませんでした。この結果、PowerExchange ではコールドスタートの確認が必要になります。

システムのアクション： PowerExchange は応答を待機します。

ユーザの応答： コールドスタートを承認するには Y を、拒否するには N を入力します。

PWX-07970 **コールドスタートがオペレータによって拒否されました (IDMS キャプチャ)。**

説明： オペレータは、コールドスタートの確認を要求するメッセージ PWX-07969 に対して [N] と応答しました。このアクションは、IDMS ECCR のコールドスタートを拒否します。

システムのアクション： IDMS ECCR が終了します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07971 **コレクタを閉じています (IDMS キャプチャ)**

説明： IDMS ログベース ECCR が終了中です。

システムのアクション： ECCR が終了します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07972 **初期化に失敗しました。終了を待機しています。(IDMS キャプチャ)**

説明： IDMS ログベース ECCR が初期化に失敗し、終了中です。

システムのアクション： ECCR が終了します。

説明： 問題を診断するには、IDMS ECCR 出力を確認します。次に、エラーを修正して ECCR を再開します。

PWX-07973 **IDMS ジャーナルルーチンの読み込みに失敗しました。追加情報: 戻りコード=return_code (IDMS キャプチャ)**

説明： IDMS ジャーナルを読み込むための IDMS ECCR ルーチンが失敗し、指定された戻りコードが示されました。

システムのアクション： ECCR が終了します。

説明： 問題を診断するには、IDMS ECCR 出力を確認します。次に、エラーを修正して IDMS ECCR をリスタートします。

PWX-07974 **PowerExchange ロggerへの書き込み中にエラーが発生しました。追加情報: *text* (IDMS キャプチャ)**

説明： 変更データを PowerExchange ロggerに書き込んでいるときに、IDMS ログベース ECCR にエラーが発生しました。このメッセージには、エラーに関する情報が含まれます。

システムのアクション： ECCR 処理が終了します。

説明： 問題を診断するには、このメッセージのテキストおよび IDMS ECCR の出力を確認します。エラーを修正して IDMS ECCR をリスタートします。

PWX-07975 **DTLCACFG で指定された Logsid が DTLCFG 内のものと一致しません。(IDMS キャプチャ)**

説明： IDMS ECCR 構成ファイルの LOGSID 値が DBMOVER コンフィギュレーションファイルの LOGSID 値に一致しません。DTLCACFG DD は、IDMS ECCR 構成ファイルを指しており、DTLCFG DD は、DBMOVER コンフィギュレーションファイルを指しています。

システムのアクション： ECCR 処理が終了します。

説明： IDMS 構成ファイルの LOGSID 値が、DBMOVER コンフィギュレーションファイルの LOGSID 値に一致していることを確認します。その後、IDMS ECCR をリスタートします。

PWX-07976 **最新の処理時刻 *time* 処理レコード数 *number* (IDMS キャプチャ)**

説明： このメッセージには、IDMS ECCR が最後に処理したログレコードのタイムスタンプと、開始以降に IDMS ECCR が処理したログレコードの総数が表示されます。

メッセージテキスト：

- *time* は、最後の IDMS ログレコードが処理された時刻です。
- *number* は、この実行で処理されたレコード数です。

システムのアクション： IDMS ECCR の処理は続行されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07977 ***registration* 挿入数=*number* 削除数=*number* 更新数=*number***

説明： このメッセージには、IDMS ECCR の現在の実行中に、指定されたキャプチャ登録に基づいてキャプチャされた挿入、削除、および更新の数が表示されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07979	UOW のマッチングエラー。追加情報: <i>function_name</i> マッチング UOW が見つかりません。戻りコード=<i>return_code</i> (IDMS キャプチャ)
説明:	<p>IDMS ECCR で、更新に対して、対応する Unit of Work (UOW) が見つかりませんでした。</p> <p>メッセージテキスト:</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>function_name</i> は、IDMS ECCR で UOW が見つからなかった関数です。 • <i>return_code</i> は PowerExchange のエラーの戻りコードです。
システムのアクション:	ECCR 処理が終了します。
ユーザの応答:	問題を診断するには、ECCR の出力を確認します。可能な場合はエラーを修正します。次に、IDMS ECCR を再開します。
PWX-07980	PowerExchange ロgger API INIT が失敗しました。戻りコード=0x<i>return_code</i> 理由=0x<i>reason_code</i>
説明:	<p>ECCR が PowerExchange ロgger にデータを書き込もうとしているときに、PowerExchange ロgger API の初期化が失敗しました。</p> <p>メッセージテキスト:</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>return_code</i> は PowerExchange のエラーの戻りコードです。 • <i>reason_code</i> は PowerExchange のエラーの理由コードです。
システムのアクション:	ECCR が終了します。
ユーザの応答:	戻りコードと理由コードを使用して、問題を診断します。可能な場合はエラーを修正します。
PWX-07981	PowerExchange ロgger API RSTR が失敗しました。戻りコード=0x<i>return_code</i> 理由=0x<i>reason_code</i>
説明:	<p>ECCR が PowerExchange ロgger にデータを書き込もうとしているときに、PowerExchange ロgger API RSTR 呼び出しが失敗しました。</p> <p>メッセージテキスト:</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>return_code</i> は PowerExchange のエラーの戻りコードです。 • <i>reason_code</i> は PowerExchange のエラーの理由コードです。
システムのアクション:	ECCR が終了します。
ユーザの応答:	戻りコードと理由コードを使用して、問題を診断します。可能な場合はエラーを修正します。

PWX-07982	PowerExchange ロッガー API GLCI が失敗しました。戻りコード=0xreturn_code理由=0xreason_code
説明:	ECCR が PowerExchange ロッガーにデータを書き込もうとしているときに、PowerExchange ロッガー API GLCI 呼び出しが失敗しました。
	メッセージテキスト:
	<ul style="list-style-type: none"> • <i>return_code</i> は PowerExchange のエラーの戻りコードです。 • <i>reason_code</i> は PowerExchange のエラーの理由コードです。
システムのアクション:	ECCR が終了します。
ユーザの応答:	戻りコードと理由コードを使用して、問題を診断します。可能な場合はエラーを修正します。
PWX-07983	PowerExchange ロッガー API GHSQ が失敗しました。戻りコード=0xreturn_code理由=0xreason_code
説明:	ECCR が PowerExchange ロッガーにデータを書き込もうとしているときに、PowerExchange ロッガー API GHSQ 呼び出しが失敗しました。
	メッセージテキスト:
	<ul style="list-style-type: none"> • <i>return_code</i> は PowerExchange のエラーの戻りコードです。 • <i>reason_code</i> は PowerExchange のエラーの理由コードです。
システムのアクション:	ECCR が終了します。
ユーザの応答:	戻りコードと理由コードを使用して、問題を診断します。可能な場合はエラーを修正します。
PWX-07984	PowerExchange ロッガー API BUOW が失敗しました。戻りコード=0xreturn_code理由=0xreason_code
説明:	ECCR が PowerExchange ロッガーにデータを書き込もうとしているときに、PowerExchange ロッガー API BUOW 呼び出しが失敗しました。
	メッセージテキスト:
	<ul style="list-style-type: none"> • <i>return_code</i> は PowerExchange のエラーの戻りコードです。 • <i>reason_code</i> は PowerExchange のエラーの理由コードです。
システムのアクション:	ECCR が終了します。
ユーザの応答:	戻りコードと理由コードを使用して、問題を診断します。可能な場合はエラーを修正します。

PWX-07985 PowerExchange **ロッガー API CHKP が失敗しました。戻りコード=0xreturn_code理由=0xreason_code**

説明： ECCR が PowerExchange ロッガーにデータを書き込もうとしているときに、PowerExchange ロッガー API CHKP 呼び出しが失敗しました。

メッセージテキスト:

- *return_code* は PowerExchange のエラーの戻りコードです。
- *reason_code* は PowerExchange のエラーの理由コードです。

システムのアクション： ECCR が終了します。

ユーザの応答： 戻りコードと理由コードを使用して、問題を診断します。可能な場合はエラーを修正します。

PWX-07986 PowerExchange **ロッガー API INIT が失敗しました。戻りコード=0xreturn_code理由=0xreason_code**

説明： ECCR が PowerExchange ロッガーにデータを書き込もうとしているときに、PowerExchange ロッガー API ABRT 呼び出しが失敗しました。

メッセージテキスト:

- *return_code* は PowerExchange のエラーの戻りコードです。
- *reason_code* は PowerExchange のエラーの理由コードです。

システムのアクション： ECCR が終了します。

ユーザの応答： 戻りコードと理由コードを使用して、問題を診断します。可能な場合はエラーを修正します。

PWX-07987 PowerExchange **ロッガー API DLET が失敗しました。戻りコード=0xreturn_code理由=0xreason_code**

説明： ECCR が PowerExchange ロッガーにデータを書き込もうとしているときに、PowerExchange ロッガー API DLET 呼び出しが失敗しました。

メッセージテキスト:

- *return_code* は PowerExchange のエラーの戻りコードです。
- *reason_code* は PowerExchange のエラーの理由コードです。

システムのアクション： ECCR が終了します。

ユーザの応答： 戻りコードと理由コードを使用して、問題を診断します。可能な場合はエラーを修正します。

PWX-07988	PowerExchange ロッガー API ISRT が失敗しました。戻りコード=0xreturn_code理由=0xreason_code
説明：	ECCR が PowerExchange ロッガーにデータを書き込もうとしているときに、PowerExchange ロッガー API ISRT 呼び出しが失敗しました。
	メッセージテキスト:
	<ul style="list-style-type: none"> • <i>return_code</i> は PowerExchange のエラーの戻りコードです。 • <i>reason_code</i> は PowerExchange のエラーの理由コードです。
システムのアクション：	ECCR が終了します。
ユーザの応答：	戻りコードと理由コードを使用して、問題を診断します。可能な場合はエラーを修正します。
PWX-07989	PowerExchange ロッガー API REPL が失敗しました。戻りコード=0xreturn_code理由=0xreason_code
説明：	ECCR が PowerExchange ロッガーにデータを書き込もうとしているときに、PowerExchange ロッガー API REPL 呼び出しが失敗しました。
	メッセージテキスト:
	<ul style="list-style-type: none"> • <i>return_code</i> は PowerExchange のエラーの戻りコードです。 • <i>reason_code</i> は PowerExchange のエラーの理由コードです。
システムのアクション：	ECCR が終了します。
ユーザの応答：	戻りコードと理由コードを使用して、問題を診断します。可能な場合はエラーを修正します。
PWX-07990	PowerExchange ロッガー API EVNT が失敗しました。戻りコード=0xreturn_code理由=0xreason_code
説明：	ECCR が PowerExchange ロッガーにデータを書き込もうとしているときに、PowerExchange ロッガー API EVNT 呼び出しが失敗しました。
	メッセージテキスト:
	<ul style="list-style-type: none"> • <i>return_code</i> は PowerExchange のエラーの戻りコードです。 • <i>reason_code</i> は PowerExchange のエラーの理由コードです。
システムのアクション：	ECCR が終了します。
ユーザの応答：	戻りコードと理由コードを使用して、問題を診断します。可能な場合はエラーを修正します。
PWX-07991	GLCI から 拡張情報が返されませんでした。コールドスタートが示されました
説明：	PowerExchange ロッガー GLCI 呼び出しから拡張情報が返されませんでした。

システムのアクション ECCR コールドスタート。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07992 PowerExchange **ロッガー API Stsl (*supported_call*) が失敗しました。戻りコード=0xreturn_code 理由=0xreason_code**

説明： 他の書き込み読み出しを準備するために、PowerExchange ロッガーにタイムスタンプを書き込もうとしているときに、指定された PowerExchange ロッガー API Stsl 呼び出しにエラーが発生しました。

システムのアクション ECCR が終了します。
ン：

ユーザの応答： 戻りコードと理由コードを確認します。

PWX-07993 PowerExchange **ロッガーへの RSTR 呼び出しから拡張情報が返されませんでした**

説明： PowerExchange ロッガーから、RSTR 呼び出しに対する拡張情報が返されませんでした。

システムのアクション ECCR 処理は続行されます。
ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07994 **トレースはオンです**

説明： トレースは有効になっています。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07995 **すべてのトレースがオフになっています。**

説明： このメッセージは、ECCR のトレースが無効になっているときに、ECCR DISPLAY TRACE コマンドに対する応答として発行されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07996 **トレース件数は *n* です**

説明： このメッセージには、有効になったトレースの件数が表示されます。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07997 **トレースレベル=*trace_level* フィルタ=*trace_filter***

説明： 指定されたトレースレベルおよびフィルタのトレースが有効になっています。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07998 **トレース *trace_ID*、レベル *trace_level*、制限 *trace_limit* がオンになりました。**

説明： 指定したトレース ID、トレースレベル、およびトレース制限を持つトレースが有効になりました。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-07999	追加トレース用のスペースがありません
説明:	空のトレーススロットが使用できないため、TRACEON 要求に応えられません。
システムのアクション:	トレースは有効になっていません。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-08000～PWX-08999

PWX-08384	NumericSign (F)
説明:	UPACKED と UZONED フィールドに x'F'のサインニブルが入力されるようにするために、NumericSign を'F'に設定する必要があります。
システムのアクション:	PowerExchange Listener は中断されます。
ユーザの応答:	有効な NUMERICSIGN オプションを指定します。
PWX-08386	登録要約オプション
説明:	抽出マップロード中のパラメータエラーです。
システムのアクション:	ロード処理が中断します。
ユーザの応答:	マップの内容を確認し、必要に応じて Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-08387	登録ソース所有者
説明:	抽出マップのロード中のパラメータエラーです。
システムのアクション:	ロード処理が中断します。
ユーザの応答:	マップの内容を確認し、必要に応じて Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。
PWX-08388	登録ソーステーブル
説明:	抽出マップのロード中のパラメータエラーです。
システムのアクション:	ロード処理が中断します。
ユーザの応答:	マップの内容を確認し、必要に応じて Informatica グローバルカスタマサポートに連絡します。
PWX-08408	TEMPHLQ (上位レベル修飾子)
説明:	無効な上位レベル DSN 修飾子が指定されました。

システムのアクション: PowerExchange Listener は中断されます。
 ユーザの応答: 有効な上位レベル修飾子を指定し、PowerExchange Listener をリスタートします。

PWX-08409 SUBMITTIMEOUT

説明: Netport ジョブがタイムアウトするまでの秒数に無効な数が指定されました。有効範囲は 1~86,400 秒です。

システムのアクション: PowerExchange Listener が存在します。
 ユーザの応答: 有効な値を指定します。

PWX-08486 無効な ORACLECODEPAGE PWX コードページ名 *name*

説明: コードページ名が正しく認識できませんでした。

システムのアクション: 初期化は中断します。
 ユーザの応答: コードページの正しい名前を見つけてください。ユーティリティ ICUCHECK を実行すると、PowerExchange でサポートしているコードページの名前が表示されます。

PWX-08612 ユーザーイグジットの起動を処理するのに必要なリスナ格納領域を取得できませんでした。閉じています。

説明: PowerExchange リスナは、ユーザーイグジットの起動を処理するための十分なリソースを割り当てることができませんでした。

システムのアクション: リスナの処理は終了します。
 ユーザの応答: リスナに十分なシステムリソースがあることを確認してください。

PWX-08613 ユーザーイグジットの起動。重複するプログラム名が検出されました (エントリ *entry_number* プログラム "*program*"、エントリ *entry_number* プログラム "*program*")。

説明: DBMOVER 構成ファイルに、同じユーザーイグジットプログラムを指定する複数の START_UP_USER_EXIT 文が含まれています。

システムのアクション: PowerExchange リスナの処理は終了します。
 ユーザの応答: DBMOVER 構成ファイルを修正し、PowerExchange リスナを再起動します。

PWX-08615 ユーザーイグジットの起動。ユーザープログラム "*program*" がロードされました。

説明: 起動時に、PowerExchange リスナによってユーザーイグジットプログラムが正常にロードされました。

システムのアクション: 処理は継続します。
 ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-08616	ユーザーイグジットの起動。ユーザープログラム"program"のロードに失敗しました (戻りコード=return_code)。
説明:	PowerExchange リスナはユーザーイグジットプログラムをロードできませんでした。
システムのアクション:	PowerExchange リスナの処理は終了します。
ユーザの応答:	ユーザープログラムを修正するか、DBMOVER 構成ファイルから START_UP_USER_EXIT 文を削除します。
PWX-08617	ユーザーイグジットの起動。ユーザープログラム"program"がアンロードされました。
説明:	PowerExchange リスナによってユーザーイグジットプログラムが正常にアンロードされました。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-08618	ユーザーイグジットの起動。ユーザープログラム"program"のアンロードに失敗しました (戻りコード=return_code)。
説明:	ユーザーイグジットプログラムをアンロードできませんでした。
システムのアクション:	PowerExchange リスナの処理は終了します。
ユーザの応答:	ユーザーイグジットプログラムを修正するか、DBMOVER 構成ファイルから START_UP_USER_EXIT 文を削除します。
PWX-08619	ユーザーイグジットの起動。ユーザープログラム"program"を実行のために呼び出しています。
説明:	ユーザーイグジットプログラムは実行のために呼び出されています。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-08620	ユーザーイグジットの起動。ユーザープログラム"program"の実行に失敗しました (戻りコード=return_code)。
説明:	ユーザーイグジットプログラムの実行が失敗しました。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	ユーザーイグジットプログラムを修正するか、DBMOVER 構成ファイルから START_UP_USER_EXIT 文を削除します。
PWX-08621	ユーザーイグジットの起動。ユーザープログラム"program"がクリーンアップのために呼び出されています。
説明:	ユーザーイグジットプログラムはクリーンアップのために呼び出されています。

システムのアクション: 処理は継続します。
ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-08622 **ユーザーイグジットの起動。ユーザープログラム"program"のクリーンアップに失敗しました (戻りコード=return_code)。**

説明: ユーザーイグジットプログラムのクリーンアップ処理が失敗しました。

システムのアクション: 処理は終了します。
ン:

ユーザの応答: ユーザーイグジットプログラムを修正するか、DBMOVER 構成ファイルから START_UP_USER_EXIT 文を削除します。

PWX-08623 **ユーザーイグジットの起動。ユーザープログラム"program"でパーサーが呼び出されました。結果:**

説明: ユーザーイグジットプログラムの結果を分析するためにパーサーが呼び出されました。

システムのアクション: 処理は継続します。
ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-08624 **ユーザーイグジットの起動。ユーザープログラム"program"の解析に失敗した結果 (戻りコード=return_code)。**

説明: パーサーによるユーザーイグジットプログラムの結果の実行が失敗しました。

システムのアクション: 処理は終了します。
ン:

ユーザの応答: ユーザーイグジットプログラムを修正するか、DBMOVER 構成ファイルから START_UP_USER_EXIT 文を削除します。

PWX-08911 **DB2 サブシステム"ssid"登録"reg_name"は、コードページ"code_page_name" (internal_code_page_number) に変換されました。**

説明: 指定されたキャプチャ登録と関連付けられている DB2 for z/OS のテーブルおよびカラム名は、DBMOVER メンバの DB2CODEPAGE 文に定義されているコードページに正常に変換されました。このメッセージは、変更したキャプチャ登録が PowerExchange エージェントで開始されたか、または発生した場合、常に DTLLOG01 SYSOUT データセットに記録されます。

システムのアクション: 処理は継続します。
ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-09000～PWX-09999

PWX-09000	登録: ロードエラー。フィールド=APP_NAME。
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'APP_NAME' (アプリケーション名) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09001	登録: ロードエラー。フィールド=CONDENSE_OPT。
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'CONDENSE_OPT'を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09002	登録: ロードエラー。フィールド=CR_NAME。
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'CR_NAME' (登録名) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09003	登録: ロードエラー。フィールド=CREG_STA。
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'CREG_STA' (登録状態) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09004	登録: ロードエラー。フィールド=DATAMAP_NM。
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'DATAMAP_NM' (データマップ名) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09005	登録: ロードエラー。フィールド=DBID。
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'DBID' (データベース ID) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09006	登録: ロードエラー。フィールド=DTL_NM。
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'DTL_NM' (PowerExchange 名) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09007	登録: ロードエラー。フィールド=EYE。
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'EYE' (アイキャッチャ文字列) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09008	登録: ロードエラー。フィールド=FILENAME。
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'FILENAME'を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09009	登録: ロードエラー。フィールド=IN_DB。
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IN_DB'（入力データベース）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09010	登録: ロードエラー。フィールド=IN_SCHEMA。
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IN_SCHEMA'（入力スキーマ）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09011	登録: ロードエラー。フィールド=IN_TBLE。
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IN_TBLE'（入力テーブル）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09012	登録: ロードエラー。フィールド=IN_TYPE。
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IN_TYPE' (入力タイプ) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09013	登録: ロードエラー。フィールド=MVS_NM。
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'MVS_NM' (MVS 名) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要か、Informatica グローバルカスタマサポートに問い合わせます。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルに関する情報を提供します。
PWX-09014	登録: ロードエラー。フィールド=OBID。
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'OBID' (OB ID) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09015	登録: ロードエラー。フィールド=OUT_COLS。
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'OUT_COLS' (出力カラム数) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09016	登録: ロードエラー。フィールド=OUT_DB。
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'OUT_DB' (出力 DB 名) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション 登録ロード処理が中止します。
ン：

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09017 **登録: ロードエラー。フィールド=OUT_LOCN。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。PowerExchange 構成での出力の場所であるフィールド OUT_LOCN を読み込めませんでした。

システムのアクション 登録ロード処理が中止します。
ン：

ユーザの応答： その他の診断情報については関連メッセージを参照します。どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09018 **登録: ロードエラー。フィールド=OUT_SCHEMA。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'OUT_SCHEMA'（出力スキーマ）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション 登録ロード処理が中止します。
ン：

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09019 **登録: ロードエラー。フィールド=OUT_TBLE。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'OUT_TBLE'（出力テーブル名）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション 登録ロード処理が中止します。
ン：

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09020 **登録: ロードエラー。フィールド=OWNER。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'OWNER'（登録オーナー）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション 登録ロード処理が中止します。
ン：

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09021 **登録: ロードエラー。フィールド=REG_DT_TIME。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'REG_DT_TIME'（登録日時）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション 登録ロード処理が中止します。
ン：

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09022 **登録: ロードエラー。フィールド=REG_TYPE。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'REG_TYPE'（登録の種類）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション 登録ロード処理が中止します。
ン：

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09023 **登録: ロードエラー。フィールド=ROW_ID。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'ROW_ID'を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション 登録ロード処理が中止します。
ン：

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09024 **登録: ロードエラー。フィールド=SRC_COLS。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'SRC_COLS'（ソース列の数を示す）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション 登録ロード処理が中止します。
ン：

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09025 **登録: ロードエラー。フィールド=STRT_RBA。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'STRT_RBA'（先頭相対バイトアドレス）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09026 **登録: ロードエラー。フィールド=TERM_ID。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド名'TERM_ID'（端末 ID）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09027 **登録: ロードエラー。フィールド=USER_NM。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'USER_NM'（ユーザー名）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09028 **登録: ロードエラー。フィールド=PASSWORD。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'PASSWORD'（暗号化パスワード）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09029 **登録: ロードエラー。フィールド=VRM。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'VRM'（バージョン - リリース - 改訂レベル）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09030 **登録: ロードエラー。フィールド=NAME。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'NAME'（登録名）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09031 **登録: ロードエラー。フィールド=DBTYPE。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'DBTYPE'（Sic）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09032 **登録: ロードエラー。フィールド=INSTANCE。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'INSTANCE'（データベースインスタンス）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09033 **登録: ロードエラー。フィールド=VERSION。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'VERSION'（登録バージョン）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09035 **登録: ロードエラー。フィールド=COLNUM_DTL。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'COLNUM_DTL'（カラム番号 - PowerExchange）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09036 **登録: ロードエラー。フィールド=COL_DETAIL_TYPE。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'COL_DETAIL_TYPE'（PowerExchange カラムの種類）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09037 **登録: ロードエラー。フィールド=COL_LEN。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'COL_LEN'（カラムの長さ）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09038 **登録: ロードエラー。フィールド=COL_NUM。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'COL_NUM'（カラム番号）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09039 **登録: ロードエラー。フィールド=COL_PRECISION。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'COL_PRECISION'（カラムの精度）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09040 **登録: ロードエラー。フィールド=COL_SCALE。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'COL_SCALE'（カラムの精度）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09041 **登録: ロードエラー。フィールド=COL_NULLABLE。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'COL_NULLABLE'（カラムの Null 可能フラグ）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09042 **登録: ロードエラー。フィールド=COL_SEARCHFIELD。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'COL_SEARCHFIELD'（カラム検索フィールドフラグ）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09043 **登録: ロードエラー。フィールド=COLNAME。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'COLNAME'（カラム名）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09044 **登録: ロードエラー。フィールド=COLNUM_DB2。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'COLNUM_DB2'（DB2 用のカラム番号）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09045 **登録: ロードエラー。フィールド=COL_TYPE。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'COLNUM_TYPE'（カラムの種類）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09046 **登録: ロードエラー。フィールド=COMMENT。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'COMMENT'（登録コメント）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09047 **登録: ロードエラー。フィールド=EDIT_SEQNO。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'EDIT_SEQNO'（登録編集シーケンス番号）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09048 **登録: ロードエラー。フィールド=IMS_SCHEMA。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_SCHEMA'（IMS スキーマ名）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09049 **登録: ロードエラー。フィールド=IMS_MAPNAME。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_MAPNAME'（登録 IMS データマップ名）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09050 **保存するファイルの名前の作成中に長さエラーが発生しました。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。キャプチャ登録を構成する繰り返しフィールド（例えば、Columns、Datacom Element、IDMS Path record など）のうちの 1 つをビルド中にエラーが発生しました。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09051 **登録: ロードエラー。フィールド=IMS_TABLE。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_TABLE'（登録 IMS テーブル名）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09052 **登録: ロードエラー。フィールド=IMS_DBD_VERSION。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_DBD_VERSION'（登録 IMS DBD バージョン）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09053 **登録: ロードエラー。フィールド=IMS_CAPT_OPT。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_CAPT_OPT'（登録 IMS キャプチャオプション）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション 登録ロード処理が中止します。
ン：

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09054 **SAVE の登録ファイル名の作成中に長さのエラーが発生しました。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録を保存できませんでした。PowerExchange は、登録のコンポーネント部分に基づいて、ローカルのファイル名を作成する必要があります。このローカルファイル名が、最大値'DB_MAX_NAME_LEN'（シングルスバイトで 128 文字）を超えています。ユーザーは、集計長が許容される最大値を超えるようなコンポーネントを提供できないため、このエラーは、内部データのオーバーレイの問題の兆候です。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション 登録ロード処理が中止します。
ン：

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09055 **SAVE のグループファイル名の作成中に長さのエラーが発生しました。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録グループを保存できませんでした。PowerExchange は、登録グループのコンポーネント部分に基づいて、ローカルのファイル名を作成する必要があります。このローカルファイル名が、最大値'DB_MAX_NAME_LEN'（シングルスバイトで 128 文字）を超えています。ユーザーは、集計長が許容される最大値を超えるようなコンポーネントを提供できないため、このエラーは、内部データのオーバーレイの問題の兆候です。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション 登録ロード処理が中止します。
ン：

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09056 **登録: ロードエラー。フィールド=IMS_DBD_SEGNAME。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_DBD_SEGNAME'（登録 IMS DBD セグメント名）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション 登録ロード処理が中止します。
ン：

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09057 **登録: ロードエラー。フィールド=IMS_DBD_SEGNUM。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_DBD_SEGNUM'（登録 IMS DBD セグメント番号）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09058 **登録: ロードエラー。フィールド=IMS_DBD_DBTYPE。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_DBD_DBTYPE'（登録 IMS DBD データベースの種類）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09059 **登録が見つかりません。抽出定義を変更しますか？**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。

システムのアクション： 抽出マップを修正するためのダイアログが開きます。

ユーザの応答： 必要に応じて、キャプチャ抽出マップを修正します。

PWX-09061 **登録。グループ：ロードエラー。フィールド=LOCATION**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録グループをロードできませんでした。フィールド'LOCATION'（sic）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録グループのロード処理が中止されました。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録グループファイルのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09062	登録。グループ：ロードエラー。フィールド=ACCMETH
説明：	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録グループをロードできませんでした。フィールド'ACCMETH'（アクセス方式）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション：	登録グループのロード処理が中止されました。
ユーザの応答：	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録グループファイルのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09063	登録。グループ：ロードエラー。フィールド=INSTANCE
説明：	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録グループをロードできませんでした。フィールド'INSTANCE'（データベースインスタンス）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション：	登録グループのロード処理が中止されました。
ユーザの応答：	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録グループファイルのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09064	登録。グループ：ロードエラー。フィールド=USER_NM
説明：	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録グループをロードできませんでした。フィールド'USER_NM'（ユーザー名）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション：	登録グループのロード処理が中止されました。
ユーザの応答：	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録グループファイルのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09065	登録。グループ：ロードエラー。フィールド=PWD
説明：	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録グループをロードできませんでした。フィールド'PWD'（暗号化パスワード）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション：	登録グループのロード処理が中止されました。
ユーザの応答：	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録グループファイルのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09066 登録。グループ：グループの作成中にエラーが発生しました

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録グループをロードできませんでした。ロードされた登録グループを保持するにはメモリが十分ではありませんでした。 重大なシステムエラーです。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録グループのロード処理が中止されました。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録グループファイルのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。解決には、徹底した'MEM'トレースが必要になる可能性があります。 Informatica グローバルカスタマサポートと協力して、ユーザーのサイトではなく Informatica グローバルカスタマサポートのサイトで問題を再現できるように作業を進める必要があります。

PWX-09067 登録。グループ：ロードエラー。フィールド=PARAM_NAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録グループをロードできませんでした。フィールド'PARAM_NAME'（登録グループ名）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録グループのロード処理が中止されました。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録グループファイルのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09068 登録: ロードエラー。フィールド=IMS_COLNAME。

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_COLNAME'（IMS カラム名）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09069 登録: ロードエラー。フィールド=IMS_COLNUM_DB2

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_COLNUM_DB2'（DB2 用の IMS カラム番号）を読み込めませんでした。この状況（IMS 登録）では、このフィールドは常にゼロである必要があります。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09070 登録: ロードエラー。フィールド=IMS_COLNUM_DTL

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_COLNUM_DTL'（PowerExchange 用の IMS カラム番号）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09071 登録: ロードエラー。フィールド=IMS_SEGNAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_SEGNAME'（IMS カラムセグメント名）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09072 登録: ロードエラー。フィールド=IMS_DETAIL_TYPE

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_DETAIL_TYPE'（IMS カラム PowerExchange の種類）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09073 登録: ロードエラー。フィールド=IMS_COL_TYPE

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_COL_TYPE'（IMS カラムの種類）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09074 **登録: ロードエラー。フィールド=IMS_COL_LEN**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_COL_LEN' (IMS カラムの長さ) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09075 **登録: ロードエラー。フィールド=IMS_KEY_COL_SEQ**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_KEY_COL_SEQ' (複合キー内の IMS カラムシーケンス) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09076 **登録: ロードエラー。フィールド=IMS_PRECISION**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_PRECISION' (IMS カラムの精度) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09077 **登録: ロードエラー。フィールド=IMS_SCALE**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_SCALE' (IMS カラムスケール) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09078 **登録: ロードエラー。フィールド=IMS_NULLABLE**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_NULLABLE' (IMS Null にできるフィールドフラグ) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09079 **登録: ロードエラー。フィールド=IMS_SEARCHFIELD**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_SEARCHFIELD' (IMS カラム検索可能フィールド) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09080 **アクセス方式がデータベースロックを取得できませんでした。**

説明： 指定されたファイルはシステムの別のタスクで使用中であるため、取得できません。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 指定されたファイルなしではアクセス方式を実行できません。呼び出し元に返されます。

ユーザの応答： 必要なファイルをロックしているプロセスを解放してから、処理を再試行します。このようなプロセスがない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにどのトレースが必要かを問い合わせます。

PWX-09081 **<caller>の DB を開いているときにエラーが発生しました。戻りコード<return_code>。**

説明： PowerExchange は、呼び出し元の要求により現在の登録グループの保存に必要なデータベースを開くことができません。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 指定されたファイルなしではアクセス方式を実行できません。呼び出し元に返されます。

ユーザの応答： PowerExchange API からのフィードバックコードである戻りコードに基づいて、エラーの原因を特定してください。これらのコードの意味については、提供されたマニュアルを参照してください。

PWX-09082 API 関数<function>がゼロ以外の戻りコード<return_code>を返しました。DBCB 戻りコード<return_code1/return_code2/return_code3>。

説明： PowerExchange API 内で一般エラーが発生しました。

メッセージテキスト：

- *file_name* は、読み取ろうとしているファイルの名前です。
- *function* は、エラーの発生時に処理されていた関数の名前です。
- *return_code* は API 戻りコードです。
- *return_code1*、*return_code2*、および *return_code3* は、DBCB 戻りコードです。これは、Informatica グローバルカスタマサポートに報告する必要のある内部コードです。

システムのアクション： アクセス方式は続行できず、呼び出し元に戻ります。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09083 エラー - ロードセッション作業領域が指定されていません。

説明： 要求管理のための作業領域がないため CDEP データベースを読み込めません。内部論理領域。通常は、製品開発時のトラップとして使用されます。ユーザーはメッセージを見ることはありませんが、メッセージを網羅するために手順をここに示します。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： アクセス方式は続行できず、呼び出し元に戻ります。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09084 オブジェクト<object>を作成できませんでした。

説明： PowerExchange 内部処理がユーザー要求を満たすためにメモリに項目を作成中です。内部論理領域。通常は、製品開発時のトラップとして使用されます。ユーザーはメッセージを見ることはありませんが、メッセージを網羅するために手順をここに示します。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： PowerExchange は続行できず、呼び出し元に戻ります。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09085 **入力プロセッサの初期化に失敗しました。戻りモード**
<return_code>。

説明： 製品開発時にのみ見られる可能性のある内部エラーです。入力プロセッサは内部の PowerExchange 関数であり、この領域の問題は、Informatica グローバルカスタマサポートが参照する必要があります。

システムのアクション： PowerExchange は続行できず、呼び出し元に戻ります。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09086 **入力プロセッサ - 異常終了。戻りコード****<return_code>。**

説明： このメッセージは、診断情報を補完するものであり、特定の問題領域を説明する前のメッセージの後に発行されます。戻りコードは、問題に対する PowerExchange ソフトウェアの内部の応答を示します。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： PowerExchange は続行できず、呼び出し元に戻ります。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09087 **削除要求のパラメータがありません。戻りコード**
<return_code>。

説明： スキーマとマップ名の両方が削除要求で指定される必要があります。このメッセージは、内部の健全性のチェックから発行され、ユーザーは見ることはありません。

システムのアクション： PowerExchange は続行できず、呼び出し元に戻ります。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09088 **レコードを追加できません。レコードシーケンス**
<sequence>がファイル<file>に一致しません。

説明： ユーザーはデータベースにレコードを追加しようしましたが、内部制御が拒否したために要求は許可されませんでした。2 人のユーザーが同じレコードを同時に更新しようとした場合に多く発生する可能性があります。

システムのアクション PowerExchange は続行できず、呼び出し元に戻ります。
ン：

ユーザの応答： 2人のユーザーが同時に同じレコードを更新しないように、更新要求を調整します。

PWX-09089 **レコードを追加できません。スキーマ<schema>、テーブル<table>はすでにレコード<record>によって使用されています。**

説明： ユーザーがレコードをデータベースに追加しようとしています。特定のレコードとスキーマの組み合わせがすでに別の登録で使用されているため、要求が許可されません。

システムのアクション PowerExchange が登録を拒否します。
ン：

ユーザの応答： 該当するスキーマとテーブルの組み合わせをすでに使用している登録を特定し、要求の制御方法を決定します。

PWX-09090 **キー<key>のレコードが見つかりませんでした。**

説明： 指定されたキーのレコードがデータベースに存在しません。ユーザーが通常とは異なる方法でデータにアクセスし、キーを手作業で供給している場合を除いて、Informatica グローバルカスタマサポート側のエラーです。

システムのアクション PowerExchange が登録を拒否します。
ン：

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09092 **登録: ロードエラー。フィールド=IMS_SYSTEM_TYPE。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_SYSTEM_TYPE' (sic) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション 登録ロード処理が中止します。
ン：

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09093 **登録: ロードエラー。フィールド=IMS_SPANS_SEGMENTS。**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_SPANS_SEGMENTS' (IMS Spans セグメントフラグ) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション 登録ロード処理が中止します。
ン：

ユーザの応答：	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09094	登録スキーマ名 <i>schema_name</i> の形式が不適切です。2 番目の文字 <i>character</i> はサポートされているデータベースタイプを特定しません。
説明：	指定された登録スキーマ名の形式は不適切であり、サポートされているデータベースタイプを特定しません。このような状況は、ターゲットスキーマ名が命名標準に従っていない場合に、DTLURDMO のコピー操作中に発生する可能性があります。
システムのアクション：	システムは警告メッセージを発行します。
ユーザの応答：	スキーマ名を確認します。
PWX-09095	ユーザー ID<<i>user_ID</i>>は、<i>area</i> に対するアクセス<<i>access</i>>を持っていません。戻りコード<<i>return_code</i>>。
説明：	ユーザー独自のセキュリティソフトウェアによっては、指定されたユーザー ID にはアクセス権がありません。
システムのアクション：	PowerExchange は続行できず、呼び出し元に戻ります。
ユーザの応答：	内部のセキュリティ手順を見直します。ユーザーがアクセス権を必要とする場合は、対応するシステムのセキュリティソフトウェア (z/OS システムの RACF など) の定義を更新します。ユーザーがアクセス権を持たない場合は、状況に適切に対処します。
PWX-09096	認証警告: ユーザー ID<<i>user_ID</i>>、戻りコード<<i>return_code</i>>。
説明：	ユーザー独自のセキュリティソフトウェアによっては、指定されたユーザー ID にはアクセス権がありません。
システムのアクション：	PowerExchange は続行できず、呼び出し元に戻ります。
ユーザの応答：	内部のセキュリティ手順を見直します。ユーザーがアクセス権を必要とする場合は、対応するシステムのセキュリティソフトウェア (z/OS システムの RACF など) の定義を更新します。ユーザーがアクセス権を持たない場合は、状況に適切に対処します。
PWX-09097	ユーザー<<i>user_ID</i>>は、変更データキャプチャ機能を使用するライセンスを持っていません。
説明：	指定されたユーザー ID は、ユーザーのライセンス機能によるとアクセス権がありません。
システムのアクション：	PowerExchange は続行できず、呼び出し元に戻ります。
ユーザの応答：	ライセンスまたはユーザー認証を見直します。

PWX-09098	CPR Enq/Deq が失敗しました。戻りコード <return_code> (リソース<resouce>、関数<function>)。
説明:	z/OS システムで、PowerExchange はあるシステムデータベース ('リソース') 上にキューを追加します。
システムのアクション:	PowerExchange は続行できず、呼び出し元に戻ります。
ユーザの応答:	PowerExchange は、システムブロックによりこれを実行できませんでした。戻りコードの情報と関数を組み合わせて、考えられる失敗の原因を特定します。最も明白で頻繁に発生する理由は、別のアクティブなタスクが要求されたデータベースにすでに割り当てられていたことです。
PWX-09099	データベースエラー。<database>データベースにトレーラがありません。
説明:	PowerExchange は、指定されたデータベースのトレーラレコードを検出できません。
システムのアクション:	PowerExchange は続行できず、呼び出し元に戻ります。
ユーザの応答:	おそらく DITTO などの外部プログラムによる編集によって、データベースが損傷を受けています。Informatica グローバルカスタマサポートの指示に従って、データベースにトレーラレコードを追加します。
PWX-09100	CDEP ロードエラー。フィールド=APPLICATION
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'APPLICATION' (アプリケーション名)を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09101	CDEP ロードエラー。フィールド=QUAL_EXT_NM
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'QUAL_EXT_NM' (修飾抽出名)を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09102	CDEP ロードエラー。フィールド=START_FLIP
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'START_FLIP' (2 のコンプリメント形式での開始タイムスタンプ) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09103	CDEP ロードエラー。フィールド=STRT_CAPT_CPT
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'STRT_CAPT_CPT' (キャプチャチェックポイントの開始) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09104	CDEP ロードエラー。フィールド=STRT_RBA
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'STRT_RBA' (先頭相対バイトアドレス) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09105	CDEP ロードエラー。フィールド=STRT_LRSN
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'STRT_LRSN' (LRSN の開始) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09106	CDEP ロードエラー。フィールド=END_CAPT_CPT
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'END_CAPT_CPT'（キャプチャチェックポイントの終了）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09107	CDEP ロードエラー。フィールド=END_RBA
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'END_RBA'（相対バイトアドレスの終了）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09108	CDEP ロードエラー。フィールド=END_LRSN
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'END_LRSN'（LRSN の終了）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09109	CDEP ロードエラー。フィールド=START_TYPE
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'START_TYPE'（Run Type の開始）を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09110	CDEP ロードエラー。フィールド=START_PARM
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'START_PARM' (Start Run パラメータ) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09111	CDEP ロードエラー。フィールド=USER_NM
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'USER_NM' (ユーザー名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09112	CDEP ロードエラー。フィールド=TERM_ID
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド名'TERM_ID' (端末 ID) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09113	CDEP ロードエラー。フィールド=MVS_NM
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'MVS_NM' (MVS ユーザー名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09114	CDEP ロードエラー。フィールド=DTL_NM
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'DTL_NM' (PowerExchange ユーザー名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09115	CDEP ロードエラー。フィールド=EXTRACT_START
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'EXTRACT_START' (抽出開始タイムスタンプ) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09116	CDEP ロードエラー。フィールド=EXTRACT_END
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'EXTRACT_END' (抽出終了タイムスタンプ) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09117	CDEP ロードエラー。フィールド=REGISTRATION_NAME
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'REGISTRATION_NAME' (登録名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09118	CDEP ロードエラー。フィールド=CONDENSED_FNAME (EXT)
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'CONDENSED_FNAME' (圧縮ファイル名 - 抽出) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09119	CDEP ロードエラー。フィールド=CAPT_CPT
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'CAPT_CPT' (キャプチャチェックポイント) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09120	CDEP ロードエラー。フィールド=RBA
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'RBA' (RBA) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09121	CDEP ロードエラー。フィールド=CONDENSED_FNAME (CON)
説明:	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'CONDENSED_FNAME' (圧縮ファイル名 - 圧縮) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。
システムのアクション:	CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09122 CDEP **ロードエラー。フィールド=STATUS**

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'STATUS' (状態コード) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09123 CDEP **ロードエラー。フィールド=STATUS_TS**

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'STATUS_TS' (状態タイムスタンプ) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09124 CDEP **ロードエラー。フィールド=REGLK**

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'REGLK' (圧縮登録リンク) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09125 CDEP **ロードエラー。フィールド=START_FLIP**

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'START_FLIP' (開始タイムスタンプ - ソートの反転) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09126 **CDEP ロードエラー。フィールド**
 =AINVAR1_REGISTRATION_NAME

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'AINVAR1_REGISTRATION_NAME'（アプリケーションインデックス登録名）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09127 **CDEP ロードエラー。フィールド=AINVAR1_REG_TAG**

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'AINVAR1_REG_TAG'（アプリケーションインデックス登録タグ）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09128 **CDEP ロードエラー。フィールド=AINVAR1_STR_SEQ**

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'AINVAR1_STR_SEQ'（アプリケーションインデックススタートシーケンス）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09129 **CDEP ロードエラー。フィールド=AINVAR1_STR_RES**

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'AINVAR1_STR_SEQ'（アプリケーションインデックスリスタートトークン）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション CDEP ロード処理が中止されます。
ン：

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09130 **CDEP ロードエラー。EXT オブジェクトを作成できませんでした。**

説明： PowerExchange 内部処理がユーザー要求を満たすためにメモリに項目を作成中です。内部論理領域。通常は、製品開発時のトラップとして使用されます。ユーザーはメッセージを見ることはありませんが、メッセージを網羅するために手順をここに示します。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション PowerExchange は続行できず、呼び出し元に戻ります。
ン：

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09131 **CDEP ロードエラー。CON オブジェクトを作成できませんでした。**

説明： PowerExchange 内部処理がユーザー要求を満たすためにメモリに項目を作成中です。内部論理領域。通常は、製品開発時のトラップとして使用されます。ユーザーはメッセージを見ることはありませんが、メッセージを網羅するために手順をここに示します。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション PowerExchange は続行できず、呼び出し元に戻ります。
ン：

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09132 **CDEP ロードエラー。フィールド=AINVAR1_UNACTIONED**

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'AINVAR1_UNACTIONED'（アプリケーションインデックスの非アクションフラグ）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション CDEP ロード処理が中止されます。
ン：

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09133 **TOKEN <token>の長さ<length>。最大長<nnn>を超えています。**

説明： 内部論理領域。通常は、製品開発時のトラップとして使用されます。ユーザーはメッセージを見ることはありませんが、メッセージを網羅するために手順をここに示します。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： PowerExchange は続行できず、呼び出し元に戻ります。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09134 **CDEP ロードエラー。フィールド=AINPARM_APPLICATION**

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'AINPARM_APPLICATION'（アプリケーションインデックスアプリケーション）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09135 **CDEP ロードエラー。フィールド=AINPARM_QUAL_EXT_NM**

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'AINPARM_QUAL_EXT_NM'（アプリケーションインデックス抽出名）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09136 **CDEP ロードエラー。フィールド=AINPARM_STRT_FLIP**

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'AINPARM_STRT_FLIP'（アプリケーションインデックス開始タイムスタンプ - 反転）を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09137 CDEP **ロードエラー。フィールド**
=AINPARAM_GUI_CURR_UPDT

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'AINPARAM_GUI_CURR_UPDT'を読み込みませんでした。(アプリケーションインデックス GUI の現在の更新タイムスタンプ) 詳しい診断には、関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09138 CDEP **ロードエラー。フィールド**=AINPARAM_RST_NO

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'AINPARAM_RST_NO'を読み込みませんでした。(アプリケーションインデックスリスタート番号) 詳しい診断には、関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09139 CDEP **ロードエラー。フィールド**=CDLDA_PAV_CREATE

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。メモリでアプリケーションインデックスレコードの変数部分の子レコードとして作成しようとしてしました。内部論理領域。通常は、製品開発時のトラップとして使用されます。ユーザーはメッセージを見ることはありませんが、メッセージを網羅するために手順をここに示します。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。フィールド'CDLDA_PAV_CREATE'を読み込みませんでした。(アプリケーションインデックスリスタート番号) 詳しい診断には、関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09140	メモリエラー。リソース<resource>、戻りコード<return_code>。
説明：	メモリ管理機能で検出された全般の目的の診断エラーです。リソース名は、割り当てられた内部テーブルまたはメモリブロックを示します。理由コードは、メモリ管理を制御する全般目的のルーチンから返されたものです。
システムのアクション：	実行中の CDEP 機能が中止します。
ユーザの応答：	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09141	CDEP ロードエラー。フィールド=EXT_NM5_REGISTRATION_NAME
説明：	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'EXT_NM5_REGISTRATION_NAME'を読み込みませんでした。(抽出レコード登録名) 詳しい診断には関連メッセージを参照します。
システムのアクション：	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答：	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09142	CDEP ロードエラー。フィールド=EXT_NM5_REG_TAG
説明：	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'EXT_NM5_REG_TAG'を読み込みませんでした。(抽出レコード登録タグ) 詳しい診断には関連メッセージを参照します。
システムのアクション：	CDEP ロード処理が中止されます。
ユーザの応答：	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09143	CDEP ロードエラー。フィールド=EXT_NM5_STR_SEQ
説明：	PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'EXT_NM5_STR_SEQ'を読み込みませんでした。(抽出レコード開始シーケンストークン) 詳しい診断には関連メッセージを参照します。
システムのアクション：	CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09144 CDEP **ロードエラー。フィールド=EXT_NM5_STR_RES**

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'EXT_NM5_STR_RES'を読み込みませんでした。(抽出レコード開始のリスタートトークン) 詳しい診断には関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09145 CDEP **ロードエラー。フィールド=EXT_NM5_END_SEQ**

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'EXT_NM5_END_SEQ'を読み込みませんでした。(抽出レコード終了シーケンストークン) 詳しい診断には関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09146 CDEP **ロードエラー。フィールド=EXT_NM5_END_RES**

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'EXT_NM5_END_RES'を読み込みませんでした。(抽出レコード終了のリスタートトークン) 詳しい診断には関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09147 CDEP **ロードエラー。フィールド=CDEP_TOK_SEQ**

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'CDEP_TOK_SEQ'を読み込みませんでした。(CDEP シーケンストークン) 詳しい診断には関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09148 CDEP **ロードエラー。フィールド=CDEP_TOK_RST**

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'CDEP_TOK_RST'を読み込みませんでした。(CDEP リスタートトークン) 詳しい診断には関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09149 CDEP **ロードエラー。フィールド=EXT_NM_TOK_SEQ**

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'EXT_NM_TOK_SEQ'を読み込みませんでした。(CDEP 抽出シーケンストークン) 詳しい診断には関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09150 CDEP **ロードエラー。フィールド=EXT_NM_TOK_RST**

説明： PowerExchange は、指定された CDEP レコードをロードできませんでした。フィールド'EXT_NM_TOK_RST'を読み込みませんでした。(CDEP 抽出リスタートトークン) 詳しい診断には関連メッセージを参照します。

システムのアクション： CDEP ロード処理が中止されます。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09151 **登録: ロードエラー。フィールド=IMS_COLLECTOR_START**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド IMS_COLLECTOR_START (IMS ECCR 開始時刻)を読み込みませんでした。診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が終了します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09152 登録: ロードエラー。フィールド=IMS_IMS_DBD_NAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_IMS_DBD_NAME' (IMS DBD 名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09153 登録: ロードエラー。フィールド=AS4_JOURNAL_NAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'AS4_JOURNAL_NAME' (i5/OS ジャーナル名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09154 登録: ロードエラー。フィールド=AS4_JOURNAL_LIB

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'AS4_JOURNAL_LIB' (i5/OS ジャーナル名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09155 登録: ロードエラー。フィールド=AS4_START_POS

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'AS4_START_POS' (i5/OS 開始位置) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09156 登録: ロードエラー。フィールド=AS4_COLNAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'AS4_COLNAME' (i5/OS カラム名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09157 登録: ロードエラー。フィールド=AS4_COLNUM_DB2

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'AS4_COLNUM_DB2' (i5/OS DB2 列名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09158 登録: ロードエラー。フィールド=AS4_COLNUM_DTL

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'AS4_COLNUM_DTL' (i5/OS PowerExchange カラム番号) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09159 登録: ロードエラー。フィールド=AS4_SEGNAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'AS4_SEGNAME' (i5/OS セグメント名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09160 **登録: ロードエラー。フィールド=AS4_DETAIL_TYPE**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'AS4_DETAIL_TYPE' (i5/OS PowerExchange の種類) を読み込めませんでした。 その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09161 **登録: ロードエラー。フィールド=AS4_COL_TYPE**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'AS4_COL_TYPE' (i5/OS カラムタイプ) を読み込めませんでした。 その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09162 **登録: ロードエラー。フィールド=AS4_COL_LEN**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'AS4_COL_LEN' (i5/OS カラムの長さ) を読み込めませんでした。 その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09163 **登録: ロードエラー。フィールド=AS4_KEY_COL_SEQ**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'AS4_KEY_COL_SEQ' (i5/OS キーカラムシーケンス番号) を読み込めませんでした。 その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09164 **登録: ロードエラー。フィールド=AS4_PRECISION**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'AS4_PRECISION' (i5/OS カラムの精度) を読み込みませんでした。 その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09165 **登録: ロードエラー。フィールド=AS4_SCALE**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'AS4_SCALE' (i5/OS カラムスケール) を読み込みませんでした。 その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09166 **登録: ロードエラー。フィールド=AS4_NULLABLE**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'AS4_NULLABLE' (i5/OS 列 Null 可能なフラグ) を読み込みませんでした。 その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09167 **登録: ロードエラー。フィールド=AS4_SEARCHFIELD**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'AS4_SEARCHFIELD' (i5/OS "列が検索フィールドです"フラグ) を読み込みませんでした。 その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09168 登録: ロードエラー。フィールド=AS4_RECEIVER_NAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'AS4_RECEIVER_NAME' (i5/OS 受信者名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照します。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09169 登録: ロードエラー。フィールド=AS4_RECEIVER_LIB

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'AS4_RECEIVER_LIB' (i5/OS 受信者名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09170 登録: ロードエラー。フィールド=REGISTRATION_TAG

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'REGISTRATION_TAG' (Sic) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09171 登録: ロードエラー。フィールド=REAL FILE NAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'REAL FILE NAME' (Sic) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09172 登録: ロードエラー。フィールド= DATA SET NAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'DATA SET NAME' (Sic) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09173 登録: ロードエラー。フィールド= ADABAS FILE NUMBER

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'ADABAS FILE NUMBER'を読み取れませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09174 登録: ロードエラー。フィールド= ADABAS DB ID

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'ADABAS DB ID' (Adabas データベース ID) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09175 登録: ロードエラー。フィールド= DCOM DB ID

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'DCOM DB ID' (Datacom データベース ID) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09176 登録: ロードエラー。フィールド= DCOM_TABLENAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'DCOM_TABLENAME' (Datacom データベース ID) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09177 登録: ロードエラー。フィールド= DCOM_TABLEID

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'DCOM_TABLEID' (Datacom テーブル ID) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09178 登録: ロードエラー。フィールド= DCOM_RECORDLENGTH

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'DCOM_RECORDLENGTH' (Datacom レコードの長さ) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09179 登録: ロードエラー。フィールド= DCOM_RECOVERYFLAG

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'DCOM_RECOVERYFLAG' (Datacom リカバリフラグ) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09180 登録: ロードエラー。フィールド= DCOM_VERSION

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'DCOM_VERSION' (Datacom のバージョン) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09181 登録: ロードエラー。フィールド= DCOM ELEMENT NAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'DCOM ELEMENT NAME' (Datacom エlement 名) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09182 登録: ロードエラー。フィールド= DCOM ELEMENT OFFSET

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'DCOM ELEMENT OFFSET' (Datacom エlement オフセット) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09183 登録: ロードエラー。フィールド= DCOM_ELEMENT LENGTH

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'DCOM_ELEMENT LENGTH' (Datacom エlement の長さ) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09184 登録: ロードエラー。フィールド= IMS_KEYLEN

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_KEYLEN' (IMS キーの長さ) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09185 登録: ロードエラー。フィールド= IMS_KEYSTART

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_KEYSTART' (IMS キーの開始) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09186 登録: ロードエラー。フィールド= IMS_DBD_DSNAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_DBD_DSNAME' (IMS DBD データセット名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09187 登録: ロードエラー。フィールド= IDMS_CVNAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMS_CVNAME' (IDMS CV データセット名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09188 登録: ロードエラー。フィールド=IDMS_BASE_RECNAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'*IDMS_BASE_RECNAME*' (IDMS ベースレコード名) を読み取れませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09189 登録: ロードエラー。フィールド= IDMS_BASE_RECID

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'*IDMS_BASE_RECID*' (IDMS ベースレコード名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09190 登録: ロードエラー。フィールド= IDMS_DBNAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'*IDMS_DBNAME*' (IDMS データベース名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09191 登録: ロードエラー。フィールド= IDMS_COMPRESS_IND

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'*IDMS_COMPRESS_IND*' (IDMS 圧縮インジケータ) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09192 登録: ロードエラー。フィールド= IDMS_VARIABLE_IND

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMS_VARIABLE_IND' (IDMS 変数インジケータ) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09193 登録: ロードエラー。フィールド= IDMSP_CHAIN_IND

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMSP_CHAIN_IND' (IDMS Path - Chain インジケータ) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09194 登録: ロードエラー。フィールド= IDMSP_IDMSP_RECORD_NAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMSP_IDMSP_RECORD_NAME' (IDMS パス - レコード名) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09195 登録: ロードエラー。フィールド= DMSP_SET_NAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMSP_SET_NAME' (IDMS パス - セット名) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション: 登録ロード処理が中止します。
ン:

ユーザの応答: どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09196 **登録: ロードエラー。フィールド= IDMSP_RECORD_ID**

説明: PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMSP_RECORD_ID' (IDMS パス - レコード ID) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション: 登録ロード処理が中止します。
ン:

ユーザの応答: どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09197 **登録: ロードエラー。フィールド= IDMSP_COMPRESS_IND**

説明: PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMSP_COMPRESS_IND' (IDMS パス - 圧縮インジケータ) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション: 登録ロード処理が中止します。
ン:

ユーザの応答: どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09198 **登録: ロードエラー。フィールド= IDMSP_VARIABLE_IND**

説明: PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMSP_VARIABLE_IND' (IDMS パス - 変数インジケータ) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション: 登録ロード処理が中止します。
ン:

ユーザの応答: どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09199 **登録: ロードエラー。フィールド= IDMSP_CONN_TYPE**

説明: PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMSP_CONN_TYPE' (IDMS パス - 接続の種類) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション: 登録ロード処理が中止します。
ン:

ユーザの応答: どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09200 **呼び出し元が DBD 名を提供しませんでした**

説明: 内部関数の呼び出しが正確さを検証しましたが、エラーが検出されました。内部関数は、'DBD Load'です。呼び出しでのエラーは、ロードされる DBD 名が提供されていないことを示しています。

システムのアクション: 関数呼び出しが拒否されました。呼び出しは、これに対処し、エラーを詳細に補完するメッセージを発行しました。

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。

PWX-09201 **呼び出し元が DBD ファイル名を提供しませんでした**

説明: 内部関数の呼び出しが正確さを検証しましたが、エラーが検出されました。内部関数は、'DBD Load'です。呼び出しでのエラーは、ロードされる DBD を含むファイル名が提供されていないことを示します。

システムのアクション: 関数呼び出しが拒否されました。呼び出しは、これに対処し、エラーを詳細に補完するメッセージを発行しました。

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。

PWX-09202 **呼び出し元が Recon Name を提供しませんでした**

説明: 内部関数の呼び出しが正確さを検証しましたが、エラーが検出されました。内部関数は'Recon Name'です。呼び出しでのエラーは、ロードされる DBD を含むファイル名が提供されていないことを示します。

システムのアクション: 関数呼び出しが拒否されました。呼び出しは、これに対処し、エラーを詳細に補完するメッセージを発行しました。

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。

PWX-09203 **呼び出し元が Recon File Name を提供しませんでした**

説明: 内部関数の呼び出しが正確さを検証しましたが、エラーが検出されました。内部関数は'Recon File Name'です。呼び出しでのエラーは、ロードされる DBD を含むファイル名が提供されていないことを示します。

システムのアクション: 関数呼び出しが拒否されました。呼び出しは、これに対処し、エラーを詳細に補完するメッセージを発行しました。

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。

PWX-09204	呼び出し元が DBD Segment Name を提供しませんでした
説明:	内部関数の呼び出しが正確さを検証しましたが、エラーが検出されました。内部関数は'DBD Segment Name'です。呼び出しでのエラーは、ロードされる DBD を含むファイル名が提供されていないことを示します。
システムのアクション:	関数呼び出しが拒否されました。呼び出しは、これに対処し、エラーを詳細に補完するメッセージを発行しました。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。
PWX-09250	I/O 操作<operation> (データセット<data_set>上の) に失敗しました。システムコード<system_code>。
説明:	指定の操作 - 読み取り、書き込み、オープン、クローズ - が指定のデータセットに対して失敗しました。エラーを示す戻りコードは、system_code フィールドで提供されます。データセットの破壊を示す可能性がある重大なシステムエラーが発生しました。
システムのアクション:	実行中の API サービスと I/O 操作が中止します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。
PWX-09251	ISB Enq/Deq が失敗しました。戻りコード<return_code> (リソース <resource>、関数<function>)。
説明:	実際にはエラーではありませんが、ユーザーデータの潜在的な破壊を防ぐ安全機能です。アクセス方式'ISB'は取得可能なリソースが必要です。PowerExchange API を介して作成されたユーザー要求のサポートでリソースを要求中です。同時に実行中のユーザー要求が'function'フィールドで通知されます。アクセス方式で取得できないリソースは、'resource'フィールドで通知されます。エラーを示す戻りコードは、return_code フィールドで提供されます。
システムのアクション:	実行中の API サービスと I/O 操作が中止します。
ユーザの応答:	競合（同時に実行中の 2 つの同じ処理など）の原因を決定できる場合は、ローカルで問題を解決してください。そうでない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。
PWX-09252	無効な関数の動詞<function_verb>。
説明:	内部関数の呼び出しが正確さを検証しましたが、エラーが検出されました。メッセージで引用されている呼び出し元の SQL で提供された動詞を認識できません。
システムのアクション:	関数呼び出しが拒否されました。呼び出しは、これに対処し、エラーを詳細に補完するメッセージを発行しました。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。

PWX-09253	<resource>の動的割り当てが失敗しました。 戻りコード<return_code>。
説明：	現在の処理を完了するために、表示されたリソースが必要ですが、PowerExchange はそれを取得できませんでした。
システムのアクション：	関数呼び出しが拒否されました。呼び出し元では、エラーを詳細に補完するメッセージを発行しました。
ユーザの応答：	以下のアクションを完了します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 動的割り当ての戻りコードについて、オペレーティングシステムのサプライヤのマニュアルを参照してください。 2. Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。
PWX-09254	DBD<IMS_DBD>のロードが失敗しました。 戻りコード<return_code>、理由コード<reason_code>。
説明：	指定された IMS DBD をロードできませんでした。 戻りコードと理由コードは、ネイティブ IMS のものであり、エラーを説明します。IMS の問題である可能性があります。
システムのアクション：	関数呼び出しが拒否されました。
ユーザの応答：	以下の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. IBM IMS の戻りコードのマニュアルを参照してください。 2. Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。
PWX-09255	モジュール<load_module>のロードが失敗しました。 戻りコード<return_code>、理由コード<reason_code>。
説明：	指定されたロードモジュールをロードできませんでした。 戻りコードと理由コードは、IMS にネイティブであり、エラーについて説明しています。IMS の問題である可能性があります。
システムのアクション：	関数呼び出しが拒否されました。
ユーザの応答：	以下の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. IBM IMS の戻りコードのマニュアルを参照してください。 2. Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。

PWX-09256	テーブル<table_name> (<database>内の) フルイメージコピーが取得されませんでした。
説明:	<p>データベース内で指定のテーブルの DB2 フルイメージコピーが見つかりませんでした。このエラーメッセージは、DB2 イメージコピーファイルの読み取り要求でデータセット名が指定されず、FULL SHRLEVEL REFERENCE コピーが存在しない場合に発行されます。</p> <p>また、テーブルがパーティションテーブルスペースに存在する場合にも発行されることがあります。パーティションテーブルスペースに対する要求の場合は、データセット名を指定してください。この場合、イメージコピーファイルには一部のパーティションのデータが含まれないことがあります。</p>
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	DB2 DBA に問い合わせてください。このデフォルト動作をオーバーライドするには、データセット名を指定します。他のメッセージを確認し、環境的な問題が存在しないかもチェックします。
PWX-09257	DBD <DBD>のセグメントが見つかりませんでした。
説明:	指定の DBD には、セグメントがないように思われます。IMS の問題である可能性があります。
システムのアクション:	関数呼び出しが拒否されました。呼び出しは、これに対処し、エラーを詳細に補完するメッセージを発行しました。
ユーザの応答:	<p>以下の手順を実行してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正しい IMS パラメータが dbmover.cfg パラメータに設定されていることを確認してください。 2. Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。
PWX-09258	PDS リストを作成できませんでした。戻りコード <return_code>。
説明:	ソフトウェアは、パーティション形式のデータセットのメンバのリストを取得しようとしていますが、取得できませんでした。IMS の問題である可能性があります。
システムのアクション:	関数呼び出しが拒否されました。呼び出しは、これに対処し、エラーを詳細に補完するメッセージを発行しました。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。
PWX-09259	DSN<DSN>にメンバ<member>が含まれていません。
説明:	指定のパーティションデータセットに指定のメンバが含まれていません。IMS の問題である可能性があります。
システムのアクション:	関数呼び出しが拒否されました。呼び出しは、これに対処し、エラーを詳細に補完するメッセージを発行しました。

ユーザの応答：	以下の手順を実行してください。 1. 正しい IMS パラメータが dbmover.cfg パラメータに設定されていることを確認してください。 2. Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。
PWX-09260	DBD <DBD>のセグメント終了が見つかりませんでした。
説明：	指定の DBD には、必要なセグメントエクステンションが存在しないと思われます。IMS の問題である可能性があります。
システムのアクション：	関数呼び出しが拒否されました。呼び出しは、これに対処し、エラーを詳細に補完するメッセージを発行しました。
ユーザの応答：	以下の手順を実行してください。 1. 正しい IMS パラメータが dbmover.cfg パラメータに設定されていることを確認してください。 2. Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。
PWX-09262	ファイル<file>からページを読み取り中にエラーが発生しました。
説明：	メッセージのとおりです。IMS の問題である可能性があります。
システムのアクション：	関数呼び出しが拒否されました。呼び出しは、これに対処し、エラーを詳細に補完するメッセージを発行しました。
ユーザの応答：	以下の手順を実行してください。 1. 正しい IMS パラメータが dbmover.cfg パラメータに設定されていることを確認してください。 2. Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。
PWX-09264	リモート DB2 カタログの場所が指定されていません。
説明：	呼び出し元が、必要なリモート DB2 カタログの場所を提供していません。この情報は必須です。
システムのアクション：	関数呼び出しが拒否されました。呼び出しは、これに対処し、エラーを詳細に補完するメッセージを発行しました。
ユーザの応答：	以下の手順に従って、問題を修正してください。 1. 正しいパラメータが dbmover.cfg パラメータに設定されていることを確認します。 2. Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。
PWX-09266	エラーコード<error_code> (<DSN>でメンバ<member>の検索中)
説明：	指定のデータセットで指定のメンバを検出できませんでした。
システムのアクション：	関数呼び出しが拒否されました。呼び出しは、これに対処し、エラーを詳細に補完するメッセージを発行しました。

ユーザの応答：	以下の手順に従って、問題を修正してください。
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正しいパラメータが dbmover.cfg パラメータに設定されていることを確認します。無効な DSN がパラメータで設定された可能性があります。 2. Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。
PWX-09267	IMS config <config_parameter_name> がリスナパラメータで見つかりませんでした。
説明：	指定された構成パラメータ名が、PowerExchange Listener 構成パラメータで見つかりませんでした。
システムのアクション：	関数呼び出しが拒否されました。
ユーザの応答：	以下のタスクを完了させます。
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正しい IMS パラメータが dbmover.cfg パラメータに設定されていることを確認してください。 2. Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。
PWX-09268	データマップ名 <data_map_name> が無効です。
説明：	データマップで、無効値を含むパラメータが渡されました。 schema_name.map_name フォーマットである必要があります。
システムのアクション：	データマップは作成されません。
ユーザの応答：	有効なデータマップ名を使用します。
PWX-09269	データマップ名 schema_name.map_name が生成されませんでした。場所=local であることがその理由です。
説明：	PowerExchange Listener を経由する必要があるために、データマップは生成されませんでした。
システムのアクション：	データマップは作成されません。
ユーザの応答：	場所を変更し、PowerExchange Listener の元でジョブを実行してください。
PWX-09270	LOGSID エントリ名 <LOGSID_name> が長すぎます (最大 8)。
説明：	パラメータとして渡された LOGSID 名が長すぎます。8 文字以内である必要があります。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	有効な LOGSID 名を使用します。
PWX-09271	LOGSID エントリ名 <LOGSID_name> が見つかりません。
説明：	パラメータとして渡された LOGSID 名が、指定場所の dbmover.cfg 内に見つかりませんでした。

システムのアクション: エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答: 有効な LOGSID 名を使用し、logsid エントリが指定場所の dbmover.cfg にあることを確認してください。

PWX-09272 **LOGSID エントリが構成ファイルで見つかりません**

説明: LOGSID エントリが、指定場所の dbmover.cfg 内に見つかりませんでした。

システムのアクション: エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答: 有効な logsid 名を使用し、logsid エントリが指定場所の dbmover.cfg にあることを確認してください。

PWX-09273 **DBD<DBD>の EXIT=が見つかりませんでした。**

説明: 指定の DBD では、EXIT=が指定されていないように思われます。そのため、ログ状態を抽出できません。

システムのアクション: 関数呼び出しが拒否されました。呼び出しは、これに対処し、エラーを詳細に補完するメッセージを発行しました。

ユーザの応答: ログベースのキャプチャが必要な DBD で EXIT= が使用されていることを確認してください。

PWX-09274 **セグメントコード"code"の名前が一致しません。データマップセグメント名は"name_1"です。ファイルセグメント名は"name_2"です。**

説明: IMS アンロードファイルから読み取られたセグメント名がデータマップ内のセグメント名に一致しません。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: データマップおよび IMS アンロードファイルが同じセグメント名を持つことを確認します。

PWX-09275 **データセット"data_set_name"の database_typeIMS アンロードの形式が無効です。**

説明: 指定のデータベースの種類で、指定のデータセットの IMS アンロードデータセット形式が正しくありません。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: データセットが正しい IMS アンロードデータセット形式を持つことを確認してください。

PWX-09276 **ハードウェアサポートを利用できません - 圧縮されたイメージコピーファイルレコードを圧縮解除できません。**

説明: PowerExchange を実行しているプロセッサがハードウェア圧縮をサポートしていません。ハードウェアは、ESA/390 ハードウェア命令 CMPSC をサポートしている必要があります。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: IBM System z シリーズの圧縮されたテーブル用またはハードウェア圧縮のみをサポートする ESA/390 プロセッサ用に DB2 イメージコピーファイルを処理します。

PWX-09277 **レコードの圧縮解除は、戻りコード *return_code* で失敗しました。**

説明: DB2 イメージコピーファイルのレコードを圧縮解除しようとして失敗しました。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートにエラーを報告してください。そのとき、エラーの発生時に実行していた関数、エラーメッセージに示されているファイル名および理由コードをお知らせください。

PWX-09278 **辞書が完了する前に、圧縮レコードが見つかりました。**

説明: 辞書がまだ完全に構築されていないため、DB2 イメージコピーファイルからレコードを圧縮解除できませんでした。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: Informatica グローバルカスタマサポートにエラーを報告してください。そのとき、エラーの発生時に実行していた関数、エラーメッセージに示されているファイル名および理由コードをお知らせください。

PWX-09279 **イメージコピーファイル *data_set_name* は圧縮レコードを含んでいます。**

説明: 指定されたイメージコピーデータセットは、COMPRESS YES を使用して定義された DB2 テーブルのレコードを含んでいます。

システムのアクション: 処理は継続します。

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-09280 **ファイル *data_set_name* が有効なイメージコピーデータセットではありません。**

説明: 指定されたデータセットは DB2 イメージコピーデータセットではありません。

システムのアクション: 処理は終了します。

ユーザの応答: 有効な DB2 イメージコピーデータセットを指定します。

PWX-09281 **イメージコピーファイル *data_set_name* は複数のテーブルのレコードを含んでいます。**

説明： 指定されたイメージコピーデータセットは複数のテーブルのレコードを含んでいます。

このメッセージは、イメージコピーデータセット名が指定され、整合性チェックを無効化するためのオプションが選択されていた場合に発行される可能性があります。このオプションにより、PowerExchange がイメージコピーファイルを読み取り、データレコードの OBID（オブジェクト ID）を無視するように強制できます。このオプションは、例えば、別の DB2 サブシステムを元にして作成されたイメージコピーからデータを読み取る場合に役立つことがあります。このオプションを使用する場合は、イメージコピー内のテーブルデータと、読み取るテーブルのデータとの互換性を確保する必要があります。そうでない場合、予期しない結果になる可能性があります。

システムのアクション： 処理は継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-09282 **ファイル *data_set_name* に並べ替えられた行形式データが含まれません。**

説明： このメッセージは、DB2 イメージコピーデータセットに、並べ替えられた行形式（RRF）のデータが含まれていないことを通知します。ただし、DB2 カタログは、関連するテーブルが RRFであることを示しています。このエラーは、別の DB2 サブシステムで作成されたイメージコピーを読み込むために、DB2 の整合性チェックを無効にした場合に発生する可能性があります。例えば、DB2 バージョン 8 以前のサブシステムでイメージコピーを作成し、DB2 9 以降のサブシステムで DB2 9 カタログを使用してそのイメージコピーを使おうとした場合、このエラーが発生することがあります。

注: 並べ替えられた行形式は DB2 バージョン 9 で導入されました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： RRF のデータが含まれる有効な DB2 イメージコピーデータセットを指定します。

PWX-09283 **ファイル *data_set_name* には並べ替えられた行形式データが含まれています。**

説明： このメッセージは、DB2 イメージコピーデータセットに、並べ替えられた行形式（RRF）のデータが含まれていることを通知します。ただし、DB2 カタログは、関連するテーブルが RRF ではないことを示しています。このエラーは、別の DB2 サブシステムで作成されたイメージコピーを読み込むために、DB2 の整合性チェックを無効にした場合に発生する可能性があります。例えば、DB2 バージョン 9 以降のサブシステムでイメージコピーを作成し、DB2 8 以前のサブシステムで DB2 8 カタログを使用してそのイメージコピーを使おうとした場合、このエラーが発生することがあります。

システムのアクション: 処理は終了します。
ン:

ユーザの応答: RRF のデータが含まれない有効な DB2 イメージコピーデータセットを指定します。

PWX-09284 **Flashcopy イメージコピーファイル *dataset_name*- 単純なテーブルスペースはサポートされていません。**

説明: DB2 for z/OS FlashCopy 関数を使用して単純なテーブルスペースの指定されたイメージコピーデータセットが作成されました。これには複数のテーブルのデータが含まれています。PowerExchange は、DB2 バルクデータ移動操作に対する、単純、セグメント化、およびパーティション化テーブルスペースなどの廃止されたテーブルスペースタイプの FlashCopy イメージコピーをサポートしません。

システムのアクション: 処理は終了します。
ン:

ユーザの応答: 単一テーブルのデータが含まれるユニバーサルテーブルスペースの FlashCopy イメージコピーなど、有効なタイプの DB2 イメージコピーデータセットを指定します。

PWX-09285 **イメージコピーファイル *dataset* は Huffman 符号化圧縮レコードを含んでいます。**

説明: 指定されたイメージコピーデータセットには、Db2 for z/OS テーブルの、COMPRESS YES オプションで Huffman 圧縮を使用するように定義されたテーブルスペースのレコードが含まれています。

システムのアクション: 処理は継続します。
ン:

ユーザの応答: 対応する必要はありません。

PWX-09291 **ルーチン *routine_name* を使用して *number* バイトを割り当てようとしたときにエラーが発生しました。**

説明: メモリの割り当て要求が失敗しました。

システムのアクション: 処理は終了します。
ン:

ユーザの応答: 次の条件を確認し、このエラーの原因と考えられる問題を修正してください。

- メモリの量がこのタスクに対して妥当である必要があります。例えば、IMS DBD プログラムをロードするには、LOAD ライブラリ内のロードモジュールのサイズと同じ量のメモリが必要です。
- z/OS リージョンサイズがこのタスクに対して適切である必要があります。
- 開始タスクに十分なベースメモリが必要です。

PWX-09292	ルーチン <i>routine_name</i> を使用して ddname <i>ddname</i> から DBD プログラム <i>program_name</i> をロードしようとしたときにエラー <i>error_number</i> が発生しました。理由コード <i>rc</i>。
説明:	メモリに DBD プログラムをロードしようとしたが、失敗しました。
システムのアクション:	処理は終了します
ユーザの応答:	DBD 名が有効なロードモジュールであることを確認してください。 エラー番号と理由コードを記録し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09293	ルーチン <i>routine_name</i> からのエラー <i>error_number</i>。引数 <i>value</i>。理由コード <i>rc</i>。
説明:	メモリに IMS 選択ルーチンをロードしようとしたが、失敗しました。
システムのアクション:	処理は終了します
ユーザの応答:	エラー番号と理由コードを記録し、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09300	DBAM_BASE_Point:暗黙的なキーアクセスオプションなしでファイル<<i>file_name</i>>の検索要求を行いました。
説明:	キーシーケンスで処理される必要のあるファイルを前もって指定することなく、キーファイル処理を開始しようとした。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-09301	DBAM_BASE_Point:キーフィールドが指定されていないファイル<<i>file</i>>のキー済みアクセスを要求しました。
説明:	要求されたファイルがキーファイルではないキーシーケンスで、キーファイル処理を開始しようとした。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-09302	DBAM_BASE_Point:キー値<<i>key_value</i>> (ファイル <i>file</i> の) 検索操作が戻りコード<<i>reason_code</i>>で失敗しました。
説明:	キーファイル処理の開始は、システムによって発行された予期しないエラーになりました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。 そのとき、エラーの発生時に実行していた関数、エラーメッセージに示されているファイル名、キーの値、および理由コードをお知らせください。
PWX-09303	DBAM_BASE_Delete: ファイル<file>の削除要求が理由コード<reason_code>で失敗しました。
説明：	キーファイルのレコードを削除しようとしたが、システムが発行する予期しないエラーになりました。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。 そのとき、エラーの発生時に実行していた関数、エラーメッセージに示されているファイル名および理由コードをお知らせください。
PWX-09304	DBAM_BASE_Update: ファイル<file>の更新要求が理由コード<reason_code>で失敗しました。返されたバイト数=<nnn>。
説明：	キーファイルのレコードを更新しようとしたが、システムが発行する予期しないエラーになりました。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。 そのとき、エラーの発生時に実行していた関数、エラーメッセージに示されているファイル名および理由コード、返されたバイト数をお知らせください。
PWX-09305	メンバ member を file に追加できませんでした。
説明：	ファイルにメンバを追加しようとしたが、システムが発行する予期しないエラーになりました。
システムのアクション：	再試行が要求されない場合、終了する前にコンソールメッセージを介して解決する時間をタスクによって決めることもできます。それ以外の場合、エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	ローカルな原因を調査し解決してもまだエラーが発生する場合は、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。 そのとき、エラーの発生時に実行していた関数、ファイル名、および関連するメッセージの追加情報をお知らせください。
PWX-09400	無効な i5/OS メタデータ要求が<request_type>を指定しました。
説明：	内部関数の呼び出しが正確さを検証しましたが、エラーが検出されました。メッセージで引用されている呼び出し元の SQL で提供された動詞を認識できません。
システムのアクション：	関数呼び出しが拒否されました。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。

PWX-09401	i5/OS メタデータ要求 <request_type> がファイル <library/file> の QUSLRCD API を呼び出せませんでした。API エラー= <error_message_ID> 〜 <error_message>。
説明:	内部関数の呼び出しが正確さを検証しましたが、API 呼び出しによりエラーが検出されました。
システムのアクション:	関数呼び出しが拒否されました。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。
PWX-09402	i5/OS メタデータ要求 <request_type> がファイル <library/file> の QUSPTRUS API を呼び出せませんでした。API エラー= <error_message_ID> 〜 <error_message>。
説明:	内部関数の呼び出しが正確さを検証しましたが、API 呼び出しによりエラーが検出されました。
システムのアクション:	関数呼び出しが拒否されました。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。
PWX-09403	i5/OS メタデータ要求 <request_type> がファイル <library/file> の QUSFLD API を呼び出せませんでした。API エラー= <error_message_ID> 〜 <error_message>。
説明:	内部関数の呼び出しが正確さを検証しましたが、API 呼び出しによりエラーが検出されました。
システムのアクション:	関数呼び出しが拒否されました。呼び出しは、これに対処し、エラーを詳細に補完するメッセージを発行しました。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。
PWX-09404	予期された QADBXRREF フィールド DBXLFI 長さ<length> データ<data>。実際には長さ<length> データ<data>が読み取られました。
説明:	テーブル QSYS/QADBXRREF のレコードを読み取って、長いテーブル名から短い物理ファイル名を取得しようとしたが失敗しました。予期していた長さデータを見ると、AS4COLS API の呼び出し元が要求していた内容がわかります。実際の読み取り値は、実際に読み取られたものを示します。このような状況が発生するのは、10 文字より長いテーブル名か、特殊文字（ポンド記号、円記号など）が含まれるテーブル名を処理している場合です。
システムのアクション:	関数呼び出しが拒否されました。呼び出しは、これに対処し、エラーを詳細に補完するメッセージを発行しました。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに既存の診断情報を報告してください。

PWX-09513	ユーザー<user_ID>からメッセージを受信中にエラーが発生しました。理由 reason_code。
説明：	指定のユーザー ID からメッセージを受信中にエラーが発生しました。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-09600	登録:ロードエラー。フィールド= SUSPENSION_TIMESTAMP
説明：	内部エラーが発生しました。PowerExchange が SUSPENSION_TIMESTAMP フィールドを読み取れなかったため、キャプチャ登録をロードできませんでした。
システムのアクション：	登録ロード処理は終了します。
ユーザの応答：	エラーの詳細については、一緒に表示されるメッセージを参照します。その後、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。特定のトレースを実行し、ソフトウェアバージョンと、失敗した登録のデータベースのコピーを提供するようにサポートが求められる場合があります。
PWX-09601	登録:ロードエラー。フィールド= SUSPENSION_TIMESTAMP_OFFSET
説明：	内部エラーが発生しました。PowerExchange は SUSPENSION_TIMESTAMP_OFFSET フィールドを読み取れなかったため、キャプチャ登録をロードできませんでした。
システムのアクション：	登録ロード処理は終了します。
ユーザの応答：	エラーの詳細については、一緒に表示されるメッセージを参照します。その後、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。特定のトレースを実行し、ソフトウェアバージョンと、失敗した登録のデータベースのコピーを提供するようにサポートが求められる場合があります。
PWX-09602	登録:ロードエラー。フィールド= SUSPENSION_TIMESTAMP_LEAP_SECOND_OFFSET
説明：	内部エラーが発生しました。PowerExchange は SUSPENSION_TIMESTAMP_LEAP_SECOND_OFFSET フィールドを読み取れなかったため、キャプチャ登録をロードできませんでした。
システムのアクション：	登録ロード処理は終了します。
ユーザの応答：	エラーの詳細については、一緒に表示されるメッセージを参照します。その後、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。特定のトレースを実行し、ソフトウェアバージョンと、失敗した登録のデータベースのコピーを提供するようにサポートが求められる場合があります。
PWX-09603	登録:ロードエラー。フィールド= ACTIVATION_TIMESTAMP
説明：	内部エラーが発生しました。PowerExchange が ACTIVATION_TIMESTAMP フィールドを読み取れなかったため、キャプチャ登録をロードできませんでした。

システムのアクション: 登録ロード処理は終了します。

ユーザの応答: エラーの詳細については、一緒に表示されるメッセージを参照します。その後、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。特定のトレースを実行し、ソフトウェアバージョンと、失敗した登録のデータベースのコピーを提供するようにサポートが求められる場合があります。

PWX-09604 **登録:ロードエラー。フィールド=ACTIVATION_TIMESTAMP_OFFSET**

説明: 内部エラーが発生しました。PowerExchange は ACTIVATION_TIMESTAMP_OFFSET フィールドを読み取れなかったため、キャプチャ登録をロードできませんでした。

システムのアクション: 登録ロード処理は終了します。

ユーザの応答: エラーの詳細については、一緒に表示されるメッセージを参照します。その後、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。特定のトレースを実行し、ソフトウェアバージョンと、失敗した登録のデータベースのコピーを提供するようにサポートが求められる場合があります。

PWX-09605 **登録:ロードエラー。フィールド=ACTIVATION_TIMESTAMP_LEAP_SECOND_OFFSET**

説明: 内部エラーが発生しました。PowerExchange は ACTIVATION_TIMESTAMP_LEAP_SECOND_OFFSET フィールドを読み取れなかったため、キャプチャ登録をロードできませんでした。

システムのアクション: 登録ロード処理は終了します。

ユーザの応答: エラーの詳細については、一緒に表示されるメッセージを参照します。その後、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。特定のトレースを実行し、ソフトウェアバージョンと、失敗した登録のデータベースのコピーを提供するようにサポートが求められる場合があります。

PWX-09650 **トークンの数<nnn>が SQL 文字列<SQL_string>の最大許容長を超えています。**

説明: ソフトウェアが、個別の項目（トークン）のセットに文字列の内容を分割する内部処理を実行中です。トークンの数が許容される最大値を超えていることが検出されました。元となる文字列のメモリのオーバーレイが原因であることが最も可能性があります。このメッセージは、本来、開発段階のものであり、製品ではユーザーが見ることはありません。

システムのアクション: 内部解析処理が中断され、それに関わるユーザー要求が終了します。

ユーザの応答: どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。そのとき、使用されたソフトウェアレベルでの情報を提供してください。少なくとも'DTLAMMQS'トレースは必要になります。

PWX-09651	無効なデータ要求の種類が SQL に含まれています - <SQL_string>。
説明:	このメッセージは、本来、開発段階のものであり、製品ではユーザーが見ることはありません。PowerExchange の 2 つの部分が、内部 SQL 形式で文字列を介して相互に通信しています。受信するソフトウェアが、デバッグ時にメッセージに表示される SQL での'要求の種類'の動詞を認識しません。
システムのアクション:	内部要求が中断し、処理が終了します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。そのとき、使用されたソフトウェアレベルでの情報を提供してください。少なくとも'DTLAMMQS'トレースは必要になります。
PWX-09652	タグを生成できませんでした。戻りコード<return_code>。
説明:	このメッセージは、本来、開発段階のものであり、製品ではユーザーが見ることはありません。'タグ'は、一意の値を表す内部生成された値です。タグの生成に失敗した理由は多数考えられますが、Informatica グローバルカスタマサポートが対処する問題です。
システムのアクション:	内部要求が中断し、処理が終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。そのとき、メッセージのすべての内容をお知らせください。
PWX-09653	タグを確認できませんでした。戻りコード<return_code>。
説明:	このメッセージは、本来、開発段階のものであり、製品ではユーザーが見ることはありません。'タグ'は、一意の値を表す内部生成された値です。生成後、新しいタグは内部で確認されます。タグの検証に失敗した理由は多数考えられますが、Informatica グローバルカスタマサポートが対処する問題です。
システムのアクション:	内部要求が中断し、処理が終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。そのとき、メッセージのすべての内容をお知らせください。
PWX-09654	登録: ロードエラー。フィールド=IMS_SEGCODE
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_SEGCODE' (IMS セグメントコード) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09655	登録: ロードエラー。フィールド=IMS_SEGPARENTCODE
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_SEGPARENTCODE' (IMS セグメント親コード) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09656	登録: ロードエラー。フィールド=IMS_SEGLEVEL
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IMS_SEGLEVEL' (IMS セグメントレベル) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09657	登録: ロードエラー。フィールド=ALLCOLS_FLAG
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'ALLCOLS_FLAG' (すべてのカラムの選択フラグ) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09658	登録: ロードエラー。フィールド=IS_DOC_FLAG
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IS_DOC_FLAG' (登録がドキュメントであるフラグ) を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09659	登録: ロードエラー。フィールド= COL_KEYOFF
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'COL_KEYOFF' (カラムキーオフセット) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09660	登録: ロードエラー。フィールド= COL_KEYLEN
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'COL_KEYLEN' (カラムキーの長さ) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09661	登録: ロードエラー。フィールド= COL_KEYDBNAME
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'COL_KEYDBNAME' (カラムキー DB 名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。
システムのアクション:	登録ロード処理が中止します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09662	登録: 保存エラー。IMS TAG <IMS_tag> およびインスタンス <instance> の組み合わせがすでにレコード <record> によって使用されています。
説明:	PowerExchange は指定されたキャプチャ登録を保存できませんでした。タグとインスタンスの組み合わせは、一意の値です。組み合わせの取得後に、新しい登録でその組み合わせを再利用することはできません。データベースの指定されたレコードは、すでにこのタグとインスタンスの組み合わせを使用しています。
システムのアクション:	登録保存処理が中止します。

ユーザの応答： 古いものと新しいもののどちらの登録がアクティブであるか見直してください。不要な方を削除してください。

PWX-09663 登録: ロードエラー。フィールド= IDMS_SUBSCHNAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMS_SUBSCHNAME' (IDMS サブスキーマ名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09664 登録: ロードエラー。フィールド= ORACLE_SID

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'ORACLE_SID' (Oracle SID) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09665 登録: ロードエラー。フィールド= ORACLE_SLG

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'ORACLE_SLG' (Oracle SLG) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09666 登録: ロードエラー。フィールド= TIM_DBNAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'TIM_DBNAME' (Turbo Image DB 名) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09667 登録: ロードエラー。フィールド= TIM_DSNO

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'TIM_DSNO' (Turbo Image データセット番号) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09668 登録: ロードエラー。フィールド= TIM_GROUP

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'TIM_GROUP' (Turbo Image グループ ID) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09669 登録: ロードエラー。フィールド= TIM_ACCOUNT

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'TIM_ACCOUNT' (Turbo Image アカウント ID) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09670 登録: ロードエラー。フィールド= TIM_CODEPAGE

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'TIM_CODEPAGE' (Turbo Image コードページ ID) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09675 登録: ロードエラー。フィールド= TIM_VOLUMESET

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'TIM_VOLUMESET' (Turbo Image ボリュームセット) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09676 登録: ロードエラー。フィールド= TIM_LOCATION

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'TIM_LOCATION' (Turbo Image の場所) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09677 登録: ロードエラー。フィールド= CHANGED_MARKER

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'CHANGED' (変更カラムマーカ) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09678 登録: ロードエラー。フィールド= AS400_Internal_Time

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'AS400_Internal_Time'を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09679 **登録: ロードエラー。フィールド= MSS_DBSVR**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'MSS_DSTSVR' (Microsoft SQL Server データベースサーバー) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09680 **登録: ロードエラー。フィールド= MSS_DB**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'MSS_DSTSVR' (Microsoft SQL Server データベース) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09681 **登録: ロードエラー。フィールド= MSS_TBL**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'MSS_DSTSVR' (Microsoft SQL Server テーブル) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09682 **登録: ロードエラー。フィールド= MSS_DSTSVR**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'MSS_DSTSVR' (Microsoft SQL Server 分散サーバー) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09683 登録: ロードエラー。フィールド=MSS_DSTDB

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'MSS_DSTSVR' (Microsoft SQL Server 分散データベース) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09684 登録: ロードエラー。フィールド=MSS_ARTICLE

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'MSS_ARTICLE' (Microsoft SQL Server アーティクル ID) を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09685 登録: プロパティ<property_value>の値が<nnp>~<nnp>の範囲外になっています。

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'PWR_codepage_num'を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09686 登録: ロードエラー。フィールド=PWR_codepage_num

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'PWR_codepage_num'を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09687 登録: ロードエラー。フィールド=CCSID

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'CCSID'を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09688 登録: ロードエラー。フィールド=IDMS_PAGEGROUP

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMS_PAGEGROUP'を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09689 登録: ロードエラー。フィールド=IDMS_RADIX

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMS_RADIX'を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09690 登録: ロードエラー。フィールド=IDMS_AREA_NAME

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMS_AREA_NAME'を読み込めませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09691 **登録: ロードエラー。フィールド= IDMS_PAGEGROUP**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMS_PAGEGROUP'を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09692 **登録: ロードエラー。フィールド= IDMS_RADIX**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMS_RADIX'を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09693 **登録: ロードエラー。フィールド= IDMS_AREA_NAME**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMS_AREA_NAME'を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09694 **登録: ロードエラー。フィールド= IDMS_MINIMUM_ROOT_LENGTH**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMS_MINIMUM_ROOT_LENGTH'を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09695 登録: ロードエラー。フィールド= IDMS_DATA_LENGTH

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMS_DATA_LENGTH'を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09696 登録: ロードエラー。フィールド= IDMS_PREFIX_LENGTH

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMS_PREFIX_LENGTH'を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09697 登録: ロードエラー。フィールド= IDMS_CONTROL_LENGTH

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMS_CONTROL_LENGTH'を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09698 登録: ロードエラー。フィールド= IDMS_MINIMUM_ROOT_LENGTH

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMS_MINIMUM_ROOT_LENGTH'を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09699 **登録: ロードエラー。フィールド= IDMSP_DATA_LENGTH**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMSP_DATA_LENGTH'を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09700 **登録: ロードエラー。フィールド= IDMSP_PREFIX_LENGTH**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMSP_PREFIX_LENGTH'を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09701 **登録: ロードエラー。フィールド= IDMSP_CONTROL_LENGTH**

説明： PowerExchange は指定されたキャプチャ登録をロードできませんでした。フィールド'IDMSP_CONTROL_LENGTH'を読み込みませんでした。その他の診断情報については関連メッセージを参照してください。

システムのアクション： 登録ロード処理が中止します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09703 **登録: ロードエラー。フィールド=IDMS_PRESSPACK_COMPRESSED_IND**

説明： IDMS_PRESSPACK_COMPRESSED_IND フィールドを読み取ることができないため、PowerExchange はキャプチャ登録をロードできません。

システムのアクション： 登録ロードプロセスが失敗します。

ユーザの応答： このエラーの詳細については、メッセージログ内の一緒に表示されるメッセージを参照します。 実行すべきトレースを特定するには、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。 カスタマサポートには、ロードエラーと一緒に、登録が含まれるデータベースのコピーも提示してください。 データベースのソフトウェアレベルを含めてください。

PWX-09704 **登録：ロードエラー。フィールド=**
IDMS_PRESSPACK_DCTABLE_NAME

説明： IDMS_PRESSPACK_DCTABLE_NAME フィールドを読み取ることができないため、PowerExchange はキャプチャ登録をロードできません。

システムのアクション： 登録ロードプロセスが失敗します。

ユーザの応答： このエラーの詳細については、メッセージログ内の一緒に表示されるメッセージを参照します。 実行すべきトレースを特定するには、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。 カスタマサポートには、ロードエラーと一緒に、登録が含まれるデータベースのコピーも提示してください。 データベースのソフトウェアレベルを含めてください。

PWX-09705 **登録：ロードエラー。フィールド**
=IDMSP_PRESSPACK_COMPRESSED_IND

説明： IDMSP_PRESSPACK_COMPRESSED_IND フィールドを読み取ることができないため、PowerExchange はキャプチャ登録をロードできません。

システムのアクション： 登録ロードプロセスが失敗します。

ユーザの応答： このエラーの詳細については、メッセージログ内の一緒に表示されるメッセージを参照します。 実行すべきトレースを特定するには、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。 カスタマサポートには、ロードエラーと一緒に、登録が含まれるデータベースのコピーも提示してください。 データベースのソフトウェアレベルを含めてください。

PWX-09706 **登録：ロードエラー。フィールド=**
IDMSP_PRESSPACK_DCTABLE_NAME

説明： IDMSP_PRESSPACK_DCTABLE_NAME フィールドを読み取ることができないため、PowerExchange はキャプチャ登録をロードできません。

システムのアクション： 登録ロードプロセスが失敗します。

ユーザの応答： このエラーの詳細については、メッセージログ内の一緒に表示されるメッセージを参照します。 実行すべきトレースを特定するには、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。 カスタマサポートには、ロードエラーと一緒に、登録が含まれるデータベースのコピーも提示してください。 データベースのソフトウェアレベルを含めてください。

PWX-09707	抽出定義:長さエラー<length>は 13 以下で、名前は <map_name>です。
説明:	PowerExchange の内部処理で、指定された抽出マップ名が長すぎる ことが検出されました。名前の長さは 13 文字以下である必要があり ます。
システムのアクション:	プロセスは異常終了します。
ユーザの応答:	抽出マップ名が 13 文字以下となるようにキャプチャ登録と抽出マッ プを再度作成します。
PWX-09708	データマップ:長さエラー<length>は 10 以下、名前は <map_name>です。
説明:	PowerExchange の内部処理で、指定されたデータマップ名が長すぎ ることが検出されました。名前は 10 文字以下である必要があります。
システムのアクション:	プロセスは異常終了します。
ユーザの応答:	データマップ名が 10 文字以下になるように編集します。
PWX-09709	キーワード"keywords"の追加の z/OS 情報は、マップ設 定"configuration"では使用できません。
説明:	z/OS 上の PowerExchange リスナからアクセス方式、ファイル、ま たはテーブルの追加情報を要求しようとしたが、このタイプの情 報を返さないように要求が構成されています。例えば、このメッセー ジは、AMLIST=DO パラメータを指定して PWXUMAP ユーティリティ に対して LISTSCHEMAS コマンドを入力した場合に発行されます。
システムのアクション:	プロセスは続行されますが、アクセス方法、ファイル、またはテーブ ルに対して要求した追加情報を含むカラムは返されません。
ユーザの応答:	PWXUMAP ユーティリティを使用している場合は、コマンドでキーワ ード AMLIST、ZOS_LISTSCHEMASSTYLE、 ZOS_LISTMAPS_FILE_INFO、ZOS_LISTMAPS_TABLE_INFO、およ び ZOS_LISTMAPS_RAW_INFO を使用しないようにすることで、こ の警告を回避できます。必要な情報を取得するためには、別の方法を 使用してください。
PWX-09710	REGF:無効な登録タグ<registration_tag>が登録タグエンコー ダに渡されました。
説明:	PowerExchange の内部プロセスが、内部の登録タグエンコードメカ ニズムを呼び出すために登録タグをエンコード機能に渡しましたが、 そのタグが無効でした。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサ ポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータ ベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09711	REGF:Null または長さがゼロの属性パラメータ（位置 <code><nth_attribute></code>）が登録タグエンコードに渡されました。
説明：	PowerExchange の内部プロセスが、内部の登録タグエンコードメカニズムを呼び出すために属性パラメータをエンコード機能に渡しましたが、そのパラメータが Null または長さゼロでした。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09712	REGF:Null または長さがゼロの値パラメータ（位置 <code><nth_value></code>）が登録タグエンコードに渡されました。
説明：	PowerExchange の内部プロセスが、内部の登録タグエンコードメカニズムを呼び出すために値パラメータをエンコード機能に渡しましたが、そのパラメータが Null または長さゼロでした。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09713	REGF: 登録タグ <code><tag_name></code> オーバーライドで生成された長さ <code><length_of_tag_plus_overrides></code> が、許容最大長 <code><maximum_allowable_length></code> を超えています。
説明：	関連するキャプチャ登録に対して指定しようとするオーバーライドデータが多すぎます。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	<p>実行するセッションで、この登録に対して指定するオーバーライドの数を減らす必要があります。</p> <p>注: 生成されたオーバーライド登録タグは、セッションを実行している PowerExchange Listener の PowerExchange ログファイルに出力されます。</p>
PWX-09714	REGF: 登録タグ <code><tag_name></code> の長さ <code><length_of_tag></code> が、許容最大長 <code><maximum_allowable_length></code> を超えています。
説明：	PowerExchange の内部エンコード/デコードルーチンにキャプチャ登録タグのベース名が渡されましたが、その名前が長すぎます。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

PWX-09715	REGF:ベース登録タグ<tag_name>に無効な文字<character>が含まれています。
説明:	PowerExchange の内部エンコード/デコードルーチンにキャプチャ登録タグのベース名が渡されましたが、使用できない文字が名前に含まれています。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	<p>キャプチャ登録タグの名前を手動で命名した場合は、問題のない文字を使用して名前を変更してください。そうでない場合は、どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。</p>
PWX-09716	REGF:ベース登録タグ<tag_name>に間違ったフォーマットのオーバーライド属性名<attribute_name>が含まれています。
説明:	PowerExchange の内部エンコード/デコードルーチンにキャプチャ登録タグのオーバーライド名が渡されましたが、その名前に形式が適切でない属性名が含まれています。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	<p>どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。</p> <p>注: 生成されたオーバーライド登録タグは、セッションを実行している PowerExchange Listener の PowerExchange ログファイルに出力されます。</p>
PWX-09718	REGF:ベース登録タグ<tag_name>の属性<attribute_name>に間違ったフォーマットの値<attribute_value>が含まれています。
説明:	PowerExchange の内部エンコード/デコードルーチンにキャプチャ登録タグのオーバーライド名が渡されましたが、その名前に形式が適切でない属性値が含まれています。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	<p>どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。</p> <p>注: 生成されたオーバーライド登録タグは、セッションを実行している PowerExchange Listener の PowerExchange ログファイルに出力されます。</p>

PWX-09719	REGF:入力された属性<attribute_number>は、属性<attribute_name>（ベース登録タグ<registration_tag>の）の重複です。
説明：	PowerExchange の内部エンコード/デコードルーチンにキャプチャ登録のオーバーライド属性が渡されましたが、その属性は、入力登録タグに存在するものと重複しています。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09720	REGF:入力された属性<attribute_number>と<attribute_number>（ベース登録タグ<registration_tag>）は、<attribute_name>という名前で重複しています。
説明：	PowerExchange の内部エンコード/デコードルーチンにキャプチャ登録のオーバーライド属性が渡されましたが、その属性は重複しています。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09721	REGF:既存の属性<attribute_number>と<attribute_number>は、<attribute_name>（ベース登録タグ<registration_tag>の）という名前で、重複しています。
説明：	PowerExchange の内部エンコード/デコードルーチンに渡された登録タグに、重複した属性が含まれていました。
システムのアクション：	処理は終了します。
ユーザの応答：	どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。
PWX-09722	REGF: オーバーライド登録タグに長さがゼロのベース登録名が含まれていました。
説明：	登録タグの内部エンコードメカニズムに登録名が渡されましたが、その名前がアンダスコア文字で始まっていました。
システムのアクション：	処理は終了します。

ユーザの応答： 登録タグ名を変更するつもりだった場合は、アンダスコア ('_') 文字を使用していなかったことを確認してください。登録タグ名を変更するつもりがなかった場合は、どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

注: 入力登録タグは、セッションを実行している PowerExchange Listener の PowerExchange ログファイルに出力されます。

PWX-09723 REGF: **オーバーライド登録タグに長さがゼロの属性名が含まれていました。**

説明： 登録タグの内部エンコードメカニズムに、無効なオーバーライド登録タグが渡されました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

注: 入力登録タグは、セッションを実行している PowerExchange Listener の PowerExchange ログファイルに出力されます。

PWX-09724 REGF: **オーバーライド登録タグの<attribute_name>属性が、長さがゼロの値を持っていました。**

説明： 登録タグの内部エンコードメカニズムに、無効なオーバーライド登録タグが渡されました。

システムのアクション： 処理は終了します。

ユーザの応答： どのトレースが必要かについて、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。または、失敗した登録を含むデータベースのコピーと、使用されたソフトウェアレベルでの情報を Informatica グローバルカスタマサポートに提供してください。

注: 入力登録タグは、セッションを実行している PowerExchange Listener の PowerExchange ログファイルに出力されます。

PWX-09725 **登録タグオーバーライド属性<attribute_name>の形式が無効です。**

説明： CAPXRT 抽出に対して指定されたオーバーライドに無効な文字が含まれています。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。これは内部エラーです。

PWX-09750	DTLCMD <i>informationcommand</i> .
説明:	このメッセージでは、指定されたコマンドについて以下のいずれかの種類の情報を提供します。 <ul style="list-style-type: none"> • 入力されたコマンド • 失敗したコマンド • 無効なコマンド • 無効な入力
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-09751	ユーザー <i>user_ID</i> のログインが失敗しました。
説明:	指定のユーザー ID でログオンできませんでした。ユーザー ID およびパスワードは有効ではありません。
システムのアクション:	処理は終了します。
ユーザの応答:	ターゲットシステム用のユーザー ID とパスワードが正しいことを確認します。または、DBMOVER コンフィギュレーションファイルで SECURITY パラメータを使用することにより、ターゲットシステムのセキュリティ要件を変更してください。
PWX-09800	Datacom RTTB CDC、監視タスクが開始されました----->、<i>time</i>
説明:	Datacom テーブルベース ECCR の内部監視タスクが開始されました。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-09801	Datacom RTTB CDC、監視タスクが有効になりました----->、<i>time</i>
説明:	Datacom テーブルベース ECCR の内部監視タスクは、現在ビジー状態です。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-09802	Datacom RTTB CDC、監視タスクが作業を待機しています、<i>time</i>
説明:	Datacom テーブルベース ECCR の内部監視タスクは、現在アイドル状態です。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-09803	Datacom RTTB CDC、監視タスクが終了しました----->、<i>time</i>
説明:	Datacom テーブルベース ECCR の内部監視タスクが終了しました。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-09804	監視サブタスクの作成に失敗しました。戻りコード <i>return_code</i>
説明:	Datacom テーブルベース ECCR の監視タスクを開始できませんでした。戻りコードは、オペレーティングシステム環境によって異なります。
システムのアクション:	ECCR は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09805	監視サブタスクが早期に終了しました
説明:	Datacom テーブルベース ECCR の監視タスクが終了しました。関連するエラーメッセージを参照してください。
システムのアクション:	ECCR は終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09806	Datacom RTTB CDC、 監視タスク <i>text</i> がデータ <i>time</i> をキャプチャしました。
説明:	このメッセージは、キャプチャ TSN レコードのタイムスタンプに関する情報を表示します。
システムのアクション:	Datacom テーブルベース ECCR 処理は続行されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-09807	Datacom RTTB CDC、 監視タスク <i>text</i> TSN = <i>number</i>、MNT = <i>number</i>、MAX MNT = <i>number</i>。
説明:	このメッセージには、この監視実行で処理されたレコードの数が表示されます。
システムのアクション:	Datacom テーブルベース ECCR 処理は続行されます。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-09808	Datacom RTTB CDC、 監視タスク <i>text</i>、<i>time</i>
説明:	Datacom テーブルベース ECCR の内部監視タスクが終了しました。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-09809	Datacom RTTB CDC、 監視タスク統計 (<i>text</i>) --->、<i>time</i>。
説明:	このメッセージは、Datacom テーブルベース ECCR の内部監視タスクに関する統計の表示時間を示します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-09810	監視タスク、<i>time</i>、ハングの可能性が検出されました <i>text</i>。
説明：	<p>この警告メッセージは、Datacom テーブルベース ECCR が実行されていたときに、次のいずれかの状況が発生した可能性を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • クリーンアッププロセスから Datacom API が呼び出されたときの CA Datacom のハング • 主要な CDC Reader プロセスから Datacom API が呼び出されたときの CA Datacom のハング • ECCR クリーンアップ待機ルーチンのハング
システムのアクション：	ECCR 処理は続行されます。
ユーザの応答：	問題を調査し、ECCR のシステムダンプを取得します。Informatica グローバルカスタマサポートにこの情報を提供するため、準備します。
PWX-09811	監視タスク、<i>time</i>、ハングの可能性が解消されました <i>text</i>。
説明：	<p>この警告メッセージは、次のいずれかのハングの可能性に関する状況が解消されたことを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • クリーンアッププロセスから Datacom API が呼び出されたときの CA Datacom のハング • 主要な CDC Reader プロセスから Datacom API が呼び出されたときの CA Datacom のハング • ECCR クリーンアップ待機ルーチンのハング
システムのアクション：	ECCR 処理は続行されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-09812	Datacom RTTB CDC、監視タスクの待機間隔が <i>old_interval</i> から <i>new_interval</i> に調整されました。
説明：	<p>この警告メッセージは、Datacom テーブルベース ECCR が MONITOR_INTERVAL を最小値まで増加させたことを示します。この最小値は、CLEANUP_INTERVAL の値の 2 倍です。</p>
システムのアクション：	ECCR 処理は続行されます。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-09813	Datacom RTTB CDC、監視タスクの待機間隔は <i>interval</i> です。
説明：	<p>このメッセージは、Datacom テーブルベース ECCR の MONITOR_INTERVAL の現在の値を示します。</p>
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-09850	プール ID<<i>poolid_name</i>>を割り当てられませんでした。戻りコード<<i>return_code</i>>。
説明：	指定された poolid からのメモリ割り当に失敗しました。

システムのアクション: DTLAMCSR アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。

ユーザの応答: 状況データを収集して、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡してください。

PWX-09851 **ユーザーは、このアクセス方式を使用するライセンスを持っていません。**

説明: ユーザーは、このアクセス方式のライセンスキーを持っていません。

システムのアクション: DTLAMCSR アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。

ユーザの応答: ライセンスキーを適切に拡張してください。

PWX-09852 **メンバ DBCB が接続されていません。DBCB は<description>です。**

説明: DBCB が接続されていません。

システムのアクション: DTLAMCSR アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。

ユーザの応答: 状況データを収集して、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡してください。

PWX-09853 **プロセス<function_name>に<address>で、数値が<number>の無効な DBCB が与えられました。**

説明: このメッセージは情報目的です。

システムのアクション: DTLAMCSR アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。

ユーザの応答: 状況データを収集して、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡してください。

PWX-09854 **サポートするファイルアクセスレイヤが戻りコード<number>、テキスト<reason>を返します。**

説明: 基礎となるファイルアクセスメカニズムがエラーを返しました。

システムのアクション: DTLAMCSR アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。

ユーザの応答: 理由のテキストを確認することにより、無効なファイル名、権限のエラーなどの原因の解消を試みてください。 解消できない場合は、状況データを収集して、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡してください。

PWX-09855 **SQL エラー: <text_string>。**

説明: 入力 SQL 文字列の構文または指定値にエラーがあります。

システムのアクション: DTLAMCSR アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。

ユーザの応答: テキスト文字列に示されているエラーを修正し、サブミットし直してください。

PWX-09856	メモリ<text_string>の割り当てでエラーが発生しました。戻りコード<return_code>。
説明：	システムが、十分なメモリを割り当てることができませんでした。
システムのアクション：	DTLAMCSR アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答：	状況データを収集して、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡してください。
PWX-09857	値<text_string>に重大なエラーがあります。説明<text_string>。
説明：	重要なデータ項目または計算値にエラーが含まれます。
システムのアクション：	DTLAMCSR アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答：	メッセージの説明のテキスト文字列を参考にして、エラーを修正してください。次に、要求をサブミットし直してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡してください。
PWX-09858	リスタートデータが一致しません。VERSION は、RI<text_string>と SEQ<text_string>の両方で同じにする必要があります。
説明：	リスタート情報をカタログで検証するための呼び出しが失敗しました。
システムのアクション：	DTLAMCSR アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答：	SQL 文字列の RI 値と SEQ 値に入力する情報を修正してください。
PWX-09859	無効なリスタートデータが指定されました。RI=<text_string>、SEQ=<text_string>。
説明：	入力 SQL の RI コンポーネントと SEQ コンポーネントが矛盾しています。
システムのアクション：	DTLAMCSR アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答：	SQL 文字列の RI 値と SEQ 値に入力する情報を修正してください。
PWX-09860	ファイルアクセスに要求された動詞が認識されません<verb_number>。
説明：	動詞が open/close/read でないため、ファイルにアクセスできません。
システムのアクション：	DTLAMCSR アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答：	状況データを収集して、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡してください。

PWX-09861	指定されたブロック/オフセットのリスタート値 <block_number>オフセットの検証に失敗しました（カタログ値<block_numberoffset>）。
説明：	指定された RI および SEQ 文字列値が、カタログから読み取られた既知の値と一致しません。
システムのアクション：	DTLAMCSR アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答：	値を修正して再実行します。
PWX-09862	カタログの読み取りが失敗しました、理由<text_string> 戻りコード<return_code>。
説明：	カタログのオープンまたは読み取りに失敗しました。
システムのアクション：	DTLAMCSR アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答：	出力メッセージに示されたエラーを修正して、サブミットし直してください。
PWX-09863	リスタートデータが一致しません。RI の FILE の大きさが SEQ の FILE を超えています（RI<text_string>と SEQ<text_string>）。
説明：	リスタート情報をカタログで検証するための呼び出しが失敗しました。
システムのアクション：	DTLAMCSR アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答：	SQL 文字列の RI 値と SEQ 値に入力する情報を修正してください。
PWX-09864	Presspack エラー:<text_string>。
説明：	CDC 処理中に PowerExchange が IDMS Presspack 解凍ルーチン"IDMSUNPS"を呼び出したときにエラーが発生しました。
システムのアクション：	PowerExchange IDMS アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答：	エラーを修正し、要求を再実行します。
PWX-09865	Datcom RTTB CDC、クリーンアップタスク text がデータ time をキャプチャしました。
説明：	このメッセージは、キャプチャ TSN レコードのタイムスタンプに関する情報を表示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-09866	Datcom RTTB CDC、クリーンアップタスク text TSN=number、MNT=number、MAX MNT=number。
説明：	このメッセージは、Datcom テーブルベース ECCR のクリーンアップ実行で処理されたレコード数を表示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。

PWX-09867	Datacom RTTB CDC、クリーンアップタスク <i>text</i> 、 <i>time</i> 。
説明：	このメッセージは、Datacom テーブルベース ECCR のクリーンアップタスクの終了についての情報を表示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-09868	Datacom RTTB CDC、クリーンアップタスク統計 (<i>text</i>) --->、 <i>time</i> 。
説明：	このメッセージは、Datacom テーブルベース ECCR の内部クリーンアップ統計の表示時間を示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-09869	Datacom RTTB CDC、クリーンアップタスク待機間隔は <i>interval</i> です。
説明：	このメッセージは、Datacom テーブルベース ECCR のクリーンアップサブタスクが使用しているクリーンアップ間隔を示します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-09870	DTLAINT インタフェースエラー: 戻りコード<result_code>、テキスト<result_text>。
説明：	DTLAINT という PowerExchange 内部インタフェースの初期化中にエラーが発生しました。
システムのアクション：	DTLAINT インタフェースは、呼び出し元のソフトウェアに対して指定された結果コードおよびテキストとともにこのエラーを返します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09871	DTLAINT インタフェースエラー: ルーチン<routine_name>から呼び出し、戻りコード<result_code>。
説明：	内部 DTLAINT インタフェースが指定されたルーチンを呼び出しているときにエラーが発生しました。
システムのアクション：	DTLAINT インタフェースは、呼び出し元のソフトウェアに対して指定された結果コードとともにこのエラーを返します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09872	DTLCLOCK タイムスタンプ変換エラー: <result_code>
説明：	内部 DTLAINT インタフェースが DTLCLOCK ルーチンを呼び出して、変更レコード内の Datacom SQL タイムスタンプをストアクロック形式に変換しているときにエラーが発生しました。ルーチンは、Datacom テーブルベース ECCR 構成メンバで LOCAL_TIME が Y に指定されている場合にのみこの変換を試行します。不適切な形式の Datacom SQL タイムスタンプが原因でエラーが発生した可能性があります。
システムのアクション：	DTLCLOCK ルーチンは、呼び出し元のソフトウェアに対して指定された結果コードとともにこのエラーを返します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-09875	プール ID<pool_ID>を割り当てられませんでした。戻りコード<result_code>。
説明:	指定されたプール ID からのメモリ割り当てに失敗しました。
システムのアクション:	DTLAMCST アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09876	ユーザーは、このアクセス方式を使用するライセンスを持っていません。
説明:	このライセンスキーでは、Datacom CDC に対する DTLAMCST アクセス方式の使用は許可されません。
システムのアクション:	DTLAMCST アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答:	有効な拡張ライセンスキーの入手については、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09877	メンバ DBCB が接続されていません。DBCB は<dbcb>です。
説明:	指定された DBCB が接続されていません。
システムのアクション:	DTLAMCST アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09878	プロセス<function_name>に<address>で、数値が<number>の無効な DBCB が与えられました。
説明:	指定のプロセスで無効な DBCB が提供されました。
システムのアクション:	DTLAMCST アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09879	サポートするファイルアクセスレイヤが戻りコード<number>、テキスト<reason>を返します。
説明:	基礎となるファイルアクセスメカニズムがエラーを返しました。エラーの理由としては、無効なファイル名または権限エラーが考えられます。
システムのアクション:	DTLAMCST アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答:	エラーを診断するために、指示された理由のテキストを見直してください。エラーが解決しない場合は、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡してください。
PWX-09880	SQL エラー: <text_string>。
説明:	Datacom CDC に対する DLTAMCST アクセス方式の指定の入力 SQL 文字列にエラーが含まれます。
システムのアクション:	DTLAMCST アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。

ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09881	メモリ<text_string>の割り当てでエラーが発生しました。戻りコード<return_code>。
説明：	PowerExchange で、十分なメモリを割り当てることができませんでした。
システムのアクション：	DTLAMCST アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09882	値<text_string>に重大なエラーがあります。説明<text_string>。
説明：	重要なデータ項目または計算値にエラーが含まれます。
システムのアクション：	DTLAMCST アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09883	リスタートデータが一致しません。VERSION は、RI<text_string>と SEQ<text_string>の両方で同じにする必要があります。
説明：	リスタート情報をカタログで検証するための呼び出しが失敗しました。
システムのアクション：	DTLAMCST アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答：	SQL 文字列の RI 値と SEQ 値を修正します。
PWX-09884	無効なリスタートデータが指定されました。RI=<text_string>、SEQ=<text_string>。
説明：	入力 SQL の RI 値と SEQ 値が矛盾しています。
システムのアクション：	DTLAMCST アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09885	ファイルアクセスに要求された動詞が認識されません<verb_number>。
説明：	動詞が open、close、または read ではないので、DTLAMCST アクセス方式でファイルにアクセスできません。
システムのアクション：	DTLAMCST アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-09886	指定されたブロック/オフセットのリスタート値 <block_number> <offset>の検証に失敗しました (カタログ値 <block_number> <offset>)。
説明:	指定された RI および SEQ 値が、カタログから読み取った既知の値と一致しません。
システムのアクション:	DTLAMCST アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09887	カタログの読み取りが失敗しました、理由<text_string> 戻り コード<return_code>。
説明:	カタログのオープンまたは読み取りに失敗しました。
システムのアクション:	DTLAMCST アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09888	リスタートデータが一致しません。RI の FILE の大きさが SEQ の FILE を超えています (RI<text_string>と SEQ<text_string>)。
説明:	リスタート情報をカタログで検証するための呼び出しが失敗しました。
システムのアクション:	DTLAMCST アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09889	サポートする Datacom インタフェースアクセスレイヤが戻り コード<return_code>、テキスト<reason>を返しました。
説明:	基礎となる Datacom インターフェイスアクセスメカニズムがエラーを返しました。エラーの原因として、無効な構成または権限エラーが考えられます。
システムのアクション:	DTLAMCST アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09890	変更データキャプチャ <i>function</i> には Datacom マルチユーザ 機能が無効になっています。続行するには Y を、中止する には N を押してください。
説明:	Datacom MUF は、以下の Datacom テーブルベースの CDC 関数のいずれかに対して、アクティブではありません。 <ul style="list-style-type: none"> • ECCR。MUF が実行中でないときに ECCR が開始された可能性があります。 • クリーンアップ。MUF はおそらくクラッシュしたか、または誤ってオペレータによりシャットダウンされました。
システムのアクション:	ECCR はユーザーの応答を待機します。
ン:	

ユーザの応答：	<p>対処方法は、ECCR またはクリーンアップに対して MUF がアクティブであるかどうかに応じて異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ECCR。MUF をリスタートした後、メッセージに対して Y を入力します。 • クリーンアップ。ECCR を停止し、リスタートします。
PWX-09891	Datacom マルチユーザー機能がオペレータによって拒否されるまでお待ちください。
説明：	オペレータはメッセージ PWX-09890 に対して、Datacom MUF がアクティブになるまで待機せずに、Datacom ECCR の起動をキャンセルするように応答しました。
システムのアクション：	Datacom テーブルベース ECCR が終了します。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-09893	Datacom RT テーブルベース CDC、クリーンアップタスクがアクティブ化されました<time>。
説明：	Datacom CDC テーブルのクリーンアップタスクが開始されました。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-09894	Datacom RT テーブルベース CDC、クリーンアップタスクがアクティブ化されました<time>。
説明：	Datacom CDC テーブルのクリーンアップタスクが実行中です。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-09895	Datacom RT テーブルベース CDC、クリーンアップタスクが処理を待っています<time>。
説明：	Datacom CDC テーブルのクリーンアップタスクが現在アイドルです。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-09896	Datacom RT テーブルベース CDC、クリーンアップタスクが終了しました<time>。
説明：	Datacom CDC テーブルのクリーンアップタスクが終了しました。
ユーザの応答：	対応する必要はありません。
PWX-09897	クリーンアップサブタスクの作成に失敗しました。戻りコード <i>return_code</i>
説明：	Datacom CDC テーブルのクリーンアップタスクを開始できませんでした。戻りコードは、オペレーティングシステム環境によって異なります。
システムのアクション：	Datacom テーブルベース ECCR が終了します。
ユーザの応答：	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。

PWX-09898	クリーンアップサブタスクが早期に終了しました
説明:	Datacom CDC テーブルのクリーンアップタスクが終了しました。関連エラーメッセージを参照してください。
システムのアクション:	Datacom テーブルベース ECCR が終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。
PWX-09899	Presspack エラー:<text_string>。
説明:	PowerExchange が Presspack 解凍ルーチンを起動したときにエラーが発生しました。
システムのアクション:	PowerExchange アクセス方式は、呼び出し元のソフトウェアにこのエラーを返します。
ユーザの応答:	エラーを修正し、要求を再実行します。
PWX-09900	ADABAS STATS:STATS
説明:	このメッセージでは、Adabas ファイルの使用法に関する詳細が示されます。STATS。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-09901	Adabas では切り捨て（リフレッシュ）はサポートされていません
説明:	Adabas ファイル内のすべてのレコードを削除することを求める要求が発行されました。そのアクションポートされていません。
システムのアクション:	システムが現在のタスクを終了します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-09902	リスナログで Adabas コントロールブロックが報告されました。
説明:	エラーの後、PowerExchange が PowerExchange リスナマシン上の PowerExchange メッセージログファイルにメッセージを書き込みました。このメッセージには、データが含まれる Adabas コントロールブロック内のフィールドが含まれます。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	<p>コントロールブロックの内容を分析し、Adabas のマニュアルを確認してください。コントロールブロックには、他のエラーメッセージに含まれていない追加のフィールドとサブコードが含まれている場合があります。</p> <p>このメッセージに対して必要な追加の対応はありません。付随するメッセージを確認して対応が必要か判断してください。詳しくは、Informatica グローバルカスタマサポートに連絡し、コントロールブロックの内容を提供してください。</p>

PWX-09910	Adabas 呼び出し " <i>call_type</i> " が戻りコード <i>return_code</i> を返しました。" <i>description</i> "。
説明:	Adabas エラーが発生しました。
システムのアクション:	現在のタスクが終了します。
ユーザの応答:	付随するメッセージを参照し、サブコードを見つけて、Adabas のマニュアルを確認してください。
PWX-09911	Adabas サブコード 1 " <i>subcode1</i> "
説明:	このメッセージには、Adabas サブコード 1 の値が表示されます。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	付随するメッセージを参照し、Adabas のマニュアルを確認してください。
PWX-09912	Adabas サブコード 2 " <i>subcode2</i> "
説明:	このメッセージには、Adabas サブコード 2 の値が表示されます。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	付随するメッセージを参照し、Adabas のマニュアルを確認してください。
PWX-09913	Adabas 情報 " <i>information</i> "。
説明:	このメッセージには、Adabas から返された情報テキストが表示されます。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	付随するメッセージを参照し、Adabas のマニュアルを確認してください。
PWX-09914	Adabas ISN " <i>isn</i> "。
説明:	このメッセージは Adabas ISN を提供します。
システムのアクション:	処理は継続します。
ユーザの応答:	付随するメッセージを参照し、Adabas のマニュアルを確認してください。
PWX-09950	CAPI インタフェース: 接続 OK 。ソース= <i>number</i>
説明:	PowerExchange コンシューマ API への接続に成功しました。
システムのアクション:	その他の初期化処理が続行します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-09951	CAPI インタフェース: 戻りコード= <i>return_code</i> (<i>CAPI_routineerror_information</i> から)
説明:	指定された CAPI ルーチンでエラーが発生しました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-09952	CAPI インタフェース: <i>error_information</i>
説明:	内部エラーが発生しました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-09953	CAPI インタフェース: <i>warning_information</i>
説明:	予期しないロジック状況が発生しましたが、処理が継続します。
システムのアクション:	タスクの処理は続行されます。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに警告を報告してください。
PWX-09957	CAPI インタフェース: <i>TimeOut</i> 秒後に読み取りがタイムアウトになります <i>Additional_Information</i>
説明:	キャプチャデータの最初の読み取りが、PowerExchange コンシューマ API に指定したタイムアウト時間を設定しました。
システムのアクション:	データが呼び出し元 (CAPXRT 抽出または圧縮) に返されるか、時間のインターバルが期限切れで呼び出し処理がクローズします。タイムアウト期間が 86400 秒である場合、読み取りの有効期限は切れません。たとえばシステムは、データを永久に待機するか、またはタスクが手動で閉じられるまで待機します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-09958	CAPI インタフェース: <i>Image_Type</i> イメージヘッダが無効です: <i>rror_Information</i>
説明:	複数のフラグメントで構成されるか、またはログベースの IMS や Adabas レコードなど 32 KB の長さを超える可能性のあるデータベースの種類の前または後のイメージをアSEMBル中にエラーが発生しました。
システムのアクション:	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。

PWX-09959	CAPI インタフェース: <i>token_type</i> リスタートトークン: シーケンス= <i>token1</i> PowerExchange ロgger= <i>token2</i>
説明:	<p>メッセージは、CAPI シーケンストークンの値を 16 進数値で示しています。 <i>token_type</i> は、以下の値のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初の UOW。コールドスタートが CAPXRT 抽出または圧縮で実行される際に行われます。指定された開始トークンがすべてゼロを含み、それらが表示されているシステムで利用可能な最初のトークンによって置き換えられました。 最初の UOW レコード。ログベースの IMS または Adabas レコードなど、バッファのアセンブル中に内部エラーが発生した後、レコードダンプとともに 16 進数で表示される場合があります。 現在のレコード。ログベースの IMS または Adabas レコードなど、バッファのアセンブル中に内部エラーが発生した後、レコードダンプとともに 16 進数で表示される場合があります。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-09960	CAPI インタフェース: <i>Image_Type</i> イメージ: ッダ合計レコード長= <i>record_length</i> 構築済みバッファ長= <i>Buffer_Length</i>
説明:	<p>このメッセージでは、ログベースの IMS または Adabas レコードなど、バッファのアセンブル中に発生した内部エラーが報告されます。</p> <p>メッセージテキスト内で:</p> <ul style="list-style-type: none"> <i>Image_Type</i> は、イメージの種類です。 <i>record_length</i> は、レコード長です。 <i>Buffer_Length</i> は、アセンブルされたバッファ長です。
システムのアクション:	タスクはレコード情報をダンプし、中断します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告します。エラー時に、実行しようとした関数を知らせます。
PWX-09961	CAPI インタフェース: <i>Image_Type</i> イメージ: ッファを <i>Current_Size</i> から <i>Required_Size</i> に再割り当てしました
説明:	<p>大きなレコードがあったため、複数のフラグメントからレコードのアセンブルに使用されたバッファが、最初の割り当て 32668 バイトから拡張されました。IMS や Adabas などのデータベースの種類で発生する場合があります。イメージの種類は、Before または After のどちらかです。</p>
システムのアクション:	タスクは新しいメモリ割り当てで続行します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。

PWX-09962	CAPI インタフェース: <i>Image_Type</i> イメージ: <i>Expected_Bytes</i> バイトの読み取りが必要です。 <i>Reason</i> を検出しました
説明:	<p>予期されたバイト数が検出される前に、バッファのアセンブル中にエラーが発生し、読み込みを中止しました。理由のフィールドに、読み込まれていたレコードに関する情報があります。イメージの種類は、Before または After のどちらかです。理由は以下のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 終了 UOW レコード • 操作前の画像のないデータレコード • 操作後の画像のないデータレコード
システムのアクション:	レコードバッファをダンプした後に、エラーが発生したタスクが終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-09963	CAPI インタフェース: <i>Before</i> イメージ: <i>Expected_Bytes</i> を予期しましたが、バッファに <i>Accumulated_Bytes</i> バイト蓄積されています。
説明:	すべてのフラグメントを読み取った後、アセンブルされたバッファの実際のバイト数が、予期された数と一致しません。IMS や Adabas などのデータベースの種類で発生する場合があります。
システムのアクション:	レコードバッファをダンプした後に、エラーが発生したタスクが終了します。
ユーザの応答:	Informatica グローバルカスタマサポートに報告し、エラーの発生時に実行していた関数をお知らせください。
PWX-09964	CAPI インタフェース: 現在の PowerExchange ロgger ログファイルの位置: シーケンス=<i>token1</i> リスタート=<i>token2</i>
説明:	CAPXRT 抽出でコールドスタートが行われる場合、または圧縮が指定されていてトークンが指定されていない場合、このメッセージには現在の PowerExchange ロgger の位置に対応する 16 進数形式の CAPI シーケンストークン値が表示されます。
システムのアクション:	その他の初期化処理が続行します。
ユーザの応答:	対応する必要はありません。
PWX-09965	CAPI インタフェース: ファイルの終わり。 <i>Reason</i>。
説明:	<p>このメッセージでは、CAPXRT 抽出または圧縮のシャットダウンについて、次のいずれかの理由を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • STOPTASK を受信しました。（たとえば、プログラム DTLUTSK.EXE を通じて）停止要求を受信しました。 • シャットダウンが要求されました。CAPI インタフェースにより通常の停止要求を受信しました。これは、ユーザー要求から発生するか、CAPI_CONNECTION 文の種類 EDPQ が、パラメータ EOF=Y である場合、z/OS 上で起動されます。

システムのアクション タスクは終了します。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-09966 CAPI インタフェース: タイムアウト期間にデータがありません。最終データ時刻=*time_information*。

説明： メッセージは、システムが対象のないログを介して読み取り、ログの末尾（CAPXRT 抽出または圧縮が開始された場合）に到着しない場合、進捗情報を表示します。PWX-09967 メッセージが表示された後、進捗情報は終了します。データを取得することなく、時間間隔が期限切れになった場合、メッセージが発行されます。このメッセージには、最後のデータ時刻、および最後のデータ更新読み取りのタイムスタンプが表示されます。

システムのアクション タスクはログからの読み取りを継続します。

ン：

ユーザの応答： 最後のデータ時刻を使用して、ログのどの部分が処理されているかを特定してください。対応する必要はありません。

PWX-09967 CAPI インタフェース: 時刻 *timestamp* のログの終わりに到達しました。

説明： ログの位置は、CAPXRT 抽出または圧縮ジョブが開始された際に記され、メッセージはその位置に到着した際に発行されます。開始位置から、最新アップデートをシステムに入力するログの末尾まで処理するのに妥当な時間がかかる場合があるため、真のログの末尾は、より後の方になります。メッセージは 1 度だけ発行されます。*timestamp* は、ジョブが開始した時点を示します。

システムのアクション タスクはログからの読み込みを継続します。

ン：

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-09968 CAPI インタフェース: *facility* は使用できません

説明： この CAPI 接続の種類ではオプションの機能がサポートされていません。ログの現段階の終了時まで、すべてのレコードを読み取った（ジョブがタイムアウトまで停止することなく）ことを確認するために、ログ情報 PWX-09966 と PWX-09967 と共に、CAPI 機能 "NotifyCurrentEndOfLog" が使用されています。"NotifyCurrentEndOfLog" は、z/OS PAC ジョブでの EDPQ の古い CAPI_CONNECTION の種類では、サポートされていません。

システムのアクション 表示された機能を使用せずに、処理が継続します。

ン：

ユーザの応答： 表示された機能が必要でないことを Informatica グローバルカスタマサポートに確認してください。

PWX-09969 **CAPI インタフェース: タイムアウト期間にデータがありません。現在時刻=Time_Information**

説明： メッセージは、システムが対象のないログを介して読み取り、ログの末尾（CAPXRT 抽出または圧縮が開始された場合）に到着しない場合、進捗情報を表示します。 PWX-09967 メッセージが表示された後、進捗情報は終了します。 データを取得することなく、時間間隔が期限切れになった場合、メッセージが発行されます。 "時間情報"は、どのログが処理中かを示すのに使用される場合もあります。 それには、現在の時刻が表示されます。

システムのアクション： タスクはログからの読み込みを継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-09970 **CAPI インタフェース: ChangedNumber個のソースを最も古いシーケンストークンに変更しました。**

説明： このメッセージには、ログが処理されるソースの数に関する情報が表示されます（ログは、ログ内の最も古いシーケンスから処理されます）。

システムのアクション： タスクはログからの読み込みを継続します。

ユーザの応答： 対応する必要はありません。

PWX-09971 **CAPI インタフェース: CAPI_Connect からの戻りコード =return_code。 接続 connection_id。 ソース number_of_sources。**

説明： CDC 時に CAPI_Connect ルーチンでエラーが発生しました。 ルーチンが指定された戻りコードで終了します。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。 たとえば、無効なユーザー ID またはパスワードを指定したために、PowerExchange でデータソースに接続できない場合があります。

PWX-09972 **CAPI インタフェース: CAPI_SetRestartInfo からの戻りコード =return_code。**

説明： CDC 時に CAPI_SetRestartInfo ルーチンでエラーが発生しました。 ルーチンが指定された戻りコードで終了します。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。

PWX-09973	<p>CAPI インタフェース: CAPI_Open からの戻りコード <code>=return_code</code>。 接続 <code>connection_id</code>。 ソース <code>number_of_sources</code>。</p> <p>説明： CDC 時に CAPI_Open ルーチンでエラーが発生しました。 ルーチンが指定された戻りコードで終了します。</p> <p>システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。</p> <p>ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。</p>
PWX-09974	<p>CAPI インタフェース: CAPI_SendRestartInfo からの戻りコード <code>=return_code</code>。 接続 <code>connection_id</code>。 ソース <code>number_of_sources</code>。</p> <p>説明： CDC 時に CAPI_SendRestartInfo ルーチンでエラーが発生しました。 ルーチンが指定された戻りコードで終了します。</p> <p>システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。</p> <p>ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。</p>
PWX-09975	<p>CAPI インタフェース: CAPI_GenRestartInfo からの戻りコード <code>=return_code</code>。 接続 <code>connection_id</code>。 ソース <code>number_of_sources</code>。</p> <p>説明： CDC 時に CAPI_GenRestartInfo ルーチンでエラーが発生しました。 ルーチンが指定された戻りコードで終了します。</p> <p>システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。</p> <p>ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。</p>
PWX-09976	<p>CAPI インタフェース: CAPI_GenRestartInfo 結果セットの処理でエラーが発生しました。</p> <p>説明： CDC 時に PowerExchange が CAPI_GenRestartInfo ルーチンの結果セットを処理しているときにエラーが発生しました。</p> <p>システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。</p> <p>ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。</p>
PWX-09977	<p>CAPI インタフェース: CAPI_RequestExtendedDataType からの戻りコード <code>=return_code</code>。 型 <code>number</code>。 説明 <code>type_name</code>。</p> <p>説明： CDC 時に CAPI_RequestExtendedDataType ルーチンでエラーが発生しました。 ルーチンが指定された戻りコードで終了します。</p> <p>システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。</p>

ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。

PWX-09978 CAPI インタフェース: CAPI_RestartInit **からの戻りコード**
=return_code。

説明： CDC 時に CAPI_RestartInit ルーチンでエラーが発生しました。 ルーチンが指定された戻りコードで終了します。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。

PWX-09979 CAPI インタフェース: CAPI_GetRestartToken **からの戻りコード**
=return_code。

説明： CDC 時に CAPI_GetRestartToken ルーチンでエラーが発生しました。 ルーチンが指定された戻りコードで終了します。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。

PWX-09980 CAPI インタフェース: CAPI_Read **からの戻りコード**
=return_code (description)。

説明： CDC 時に CAPI_Read ルーチンでエラーが発生しました。 ルーチンが指定された戻りコードと説明情報で終了します。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。

PWX-09981 CAPI インタフェース: CAPI_Read **データ理由の code**
(description) がありません。

説明： CDC 時に CAPI_Read ルーチンでエラーが発生しました。 ルーチンはデータを返さず、指定の理由コードおよび記述で終了します。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。

PWX-09982 CAPI インタフェース: CAPI_GetTimeStamp **からの戻りコード**
=return_code。

説明： CDC 時に CAPI_GetTimeStamp ルーチンでエラーが発生しました。 ルーチンが指定された戻りコードで終了します。

システムのアクション： エラーが発生したタスクは終了します。

ユーザの応答：	エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。
PWX-09983	CAPI インタフェース: CAPI_GetExtendedData からの戻りコード =return_code。 型 <i>number。</i> 説明 <i>type_name。</i>
説明：	CDC 時に CAPI_GetExtendedData ルーチンでエラーが発生しました。ルーチンが指定された戻りコードで終了します。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。
PWX-09984	CAPI インタフェース: CAPI_GetUOW からの戻りコード =return_code。
説明：	CDC 時に CAPI_GetUOW ルーチンでエラーが発生しました。ルーチンが指定された戻りコードで終了します。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。
PWX-09985	CAPI インタフェース: CAPI_GetObject からの戻りコード =return_code。
説明：	CDC 時に CAPI_GetObject ルーチンでエラーが発生しました。ルーチンが指定された戻りコードで終了します。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。
PWX-09986	CAPI インタフェース: CAPI_GetData からの戻りコード =return_code。 登録タグ <i>tag_name。</i> イメージの種類 <i>type。</i>
説明：	CDC 時に PowerExchange が指定のタグ名を含むキャプチャ登録からデータの操作前の画像または操作後の画像の取得を試みたときに、CAPI_GetData ルーチンでエラーが発生しました。ルーチンが指定された戻りコードで終了します。
システムのアクション：	エラーが発生したタスクは終了します。
ユーザの応答：	エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。
PWX-09987	CAPI インタフェース: CAPI_Close からの戻りコード =return_code。
説明：	CDC 時に CAPI_Close ルーチンでエラーが発生しました。ルーチンが指定された戻りコードで終了します。

システムのアクション エラーが発生したタスクは終了します。
ン：

ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。

PWX-09988 CAPI **インタフェース**: CAPI_Disconnect **からの戻りコード**
=return_code。

説明： CDC 時に CAPI_Disconnect ルーチンでエラーが発生しました。ルーチンが指定された戻りコードで終了します。

システムのアクション エラーが発生したタスクは終了します。
ン：

ユーザの応答： エラーの原因を特定するために、関連するエラーメッセージを見直してください。

PWX-09989 CAPI i/f: **時間ベースのリスタートはこのキャプチャ実装ではサポートされていません。**

説明： 時間ベースのリスタートは、変更データを抽出するために PowerExchange ロガー（Linux、UNIX、Windows ログファイル用）に対して CDC 変更接続を使用するセッションのみでサポートされません。

システムのアクション エラーが発生したタスクは終了します。
ン：

ユーザの応答： リスタートファイルで、リスタートトークンの指定を修正してください。

第 7 章

PowerExchange Messages の異常終了コード、戻りコード、理由コード

この章では、以下の項目について説明します。

- [異常終了コード、戻りコード、理由コードの概要, 638 ページ](#)
- [IBM 製品の戻りコードと理由コード, 638 ページ](#)
- [PowerExchange 異常終了コード, 639 ページ](#)
- [PowerExchange 戻りコード, 641 ページ](#)
- [PowerExchange 理由コード, 643 ページ](#)

異常終了コード、戻りコード、理由コードの概要

一部の PowerExchange メッセージには、追加情報を示すコードが含まれています。例えば、コンポーネントまたはユーティリティが正常に実行されたかどうかを示す戻りコードがメッセージに含まれている場合があります。次の例で、戻りコード 0 は、該当するコンポーネントの実行が正常に完了したことを示します。

```
PWXEDM172302I Subtask terminating for program=EDMMLRP1,  
Return code=X'00000000' (0) Reason=X'00000000' (0).
```

PowerExchange メッセージで次の種類のコードを受信することができます。

- 異常終了コード
- 戻りコード
- 理由コード

この付録ではコードの種類ごとに、コードを生成する PowerExchange コンポーネントに基づいて、コードをグループ別に一覧表示します。

IBM 製品の戻りコードと理由コード

PowerExchange で返される、一部の戻りコードと理由コードは、z/OS オペレーティングシステムまたは別の IBM 製品によって作成されます。これらのコードの詳細については、該当する IBM z/OS、IMS、VSAM、ま

たは DB2 のマニュアルを参照してください。戻りコードの説明が含まれている IBM ドキュメントは、次のとおりです。

- *DFSMS:DFSMSdfp 診断*
- *z/OS プログラミング:『アセンブラー・サービス解説書』*
- *z/OS プログラミング:Authorized Assembler Services Reference*
- *IMS のメッセージとコード*
- *DB2 for z/OS メッセージ*
- *DB2 for z/OS コード*

PowerExchange 異常終了コード

異常終了コードは、システムが異常終了したことを通知します。一部の PowerExchange コンポーネントは、すべての異常終了に対して 1 つの異常終了コードを発行します。その他のコンポーネントは複数の種類の異常終了コードを発行し、各異常終了メッセージは異常終了を説明する理由コードも提供します。PowerExchange は、z/OS オペレーティングシステムまたは別の IBM 製品によって作成された異常終了コードも発行します。これらの異常終了コードの詳細については、該当する IBM z/OS、IMS、VSAM、または DB2 のマニュアルを参照してください。

異常終了コード U0001 - PowerExchange エージェント

PowerExchange エージェントは U0001 のユーザー異常終了コードを発行して、PowerExchange エージェントが回復不能なエラーを検出したことを示します。

PowerExchange エージェントは、異常終了コードの発行時に、関連する理由コードも発行します。また、PowerExchange エージェントは常に、メッセージ PWXEDM172012E を発行してから、異常終了コードとそれに関連する理由コードを含むメッセージを発行します。

次の表は、異常終了コード U0001 に関連する理由コードについての説明です。

理由コード	説明
00000001	PowerExchange エージェントが無効な初期化作業領域 (EDMSIWRK) またはポインタを検出しました。
00000002	PowerExchange エージェントが無効なエージェントグローバル制御領域 (EDMSCTRL) またはポインタを検出しました。
00000003	PowerExchange エージェントが無効な ACB またはポインタを検出しました。
00000004	PowerExchange エージェントが無効な RPL またはポインタを検出しました。
00000005	PowerExchange エージェントが無効な SUBSYS I/O 作業領域 (EDMSSIOW) またはポインタを検出しました。
00000006	PowerExchange エージェントが無効なサブタスク作業領域 (EDMSSTSK) またはポインタを検出しました。
00000007	PowerExchange エージェントが、破損した格納領域チェーンを検出しました。

理由コード	説明
00000101	PowerExchange エージェントが、長さがゼロの SUBSYS I/O PUT 要求を検出しました。
00000102	PowerExchange エージェントが SUBSYS I/O バッファを見つけられませんでした。
00000103	PowerExchange エージェントが、ロケートモードの SUBSYS I/O PUT 要求を検出しました。
00000201	PowerExchange エージェントが、ロックマネージャにパラメータを渡しませんでした。
00000202	PowerExchange エージェントが、不正な関数コードまたはオペランドをロックマネージャに渡しました。
00000203	ロックマネージャがストレージを取得できませんでした。
00000204	PowerExchange エージェントが、無効な ASCB および/または TCB アドレスをロックマネージャに渡しました。
00000205	PowerExchange エージェントが、すでに保持されているロックよりも低い階層にあるロックの要求を行いました。
00000301	バッチ VSAM ECCR がジョブの終了を要求しました。

PowerExchange ロggerが、異常終了コードの発行時に、関連する理由コードも発行した可能性があります。PowerExchange ロggerは、異常終了を発行するモジュールの番号または名前、および異常終了を詳細に説明するメッセージのメッセージ番号に基づいて、このコードを生成します。

異常終了コード U0356 - バッチ VSAM ECCR

バッチ VSAM 環境変更キャプチャルーチン（environmental change capture routine : ECCR）は U356 異常終了コードを発行して、バッチ VSAM ECCR が異常終了したことを示します。

異常終了コード U3035 - PowerExchange ロgger

PowerExchange ロgger（z/OS 用）は U3035 ユーザー異常終了コードを発行して、PowerExchange ロggerが異常終了したことを示します。

異常終了コード U3680 - DB2 ECCR

DB2 環境変更キャプチャルーチン（environmental change capture routine : ECCR）は U3680 ユーザー異常終了コードを発行して、DB2 ECCR が異常終了したことを示します。

DB2 ECCR は通常、関連する理由コードを発行します。DB2 ECCR は、異常終了を発行するモジュールの番号または名前、および異常終了を詳細に説明するメッセージのメッセージ番号に基づいて、この理由コードを生成します。システムが異常終了した場合には、この異常終了に関連する理由コードを記録します。

PowerExchange 戻りコード

戻りコードを返す PowerExchange ジョブの実行後、システムはその戻りコードを出力ファイルにロギングしたり、デバイスに出力します。標準戻りコード、共通戻りコード、またはコンポーネント固有の戻りコードを受信できます。

PowerExchange で返される、一部の戻りコードは、z/OS オペレーティングシステムまたは別の IBM 製品によって作成されます。これらの戻りコードの詳細については、該当する IBM z/OS、IMS、VSAM、または DB2 のマニュアルを参照してください。

戻りコード 0～12 - 標準

標準戻りコードの値を一覧表示します。戻りコード値は、重要度が増すごとに大きくなります。

次の表は、0 から 12 までの戻りコードについての説明です。

戻りコード	説明
0	プログラム、コンポーネント、またはモジュールの実行が成功し、警告またはエラーが発生しなかったことを示します。
4	以下のいずれかを示します。 <ul style="list-style-type: none">- プログラム、コンポーネント、またはモジュールが正常に完了したが、処理に警告が含まれていました。- プログラムの実行は不完全である可能性があります。 どちらの状況でも、プログラムは警告を出力に書き込むか、ファイルを出力するので、これらを使用して問題を特定できます。通常、このファイルを調べずにプログラムの実行が成功したかどうかを決定することはできません。
8	プログラム、コンポーネント、またはモジュールの実行中にエラーが発生したことを示します。プログラムはエラーメッセージを出力に書き込むか、ファイルを出力するので、それらを調べて問題を判定することができます。
12	重大なエラーのために、プログラム、コンポーネント、またはモジュールが処理中に終了したことを示します。通常、エラーには、オペレーティングシステム環境または認証の問題が含まれます。

戻りコード 1～412 - 共通

PowerExchange の一部の内部コンポーネントは、共通の戻りコードのセットを使用します。これらのコードの一部は標準コードと同じですが、説明が拡張されたり、異なっていたりします。

次の表に、共通戻りコードを一覧表示し、それぞれのコードについて説明します。

10 進戻りコード	説明
1	要求された項目または関数が見つかりませんでした。
2	システムは、要求された関数または項目の重複を見つけました。

10 進戻りコード	説明
4	<p>これは、警告の標準戻りコードです。PowerExchange コンポーネントが発行した場合、以下の具体的な警告のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - システムはファイルの終わり（EOF）通知をサブタスクに送信しています。 - 変換バッファが小さすぎます。これは警告です。 - ECCR は正しくないファイルからのレコードを渡しました。 - レコードは、データがキャプチャされておらず、プロパゲートされていないファイルから得られたものです。 - システムは、キャプチャされた変更を受信する予定のないファイルに、キャプチャされた変更を送信しようとしていました。
12	システムは、PowerExchange を再び呼び出すことはありません。
16	重大なエラーが発生しました。
17	セキュリティエラーが発生しました。
411	タスクが異常終了しました。
412	シャットダウンタイムが終了しました。

戻りコード 0～12 - PowerExchange エージェント

PowerExchange エージェントは、0 から 12 の戻りコードを発行します。

以下の表に、PowerExchange エージェントが発行する戻りコードを一覧表示します。

10 進戻りコード	説明
0	「戻りコード 0～12 - 標準」 (ページ 641) を参照します。
4	「戻りコード 0～12 - 標準」 (ページ 641) を参照します。
8	PowerExchange エージェントが一般エラーを検出しました。PowerExchange エージェントは、戻りコードを返し、この戻りコードと一緒にメッセージ内の理由コードを表示しました。これらの理由コードについては、 「理由コード 001～255 - PowerExchange エージェント」 (ページ 644) を参照します。
12	PowerExchange エージェントが重大な一般エラーを検出しました。エラーの重大度によって、PowerExchange エージェントは理由コードを返せませんでした。

戻りコード 221: PowerExchange ロgger

次の表に、PowerExchange ロggerが発行する戻りコードを一覧表示します。

16 進戻りコード	説明
00DD 221	一般エラーが発生しました。

以下の表に、バッチ VSAM 環境変更キャプチャルーチン（environmental change capture routine：ECCR）が発行する戻りコードを一覧表示します。

10 進戻りコード	説明
0	バッチ VSAM ECCR 変更キャプチャモジュールがアクティブです。
4	指定されたモジュールは初期化されていますが、アクティブではありません。
8	指定されたモジュールが初期化されていません。

戻りコード 0～8 - バッチ VSAM ECCR

バッチ VSAM 環境変更キャプチャルーチン（environmental change capture routine：ECCR）は、0 から 8 の戻りコードを発行します。

以下の表に、バッチ VSAM 環境変更キャプチャルーチン（environmental change capture routine：ECCR）が発行する戻りコードを一覧表示します。

10 進戻りコード	説明
0	バッチ VSAM ECCR 変更キャプチャモジュールがアクティブです。
4	指定されたモジュールは初期化されていますが、アクティブではありません。
8	指定されたモジュールが初期化されていません。

PowerExchange 理由コード

理由コードは、システム動作や問題の原因に関する情報を提供します。ここでは、ユーザーやベンダーの製品サポート担当者が故障中のコンポーネントの問題を解決するのに役立つ理由コードのリストと説明を示します。PowerExchange の理由コードは、PowerExchange コンポーネント別に表示されています。PowerExchange で返される、一部の理由コードは、z/OS オペレーティングシステムまたは別の IBM 製品によって作成されません。

これらの理由コードの詳細については、該当する IBM z/OS、IMS、VSAM、または DB2 のマニュアルを参照してください。一部のコンポーネントは理由コードを作成せず、別のコンポーネントやオペレーティングシステムによって作成された理由コードを表示します。

例えば、コピーブックコンパイラは理由コードを作成しません。表示される各理由コードはシステムルーチンによって作成され、理由コードを返すメッセージに示された IBM z/OS マニュアルにその説明があります。

理由コードは、該当するメッセージログに書き込まれるか、16 進値または 10 進値として表示されます。16 進形式は X'xxxxxxxx'、10 進形式は (nnnnnnnn) です。理由コードの長さは 4 バイトです。最初の 2 バイト（4 つの 16 進文字）は内部モジュールを識別し、最後の 2 バイト（4 つの 16 進文字）は理由を識別します。

理由コード xxxx0800～xxxx081F - 共通

PowerExchange の一部の内部コンポーネントは、共通の理由コードのセットを使用します。

次の表に、これらの理由コードと、それぞれのコードの説明を一覧表示します。

理由コード	説明
xxxx0800	一般プログラムエラーが発生しました。
xxxx0801	無効な関数コードが見つかりました。
xxxx0802	無効なトークンが見つかりました。
xxxx0803	共通トークンが見つかりませんでした。
xxxx0804	GETMAIN エラーが発生しました。
xxxx0805	DD 名が見つかりませんでした。
xxxx0806	プログラム LOAD エラーが発生しました。
xxxx0807	循環キューで問題が発生しました。
xxxx0808	この関数に対する権限を持っていません。
xxxx0809	OPEN が失敗しました。
xxxx080A	コンポーネントがスーパーバイザ状態を取得できませんでした。
xxxx080B	FREEMAIN 関数の処理中にエラーが発生しました。
xxxx080C	プログラム DELETE エラーが発生しました。

注: すべてのモジュールがこれらのコードを発行できるので、変数 *xxxx* は、理由コードの最初の 2 バイト（4 つの 16 進文字）を表します。

理由コード 001～255 - PowerExchange エージェント

PowerExchange エージェントは次のタイプの理由コードを発行します。

- 異常終了コード U0001 を表示するメッセージは、異常終了の原因を特定するのに役立つ、関連する理由コードも表示します。
- その他のメッセージは、そのメッセージに関するエラーの原因を特定するのに役立つ、2 番目の種類の理由コードを表示します。

次の表は、このタイプの理由コードについての説明です。

10 進数の理由コード	16 進数の理由コード	説明
001	01	プライベート STORAGE OBTAIN が失敗しました。
002	02	16 MB 未満に対するプライベート STORAGE OBTAIN が失敗しました。
003	03	共通 STORAGE OBTAIN が失敗しました。
004	04	16 MB 未満に対する共通 STORAGE OBTAIN が失敗しました。
005	05	MVS が必要な SP レベルではありません。
006	06	RACROUTE AUTH 呼び出しが失敗しました。
007	07	RACROUTE AUTH 呼び出しではない AUTH 呼び出しが失敗しました。
008	08	PowerExchange エージェントを呼び出しているモジュールで内部論理エラーが発生しました。正しいパスワードキーを送信しませんでした。
009	09	必要な PowerExchange サブシステムデータスペースがありません。
010	0A	PowerExchange サブシステムが見つかりませんでした。
011	0B	サブシステムは見つかりましたが、PowerExchange サブシステムではありません。
012	0C	EDMSDIR モジュールのロードに失敗しました。
013	0D	EDMXCIRQ 循環キューがエラーを返しました。
014	0E	グローバルキューが存在しません。
015	0F	呼び出し側のモジュールが PowerExchange キューハンドルを渡しませんでした。
016	10	呼び出し側のモジュールはキューハンドルを渡しましたが、ハンドルのバージョン番号またはフォーマットが正しくありません。
017	11	呼び出し側のモジュールが PowerExchange ハンドルを渡しませんでした。
018	12	呼び出し側のモジュールは PowerExchange ハンドルを渡しましたが、PowerExchange ハンドルのバージョン番号またはフォーマットが正しくありません。
019	13	PowerExchange サブシステム初期化（EDMSINIT）が実行されていません。
020	14	PowerExchange サブシステム初期化（EDMSINIT）を試みましたが、すでに初期化されています。
021	15	EDMSCTRL ポインタがありません。または無効です。
022	16	アドレス空間作成マクロ（ASCRE）が失敗しました。

10 進数の理由コード	16 進数の理由コード	説明
023	17	別のコンポーネントが PowerExchange エージェントに無効なアドレス空間名を送信したので、アドレス空間作成マクロ (ASCRE) が失敗しました。
024	18	要求されたリソースが使用できないので、アドレス空間作成マクロ (ASCRE) が失敗しました。要求する側のコンポーネントは、後でリソースを要求する必要があります。リソースが使用可能になる前に要求する側のコンポーネントがタイムアウトした場合は、ジョブを再び実行する必要があります。
025	19	PowerExchange エージェントはグローバルキューを作成しようとしたますが、すでに存在しています。
026	1A	PowerExchange エージェントが DRAIN コマンドを処理しています。
027	1B	PowerExchange エージェントは DRAIN コマンドの処理を完了しました。
028	1C	EDMSASIN モジュールがアドレス空間作成マクロ (ASCRE) を終了しました。
029	1D	PowerExchange エージェントは SHUTDOWN COMPLETELY コマンドを受信し、完全にシャットダウンされました。
030	1E	サブシステム DD の動的割り当て (DYNALLOC) が失敗しました。
031	1F	グローバルキューは、不正な ASID を持つプログラムから要求を受信しました。
032	20	グローバルキューシーケンス番号に不一致があります。
035	23	PowerExchange エージェントは PowerExchange リポジトリにアクセスしようとしたますが、PowerExchange リポジトリが開いていないか、PowerExchange リポジトリコマンドが無効でした。
036	24	PowerExchange エージェントは無効なリポジトリコマンドを受信しました。
037	25	RIOM 呼び出しでエラーが発生しました。
040	28	PowerExchange エージェントは、データが切り捨てられていることを検出しました。
045	2D	モジュールは現在ロックを保持しているか、ロックを取得済みです。
046	2E	モジュールは現在ロックを保持していません。
047	2F	要求されたロックは使用できませんでした。
048	30	ロックは保持されておらず、階層ルールのために取得できません。
060	3C	SIOW 領域はストレージを取得できませんでした。
061	3D	リソースマネージャがストレージを取得できませんでした。
062	3E	タスク作業領域がストレージを取得できませんでした。

10 進数の理由コード	16 進数の理由コード	説明
063	3F	グローバルキューハンドラがストレージを取得できませんでした。
070	46	EDMSRMGR 呼び出し中に不正な STOKEN が発生しました。
071	47	EDMSRMGR 呼び出し中に不正な TCB が発生しました。
072	48	EDMSRMGR TCB がホーム ASID にありません。
230	E6	PowerExchange エージェントは SRB モードの呼び出し元を許可しません。
231	E7	内部要求または応答にカウントの不一致が含まれていました。これは、タイムアウトが発生した可能性があることを示しています。
232	E8	内部要求または応答にカウントの不一致が含まれていました。これは、タイムアウトが発生した可能性があることを示しています。
233	E9	サブシステムデータセットの CLOSE 操作中に内部制御ブロックエラーが発生しました。
234	EA	予期しない形式のリンケージスタックが検出されました。
237	ED	サブシステムデータセットエントリ (GCQNT) はこれ以上ありません。
238	EE	PowerExchange エージェントに接続するタスクに使用できるエントリ (TAFF、Task Affinity エントリ) はこれ以上ありません。
239	EF	要求がタイムアウトになりました。
240	F0	論理的に正しくない関数要求が発生しました。
241	F1	必要なサブシステムまたはサブタスクがアクティブではありません。
242	F2	OPEN コマンドに失敗しました。
243	F3	CLOSE コマンドに失敗しました
244	F4	PowerExchange エージェントが無効なデータセット名を検出しました。
245	F5	モジュール LOAD が失敗しました。
246	F6	IBM タイミングマクロ (STIMERM) が失敗しました。
247	F7	PowerExchange エージェントは、オペランドの数が正しくないコマンドを検出しました。
248	F8	別のコンポーネントが、使用できない関数を要求しました。
249	F9	バッファまたはファイルがいっぱいなので、PowerExchange エージェントはデータをバッファまたはファイルに追加できませんでした。

10 進数の理由コード	16 進数の理由コード	説明
250	FA	別のコンポーネントは、何か検索するよう PowerExchange エージェントに要求を送信しましたが、PowerExchange エージェントは見つけれませんでした。
251	FB	PowerExchange エージェントが、重複する要求またはレコードを検出しました。
252	FC	あるモジュールが、別のモジュールに不正なオペランドを渡しました。
253	FD	無効な関数が要求されたか、関数要求に不正なエラー数が含まれていました。
255	FF	異常終了が発生しました。

理由コード 00000601～00004499 - コマンド

PowerExchange は、プログラムモジュール間で渡す符号化コマンドから理由コードを発行します。これらの理由コードの一部は、エラー発生時に表示されるメッセージ内に表示されます。

次の表は、これらの理由コードについての説明です。

理由コード	説明
00000601	不明なエラーが発生しました。
00000602	スキーマ登録がありません。
00000603	リレーショナルスキーマ登録がありません。
00000604	指定された EDMNAME と一致するオブジェクトまたはスキーマがありません。
00000605	要求された時間、オブジェクトまたはスキーマがアクティブではありません。
00000702	メッセージ PWXEDM172702I が発行された場合、他のアクティブログが使用できないので使用していたアクティブログを、PowerExchange ロgger に奪われたために、ログ読み取りタスク (EDMLCQ00) は終了しました。それ以外の場合は、PowerExchange ロgger のログ読み取りタスク (EDMLCQ00) は異常終了しました。
00000703	処理終了で、ログオン済みのリーダー制御ブロックが見つかりませんでした。
00000704	プロセス終了要求が失敗しました。
00000805	Client Control Block が見つかりません (クライアントはまだロgger にサインオンしていないか、もうサインオンしていません)
00000813	無効な XCF メッセージ (認識されない符号化コマンド) です。
00001506	使用可能なデータがありません (RBA 範囲が見つかりません)。
00001507	データはインベントリにありません (要求されたタイムスタンプがまだ存在しません)。
00001508	エラーのためにデータにアクセスできません (例えば、サブタスクの接続に失敗しました)。

理由コード	説明
0000150A	初期化前にロッガーから切断されたログリーダーが完了しました。
00001510	トランザクション ID ロgger名がこのロッガーではありません。
00001511	データ転送要求で、ログオン済みのリーダー制御ブロックが見つかりませんでした。
00001514	停止位置は開始位置よりも前です。
00001515	指定した開始位置は見つかりません。
00001601	データ転送停止で、ログオン済みのリーダー制御ブロックが見つかりませんでした。
00001701	不明な理由のために登録要求が失敗しました。
00001702	データベース、データセット、サブシステム登録のいずれもありません。
00001703	指定された種類の登録がありません。
00001704	指定された EDMNAME と一致するオブジェクトまたはスキーマがありません。
00001705	要求された時間、オブジェクトまたはスキーマがアクティブではありません。
00001706	モジュールが、オブジェクトのプライマリオブジェクトプロファイルを見つけることができません。オブジェクトが PowerExchange に対して定義されていないことが原因として考えられます。VSAM および IMS では、VSAM データセットまたは IMS セグメントに対して再定義したレコードを作成して、プライマリレコード定義を削除した場合、この理由コードが生成されることがあります。
00001708	無効なオブジェクトタイプに対する登録要求。
00001901	PowerExchange ロggerがシャットダウンしています。
00001902	PowerExchange ロggerでは追加のシステムリソースが必要です。
00001903	キューを開くことができませんでした。
00001904	無効なサインオン要求（読み取りモードも書き込みモードも要求していません）。
00001905	すでにサインオンしています（ジョブ名が重複）。
00001906	XCF 接続に失敗しました。
00001907	PowerExchange ロggerの準備ができていません。
00001908	別の CPU 上のロッガー（ログリーダーが、別のオペレーティングシステムインスタンスで実行しているロッガーに接続しようとしてしました）。
00001909	ログリーダー制御ブロック（OUQQ）の追加に失敗しました。
0000190A	ログリーダーサブタスクを開始できません。
0000190B	ECCR サインオンレコードをログに記録できませんでした。
0000190C	ECCR 制御ブロック（INQQ）の追加に失敗しました。

理由コード	説明
0000190D	再開操作に失敗しました。
00002104	無効な Resource Interest List コマンド
00002105	IntLst コマンドの処理中にチェインエラーが発生しました
00002111	マッチングするサインオンリーダーがありません
00002501	不明なエラーが発生しました。
00002502	対応していないデータ型が見つかりました。
00002503	モジュールが、対応していないデータ定義言語（DDL）コードを検出しました。
00002504	オブジェクト登録が見つかりませんでした。
00002505	スキーマ登録が見つかりませんでした。
00002506	指定された時間にスキーマがありません。
00002507	変更要求が失敗しました。
00002601	ユーザーデータレコードをログに記録できませんでした。
00002806	長すぎるカラム名が見つかりました。
00004701	メンバロッガーはすでに静止状態でした。
00004702	メンバロッガーはすでに停止状態でした。
00004801	メンバロッガーが静止状態にありませんでした。
00004802	メンバロッガーはすでに停止状態でした。

理由コード 00000813～00001515 - 符号化コマンド

符号化コマンドは、0000813 から 00001515 の理由コードを発行します。

以下の表に、符号化コマンド理由コードを一覧表示します。

理由コード	説明
00000813	無効な XCF メッセージ（認識されない符号化コマンド）。
00000805	クライアント制御ブロックが見つかりません（クライアントがまだ、またはもうロッガーにサインオンしていません）。
00001506	DATA IS NO LONGER AVAILABLE（使用可能なデータがありません）（RBA 範囲が見つかりません）。
00001507	データはインベントリにありません（要求された RBA がまだ存在しません）。

理由コード	説明
00001508	DATA NOT ACCESSED DUE TO ERROR (エラーのためにデータにアクセスできません) (例えば、必要なデータセットを割り当てることができません)。
00001510	TRAN ID LOGGER NAME NOT THIS LOGGER (トランザクション ID ロgger 名がこのロgger ではありません)。
00001514	停止位置が開始位置の前にあります。
00001515	そのような開始位置が見つかりません。

理由コード 00000C00～00000C0E - 共通サービス

PowerExchange 共通サービスは、多くの PowerExchange コンポーネントに関数を提供します。

次の表は、共通サービス処理中に発生するエラーの理由コードについての説明です。

理由コード	説明
00000C00	モジュールがストレージを取得できませんでした。
00000C01	ロックマネージャがアンカーを作成できませんでした。
00000C02	使用可能なロックマネージャエントリがありません。
00000C03	ロックマネージャが無効なエントリを受信しました。
00000C0A	モジュールが無効なトレース ID を受信しました。
00000C0B	MVS ATTACH 関数が失敗しました。
00000C0C	MVS サービスパラメータリスト番号が無効でした。
00000C0D	MVS STIMER SET 関数が失敗しました。
00000C0E	MVS STIMER CANCEL 関数が失敗しました。

PowerExchange ロgger の理由コード

理由コード 0033FF01～00FFFFFF - PowerExchange ロgger

PowerExchange ロgger は、0033FF01 から 00FFFFFF の理由コードを発行します。

次の表に、PowerExchange ロgger の理由コードを一覧表示します。

理由コード	説明
0033FF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
0033FF02	初期化エラーが発生しました。無効な関数コードがありました。

理由コード	説明
0033FF03	レコード移動の試行中に不明な戻りコードが見つかりました。
0033FF04	リーダプロセッサ (EDMLLRD0) がバッファを取得できませんでした。
0033FF05	リーダプロセッサ (EDMLLRD0) が無効なレコードプレフィックスを検出しました。
0033FF06	リフレッシュされたバッファはリーダプロセッサ (EDMLLRD0) には使用できませんでした。
0033FF07	リーダプロセッサ (EDMLLRD0) が、リフレッシュされたバッファの取得に失敗しました。
0033FF08	リーダプロセッサ (EDMLLRD0) が無効なレコードプレフィックスを検出しました。
0033FF09	リーダプロセッサ (EDMLLRD0) が空のキューを待機しているときに、読み取りキューにエントリが入っていました。
0033FF0A	使用可能なキューでエントリが見つかりませんでした。
0033FF0B	リーダプロセッサ (EDMLLRD0) が、PowerExchange 共通サービスからの切断に失敗しました。
0033FF0C	リーダプロセッサ (EDMLLRD0) が、PowerExchange 共通サービスとの接続に失敗しました。
0033FF0D	使用可能なバッファが必要なときに、使用可能なキューが空でした。
0033FF20	物理的なリーダー初期化が失敗しました。
0033FF21	GETBUFF にエラーがあります。
0033FF22	物理読み取りで I/O エラーが発生しました。
0033FF23	物理再読み取りで I/O エラーが発生しました。
0033FF24	物理的なリーダー終了に失敗しました。
0033FF25	割り当て解除呼び出し中に、物理的なリーダー終了に失敗しました。
00D5FF01	ロッガーは非 APF 許可状態で呼び出されました。
00D5FF02	無効な関数コードが EDMLPRD0 に提供されました。
00D5FF03	EDMLPRD0 でアーカイブログデータセットに対する動的割り当てエラーが発生しました。
00D5FF04	EDMLPRD0 でアーカイブログデータセットを開くのに失敗しました。
00D5FF05	RBA 値が EDMLPRD0 で最大許容値 ('X'FFFFFFFFF') に達しました。
00D5FF06	EDMLPRD0 のアーカイブログで予期しない RBA が見つかりました (ブロックが見つからないか、重複されている)。
00D5FF07	EDMLPRD0 でアーカイブログデータセットを閉じるのに失敗しました。
00D5FF08	無効な LOGQ パラメータが初期化時に EDMLPRD0 に提供されました。
00D5FF09	EDMLPRD0 がセカンダリアーカイブログデータセットを見つけることができませんでした。

理由コード	説明
00D5FF0A	EDMLPRD0 で初期化時に使用できるバッファがありません。
00D5FF0B	EDMLPRD0 で読み取り開始時に使用できるバッファがありません。
00D5FF0C	EDMLPRD0 でアーカイブログデータセットに対する動的非割り当てエラーが発生しました。
00D5FF0D	読み取り開始時に、無効な LOGQ パラメータが EDMLPRD0 に提供されました
00D5FF0E	EDMLPRD0 で、予期しない RBA がアーカイブログセットの EOF で検出されました（ブロックがありません）。
00D6FF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00D6FF02	無効な関数コードが EDMLPRD1 に提供されました
00D6FF03	EDMLPRD1 でアクティブログデータセットに対する動的割り当てエラーが発生しました。
00D6FF04	EDMLPRD1 でアクティブログデータセットを開くのに失敗しました。
00D6FF07	EDMLPRD1 でアクティブログデータセットを閉じるのに失敗しました。
00D6FF08	無効な LOGQ パラメータが初期化時に EDMLPRD0 に提供されました。
00D6FF09	EDMLPRD1 がセカンダリアクティブログデータセットを見つけることができませんでした。
00D6FF0A	EDMLPRD0 で初期化時に使用できるバッファがありません。
00D6FF0B	EDMLPRD0 で読み取り開始時に使用できるバッファがありません。
00D6FF0C	チェーナーモジュールが GBLBLKQ11 キューでエントリを見つけられませんでした。
00D6FF0D	チェーナーモジュールが GBLBLKQ12 キューでエントリを見つけられませんでした。
00D6FF0E	チェーナーモジュールが GBLBLKQ21 キューでエントリを見つけられませんでした。
00D6FF0F	チェーナーモジュールが GBLBLKQ22 キューでエントリを見つけられませんでした。
00D6FF10	読み取り開始時に、無効な LOGQ パラメータが EDMLPRD1 に提供されました
00D6FF11	読み取り開始時に、無効な LOGQ パラメータが EDMLPRD1 に提供されました。
00D6FF12	EDMLPRD1 の GBLPH1QCB キューへのエントリの追加中にエラーが発生しました。
00D6FF13	プライマリアクティブログが停止され、デュアルアクティブログが利用できません。
00D6FF14	EDMLPRD1 でアクティブログデータセットからブロックを再読み取りできる最大再試行回数 (100) を超えました。
00D7FF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00D7FF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00D7FF03	MODCB マクロが RPL 制御ブロックを変更できませんでした。

理由コード	説明
00D7FF04	印刷 ERDS コマンドプロセッサ (EDMLPR50) が、マスタログ制御レコードの GET に失敗しました。
00D7FF05	印刷 ERDS コマンドプロセッサ (EDMLPR50) が、プライマリアクティブログ制御レコードの GET に失敗しました。
00D7FF06	印刷 ERDS コマンドプロセッサ (EDMLPR50) が、セカンダリアクティブログ制御レコードの GET に失敗しました。
00D7FF07	印刷 ERDS コマンドプロセッサ (EDMLPR50) が、プライマリアーカイブログ制御レコードの GET に失敗しました。
00D7FF08	印刷 ERDS コマンドプロセッサ (EDMLPR50) が、セカンダリアーカイブログ制御レコードの GET に失敗しました。
00D7FF09	印刷 ERDS コマンドプロセッサ (EDMLPR50) が、チェックポイント制御レコードの GET に失敗しました。
00D7FF0A	印刷 ERDS コマンドプロセッサ (EDMLPR50) が ESTAE ルーチンを入力しました。
00D8FF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00D8FF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00D9FF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00D9FF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00DAFF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00DAFF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00DAFF04	SYNAD が、EDMLPR20 でスプール済みの sysout ファイルを入力しました。
00DBFF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00DBFF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00DBFF03	共通サービスへの接続中にエラーが発生しました。
00DCFF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00DCFF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00DDFF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00DDFF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00DDFF03	どの ECB がポストされたかを判定できませんでした。
00DDFF04	チェーナーモジュールがキュー制御ブロック (QCB) をロックできませんでした。
00DDFF05	チェーナーモジュールがキュー制御ブロック (QCB) をロック解除できませんでした。

理由コード	説明
00DDFF06	初期化前にロッガーから切断されたログリーダーが完了しました。
00DDFF07	PowerExchange ロッガーが無効なログ RBA を検出しました。
00DDFF08	ログリーダーの初期化に失敗しました。
00DDFF09	循環キューを開くのに失敗しました。
00DDFF0A	ログリーダー READ コマンドが失敗しました。
00DDFF0B	循環キューへの PUT に失敗しました。
00DDFF0C	循環キューのファイル末尾エラーが発生しました。
00DDFF0D	循環キューを閉じるのに失敗しました。
00DDFF0E	ログリーダーの終了に失敗しました。
00DDFF0F	ロッガーによる共通サービスへの接続が失敗しました。
00DDFF10	SENDPIPE コマンドをログ読み取りプロセッサ (LRP) に送信するのに失敗しました。
00DDFF11	データ転送要求の応答に対して、循環キューの PUT エラーが発生しました。
00DDFF12	XCF 循環キューに対するトークンが見つかりません。
00DDFF13	XCF 循環キューを開くことに失敗しました。
00DEFF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00DEFF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00DEFF03	論理ログリーダーの初期化に失敗しました。
00DEFF04	論理ログリーダーによる READ の実行に失敗しました。
00DEFF05	PowerExchange ロッガーが、作業単位 (UOW) エントリを内部 UOW キューに追加できませんでした。
00DEFF06	論理ログリーダーの終了に失敗しました。
00DEFF07	PowerExchange ロッガーが、選択したログ内で logrba を見つけることができませんでした。
00DEFF08	PowerExchange ロッガーが、begin_PHASE1 に対する UOW を見つけることができませんでした。
00DEFF09	PowerExchange ロッガーが、begin_PHASE2 に対する UOW を見つけることができませんでした。
00DEFF0A	PowerExchange ロッガーが、end_PHASE1 に対する UOW を見つけることができませんでした。
00DEFF0B	PowerExchange ロッガーが、end_PHASE2 に対する UOW を見つけることができませんでした。

理由コード	説明
00DEFF13	リスタート時にログ内で再配置中にレコードプレフィクスが見つかりません (EDMLPLG1)。
00DFFF01	チェーナーモジュールが、WTOR (write to operator with reply) パラメータリストに対する作業領域を取得できませんでした。
00DFFF02	チェーナーモジュールが、WTOR (write to operator with reply) パラメータリストに対する作業領域を解放できませんでした。
00DFFF03	チェーナーモジュールが、WTOR (write to operator with reply) メッセージテキストに対する作業領域を解放できませんでした。
00DFFF04	チェーナーモジュールが、WTOR (write to operator with reply) 出力データ領域に対する作業領域を解放できませんでした。
00DFFF05	チェーナーモジュールが OPQ 制御ブロックを解放できませんでした。
00E0FF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00E0FF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00E1FF01	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00E2FF01	受信側モジュールによって無効なポストコードが検出されました。
00E2FF02	エレメントアドレスの検索に失敗しました。
00E2FF03	PowerExchange ロggerは、保持されていないラッチを解放できません。
00E2FF04	モジュールはラッチを使用中で、それを再び使用する要求を発行しました。モジュールは、現在使用しているラッチを取得できません。
00E2FF05	PowerExchange ロggerラッチプロセッサはラッチキュー制御ブロック (QCB) エントリを見つけることができませんでした。
00E3FF01	通常のダンプが要求されました。
00E4FF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00E4FF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00E5FF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00E5FF02	バッファ Force_write 処理の実行中にエラーが発生しました。
00E5FF03	Trunc_Log 処理の実行中にエラーが発生しました。
00E5FF04	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00E5FF05	アーカイブログ操作はすでに実行中です。
00E5FF06	Trunc_Buff 処理の実行中にエラーが発生しました。
00E5FF07	共通サービスへの接続中にエラーが発生しました。

理由コード	説明
00E6FF01	チェーナーモジュールによるキューへのレコードの追加に失敗しました。
00E6FF02	チェーナーモジュールは DATA COPY 用の領域を取得できません。
00E7FF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00E7FF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00E7FF03	古いロッガー EDMUPARM モジュールの削除に失敗しました。
00E7FF04	EDMPARMS データセットを開くのに失敗しました。
00E8FF03	パターンマッチプロセッサが、長さがゼロ (0) 未満の引数を見つけました。
00E8FF04	パターンマッチプロセッサが、長さが 256 バイトを超えるパターンを見つけました。
00E9FF01	EDMLOF20 でラッチ取得エラーが発生しました。
00E9FF02	アクティブログアーカイブプロセッサが、LOGQ ログキューでアクティブログを見つけることができませんでした。
00E9FF03	アーカイブ COPY1 データセットに対する動的割り当てが失敗しました。
00E9FF04	アーカイブ COPY1 データセットに対する OPEN の実行に失敗しました。
00E9FF05	アーカイブ COPY2 データセットに対する動的割り当てが失敗しました。
00E9FF06	アーカイブ COPY2 データセットに対する OPEN の実行に失敗しました。
00E9FF07	PowerExchange ロッガーラッチプロセッサが LOGQ COPY1 ログキューを取得できませんでした。
00E9FF08	PowerExchange ロッガーラッチプロセッサが LOGQ COPY2 ログキューを取得できませんでした。
00E9FF09	EDMLOF20 が COMMSRV 接続トークンを見つけられませんでした。
00E9FF0A	DIV ACCESS マクロがアクティブログにアクセスできませんでした。
00E9FF0B	プライマリ（および該当する場合はセカンダリ）アクティブログデータセットが停止しました
00E9FF0C	DIV UNIDENTIFY マクロがアクティブログを識別不能にすることができませんでした。
00E9FF0D	アーカイブ COPY1 データセットに対する CLOSE コマンドが失敗しました。
00E9FF0E	アーカイブ COPY1 データセットに対する RDJFCB マクロが失敗しました。
00E9FF0F	アーカイブ COPY2 データセットに対する CLOSE コマンドが失敗しました。
00E9FF10	EDMLOF20 が、LOGQ 内でセカンダリアクティブログを見つけられませんでした。
00E9FF11	アーカイブ COPY1 データセットに対する UNALLOCATE コマンドが失敗しました。

理由コード	説明
00E9FF12	アーカイブ COPY2 データセットに対する UNALLOCATE コマンドが失敗しました。
00E9FF13	アクティブログに対する UNALLOCATE コマンドが失敗しました。
00E9FF14	内部 DEFINE_LOG COPY1 コマンドが失敗しました。
00E9FF15	内部 DEFINE_LOG COPY2 コマンドが失敗しました。
00E9FF16	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00E9FF17	チェーナーモジュールがローカル領域を追加できませんでした。
00E9FF18	チェーナーモジュールが OPQ 制御ブロックを初期化できませんでした。
00E9FF19	チェーナーモジュールが GBLBLKQ11 キューでエントリを見つけられませんでした。
00E9FF20	チェーナーモジュールが GBLBLKQ12 キューでエントリを見つけられませんでした。
00E9FF21	チェーナーモジュールが GBLBLKQ21 キューでエントリを見つけられませんでした。
00E9FF22	チェーナーモジュールが GBLBLKQ22 キューでエントリを見つけられませんでした。
00E9FF23	チェーナーモジュールが LOGQ キュー内で LOG2 のエントリを見つけられませんでした。
00E9FF24	アクティブログアーカイブプロセッサが最後のアクティブログを使用しています。
00E9FF25	ログアーカイブプロセッサが LOG2 データセット名を見つけられませんでした。
00E9FF26	アーカイブログ 1 に対して SYNAD が入力されました。
00E9FF27	アーカイブログ 2 に対して SYNAD が入力されました。
00E9FF30	EDMLOF20 でラッチ解放エラーが発生しました。
00E9FF34	ERDS プロセスの更新が失敗しました。
00EAFF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00EAFF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00EBFF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00EBFF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00EC0040	モジュールが、DBCTL サブシステムインタフェースから予期しない戻りコードを受け取りました。サポートについては、Informatica テクニカルサポートアナリストにお問い合わせください。
00ECFF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00ECFF02	GETMAIN マクロが失敗しました。
00ECFF03	FREEMAIN マクロが失敗しました。

理由コード	説明
00EDFF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00EDFF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00EEFF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00EEFF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00EFFF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00EFFF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。

理由コード 00F0FF01～00F6FFFF - PowerExchange ロgger

PowerExchange ロggerは、00F0FF01 から 00F6FFFF の理由コードを発行します。

次の表に、PowerExchange ロggerの理由コードを一覧表示します。

理由コード	説明
00F0FF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00F0FF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00F1FF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00F1FF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00F1FF03	チェーナーモジュールが GCO 制御ブロックを初期化できませんでした。
00F1FF04	チェーナーモジュールが GCO キューにエントリを追加できませんでした。
00F1FF05	チェーナーモジュールが GCO キューでエントリを追加または置き換えることができませんでした。
00F1FF06	チェーナーモジュールが IMO キューを初期化できませんでした。
00F1FF07	チェーナーモジュールが IMO キューにエントリを追加できませんでした。
00F1FF08	チェーナーモジュールが IMO キューでエントリを追加または置き換えることができませんでした。
00F1FF09	チェーナーモジュールが GCO キューを削除できませんでした。
00F1FF0A	チェーナーモジュールが IMO キューを削除できませんでした。
00F1FF0B	チェーナーモジュールが GCO キューを見つけられませんでした。
00F1FF0C	EDMUPARM プロセッサ (EDMLDF20) が、変更したオプションデータセットをロードできませんでした。
00F1FF0D	チェーナーモジュールが ICO キューを終了できませんでした。

理由コード	説明
00F1FF0E	チェーナーモジュールが GCO キューを終了できませんでした。
00F1FF0F	EDMUPARM プロセッサ (EDMLDF20) が、1 つ以上のオプションを削除しようとしてエラーを検出しました。
00F1FF10	EDMUPARM プロセス (EDMLDF20) が DEFAULT SERVER OPTIONS モジュールを見つけられませんでした。
00F1FF11	EDMUPARM プロセッサ (EDMLDF20) がオプションデータセットを開くことができませんでした。
00F2FF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00F2FF04	チェーナーモジュールが作業領域を返すことができませんでした。
00F2FF05	ロッガー定義プロセッサ (EDMLDF10) がオプションデータセットを見つけられませんでした。
00F3FF01	PowerExchange ロggerが正しくないバージョンの EDMLC020 制御モジュールを検出しました。
00F3FF02	PowerExchange ロggerが正しくないバージョンの EDMLC030 制御モジュールを検出しました。
00F3FF03	チェーナーモジュールが CSA 追跡キューを初期化できませんでした。
00F3FF04	チェーナーモジュールが GLOBAL 制御ブロックの領域を初期化できませんでした。
00F3FF05	チェーナーモジュールが GLOBAL 制御ブロックの領域を作成できませんでした。
00F3FF06	チェーナーモジュールがタスク制御 (TC) キューを初期化できませんでした。
00F3FF07	チェーナーモジュールが LOC=31 ストレージユニットを初期化できませんでした。
00F3FF08	チェーナーモジュールが LOC=24 ストレージユニットを初期化できませんでした。
00F3FF09	チェーナーモジュールが入力キューを初期化できませんでした。
00F3FF0A	初期化プロセッサが、WTOR (write to operator with reply) コマンドの作成中にチェーナーモジュールのアドレスを見つけられませんでした。
00F3FF0B	チェーナーモジュールが WTOR (write to operator with reply) コマンドのローカル制御ブロックを追加できませんでした。
00F3FF0C	初期化プロセッサが、PowerExchange 物理ロッガーのビルド中にチェーナーモジュールのアドレスを見つけられませんでした。
00F3FF0D	チェーナーモジュールが PowerExchange 物理ロッガーのローカル制御ブロックを追加できませんでした。
00F3FF0E	BLDL FIND マクロが EDMLC030 モジュールを見つけられませんでした。
00F3FF0F	STEPLIB に対する OPEN コマンドが失敗しました。
00F3FF10	サブシステムの初期化に失敗しました。

理由コード	説明
00F3FF11	オプションモジュール EDMUPARM の LOAD に失敗しました。
00F3FF12	メッセージ表示ルーチン FREEMAIN コマンドが失敗しました。
00F3FF13	EDMPARMS DD 文がありません。
00F3FF14	EDMZPARM モジュールが見つかりませんでした。
00F3FF15	オプションモジュール DD 連結でエラーが発生しました。
00F3FF16	オプションモジュール EDMUPARM の LOAD に失敗しました。
00F3FF17	241 XCA GETMAINS のキューの初期化中にエラーが発生しました。
00F3FF18	拡張 CSA (ECSA) 内に EDMLC030 モジュールが多すぎます。
00F3FF19	チェーナーモジュールによるラッチキュー制御ブロック (QCB) の作成に失敗しました。
00F3FF1A	チェーナーモジュールがラッチ領域を作成できませんでした。
00F3FF1B	LOGQ COPY1 ブロックキューの作成中にチェーナーモジュールでエラーが発生しました。
00F3FF1C	BLKQ COPY1 ブロックキューの作成中にチェーナーモジュールでエラーが発生しました。
00F3FF1D	LOGQ COPY2 ブロックキューの作成中にチェーナーモジュールでエラーが発生しました。
00F3FF1E	BLKQ COPY2 ブロックキューの作成中にチェーナーモジュールでエラーが発生しました。
00F3FF1F	LOGQ COPY1 ブロックキューの作成中にチェーナーモジュールでエラーが発生しました。
00F3FF20	BLKQ COPY1 ブロックキューの作成中にチェーナーモジュールでエラーが発生しました。
00F3FF21	LOGQ COPY2 の作成中にチェーナーモジュールでエラーが発生しました。
00F3FF22	BLKQ COPY2 の作成中にチェーナーモジュールでエラーが発生しました。
00F3FF23	LOGF エントリを LATCH キューに追加中にチェーナーモジュールでエラーが発生しました。
00F3FF24	CHKP エントリを LATCH キューに追加中にチェーナーモジュールでエラーが発生しました。
00F3FF25	作業単位 (UOW) QCB キュー制御ブロックの初期化中にチェーナーモジュールでエラーが発生しました。
00F3FF26	チェーナーモジュールが CHK チェックポイントキュー制御ブロック (QCB) を初期化できませんでした。
00F3FF27	チェーナーモジュールが ECCR INQ 入力キュー制御ブロック (QCB) を初期化できませんでした。
00F3FF28	チェーナーモジュールが LRP OUQ 出力キュー制御ブロック (QCB) を初期化できませんでした。
00F3FF29	PowerExchange ロgger初期化プロセッサ (EDMLC015) がラッチ循環キューを作成できませんでした。

理由コード	説明
00F3FF2A	PowerExchange ロgger初期化プロセッサ (EDMLC015) がフェーズ 1 キュー制御ブロック (QCB) を初期化できませんでした。
00F3FF2B	PowerExchange ロgger初期化プロセッサ (EDMLC015) がフェーズ 2 キュー制御ブロック (QCB) を初期化できませんでした。
00F3FF2C	PowerExchange ロgger初期化プロセッサ (EDMLC015) が終了キュー制御ブロック (QCB) を初期化できませんでした。
00F3FF2D	PowerExchange ロgger初期化プロセッサ (EDMLC015) がパケットキュー制御ブロック (QCB) を初期化できませんでした。
00F3FF2E	PowerExchange ロgger初期化プロセッサ (EDMLC015) がグローバルキュー制御ブロック (QCB) を初期化できませんでした。
00F3FF2F	PowerExchange ロgger初期化プロセッサ (EDMLC015) がコマンドキュー制御ブロック (QCB) を初期化できませんでした。
00F3FF30	PowerExchange ロgger初期化プロセッサ (EDMLC015) が XCF キュー制御ブロック (QCB) を初期化できませんでした。
00F3FF31	PowerExchange ロgger初期化プロセッサ (EDMLC015) がトレースキュー制御ブロック (QCB) を初期化できませんでした。
00F3FF32	PowerExchange ロgger初期化プロセッサ (EDMLC015) が、互換性のない EDMUPARM レベルを検出しました。
00F4FF01	初期化プロセッサのロードに失敗しました。
00F4FF02	チェーナーモジュールが TC タスク制御モジュールを作成できませんでした。
00F4FF03	ATTACH コマンドがゼロ以外の戻りコードを渡しました。
00F4FF04	チェーナーモジュールが LOC=31 ストレージユニットを削除できませんでした。
00F4FF05	チェーナーモジュールが ECB リストの作業領域を取得できませんでした。
00F4FF06	チェーナーモジュールがタスク制御を削除できませんでした。
00F4FF07	PowerExchange ロgger初期チェックポイントに失敗しました。
00F4FF08	PowerExchange ロgger最終チェックポイントに失敗しました。
00F4FF09	共通サービス環境の初期化に失敗しました。
00F4FF0A	共通サービスへの接続に失敗しました。
00F4FF0B	メインサブタスクプロセッサ (EDMLC010) が循環キューを作成できませんでした。POST エラーが発生しました。
00F4FF0C	メインサブタスクプロセッサ (EDMLC010) が PowerExchange サブシステムに接続できませんでした。
00F4FF0C	メインサブタスクプロセッサ (EDMLC010) が書き込みパケットトレーラを送信できませんでした。

理由コード	説明
00F5FF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00F5FF02	EDMLPAR0 理由コードが長すぎます。
00F5FF03	前のチェーナーエラーが発生しました。必要な作業領域が存在しません。
00F5FF05	チェーナーモジュールがコマンドキューを終了できませんでした。
00F5FF06	PARSER Error プロセッサが、PARSER アナライザから無効な戻りコードを受け取りました。
00F6FF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00F6FF02	チェーナーモジュールが作業領域を解放できませんでした。
00F6FF03	チェーナーモジュールが VSAM DELETE 文の作業領域を取得できませんでした。
00F6FF04	チェーナーモジュールが VSAM DEFINE 文の作業領域を取得できませんでした。
00F6FF05	チェーナーモジュールが VSAM JOURNAL HEADER 文の作業領域を取得できませんでした。
00F6FF08	文領域の削除に失敗しました。
00F6FF09	データセット名が入力パラメータにありません。
00F6FF0D	R0 に無効なエントリコードが含まれています。DELETE、DEFINE、JOURNAL HEADER 以外のエントリが含まれています。
00F6FF0E	ALCACB.または ALCRPL.領域が破損しています。
00F6FF0F	ALCALCAD 領域が破損しています。

理由コード 00F7FF01～00F9FFFF - PowerExchange ロgger

PowerExchange ロggerは、00F7FF01 から 00F9FFFF の理由コードを発行します。

次の表に、PowerExchange ロggerの理由コードを一覧表示します。

理由コード	説明
00F7FF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00F7FF02	共通サービス環境の初期化に失敗しました。
00F7FF03	共通サービスへの接続に失敗しました。
00F7FF04	XCF インタフェースの初期化に失敗しました。
00F7FF05	XCF インタフェースを開くのに失敗しました。
00F7FF06	XCF インタフェースの作成に失敗しました。
00F7FF07	メッセージに対する\$XCF GET が失敗しました。

理由コード	説明
00F7FF08	グループイベント（ロッガーグループ）に対する\$XCF GET が失敗しました。
00F7FF09	グループイベント（ポストログ統合グループ）に対する\$XCF GET が失敗しました。
00F7FF17	ログリーダー制御ブロック（OUQQ）の追加に失敗しました。
00F7FF18	ログリーダサブタスクを開始できません。
00F7FF19	ECCR はすでにロッガーに接続されています。
00F7FF1A	PKT キューエントリを追加できません。
00F7FF1B	ECCR 制御ブロック（INQQ）の追加に失敗しました。
00F7FF1C	（読み取り、書き込みともに）無効なサインオンタイプです。
00F7FF1D	再開操作の実行に失敗しました。
00F7FF1E	ログリーダ（OUQQ）制御ブロックの発見に失敗しました。
00F7FF1F	グローバル循環キューに書き込めませんでした。
00F7FF20	リスタート要求のロッガー名がロッガー ID と一致しません。
00F7FF21	転送要求の終了位置が開始位置よりも前にあります。
00F7FF22	終了要求が正常に終了しませんでした。
00F7FF23	ログリーダー（OUQQ）制御ブロックの削除に失敗しました。
00F8FF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00F8FF02	チェーナーモジュールが古い ECB リストを削除できません。
00F8FF03	チェーナーモジュールが新しい ECB リストを取得できません。
00F8FF04	チェックポイントプロセッサが QSAM I/O サブタスクの予期しない終了を受け取りました。
00F8FF05	チェックポイントプロセッサが TIMER サブタスクの予期しない終了を受け取りました。
00F8FF06	チェックポイントプロセッサが JOURNAL サブタスクの予期しない終了を受け取りました。
00F8FF07	チェックポイントプロセッサが PROCESS サブタスクの予期しない終了を受け取りました。
00F8FF08	チェックポイントプロセッサが RESTART サブタスクの予期しない終了を受け取りました。
00F8FF09	チェックポイントプロセッサが LOGICAL サブタスクの予期しない終了を受け取りました。
00F8FF0A	チェックポイントプロセッサが PHYSICAL サブタスクの予期しない終了を受け取りました。
00F8FF0B	チェックポイントプロセッサが Checkpoint サブタスクの予期しない終了を受け取りました。
00F8FF0C	チェックポイントプロセッサが XCF サブタスクの予期しない終了を受け取りました。

理由コード	説明
00F8FF0D	チェックポイントプロセッサがVTAM I/O サブタスクの予期しない終了を受け取りました。
00F8FF0E	チェックポイントプロセッサが、チェックポイントに対する予期しない要求を受け取りました。
00F8FF0F	チェックポイントプロセッサが、シャットダウンに対する予期しない要求を受け取りました。
00F8FF10	チェックポイントプロセッサが、予期しないオペレータ応答を受け取りました。
00F8FF11	チェックポイントプロセッサが、EDMZPARM の予期しない再ロードを受け取りました。
00F8FF12	チェックポイントプロセッサが、MVS コマンドの予期しない終了を受け取りました。
00F8FF13	チェーナーモジュールが作業領域を削除できませんでした。
00F8FF14	PowerExchange ロggerが無効なコードを見つけました。再起動データセット (ERDS) への WRITE に失敗しました。
00F9F701	アクティブな LOG2 で使用可能なブロック数を決定するルーチンが、LOGQ ラッチを取得できませんでした。
00F9F702	アクティブな LOG2 で使用可能なブロック数を決定するルーチンが、LOGQ ラッチを解放できませんでした。
00F9F801	アクティブな LOG2 で使用可能なブロック数を決定するルーチンが、LOGQ ラッチを取得できませんでした。
00F9F802	アクティブな LOG2 で使用可能なブロック数を決定するルーチンが、LOGQ ラッチを解放できませんでした。
00F9F803	チェーナーモジュールが読み取りバッファを取得できませんでした。
00F9F804	チェーナーモジュールがエントリを BLKQ COPY1 キューに追加できませんでした。
00F9F805	チェーナーモジュールがエントリをアクティブ LOGQ COPY1 キューに追加できませんでした。
00F9F806	チェーナーモジュールがエントリをアーカイブ BLKQ COPY1 キューに追加できませんでした。
00F9F807	チェーナーモジュールがエントリをアーカイブ LOGQ COPY1 キューに追加できませんでした。
00F9F808	チェーナーモジュールが GBLBLKQ11 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9F809	チェーナーモジュールが GBLBLKQ12 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9F80A	チェーナーモジュールが GBLBLKQ21 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9F80B	チェーナーモジュールが GBLBLKQ22 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9F901	アクティブな LOG1 で使用可能なブロック数を決定するルーチンが、LOGQ ラッチを取得できませんでした。
00F9F902	アクティブな LOG1 で使用可能なブロック数を決定するルーチンが、LOGQ ラッチを解放できませんでした。

理由コード	説明
00F9F903	チェーナーモジュールが読み取りバッファを取得できませんでした。
00F9F904	チェーナーモジュールがエントリを BLKQ COPY1 キューに追加できませんでした。
00F9F905	チェーナーモジュールがエントリをアクティブ LOGQ COPY1 キューに追加できませんでした。
00F9F906	チェーナーモジュールがエントリをアーカイブ BLKQ COPY1 キューに追加できませんでした。
00F9F907	チェーナーモジュールがエントリをアーカイブ LOGQ COPY1 キューに追加できませんでした。
00F9F908	チェーナーモジュールが GBLBLKQ11 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9F909	チェーナーモジュールが GBLBLKQ12 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9F90A	チェーナーモジュールが GBLBLKQ21 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9F90B	チェーナーモジュールが GBLBLKQ22 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9FA01	チェーナーモジュールが GBLBLKQ11 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9FA02	チェーナーモジュールが GBLBLKQ12 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9FA03	チェーナーモジュールが GBLBLKQ21 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9FA04	チェーナーモジュールが GBLBLKQ22 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9FA05	物理ロッガープロセッサ (EDMLPLG0) で保存エラーが発生しました。他のログはすでに停止されました。
00F9FA06	物理ロッガープロセッサ (EDMLPLG0) で保存エラーが発生しました。セカンダリログがありません。
00F9FA07	セカンダリアクティブログサブタスク (EDMLPLG2) が異常終了しました。
00F9FB01	アクティブログの処理を終了するルーチンが LOGQ ラッチを取得できませんでした。
00F9FB02	アクティブログの処理を終了するルーチンが LOGQ ラッチを解放できませんでした。
00F9FB03	DIV UNACCESS マクロが LOG1 データセットへのアクセスを停止できませんでした。
00F9FB04	DIV UNIDENTIFY マクロが LOG1 データセットを識別不能にすることができませんでした。
00F9FB05	ALESERV DELETE マクロが LOG1 データセットを削除できませんでした。
00F9FB06	DSPSERV DELETE マクロが LOG1 データセットを削除できませんでした。
00F9FB07	DIV SAVE マクロが LOG2 データセットを保存できませんでした。
00F9FB08	DIV UNMAP マクロが LOG2 データセットのマップを解除できませんでした。
00F9FB09	DIV UNACCESS マクロが LOG2 データセットへのアクセスを停止できませんでした。

理由コード	説明
00F9FB0A	DIV UNIDENTIFY マクロが LOG2 データセットを識別不能にすることができませんでした。
00F9FB0B	ALESERV DELETE マクロが LOG2 データセットを削除できませんでした。
00F9FB0C	DSPSERV DELETE マクロが LOG2 データセットを削除できませんでした。
00F9FB0D	チェーナーモジュールが GBLBLKQ11 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9FB0E	チェーナーモジュールが GBLBLKQ12 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9FB0F	チェーナーモジュールが GBLBLKQ21 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9FB10	チェーナーモジュールが GBLBLKQ22 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9FC01	アクティブログの処理を初期化するルーチンが、LOGQ ラッチを取得できませんでした。
00F9FC02	アクティブログの処理を初期化するルーチンが、LOGQ ラッチを解放できませんでした。
00F9FC03	アクティブ LOG1 データセットに対する動的割り当てが失敗しました。
00F9FC04	アクティブログの処理を初期化するルーチンが、LOGQ ラッチを解放できませんでした。
00F9FC05	アクティブ LOG2 データセットに対する動的割り当てが失敗しました。
00F9FC06	アクティブログの処理を初期化するルーチンが、LOGQ ラッチを解放できませんでした。
00F9FC07	DSPSERV CREATE マクロが、HSP LOG1 データセットのハイパースペースを作成できませんでした。
00F9FC08	ALESERV OBTAIN マクロが、アクセスリストエントリトークン (ALET) LOG1 データセットを取得できませんでした。
00F9FC09	DSPSERV CREATE マクロが、HSP LOG2 データセットのハイパースペースを作成できませんでした。
00F9FC0A	ALESERV OBTAIN マクロが、アクセスリストエントリトークン (ALET) LOG2 データセットを取得できませんでした。
00F9FC0B	DIV IDENTIFY マクロが LOG1 データセットを識別できませんでした。
00F9FC0C	DIV ACCESS マクロが LOG1 データセットにアクセスできませんでした。
00F9FC0D	DIV MAP マクロが LOG1 データセットをマップできませんでした。
00F9FC0E	DIV IDENTIFY マクロが LOG2 データセットを識別できませんでした。
00F9FC0F	DIV ACCESS マクロが LOG2 データセットにアクセスできませんでした。
00F9FC10	DIV MAP マクロが LOG1 データセットをマップできませんでした。
00F9FC11	チェーナーモジュールが GBLBLKQ11 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9FC12	チェーナーモジュールが GBLBLKQ12 キューでエントリを見つけられませんでした。

理由コード	説明
00F9FC13	チェーナーモジュールが GBLBLKQ21 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9FC14	チェーナーモジュールが GBLBLKQ22 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9FC15	プライマリとセカンダリの両方のアクティブログが停止状態にあることを物理ロッガーが発見しました。
00F9FD01	新しいアクティブログを取得するルーチンが、LOGQ ラッチを取得できませんでした。
00F9FD02	新しいアクティブログを取得するルーチンが、LOGQ ラッチを解放できませんでした。
00F9FE01	チェーナーモジュールがコマンドバッファを取得できませんでした。
00F9FF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00F9FF02	GETSTOC ルーチンが、LOG1 データセットへのロギングに使用可能なブロック数を決定できませんでした。
00F9FF03	GETSTOC ルーチンが、LOG2 データセットへのロギングに使用可能なブロック数を決定できませんでした。
00F9FF04	初期化中に新しいログを取得しようとして、GETNEWL エラーが発生しました。
00F9FF05	PowerExchange 物理ロッガーが、新しいアクティブ LOG2 が存在するかどうかを判定できませんでした。
00F9FF06	PowerExchange 物理ロッガーが、新しいアクティブ LOG1 が存在するかどうかを判定できませんでした。
00F9FF07	INIACTL ルーチンが新しいログを初期化できませんでした。
00F9FF08	チェーナーモジュールが GBLBLKQ11 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9FF09	チェーナーモジュールが GBLBLKQ12 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9FF0A	チェーナーモジュールが GBLBLKQ21 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9FF0B	チェーナーモジュールが GBLBLKQ22 キューでエントリを見つけられませんでした。
00F9FF0C	チェーナーモジュールが LOCAL 制御ブロックを追加できませんでした。
00F9FF0D	チェーナーモジュールが OPQ キューを初期化できませんでした。
00F9FF0E	LOGQ ラッチの取得に失敗しました。
00F9FF0F	LOGQ ラッチの解放に失敗しました。
00F9FF10	アクティブログに使用可能なスペースがありません。
00F9FF11	物理ロッガープロセッサ (EDMLPLG0) が UOW キューを作成できませんでした。
00F9FF12	物理ロッガープロセッサ (EDMLPLG0) が LOGS ログキューを取得できませんでした。
00F9FF13	物理ロッガープロセッサ (EDMLPLG0) が ESTAE ルーチンを入力しました。

理由コード	説明
00F9FF14	物理ロッガープロセッサ (EDMLPLG0) が無効なログ RBA を検出しました。
00F9FF15	物理ロッガープロセッサ (EDMLPLG0) がログキューラッチを取得できませんでした。
00F9FF16	物理ロッガープロセッサ (EDMLPLG0) がログキューラッチを解放できませんでした。
00F9FF17	物理ロッガープロセッサ (EDMLPLG0) が PowerExchange 共通サービスに接続できませんでした。
00F9FF18	書き込みエラーが発生しました。セカンダリログがありません。
00F9FF19	書き込みエラーが発生しました。他のログはすでに停止されました。
00F9FF1A	アクティブログ 2 サブタスク (EDMLPLG2) の接続中に障害が発生しました。
00F9FF1B	使用可能なアクティブログデータセットがありません。
00F9FF1C	セカンダリアクティブログデータセットの数がプライマリアクティブログデータセットの数と一致しません。
00F9FF1D	アーカイブログ処理が初期化時に失敗しました。
00F9FF1E	ロッガーが停止しているときにデータをログに記録しようとしました。

理由コード 00FAFF01～00FFFFFF - PowerExchange ロッガー

PowerExchange ロッガーは、00FAFF01 から 00FFFFFF の理由コードを発行します。

次の表に、PowerExchange ロッガーの理由コードを一覧表示します。

理由コード	説明
00FAFF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00FAFF02	チェーナーモジュールがバッファプレフィクスを取得できませんでした。
00FAFF03	チェーナーモジュールがバッファを取得できませんでした。
00FAFF04	GETBUFF マクロエラーが発生しました。バッファを取得できませんでした。
00FAFF05	MOVEREC マクロエラーが発生し、不明な戻りコードが返されました。
00FAFF06	チェーナーモジュールが作業単位 (UOW) を追加できません。
00FAFF07	チェーナーモジュールが作業単位 (UOW) を削除できません。
00FAFF08	再起動データセット (ERDS) への WRITE に失敗しました。
00FAFF09	MOVEREC マクロがログ begin_checkpoint レコードに書き込みできませんでした。
00FAFF0A	MOVEREC マクロがログ UOW_summary レコードに書き込みできませんでした。
00FAFF0B	MOVEREC マクロがログ end_checkpoint レコードに書き込みできませんでした。

理由コード	説明
00FAFF0C	チェーナーモジュールがエントリを CHK キューに追加できませんでした。
00FAFF0D	論理ロッガープロセッサが LOGQ ラッチを取得できませんでした。
00FAFF0E	共通サービスへの接続に失敗しました。
00FAFF0F	チェーナーモジュールが CHK キューからエントリを削除できませんでした。
00FAFF10	\$DLICQPL マクロが循環キューを開くことができませんでした。
00FAFF11	PowerExchange 論理ロッガープロセッサ (EDMLLLG0) が LOGS ラッチを取得できませんでした。
00FAFF12	PowerExchange 論理ロッガープロセッサ (EDMLLLG0) がグローバルキューを読み取ることができませんでした。
00FAFF13	PowerExchange 論理ロッガープロセッサ (EDMLLLG0) が STIMERM SET エラーを受信しました。
00FAFF14	MOVEREC マクロが、PowerExchange 論理ロッガープロセッサ (EDMLLLG0) モジュールでパケットトレーラエラーを受信しました。
00FAFF15	PowerExchange 論理ロッガープロセッサ (EDMLLLG0) モジュールが ESTAE ルーチンを入力しました。
00FAFF16	チェックポイント (CHKPT) の試行中に、PowerExchange 論理ロッガープロセッサ (EDMLLLG0) が物理ロッガーエラーを受信しました。
00FAFF17	チェックポイント (CHKPT) の試行中に、PowerExchange 論理ロッガープロセッサ (EDMLLLG0) が物理ロッガーエラーを受信しました。
00FAFF18	HARDN コマンドの試行中に、PowerExchange 論理ロッガープロセッサ (EDMLLLG0) が物理ロッガーエラーを受信しました。
00FAFF19	HARDN コマンドの試行中に、PowerExchange 論理ロッガープロセッサ (EDMLLLG0) が物理ロッガーエラーを受信しました。
00FAFF1A	PowerExchange 論理ロッガープロセッサ (EDMLLLG0) が最大 LOGRBA を超えました。
00FAFF1B	PowerExchange 論理ロッガープロセッサ (EDMLLLG0) が LOGQ ラッチを取得できませんでした。
00FAFF1C	PowerExchange 論理ロッガープロセッサ (EDMLLLG0) が STIMERM CANCEL エラーを受信しました。
00FAFF1D	PowerExchange 論理ロッガープロセッサ (EDMLLLG0) が XCF メッセージキューを開くことができませんでした。
00FAFF1E	PowerExchange 論理ロッガープロセッサ (EDMLLLG0) が COMMUOW でエラーを検出し、XCF メッセージキューに対する PUT コマンドを完了できませんでした。
00FBFF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00FBFF02	チェーナーモジュールが TC タスク制御キューを初期化できませんでした。

理由コード	説明
00FBFF03	チェーナーモジュールが TCQ キューにエントリを追加できませんでした。
00FBFF04	チェーナーモジュールが CMD キューを終了できませんでした。
00FBFF05	ディクショナリのロード中にエラーが発生しました。
00FBFF06	チェーナーモジュールが ECBLIST 領域を削除できませんでした。
00FBFF07	チェーナーモジュールが ECBLIST 領域を取得できませんでした。
00FBFF08	チェーナーモジュールが TCQ キューを終了できませんでした。
00FBFF0A	チェーナーモジュールが STR キューを終了できませんでした。
00FBFF0B	チェーナーモジュールが作業領域を削除できませんでした。
00FBFF0C	チェーナーモジュールが GBLIFPQ キューを終了できませんでした。
00FBFF0D	チェーナーモジュールが、外部化 CMD (EDMD) 領域を解放できませんでした。
00FBFF0E	チェーナーモジュールが IPQ キューを削除できませんでした。
00FBFF0F	チェーナーモジュールが LIFCMSQ キューからエントリを削除できませんでした。
00FBFF10	チェーナーモジュールが TCQ キューにエントリを追加できませんでした。
00FBFF11	ATTACH コマンドがゼロ以外の戻りコードを返しました。
00FBFF13	チェーナーモジュールが入力 CMD キューからエントリをフラッシュできませんでした。
00FBFF14	チェーナーモジュールが TCQ キューからエントリを削除できませんでした。
00FCFF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00FCFF02	チェーナーモジュールが作業領域を削除できませんでした。
00FCFF03	チェーナーモジュールが JNL キューを削除できませんでした。
00FCFF04	チェーナーモジュールがデータを削除できませんでした。
00FCFF05	チェーナーモジュールが JNL レコード領域を取得できませんでした。
00FCFF06	チェーナーモジュールが JNL レコード領域を解放できませんでした。
00FCFF07	JOURNAL データセットの CLOSE または UNALLOCATE に失敗しました。
00FCFF09	PUT 関数後に、ジャーナルプロセッサ (EDMLJNL0) が SHOWCB エラーを検出しました。
00FCFF0A	PUT 関数後に、ジャーナルプロセッサ (EDMLJNL0) が SHOWCB エラーを検出しました。
00FCFF0B	PUT 関数後に、ジャーナルプロセッサ (EDMLJNL0) が SHOWCB エラーを検出しました。
00FCFF0C	JOURNAL HEADER 文を作成するための領域の取得に失敗しました。

理由コード	説明
00FDFF01	非アクティブ LOCAL 制御ブロックのフラッシュに失敗しました。
00FDFF02	チェーナーモジュールによるローカル領域の削除に失敗しました。
00FDFF03	チェーナーモジュールによる作業領域の取得に失敗しました。
00FDFF04	チェーナーモジュールによる作業領域の解放に失敗しました。
00FDFF05	チェーナーモジュールが GBLP24Q キューから未使用領域を解放できませんでした。
00FDFF06	チェーナーモジュールが GBLP31Q キューから未使用領域を解放できませんでした。
00FDFF07	チェーナーモジュールが GBLGBLQ キューから未使用領域を解放できませんでした。
00FDFF08	どの ECB がポストされたかを判定できませんでした。
00FDFF09	グローバル循環キューへの送信でエラーが発生しました。
00FEFF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00FEFF02	PowerExchange ロggerが SYSIN を開くことができませんでした。
00FEFF03	チェーナーモジュールがローカル領域制御ブロックを追加できませんでした。
00FEFF04	PowerExchange ロggerが SYSPRINT を開くことができませんでした。
00FEFF05	チェーナーモジュールが入力レコードを作成するための領域を取得できませんでした。
00FEFF07	チェーナーモジュールが出力データ領域を削除できませんでした。
00FEFF08	チェーナーモジュールが I/O キューを削除できませんでした。
00FEFF09	チェーナーモジュールがローカル領域を削除できませんでした。
00FEFF0A	チェーナーモジュールが作業領域を削除できませんでした。
00FEFF0B	チェーナーモジュールが出力キューを初期化できませんでした。
00FEFF0C	印刷ページ上の行数を表示する 3 番目のパラメータが無効です。
00FFCF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00FFCF02	チェーナーモジュールがバッファ領域を取得できませんでした。
00FFCF03	MODCB マクロが RPL 制御ブロックを変更できませんでした。
00FFCF04	このモジュールによるマスタログ制御レコードの GET に失敗しました。
00FFCF05	チェーナーモジュールによるマスタログ制御レコードの FIND に失敗しました。
00FFCF06	このモジュールによるプライマリアクティブログ制御レコードの GET に失敗しました。
00FFCF07	チェーナーモジュールによるプライマリアクティブログ制御レコードの FIND に失敗しました。

理由コード	説明
00FFCF08	このモジュールによるセカンダリアクティブログ制御レコードの GET に失敗しました。
00FFCF09	チェーナーモジュールによるプライマリアーカイブログ制御レコードの FIND に失敗しました。
00FFCF0A	このモジュールによる次のアーカイブログの GET に失敗しました。
00FFCF0B	チェーナーモジュールによるセカンダリアーカイブログ制御レコードの FIND に失敗しました。
00FFCF0C	MODCB マクロが RPL 制御ブロックを変更できませんでした。
00FFCF0D	このモジュールによるチェックポイント制御レコードの GET に失敗しました。
00FFCF0E	このモジュールによるチェックポイント制御レコードの PUT に失敗しました。
00FFDF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00FFDF02	チェーナーモジュールがバッファ領域を取得できませんでした。
00FFDF03	MODCB マクロが RPL 制御ブロックを変更できませんでした。
00FFDF04	このモジュールによるマスタログ制御レコードの GET に失敗しました。
00FFDF05	チェーナーモジュールによるマスタログ制御レコードの FIND に失敗しました。
00FFDF06	このモジュールによるプライマリアクティブログ制御レコードの GET に失敗しました。
00FFDF07	チェーナーモジュールによるプライマリアクティブログ制御レコードの FIND に失敗しました。
00FFDF08	このモジュールによるセカンダリアクティブログ制御レコードの GET に失敗しました。
00FFDF09	チェーナーモジュールによるプライマリアーカイブログ制御レコードの FIND に失敗しました。
00FFDF0A	このモジュールによる次のアーカイブログの GET に失敗しました。
00FFDF0B	チェーナーモジュールによるセカンダリアーカイブログ制御レコードの FIND に失敗しました。
00FFDF0C	MODCB マクロが RPL 制御ブロックを変更できませんでした。
00FFDF0D	このモジュールによるチェックポイント制御レコードの GET に失敗しました。
00FFDF0E	このモジュールによるチェックポイント制御レコードの PUT に失敗しました。
00FFEF01	マスタログのバッファの取得に失敗しました。
00FFEF02	ERDS01 再起動データセットの OPEN の実行に失敗しました。
00FFEF03	ERDS02 再起動データセットの OPEN の実行に失敗しました。
00FFF001	読み取りバッファの取得に失敗しました。

理由コード	説明
00FFF002	内部チェックポイントキューへのチェックポイントの追加に失敗しました。
00FFF101	チェーナーモジュールが LOGQ COPY1 キューを初期化できませんでした。
00FFF102	チェーナーモジュールが BLKQ COPY1 キューを初期化できませんでした。
00FFF103	チェーナーモジュールが読み取りバッファを取得できませんでした。
00FFF104	チェーナーモジュールがエントリを BLKQ COPY2 キューに追加できませんでした。
00FFF105	チェーナーモジュールがエントリをアクティブ LOGQ COPY2 キューに追加できませんでした。
00FFF106	チェーナーモジュールがエントリをアーカイブ BLKQ COPY2 キューに追加できませんでした。
00FFF107	チェーナーモジュールがエントリをアーカイブ LOGQ COPY2 キューに追加できませんでした。
00FFF201	チェーナーモジュールが LOGQ COPY1 キューを初期化できませんでした。
00FFF202	チェーナーモジュールが BLKQ COPY1 キューを初期化できませんでした。
00FFF203	チェーナーモジュールが読み取りバッファを取得できませんでした。
00FFF204	チェーナーモジュールがエントリを BLKQ COPY1 キューに追加できませんでした。
00FFF205	チェーナーモジュールがエントリをアクティブ LOGQ COPY1 キューに追加できませんでした。
00FFF206	チェーナーモジュールが、エントリをアーカイブ BLKQ COPY1 キューに追加できませんでした。
00FFF207	チェーナーモジュールがエントリをアーカイブ LOGQ COPY1 キューに追加できませんでした。
00FFF301	チェーナーモジュールが LOGQ COPY1 キューを初期化できませんでした。
00FFF302	チェーナーモジュールが BLKQ COPY1 キューを初期化できませんでした。
00FFF303	チェーナーモジュールが読み取りバッファを取得できませんでした。
00FFF304	チェーナーモジュールがエントリを BLKQ COPY2 キューに追加できませんでした。
00FFF305	チェーナーモジュールがエントリをアクティブ LOGQ COPY2 キューに追加できませんでした。
00FFF306	チェーナーモジュールがエントリをアーカイブ BLKQ COPY2 キューに追加できませんでした。
00FFF307	チェーナーモジュールがエントリをアーカイブ LOGQ COPY2 キューに追加できませんでした。
00FFF401	チェーナーモジュールが LOGQ COPY1 キューを初期化できませんでした。
00FFF402	チェーナーモジュールが BLKQ COPY1 キューを初期化できませんでした。

理由コード	説明
00FFF403	チェーナーモジュールが読み取りバッファを取得できませんでした。
00FFF404	チェーナーモジュールがエントリを BLKQ COPY1 キューに追加できませんでした。
00FFF405	チェーナーモジュールがエントリをアクティブ LOGQ COPY1 キューに追加できませんでした。
00FFF406	チェーナーモジュールがエントリをアーカイブ BLKQ COPY1 キューに追加できませんでした。
00FFF407	チェーナーモジュールがエントリをアーカイブ LOGQ COPY1 キューに追加できませんでした。
00FFF501	ロッガーは、アクティブログを ERDS01 再起動データセットに追加しようとして、アクティブログがすでに存在することを発見しました。
00FFF502	チェーナーが、ログを内部ログキュー LOGQ2 に追加できませんでした。
00FFF601	ロッガーは、アクティブログを ERDS01 再起動データセットに追加しようとして、アクティブログがすでに存在することを発見しました。
00FFF602	チェーナーが、ログを内部ログキュー LOGQ1 に追加できませんでした。
00FFF701	ロッガーは、アクティブログを ERDS01 再起動データセットに追加しようとして、アクティブログがすでに存在することを発見しました。
00FFF702	チェーナーが、ログを内部ログキュー LOGQ2 に追加できませんでした。
00FFF801	ロッガーは、アクティブログを ERDS01 再起動データセットに追加しようとして、アクティブログがすでに存在することを発見しました。
00FFF802	チェーナーが、ログを内部ログキュー LOGQ1 に追加できませんでした。
00FFFB01	チェーナーモジュールが削除するアーカイブログを見つけられませんでした。
00FFFB02	チェーナーモジュールがアーカイブログキュー LOGQ2 に対して DELETE を実行できませんでした。
00FFFC01	チェーナーモジュールが削除するアーカイブログを見つけられませんでした。
00FFFC02	チェーナーモジュールがアーカイブログキュー LOGQ1 に対して DELETE を実行できませんでした。
00FFFD01	チェーナーモジュールが削除するアクティブログを見つけられませんでした。
00FFFE01	チェーナーモジュールが削除するアクティブログを見つけられませんでした。
00FFFF01	チェーナーモジュールが作業領域を取得できませんでした。
00FFFF02	チェーナーモジュールが ERDS01 再起動データセットバッファを取得できませんでした。
00FFFF03	チェーナーモジュールが ERDS02 再起動データセットバッファを取得できませんでした。
00FFFF04	PowerExchange ロッガーが LOGQ11 ログキューを作成できません。

理由コード	説明
00FFFF05	PowerExchange ロggerが LOGQ12 ログキューを作成できません。
00FFFF06	PowerExchange ロggerが LOGQ21 ログキューを作成できません。
00FFFF07	PowerExchange ロggerが LOGQ22 ログキューを作成できません。
00FFFF08	PowerExchange ロggerは、どれが現在のアクティブログか判定できません。
00FFFF09	ERDS01 再起動データセットの DD 文がありません。
00FFFF0A	PowerExchange ロggerが無効な再起動データセット (ERDS) を検出しました。
00FFFF0B	GENCB モジュールによる ERDS01 再起動データセットの ACB の取得に失敗しました。
00FFFF0C	ERDS01 再起動データセットの OPEN に失敗しました。
00FFFF0D	GENCB モジュールによる ERDS02 再起動データセットの ACB の取得に失敗しました。
00FFFF0E	ERDS02 再起動データセットの OPEN に失敗しました。
00FFFF0F	オンラインおよび ERDS01 再起動データセットが空です。
00FFFF10	GENCB マクロによる ERDS01 再起動データセットの RPL 制御ブロックの生成に失敗しました。
00FFFF11	GENCB マクロによる ERDS02 再起動データセットの RPL 制御ブロックの生成に失敗しました。
00FFFF12	ERDS01 再起動データセットのフォーマットに失敗しました。
00FFFF13	ERDS02 再起動データセットのフォーマットに失敗しました。
00FFFF14	ERDS01 再起動データセットのマスタログレコードの読み取りに失敗しました。
00FFFF15	ERDS02 再起動データセットのマスタログレコードの読み取りに失敗しました。
00FFFF16	MODCB マクロによる ERDS01 再起動データセットの RPL 制御ブロックの変更に失敗しました。
00FFFF17	MODCB マクロによる ERDS02 再起動データセットの RPL 制御ブロックの変更に失敗しました。
00FFFF18	Loggerが LOGQ ラッチを取得できませんでした。
00FFFF19	Loggerがチェックポイントキュー CHKPT を作成できませんでした。

理由コード 01440600～060906FF - PowerExchange ユーティリティ

PowerExchange ユーティリティは、01440600 から 060906FF の理由コードを発行します。

次の表に、PowerExchange ユーティリティが発行する理由コードを一覧表示します。

理由コード	説明
01440600	DCB を適切に開けませんでした。
01440601	PowerExchange ロggerインタフェースユーティリティ (EDMXLUTL) が必要な DCB を生成できませんでした。
01440602	PowerExchange ロggerインタフェースユーティリティ (EDMXLUTL) がデータセットを開くことができませんでした。
01440603	PowerExchange ロggerインタフェースユーティリティ (EDMXLUTL) がデータセットを閉じることができませんでした。
01440604	PowerExchange ロggerインタフェースユーティリティ (EDMXLUTL) がデータセットを解放できませんでした。
01440609	制御カードエラーが検出されました。
01450605	イベントコマンドプロセッサ (EDMXLEVT) が作業ストレージを取得できませんでした。
01450606	イベントコマンドプロセッサ (EDMXLEVT) がログユーティリティ処理モジュールをロードできませんでした。
01450607	不正な PowerExchange 標準レコードが検出されました。
01450608	不正な PowerExchange 正規レコードが検出されました。
01450618	出力キューに対する PUT 関数が失敗しました。
0145061B	変換バッファが小さすぎます。
01450624	イベントコマンドプロセッサ (EDMXLEVT) に対する LOAD 関数が失敗しました。
01450625	ビルドコマンドサービスが PowerExchange レコードを返しませんでした。
01450626	イベントコマンドプロセッサ (EDMXLEVT) が、データキャプチャ用のアクティブな EDMNAME を見つけれませんでした。
01450627	EDMXLEVT からイベントマーカーに追加する説明の数が多すぎます (6 以上)
0145062E	その前にエラーが発生したため、イベントコマンドプロセッサ (EDMXLEVT) がログユーティリティを初期化できませんでした。
01450651	RETURN EDMNAME 呼び出しが失敗しました。
01450652	テーブル名のリストに対する DB2 要求が失敗しました。
01460605	ビルドコマンドユーティリティ (EDMXIBCM) が作業ストレージを取得できませんでした。

理由コード	説明
01460619	不正な符号化コマンドがビルドコマンドユーティリティ（EDMXIBCM）に渡されました。
0146061A	変換バッファがビルドコマンドユーティリティ（EDMXIBCM）に渡されませんでした。
0146061B	変換バッファが小さすぎます。
0146061C	変換バッファの長さがゼロです。
0146061D	変換バッファに不正なヘッダレコードが含まれています。
0146061E	ワークリストバッファがビルドコマンドユーティリティ（EDMXIBCM）に渡されませんでした。
0146061F	ワークリストバッファが小さすぎます。
01460620	ワークリストバッファの長さがゼロです。
01460621	ワークリストバッファに不正なヘッダレコードが含まれています。
01460622	パイプクリーナに対する BUILD 関数が失敗しました。
01460623	処理終了に対する BUILD 関数が失敗しました。
01460625	ビルドコマンドユーティリティ（EDMXIBCM）が PowerExchange レコードを返しませんでした。
01460626	登録リストに対する BUILD 関数が失敗しました。
01460627	登録リスト要求に対するデータセット名がありません。
01460629	ビルドコマンドユーティリティがデータベース記述子を見つけられませんでした。
0146062C	登録リスト要求から不正な戻りコードを受信しました。
0146062D	入力した要求の種類は、コマンドモジュールでサポートされていません。
0146062F	要求されたオブジェクトカテゴリは無効です。
06030646	ACB に対する TESTCB 関数が失敗しました。

理由コード 01800101～01FFFFFF - 変更インタフェースコンポーネント

変更インタフェースコンポーネント（CIC）は、01800101 から 01FFFFFF の理由コードを発行します。

次の表に、変更インタフェースコンポーネント（CIC）が発行する理由コードを一覧表示します。

理由コード	説明
01800101	OPEN 呼び出し中に無効なデータ型が見つかりました。
01800102	GET 関数および PUT 関数では開いているトークンが必要です。

理由コード	説明
01800103	無効な IPC ヘッダが見つかりました。
01800104	以前に発生したエラーのために CIC を停止する必要があります。詳細については、前のエラーを確認します。
01800105	作成トークンが提供されていません。
01800106	グローバルキューエラーが発生しました。
01800107	PowerExchange エージェントがアクティブではありません。
01800108	Mailman タスクが完了前に終了しました。
01800109	Mailman でエラーが発生しました。
0180010A	「mailman ended」フラグがオンになっています。
0180010C	BUILD CDE 関数が失敗しました。
0180010D	DELETE CDE 関数が失敗しました。
01810101	CIC を強制終了中です。
01810102	グローバルキューエラーが発生しました。
01810103	再同期処理中にエラーが発生しました。
01810104	メモリ間送信が失敗しました。
01810105	PowerExchange ロgger が終了処理中に終了しました。
01810106	PowerExchange ロgger が非アクティブで、グローバルディレクトリ (EDMSDIR) が異常終了を要求しました。このコードは、オフライン環境での初期化中に返されます。
01810107	呼び出し元は、CIC がすべての作業単位を送信するよう要求しました。
01810108	PowerExchange ロgger が終了しました。
01810109	PowerExchange ロgger が非アクティブで、グローバルディレクトリ (EDMSDIR) が異常終了を要求しました。このコードは、オンライン IMS 環境および CICS 環境での同期ポイント処理中に返されます。
0181010A	ECCR がロgger に接続する前に PowerExchange ロgger が終了しました。
0181010B	XCF JOIN 関数が失敗しました。
0181010C	XCF LEAVE 関数が失敗しました。
0181010D	XCF PUT 関数が失敗しました。
0181010E	XCF GET 関数が失敗しました。
0181010F	XCF FREE BUFFER 関数が失敗しました。

理由コード	説明
01810110	CIC がロッガーキューを開こうとして、エラーが発生しました。
01810111	ロッガーが CIC の初期化中に終了しました。
01820101	モジュールがスーパーバイザ状態になることができませんでした。
01820102	名前/トークン CREATE が失敗しました。
01820103	名前/トークン RETRIEVE が失敗しました。
01820104	名前/トークン DELETE が失敗しました。
01820105	BUILD CDE 関数が失敗しました。
01820106	DELETE CDE 関数が失敗しました。
01820107	共通サービスへの接続中にエラーが発生しました。
01820108	共通サービスからの切断エラーが発生しました。
01820109	CIC が CSA にプログラムをロードしています。
0182010A	モジュール EDMCICLG の初期化が失敗しました。
0182010B	モジュール EDMCICLG の PUT 関数が失敗しました。
0182010C	モジュール EDMCICLG の終了が失敗しました。
0182010D	メモリ間送信が失敗しました。
01830101	Mailman からエラーが返されました。
01830102	名前/トークン RETRIEVE が失敗しました。
01830103	無効な長さが渡されました。
01830104	オブジェクトのプロファイルが見つかりませんでした。
01830105	Mailman が終了しました。
01830106	PowerExchange エージェントが初期化中に使用できませんでした。
01830107	PowerExchange エージェントが登録呼び出し中に使用できませんでした。
01840101	共通サービスへの接続中にエラーが発生しました。
01840102	SET STIMERM 関数が失敗しました。
01840103	STIMERM CANCEL 関数が失敗しました。
01840104	Mailman のキューを開くときにエラーが発生しました。
01840105	Mailman のキューを閉じるときにエラーが発生しました。

理由コード	説明
01850101	Mailman からエラーが返されました。
01850102	Mailman からエラーが返されました。
01850103	Mailman が異常終了しました。
01850104	Mailman が異常終了しました。
01850105	モニタサブタスクが失敗しました。
01850106	PowerExchange エージェントがアクティブではありません。
01850107	名前/トークン RETRIEVE 中にエラーが発生しました。
01850108	PowerExchange 共通サービスの初期化が失敗しました。
01900101	モジュール EDMCICIN の初期化が失敗しました。
01900102	モジュール EDMCICIN の終了が失敗しました。
01900103	Mailman がエラーを返しました。
01900104	前のエラーが発生しました。詳細については、前のエラーを確認します。
01900105	同期ポイント「begin phase 1」関数が失敗しました。
01900106	同期ポイント「end phase 2」関数が失敗しました。
01900107	異常終了コード U4094 でロッガーが終了しました。グローバルディレクトリ (EDMSDIR) が異常終了を要求しました。
01900108	PowerExchange エージェントが初期化中にアクティブではありませんでした。
01900109	PowerExchange エージェントが OPEN 呼び出し中にアクティブではありませんでした。
01910101	無効な関数を DB2 ECCR から受け取りました。
01910102	テーブル名の登録リストが見つかりませんでした。
01910103	登録ルーチンがエラーを返しました。
01910104	モジュールが UOW エントリ FREEUOW を見つけられませんでした。
01910105	モジュールが UOW エントリ RECORD を見つけられませんでした。
01910106	同期ポイントフェーズ 1 が失敗しました。
01910107	同期ポイントフェーズ 2 が失敗しました。
01910108	モジュール EDMCICIN の初期化が失敗しました。
01910109	モジュール EDMCICIN の終了が失敗しました。
0191010A	PowerExchange エージェントがアクティブではありません。

理由コード	説明
0191010B	PowerExchange ロggerが使用できません。
0191010C	再同期処理（Loggerから未処理の UOW を受信）中にエラーが発生しました
0191010D	Loggerから受信した未処理の UOW のカウントにエラーがあります
01920101	前のエラーが発生しました。詳細については、前のエラーを確認します。
01920102	無効な関数コードが見つかりました。
01920103	INIT 関数が 2 回呼び出されました。
01920104	CIC が初期化のために呼び出されませんでした。
01920105	モジュールが、UOW テーブルで自分のエントリを見つけられませんでした。
01920106	モジュールが、指定したファイルをキャプチャしていません。
01920107	無効な同期パラメータが見つかりました。
01920109	モジュール EDMCICIN の初期化が失敗しました。
0192010A	モジュール EDMCICIN の終了が失敗しました。
0192010B	登録ルーチンがエラーを返しました。
0192010C	Mailman がエラーを返しました。
0192010D	PowerExchange エージェントがアクティブではありません。
01930101	モジュール EDMCICIN の初期化が失敗しました。
01930102	モジュール EDMCICIN の終了が失敗しました。
01930103	IMODULE GETMAIN 関数が失敗しました。
01930104	IMODULE LOAD 関数が失敗しました。
01930105	モジュールがスーパーバイザ状態になることができませんでした。
01930106	モジュールが PowerExchange エージェント SSCT を見つけれませんでした。
01930107	モジュールが無効なエージェント制御ブロックを見つけました。
01930108	モジュールが IMS SSCT を見つけれませんでした。
01930109	キャプチャする DBD がありません。
0193010A	モジュール \$MSGX の初期化が失敗しました。
0193010B	モジュール \$MSGX の終了が失敗しました。
0193010C	PowerExchange エージェントがアクティブではありません。

理由コード	説明
01940101	呼び出し側のプログラムの入力ベクトルが高すぎます。
01940102	モジュールが無効な UOW アドレスを見つけました。
01940103	PowerExchange ロggerが停止し、グローバルオプションモジュール (EDMSDIR) が ECCR の異常終了を要求しました。
01960101	IMS ESS 定義が必要です。
01970101	キャプチャするデータベースが登録されていません。
01970102	モジュールに作業ストレージアドレスが渡されませんでした。
01970103	名前/トークン RETRIEVE が失敗しました。
01970104	オンライン領域ではありません。
01990101	キャプチャするデータベースがありません。
01990102	モジュールが、TIOT で DBD の DD 名を見つけられませんでした。
01990103	JFCB の検索中にエラーが発生しました。
01990104	登録ルーチンの初期化中にエラーが発生しました。
01990105	登録ルーチンからの GET 関数中にエラーが発生しました。
019B0101	呼び出し側のプログラムの入力ベクトルが高すぎます。
019B0102	モジュールが無効な UOW アドレスを見つけました。
019B0103	PowerExchange ロggerが停止し、グローバルオプションモジュール (EDMSDIR) が ECCR の異常終了を要求しました。
019D0101	IMS ESS 定義が必要です。
01A00101	サブシステムが必要です。
01A00102	グローバルキューエラーが発生しました。
01A00103	\$GENDCB モジュールが失敗しました。
01A00104	\$GENDCB モジュールからの OPEN 関数が失敗しました。
01A00105	\$GENDCB モジュールからの CLOSE 関数が失敗しました。
01A00106	\$GENDCB モジュールからの FREE 関数が失敗しました。
01A00107	DD 文 PWXEDMCC がありません。
01A00108	OPEN 関数が失敗しました。
01A00109	SET STIMERM が失敗しました。

理由コード	説明
01A0010A	STIMERM の CANCEL に失敗しました。
01A0010B	モジュールが PowerExchange 共通サービスに接続中にエラーが発生しました。
01A0010C	XCF JOIN 関数が失敗しました。
01A0010D	XCF LEAVE 関数が失敗しました。
01A0010E	XCF DESTDEL 関数が失敗しました。
01A0010F	XCF GET 関数が失敗しました。
01A00110	XCF PUT 関数が失敗しました。
01A00111	XCF FREEBUFF 関数が失敗しました。
01A20102	グローバルキューエラーが発生しました。
01A30101	CIC 初期化エラーが発生しました。
01A30102	CIC 終了エラーが発生しました。
01B70101	SSM メンバのエージェントがアクティブではありません。
01B70102	EDMSCTRL 制御ブロックが無効です。
01B70103	プログラムは IMS 制御領域で実行する必要があります。
01B70104	「ESAF add」ルーチンにループがあります。
01A30103	無効な IPC ヘッダがレコードで見つかりました。
01C40101	呼び出し側のプログラムの入力ベクトルが高すぎます。
01C40102	モジュールが無効な UOW アドレスを見つけました。
01C40103	PowerExchange ロガーが停止し、グローバルオプションモジュール (EDMSDIR) が ECCR の異常終了を要求しました。
01C70101	IMS ESS 定義が必要です。

関数コード 0～0A - 循環キュー

循環キューはいくつかの部分に分かれた理由コードを発行します。

循環キューの理由コードは、次の部分を含み、*xxyyzzzz* 形式で表示されます。

- *xx* は 16 進数の戻りコードです。
- *yy* は関数コードです。
- *zzzz* は理由コードです。

[「理由コード 04050000～0812000C - 循環キュー」 \(ページ 685\)](#) に循環キュー理由コードを一覧表示します。

次の表は、循環キュー関数コードについての説明です。

関数コード	説明
01	循環キューの初期化 (INIT)
02	循環キューの終了 (TERM)
03	循環キューを開く (OPEN)
04	循環キューを閉じる (CLOSE)
05	循環キューの取得 (GET)
06	循環キューへの入力 (PUT)
08	循環キューの削除 (DELETE)
0A	循環キューの作成 (CREATE)
11	循環キューのファイル末尾の設定 (SETEOF)
12	循環キューの検索トークン (FNDTKN)

理由コード 04050000～0812000C0 - 循環キュー

循環キューは、04050000 から 0812000C0 の理由コードを発行します。

次の表は、循環キュー理由コードについての説明です。

理由コード	説明
04050000	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の GET 関数が、使用可能なレコードを見つけられず、ファイルの終わりを検出しました。
04050004	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の GET 関数が、条件付き GET 関数から使用可能なレコードを見つけられませんでした。
04120004	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の FNDTKN 関数が、\$DLICQTS opened-input 制御ブロックを見つけられませんでした。
08010004	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の INIT 関数が、\$DLIGPPL パラメータリストのアドレスを見つけられませんでした。
08010040	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の INIT 関数の、循環キュー初期化トークン領域に対する仮想ストレージ要求が失敗しました。
08020004	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の TERM 関数が、\$DLIGPPL パラメータリストのアドレスを見つけられませんでした。
08020044	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の TERM 関数が、循環キュー初期化制御ブロックのトークン値を見つけられませんでした。
08020048	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の TERM 関数が、無効な循環キュー初期化制御ブロック識別子を検出しました。

理由コード	説明
08030004	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の OPEN 関数が、\$DLIGPPL パラメータリストのアドレスを見つけられませんでした。
08030008	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の OPEN 関数が、\$DLICQMN 制御ブロックを見つけられませんでした。
08030010	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の OPEN 関数が無効なオープン要求型を検出しました。
08030020	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の OPEN 関数が、入力用の開いている要求が多すぎるために GET TASK ブロックが使用できないことを検出しました。
08030024	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の OPEN 関数が、仮想ストレージ要求が失敗したために動的 PUT TASK ブロックが使用できないことを検出しました。
08030028	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の OPEN 関数が、出力用の開いている要求が多すぎるために静的 PUT TASK ブロックが使用できないことを検出しました。
08030030	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の OPEN 関数が、8 バイト未満の固定長論理レコード長 (LRECL) を検出しました。
08030034	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の OPEN 関数が、キューで許可されている最大値より大きな固定長 LRECL を検出しました。
08030036	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の OPEN 関数は、LOCATE モードで GET も使用していない場合、WAIT=NO 設定の使用を許可しません。
08030038	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の OPEN 関数は、グローバルキューとの WAIT=NO 設定の使用を許可しません。
08040004	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の CLOSE 関数が、\$DLIGPPL パラメータリストのアドレスを見つけられませんでした。
08040008	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の CLOSE 関数が、\$DLICQTS 制御ブロックを見つけられませんでした。
08040010	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の CLOSE 関数が、開いていない \$DLICQTS 制御ブロックを検出しました。
08040014	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の CLOSE 関数は、別のタスクが \$DLICQTS 制御ブロックを開いていることを検出しました。
08040018	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の CLOSE 関数が、不明な \$DLICQTS 制御ブロックタスク型を検出しました。
08050004	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の GET 関数が、\$DLIGPPL パラメータリストのアドレスを見つけられませんでした。
08050008	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の GET 関数が、\$DLICQTS 制御ブロックのトークン値を見つけられませんでした。
08050010	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の GET 関数は、現在のタスク制御ブロック (TCB) が \$DLICQTS 制御ブロックを持っていないことを検出しました。
08050014	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の GET 関数は、\$DLICQTS 制御ブロックが入力用を開いていないことを検出しました。

理由コード	説明
08050018	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の GET 関数が、ファイルの終わりで \$DLICQTS 制御ブロックを検出しました。
08050020	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の GET 関数が、無効な \$DLICQEB 制御ブロックを検出しました。
08060004	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の PUT 関数が、\$DLIGPPL パラメータリストのアドレスを見つけられませんでした。
08060008	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の PUT 関数が、\$DLICQTS 制御ブロックのトークン値を見つけられませんでした。
08060010	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の PUT 関数は、現在のタスク制御ブロック (TCB) が \$DLICQTS 制御ブロックを持っていないことを検出しました。
08060014	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の PUT 関数は、\$DLICQTS 制御ブロックが出力用を開いていないことを検出しました。
08060018	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の PUT 関数が、無効なレコードサイズを検出しました。
08060020	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の PUT 機能が、次の呼び出しからゼロ以外の戻りコードを受け取りました。 STATUS SET、MC、PROCESS マクロ呼び出し
08060024	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の PUT 機能が、次の呼び出しからゼロ以外の戻りコードを受け取りました。 STATUS RESET、MC、PROCESS マクロ呼び出し
08080004	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の DELETE 関数が、\$DLICQPL パラメータリストのアドレスを見つけられませんでした。
08080008	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の DELETE 関数が、\$DLICQMN 制御ブロックのアドレスを見つけられませんでした。
08110004	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の SETEOF 関数が、\$DLICQPL マクロのアドレスを見つけられませんでした。
08110010	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の SETEOF 関数が、\$DLICQMN 制御ブロックに対する無効な制御ブロック識別子を検出しました。
08110014	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の SETEOF 関数が、閉じていない PUT タスクを検出しました。
08110018	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の SETEOF 関数が、ファイルの終わりの表示に使用できるバッファスペースがないことを検出しました。
08120004	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の FNDDTKN 関数が、\$DLIGPPL パラメータリストのアドレスを見つけられませんでした。
08120008	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の FNDDTKN 関数が、\$DLICQMN 制御ブロックのトークン値を見つけられませんでした。
08120010	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の FNDDTKN 関数が、欠けている TCB オーナー値を検出しました。

理由コード	説明
08120014	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の FNDTKN 関数は、現在のアドレス空間がこのキューを作成しなかったことを検出しました。
08120018	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の FNDTKN 関数が、このキューの入力 \$DLICQTS 制御ブロックを見つけられませんでした。
0803000C	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の OPEN 関数が、\$DLICQMN 制御ブロックに対する無効な制御ブロック識別子を検出しました。
0803003C	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の OPEN 関数は、グローバルキューとの find-token (FNDTKN=Y) パラメータの使用を許可しません。
0804000C	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の CLOSE 関数が、\$DLICQTS 制御ブロックに対する無効な制御ブロック識別子を検出しました。
0804001C	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の CLOSE 関数は、不正なタスクが \$DLICQTS 制御ブロックを閉じようとしたこと (FNDTKN 処理) を検出しました。
0805000C	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の GET 関数が、\$DLICQTS 制御ブロックに対する無効な制御ブロック識別子を検出しました。
0805001C	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の GET 関数が、COND=YES 設定とそれと互換性のない WAIT=NO 設定を検出しました。
080500FF	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の GET 関数が、CQTECB ポストコードからの終了要求を検出しました。
0806000C	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の PUT 関数が、\$DLICQTS 制御ブロックに対する無効な制御ブロック識別子を検出しました。
0806001C	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の PUT 関数が、無効な \$DLICQEB 制御ブロックを検出しました。
080600FF	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の PUT 関数が、CQTECB ポストコードからの終了要求を検出しました。
0808000C	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の DELETE 関数が、\$DLICQMN 制御ブロックに対する無効な識別子を検出しました。
080A0004	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の CREATE 関数が、\$DLIGPPL パラメータリストのアドレスを見つけられませんでした。
080A0010	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の CREATE 関数が、0～255 の範囲外のサブプール値を検出しました。
080A0014	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の CREATE 関数が、1～15 の範囲外の GET タスクカウント値を検出しました。
080A0018	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の CREATE 関数が、0～255 の範囲外の PUT タスクカウント値を検出しました。
080A001C	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の CREATE 関数が、1～255 の範囲外のバッファカウント値を検出しました。

理由コード	説明
080A0020	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の CREATE 関数が、4096～32760 の範囲外のバッファサイズ値を検出しました。
080A0030	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の CREATE 関数の、\$DLICQMN 制御ブロックに対する仮想ストレージ要求が失敗しました。
080A0034	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の CREATE 関数の、\$DLICQTS 制御ブロックに対する仮想ストレージ要求が失敗しました (GET TASK 関数)。
080A0038	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の CREATE 関数の、\$DLICQTS 制御ブロックに対する仮想ストレージ要求が失敗しました (PUT TASK 関数)。
080A003C	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の CREATE 関数の、循環キューバッファに対する仮想ストレージ要求が失敗しました。
0811000C	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の SETEOF 関数が、\$DLICQMN 制御ブロックのトークン値を見つけられませんでした。
0812000C	循環キューモジュール (EDMXCIRQ) の FNDTKN 関数が、\$DLICQMN 制御ブロックに対する無効な制御ブロック識別子を検出しました。

理由コード 0A0A000E～0A0B00D8 - ログ書き込み API

ログ書き込み API は、0A0A000E から 0A0B00D8 の関数理由コードを発行します。

以下の表に、ログ書き込み API 関数理由コードを一覧表示します。

理由コード	説明
0A0A000E	FirstThreeParmsIncomplete
0A0A0010	EdmcstubGetmainFailed
0A0A0011	LoadForEdmciapiFailed
0A0A0012	TokenFunctionMismatch
0A0A0013	InvalidToken
0A0B0001	TooManyParms
0A0B0002	RegTypeConflictWithAgent
0A0B0003	FunctionUnknownOrInvalidPerInitParms
0A0B0004	NotEnoughParmsForFunction
0A0B0005	FunctionProhibitedType0
0A0B0006	FunctionProhibitedMultiTasked
0A0B0007	UOWNameIsNotLoggerConnectName

理由コード	説明
0A0B0008	DataParmInvalid
0A0B0009	2ndDataParmInvalid
0A0B000A	FunctionInvalidPerInitOptions
0A0B000B	InvalidInitParm
0A0B000C	InternalErrorHandlingRegistrations
0A0B000D	InvalidAPIInitToken
0A0B000F	NullParameterPassed
0A0B0014	NoAPIInitToken
0A0B0015	APIInitTokenFunctionMismatch
0A0B0016	TokenGetmainFailed
0A0B0017	LoggerDisconnectFailed
0A0B0018	TERM_indoubt_UOW
0A0B0019	RegistrationCheckFailed
0A0B001A	LoggerConnectionFailed
0A0B001B	LoggerQueueOpenFailed
0A0B001C	LoggerInterfaceWriteFailed
0A0B001D	UOWAlreadyExists
0A0B001F	SendingChangeAfterCHK1
0A0B0020	InternalErrorProcessingUOWs
0A0B0021	CommonSvcsInitFailed
0A0B0022	CommonSvcsConnectFailed
0A0B0023	ErrorObtainingLoggerResyncInfo
0A0B0024	ErrorTerminatingCommonSvcs
0A0B0025	HighSeqNotAscending
0A0B0026	LowSeqNotAscendingOrZero
0A0B0027	NameTokenFunctionFailed
0A0B0028	MissingAPIInitToken

理由コード	説明
0A0B0029	InconsistentMultiTaskInits
0A0B002A	UOWNotFound
0A0B002B	MustIssueCHK1First
0A0B002C	TooMuchExtendedInfoInPkt
0A0B002D	TooMuchExtendedInfoInChng
0A0B002E	InvalidLCIReturnArea
0A0B002F	MissingMSGDescTag
0A0B0030	InvalidDescTag
0A0B0031	EventMarkBuildFailed
0A0B0032	EvtMaxEdmnamesExceeded
0A0B0033	EvtMaxDescExceeded
0A0B0034	RegistrationInitializationFailed (これは新規)
0A0B0035	AgentServicesUnavailable (これは新規)
0A0B0036	RegistrationConnectionFailed
0A0B0037	RegistrationDisconnectionFailed
0A0B0038	InitType1MultiTaskedProhibited
0A0B0039	ConnTokenLogicErrorOnInit
0A0B003A	APIConnTokenNotFoundInChain
0A0B003B	APIConnTokenLogicErrorAtTerm
0A0B003C	FunctionProhibitedSingleTaskTerm
0A0B003D	LoggerMultitaskDisconnectFailed
0A0B003E	RegistrationMultitaskDisconnectionFailed
0A0B0080	RegistrationNameTooLong
0A0B0081	EccrNameTooLong
0A0B0082	Wrapper_InternalError
0A0B0083	Wrapper_TokenFunctionMismatch
0A0B0084	Wrapper_MemoryAllocationFailed

理由コード	説明
0A0B0085	Wrapper_InvalidToken
0A0B0086	Wrapper_UserIdTooLong
0A0B0087	Wrapper_MessageTooLong
0A0B00C0	XData_GNRS_Error
0A0B00C1	XData_RSTR_Error
0A0B00C2	XData_GHSQ_Error
0A0B00C3	XData_GLCI_Error
0A0B00D0	XData_LR_INIT_Error
0A0B00D1	XData_LR_CONN_Error
0A0B00D2	XData_LR_OPEN_Error
0A0B00D3	XData_LR_GETL_Error
0A0B00D4	XData_LR_BUOW_Missing
0A0B00D5	XData_LR_NoRecords
0A0B00D6	XData_LR_BUOWsNotFound
0A0B00D7	XData_LR_PrematureEOF
0A0B00D8	XData_LR_SIGNON_Missing

理由コード 0A0D0300～0A0E0320 - ログ読み取り API

ログ読み取り API は、0A0D0300 から 0A0E0320 の関数理由コードを発行します。

以下の表に、ログ読み取り API 関数理由コードを一覧表示します。

理由コード	説明
0A0D0300	EdmlrstbGetmainFailed
0A0D0301	LoadForEdmlrapiFailed
0A0D0302	TokenFunctionMismatch
0A0D0303	InvalidToken
0A0D02FE	FirstThreeParmsIncomplete
0A0E0001	GETL_PROGRESS

理由コード	説明
0A0E0002	GETL_TIMEOUT
0A0E0003	GETL_EOF
0A0E0050	TooManyConnects
0A0E0051	InvalidSTDChgRec
0A0E0052	InvalidChgRecPFormat
0A0E0053	InvalidCRFChgRec
0A0E0054	InvalidSBCChgRec
0A0E0055	ConnectionIsOpen
0A0E0056	ConnectionNotOpen
0A0E0057	InvalidCONNParam
0A0E0058	LoggerConnectionFailed
0A0E0059	IncorrectHeaderVersion
0A0E005A	ESTAEFailedInHelper
0A0E005B	HelperAttachFailed
0A0E005C	MissingOrDupSegs
0A0E005D	SegBufferSizeError
0A0E005E	InvalidOpenRBASeg
0A0E005F	ErrorManagingSegments
0A0E0060	ConnectionAlreadyOpen
0A0E0061	HelperTaskFailed
0A0E0062	LoggerDidNotRespondToCommand
0A0E0063	LoggerTerminatedConnection
0A0E0064	InvalidEventRec
0A0E0065	StorageObtainFailedInHelper
0A0E0066	OPENEndSEQItBeginSEQ
0A0E0067	InternalPlistError
0A0E0070	TimerSvcsActiveTimerInTransition

理由コード	説明
0A0E0071	TimerSvcsNoCONNToken
0A0E0072	TimerSvcsSTIMERMError
0A0E0073	TimerSvcsTimerAlreadyExists
0A0E0074	TimerSvcsTimerIDMismatch
0A0E0075	TimerSvcsNoActiveTimerInToken
0A0E0076	TimerSvcsTooManyTimers
0A0E0100	InvalidTokenType
0A0E0101	InvalidINITToken
0A0E0102	InvalidCONNToken
0A0E0103	ErrorCreatingLRAPILocalQueue
0A0E0104	ErrorOpeningLRAPILocalQueue
0A0E0105	ErrorLRAPILocalQueueNotOpen
0A0E0106	ErrorReadingLRAPILocalQueue
0A0E0107	ErrorLRAPILocalQueueEOF
0A0E0108	MoreThanOneAPIPerTCB
0A0E0109	ModuleLoadFailed
0A0E010A	ErrorWritingLRAPILocalQueue
0A0E010B	ErrorCreatingINTLSTCommand
0A0E010C	InterestListFailed
0A0E0110	ErrorDuringXCFJoin
0A0E0111	ErrorCreatingLoggerGlobalQueue
0A0E0112	ErrorOpeningLoggerGlobalQueue
0A0E0113	ErrorClosingLoggerGlobalQueue
0A0E0114	ErrorSendingCmdToLogger
0A0E0115	ErrorReadingLoggerGlobalQueue
0A0E0116	ErrorTerminatingCommonSvcs
0A0E0117	ErrorInXCFGetMsg

理由コード	説明
0A0E0118	ErrorInXCFFGetGroup
0A0E0119	ErrorInXCFFreeBuff
0A0E011A	RequestDataXferFailed
0A0E011B	InvalidRecordFromLogger
0A0E011C	StopDataXferFailed
0A0E011D	InvalidLCIReturnArea
0A0E011E	InvalidOpenParm
0A0E011F	BeginSeqRequired
0A0E0120	SEDMAInitError
0A0E0121	SEDMAAddError
0A0E0122	SEDMAAddDuplicateEdmname
0A0E0123	SEDMTermError
0A0E0124	SEDMInternalError
0A0E02F5	TooManyParms
0A0E02F6	FunctionUnknownOrInvalidPerInitParms
0A0E02F7	NotEnoughParmsForFunction
0A0E02FF	NullParameterPassed
0A0E0304	TokenGetmainFailed
0A0E0317	CommonSvcsInitFailed
0A0E0318	CommonSvcsConnectFailed
0A0E0319	AgentServicesUnavailable
0A0E0320	ErrorProcessingExternalParameters

理由コード 10000001~1007FFFF - DB2 ECCR

DB2 ECCR は、10000001 から 1007FFFF の理由コードを発行します。

次の表に、DB2 ECCR 理由コードを一覧表示します。

理由コード	説明
10000001	PowerExchange 初期化モジュール (CCDINI0) が、PowerExchange 共通サービスを初期化しようとしてエラーを検出しました。
10000002	PowerExchange 初期化モジュール (CCDINI0) が、PowerExchange 共通サービスに接続しようとしてエラーを検出しました。
10000003	PowerExchange 初期化モジュール (CCDINI0) が、スキーマチェッカ (CCDSCHC) を初期化しようとしてエラーを検出しました。
10030001	EDMNAME の取得に失敗しました。
10030002	スキーマの取得に失敗しました。
10030003	スキーマの変更に失敗しました。
10030004	PDX インタフェース (CCDRIOM) がコマンドバッファを取得しようとして、エラーが発生しました。
10030005	PDX インタフェース (CCDRIOM) が応答バッファを取得しようとして、エラーが発生しました。
10030006	PDX インタフェース (CCDRIOM) が \$RIOM マクロからの呼び出しを受信したときに、エラーが発生しました。
10030007	PDX インタフェース (CCDRIOM) が、登録リストで EDMNAME を見つけられませんでした。
10040001	DB2 スキーマが PowerExchange リポジトリの登録と一致しません。
10040002	RCD レコードのビルドに失敗しました。
10040003	PDX インタフェース (CCDRIOM) への GETSCHEM 呼び出しが失敗しました。
10040005	初期化中、DB2 ECCR スキーマチェッカ (CCDSCHC) が、メッセージで指定されたスキーマと一致するスキーマを見つけられませんでした。
10060001	スキーマの検証に失敗しました。
10070001	DB2 ECCR が無効なログレコード型を検出しました。
10070002	DB2 ECCR が、変更レコードの CREATE TIME フィールドを見つけられませんでした。
10070003	DB2 ECCR が、変更レコードの ALTER TIME フィールドを見つけられませんでした。
10070004	DB2 ECCR (X029261) が DB2 バージョンを特定できませんでした。
10070005	DB2 ECCR がデータ定義言語 (DDL) レコードの最後を見つけられませんでした。

理由コード	説明
10070006	DB2 ECCR がカラムのデータ型を特定できませんでした。
10070007	DB2 ECCR が、SYSCOLUMNS 行でソース型 ID (SOURCETYPEID) を見つけられませんでした。

理由コード 00000004~00000054 - チェーナーモジュール (EDMQMGR0)

チェーナーモジュールは、00000004 から 00000054 の理由コードを発行します。

以下の表に、チェインモジュール理由コードを一覧表示します。

理由コード	説明
00000004	レコードが見つかりません
00000008	ストレージが不足しています
0000000C	無効なレコードプレフィックス (不正なアドレス)
00000010	無効なフラグまたはキーアドレス
00000014	関数の引数が不正です
00000018	無効な Blksize/data/lrecl
0000001C	TOQ が無効です
00000020	無効なフリースペース ID
00000024	類義語チェインが壊れています
00000028	KEYL がゼロです
0000002C	バージョンでエラーが発生しました - BLKSIZE
00000030	バージョンでエラーが発生しました - レコードプレフィックス
00000034	バージョンでエラーが発生しました - Ff000000 は最後ではありません
00000038	終了がゼロ以外を返しました
0000003C	チェインが使用されています
00000040	チェインはすでにロックされています。ロックできません
00000040	チェインはロックされていません。アンロックできません
00000048	ロックされたチェインの無効な所有者
0000004C	シリアルオプションで、ロック/ロック解除が必要です

理由コード	説明
00000050	無効な登録形式パラメータ
00000054	Pagefix の不明な戻りコード